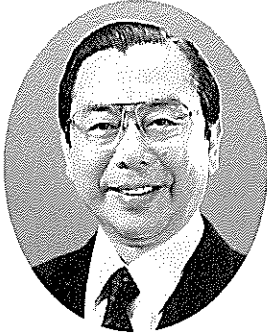


京都文化博物館
10年のあゆみ

京都府 京都文化博物館

1999

開館 10 周年によせて



京都文化博物館は、昭和 56 年の「京都府文化懇談会」の提言を受けて、京都の歴史が通覧でき、広く文化の研究、教育、普及や情報の収集・提供ができる施設として、また、かつて京の街のそこかしこに人々が集い語る「寄り合い」の場があり、それが、京の文化を創り育てたように、新たな文化創造の「寄り合いの場」として設立されたものであります。

平安建都 1200 年記念事業の一環として、昭和 63 年に開館して以来、府民の皆様をはじめ多くの人々から親しまれ、御支持をいただき、京都の文化芸術の素晴らしさを広く紹介するとともに、その振興・発展に大いに寄与してまいりました。特に昨年は、開館 10 周年を記念して春と秋の 2 回の記念特別展を開催いたしましたところ、多くの方に御来館いただき、成功裏に終えることができました。ここに改めて、府民の皆様や、当館の運営に携わっていただいております岡本理事長をはじめ京都文化財団の皆様に深く感謝申し上げます。

京都は、その長い歴史の中で、常に文化を創造し、育んできました。21 世紀を目前に控えた今、私達は 1200 年の歴史と伝統に育まれてきた文化を次代に引き継ぐとともに、新たに文化を創造していくことが求められています。このような中で、一昨年 9 月に「京都の府民文化の未来を考える懇談会」から、『21 世紀の風流を京都に』をキーワードとする『提言』をいただきました。京都府では、この趣旨を踏まえまして、京都文化博物館が文化振興の拠点として、京都の文化芸術の発展に更に貢献できますよう努力していきたいと存じます。

これからも府民のより一層のお力添えを賜りますよう、お願い申し上げます。

平成 11 年 3 月

京都府知事

為 巻 禎 一

開館 10 周年にあたって



「日本文化のふるさと」と言われております京都の歴史と文化をわかりやすく紹介する総合的な文化施設として、昭和 63 年 10 月に開館いたしました京都文化博物館が、順調な歩みを続け 10 周年を迎えることができましたのも、府民の皆様を初め、文化関係者、京都府当局など多くの方々のあたたかいお力添えの賜物と心より感謝申し上げます。

今、記念すべき開館 10 周年にあたり、開館の原点に立ち返りますとともに、さらなる発展をめざして、この 10 年を振り返りその足跡をまとめることといたしました。

京都文化博物館は、京都の歴史と文化が通覧できる歴史博物館、京都で活躍する美術工芸作家などの作品を展示する美術館、京都に始まった映像文化を展示・公開する映像センターの機能を中心に据えながら、年間を通しての斬新な企画による特別展覧会の開催や明治の名建築として国の重要文化財に指定されている旧日本銀行京都支店の公開、さらには江戸時代末期の京の商家の家並みを復元した「ろうじ店舗」の設置や貸ギャラリーなど、多彩なサービスを提供し、皆様方に親しまれ、楽しんでいただける施設づくりに努めてまいりました。

社会・経済情勢が大きく変動し、これまでの「物質的な豊かさ」から「精神的な豊かさ」が求められるようになってきました今日、京都文化博物館の果たすべき役割もこれまで以上に重要性を増していくものと認識いたしております。

間近に迫った 21 世紀を展望しながら、京都文化の新たな創造と発展のため、この 10 年の実績を礎としながら新たなる歩みに挑戦してまいり所存でありますので、皆様方の一層の御支援・御協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

平成 11 年 3 月

京都文化博物館館長

西 幸 道 雄

目 次

開館 10 周年によせて	京都府知事 荒巻禎一	… i
開館 10 周年にあたって	館長 岡本道雄	… ii
目 次		… iii
巻頭写真	博物館の施設とポスター	… vii
	写真でたどる 10 年のあゆみ	… xi
第 1 部 京都文化博物館の沿革		… 1
第 1 章 開館までの経緯		… 3
第 1 節 京都府文化懇談会の提言		… 3
第 2 節 建設構想の推移		… 3
第 3 節 京都文化財団の設立		… 6
第 4 節 施設の建設		… 7
第 5 節 開 館		… 7
第 2 章 10 年のあゆみ		… 9
第 2 部 京都文化博物館の活動		… 23
第 1 章 資料の収集・利用		… 25
第 1 節 資料の収集		… 25
(1)受 贈		… 25
(2)購 入		… 28
(3)製 作		… 29
(4)保管換え		… 29
(5)寄 託		… 29
(6)一時保管		… 30
第 2 節 資料の利用		… 30
(1)貸 与		… 30
(2)撮 影		… 38
(3)観 覧		… 38
(4)寄託資料一時持ち出し		… 38

第2章 展示活動	… 39
第1節 常設展示	… 39
(1)歴史展示	… 39
(2)美術・工芸展示	… 48
(3)別館展示	… 52
(4)その他	… 54
第2節 特別展示	… 55
(1)自主企画展	… 55
(2)共催展等	… 64
(3)特別陳列	… 83
(4)館外共催事業	… 84
(5)京都府民ギャラリー事業への協力	… 87
第3節 映画・ハイビジョン	… 88
(1)収 集	… 88
(2)上 映	… 90
(3)展 示	… 107
第3章 調査研究活動	… 109
第1節 調 査	… 109
(1)埋蔵文化財の発掘と整理	… 109
(2)歴史民俗資料調査	… 113
第2節 学芸員の活動	… 114
(1)博物館研究費による研究	… 114
(2)外部研究費・共同研究費等による研究	… 115
(3)出講・委嘱	… 117
(4)その他	… 123
第4章 普及活動	… 124
第1節 出版物	… 124
(1)京都文化博物館研究紀要『朱雀』	… 124
(2)京都文化博物館調査研究報告	… 127
(3)展覧会図録	… 128
(4)その他	… 131

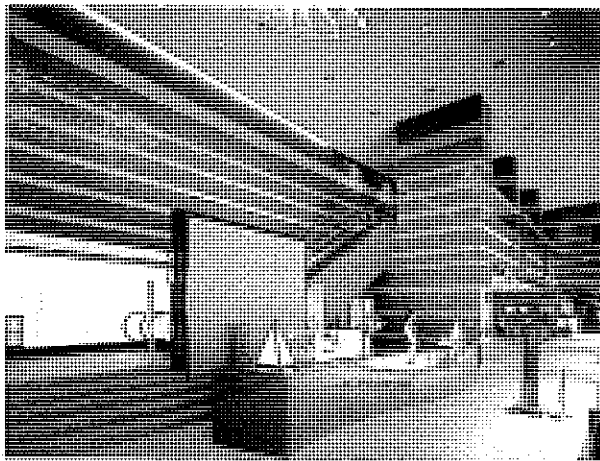
第2節 講演会・音楽会	… 132
(1)講演会など	… 132
(2)音楽会	… 137
第3節 博物館実習	… 143
第4節 その他の活動	… 144
(1)資料閲覧室	… 144
(2)文化情報コーナー	… 145
(3)生涯学習ボランティア	… 145
(4)京都文化博物館友の会	… 147
第5章 国際交流	… 148
第1節 陝西歴史博物館友好交流事業	… 148
第2節 その他の交流事業	… 151
第6章 ギャラリー事業	… 153
第1節 5・6階展示室	… 153
(1)京都文化財団展示室運営委員会	… 153
(2)5階展示室（美術・工芸作家の利用）	… 153
(3)5・6階展示室（一般の利用）	… 160
第2節 別館ホール	… 160
第7章 管理・運営	… 163
第1節 組織と職員	… 163
第2節 施設と設備	… 165
第3節 ろうじ店舗	… 167
第3部 資料編	… 169
1. 京都文化博物館関係年表	… 171
2. 入館者一覧	… 182
3. 特別展の開催状況一覧	… 186
4. 役員・職員一覧	… 189
5. 施設図面	… 199
あとがき	… 203

博物館の施設とポスター



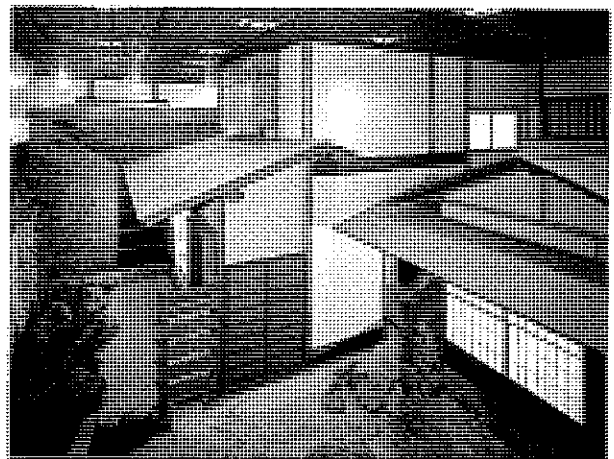
京都文化博物館全景

1



エントランスホール

2



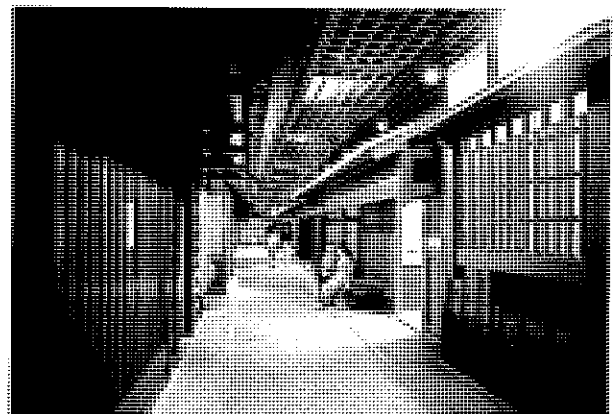
ろうじ店舗(1)

4



文化情報コーナー

3



ろうじ店舗(2)

5



京都文化博物館別館全景

6



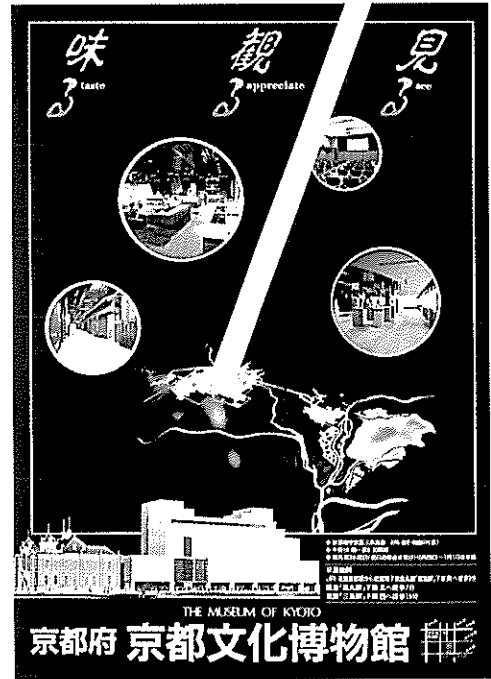
別館ホール

7



開館告知のポスター（1988年）

8



入館者誘致ポスター（1989年）

9

自主企画展のポスター



「気球があがった」（1988年）

10



「堂本印象展」（1989年）

11



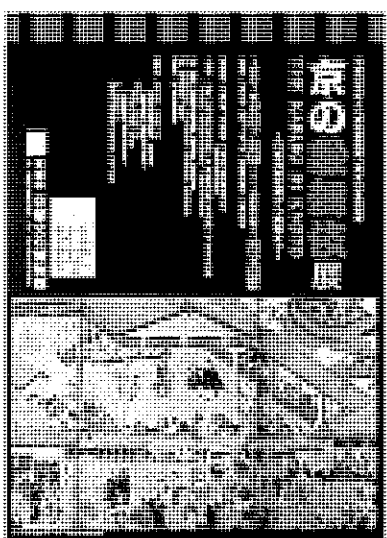
「海を渡って来た人と文化」(1989年) 12



「小合友之助・稲垣稔次郎展」(1990年) 13



「光源氏と平安貴族」(1991年) 14



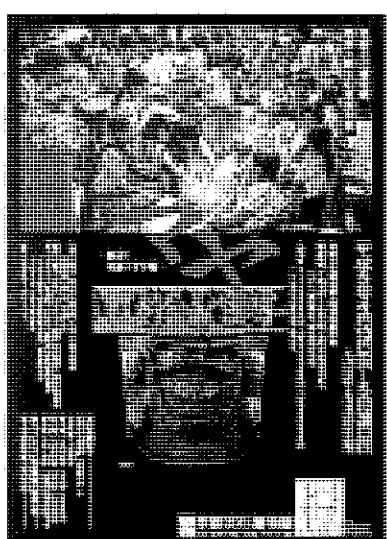
「京の歌舞伎展」(1991年) 15



「動物に魅せられた京の画家」(1992年) 16



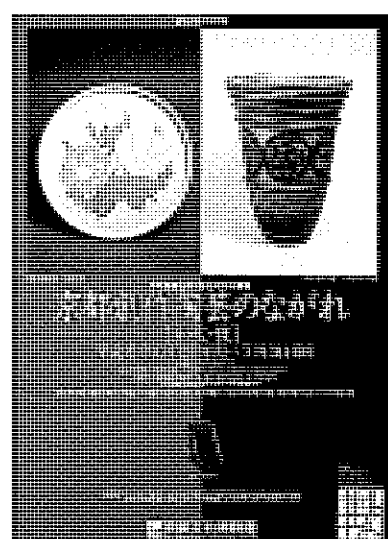
「壬生寺展」(1992年) 17



「マヤ」(1993年) 18



「京の美人画展」(1993年) 19



「京都創作陶芸のながれ」(1994年) 20



「大唐長安展」(1994年)

21



「小野竹喬展」(1995年)

22



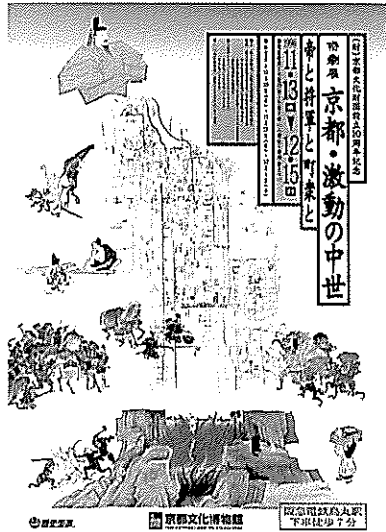
「桃山の春・光悦展」(1995年)

23



「池大雅展」(1996年)

24



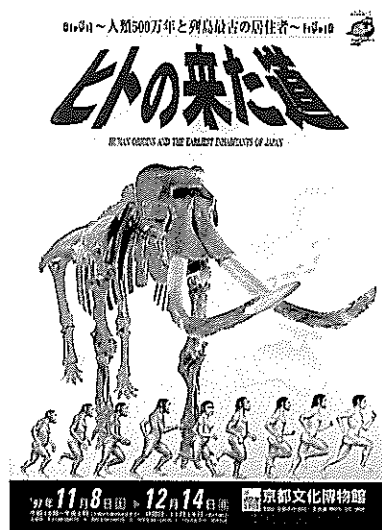
「京都・激動の中世」(1996年)

25



「婚礼のいろとかたち」(1997年)

26



「ヒトの来た道」(1997年)

27



「京の江戸時代」(1998年)

28



「京の絵師は百花繚乱」(1998年)

29

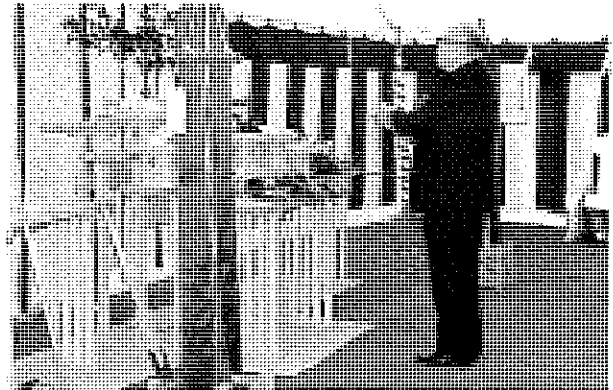
写真でたどる 10年のあゆみ

1986年度



1986年10月 博物館建設用地発掘風景

30



1986年10月 博物館起工式 (岡本理事長)

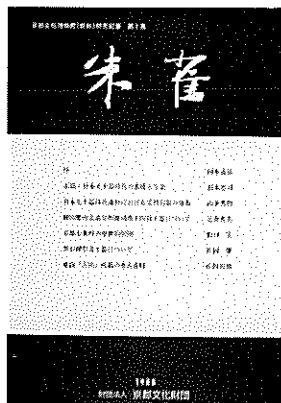
31

1987年度



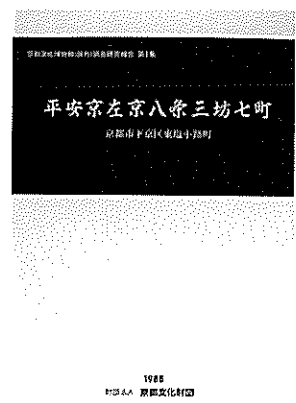
1987年4月 埋納銭の発見 (平安京左京八条三坊七町の発掘)

32



1988年3月 研究紀要『朱雀』第1集の刊行

33



1988年3月 『調査研究報告』第1集の刊行

34

1988年度



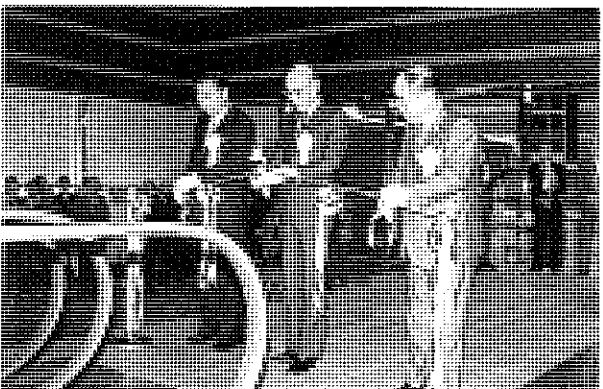
1988年7月 開館準備風景 (ろうじ店舗建設風景)

35



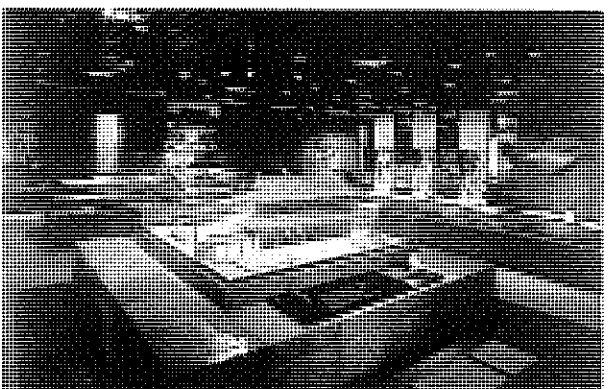
1988年9月 博物館竣工式

36



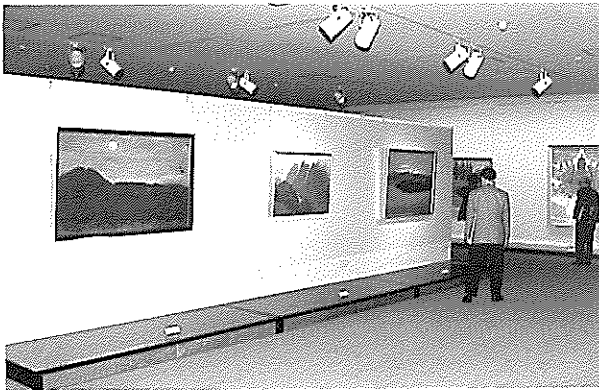
1988年9月 博物館開館式

37



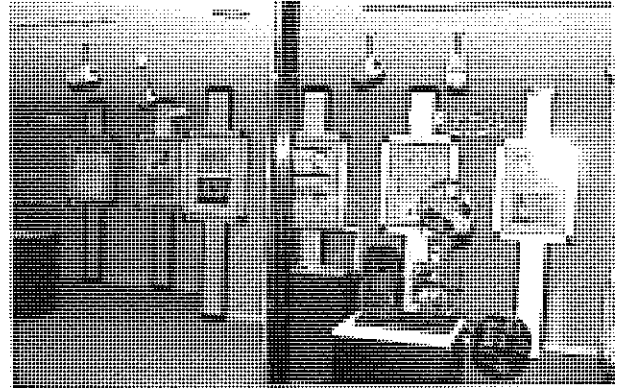
1988年10月 博物館開館 (歴史常設展示/2階展示室)

38



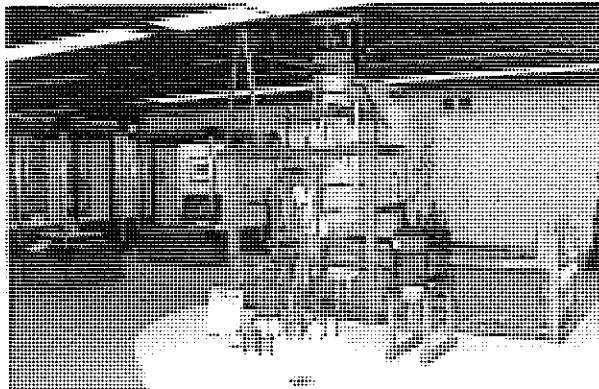
1988年10月 第1期現代京都の美術・工芸
(美術・工芸常設展示/3階展示室)

39



1988年10月 3階映像ギャラリー

40



1988年10月 開館記念「気球があがった」展会場風景
(4階展示室)

41



1988年10月 開館記念「千家十職展」会場風景(6階)

42

1989年度



1989年4月 「堂本印象展」特別鑑賞(4階展示室)

43



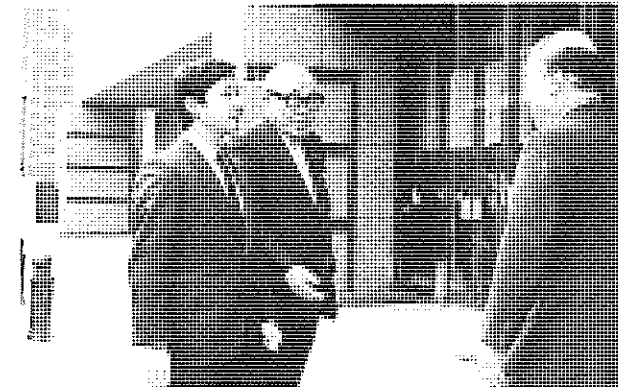
1989年10月 開館1周年記念
「海を渡って来た人と文化」展(4階展示室)

44



1989年10月 開館1周年記念事業(無料公開)

45



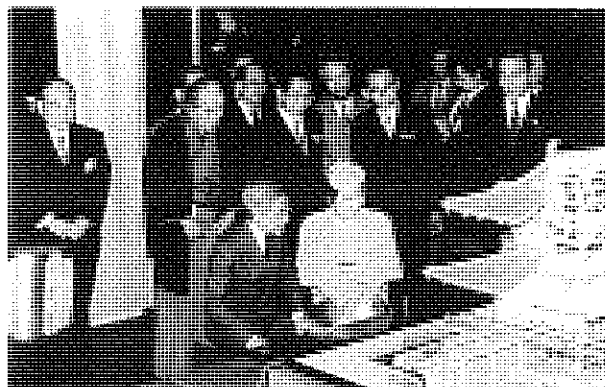
1989年11月 皇太子殿下ご来館

46

1990年度



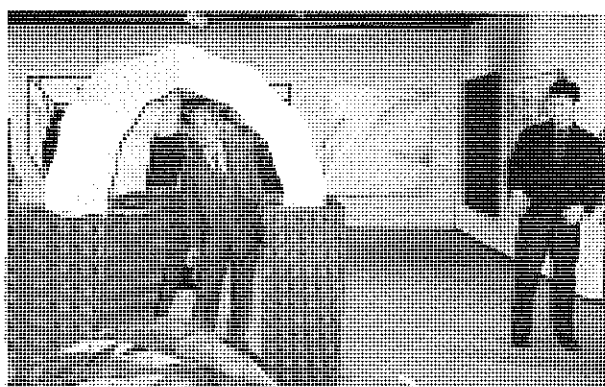
1990年4月 「小合友之助・稲垣稔次郎展」会場風景 (4階展示室) 47



1990年4月 天皇・皇后両陛下ご来館 48

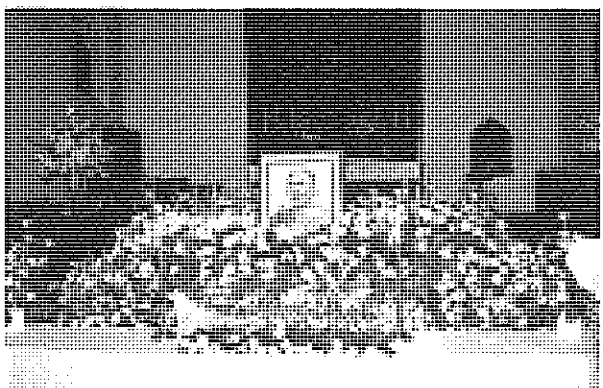


1990年10月 博物館友の会見学会 (知恩院三門改修工事) 49

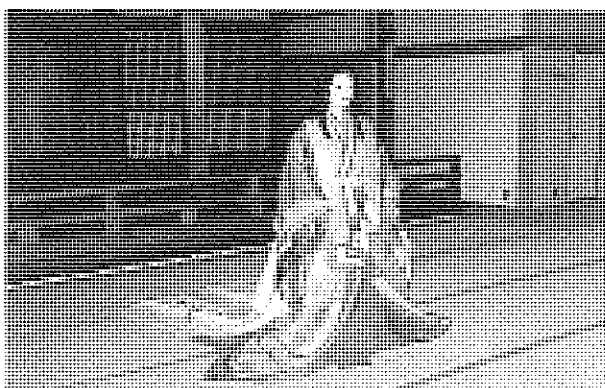


1991年1月 「第12回京都美術展」会場での吉田館長 (4階展示室) 50

1991年度



1991年8月 吉田館長の葬儀 (日本聖公会京都復活教会) 51



1991年10月 十二単の復元 (「光源氏と平安貴族」展) 52



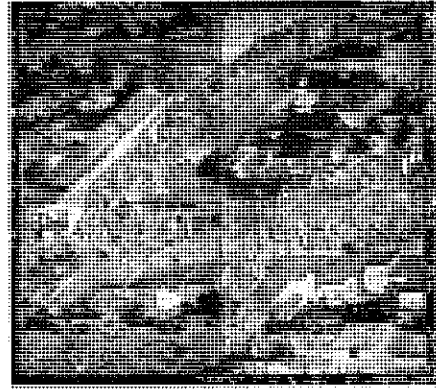
1991年10月 「光源氏と平安貴族」展特別講演会 「源氏の夕べ」 (瀬戸内寂聴氏/6階) 53



1991年11月 第10回日本映画講座 (小栗康平氏) (映像ホール) 54

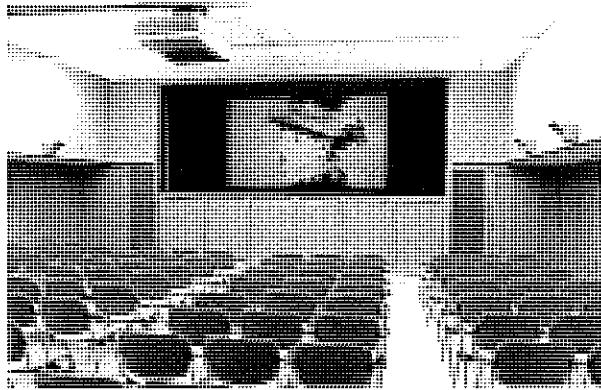


1991年12月 「京の歌舞伎展」会場風景 (4階展示室) 55

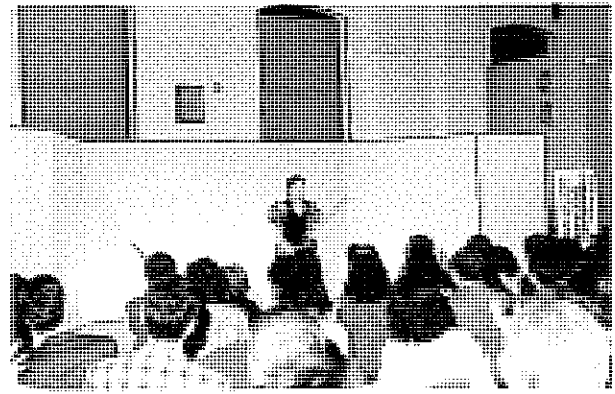


1992年3月 「誓願寺門前図屏風」の入手 56

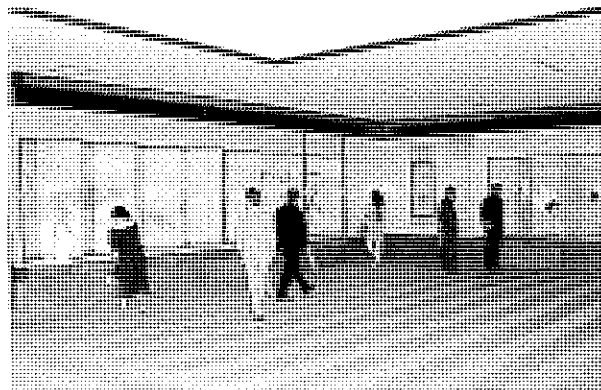
1992年度



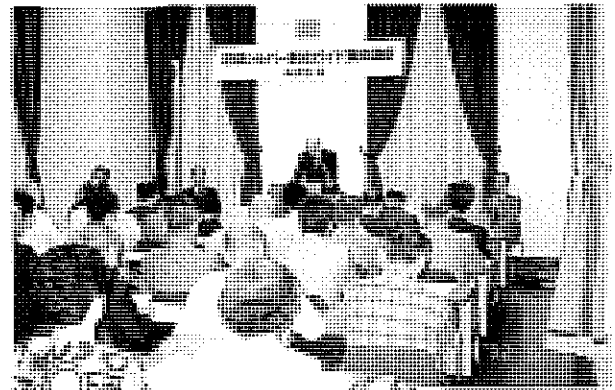
1992年4月 ハイビジョンの開設 (映像ホール) 57



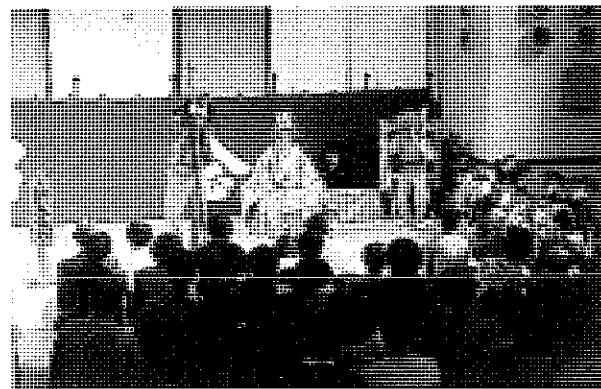
1992年4月 別館ホールでの音楽会 58



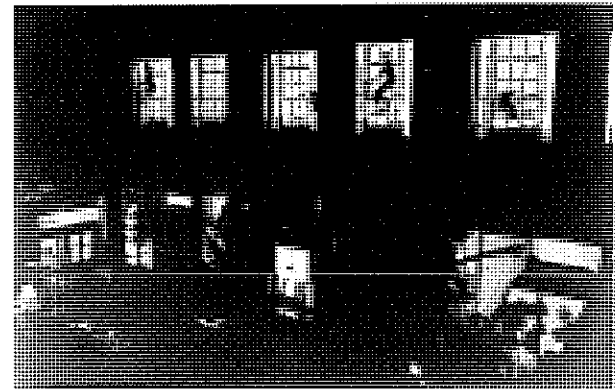
1992年5月 「動物に魅せられた京の画家」展会場風景 (4階展示室) 59



1992年6月 京都シルバー観光ガイド養成講座 (別館講義室) 60

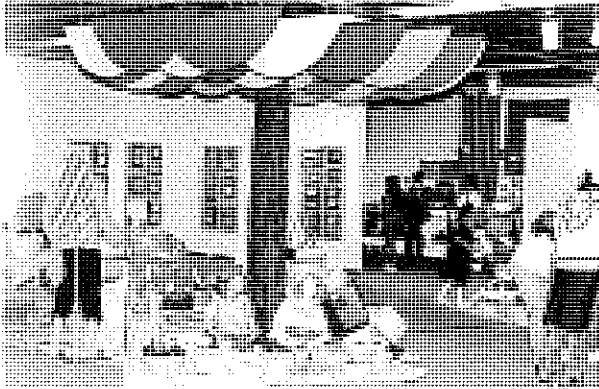


1992年11月 壬生狂言の上演 (「壬生寺展」関連) (別館ホール) 61



1992年12月 映像インスタレーション「ハウスウォッチ」の開催 (別館) 62

1993年度



1993年4月 「マヤ」 展会場風景 (4階展示室)

63



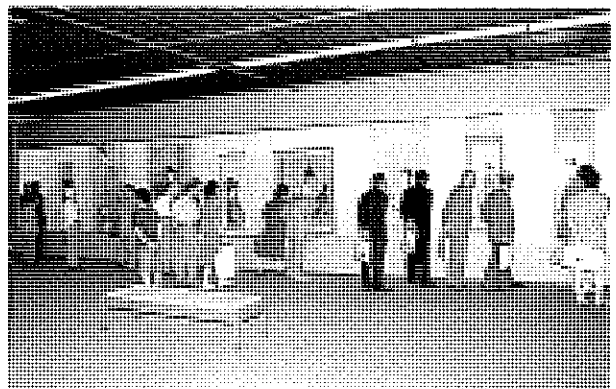
1993年5月 修学旅行夜の体験学習「けまり」の開催 (別館ホール)

64



1993年7月 伊藤大輔監督文庫展 (別館ホール)

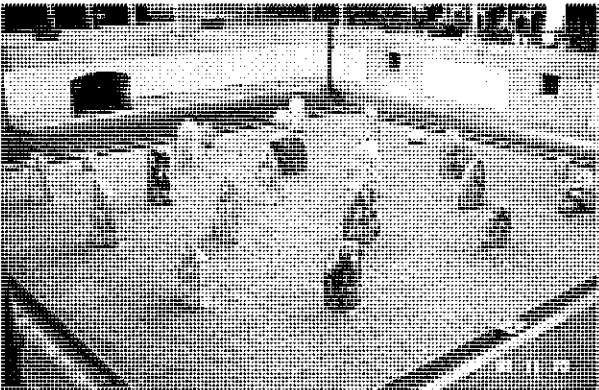
65



1993年9月 「京の美人画展」 会場風景 (4階展示室)

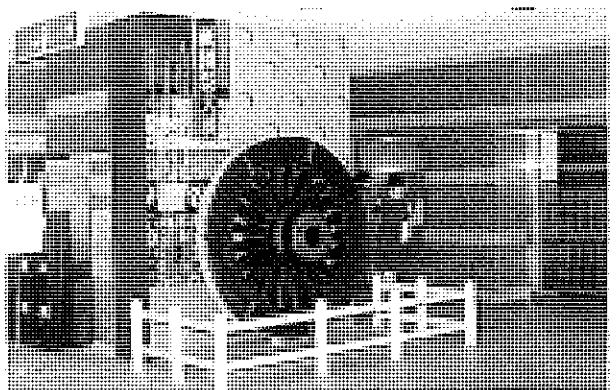
66

1994年度



1993年11月 別館中庭に石仏展示

67



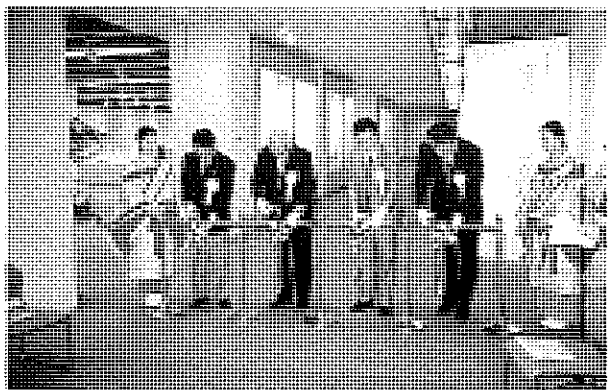
1994年4月 「祇園祭大展」 エントランスホールの展示

68



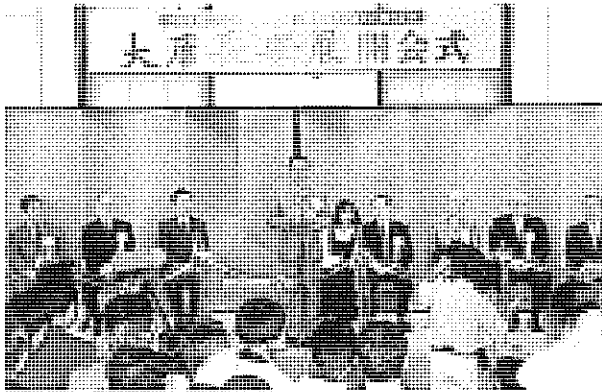
1994年4月 資料閲覧室での祇園祭関係コーナー (「祇園祭大展」会期中)

69

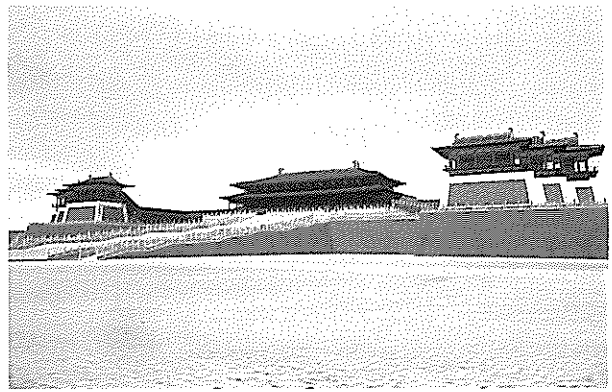


1994年6月 「京都創作陶芸のながれ」 展テーブルカット (4階展示室)

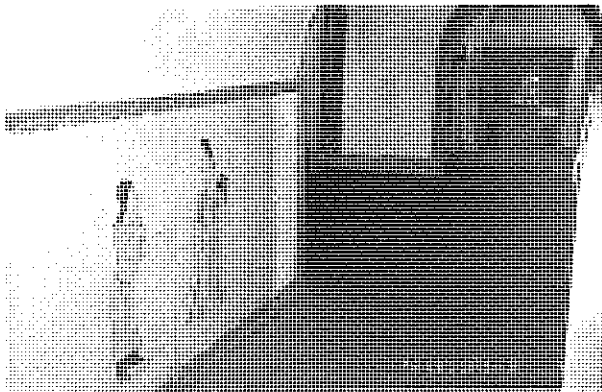
70



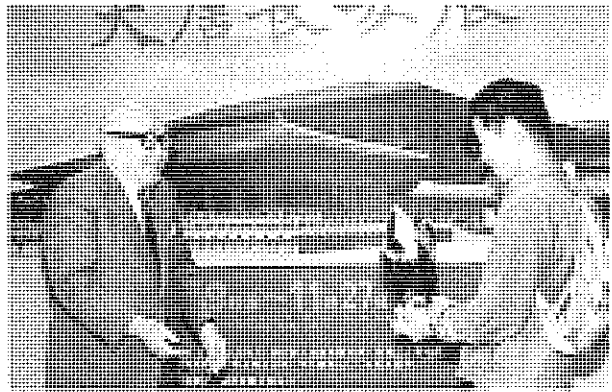
1994年9月 「大唐長安展」開会式で府政事務局長(別館ホール) 71



1994年9月 コンピューター・グラフィックスによる唐大明宮含元殿の復原(「大唐長安展」) 72



1994年9月 章懐太子李賢墓室の復原(「大唐長安展」) 73



1994年11月 「大唐長安展」入場者10万人突破(記念品を贈る岡本館長) 74

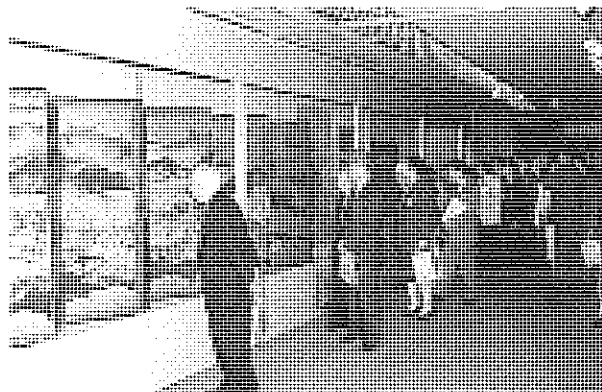
1995年度



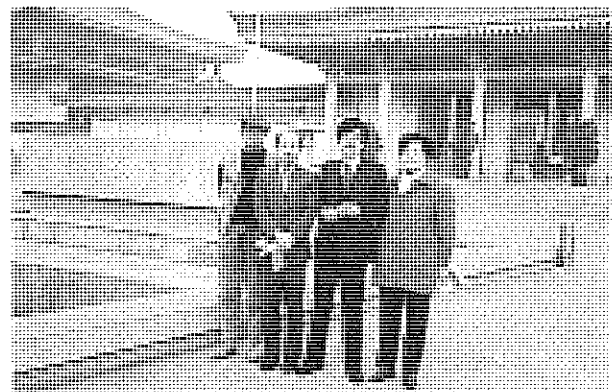
1994年12月 陝西歴史博物館と府政事務局長(議事室) 75



1995年4月 「小野竹喬展」会場風景(4階展示室) 76



1995年10月 「桃山の春・光悦展」会場風景(4階展示室) 77



1995年12月 友好交流事業による第1回陝西省派遣(陝西歴史博物館前で) 78



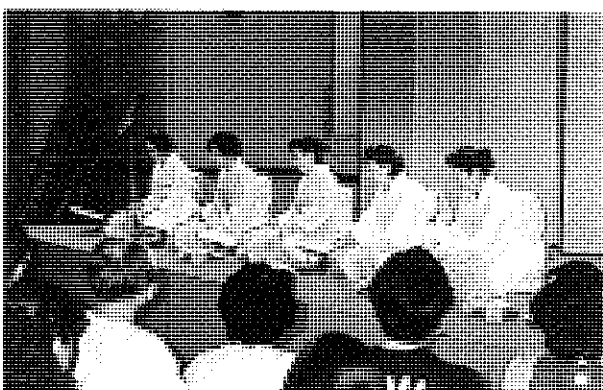
1996年1月 「'96 京都美術工芸展」会場風景（4階展示室） 79



1996年1月 映画誕生100年記念特別企画座談会
（別館ホール） 80

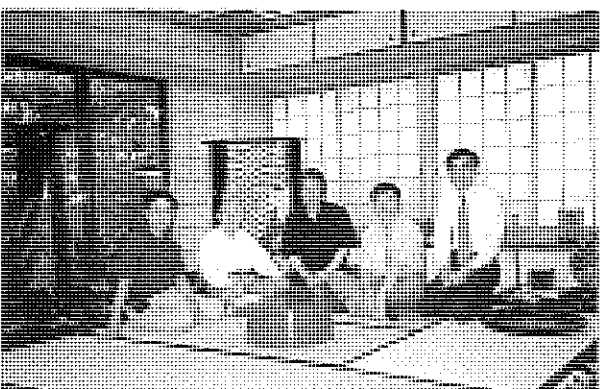


1996年2月 八幡市内里八丁遺跡の発掘調査 81

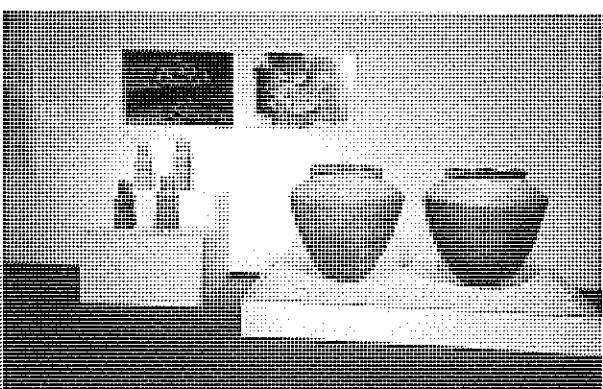


1996年7月 祇園祭宵山に箏曲を聞く夕べ（別館ホール） 82

1996年度



1996年7月 友好交流事業による陝西歴史博物館員の来館 83



1996年11月 「京都・激動の中世」展会場風景（4階展示室） 84

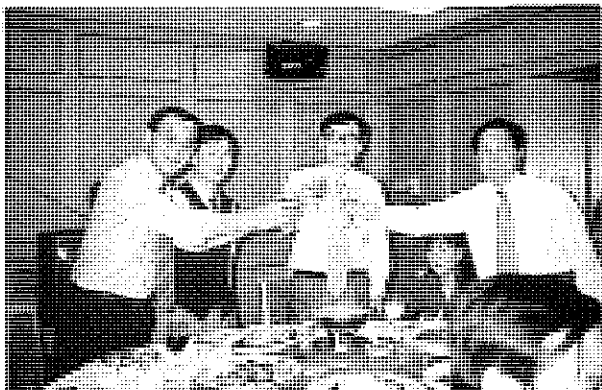
1997年度



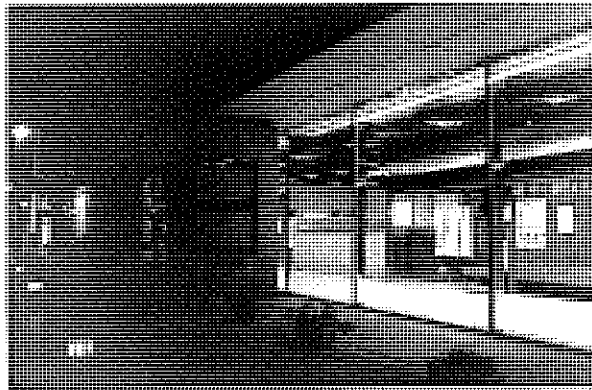
1997年4月 「婚礼のいとこたち」展列品解説（4階展示室） 85



1997年11月 京都映画講座（日下部五朗氏）（映像ホール） 86



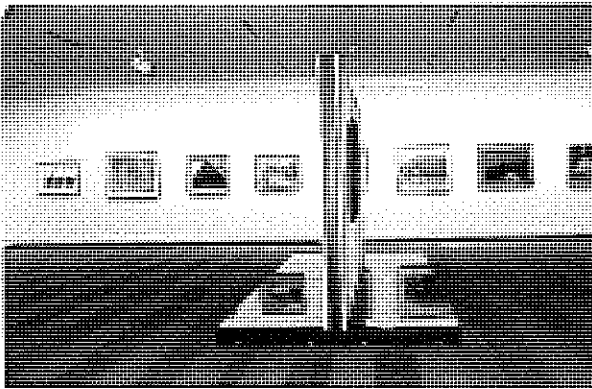
1997年9月 友好交流事業による第2回陝西省派遣 87



1997年10月 ろうじ店舗改修（高倉通から） 88

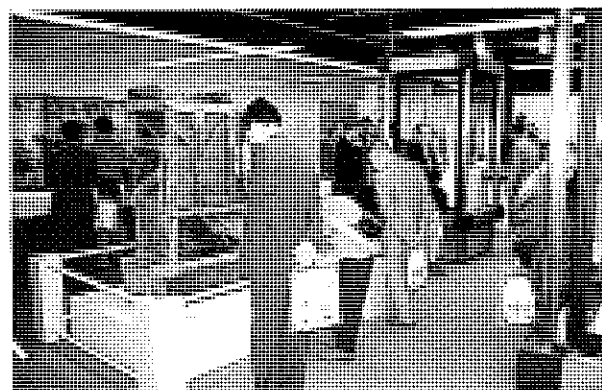


1997年11月 「ヒトの来た道」 展会場風景（4階展示室） 89

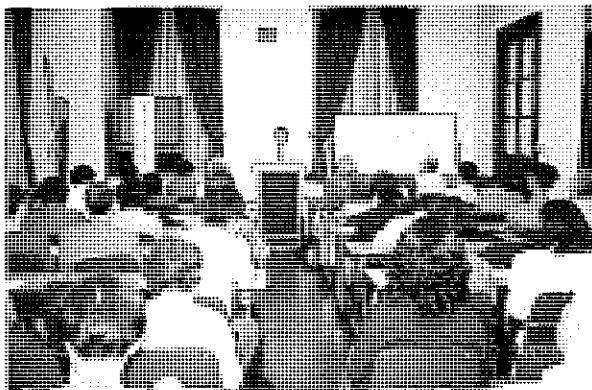


1997年11月 地球温暖化防止京都会議開催記念
「人と自然の共生—京の自然と風物」 展会場風景
（3階展示室） 90

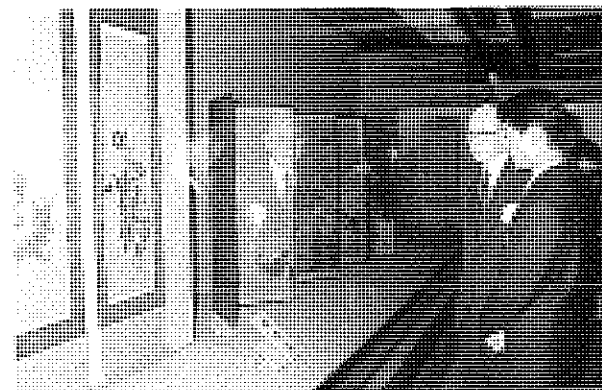
1998年度



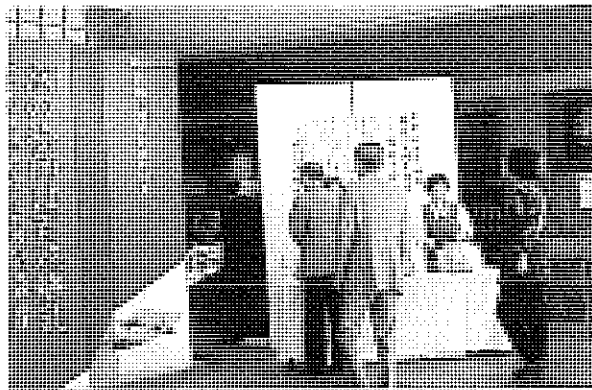
1998年4月 開館10周年記念「京の江戸時代」 展会場風景
（4階展示室） 91



1998年4月 「京の江戸時代」 展講演会（鎌田道隆氏）
（別館講義室） 92



1998年10月 開館10周年記念「京の絵師は百花繚乱」 展
会場風景（4階展示室） 93



1998年10月 開館10周年協賛博和会イベント 福引き
（エントランスホール） 94

第 1 部
京都文化博物館の沿革

第1章 開館までの経緯

第1節 京都府文化懇談会の提言

京都文化博物館設立の直接の契機となったのは、1980(昭和55)年7月に設置された京都府文化懇談会の審議と提言である。

京都府では、1875(明治8)年に設立された府立の京都博物館が1883(明治16)年に閉鎖されて以降、独自の博物館施設はなく、1963(昭和38)年に設置された府立総合資料館においてその機能を担ってきたが、1970年代に入り、経済的発展に即応した豊かな生活環境の整備が課題となり、歴史と伝統を誇る京都ならではの総合的な文化行政の展開が指向される下で、新たな博物館の設置構想が浮上してきた(この間、1970〔昭和45〕年に府立丹後郷土資料館が宮津市に、1982〔昭和57〕年には府立山城郷土資料館が相楽郡山城町に設置され、それぞれ地域の博物館としての機能を果たしてきた)。

京都府文化懇談会は、京都にふさわしい文化行政のあるべき姿や方向について、広く府民や有識者の意見を聞くため、知事の諮問機関として学界、芸術界、産業界、文化人等委員37名で組織され、岡本道雄京都大学名誉教授を座長に、「日本文化と京都文化」「地域社会と文化」「文化活動の振興」の3部会に分かれ、延べ17回にわたる熱心な討議が重ねられてきた。

そして、1981(昭和56)年10月、知事に対し「京都の文化は日本の文化―新たなる創造発展をめざして」と題する答申がなされた。

その答申では、文化振興の施策の中で、「京都文化の博物館を」として「京都には、多くの文化施設があり、各種の文化的催事を行なっているが、それらの展示内容で京都の歴史、美術工芸等、文化全体を総合的に紹介したものは少ない。京都文化として京都の歴史が通覧できるような歴史資料(考古資料を含む)、現代美術、伝統工芸および年中行事、風俗習慣などを合わせて展示・公開するとともに、各分野の研究、教育、啓発そして情報の収集、提供を行なう施設を建設する。」と提言された。

第2節 建設構想の推移

(1)概要

京都府による新たな博物館の建設に当たっては、京都府文化懇談会の討議と並行し、1981(昭和56)年度の予算において、京都の歴史を通覧し、京都の美術工芸品に常時接する場の提供と文化各方面の情報提供、研究、教育、啓発等京都文化振興のための中核的役割を果たす「京都芸術博物館(仮称)」の建設調査費を計上し、各種調査を実施するとともに、1981年12月に策定された「京都府第3次総合開発計画」においても、文化施策の主要なものとして博物館の建設が盛り込まれた。

そうした下で、1982(昭和57)年6月に京都府文化懇談会の3部会の意見を調整する総合部会の委員を中心とした有識者により「文化懇談会提言の実現に向けての会議」が開催され、提言の主要な柱である「京都文化の博物館」の建設に係る名称、場所、施設内容等や文化振興のための財団設立についての協議がなされたが、京都文化全体の殿堂となる施設として「京都文化博物館」という名称が適当ではないかとの提案が出されるなど、その実現に向け大きく踏み出すこととなった。

1983(昭和58)年度予算では博物館構想調査費が計上され、1983年6月の定例府議会において林田悠紀夫知事から「平安建都1200年記念事業の一つとして平安博物館の移管を受けて京都文化博物館の建設を

計画」との表明がなされた。また、同年10月には、財団法人古代学協会から建設予定地の一部（1,894 m²）も購入取得され、その建設に向け具体的に動き出した。

なお、同協会からは1986(昭和61)年4月に、旧日本銀行京都支店（辰野金吾・長野宇平治設計、1906〔明治39〕年建設、1968〔昭和43〕年5月平安博物館として開館、1969〔昭和44〕年重要文化財指定）の土地・建物や収蔵品が寄附されるなど、当博物館の建設に絶大な協力を得た。

(2)基本構想の策定

建設構想の具体化に当たっては、広く学識経験者等の意見を聞くため、全体構想を審議するための組織として「京都文化博物館(仮称)構想懇談会」（委員12名）が1984(昭和59)年1月に設置されたほか、部門別の構想を審議するため歴史部門専門委員会、ギャラリー運営委員会、フィルムライブラリー部門専門委員会、経営問題懇談会が組織され、議論が重ねられてきた。

第1回構想懇談会において議論された構想の原点は、日本文化のふるさととしての京都文化の殿堂づくりを基本理念として、①京都文化の担い手の育成、文化催事の開催・情報の収集提供など文化的環境整備の中核となる施設とする、②博物館機能、美術館機能、映像・情報センターなど多彩な機能と調和を図る、③移管された重要文化財施設との一体的運営に配慮する、④街中の博物館として夜間開館すること、などであった。

構想懇談会及び各専門委員会等では1983～84年度において精力的に検討が重ねられたが、構想懇談会では3回の会合を経て、1985(昭和60)年2月に基本構想が策定された。

基本構想では、その背景と目的を1994(平成6)年に迫った平安建都1200年記念事業にふさわしく、日本文化のふるさと京都の紹介と府民がつくる文化の殿堂とうたい、基本的なあり方として①京都の歴史の紹介、②京都の美術・工芸の紹介、③映像文化の集積、④文化情報の収集・提供、⑤京都の歴史、美術・工芸の総合的研究、⑥文化創造のセンターの6項目を基調として、具体的な施設の役割・機能・活動内容等がまとめられたが、その骨子は次のとおりである。

まず施設の役割としては、①京都の歴史が平易に理解でき、平均的な対象として小学校高学年または中学生程度以上を想定し、専門家にも興味を持てるものであること、②京都を活動の場とする現代美術・工芸作家の作品が常時鑑賞できるものであること、③京都の伝統文化、芸能、風俗習慣、伝統工芸などが理解できるものであること、④美術・工芸コンクール等のイベントが考慮されるものであること、⑤映画・映像文化資料が研究・鑑賞できるものであること、⑥京都の歴史、美術・工芸に関する総合的研究を行う施設であること、⑦映像・音響システムを利用した多様な学習と研究ができるものであること、⑧文化・学術の情報センターとしての機能を担うものであること、⑨伝統文化にも接することができるものであること、⑩生きた京ことばに触れることができるものであること、⑪都心の施設として展示・情報機能を中心に考え、本格的な収蔵庫は持たず、別の場所でこれを考えることにする、とされた。

このための施設内容として、①歴史展示室（京都の歴史に関する常設展示、企画展示、収蔵展示）、②美術・工芸展示室（京都の美術・工芸に関する常設展示、国際コンクールや現代美術を含む美術・工芸の企画展示のほか、作家・グループのための貸しギャラリーも考慮）、③映画上映用ホール（映画上映をはじめ講演会等の多目的ホール）、④伝統工芸品展示場（京都の伝統工芸品の紹介）、⑤情報・図書資料室（コンピュータを備えた歴史・美術・映像関係の図書資料室）、⑥ろうじ店舗（京情緒溢れた貸店舗ゾーン）、⑦その他、研究室・事務室・資料整理室・会議室・教室・駐車場等を備えることとされた。

部門別の事業展開としては、歴史部門は、歴史に興味を持てるような分かりやすく理解しやすい展示をめざし、学問的レベルにも配慮しながら、日本史のなかで京都が果たしてきた役割を念頭において、

京都のまちの変遷、宗教の都市・商業の都市としての京都の歴史、京都文化の各地への伝播、学問の都市、町衆の台頭とその文化、明治期の近代都市京都の歩みなどを主なテーマとして展示展開する。展示品については展示対象範囲が広いため、現物資料の収集には自ずと限界もあるところから、復元模型、図表、AV機器などを中心に構成するものとされた。

美術部門では、伝統産業を生み出し、生活慣習のなかに浸透しながら育まれてきた京都の美術・工芸について著名な現代作家を選抜してその作品を展示する常設展示を初めとして、物故著名作家や、中堅・新進作家の作品などを常設展あるいは企画展として紹介するほか、国際的なコンクール展、全国公募展なども企画・開催していくとともに、京都府が上京区千本今出川に設置していた京都府工芸美術陳列所（通称京都府ギャラリー）を移管充実することもあって、京都で活躍する美術・工芸作家の発表の場として貸展示室を開設するものとされた。また、美術情報の収集提供に努めるほか、事業運営を協議するため外部の学識経験者で構成する委員会を組織することなどが掲げられた。

映像部門については、かねてより京都府では映画産業発祥の地としての京都に映像文化の集積を図るべく、1971(昭和46)年度以降本格的にフィルムライブラリー事業として日本映画のフィルム、シナリオ、スチール写真等を収集してきており、これを核として映像文化センターを整備していくものとし、関係資料の収集を図るとともに、定時的な映画の上映や資料の公開・展示を進めることとされた。

文化情報部門は、館案内情報にとどまらず、京都文化に関する多様な情報収集を行い、来館利用者、専門研究者、館外利用者への提供に努めていくこととし、将来的には他の類似施設との情報ネットワーク化も指向するなど、情報文化センターとしての機能充実をめざすこととされた。

施設建設に当たっては、建設予定地の三条通界限は京都の中心に位置し、加えて明治期の近代洋風建築が集積した重要な場所であり、京都市では「三条通歴史的界わい景観地区」への指定も予定されていることもあって、周辺環境に調和したものとし、移管予定の旧日本銀行京都支店の建物との一体的運営が強調された。

さらに、管理運営のあり方として、利用者のための運営を第一として多様な利用に対応することとし、楽しく、親しめ、学べる博物館をめざして、夜間開館を考えるとともに休館日は可能な限り少なくすることが提言された。管理運営の主体は効率的・弾力的な運営を目的に第3セクターで行うが、文化資料の取り扱いについては、その円滑的処理のため京都府を絡めた運営を検討することとされた。

(3)基本計画の策定

1985年度には、基本構想の策定を受け、建設設計事業費予算を計上して施設建設に向けた基本計画の策定や建物・展示の設計業務が進められることとなった。

全体構想の具体的かつ詳細な検討に関しては、先の構想懇談会を改組して建設懇談会を組織するとともに、展示部門の中核となる歴史展示の内容に関しては、専門委員会を充実して新たに歴史部門懇談会を設けて検討を重ね、1985年5月には建設設計業務及び展示工事設計業務についてそれぞれ専門業者と委託契約が交わされた。こうして、同年8月には基本構想を踏まえて、施設の建設・開館・運営に直結する基本計画が策定され、施設の背景、基本理念、基本方針、施設部門構成、展示展開等が整理された。

この基本計画では、平安建都1200年や21世紀を間近に控えた歴史的中継点にあって、当博物館を、日本文化の中核をなす京都の美術・工芸や歴史などを総合的に紹介し、継承・発展させていく文化活動の拠点とすることが、京都全体の責務であるとした。さらに、これまで京都において文化の創造に大きな役割を果たしてきた“寄合の精神”を施設の構成や運営に反映させながら、京都を考え、文化を手にし、京都文化を創る新しい博物館としていくことを求めている。こうした考えを実現するための施設部門は、

①展示部門（歴史展示、美術・工芸展示、企画展示、収蔵展示）、②学習部門（映像展示、情報サービス、講座・教室）、③研究部門（研究室、図書室、収蔵庫等）、④普及部門（ギャラリー・ホール、ろうじ店舗、ミュージアムショップなど）から構成され、旧日本銀行京都支店の建物に隣接して、新たに地下1階、地上7階の施設を建設し、夜間も常時開館する博物館として、1988(昭和63)年秋の開館をめざすものとされた。

その後も建設懇談会や歴史部門懇談会では鋭意検討が進められ、1986年3月に完了した施設の建設設計や展示工事設計に活かされた。

第3節 京都文化財団の設立

1981(昭和56)年10月の京都府文化懇談会の答申では、文化振興の推進体制として、「文化振興のための財団により効率的で多面的な文化振興の施策を展開するなど、第3セクターにより建設、運営を進めていくことが相応しいものもある。」と述べられ、文化振興財団の設立が提言された。第3セクターの主流を占めるのは財団法人であるが、その運営は国や地方公共団体に比べて、一般的に独自性、進取性、弾力性、効率性に富むものとされ、京都府においては、すでに文化事業の分野でも京都府立文化芸術会館などが財団法人によって管理・運営されてきた。

そこで、京都府では、提言で述べられた多くの文化施策の具体化に向け、鋭意取り組まれてきたところであるが、博物館の建設構想の検討と並行し、その運営管理のあり方と関連して財団設立の検討が進められた。

京都は、千年の都として先人の不断の努力によって、日本文化のふるさととも言うべき多くの優れた文化を育み、活力ある地域社会の形成に大きな役割を果たしてきた。この豊かな京都文化を更に創造発展させていくことは現代の京都に生きる者に課せられた使命であろう。新たに設立される財団は、京都府文化懇談会の提言を受け、各界、各層の自発的、積極的な参加を得て、幅広い京都文化の創造活動とその育成・奨励を通じ、京都文化の創造発展に寄与していくための中核的な文化振興組織たることをその設立趣旨とし、具体的な事業展開にあたっては、新たに建設が計画されている京都文化博物館の管理・運営と、ここを拠点とした京都文化の振興に向けた多面的な活動を行うこととされた。

こうして、1986(昭和61)年7月22日に財団法人京都文化財団設立発起人会が開催され、財団の目的、事業、役員体制、当面の事業計画、予算等の審議と寄附行為の議決を受け、設立代表者の申請に基づき同年8月5日に京都府教育委員会の設立許可を得て、正式に発足した。財団の役員には、文化芸術に関する作家、有識者、関連業界人等からなる理事19名、監事2名が選任され、理事長には文化懇談会の座長でもあった岡本道雄京都大学名誉教授が就任された。この財団の基本財産には全額京都府からの出捐金を当てた。財団の事務局は当初数名でスタートしたが、同年10月には博物館の管理運営を前提として古代学協会の専門職員等を移管採用して、体制の充実を計った。当面は本部事務局を二条城北側の仮事務所に置き、局長以下、総務課、事業管理課、企画調査課及び歴史研究室の4課室という体制で、府の所管である文化芸術室とともに、京都府からの委託を受けた開館準備作業に当たった。併せて「京の四季」事業や埋蔵文化財の発掘調査などの業務にも取り組んでいった。

なお、1988(昭和63)年3月には寄附行為の一部が改正され、財団法人京都府文化事業団で受託管理されていた京都府立文化芸術会館についても、同事業団を発展的に解散し、京都文化博物館とは別途に建設の構想が進められていた新設の文化施設(京都府立府民ホール)とともに、当財団で受託管理することとした。京都府設置の3文化施設を当財団において一元的に管理・運営するためであり、これらの施設

活動を核として京都における文化・芸術全般の振興を担うこととなった。その後、1991(平成3)年7月に故堂本印象画伯の作品の大半を所蔵し公開してきた「堂本美術館」(1966(昭和41)年開館)からその土地・建物・作品などが京都府に寄附された。当財団では同年8月にその管理を京都府から受託し、1992(平成4)年4月に新たに「京都府立堂本印象美術館」として開館して以来、その運営に当たり、今日に至っている。現在、京都文化財団の事務局は京都文化博物館内にあり、博物館の総務課が兼務して四つの施設の管理・運営の統括業務を行っている。

また、博物館を初め京都文化財団が管理運営する文化施設の事業活動をより充実させ、活性化させることを目的に、1989(平成元)年4月には「(財)京都文化財団賛助会」(発起人代表 岡本道雄)を設けた。文化振興に理解のある各方面からの賛助会費を財団基金として積み立てるもので、1998(平成10)年3月末日現在、賛助会員は22企業となっている(なお、1998年度において、理事会及び賛助会会員各位の承認を得て、開館10周年を迎える当館及び府立府民ホールの記念事業にその一部を活用することとした)。

第4節 施設の建設

1986(昭和61)年度には、施設の建設や展示資料の製作等ハード面の整備に着手するとともに、以後は開館に向けた様々な準備作業が進められた。

1986年4月に財団法人古代学協会から旧日本銀行京都支店の建物や土地などが京都府に寄附されたのを受け、同年6月には博物館の本体となる新館の建設に先立ち、建設予定地の埋蔵文化財発掘調査が開始された。当用地は、平安京の左京三条四坊四町にあたり、平安時代末には以仁王の邸宅であった高倉宮が、中世以降は曇華院が立地していた場所として知られており、これまでに当地の発掘調査に実績のある財団法人古代学協会に委託して、同年10月まで調査が実施された(巻頭写真30)。

そしていよいよ京都府において府議会の議決を含む業者選定の事務手続きを経て、10月30日に建設起工式を挙行(巻頭写真31)、新館の建設工事に着手した。

また、これより先、新館とともに博物館の別館として有機的・一体的に公開運用していくものとされた旧日本銀行京都支店についても、同年6月には京都府教育庁文化財保護課の直接施工によって外壁洗浄や屋根の葺替え等の補修と、1906(明治39)年の竣工当時の姿への修理復元工事に着手するとともに、新館建設工事の発注にあわせて充実整備のための工事も開始された。

こうして、新館の建設工事は着工以来1年6ヵ月後の1988(昭和63)年3月に完了し、別館の修理・整備工事も同年9月に完了した。

一方、建物本体の着工と並行し、館内設備として来館者に鑑賞・利用されることとなる展示資料等の製作業務も進められ、1986年10月には歴史常設展示室の檜原廃寺八角塔、羅城門、武者行列などの復元模型を初めとする展示品や歴史展示解説映像機器類、ろうじ店舗造作等が委託発注された。なお、1987(昭和62)年3月には美術・工芸展示設備、映像展示室造作、諸案内表示等も発注されている。その後も文化情報システムのソフトやハードの整備、博物館サイン類の製作委託を行い、順次開館への準備が進められた。

第5節 開館

1988(昭和63)年4月1日には、施設の完成とも相まって、京都文化博物館が発足し、その運営管理体制として、総務課、事業課、資料課、学芸第一課及び学芸第二課の組織を確立するとともに、関係諸規程を整備し、京都府から博物館施設の無償貸与を受けた。また、京都府においては博物館の設置に伴い

既存の文化関連施設の機能整理が行われ、京都府立総合資料館の業務のうち美術工芸・歴史民俗資料等の文化資料の収集、管理、展示公開業務については博物館に委託し、府が所有する文化資料の有効な活用を期することとなった。その後も、開館記念事業の準備、施設案内サイン類の整備、開館の広報など鋭意準備作業を行い、9月12日には関係者多数の出席を得て施設の竣工式を挙行了（巻頭写真36）。

その後、各階で開催する展覧会の準備やコンパニオンの研修、全館にわたるランニングテストなどを行い、すべての準備を終えて、9月30日の開館式の運びとなった（巻頭写真37）。

こうして、京都文化博物館は多くの関係者や団体等の努力と理解と協力のもとに、1988年10月1日に名実ともに開館して、一般公開を開始した。

第2章 10年のあゆみ

①1988(昭和63)年度

この年の4月1日、京都文化博物館が発足し、職員は開館に向けて業務を開始した。9月30日に開館式典を挙行し、翌10月1日から一般に公開した。開館の1ヶ月は全館を利用して記念展を開催したため、10月だけで74,158人の入場があり大変賑わった。結局、この年度は6ヶ月間で特別展示室および常設展示室の入場者数が174,432人、5・6階の貸室入場者数が57,679人で、計232,111人であった。

調査研究活動の主体となる埋蔵文化財発掘調査では、平安京右京五条一坊・皇嘉門大路（1989年3月10日～4月10日）の調査を行った。また調査研究活動の成果を発表する場として『京都文化博物館研究紀要 朱雀』第2集、および『京都文化博物館調査研究報告』第4集を刊行した（調査研究活動は、京都文化財団発足当初から歴史研究室で実施してきており、『研究紀要』第1集及び『調査研究報告』第1～3集は、いずれも1988(昭和63)年3月に刊行している）。研究紀要は職員の自由な研究活動の成果の発表に、調査研究報告は埋蔵文化財発掘調査の報告書として現在まで続いている。

なお1989(平成元)年2月24日は昭和天皇大喪のため臨時休館した。

◇京都文化博物館開館（10月1日）

地上7階、地下1階の本館と、旧日本銀行京都支店の別館（重要文化財）からなる総合博物館として開館した。1階はろうじ店舗、2階は歴史の常設展示室、3階は美術・工芸の常設展示室と映像ギャラリー・映像ホール、4階は特別展示室、5階と6階は貸ギャラリー、別館は建物を生かした所蔵品展示室としてスタート。開館時のみ貸ギャラリー部門は特別展会場として使用され、全館で開館を記念する下記の催しが開催された。このうち「気球があがった」展と「京の四季」展は、会期中に府下で開催された第43回国民体育大会に協賛してスポーツ芸術競技に参加した。従って両展覧会には、京都府・京都市・京都文化財団とともに、日本体育協会・文部省・日本スポーツ芸術協会が主催に加わった。

2階 歴史常設展示「京都の歴史と文化」（10月1日～／巻頭写真38）

3階 美術・工芸常設展示「第1期現代京都の美術・工芸展」（10月1日～12月25日／巻頭写真39）
映像ホール「映画、よき時代の京都作品特集」（10月1日～11月5日）

4階 自主企画展「気球があがった—近代京都の一世紀—」（10月1日～11月6日／巻頭写真41）

5階 特別展「京の四季」（10月1日～10月30日）

6階 共催展「千家十職—近代の名品を中心に—」（10月1日～10月30日／巻頭写真42）

別館 重要文化財の建物と所蔵資料の公開（10月1日～）

なお開館時間は午前10時～午後8時30分、休館日は毎月第3水曜日、年末年始（12月28日～1月1日）としてスタートした。

◇第1回京都府映像文化センター運営委員会を開催（12月16日）

映像部門では学識経験者、映画製作及び養成機関の関係者、地元映画興業協会理事、京都府所管室長で構成された映像運営委員会を設置し、その初めての会合が開かれた。委員会では映像資料の収集、上映、研究等の活動についての監修を得ている。委員会はその後、毎年定期的で開催されている。

②1989(平成元)年度

開館2年目に入った当館は、特別企画展として学芸第一課が「一美の求道・具象から抽象へ一堂本印象展」(4月22日～5月21日/巻頭写真43)を開催、学芸第二課が「海を渡って来た人と文化—古代日本と東アジア—」(9月15日～10月22日/巻頭写真44)を開催し、学芸第一・二課がそれぞれ年1回自主企画展を行う体制が軌道にのった。またこの年は関西博物館連盟・日本博物館協会・美術館連絡協議会に加盟し、既設の博物館との交流をはかる体制を整えた。特別展示室および常設展示室の入場者数は164,209人で前年より若干減少したが、5・6階の貸室入場者数が129,952人と大幅に増加し、計294,161人となり全体として順調に増加した。

埋蔵文化財の調査は、平安京左京五条二坊十六町の発掘調査(6月1日～7月31日)を実施した。

◇京阪バス定期観光バスの乗り入れ開始(5月10日)

京阪バスが運行している定期観光バス「夜の京都観光」のひとつに、京都文化博物館の常設展示やろうじ店舗を見学した後、神泉苑で京料理を食べ、東山ドライブウエーで山頂にゆき市内の夜景を展望する夜のコースが新設された。休館日以外は毎日運行されており、コースは一部変更されているものの現在まで続いている。

◇関西博物館連盟に加盟(5月24日)

関西博物館連盟は、近畿・中国・四国地方の国公立博物館が加盟する組織で、博物館相互の交流と親睦を主な目的としている。開館まもない当館としては他館の事例などを研究し、また職員相互の交流を図るため、同連盟に加盟した。

◇日本映像学会関西支部夏期ゼミナールを共催(7月12日～14日)

夏期ゼミナールは1979(昭和54)年より日本映像学会関西支部と京都府が主催で映画研究者を対象に毎年夏期に開催してきたもので、1988(昭和63)年からは京都文化博物館も共催することになった。京都府ゼミナールハウスを会場に9作品を集中して鑑賞し、シンポジウムを行うもので、その後も共催を続けている。

◇日本博物館協会に加盟(8月1日)

日本博物館協会は全国の国公立、法人、会社、個人などが運営する博物館や園施設が加盟する全国的な組織で、博物館相互の交流・職員の研修等を目的としている。開館まもない当館としては他館の事例などを参考にし、また職員相互の交流を図るため、5月の関西博物館連盟に続いて同協会に加盟した。なお当館は常設展示の面積比で歴史博物館として登録された。

◇皇太子殿下来館(11月12日/巻頭写真46)

京都に開設されたスタンフォード日本センター開所式に出席するため入洛された皇太子殿下は、それに先立ち当館に来館され、3階美術・工芸展示室と2階歴史展示室を約1時間30分にわたって観覧された。

◇美術館連絡協議会に加盟(12月9日)

美術館連絡協議会は全国の公立美術館が協力することを目的に1982(昭和57)年に発足した組織で、展覧会の共同企画や巡回、学芸員の研修や研究費助成等を行っている。これらの活動は当館の今後の運営に必要となるため、加盟した。

③1990(平成2)年度

開館以来空席となっていた館長に吉田光邦氏が4月に就任し、組織の体制が整った。当館の運営は入館料などの事業収入と京都府からの受託・補助金収入をもとに行われているが、昨年度まで事業収入が当初の見込みより下回ったので、受付の定点を減らすなどの館運営改善事業を実施した。そのため自主企画展は1回となり、学芸第一課が「一染の創作—小合友之助・稲垣稔次郎展」(4月7日～5月6日/巻頭写真47)を開催するにとどまった(なお特別企画展を年1回にしたのはこの年だけで、翌年から年2回に戻った)。またこの展示以降、4階特別展示室の閉室時間がこれまでの午後8時30分から午後6時に短縮された。なお吉田館長の強い希望で博物館に資料購入費が予算化された(1991年度まで)。

この年の入館者数は、特別展示室および常設展示室が171,413人、5・6階の貸室が97,885人で、計269,298人となり前年に比べわずかに減少した。

埋蔵文化財の調査は、平安京右京五条二坊九町・十六町(4月2日～7月7日)と、平安京右京六条四坊九町・五条大路(8月6日～12月28日)の発掘調査を実施した。

◇吉田光邦氏、初代館長に就任(4月1日)

開館以来空席となっていた当館館長に京都文化財団理事で京都大学名誉教授の吉田光邦氏が就任した。同氏は科学技術史の第一人者で、また美術・工芸、伝統的産業、デザインなど文化、芸術の広範な分野での博識で知られる高名な学者である。なお同時に、同じく京都文化財団の理事で事務局長の東條壽氏が副館長に就任した。

◇清水九兵衛氏「朱装」除幕式(4月21日)

彫刻家・清水九兵衛氏の作品「朱装」が館のイメージを象徴したモニュメントとして正面入口の南横に設置され、除幕式が行われた。これは日本宝くじ協会の協力によって実現した。

◇天皇・皇后両陛下来館(4月22日/巻頭写真48)

天皇・皇后両陛下が京都府地方事情視察の一環として当館に来館された。1階ろうじ店舗、2階歴史展示室、3階美術・工芸展示室をご観覧の後、7階サロンにて京都文化財団の各理事と約40分にわたって懇談された。

◇祇園祭の宵山に箏曲を聞く夕べ開催(7月15日～16日)

別館の利用拡大の一環として、「祇園祭の宵山に箏曲を聞く夕べ」を開催した。これは祇園祭の鉾町に近い当館の立地を生かし宵山の数日間、別館を無料開放し、生田流宮城会麗調会浅野愛子社中の協力を得て琴を演奏していただく催しで、三条通を歩く人が気怪に立ち寄れる演奏会として以後毎年開催されている。

◇開館2周年記念事業実施(10月1日)

開館2周年記念として、開館記念日の10月1日に4階特別展「京町家—歴史を未来へ—」と3階・2階・別館の常設展を無料公開した。当日の入場者は2,125人であった。

◇別館ホールでギャラリーコンサートを開催(10月6日)

別館の利用拡大の第2弾として、ギャラリーコンサートを開催した。これは別館の建物が明治の洋風建築で、その醸し出す重厚な雰囲気クラシック音楽と調和することから、京都文化財団理事で京都市立芸術大学教授の岩淵龍太郎氏の指導と協力で実現した。内容は「歴史と共に〔音楽〕を楽しむ音楽会シリーズ」と題するもので、最初に岩淵龍太郎氏がテーマにそった概説を述べたのち、プロや新人の音楽家が演奏するもの。このコンサートはこれ以後、年6回、偶数月の夜に開催されており、現在も続い

ている。

◇第9回日本映画講座を当館で開催（10月6日～27日）

「日本映画講座」は1982(昭和57)年より日本映画講座実行委員会、日本映画監督協会、京都府が共催で映画研究者、愛好家を対象に京都会館の別館で開催されてきたが、本年の第9回から当館が会場になった。毎年4日間、それぞれ映画監督を講師に招き、講演と作品上映を行い、1992(平成4)年の第11回まで開催された。

◇4階特別展示室に展示ケースを増設（12月12日）

4階特別展示室では開館以来、美術工芸や歴史等の分野でさまざまな展覧会を開催してきたが、保有する展示ケースの絶対数が少なく、その都度ケースを臨時に増設して対応してきた。しかし臨時ケースの増設は経費がかさみ無駄が多いので最小限にとどめ、恒久的ケースを増設した。増設にあたってはさまざまな展覧会に対応できるようにするため、移動の可能なケースとした。これ以後、特別展示の臨時ケース設置は減少し、展覧会経費の節約に効果が出ています。

④1991(平成3)年度

前年4月に館長に就任したばかりの吉田光邦氏が7月30日に逝去された。就任後わずか1年4か月での逝去は、惜しんでも余りあるものであった。この年の自主企画展は開館3周年記念として行われ、学芸第二課が「光源氏と平安貴族－栄華の日の虚・実－」（10月10日～11月17日）を開催、学芸第一課が「京の歌舞伎展－四条河原芝居から南座まで－」（12月7日～1月12日／巻頭写真55）を開催した。特別展示室で開催された展覧会には「南ロシア騎馬民族の遺宝展」や、「ゴーギャンとブルターニュの画家たち」等の海外から作品が来たものがあり、この年の入場者数は、特別展示室および常設展示室が276,371人と大幅に増加、5・6階の貸室は115,441人で、計391,812人となり、開館以来の最高を記録した。

埋蔵文化財関係では、平安京左京四条四坊四町（4月1日～10月12日）の発掘調査と、静岡県磐田市匂坂中遺跡の遺物整理をした。

◇竹田分室から清水分室へ移転（5月23日～25日）

1986(昭和61)年5月以来、研究室や埋蔵文化財整理室、考古資料等の収蔵場所として利用してきた伏見区七瀬川町の竹田分室（旧京都府職員住宅）が、京都南社会保険事務所に改築されることとなり、分室を東山区白糸町の旧京都府立陶工高等技術専門校の建物の一部に移した。コンテナ約8500箱の考古資料やその他の什器類の移転作業に3日間を要した。「清水分室」と名付けられたこの新たな分室は、埋蔵文化財整理室1室、考古資料収蔵室2室、博物館展示具等収蔵室1室、出版物保管室1室、発掘機材保管室1室、管理人室1室からなり、およそ530㎡を占める。

◇吉田館長逝去（7月30日）

初代館長吉田光邦氏は、ドイツ連邦共和国のハイデルベルク市で開催される「日本きもの染織工芸展海外展」のオープニング式典出席のため5月4日から訪欧していたが、5月11日体調不良のため現地で入院された。5月17日帰国後、京大病院に入院し治療されていたが、7月30日急性心不全のため逝去された。享年70歳。葬儀は8月2日、岡本道雄京都文化財団理事長が葬儀委員長となって日本聖公会京都復活教会で行われ、多くの弔問客が集まり別れを告げた（巻頭写真51）。

◇「特集新興キネマの世界」開催（9月8日～11月7日）

東京国立近代美術館フィルムセンターから新興キネマ製作の28作品の貸与を受けフィルムセンター所

蔵日本映画選集として特集上映を行った。同時に「フィルム・アーカイブとは、映画の保存について」という演題でフィルムセンター主幹の大場正敏氏の講演会などを併催した。

◇別館ホールを改修（1月25日～4月6日）

別館ホールはこれまで常設展示の一部としてモニュメントなどが展示されていたが、多目的に利用するため改修工事を行った。ホール中央のモニュメントを撤去してフリースペースとし、照明・音響や移動式舞台などの設備整備を行った。以後、館主催の音楽会のほか貸ギャラリー、特別展の開会セレモニー、講演会の会場、特別展第二会場などとして多目的に利用できるようになった。

⑤1992(平成4)年度

平安建都1200年記念の展覧会として1994年秋に「大唐長安展」が当館で開催されることが決まり、5月に同展の第1回実行委員会が開催された。また9月には第1回訪中団が派遣され、記念展の準備が軌道に乗った。この年の自主企画展は学芸第一課が「動物に魅せられた京の画家—岸竹堂・西村五雲・山口華揚—」（5月16日～6月14日／巻頭写真59）を開催、学芸第二課が「壬生寺展—大念仏狂言と地藏信仰の寺—」（11月3日～12月6日）を開催した。なお、美術館連絡協議会の巡回展「日本の抽象画—1910-1945—」（8月22日～9月13日）は、同協議会の呼びかけで発足した研究部会で資料の調査と展覧会の企画が進められ、当館から学芸第一課の長舟洋司学芸員が参加した。

この年の入場者数は、特別展示室および常設展示室が233,526人、5・6階、別館の貸室が109,441人で、計342,967人となり前年に比べ微減となった。

埋蔵文化財関係は、京都府綴喜郡田辺町の宮ノ口遺跡（7月13日～9月11日）の発掘調査と静岡県磐田市の勾坂中（北、南区）遺跡の発掘資料整理を実施した。

◇ハイビジョンシステムを導入し上映を開始（4月6日／巻頭写真57）

将来の映像文化の一翼をになうハイビジョンシステムを3階映像ホールに導入した。映像ホールではこれまで京都府所蔵の映画を上映してきたが、これに加えハイビジョンソフトも上映することになり、多様な映像作品の紹介が可能になった。10月には開館4周年記念企画として「映像は今—メディアとしてのハイビジョン」を開催するとともに、京都で開催されたワシントン条約第8回締約国会議にちなんで制作された絵画群を素材にしてハイビジョンソフト「いのち賛歌—京都日本画百人展—」を京都府において制作し、当館で上映することとなった。

◇「大唐長安展」第1回実行委員会を開催（5月15日）

「大唐長安展」の企画・展示構成・展示資料の選定・展覧会の運営等を協議するために実行委員会を設置し、第1回委員会を5月15日に開催した。委員は、学識経験者として門脇禎二（京都府立大学学長・座長）・田辺昭三（京都造形芸術大学教授）・町田章（奈良国立文化財研究所平城宮跡発掘調査部長）・礪波護（京都大学教授）・渡辺信一郎（京都府立大学助教授）・田中淡（京都大学人文科学研究所教授）・井上満郎（京都産業大学教授）・筒井紘一（茶道資料館副館長—第6回から）の8氏のほか、平安建都1200年記念協会・NHK京都放送局・京都新聞社・朝日新聞社・読売新聞社・京都府・京都文化博物館の代表で構成された。

* なお、これに先だって同年3月に実行委員会準備会が開催されている。実行委員会は、以後、1992年6月(第2回)、10月(第3回)、1993(平成5)年2月(第4回)、7月(第5回)、1994(平成6)年2月(第6回)、7月(第7回)と、合計7回開催された。

◇京都市内博物館施設連絡協議会に加入（6月17日）

京都市内の博物館施設相互の交流と協力によって博物館活動の発展を図り、生涯学習を振興して文化の向上に寄与する目的で京都市内博物館施設連絡協議会が結成され、6月17日設立総会が開催された。当館も正会員として加入し、正会員101館、賛助会員2機関で発足した。事務局は京都市教育委員会の生涯学習推進課が担当している。同協議会では博物館講座、ガイドブック『京のかるチャーすぽっと』の発行、会員の研修会などの活動を行っている。

◇「大唐長安展」第1回訪中団派遣（9月1日～7日）

平安建都1200年記念の展覧会として「大唐長安展」の準備を本格的に始めてから、およそ1年半を経過して、ようやく最初の訪中団（団長－京極隆夫京都府文化芸術室長）を陝西省に派遣することができた。展覧会の趣旨の説明と陝西省側の協力の要請が主目的であった。併せて、これまでの実行委員会でもとめた展覧会構成の試案を示して、陳全方陝西歴史博物館館長ならびに唐代の専門家の王仁波西安碑林博物館館長と韓偉陝西歴史博物館副館長の3氏と展示構成や出品文物等について協議し、貴重な意見と提案を得た。

*第2回訪中団（団長－東條壽副館長）は1993年3月に派遣され、借用文物の交渉とともに、展覧会開催に関する諸条件の調整を行ったが、なお合意に達するには到らなかった。

◇第4回京都現代音楽フォーラム・映像オペラ「ハウスウォッチ」を開催（11月23日／巻頭写真62）

第4回京都現代音楽フォーラム「京都・新・旧」としてブリティッシュ・カウンシル京都、京都府と共催で映像オペラ「ハウスウォッチ」を行った。夕闇の中、レンガ造りの別館の内部から窓に向けてフィルムを映写し、それに音楽とメンバーによるパフォーマンスを織り交ぜて上演、観客は道路から鑑賞した。格調高い明治建築の建物と現代的なパフォーマンスが奇妙なコントラストを見せ、幻想的な空間を三条通に創出した。

◇歴史常設展利用者アンケート実施（2月及び5月）

当館の常設展示、特に歴史の常設展示については、その内容や方向性に対して、開館以来、内外から賛否両論の声があった。将来の常設展示の改訂に向けての作業の第一歩として、利用者の反応を直接把握するために、アンケート調査を実施した。調査は1993年2月28日から8日間と5月20日から13日間の二度に分けて行った。アンケートの回収は合計1,155件であった。

その結果、歴史展示を見ての全体的な印象について、「大変よい」と答えた人が45.5%、「どちらかといえばよい」と答えた人が41.2%と、肯定的な印象を抱いた人が86.7%に達したし、京都の歴史と文化への理解が深まったかという問いに対しても、83.8%の人が肯定的であった。このことは、当館の歴史の常設展示は、この段階ではかなり高く評価されていると言える。しかし一方で、例えば解説文について、「気取りすぎ」「難解」「まわりくどい」「あいまい」「文章が長い」「字が小さい」「解説板が低い」「解説板の角度が悪い」といった厳しい指摘も少なくなかったし、およそ30%の人々が「照明が暗すぎる」と感じ、「将来は実物資料中心の展示が望ましい」と答えたことも無視できない。

⑥1993(平成5)年度

この年は10月で開館5周年になった。自主企画展は開館5周年記念として行われ、学芸第二課が「マヤ－歴史と民族の十字路－」（4月13日～5月30日／巻頭写真63）を開催、学芸第一課が「京の美人画展－個性派の競艶 江戸・明治・大正－」（9月10日～10月11日／巻頭写真66）を開催した。またこの年京都府で行われた高齢者の祭典「ねんりんピック'93」に協賛して、「京の彩り－絵画と陶芸－京の四季から」

(8月19日～9月15日)、「京の彩り—絵画と陶芸—清水六兵衛コレクションより」(8月19日～11月16日)及び「京の百景展」(9月17日～11月16日)を、第20期現代京都の美術・工芸展として3階美術・工芸展示室で開催した。この年の入場者数は、4階特別展示室でマスコミと共催の海外展「ユーラシアの輝き」「ポルトガルと南蛮文化展」「ロートレックと日本展」「インド宮廷文化の華」が相次いで開催されたため大幅に増加し、特別展示室と常設展示室で321,137人、5・6階、別館の貸室で129,292人で、計450,429人となり開館以来の最高を記録した。

1994年2月には、吉田前館長の逝去後、空席となっていた2代目館長として岡本道雄氏が就任し、館の執行体制が整った。埋蔵文化財については昨年度に引き続き静岡県磐田市の匂坂中(北、南区)遺跡の発掘資料整理を行った。

◇「大唐長安展」に関する覚書に調印(6月30日)

6月27日～7月1日に派遣した第3回訪中団(団長—京極京都府文化芸術室長)は、陝西省文物事業管理局と借用文物ならびに展覧会開催に関する諸条件について協議を重ねた結果、一定の合意に達したので、10項目から成る覚書を作成し、陝西省側の宋振興文物事業管理局外事処長と京都府側の京極京都府文化芸術室長及び東條副館長がこれに調印した。主な内容は、(1)「大唐長安展」を1994(平成6)年9月9日から11月27日まで京都文化博物館で開催すること、(2)陝西省側は文物120件を提供しその中には法門寺出土の茶器に関する文物3～5点を含むこと、(3)京都府側は展示準備費を陝西省側に支払うこと、などであった。

◇「監督 伊藤大輔特集」開催(6月18日～7月31日/巻頭写真65)

東京国立近代美術館フィルムセンターから伊藤大輔監督の『丹下左膳 第一篇』と、復元された『忠次旅日記』の貸与を受け、所蔵の伊藤監督作品とあわせて特集上映を行った。同時に映画評論家の滝澤一氏が「監督伊藤大輔とは」、フィルムセンター主任研究官の佐伯知紀氏が「忠次旅日記の復元と監督伊藤大輔について」という演題で講演会を行った。また期間中、別館ホールで「伊藤大輔文庫展」を併催、伊藤監督関連の映像資料を展示した。

◇「大唐長安展」基本協定書ならびに議定書の調印(10月9日)

西安で挙行される京都府・陝西省友好提携10周年記念式典出席のため京都府が陝西省に派遣した代表団(団長—荒巻禎一知事)に随行して、10月7日から12日まで「大唐長安展」第4回訪中団(団長—木宮英嗣京都府総合府民部長)を派遣した。10月9日、西安市の人民劇院で両府省友好提携10周年記念式典が行われ、引き続き陝西歴史博物館会議室において「大唐長安展」基本協定書及び議定書の調印式が行われた。調印式への両府省の主な出席者は以下の通りであった。

京都府側—荒巻禎一知事・徳田善一前府会議長・木宮英嗣総合府民部長・成房智治知事公室長

陝西省側—白清才省長・王双錫副省長・張開琛外事弁公室長・王文清文物局長・陳全方陝西歴史博物館長

張外事弁公室長の調印式開始の宣言、王文物局長による「大唐長安展」の経過説明のあと、まず荒巻知事と白省長によって『日本国京都府及び中華人民共和国陝西省が共同開催する「大唐長安展」に関する基本協定書』の調印が行われ、次いで木宮総合府民部長と王文物局長によって『日本国京都府及び中華人民共和国陝西省が共同開催する「大唐長安展」に関する議定書』の調印が行われた。

* なお、議定書の調印に基づき、第5回訪中団(1994年3月/団長—片岡肇学芸第二課長)で借用文物の詳細調査を、第6回訪中団(同年5月/団長—同前)で図録掲載用写真撮影を行い、展覧会開催直前の同年8月には借用文物の引き取りのために第7回の訪中団(団長—同前)を派遣した。

◇岡本道雄 2代目館長就任（2月1日）

吉田光邦前館長の没後、空席となっていた2代目館長に岡本道雄京都文化財団理事長が就任した。岡本館長は元京都大学総長であり名誉教授として科学技術会議会員や青少年問題審議会会長、医道審議会会長、臨時教育審議会会長などを歴任され、国際高等研究所所長および神戸市立中央市民病院長も兼務されている。幅広い人脈と経験を生かして2代目館長として当館の運営にあたっていただくこととなった。

⑦1994(平成6)年度

平安建都1200年記念事業の一環として当館で開催された「大唐長安展－京都のはるかな源流をたずねる－」（9月9日～11月27日）は大変な人気を呼び、178,703人という開館以来最高の入場者を数えた。またこの展覧会をきっかけに当館は中国陝西省の陝西歴史博物館と友好提携をすることになり、中国の博物館との交流に足掛かりをつかむことができた。この年の自主企画展としては、学芸第一課が平安建都1200年記念「京都創作陶芸のながれ－土・火・枝－」（6月28日～7月31日）を開催した（なお学芸第二課は「大唐長安展」を担当）。また特別展として京都府と共催で現代京都の美術工芸作家を紹介する「'94洋画KYOTO展」「現代・京都の日本画展」「現代・京都の工芸展」を開催した。この他にも「祇園祭大展」などの3・4階を使う大規模な展覧会もあり、この年の入場者数は、特別展示室および常設展示室で416,594人、5・6階、別館の貸室で141,654人といずれも過去最高を記録し、計558,248人とはじめて50万人を越えた。

埋蔵文化財の発掘調査は、平安京左京六条三坊七町（4月18日～9月30日）および宮ノ口遺跡（第2次・1995〔平成7〕年2月6日～7月1日）について実施した。また、磐田市匂坂中（東区）遺跡の遺物整理を行った。

1995年1月17日に阪神淡路大震災が発生したが、当館展示室、収蔵庫、清水分室および管理委託資料を収蔵している京都府立総合資料館収蔵庫は幸いにも被害はなかった。

◇生涯学習ボランティアが活動を開始（4月15日）

当館2階の歴史常設展示室でボランティアによる英語ガイドが始まった。これは生涯学習の振興を図るため京都府長寿社会政策室が京都府の文化施設にボランティアを導入するよう呼びかけたのがきっかけとなって発足したもので、当館はこれに応じて1993(平成5)年10月に外国人に対する英語ボランティアを募集した。応募者から選考した30名は、11月から1994年3月まで京都府の生涯学習ボランティア養成講座と当館の特別講座を受講したのち、4月15日より活動を開始した。

*なお5月18日にはボランティアの総会が開催され、会の名称を「MOKの会」とすることが決まった。その後1997(平成9)年10月、2回目の募集を行い、11月から翌年3月にかけて養成講座の受講をへて4月から10名が新たに加わり、現在約40名がボランティアとして活動している。

◇平安建都1200年記念特別企画展「大唐長安展」開催（9月9日～11月27日／巻頭写真71～74）

9月8日に陝西省代表団（団長－尹盛平陝西歴史博物館副館長）を迎えて開会式を行い、尹団長・荒巻禎一京都府知事・岡本道雄当館館長らによるテープカットで盛大に開幕した。故吉田光邦初代館長の指示で準備を開始してから、およそ3年9ヶ月あまりのことであった。翌9日から75日間の一般公開中には、三笠宮崇仁殿下や栄毅仁中華人民共和国国家副主席を初めとする多くの賓客の来場もあり、最終的には実に178,703人という開館以来最高の入場者を数えた。館が主体的に取り組んだ初めての海外展であったが、実行委員会の委員各氏の指導と、関係各方面ならびに京都府及び陝西省の全面的な協力によって、

内容的にも高く評価された展覧会となった。担当のみならず、館員全員がそれぞれの分野で一丸となって取り組んだ成果でもあった。

*なお、展覧会終了後、借用文物の返却のために第8回訪中団（1994年12月／団長－片岡学芸第二課長）を派遣し、さらに陝西省文物局・陝西歴史博物館・西安碑林博物館ならび到北京の国家文物局に展覧会の終了報告と挨拶のため第9回訪中団（同年12月／団長－高橋正典京都府総合府民部次長）を派遣した。

◇世界博物館・美術館京都会議に参加（11月2日～4日）

平安建都1200年を記念して京都、滋賀の美術館・博物館5館と京都新聞社等が中心となった共同事業として、さらにいっそう文化、芸術の振興をはかり、世界に向けて新しい文化を発信するため、世界の著名な博物館・美術館8館の代表が一同に会する「'94世界博物館・美術館京都会議」が開催された。当館も地元の博物館としてホスト館の一員となり岡本館長が会議に参加した。会議は世界的規模で博物館・美術館を網羅したネットワークをつくるのが急務であるとするなど盛り込んだ共同コミュニケ「京都宣言」をまとめた。

◇京都文化博物館と陝西歴史博物館との友好提携に関する議定書に調印（12月21日／巻頭写真75）

当館と陝西歴史博物館との友好提携については、交流事業の内容、調印の時期などに関して具体的な協議が進められていたが、「大唐長安展」の開催を契機に実施することで合意に達した。両館の友好提携に関する議定書の調印は、9月9日に「大唐長安展」の開幕のための陝西省代表団の団長として来日された尹盛平陝西歴史博物館副館長と東條壽当館副館長の間で仮調印が行われ、次いで「大唐長安展」のための最終訪中団（第9回）の訪中の際の12月21日に、陝西歴史博物館において高橋正典京都府総合府民部次長と張廷皓陝西省文物局副局長の立ち会いのもと、岡本道雄当館館長（代理・東條副館長）と陳全方陝西歴史博物館館長によって正式の調印が行われ、両館の新たな一頁が始まった。

*詳しい経過等については、第2部第5章参照。

◇池大雅資料の管理委託を受ける（3月9日）

京都府は3月9日付けで池大雅美術館（佐々木もと子館長）から江戸期の文人画家・池大雅の作品および関係資料73件の寄贈をうけた。作品は京都府立総合資料館の収蔵庫に収蔵され、財団法人京都文化財団（京都文化博物館）が管理を委託された。寄贈された資料は重要文化財の「柳下童子図」を含む貴重な作品群であり、京都文化博物館の管理資料に国の指定文化財（美術工芸品）が初めて加わることとなった。

⑧1995(平成7)年度

当館の運営は、入場者数の順調な伸びにもかかわらず、事業収入が設立当初立てた見込みより少ないため、京都府からの受託・補助金収入を加えても慢性的な赤字状況が続いてきた。このため館の事業を見直し4月1日付で組織改革を行い、これまでの5課から4課へ組織の統廃合を行った。

自主企画展として、学芸第一課が「小野竹喬展－自然に語りかける画家－」（4月8日～5月14日／巻頭写真76）を開催、学芸第二課は「桃山の春・光悦展－町衆の信仰と芸術－」（10月7日～11月12日／巻頭写真77）を開催した。また共催展として「ティベア物語展」「イギリス絵画の350年展」「黄金の都シカン発掘展」などの海外展、および「西国三十三所」「日本出版文化史展'96京都」などの内容の濃いものが続いたので、入館者数も特別展示室および常設展示室で361,761人と昨年次いで好調であった。5・6階、別館の貸室は121,795人で、計483,556人となり過去2番目に多かった。

「大唐長安展」をきっかけに成立した当館と陝西歴史博物館の友好提携は、第1回交流事業として12月に当館から2名を陝西省に派遣し、今後の両館の友好交流のさきがけとなった。埋蔵文化財については、八幡市の内里八丁遺跡（6月19日～1996年3月28日）を発掘調査し、静岡県磐田市の匂坂中（東区）遺跡の発掘資料整理を行った。

◇組織改正により5課から4課に（4月1日）

当館の運営は入場者数の順調な伸びにもかかわらず、事業収入が設立当初の見込みより少ないため、京都府からの受託・補助金収入を加えても慢性的な赤字状況が続いている。このため館の事業を見直し、資料課を廃止して同課業務の一部を学芸第一課に統合した。また職員定数も36名から32名へと4名削減した。

◇資料閲覧室を休室（4月1日）

これまで当館では美術・歴史・映像関係の専門資料等を収蔵する資料閲覧室を設け、一般に公開してきたが、これらの資料について補修整備を図る必要が生じたこと、ならびに当館が6年半のあいだに蓄積した映像資料を中心とする資料の整理や適切な保存の促進を図るため、資料閲覧室を休室し一般公開を停止した。なお研究目的で特に申し出のあった利用者には引き続き対応をしている。

◇修学旅行夜の体験学習事業を開始（4月17日）

京都市観光協会が主催し、修学旅行生が夜に京都を体験学習する催しに対し、当館は(1)常設展示を見学の後、別館で蹴鞠の実演見学と体験をする、(2)京都歴史講座と題し当館学芸員が話をした後、館内見学を行う、の2コースを設け協力することになった。4月17日には最初の体験学習として蹴鞠体験コースが行われた。この催しは現在も春と秋に蹴鞠コースを中心に行われている。

◇5・6階ハロン消火設備敷設工事を実施（7月5日～9月1日）

5・6階展示会場の催事の多様化、特に美術工芸展示の開催の増加に対応するため、ハロン消火設備の敷設工事をを行った。これにより防火・防災面において改善され、利用される方々により安心して展示会場を使用していただく環境が整った。

◇陝西歴史博物館友好交流事業による職員派遣（12月9日～22日／巻頭写真78）

1994(平成6)年12月に調印された当館と陝西歴史博物館の友好提携に関する議定書に基づいて、事実上の第1回の交流事業として、当館から新井田郁雄事業課長・鈴木忠司学芸第二課主幹の2名を陝西省に派遣した。陝西省文物局・陝西歴史博物館・西安碑林博物館を表敬訪問したほか、西安市とその近郊の博物館や遺跡などを見学した。旧石器時代の研究を専門とする鈴木は、特に望んで陝西省考古研究所所員の案内で洛南県龍牙洞遺跡を見学し、また同研究所において石器の調査をする機会を得た。陝西歴史博物館では、同館の職員と友好交流事業のあり方等について懇談した。全般的には成果も多く、大変有意義なものであったが、同時に幾つかの課題も見つかった第1回の交流事業であった。

◇映画生誕100年特別企画「話題映画の上映とポスター展」開催（1月6日～11日）

映画生誕100年を記念して、1899(明治32)年に撮影された現存する最古の日本映画『紅葉狩』をはじめ、大衆の話題をさらった娯楽映画の特集上映と所蔵ポスターの展示を別館ホールで行った。

◎1996(平成8)年度

この年、当館は重要文化財公開承認施設として承認され、展覧会で国宝・重要文化財を展示するとき、展示終了後の届け出で足りるようになった。またこの年は京都文化財団が設立10周年を迎えるため自主企画展は同財団設立10周年記念として行われ、学芸第一課は「文人画の巨匠 池大雅展」（10月3日～11

月4日)を開催、学芸第二課は「京都・激動の中世一帝と将軍と町衆とー」(11月13日～12月15日/巻頭写真84)を開催した。映像ホールでは京都府所蔵フィルムを対象に「名作映画アンケート」を実施し、上位50作品を6か月間にわたって上映したところ大変な人気を呼んだ。

共催展では「カーサ・ボナローティ所蔵 ミケランジェロ展」が開館以来最高の195,268人の入場者となったこともあり、この年の入場者数は、特別展示室および常設展示室で425,023人と過去最高となり、5・6階、別館の貸展示室の92,155人を加え、計517,178人と1994年度に続き再び50万人を越えた。

埋蔵文化財については、八幡市の内里八丁遺跡(4月1日～1997年3月18日)の発掘調査を実施した。

◇「ミケランジェロ展」の入場者数が特別展の最高を記録(6月6日～7月21日)

当館とミケランジェロ展実行委員会、京都新聞社の3者の主催で開催された「カーサ・ボナローティ所蔵 ミケランジェロ展」は、45日間の開催期間中、195,268人の入場者があり、開館以来の最高を記録した。

◇友好交流事業による陝西歴史博物館研修員来館(6月28日～7月11日/巻頭写真83)

当館と陝西歴史博物館との友好交流の第2回目として、陝西歴史博物館の職員2名が来館し、近隣の博物館・美術館および史跡・発掘現場等の見学を行い、陝西歴史博物館の学芸員を講師として中国の民間美術について講演会を開催したほか、当館学芸員との意見交換を行うなどした。ほぼ2週間にわたって見学・研修を行い、両館の友好交流を深めた。

◇所蔵フィルムより名作映画アンケートを実施、リクエスト特集を開催(7月5日～12月23日)

映像ホールでは所蔵の映画作品の中から、監督、俳優、ジャンル別等の特集を企画し常設上映してきたが、個別の作品に対する府民の上映要望も多く、それに応える形でリクエスト特集を行った。1,600通あまりのリクエストの上位50作品を6ヶ月にわたり上映した。ちなみに上位10作品と監督名は以下のとおりである。

1位	七人の侍(黒澤 明)	1954年	6位	浮雲(成瀬巳喜男)	1955年
2位	東京物語(小津安二郎)	1953年	7位	飢餓海峡(内田吐夢)	1964年
3位	生きる(黒澤 明)	1952年	8位	二十四の瞳(木下恵介)	1954年
4位	羅生門(黒澤 明)	1950年	9位	青い山脈(今井 正)	1949年
5位	無法松の一生(稲垣 浩)	1943年	10位	雨月物語(溝口健二)	1953年

◇重要文化財公開承認施設として承認される(12月26日)

文化財保護法第53条第1項ただし書に基づく「重要文化財の所有者及び管理団体以外の者による公開に係る博物館その他の施設」(公開承認施設)として承認された。これによって、展覧会における国宝・重要文化財の公開については、従来、展覧会開催前に文化庁長官に対して公開許可の申請を必要としたものが、終了後の届出で足りることとなった。

*1998年2月16日の公開承認施設事務担当者会議において、「公開承認施設連絡協議会」の設立が全会一致で承認され、代表館に東京国立博物館、副代表館に徳川美術館、幹事館に福島県立博物館(東北地方)・石川県立美術館(北陸地方)・福岡市博物館(西日本)とともに当館(関西地方)が選ばれた。なお、この時点で公開承認施設は83館であった。

◇東京国際映画祭の協力で「ニッポン・シネマ・クラシック in Kyoto」を開催(1月11日～2月8日)

東京国際映画祭では内外の新作を上映する一方、すでに散逸したと思われる作品を発掘し、「ニッポン・シネマ・クラシック」というタイトルで特集上映している。当館では日本映画100年を記念して、これらの作品の中から京都に関係の深い作品を中心に選び、当館で発掘・復元した作品を加えて特集上映を行っ

た。同時に「フィルム発掘の旅」というタイトルで東京国際映画祭「ニッポン・シネマ・クラシック」のプログラムエディターである山根貞男氏の講演会も開催した。

⑩1997(平成9)年度

この年は11月1日から常設展示室の閉室時間を、これまでの午後8時30分から7時30分へと1時間短縮した。自主企画展として学芸第一課は「近世工芸の華 婚礼のいろとかたち」展(4月5日～5月6日/巻頭写真85)を開催、学芸第二課は「ヒトの来た道—人類500万年と列島最古の居住者—」展(11月8日～12月14日/巻頭写真89)を開催した。映像ホールではこの年が映画日本上陸100年にあたるため、京都映画講座として12回にわたって講演会や見学会を実施した。

この年の入場者数は、不況の影響や大きな共催展がなかったこともあり大幅に落ち込み、特別展示室および常設展示室で218,358人、5・6階の貸室で89,053人、計307,411人となった。

埋蔵文化財については、八幡市の内里八丁遺跡の調査の整理作業と報告書の作成に当たった。

◇重要有形民俗文化財の公開事前届出免除施設となる(6月2日)

文化財保護法第56条の15第1項ただし書の規定に基づいて、重要有形民俗文化財の公開について事前の届出が免除された旨、文化庁より通知があった。これによって、当館は今後は「公開事前届出免除施設」として、展覧会等において重要有形民俗文化財を公開する場合、事後の届出をもって足りることとなった。

◇映画日本上陸100年記念「京都映画講座」を開催(6月8日～1998年3月1日/巻頭写真86)

京都は日本で初めて“シネマトグラフ”が上映された地であり、その後も日本映画の歴史に深く関わってきた。日本映画100年にあたり、映画評論家、研究者による講演会、映画製作スタッフによる座談会に加え、活弁体験、京都の映画史跡を巡るバスツアー等全12回の講座を開催し日本映画史の中での京都映画を再考した。

◇陝西歴史博物館友好交流事業による職員派遣(9月25日～10月1日/巻頭写真87)

1995年に始まった京都文化博物館と中国・陝西歴史博物館との友好提携は、毎年1回相互訪問することを基本に交流を行ってきた。本年は当館が訪問する年にあたり、友好親善と研究活動の推進のため、石沢誠司学芸第一課長と金田暁総務課主幹の2名が陝西歴史博物館を訪れ、近隣の博物館・史跡の見学および中国の節句についての民俗調査および陝西歴史博物館の館運営についての調査を行い友好交流を深めた。

◇ろうじ店舗改装なる(10月5日/巻頭写真88)

御池通を東西に走る京都市営地下鉄東西線の開業(10月12日)が間近に迫り、御池通方面からの来館者増が予想され、北から高倉通を南下する入々をろうじ店舗に導くため改修工事を行った。工事はこれまでろうじ店舗の高倉通側にあった格子の仕切りを撤去し、高倉通から直接ろうじ店舗が見えるようにするものである。これにより通りを歩く人が気軽にろうじ店舗に入れるようになった。また広くなったろうじを利用して古本市などの催事も行えるようになった。

◇鈴木忠司主任学芸員、第6回岩宿文化賞受賞(10月11日)

学芸第二課の鈴木忠司主任学芸員が第6回岩宿文化賞を受賞した。鈴木は、日本列島の縄文時代以前の人類文化の時代を“岩宿時代”と呼ぶべきだと提唱し、一貫して岩宿文化の研究を推進してきたが、石器群や遺物類の分析をとおした研究と遺跡自体が持つ諸要素を合わせた総合的な視点での研究方法と実践が、細分化した現在の石器研究を体系化の方向に導く中心的な役割を担うものであり、岩宿文化賞

にふさわしいものと高く評価されての受賞であった。

* 岩宿文化賞は、1949(昭和24)年にわが国において初めて旧石器の存在が確認された群馬県笠懸村の岩宿遺跡にちなんで、同町が1992(平成4)年に創設したもので、岩宿時代(日本の旧石器時代)文化研究の進展に貢献したと認められる研究者に授与される権威ある賞である。

◇常設展示室の閉室時間を1時間短縮(11月1日)

当館の常設展示室は開館以来、午後8時30分まで開室し、夜間も開いている博物館として特徴を出していたが、(1)1995(平成7)年の組織の改正や人員削減によって館運営に相当無理が生じている、(2)午後7時以後の入場者は他の時間帯に比べて少なく、経費の節減が図れる、等の理由から当館の特徴を損なわない範囲で閉室時間を1時間短縮して午後7時30分とした。また年始の休館日をこれまでの1月1日から1月3日までとし、1998(平成10)年1月から実施した。

◇'97世界博物館・美術館京都会議に参加(11月4日～6日)

海外の7カ国、国内から京都・滋賀を中心に6館の代表19人が参加して、第2回目となる「'97世界博物館・美術館京都会議」が開催され、京都文化博物館も国内代表の一員として岡本館長が出席した。会議は最新の情報伝達技術を駆使して美術・文化遺産を提示する方法を常に求める、幅広い層が美術作品を楽しめる美術館教育を再認識などを盛り込んだ「京都宣言」を採択した。

◇地球温暖化防止京都会議開催記念

「人と自然の共生ー京の自然と風物ー」展開催(11月21日～12月16日/巻頭写真90)

世界170カ国以上の代表が集まり、温室効果ガス排出量の数値目標などを国際的に取り決める地球温暖化防止京都会議が12月1日から10日まで国立京都国際会館で開催されるのにあわせて、当館は京都府と共催で「人と自然の共生」と題し、京都府が所蔵する絵画コレクション、「京の百景」「京の四季」「いのち賛歌」から選抜した絵画で構成する展覧会「京の自然と風物」を開催した。また京都市内1会場と府内3会場で開催された「人と自然の共生ー京都府所蔵名画展」の開催にも協力した。

①1998(平成10)年度

自主企画展はいずれも開館10周年記念として行われ、学芸第二課は「京の江戸時代ー町人の社会と文化ー」(4月17日～5月17日/巻頭写真91)を開催、学芸第一課は「京の絵師は百花繚乱ー『平安人物志』にみる江戸時代の京都画壇ー」(10月2日～11月10日)を開催した。

◇7月の休館日を第2水曜日に変更(7月8日)

当館の休館日は毎月第3水曜日となっていたが、7月は祇園祭の宵山や巡行日と重なることが多く、これまでも観光客等からこの日を開館するよう希望がよせられていた。このため今年から休館日を変更し、7月のみ第2水曜日を休館日とすることになった。

◇開館10周年記念感謝状の贈呈(10月1日)

開館以来10年の間、当館の歴史常設展示に多大なご協力を頂いた能楽金剛流26世宗家・金剛永謹氏、狂言大藏流茂山家13世当主・茂山千五郎氏及び文友会(会長 芳村誠二氏)、ならびに運営面等で支えて頂いた吉忠株式会社(代表取締役社長 吉田忠嗣氏)と京都文化博物館ボランティアグループMOKの会(会長 榎堀勝氏)に対して、開館10周年を記念して岡本館長から感謝状を贈呈した。贈呈式は、10周年記念特別展「京の絵師は百花繚乱」のレセプションに先立って、別館ホールで行われた。

◇開館10周年記念特別展「京の絵師は百花繚乱」を開催(10月2日～11月10日/巻頭写真93)

10月1日で開館10周年を迎えるのを記念して自主企画展「京の絵師は百花繚乱」を開催した。この展

覧会は江戸時代の京都で刊行された『平安人物志』と呼ばれる文化人名録を手がかりに、そこに登場する画家の作品を可能な限り一堂に集め、まさに百花繚乱と呼ぶにふさわしい近世京都画壇の全貌に迫ろうと企画された。佐々木丞平京都大学教授を委員長とし学識経験者・京都府・京都新聞社・NHK京都放送局から構成される実行委員会が組織され、1997(平成9)年3月から3回にわたる委員会をへて内容・構成・広報等について検討を重ねて実現した。特に近隣の博物館・美術館の学芸員および大学の若手教員などからなる10名の学識委員には内容面で多大の協力をいただき、その成果は350頁からなる展覧会図録となっている。展覧会は33,156人の入場者があった。今後はこの展覧会で集積されたデータをより充実させ、当館が近世京都画壇研究の中心的施設のひとつとしてその役割を果たして行くことが課題となる。

第 2 部
京都文化博物館の活動

第1章 資料の収集・利用

第1節 資料の収集

当館の所管資料は、大きく二つに分かれる。一つは館蔵資料で、もう一つは管理資料である。館蔵資料は、発掘で出土した考古資料と、常設展示室で長期間展示する資料を中心に限られた範囲のものとなっている。当館は設立の当初から京都府立総合資料館の美術工芸、歴史民俗資料等の文化資料（博物館資料）について、その収集、管理、展示公開業務を同館から委託されて

いる。具体的には総合資料館の文化資料を同館の収蔵庫で管理しながら、展示を京都文化博物館で行っている。このため当館が扱う収集資料はその多くが京都府立総合資料館の所蔵となるため、資料の収集・利用においては管理資料の占める割合が高くなっている。なお、映画資料は京都府の管理資料となっている（第2章第3節）。

京都文化博物館管理関係資料（京都府立総合資料館所蔵分）年度別一覧

単位：点

年度	管理資料	寄託資料	一時保管資料	年度	管理資料	寄託資料	一時保管資料
1988年度	39,123	362	305	1993年度	41,107	361	329
1989年度	39,349	360	313	1994年度	41,537	360	329
1990年度	40,897	366	321	1995年度	41,669	360	329
1991年度	40,965	366	327	1996年度	41,740	368	510
1992年度	41,025	361	328	1997年度	42,074	361	510

(1) 受 贈

a. 館蔵資料

年度	分野	資料名	点数	小計
1988年度	工芸 書 漆芸	大森清蔵表装「風炉先屏風 露芝に渦」	1点	3件 3点
		大森清蔵表装「掛軸 松無古今色」(前大徳戒堂書)	1点	
		杉村尚「紫式部像」	1点	
1990年度	彫刻 彫刻	岡本庄三「神々乃愛」	1点	2件 2点
		清水九兵衛「朱装」	1点	
1993年度	洋画	赤木巖児郎「ポール・デュシャネル並木道(赤)」	1点	1件 1点
1996年度	歴史 地図 地図	祇園祭山鉾模型	2点	3件 50点
		泉與志雄筆「比叡山延暦寺鳥瞰図原図」ほか	47点	
		御所絵図	1点	
1997年度	地図	京都府全図ほか	5点	1件 5点

b. 管理資料（京都府立総合資料館所蔵資料）

年度	分野	作者	資料名	点数	小計
1988年度	染織	山中政次郎	「刷毛引塩瀬名古屋帯」	1点	
			五節匂模縁友禅染絨紗 ほか	10点	
	染織	皆川 泰蔵	「西蔵ボタラ宮」	1点	
			祇園祭放下鉾稚児衣裳	1点	
	陶芸	初代赤沢 露石	「浅黄交趾花瓶」	1点	
	陶芸		叶 光夫	「白瓷刻花盒」ほか	
	陶芸	叶 光夫	「懸垂方瓶」ほか	3点	
	陶芸		叶 光夫	「懸垂滑光花瓶」ほか	
	陶芸	辻 晋六	「黒釉面取壺」ほか	3点	
	陶芸・歴史		井戸脇茶碗ほか	13点	
	漆芸	三木 久延	「漆画 巖」	1点	
	漆芸	水内 杏平	「波文彫漆スクリーン」ほか	2点	

年度	分野	作者	資料名	点数	小計
	人形 人形		五月人形 古今雛	1点 1点	
	人形 民具 民具 民具 歴史		雛人形 黒膳椀 花見弁当箱 指物道具 牛馬売買免許鑑札 ほか 金鷄勲章 ほか	1点 13点 1点 98点 10点 56点	20件 221点
1989年度	日本画 日本画 日本画 日本画 洋画 洋画 洋画 陶芸 陶芸 陶芸 陶芸 人形 人形 人形 人形 郷土玩具	河津 光俊 山本 知克 山本 倉丘 三輪 良平 幸野 椋嶺 由里 明 芝田 米三 大熊 峻 西川 實 辻 勘之 初代海老名弥平次 清水 正次 西村 喜代 大林 蘇乃 岡本正太郎 岡本正太郎 村岡登志一	「飛天」 「或る日」 「雪霽」 「はたち」 「翁秋深婦図」 「放鳥」ほか 「幻想稲荷山四季」「胡蝶の夢挿絵」 「マンハッタン情景」 「織部金彩輪華壺」 「緋込鶏手飴袖鳥」 「羅漢像」ほか 「晩夏」 京都陶器会社図案資料 「朝市にて」 「青衣少女」 「有職面竹雛」 「立雛」 「菖蒲兜」 郷土人形および玩具	1点 1点 1点 1点 1点 3点 788点 1点 1点 1点 2点 1点 1点 1点 1点 1点 1点 733点	19件 1541点
1990年度	洋画 洋画 洋画 洋画 洋画 書 織 織 織 陶芸 陶芸 民具 郷土玩具	大熊 峻 津田 周平 今井 憲一 笹瀬 悦子 福井 勇 藤沢 赤心 坂田 彩湖 伊藤 嘉敏 佐野 猛夫 熊倉 順吉 初代宮永 東山	「バリ情景」ほか 「池の畔」ほか 「一隅」ほか 「UCHU」ほか 「水辺の花」ほか 「寿 山福海」 「訪問着 洛北秋映」 「縮緬地総絞り模様中振袖」ほか 「游」 「打坐」ほか 「金襴手波斯華角水指」ほか 半被 ほか 東京羽子板・助六 ほか	2点 6点 2点 2点 9点 1点 1点 6点 1点 5点 3点 27点 2点	13件 67点
1991年度	日本画 織 人形 諸工芸 歴史 民具 民具 民具	幸野 豊一 皆川 泰蔵 太田 光嶺	「池」 「ヒワ旅情・中央アジア」 市松人形 「金彩革楽器図屏風」 平安遷都記念祭汽車汽船割引票 道中着 柿波商関係資料・漏斗 ほか 柿波商関係資料・合羽 ほか	1点 1点 1点 1点 35点 1点 7点 7点	8件 54件
1992年度	洋画 書 書 彫刻 織 陶芸 陶芸 漆芸 歴史 民具・歴史	安田 謙 藤沢 赤心 森岡 峻山 藤庭 賢一 村井 紀子 清水 卯一 眞鍋 光男	「魚市場」ほか 「篆刻木額」 「遊東園」ほか 「魔術師の変貌」 友禅染打掛 「陶額 しだれ桜」ほか 「油滴天目釉皿」ほか 「乾漆偏壺」ほか 皇陵巡拝朱印掛軸 卓袱台 ほか	4点 1点 2点 1点 1点 2点 6点 3点 1点 7点	

年度	分野	作者	資料名	点数	小計
	民具・歴史 郷土玩具		帽子 ほか 牛曳荷車 ほか	41点 8点	12件 77点
1993年度	洋画 洋画 漆芸 漆芸 人形 人形 人形 歴史 民具 郷土玩具 郷土玩具	田中 猛夫 猪田 七郎 冬木 偉沙夫 服部 峻昇 大林 蘇乃 大林 蘇乃	「かまきり」 「カフェーオッセワー」ほか 「夢」 織貝飾箱「純陽」 武者人形 「不遜な十六才」 「蜚雲」 古銭 鞆 ほか 伏見土人形 伏見土人形	1点 4点 1点 1点 1点 1点 1点 375点 2点 1点 36点	11件 424点
1994年度	日本画 日本画 日本画 洋画 書 染織 染織 陶芸 人形	池 大雅 三谷 十糸子 三輪 良平 藤波 晃 日比野光鳳 岸田 竹史 宇野 三吾	「墨梅図」ほか 「露店」ほか 「裸婦」 「白昼夢」 「天の海」 「染額 薫風」ほか 大紋・小袖 「彩釉木の葉皿」ほか 内裏雛	73点 11点 1点 1点 1点 3点 1点 31点 1点	9件 123点
1995年度	■本画 日本画 日本画 日本画 日本画 日本画 写真 陶芸 人形 郷土玩具 郷土玩具	水野 深草 三輪 晃久 森本 一洋 土佐 光貞 安田 虚心 小松 均 浅野 喜市 2代加藤 溪山	「室生」 「地創」ほか 「壬生狂言の楽屋」 「十二月花鳥図屏風」 「松籟」 「蓮」ほか 「祇園」写真パネル 「砧青瓷牡丹唐草花生」 御所人形 謡カルタ 十二生肖備	1点 3点 1点 1点 1点 2点 55点 1点 2点 1点 1点	11件 69点
1996年度	日本画 日本画 洋画 洋画 彫刻 陶芸 民具	今尾 景年 河野 秋邨 真野 岩夫 小牧 源太郎 五次 勝 藤平 伸	「牡丹図」ほか 「巖叡残雪」ほか 「バレリーナ」ほか 「また逢う日まで」ほか 「クエルダ」 「二人からくり」 握ね鉢 ほか	290点 3点 3点 26点 1点 1点 5点	7件 329点
1997年度	日本画 日本画 洋画 洋画 洋画 染織 染織 陶芸 漆芸 漆芸 人形 和楽器 民具 郷土玩具 郷土玩具 郷土玩具 郷土玩具	山本 知克 鶴澤 探真 金田 辰弘 斎藤 真成 中村 善種 西嶋 武司 中井 貞次 谷口 良三 伊藤 裕司 鈴木 雅也 村岡 登志一	「雪の日の東京駅」ほか 「鶺鴒合せ図」 「不死鳥」ほか 「化」ほか 「街路樹の中の女」ほか 「春風来」ほか 「双噴煙」 「梨花釉 樹海」ほか 「日月山水」ほか 「乾漆 あじさいの匳」 「薬玉-真-」ほか 月琴 商標版木 七夕の紙衣 ほか 七夕の紙衣 七夕の紙衣 花札表紙 ほか	3点 1点 3点 2点 3点 4点 1点 5点 2点 1点 2点 1点 1点 2点 16点 2点 5点 19点	17件 89点

(2)購入

a. 館蔵資料

年度	分野	作者	資料名	点数	分野	作者	資料名	点数
1988年度	茶道具	関 牧翁	茶杓	1点	茶道具	雪底老師	掛物「一行」	1点
	茶道具	三浦 竹泉	水指「染付松竹梅」	1点	茶道具	中村 清兎	風炉先「二尺四寸腰襖」	1点
	茶道具	村田 陶苑	茶碗「群鶴」	1点	茶道具	和田美之助	釜「筒」	1点
	茶道具	小川 長楽	茶碗「黒額」	1点	茶道具	和田美之助	釣釜	1点
	茶道具	前端 雅峯	薄茶器「金地研出菊瑛」	1点	茶道具	岡本 陽斎	炉縁「黒漆花筏蒔絵」	1点
	茶道具	鈴木 表朔	薄茶器「夕顔平瑛」	1点	茶道具		五徳	1点
	茶道具	橋村 萬象	薄茶器「溜面唐草雪吹」	1点	茶道具		炉壇(聚楽壁)	1点
	小計							14件
1991年度	絵画	垣内 雲嶺	誓願寺門前図屏風	1点	地図		銅版京都絵図	1点
	絵画		四条河原夕涼図	1点	地図		改正新刻京都新街新図	1点
	地図		改正京町絵図細見大成ほか	40点	地図		琵琶湖疏水地図	1点
	地図		増補再板京大絵図	1点	地図		歴代陵所一覽	1点
	小計							47件
1992年度	絵画	狩野 益信	洛中洛外図屏風	1点	絵画	泉 蛙	天保踊図屏風	1点
小計							2件	2点

b. 管理資料(京都府立総合資料館所蔵資料)

年度	分野	作者	資料名	点数	分野	作者	資料名	点数	
1988年度	日本画	山岸 純	「庵」	1点	漆芸	水内 杏平	蔓艸文蒔絵堆朱手箱	1点	
	陶芸	西川 實	「織部刻印華魚文扁壺」	1点	人形	面屋 庄三	御大将	1点	
	陶芸	今井 政之	「象嵌彩窯変螭螭壺」	1点	小計				5件 5点
1989年度	日本画	石川 義	「北湖の主と仲間たち」	1点	陶磁器	河合 誓徳	「選」	1点	
	染織	伊砂 利彦	和紙型絵染屏風「スクリーパービン作曲“焔にむかって”のイメージより」	1点	陶磁器	森野 泰明	扁壺「潮音」	1点	
小計							4件	4点	
1990年度	日本画	濱田 昇児	「岬の月」	1点	陶芸	林 康夫	「Far entrance」	1点	
	陶芸	清水六兵衛	「白釉花陶容」	1点	陶芸	清水 征博	「UNIT 90-D」ほか	2点	
小計							4件	5点	
1991年度	日本画	上村 淳之	「啼く」	1点	陶芸	新開 寛山	「ふくろう花瓶」	1点	
	染織	中井 貞次	「巨木積雪」	1点	漆芸	伊藤 裕司	「翡翠」	1点	
小計							4件	4点	
1992年度	日本画	秋野 不矩	「ビジュヌプール寺院」	1点	陶芸	近藤 潤	「染付葡萄酒瓶」	1点	
	染織		友禅染振袖	1点	漆芸	冬木偉沙夫	「朱と黒の器」	1点	
	陶芸	木村 盛伸	「黒地掛分白裂釉壺」	1点	小計				5件 5点
1993年度	日本画	鳥頭尾 精	「樹の景 一九九三」	1点	陶芸	宮川 喜吉	「白磁波文五角壺」	1点	
	染織	小倉 建亮	「松籟」	1点	陶芸	鎌田 幸二	「翠青天目紅彩大鉢」ほか	2点	
	陶芸	清水 保孝	「藍釉銀彩亀遊文大鉢」	1点	小計				5件 6点
	日本画	扇 敏之	「野の川」	1点	陶芸	滝口 和男	「無題I」ほか	2点	
日本画	高越 甚	「冬の稲木」	1点	漆芸	黒飛 亘	「天響」	1点		
日本画	北野 治男	「春へ」	1点	金工	小泉 武寛	「祈る」ほか	2点		
洋画	三尾 公三	「青の刻」	1点	小計				7件 9点	
1995年度	日本画	大野 俊明	「廻る」	1点	竹工芸	早川尚古斎	菱透文様花籃	1点	
	小計							2件	2点

年度	分野	作者	資料名	点数	分野	作者	資料名	点数
1996年度	染織	西嶋 武司	「雪山遊戯図」	1点	陶芸	宮下 善爾	「翔風」	1点
	染織	細見 華岳	「綴帯 春花」ほか	2点	漆芸	鈴木 雅也	透胎「華の函」	1点
小計								4件 5点
1997年度	日本画	露木 石門	「花鳥図」	1点	日本画	世継 希僊	「折枝牡丹図」	1点
	日本画	大西 酔月	「高士騎牛図」	1点	日本画	熊谷 直彦	「山水人物図」	1点
小計								4件 4点

(3)製作

a. 館蔵資料

年度	分野	資料名	点数	小計
1988年度	模型	明倫小学校模型（縮尺：1/60）	1点	3件 3点
	模型	遷都千百年記念殿及び第四回国勲業博覧会模型（縮尺：1/400）	1点	
	模型	三条通模型（縮尺：1/300）	1点	
1991年度	衣裳	唐衣裳装束	1式	2件 2点
	模型	元禄期四条河原周辺復元模型（縮尺：1/200）	1点	

(4)保管換え

a. 管理資料（京都府立総合資料館所蔵資料）

年度	分野	作者	資料名	点数	旧保管者	小計
1988年度	日本画	今井 守彦	「漁」	1点	京都府文化芸術室	1件 1点
1989年度	染織	白木 周生	「枝垂れ桜に賀茂の川模様木振袖」ほか	2点	京都府商工部	2件 3点
	染織	上山 寿信	金彩屏風「慶長小袖模様」	1点	京都府商工部	
1991年度	染織	白木 周生	振袖「躍動」ほか	2点	京都府商工部	1件 2点
1997年度	人形	大久保 暁	「御花車の模型」	1点	京都府文化芸術室	1件 1点

(5)寄託

a. 館寄託資料

年度	分野	件点数	分野	件点数	分野	件点数
1990年度 ～1997年度	古文書	19件 20点	絵図	17件 19点	模型	3件 3点
	典籍	19件 219点	考古資料	102件 524点		

b. 管理資料（京都府立総合資料館寄託資料）

年度	分野	件点数	分野	件点数	分野	件点数	分野	件点数	分野	件点数
1988年度	日本画	5件 7点	洋画	3件 4点	陶器	2件 98点	漆器	1件 2点	民俗	3件 243点
	武具	1件 4点	建築	1件 2点						
小計										16件 360点
1989年度	日本画	5件 7点	洋画	3件 4点	陶器	2件 98点	民俗	4件 251点	武具	1件 4点
	建築	1件 2点								
小計										16件 366点
1990年度	日本画	5件 7点	洋画	3件 4点	陶器	2件 98点	民俗	4件 251点	武具	1件 4点
	建築	1件 2点								
小計										16件 366点
1991年度	日本画	5件 7点	陶器	2件 98点	民俗	4件 250点	武具	1件 4点	建築	1件 2点
小計										13件 361点

年度	分野	件数	点数	分野	件数	点数	分野	件数	点数	分野	件数	点数			
1992年度	日本画	5件	7点	陶器	2件	98点	民俗	3件	250点	武具	1件	4点	建築	1件	2点
	小計											12件	361点		
1993年度	日本画	4件	6点	陶器	2件	98点	民俗	3件	250点	武具	1件	4点	建築	1件	2点
	小計											11件	360点		
1994年度	日本画	4件	6点	陶器	2件	98点	民俗	3件	250点	武具	1件	4点	建築	1件	2点
	小計											11件	360点		
1995年度	日本画	5件	14点	陶器	2件	98点	民俗	3件	250点	武具	1件	4点	建築	1件	2点
	小計											12件	368点		
1996年度	日本画	6件	17点	陶器	2件	98点	民俗	3件	242点	武具	1件	4点			
	小計											12件	361点		
1997年度	日本画	7件	18点	陶器	2件	98点	民俗	3件	237点	武具	1件	4点	染織	1件	1点
	小計											14件	358点		

(6)一時保管

a. 館一時保管資料（京都府所蔵資料）

年度	分野	資料名	点数	所蔵者等	備考
1988年度	洋画	梅原龍三郎「富士山の図」	1点	京都府	

第2節 資料の利用

(1)貸与

a. 館蔵資料

年度	分野	資料名	点数	申請者	使用目的	小計
1988年度	考古	西賀茂角社瓦窯跡出土瓦ほか	2点	向日市文化資料館	常設展示	3件 17点
	考古	西寺跡出土白磁碗ほか	11点	北九州市立考古博物館	北九州の中国陶磁展	
	考古	西寺跡出土白磁碗ほか	4点	九州歴史資料館	大宰府展	
1989年度	考古	西賀茂角社瓦窯跡出土瓦ほか	2点	向日市文化資料館	常設展示	2件 3点
	考古	三条西殿跡出土古瀬戸壺片	1点	神戸市立博物館	中世のやきもの展	
1990年度	考古	西賀茂角社瓦窯跡出土瓦ほか	2点	向日市文化資料館	常設展示	7件 112点
	考古	三条西殿跡出土巡礼札ほか	4点	向日市文化資料館	木に記された歴史展	
	考古	高倉下層遺跡出土縄文土器ほか	43点	榎原考古学研究所附属博物館	縄文文化展	
	考古	平安京出土遺物	7点	茶道資料館	遺跡出土の朝鮮王朝陶磁展	
	模型	東三条殿模型	1点	斎宮歴史博物館	斎宮をめぐる人々展	
	模型	東三条殿模型、平安京出土遺物	54点	神戸市立博物館	古代の都びとのくらし展	
模型	檜原廃寺八角塔模型	1点	京都市歴史資料館	平安京以前の京都展		
1991年度	考古	西賀茂角社瓦窯跡出土瓦ほか	2点	向日市文化資料館	常設展示	3件 4点
	図面	羅城門模型設計図	1点	京都南ローターアクトクラブ	記念事業	
	模型	明倫小学校模型	1点	毎日放送	テレビ放送	
1992年度	考古	西賀茂瓦窯跡出土軒丸瓦ほか	2点	向日市文化資料館	常設展示	7件 22点
	考古	西賀茂瓦窯跡出土軒丸瓦ほか	2点	吹田市立博物館	常設展示	
	考古	平安京左京四条四坊四町出土遺物	7点	京都府埋蔵文化財調査研究センター	第10回小さな展覧会	
	考古	平安京左京四条四坊四町出土遺物	7点	京都府立山城郷土資料館	発掘成果展	
	考古	平安京跡出土瓦	2点	花園大学史学科	キャンパスを掘る展	
	絵画	扇面古写経冊子模本	1点	斎宮歴史博物館	王朝文化の美展	
模型	元禄期四条河原周辺復元模型	1点	西陣織物館	西陣・歌舞伎抄展		
1993年度	考古	西賀茂瓦窯跡出土軒丸瓦ほか	2点	向日市文化資料館	常設展示	

年度	分野	資料名	点数	申請者	使用目的	小計
	考古	西賀茂瓦窯跡出土軒丸瓦ほか	2点	吹田市立博物館	常設展示	10件 122点
	考古	鬼瓦、鴟尾ほか	7点	斎宮歴史博物館	王朝文化の美—平安京展	
	考古	平安京跡出土軒丸瓦ほか	3点	大津市歴史博物館	古代の宮都展	
	考古	平安宮大極殿跡出土鬼瓦レプリカ	1点	九州歴史資料館	日本の鬼瓦展	
	考古	香川県分台産サヌカイトほか	2点	京都府立丹後郷土資料館	石の考古学展	
	考古	平安京左京四條四坊四町出土遺物ほか	60点	大丸京都店	大丸京都店内の展示	
	考古	法住寺殿出土鉄形(模造)	1点	木下美術館	旅亭紅葉開館記念展	
	模型	東三条殿復元模型ほか	3件	徳島市立徳島城博物館	「紫式部日記絵巻」の世界展	
	模型	元禄期四條河原周辺復元模型	1点	西陣織物館	西陣・歌舞伎抄展	
1994年度	考古	西賀茂瓦窯跡出土軒丸瓦ほか	2点	向日市文化資料館	常設展示	
	考古	西賀茂瓦窯跡出土軒丸瓦ほか	2点	吹田市立博物館	常設展示	
	考古	東三条殿復元模型ほか	7点	甞る平安京展実行委員会	甞る平安京展	
	考古	平安京左京四條四坊四町出土遺物	12点	神戸市立博物館	和鏡の文様展	
	絵画	誓願寺門前図屏風ほか	2点	京都国立博物館	都の形象展	
	模型	三条通模型	1点	京都府建築士会	展覧会	
1995年度	考古	西賀茂瓦窯跡出土軒丸瓦ほか	2点	向日市文化資料館	常設展示	8件 54点
	考古	西賀茂瓦窯跡出土軒丸瓦ほか	2点	吹田市立博物館	常設展示	
	考古	平安京左京六条三坊七町出土遺物	3件	京都府埋蔵文化財調査研究センター	第13回小さな展覧会	
	考古	平安京左京六条三坊七町出土遺物	3件	京都府立山城郷土資料館	発掘成果速報展	
	考古	平安京左京四條四坊四町出土遺物ほか	8点	小山市博物館	かがみよ鏡展	
	考古	三条西殿跡出土品	8点	瀬戸市埋蔵文化財センター	京・鎌倉出土の瀬戸焼	
	考古	平安京左京八条三坊二町出土遺物ほか	27点	埼玉県立博物館	美の匠たち展	
	模型	第四回内閣勲業博覧会模型	1点	千葉県立安房博物館	魚と生きる展	
1996年度	考古	西賀茂瓦窯跡出土軒丸瓦ほか	2点	向日市文化資料館	常設展示	3件 16点
	考古	西賀茂瓦窯跡出土軒丸瓦ほか	2点	吹田市立博物館	常設展示	
	考古	平尾・城山古墳出土品	12件	桜井市教育委員会	大和の大王の埴輪展	
1997年度	考古	西賀茂瓦窯跡出土軒丸瓦ほか	2点	向日市文化資料館	常設展示	4件 20点
	考古	西賀茂瓦窯跡出土軒丸瓦ほか	2点	吹田市立博物館	常設展示	
	考古	京都出土の桃山時代陶磁器	15点	愛知県陶磁資料館	遺跡にみる 戦国・桃山の茶道具展	
	絵画	誓願寺門前図屏風	1点	徳川美術館	かぶく美の世界展	

b. 管理資料(京都府立総合資料館所蔵資料)

年度	分野	資料名	点数	申請者	使用目的	小計
1988年度	日本画	佐々木豊「風景」ほか	13点	京都府	京都府庁内展示	
	日本画	浜田観「朝の庭」ほか	2点	姫路市立美術館	浜田観展	
	日本画	今尾景年「四時花木群蟲図」	1点	福岡県立美術館	明治の日本画展	
	日本画	広田多津「おしろい」ほか	5点	京都市美術館	1930年代の京都展	
	日本画	小野竹喬「曇り日の海」	1点	奈良県立美術館	今日の山水三人展	
	日本画	小野竹喬「はぎまの路」	1点	宮城県美術館	描かれた道展	
	日本画	山口華楊「白鷺」	1点	京都府文化芸術室	京都府庁内展示	
	日本画	「京の百景」	44点	舞鶴市文化事業団	京の百景展	
	日本画	今尾景年「千歳之松之図」	1点	京都府	京都府公館展示	
	日本画	堂本元次「暮れなずむ蘇州」	1点	NHKサービスセンター	シルクロード名作美術の旅展	
	日本画	下保昭「竹生島」	1点	読売新聞社	下保昭展	
	日本画	秋野不矩「初冬」	1点	秋野不矩	文化賞受賞記念展	
	日本画	山口華楊「白鷺」	1点	姫路市立美術館	市制100年記念展	
	日本画	幸野楳嶺「群魚図」	1点	ふくやま美術館	花鳥動物画のながれ展	
	洋画	小牧源太郎「伊呂波仁保刃止」	1点	小牧源太郎	文化賞受賞記念展	
	書	松花堂昭乗書状ほか	3点	八幡市	記念展	
	写真	木村尚達「古都扇翔」	1点	木村尚達	'88美術選抜展	

年度	分野	資料名	点数	申請者	使用目的	小計
	写真	能勢安治「五条」ほか	6点	京都府文化芸術室	庁内ギャラリー展示	
	陶芸	伊藤慶「静韻」	1点	京都府立文化芸術会館	伊藤慶展	
	陶芸	山田光「塔」	1点	京都市美術館	今日の作家展	
	染織	「雲取に源氏文様打掛」ほか	5点	毎日新聞社	装いの美展	
	染織	「空引機」	1点	西陣織工業組合	西陣織の歴史展	
	人形	「這子」ほか	30点	堺市博物館	日本の人形展	
	人形	「御所人形」ほか	3点	向日市文化資料館	雛人形展	
	民具	「番匠笠」ほか	7点	向日市文化資料館	竹の文化展	
	歴史	「防毒面」ほか	9点	'88平和のための京都の戦争展実行委員会	'88平和のための京都の戦争展	
	考古	「銅鐸」	2点	春日町歴史民俗資料館	丹波のあけぼの展	28件 146点
1989年度	日本画	端和子「雫」ほか	26点	京都府	京都府庁内展示	
	日本画	今尾景年「四時花木群蟲図」	1点	朝日新聞社	近代日本画の夜明け展	
	日本画	岸竹堂「源頼朝像」	1点	北日本新聞社	近代日本画・巨匠が描く歴史画名作展	
	日本画	三輪晃勢「木屋町」	1点	新潟市美術館	新潟の絵画100年展	
	日本画	「京の百景」	118点	丸亀美術館	京の百景展	
	日本画	上村松篁「竊白鷗」	1点	朝日新聞東京本社	記念美術展	
	日本画	池田遙邨「山の灯」	1点	京都国立近代美術館	池田遙邨遺作展	
	日本画	森寛斎「京新名所四季図」ほか	4点	岐阜県美術館	近代日本画の誕生展	
	日本画	西山英雄「さい果て」ほか	2点	茨城県立近代美術館	現代日本画巨匠展	
	日本画	幸野煤嶺「妓女図」ほか	3点	滋賀県立近代美術館	京都画壇巨匠の系譜・幸野煤嶺展	
	日本画	幸野煤嶺「妓女図下絵」	1点	滋賀県立近代美術館	京都画壇巨匠の系譜・幸野煤嶺展	
	日本画	宇田荻邨「鴨川の夕立」	1点	埼玉県立近代美術館	日本画・雨と余情展	
	洋画	須田国太郎「卓上静物」	1点	東京都美術館	日本油彩画に独自性を求めて展	
	洋画	三雲祥之助「二人の女」	1点	渋谷区立松濤美術館	三雲祥之助展	
	洋画	向井潤吉「奥多摩春景」	1点	朝日新聞大阪本社	昭和の日本画等100選展	
	洋画	向井潤吉「残雪の村」ほか	18点	朝日新聞大阪本社	向井潤吉展	
	洋画	向井潤吉「奥多摩春景」	1点	朝日新聞大阪本社	向井潤吉展	
	陶芸	清水六兵衛「青磁国華文花瓶」ほか	3点	朝日新聞大阪本社	六代清水六兵衛展	
	陶芸	清水六兵衛「色絵雉飾皿」	1点	朝日新聞大阪本社	六代清水六兵衛展	
	陶芸	楠部彌弌「彩埴朝顔飾皿」ほか	2点	読売新聞大阪本社	楠部彌弌とその一門展	
	陶芸	高山泰造「寿老」ほか	5点	京都伝統産業会館	企画展	
	陶芸	熊倉順吉「暦日」	1点	東京国立近代美術館	熊倉順吉展	
	陶芸	「色絵笠型掛花生」ほか	6点	愛知県陶磁資料館	近世陶磁の文様展	
	陶芸	鈴木治「弥生」	1点	京都府立文化芸術会館	鈴木治展	
	陶芸	伊藤慶「静韻」	1点	京都府立文化芸術会館	20周年記念展	
	陶芸	青木木米「白磁木瓜形水注」	1点	日本経済新聞社	日本の名陶100選展	
	染織	「黒羽二重地小紋小袖」	1点	博物館明治村	明治の衣裳展	
	染織	羽田登喜男「友禅訪問着 流文」	1点	石川県立美術館	石川県の人間国宝展	
	染織	「梅模様小袖」ほか	7点	京都府立丹後郷土資料館	丹後縮緬展	
	染織	高木敏子「貌」ほか	4点	京都国立近代美術館	高木敏子遺作展	
	染織	「金彩慶長小袖模様屏風」	1点	京都府商工部	大京都展	
	染織	皆川泰蔵「チベットポタラ宮」ほか	2点	麻布美術工芸館	特別企画展	
	染織	来野月乙「かくれ切支丹」	1点	来野月乙	京都芸大退官記念展	
	風俗	杉横目扇ほか	9点	茶道資料館	新春展	
	玩具	「独楽」ほか	93点	京都市社会教育センター	明治・大正・昭和のおもちゃ・絵本展	
	歴史	「坂本龍馬書状」	1点	鞆の浦歴史民俗資料館	明治の胎動展	
	歴史	「防毒面」ほか	8点	'89平和のための京都の戦争展実行委員会	'89平和のための京都の戦争展	
	歴史	「和宮使用草履」	1点	東京ルネッサンス推進委員会	中山道展	38件 333点

年度	分野	資料名	点数	申請者	使用目的	小計		
1990年度	日本画	幸野椹嶺「群魚図」ほか	3点	練馬区立美術館	5周年記念展	24件 150点		
	日本画	佐々木豊「風景」ほか	25点	京都府	京都府庁内展示			
	日本画	「春望」ほか	6点	京都府	京都府庁内展示			
	日本画	石川義「北湖の主と仲間たち」	1点	石川義	グループ展			
	日本画	武本春根「立春静日」ほか	3点	京都府	京都府庁内展示			
	日本画	川島浩「渥原」ほか	2点	京都府	京都府庁内展示			
	日本画	勝田哲「道成寺」ほか	5点	大分県立芸術会館	京都の日本画展			
	日本画	小野竹喬「曇り日の海」	1点	京都市美術館	1950年代の京都の日本画展			
	日本画	上村松篁「縞白鷗」	1点	毎日新聞社	上村松篁回顧展			
	日本画	中野弘彦「世阿弥の哲学」ほか	2点	中野弘彦	京都美術文化賞受賞記念展			
	洋画	須田国太郎「卓上静物」	1点	静岡県立美術館	静物展			
	洋画	芝田米三「山河あり」	1点	NHKサービスセンター	花のある名作美術展			
	洋画	津田周平「しぼんだ花」	1点	津田周平自選展実行委員会	遺作津田周平自選展			
	陶芸	山田光「塔」	1点	陶芸の森開設準備室	現代陶芸と原始土器			
	陶芸	伊東陶山「宝船置物」ほか	2点	産業経済新聞社	甦る明治の巨匠展			
	陶芸	藤平伸「鳥の皿」ほか	3点	藤平伸	京都美術文化賞受賞記念展			
	陶芸	三代清風与平「青華磁牡丹花鳥花瓶」ほか	3点	滋賀県立近代美術館	近代日本陶芸の巨匠展			
	染織	「京友禅振袖 四季北山杉文様」ほか	2点	京都府染織工芸課	花博関連事業展示			
	染織	「京友禅振袖 北山の四季」ほか	2点	京都府染織工芸課	京の和装展			
	染織	皆川泰蔵「インドベナレスの月」ほか	2点	朝日新聞大阪本社	皆川泰蔵展			
	民俗	「祇園祭放下鉦染織品」	8点	太陽神戸三井銀行	祇園祭展			
	民具	「白川女風俗人形」	1点	京都染織会館	京の雅 婚礼風俗と調度品			
	玩具	「船乗り童子」ほか	66点	横浜マリントイミュージアム	船のおもちゃ展			
	歴史	「防毒面」ほか	8点	'90平和のための京都の戦争展実行委員会	'90平和のための京都の戦争展			
	考古	「銅鐸」	4点	京都市歴史資料館	平安京以前の京都展			
	1991年度	日本画	上田晴也「西」ほか	3点	上田晴也		上田晴也自選展	24件 150点
		日本画	佐々木豊「風景」ほか	29点	京都府		京都府庁内展示	
日本画		三橋節子「野草」ほか	6点	枚方市教育委員会	三橋節子回顧展			
日本画		今尾景年「安宅之関図」	1点	井原市立田中美術館	平櫛田中と戸田天波展			
日本画		池田遥郎「堤」ほか	15点	京都府立文化芸術会館	日本画名作展			
日本画		三橋節子「野草」ほか	6点	山形美術館	三橋節子展			
日本画		上村松篁「縞白鷗」ほか	4点	京都府	京都府庁内展示			
日本画		三輪晁勢「山湖」	1点	読売新聞社	紅葉を描く日本画名作展			
日本画		今尾景年「四時花本群蟲図」	1点	北海道立近代美術館	近代日本画の花鳥展			
日本画		富岡鉄斎「懸崖図」ほか	10点	新見美術館	富岡鉄斎展			
日本画		山口華楊「白鷺」ほか	2点	名都美術館	山口華楊展			
日本画		「京の百景」	60点	福知山市	京の百景展			
日本画		今尾景年「安宅之関図」ほか	4点	下関市立美術館	大庭学僊と明治前期日本画展			
日本画		「京の百景」	118点	新潟日報社	京の百景展			
日本画		堂本印象「時の秘鍵」	1点	O美術館	書と絵画との熱き時代展			
日本画		麻田辨自「桐の尾」	1点	京都市美術館	麻田辨自遺作展			
日本画		小野竹喬「はざまの路」ほか	2点	茨城県立美術館	昭和戦前期の日本画展			
日本画		三橋節子「湖の伝説」ほか	6点	毎日新聞社	三橋節子回顧展			
日本画		橋田二郎「鳥」	1点	京都府立文化芸術会館	橋田二郎展			
日本画		西山英雄「播磨灘物語挿絵原画」	15点	姫路文学館	播磨灘物語展			
洋画		津田周平「朝焼の詩」	1点	津田トシ	第43回京展			
洋画		須田国太郎「卓上静物」ほか	3点	京都市美術館	須田国太郎展			
洋画		向井潤吉「奥多摩春景」ほか	22点	富士美術館	向井潤吉展			
陶芸		永楽善五郎「仁清写し菊水指」	1点	セゾン美術館	伝統の技展			

年度	分野	資料名	点数	申請者	使用目的	小計
	陶芸	「鏤絵舟形向付」ほか	2点	愛知県陶磁資料館	御庭焼と御用窯の世界展	
	陶芸	新開寛山「年輪」ほか	2点	京都府立文化芸術会館	新開寛山展	
	陶芸	「明治期の食器」ほか	5点	大阪市立博物館	工芸家たちの明治維新展	
	染織	皆川月華「籠」	1点	皆川泰蔵	現代工芸30周年記念展	
	染織	羽田登「潮音」ほか	2点	京都新聞社	京都工芸2人展	
	染織	「小紋羽織」ほか	13点	大阪市立博物館	男性のふぁっしょん事情展	
	染織	「紫縮緬地友禅染振袖」ほか	19点	奈良県立美術館	染と織の意匠美展	
	染織	佐野猛夫「湖の譜」	1点	目黒区美術館	水のアラベスク展	
	染織	羽田登「潮音」ほか	2点	京都新聞社	京都工芸2人展	
	染織	「鯨小紋羽織」ほか	9点	北海道立帯広美術館	江戸のプリント・アート展	
	染織	「振袖 北山の四季」ほか	2点	京都工芸染匠協同組合	第12回京友禅フェアー	
	漆芸	貞端貞粹「つばさ」ほか	3点	京都市美術館	発動する現代の工芸展	
	人形	「有職雛」ほか	7点	京都府商工部	京人形展	
	人形	「有職雛」ほか	11点	京都伝統産業会館	京の工芸品展	
	人形	「元禄雛」ほか	14点	龍野市教育委員会	ひいな展	
	民具	「巨椋池漁撈具」	25点	京都府立山城郷土資料館	巨椋池の民俗展	
	玩具	「張子面」ほか	21点	栃木県立博物館	遊びとおもちゃ展	
	玩具	「伏見人形」ほか	72点	大分市教育委員会	九州の土人形展	
	歴史	「七脚落図屏風」	1点	霊山歴史館	維新の政変展	
	歴史	「防毒面」ほか	8点	'91平和のための京都の戦争展実行委員会	'91平和のための京都の戦争展	
	考古	「銅鐸」	4点	野洲町立歴史民俗資料館	銅鐸から銅鏡へ展	45件 537点
1992年度	日本画	西山英雄「播磨灘物語挿絵原画」	16点	姫路文学館	播磨灘物語展	
	日本画	正井和行「汀石」ほか	29点	京都府	京都府庁内展示	
	日本画	上村淳之「啼く」ほか	2点	平塚市美術館	花鳥画の世界展	
	日本画	上村松篁「壬生狂言」	1点	楽美術館	まつり春・夏展	
	日本画	北沢映月「二面像」	1点	京都市美術館	北沢映月展	
	日本画	上村淳之「啼く」	1点	読売新聞社	日本秀作美術展	
	日本画	今尾景年「四時花木群蟲図」	1点	岐阜県美術館	日本の近代美術にみる花展	
	日本画	「京の百景」	58点	福知山市	京の百景展	
	日本画	「京の百景」	118点	宇部市教育委員会	京の百景展	
	日本画	上村淳之「啼く」	1点	上村淳之	京都画壇日本画秀作展	
	陶芸	新開寛山「年輪花瓶」ほか	3点	新開寛山	新開寛山陶芸展	
	陶芸	清水六兵衛「玄窯宇津花瓶」ほか	5点	姫路市立美術館	現代陶芸の系譜展	
	陶芸	楠部弥次「早蕨軸力花瓶」ほか	21点	勸業館準備室	粟田焼との出会い展	
	染織	羽田登喜男「流文」	1点	石川県立美術館	羽田登喜男展	
	染織	皆川泰蔵「チベットポタラ宮」ほか	2点	京都府立文化芸術会館	皆川泰蔵展	
	染織	中井貞次「巨木積雪」	1点	中井貞次	個展	
	染織	「振袖」ほか	6点	東京ルネッサンス推進委員会	全国美術交流展	
	漆芸	久保金平「黒象花器」ほか	2点	東京国立近代美術館	塗りの系譜展	
	人形	種田蝶子「双」	1点	種田蝶子	個展	
	民具	「徳利」ほか	16点	京都府立丹後郷土資料館	丹後の酒展	
	風俗	「手提煙草盆」ほか	6点	向日市文化資料館	洛外の世界展	
	玩具	「大漁船」ほか	48点	神戸海洋博物館	海のおもちゃ箱展	
	玩具	「伏見人形 天神」ほか	103点	田辺町教育委員会	伏見人形の世界展	
	玩具	「土人形笛」ほか	127点	龍野市立歴史文化資料館	兵庫の土人形展	
	歴史	「坂本龍馬書状」ほか	2点	下関市立長府博物館	坂本龍馬と下関展	
	考古	「銅鐸」	4点	神戸市立博物館	弥生時代の青銅器展	26件 576点
1993年度	日本画	佐々木豊「風景」ほか	29点	京都府	京都府庁内展示	
	日本画	上村淳之「啼く」	1点	上村淳之	京都画壇日本画秀作展	
	日本画	秋野不矩「ビジュヌプール寺院」	1点	京都市芸術文化協会	美術選抜展	
	日本画	秋野不矩「ビジュヌプール寺院」	1点	読売新聞社	日本秀作美術展	
	日本画	小野竹喬「はぎまの路」ほか	3点	練馬区立美術館	昭和日本の軌跡展	
	日本画	秋野不矩「初冬」	1点	京都市美術館	秋野不矩展	
	日本画	金島桂華「明けゆく比良」ほか	4点	滋賀県立近代美術館	現代の近江八景展	
	日本画	山口華楊「白鷺」ほか	2点	朝日新聞社	京都画壇名作展	

年度	分野	資料名	点数	申請者	使用目的	小計
	日本画	朝田丹陵「足柄山」	1点	福岡県立美術館	川辺御橋と近代大和絵の系譜展	
	日本画	山口華楊「白鷺」ほか	2点	東武美術館	山口華楊と辰鳥社の人びと展	
	日本画	三輪晁勢「本屋町」	1点	読売新聞社	古都を描く日本画展	
	日本画	塩川文麟「地獄図」ほか	3点	兵庫県立近代美術館	水木しげると日本の妖怪展	
	日本画	今尾景年「四時花木群蟲図」ほか	4点	茨城県立近代美術館	明治の日本画展	
	陶芸	熊倉順吉「暦日」ほか	2点	愛知県美術館	現代の陶芸展	
	陶芸	「明治期の食器」ほか	10点	埼玉県立近代美術館	現代陶芸うつわ考展	
	陶芸	「明治期の食器」ほか	10点	埼玉県立近代美術館	現代陶芸うつわ考展	
	陶芸	「古清水茶碗」	1点	茶道資料館	椿の意匠展	
	染織	羽田登喜男「友禪訪問着 流文」	1点	京都新聞社	羽田登喜男展	
	染織	「松竹梅鶴亀縹振袖」ほか	3点	京都結納儀式協同組合	京の結納工芸展	
	染織	羽田登喜男「友禪訪問着 流文」	1点	福島県立美術館	現代の染織展	
	染織	伊砂利彦「焰に向かって」	1点	京都府立文化芸術会館	伊砂利彦展	
	染織	伊砂利彦「焰に向かって」	1点	那覇市	伊砂利彦作品展	
	漆芸	水内杏平「交錯飾棚」ほか	2点	水内杏平	水内杏平の世界展	
	漆芸	鈴木雅也「ちいさな街の風景」ほか	2点	鈴木雅也	繚乱の漆芸展	
	人形	大林蘇乃「青衣少女」	1点	三門靖子	艸の実会人形展	
	人形	面屋庄三「御大将」	1点	岡本潤三	あまがつ会人形展	
	人形	「御大将」ほか	21点	龍野市立歴史文化資料館	五月人形展	
	楽器	「振鼓」ほか	3点	佐賀県立博物館	音の結ぶ世界展	
	民具	「唐箕」	1点	町田市立博物館	農耕図と農耕具展	
	玩具	「土鳩」ほか	13点	京都府農林水産部	緑と野鳥展	
	玩具	「伏見人形 牛乗り天神」ほか	50点	遠野市立博物館	東北の郷土人形展	
	その他	「御所花車」	1点	読売新聞社	京の四季展	32件 178点
1994年度	日本画	佐々木豊「風景」ほか	29点	京都府	京都府庁内展示	
	日本画	塩川文麟「地獄図」ほか	3点	鳥取県立博物館	水木しげると日本の妖怪展	
	日本画	今尾景年「四時花木群蟲図」	1点	井原市立田中美術館	景年・桜谷と河合文林展	
	日本画	秋野不矩「初冬」	1点	練馬区立美術館	日本画の装飾美展	
	日本画	「京の百景」	118点	読売新聞大阪本社	京の百景展	
	日本画	水野深草「花」	1点	水野深草	第36回牧人展	
	日本画	三橋節子「野草」ほか	6点	日本テレビ放送網	三橋節子展	
	日本画	幸野榊嶺「秋胡妻取桑図」ほか	2点	京都市立芸術大学芸術資料館	名品に想ふ学窓の美術家展	
	日本画	益利「伝吉野太夫図」ほか	38点	福知山市美術館	京の美人画展	
	日本画	森寛斎「京新名所四季図」	1点	国際交流基金	近代日本画の一世紀展	
	日本画	小野竹喬「曇り日の海」	1点	石川県立美術館	戦後日本の具象美術展	
	日本画	幸野榊嶺「魯秋潔婦図」	1点	京都新聞社	京都画壇250年の系譜展	
	日本画	渡辺南岳「歌妓図」	1点	大分県立芸術会館	竹田とその交友たち展	
	日本画	岸竹堂「朧夜祇園観桜図」ほか	4点	京都国立近代美術館	京を描く展	
	日本画	今尾景年「安宅之関図」	1点	桑名市立博物館		
	日本画	三橋節子「野草」ほか	6点	京都新聞社	三橋節子展	
	陶芸	五代清水六兵衛	8点	楽美術館	京都の近代工芸展	
	陶芸	「大礼磁唐草文花瓶」ほか				
	陶芸	五代清水六兵衛	6点	楽美術館	京都の近代工芸展	
	陶芸	「音羽桃海鳥文花瓶」ほか				
	陶芸	伊東翠壺「黒と朱の壺」ほか	2点	伊東慶	伊東翠壺・慶展	
	陶芸	五代清水六兵衛「青磁鹿耳花瓶」ほか	10点	新見美術館	清水焼と清水六兵衛展	
	陶芸	深見陶治「皿<爽>」	1点	京都市美術館	深見陶治展	
	染織	馬文様友禪染紋付振袖ほか	5点	馬の博物館	日本近世の馬の意匠展	
	染織	「雲取前栽草花模様振袖」ほか	2点	京都府教育委員会	第23回日本伝統工芸展	
	染織	「秋草染文様帷子」ほか	6点	江戸東京博物館	江戸の夏展	
	染織	「松皮取に草花辻ヶ花染裂」ほか	13点	目黒区美術館	色の博物誌・赤展	
	染織	「羽織」	1点	島根県立博物館	日本美再発見展	
	染織	「空引機」	1点	西陣織会館	絹の道西陣展	
	諸工芸	斎田梅亭「交菱飾筥」	1点	日本放送協会	人間国宝展	

年度	分野	資料名	点数	申請者	使用目的	小計
	漆芸	西村彦兵衛「春秋蒔絵硯箱」	1点	茶道資料館	京都の近代工芸展	37件 382件
	漆芸	「蔓草蒔絵堆朱手箱」	1点	水内杏平	水内杏平個展	
	民俗	「放下鉢染織品」	1点	神戸市立博物館	鎖国・長崎貿易の華展	
	民俗	「放下鉢染織品」	6点	祇園祭山鉾連合会	さくら銀行文化財展示	
	民具	「月鉢模型」ほか	25点	長浜城歴史博物館	山車・屋台・曳山展	
	民具	「巨椋池漁撈具」	7点	大阪市立博物館	歴史のなかの淀川展	
	玩具	「福助」ほか	46点	名古屋市博物館	愛知の土人形展	
	玩具	伏見人形「布袋」ほか	21点	四日市市文化振興財団	人形展	
	玩具	「七脚落図屏風」ほか	3点	鳥取県立博物館	明治維新と鳥取展	
	歴史					
1995年度	日本画	佐々木豊「風景」ほか	29点	京都府	京都府庁内展示	23件 224点
	日本画	上村松篁「縞白鷗」ほか	48点	笠岡市立竹喬美術館	京都の現代日本画	
	日本画	正井和行「汀」ほか	6点	大分県立芸術会館	正井和行展	
	日本画	小野竹喬「はざまの路」ほか	2点	山和美術館	小野竹喬展	
	日本画	森寛斎「京新名所四季図」	1点	国際交流基金	近代日本画の一世紀展	
	日本画	金島桂華「椿」ほか	3点	華鶴美術館	橋本閑雪と金島桂華展	
	日本画	北沢映月「二面像」	1点	島根県立博物館	昭和20年代の日本画展	
	日本画	宇田荻邨「鴨川の夕立」	1点	桑名市博物館	近代日本画展	
	日本画	今井守彦「北国の女」ほか	43点	福知山市美術館	現代京都の日本画展	
	日本画	横井金谷「鐘馗図」ほか	2点	大津市歴史博物館	近世大津の画人たち展	
	日本画	上村松篁「縞白鷗」	1点	読売新聞社	上村松篁展	
	日本画	山本知克「聖域」ほか	2点	京都府立文化芸術会館	山本知克展	
	洋画	向井潤吉「白毫寺の辻」	1点	高浜市やきもの里 かわら美術館	かわらの美展	
	洋画	須田国太郎「戸外静物」	1点	尾道市立美術館	小松和作と美の交遊展	
	版画	国芳「近世又平名画奇特」ほか	17点	大津市歴史博物館	大津絵展	
	陶芸	五代清水六兵衛「大礼磁唐草文花瓶」ほか	55点	島原市教育委員会	京都特別展	
	染織	中井貞次「巨木積雪」	1点	京都府立文化芸術会館	中井貞次展	
	染織	片山文三郎「遠近本疋田絞訪問着」ほか	2点	片山文雄	京の文化と京鹿の子絞展	
	人形	岡本正太郎「空也」	1点	日本経済新聞社	人形芸術の世界展	
	人形	十二世面庄「本彫御所人形」	1点	十四世面庄	十四世面庄襲名披露	
	民俗	「放下鉢染織品」	1点	群馬県立歴史博物館	絨毯展	
	民具	「裂織」	4点	京都府立丹後郷土資料館	日本海の裂織展	
	民具	「月鉢模型」	1点	四日市市立博物館	祭礼・山車・風流	
1996年度	日本画	佐々木豊「風景」ほか	29点	京都府	京都府庁内展示	23件 224点
	日本画	「京の百景」	118点	豊科近代美術館	京の百景展	
	日本画	三橋節子「野草」ほか	2点	三橋節子美術館	三橋節子・野草シリーズ展	
	日本画	山口華楊「白鷺」	1点	群馬県立近代美術館	美術の国の動物たち展	
	日本画	塩川文鱗「猛猪図」ほか	3点	大阪市立美術館	十二支の動物たち展	
	日本画	宇田荻邨「鴨川の夕立」ほか	2点	京都新聞社	近代名画に描かれた京洛四季展	
	日本画	今尾景年「四時花木群蟲図」ほか	2点	サントリー美術館	皇室技芸員の世界展	
	日本画	祇園井特「歌妓図」ほか	3点	岡山県立美術館	Female Identity 展	
	日本画	岸連山「桜樹遊猿図」	1点	栗東歴史民俗博物館	岸派とその粉本展	
	日本画	小野竹喬「はざまの路」ほか	3点	松伯美術館	近代日本画の本画と下絵展	
	日本画	宇田荻邨「鴨川の夕立」	1点	高浜市やきもの里 かわら美術館	瓦と風月展	
	日本画	上村松篁「縞白鷗」	1点	毎日新聞社	上村松篁・松篁・淳之展	
	日本画	金島桂華「椿」ほか	2点	読売新聞社	日展90年記念展	
	日本画	小野竹喬「鴨川夜景」ほか	3点	北海道立近代美術館	小野竹喬展	
	日本画	甲斐庄楠音「芸妓」	1点	京都国立近代美術館	甲斐庄楠音展	
	洋画	小牧源太郎「伊呂波仁保辺止」	1点	京都国立近代美術館	小牧源太郎遺作展	
	洋画	芝田米三「幻想稲荷山四季」	1点	式年遷宮記念神宮美術館	神々との出会い展	
	洋画	向井潤吉「奥多摩春景」ほか	14点	朝日新聞社	向井潤吉展	
	洋画	斎藤真成「疲れた牛」ほか	3点	大阪府	斎藤真成展	

年度	分野	資料名	点数	申請者	使用目的	小計
	彫刻	内田晴之「RHYSICAL PROCESS W-2」	1点	内田晴之	撮影	
	陶芸	幹山伝七「染付草花文盛鉢」ほか	8点	滋賀県立陶芸の森陶芸館	明治のやきもの展	
	陶芸	楠部彌弼「早蕨釉力花瓶」ほか	29点	京都府中小企業総合センター	陶磁器バーチャル美術館用撮影	
	陶芸	三代清水六兵衛「白磁流文花瓶」ほか	22点	京都府中小企業総合センター	陶磁器バーチャル美術館用撮影	
	陶芸	「色絵六角段重」ほか	13点	京都府中小企業総合センター	陶磁器バーチャル美術館用撮影	
	陶芸	石黒宗磨「鉄絵大皿 麦」ほか	31点	京都府中小企業総合センター	陶磁器バーチャル美術館用撮影	
	染織	「空引機」	1点	きものサミット開催委員会	きものサミット'96京都	
	染織	羽田登喜男「友禅訪問着 流文」ほか	3点	京都新聞社(リヨン装飾染織美術館)	羽田家のきもの展	
	染織	中井貞次「巨木積雪」	1点	中井貞次	退官記念展	
	漆芸	七代西村彦兵衛「春秋詩絵文庫」	1点	石川県輪島漆芸美術館	近代の漆芸展	
	金工	斎田梅亭「交菱文飾簪」	2点	文化庁	日本のわざと美展	
	人形	「一文雛御殿飾り」ほか	13点	渋谷区立松濤美術館	江戸の人形展	
	民俗	「繫馬図絵馬」	1点	京都国立博物館	室町時代の狩野派展	32件 317点
1997年度	日本画	武本春根「立春静日」ほか	29点	京都府	京都府庁内展示	
	日本画	長沢瀧雪「美人図」	1点	名古屋美術館	郷土の美人画考展	
	日本画	宇田荻郁「鴨川の夕立」ほか	2点	産経新聞社	宇田荻郁展	
	日本画	竹内栖鳳「象図」	1点	練馬区立美術館	東西画壇の両雄展	
	日本画	山本知克「聖域」ほか	5点	石川県立美術館	山本知克展	
	日本画	祇園井特「島原太夫図」ほか	5点	山種美術館	美人画の誕生展	
	日本画	今尾景年「貝尽し」	1点	郡山市立美術館	花よ魚よ鳥たちよ…展	
	日本画	池大雅「柳下童子図屏風」ほか	3点	大阪市立美術館	煎茶・美とのかたち展	
	日本画	「百鬼夜行絵巻」ほか	2点	富岡市立美術博物館	もののけ展	
	日本画	今尾景年「四時花本群蟲図」ほか	6点	徳島県立近代美術館	「日本画」の19世紀展	
	日本画	土佐光武「勝山塚如像」ほか	4点	岐阜県美術館	近代のやまと絵展	
	洋画	三尾公三「背の刻」	1点	ひろしま美術館	三尾公三展	
	洋画	向井潤吉「またぎの家」ほか	22点	福知山市美術館	向井潤吉展	
	洋画	小牧源太郎「伊呂波仁保辺止」ほか	3点	大宮町	小牧源太郎ふるさと遺作展	
	陶芸	河合卯之助「牡丹蝶文色絵飾壺」ほか	3点	宮城県美術館	河合卯之助展	
	陶芸	楠部彌弼「緑釉金彩ゴルフ花瓶」ほか	4点	毎日新聞社	楠部彌弼展	
	陶芸	幹山「銚絵楼閣山水絵四方皿」ほか	9点	出雲市立出雲文化伝承館	京の茶陶展	
	陶芸	楠部彌弼「早蕨釉力花瓶」ほか	4点	広島県立美術館	楠部彌弼展	
	陶芸	宮下善爾「幻影の塔」ほか	2点	宮下善爾	テレビ撮影	
	陶芸	近藤悠三「山噴煙染付花瓶」ほか	7点	京都府中小企業総合センター	陶磁器バーチャル美術館展	
	染織	黒縮緬血槍小紋小袖ほか	4点	町田市立国際版画美術館	名品でたどる版と型の日本美術展	
	染織	「白麻地雲菱菊散し文様帷子」ほか	9点	仙台市博物館	涼しさの表現展	
	染織	「白麻地扇面草花文様帷子」ほか	3点	国立歴史民俗博物館	時代を語る「染」と「織」展	
	染織	「松皮取に草花辻々花染裂」	1点	岐阜県美術館	織部展	
	染織	細見華岳「綴帯 春花」ほか	2点	文化庁	日本のわざと美展	
	染織	西嶋武司「雪山遊戯図」	1点	中信美術奨励基金	京都美術文化賞受賞記念展	
	染織	佐野猛夫「湖の譜」ほか	3点	京都市美術館	佐野猛夫遺作展	
	人形	「古今雛」	1点	西川久子	明治の暮らし展	
	民具	「漏斗台」ほか	3点	京都府立山城郷土資料館	柿波の力展	
	歴史	「和宮使用草履」	1点	江戸東京博物館	皇女和宮展	
	歴史	「坂本龍馬書簡」ほか	3点	霊山歴史館	よみがえる龍馬展	
	歴史	「七卿落図屏風」	1点	熱田神宮宝物館	幕末維新の群像展	
	考古	「銅鐸」	1点	北九州市立考古博物館	弥生の鋳物工房とその世界展	33件 140点

c. 管理資料（京都府所蔵資料）

年度	分野	資料名	点数	申請者	使用目的	小計
1994年度	洋画	梅原龍三郎「富士山の図」	1点	朝日新聞社	日本洋画壇の三巨匠展	1件 1点
1995年度	洋画	梅原龍三郎「富士山の図」	1点	毎日新聞社	梅原龍三郎展	1件 1点

(2) 撮 影

a. 館蔵資料

年度	小計	年度	小計	年度	小計	年度	小計	年度	小計
1988年度	14件 20点	1990年度	22件 32点	1992年度	38件 58点	1994年度	47件 100点	1996年度	39件 53点
1989年度	11件 14点	1991年度	19件 32点	1993年度	62件 116点	1995年度	40件 57点	1997年度	14件 20点

b. 管理資料（京都府立総合資料館所蔵資料）

年度	小計	年度	小計	年度	小計	年度	小計	年度	小計
1988年度	16件 40点	1990年度	23件 78点	1992年度	27件 75点	1994年度	37件 145点	1996年度	45件 309点
1989年度	27件 535点	1991年度	24件 117点	1993年度	36件 240点	1995年度	25件 72点	1997年度	36件 107点

(3) 観 覧

a. 管理資料（京都府立総合資料館所蔵資料）

年度	小計	年度	小計	年度	小計	年度	小計	年度	小計
1988年度	15件 109点	1990年度	16件 517点	1992年度	16件 674点	1994年度	16件 201点	1996年度	13件 219点
1989年度	12件 212点	1991年度	12件 333点	1993年度	15件 522点	1995年度	14件 117点	1997年度	15件 167点

(4) 寄託資料一時持ち出し

a. 管理資料（京都府立総合資料館所蔵資料）

年度	分野	資料名	点数	申請者	使用目的	小計
1988年度	民俗	祇園祭大船鉦資料	30箱	大船鉦保存会	祭礼	2件 34点
	民俗	鞍馬火祭資料	4点	鞍馬火祭保存会	祭礼	
1989年度	民俗	祇園祭大船鉦資料	30箱	大船鉦保存会	祭礼	2件 34点
	民俗	鞍馬火祭資料	4点	鞍馬火祭保存会	祭礼	
1990年度	民俗	祇園祭大船鉦資料	30箱	大船鉦保存会	祭礼	2件 34点
	民俗	鞍馬火祭資料	4点	鞍馬火祭保存会	祭礼	
1991年度	民俗	祇園祭大船鉦資料	30箱	大船鉦保存会	祭礼	2件 34点
	民俗	鞍馬火祭資料	4点	鞍馬火祭保存会	祭礼	
1992年度	民俗	祇園祭大船鉦資料	30箱	大船鉦保存会	祭礼	2件 34点
	民俗	鞍馬火祭資料	4点	鞍馬火祭保存会	祭礼	
1993年度	民俗	祇園祭大船鉦資料	30箱	大船鉦保存会	祭礼	2件 34点
	民俗	鞍馬火祭資料	4点	鞍馬火祭保存会	祭礼	
1994年度	民俗	祇園祭大船鉦資料	35箱	大船鉦保存会	祭礼	3件 42点
	民俗	祇園祭放下鉦染織品	3点	放下鉦保存会	修理	
	民俗	鞍馬火祭資料	4点	鞍馬火祭保存会	祭礼	
1995年度	民俗	鞍馬火祭資料	4点	鞍馬火祭保存会	祭礼	1件 4点
1996年度	民俗	祇園祭大船鉦資料	23箱	大船鉦保存会	展示	2件 34点
	民俗	鞍馬火祭資料	4点	鞍馬火祭保存会	祭礼	
1997年度	民俗	祇園祭大船鉦資料	10箱	大船鉦保存会	祭礼	3件 19点
	民俗	祇園祭放下鉦染織品	5点	放下鉦保存会	展示	
	民俗	鞍馬火祭資料	4点	鞍馬火祭保存会	祭礼	

第2章 展示活動

第1節 常設展示

(1) 歴史展示

歴史の常設展示は、京都の1200年の歴史をやさしく通覧できるように企画されたもので、展示は大きく二つの部分に分けられる。

一つは京都の町の歴史の概観的な展示である。平安京以前の京都盆地の姿を示すプロローグに始まり、平安京の誕生から明治・大正のころまでを四つのテーマに分けて展開し、京都の未来を展望するエピローグで結ぶ構成である。

いま一つは、ある時間的な幅のなかでは位置づけることのできない文化事象から、町衆によって育まれて

きた京都文化を代表する四つのテーマを選んで展示する集中展示であり、あわせてそれらが繰り広げられた場としての京都を絵画資料に見るものである。

展示は、人物を配した復元模型を積極的に採用した立体的要素と、若干の解説と写真や図などを絵巻物風に展開した平面的要素とから成り、これらを補うために各所に映像を配置した。展示替えは、概観展示では部分的に行い、集中展示では各界の協力を得て積極的に実施してきたが、全体としては実物資料を極力抑える展示となっている。

① 概観展示 (*印は展示替え参照)

展示テーマ	展示項目	展示小項目	展示細目	展示資料	資料形態
百千足る 家庭				「山紫水明」(鈴木雅也/加藤忠雄一金工)	壁面造形物
				京都盆地(ホログラフ)	特殊模型
				先土器・縄文時代の遺跡分布/弥生時代の遺跡分布/古墳時代の遺跡分布	図
	山河襟帯自然 に城を成す	都城の地	川と湖沼	大堰川/神泉苑現況/深泥池現況/巨椋池現況/巨椋池(昭和初期)	写真
				開拓者たち	渡来人の活躍 嵯峨野の古墳群/蛇塚古墳/天皇の杜古墳
		榎原廃寺	寺と社	大宅廃寺/北野廃寺/広隆寺/松尾神社/下鴨神社/上賀茂神社/伏見稻荷神社	写真
				榎原廃寺八角塔復元模型 榎原廃寺/榎原廃寺発掘状況(瓦積基壇)/榎原廃寺発掘状況(塔心礎)	模型(縮尺1/30) 写真
	古代の都城	唐に学んで	大陸の文化	長安から平安京へ/唐・長安城	図
			三つの京	藤原京/平城京/長岡京/平安京	図
				藤原京域現況/平城京域現況/長岡京域現況	写真
平安楽土 万年春				「出水游宴」(鈴木雅也/小林茂夫一金工) 「殿上焔乱」(鈴木雅也/福本繁樹一染色)	壁面造形物
				王朝絵巻	都の にぎわい
	京への道	通りのにぎわい(扇面古写経冊子/年中行事絵巻)	写真		
	国風りの姿	朱雀大路	羅城門復元模型	模型(縮尺1/30)	
			国風文化	束帯*	復元
				かな文字(継色紙/三十六人家集)/清涼殿(信貴山緑起絵巻)/寝殿造(山水屏風)	写真
	別業の営み	浄土への 憧れ	密教の世界像	曼荼羅と二河白道(ホログラフ)	模型
教王護国寺講堂/金剛界曼荼羅/胎藏界曼荼羅				写真	

展示テーマ	展示項目	展示小項目	展示細目	展 示 資 料	資料形態
武者の世に	京の変容	御堂と水閣	浄土教の世界像	阿弥陀聖衆來迎図／平等院	写真
			白河の地	法住寺殿跡出土雲龍文鍬形*	復元
				製作：三橋国民（10月1日～11月30日）	
				白河の地現況	写真
			鳥羽の地	尊勝寺想定復元	図
				鳥羽離宮金剛心院跡出土鴛鴦文飾り金具	復元
		鳥羽離宮現況／鳥羽離宮発掘状況（金剛心院跡／苑池跡）		写真	
		東の京・西の京	市域の変遷	池亭記（「本朝文粹」巻第十二）／今昔物語集	複製
				市街地域の変遷（8～9世紀、10世紀、12世紀）	図
				四条通のにぎわい（一遍聖絵）	写真
			巷所		
			古京荒れて	太郎焼亡・次郎焼亡	都市の陰影
伴大納言絵巻、餓鬼草紙	写真				
武者の世に	六波羅と花の御所	武者の町	武者の行列	「華奢武者」（鈴木雅也／朝倉美津子一染織／山田豊子一組紐）	壁面造形物
				「天界欣求」（鈴木雅也）	天井造形物
				「祭礼衆散」（鈴木雅也／山中和子一金工）	壁面造形物
			花の御所	武者行列模型	模型（縮尺1/7）
				甲冑製作：加藤嗣美 衣裳製作：松崎光真	
				信西の首渡し（平治物語絵巻）	写真
		武士の信仰	禪の寺	六波羅の位置図	図
				六波羅現況／四条京極の筭屋（一遍聖絵）	写真
				花の御所（洛中洛外図屏風上杉本）／建武式目	写真
			北山と東山	義堂周信像／建仁寺／大徳寺	写真
				金閣寺／銀閣寺	写真
				町衆の力	法華の町
町衆の力	比叡山と法華信仰	法華一揆の活躍	南蛮屏風	図	
				写真	
		町の匠	町の匠想定復元模型	模型（縮尺1/20）	
	人形製作：面屋庄三・あまがっ会・荘人会				
機織／鎧細工／壁塗／車づくり／檜物師／絵師（以上、七十一番職人歌合）	写真				
町小路・室町通り	町と店	室町通り	写真		
		中世京都の出土遺物：中国青磁－水注・碗／木製品－曲物柄杓・しゃもじ・下駄・木球・漆器碗・漆器職人の道具（籠）	出土遺物		
京に集う	風流とかぶき	松ばやしと念仏ばやし	出雲の阿国	ビデオ（3分36秒）	
			遊芸史	図	
			踊り念仏（一遍聖絵）／松ばやし（祭礼草子）／風流踊（豊国祭礼図）	写真	
		京童	二条河原落書（建武記）	写真	
数寄・茶道の源流	森里良三作「黄瀬戸茶碗」（個人蔵）／森里良三作「織部水指」（個人蔵）／鈴木雅也作「草花蒔絵棗」	茶器*			

展示テーマ	展示項目	展示小項目	展示細目	展示資料	資料形態	
京洛四季	ひろがる 京文化	京を伝える	守護大名と 戦国大名	押し板床と立花（酒飯論） 仕覆「文琳」「肩衝」／京扇	写真 複製	
			文化人の移動	小京都と文化人の移動＊	図	
			小京都	土佐中村／土佐中村の大文字山／山口／山口の常 栄寺雪舟庭	写真	
					「京洛四季」（鈴木雅也）	壁面造形物
	京の囲い	お土居と城	秀吉の栄華	伏見城（洛中洛外図屏風岡山本）／聚楽第（聚楽 第図屏風）	写真	
			御所と二条城	二条城／内裏（以上、洛中洛外図屏風岡山本）	写真	
		京の七口	京の出入	お土居と七口	図	
			京の町並み	京の町並み	模型	
	京の商い	豪商たち	生産するまち 京都	都鄙図巻／鼓銅図録	写真	
			京都本店	柏屋本店復元模型 人形制作：宮崎琢磨・宮崎隆	模型（縮尺1/20）	
柏屋約定・家訓／住友家初代の家訓				複製		
高瀬川		朱印船	角倉船絵馬／末吉船絵馬	縮小複製		
			朱印船航路	図		
			茶屋船交趾渡航貿易絵巻／角倉船図	写真		
		京の水運	高瀬川とその沿岸 高瀬川／高瀬川（洛中洛外図屏風田万家本）	図 写真		
京のくらし	諸職集う	京のなりわい	看板等＊	民具		
		近世の京都	京の町並み（洛中洛外図巻）	写真		
	京に住む		京のまちかどー京見物ー	ビデオ（6分42秒）		
			京のまちかどーお店のくらしー	ビデオ（1分50秒）		
			あげ手まり売り（商い台）／おはじき売り（おは じき・貝合せ）／風車売り（べんけい）／とんが らし売り（商い箱）（監修：長田塾）	復元		
			金閣寺／北野天満宮／大仏餅／伏見の初午（以上、 都名所図会）	写真		
古都飛翔			古都飛翔	ビデオ（8分01秒）		
古都飛翔	古都からの 脱皮	「近代」に 挑む	京都舎密局／勸業場／京都織物会社／西村總左衛 門友禅工場／パピールファブリック／渡歐職工の リヨンでの写真／疏水をつくった人たち／疏水イ ンクライン／疏水の通船切符／創業当時の京都電 灯会社の本社発電所／当初の蹴上水力発電所／初 期の街灯／明治28年4月1日開通の市内線／開通 当初の京電／明治30年ごろの初代京都駅	写真		
			気球あがる	第二回京都博覧会／ロンドンニュースが伝える博 覧会会場／第四回内国勸業博覧会／同会場内	写真	
	学都誕生	学都の礎	日本最初の小学校、上京第27番組小学校／室町尋 常小学校／尋常小学校の授業風景／京都府中学／ 新英学校及女紅場	写真		
			文化施設の変遷／小学校の位置図	図		
		学問と 芸術を育む	第三高等学校／京都帝国大学／同志社大学／京都 法政学校／真宗大谷大学／竜谷大学の前身・大教 校／絵画専門学校授業風景／京都市立絵画専門学 校／集書院／京都府立医学専門学校／京都府立図 書館／京都高等蚕業学校	写真		

展示テーマ	展示項目	展示小項目	展示細目	展 示 資 料	資料形態
		都市再生	歴史と未来を 結ぶ	明治の洋食器*	陶磁器
			三条界限	大正時代末頃の三条通模型* 三条富小路を巡行する鯉山、鈴鹿山、役行者山など／西村總左衛門貿易店／共保生命保険株式会社／日本共立生命保険株式会社／大丸／高島屋飯田合名会社呉服店／大正末期の新京極風景／西から見た四條寺町周辺の風景	模型(縮尺1/300) 写真
			町の表情	西陣糸屋町／錦市場／三条富小路角／東高瀬川／五條坂陶器店／京都郵便局／株式会社第一銀行京都支店／京都市役所／京都座／南座／明治座	写真
国際都市 京都			京の未来そして明日(梅原猛、上田篤、川添登)	ビデオ	

②集中展示(*印は展示替え参照)

展示テーマ	展示項目	展 示 資 料	資料形態	
集中展示	宗家の地	いけばな*／五代清水六兵衛作「大礼磁鳳凰文香炉」*		
		宗家の地系統図	図	
		池坊専好立花図／叙位の儀(年中行事絵巻)／立花図(立花図屏風)／生花	写真	
	能と狂言	町衆の能衣裳		復元
		狂言面／能の小道具*		
		薪能／えがかれた能舞台(相応寺屏風、観能図屏風)／壬生狂言*		写真
	えがかれた京	洛中洛外図屏風町田家本		複製
		えがかれた京		ビデオ(5分43秒)
		えがかれた京(年中行事絵巻、一遍聖絵、洛中洛外図屏風上杉本・田万家本・岡山本)		写真
	匠の世界	扇子製作工具等*		
		檜皮葺・壁塗／貝すり・蒔絵師／車つくり・檜物師／冠師・絵師／ろくろ師・鍍細工／機織・紺掻(以上、七十一番職人歌合)		写真
	京のまつり	祇園祭鉦模型等*		
京のまつり屏風(大文字五山の送り火・鳥相撲・牛祭・曲水の宴・葵祭・はねず踊・やすらい祭・三船祭・竹伐り会式・祇園祭・日野の裸踊・節分会鬼法楽・嵯峨のお松明・時代祭)			製作	
平安時代のまつり：今宮祭・祇園御霊会・稲荷祭(以上、年中行事絵巻)			写真	
江戸時代のまつり：深草祭・稲荷祭・干葉寺六斎・五山送り火・清水地主権現祭(以上、都名所図会)・葵祭(宝永花洛細見図)			写真	

③歴史情報

テーマ	大項目	情報項目名	テーマ	大項目	情報項目名	
百千足る 家庭	1. 京都盆地の なりたち	1. 北山・西山・東山	4. ものと文化	3. 蜂岡寺と広隆寺	4. 恭仁京と遷都	
		2. 深草のゾウ				1. 縄文土器と弥生土器
		3. 深泥池				
4. 川と湖沼と京都盆地	3. 稲作と雲宮遺跡					
2. 京都盆地に住み 着いた人々		1. 大枝遺跡の人々	4. 森木遺跡の人面付土器			
		2. 北白川の縄文人		5. 梅ヶ畑の銅鐸		
	3. 縄文から弥生へ	1. 都城の興隆				
4. 森本遺跡の弥生人	2. 前漢長安					
3. 平安京前夜			1. 山城の首長墓	5. 東アジアの都城		
		2. 秦氏の嵯峨野開発				

テーマ	大項目	情報項目名	テーマ	大項目	情報項目名
	6. 人物	3. 漢魏洛陽 4. 鄴京 5. 大極殿の始まり(曹魏洛陽) 6. 隋唐長安 7. 東都洛陽 8. 新羅慶州 9. 渤海東京城 1. 秦川勝 2. 道鏡 3. 早良親王		4. 人物	15. 三十六人家集 16. 寝殿造 17. 教育施設 18. 金峯山參詣 1. 和氣清麻呂 2. 嵯峨天皇 3. 醍醐天皇 4. 藤原道長 5. 紫式部 6. 清少納言 7. 後三条天皇 8. 白河天皇 9. 大江匡房
平安楽土 万年春	1. 政治・社会	1. 桓武天皇と平安建都 2. 大内裏 3. 清涼殿 4. 大極殿 5. 天子南面すー平安京の名称ー 6. 平安京の宅地割 7. 羅城門 8. 檢非違使ー京中の治安ー 9. 鴻臚館 10. 清水寺と蝦夷 11. 遣唐使の廃止 12. 清涼寺 13. 渤海国 14. 藏人 15. 延喜・天曆の治 16. 延喜式 ー百科事典的法律書ー 17. 摂政・関白 18. 菓子の乱 19. 承和の変 20. 応天門の変 21. 安和の変 22. 里内裏と京都御所 23. 院政 24. 国司と受領	武者の世に	1. 政治・社会	1. 中世都市「京都」 2. 保元の京都平和令 3. 平治の乱 4. 六波羅と弓矢町 5. 平清盛と西八条第 6. 以仁王の挙兵 7. 法住寺合戦 8. 源頼朝と京都 9. 京都守護 10. 京都大番役 11. 承久の乱ー武士の勝利 12. 六波羅探題 13. 寛喜の大飢饉 14. 在京人と簞屋 15. 大覚寺統と持明院統 16. 後醍醐天皇のブレーン 17. 室町の幕府 18. 洛中・洛外・上京・下京 19. 応仁・文明の大乱 20. 東山の城郭 21. 天文法華の乱 22. 散所と河原 23. 町の釘賃 24. 中世京都の人口 25. 願阿弥の貧民救済
	2. 産業・経済	1. 班田収授法 2. 租・庸・調 3. 皇朝十二銭ー貨幣ー 4. 荘園 5. 京内の荘園 6. 荘園整理令 7. 延久の宣旨枿 8. 座		2. 産業・経済	1. 七条町の繁栄 2. 宋銭の流入 3. 沈没船は語る 4. 刀剣の輸出 5. 大山崎の油神人 6. 白川女と桂女
	3. 文化	1. 往生要集 2. 浄土の再現 3. 神の本尊ー本地垂迹説ー 4. 市聖ー空也ー 5. 寄木造 6. 葵祭 7. 一条戻橋と陰陽道 8. 御霊信仰と北野天満宮 9. ホロスコープ 10. 暦 11. 国風化ー雅の発生ー 12. 三筆と三蹟 13. いろは歌 14. 古今和歌集と冷泉家		3. 文化	1. 時宗の道場 2. 禪宗僧の渡来 3. 京女と荒夷 4. 相国寺七重塔 5. 立君と辻子君 6. 京童・町衆の食事 7. 町衆の住宅 8. 五条橋の中島 9. 山科本願寺
				4. 外から見た京都	1. 坂東武者と京都 2. 廃都への郷愁 3. 京と鎌倉
				5. 人物	1. 弁慶

テーマ	大項目	情報項目名	テーマ	大項目	情報項目名
		2. 三善康信 3. 源実朝の妻 4. なべかむり日親 5. 足利義教 6. 日野富子 7. 織田信長		2. 産業・経済	10. 京都市三大事業 1. 勸業基金と産業基金 2. 勸業場と舎密局 3. お雇い外国人 4. 第1回京都博覧会 5. ジャカード機 6. 京都織物会社 7. 琵琶湖疏水 8. インクライン 9. 京都のホテル 10. 日本銀行京都支店 11. 京都の新しい産業
京洛四季	1. 政治・社会 2. 産業・経済 3. 文化 4. 外から見た京都 5. 人物	1. 京都所司代 2. 京都町奉行 3. 上京・下京 4. お土居 5. 京の大火 6. 新撰組 7. 禁門の変 1. 京の七口 2. 金座・銀座 3. 京枳・京秤 4. 京の三長者 1. 京の医学 2. 京都案内記 1. 『關旅漫録』 2. 『見た京物語』 1. 板倉父子 2. 角倉了以		3. 文化	1. 我国最初の小学校 2. 京都府中学 3. 集書院 4. 京都府博物館 5. 京都府画学校 6. 円山公園 7. 第三高等学校 8. 京都の新聞 9. 聖護院洋画研究所 10. 岡崎公園 11. 大谷探検隊 12. 映画の都のあけぼの 13. 国画創作協会 14. 赤土社 15. 上賀茂民芸協団
古都飛翔	1. 政治・社会	1. 京都府の誕生 2. 町組の改正 3. 東京遷都と京都 4. 新京極 5. 遊所女紅場 6. 療病院と医学校 7. 府議会の成立 8. 京都市の誕生 9. 平安遷都千百年記念祭		4. 外から見た京都 5. 人物	1. 英国記者の見た博覧会 2. 福沢諭吉の見た京都の教育 3. モーアの見た京都 4. 福沢諭吉の見た疏水 1. 楨村正直 2. 北垣国道

④展示替え

年度	展示テーマ	展示項目	資料名	点数	展示期間
1988年度	平安楽土万年春	王朝絵巻 別業の営み	東帯	1式	1988. 10. 1~1991. 11. 19
			法住寺殿跡出土雲龍文鍔形 (復元製作・協力：三橋国民氏)	1点	1988. 10. 1~1988. 11. 30
	武者の世に	京に集う	法住寺殿跡出土雲龍文鍔形(復元製作：山本英顕)	1点	1988. 12. 1~
			茶器(協力：門脇氏)	随時	
	京洛四季	ひろがる京文化	「小京都と文化人の移動」図	1式	1988. 10. 1~1998. 3. 17
			生掛屋看板ほか	6点	1988. 10. 1~1989. 4. 18
	古都飛翔	明治の洋食器	幹山伝七「染付草花模様盛鉢」ほか	23点	1988. 10. 1~1989. 4. 18
			都市再生 (制作協力：佛環境事業計画研究所・工房夢屋)	1式	1989. 2. 16~
	集中展示	宗家の地	いけばな(京都18流派による)		1988. 10. 1~1989. 4. 7
			五代清水六兵衛「大礼磁鳳凰文香炉」	1点	1988. 10. 1~1989. 4. 18
		能と狂言	壬生狂言写真	2点	1988. 10. 1~1993. 3. 16
			狂言面ほか(協力：茂山家)	3点	1988. 10. 1~1989. 1. 13
			腰帯ほか(協力：金剛家)	6点	1989. 1. 13~1989. 5. 16
匠の世界	能面ほか(協力：岩崎家)	2点	1989. 1. 13~1989. 5. 16		
京のまつり	扇子製作道具(協力：十松屋福井)	槌起製作工具(協力：京都金属工芸協同組合青年会)	1式	1988. 10. 1~1988. 11. 6	
		祇園祭船鉦模型(協力：土橋氏)	1種	1988. 11. 7~1989. 5. 16	
			1点	1988. 10. 1~1989. 4. 18	

年度	展示テーマ	展示項目	資料名	点数	展示期間
1989年度	武者の世に 京洛四季	京に集う 京の商い	茶器（協力：門脇氏）		随時
			看板・天秤ほか	5点	1989. 4. 20～1989. 10. 17
	古都飛翔	明治の洋食器	生掛屋看板ほか	6点	1989. 10. 19～1990. 4. 17
			幹山伝七「染付草花模様蓋付肉皿」ほか	6点	1989. 4. 20～1989. 9. 19
			三代清水六兵衛「染付四季花卉模様肉皿」ほか	6点	1989. 9. 21～1990. 3. 20
	集中展示	宗家の地	幹山伝七「染付草花模様蓋付肉皿」ほか	6点	1990. 3. 22～1990. 9. 18
			紫楽冠香炉・香合	2点	1989. 4. 20～1989. 9. 19
		能と狂言	大礼磁香炉・香合	2点	1989. 9. 21～1990. 3. 20
			和歌の家—冷泉家七夕飾り	1点	1989. 6. 3～1990. 2. 20
			狂言面ほか（協力：茂山家）	3点	1989. 5. 18～1989. 8. 15
			羯鼓ほか（協力：金剛家）	4点	1989. 8. 17～1989. 11. 14
			狂言面ほか（協力：茂山家）	3点	1989. 11. 16～1990. 2. 20
			鬘帯ほか（協力：金剛家）	5点	1990. 2. 22～1990. 5. 15
		匠の世界	蹴鞠の家—鞠用水干ほか	10点	1990. 2. 22～1990. 8. 14
			扇子屋（協力：京都扇子団扇商工協同組合等）	17種	1989. 4. 1～1989. 4. 30
			番匠式具（協力：三上皓造氏）	1式	1989. 5. 18～1989. 11. 14
			表装具（協力：柳宇佐美松鶴堂）	35点	1989. 11. 16～1990. 2. 20
屋根葺（協力：屋根惣）	23種		1990. 2. 22～1990. 6. 19		
京のまつり	祇園祭長刀鉾模型（協力：室氏）	1点	1989. 4. 20～1989. 9. 19		
	祇園祭鈴鹿山模型（協力：室氏）	1点	1989. 9. 21～1990. 3. 20		
	祇園祭占出山模型（協力：室氏）	1点	1990. 3. 22～1990. 10. 16		
1990年度	百千足る家庭	山河襟帯自然に 城を成す	榎原廃寺跡出土土軒丸瓦（協力：奈良国立文化財研究所）	2点	1990. 10. 8～1990. 12. 5
	武者の世に 京洛四季	京に集う 京の商い	茶器（協力：門脇氏）		随時
			看板・天秤ほか	5点	1990. 4. 19～1990. 10. 16
	古都飛翔	明治の洋食器	生掛屋看板ほか	6点	1990. 10. 18～1991. 4. 16
			三代清水六兵衛「染付四季花卉模様肉皿」ほか	6点	1990. 9. 20～1991. 3. 19
			幹山伝七「染付草花模様蓋付肉皿」ほか	6点	1991. 3. 21～1991. 9. 17
	集中展示	宗家の地	和歌の家—冷泉家七夕飾りほか	4点	1990. 8. 16～1990. 9. 18
			琵琶の家—楽琵琶	1点	1990. 9. 20～1990. 12. 18
		能と狂言	琴の家—琴	1点	1990. 12. 20～1991. 3. 19
			和歌の家—冷泉家七夕飾りほか	2点	1991. 3. 21～1991. 11. 19
			狂言面ほか（協力：茂山家）	3点	1990. 5. 17～1990. 8. 14
羯鼓ほか（協力：金剛家）			5点	1990. 8. 16～1990. 11. 20	
狂言面ほか（協力：茂山家）			3点	1990. 11. 22～1991. 2. 19	
鬘帯ほか（協力：金剛家）			5点	1991. 2. 21～1991. 5. 14	
匠の世界		銚金具（協力：柳森本銚金具製作所）	18種	1990. 6. 21～1991. 3. 19	
		瓦（協力：柳大佛）	95点	1991. 3. 21～1991. 9. 17	
京のまつり	赦免地踊切子灯籠（協力：八瀬郷土文化保存会）	1点	1990. 10. 18～1991. 4. 16		
1991年度	平安楽土万年春	王朝絵巻	十二単	1式	1991. 11. 21～
	武者の世に 京洛四季	京に集う 京の商い	茶器（協力：門脇氏）		随時
			看板・天秤ほか	5点	1991. 4. 18～1991. 10. 15
	古都飛翔	明治の洋食器	生掛屋看板ほか	6点	1991. 10. 17～1992. 4. 14
			三代清水六兵衛「染付四季花卉模様肉皿」ほか	6点	1991. 9. 19～1991. 12. 17
			幹山伝七「染付草花模様小判形皿」ほか	6点	1991. 12. 19～1992. 3. 17
	集中展示	宗家の地	幹山伝七「染付草花模様水差」ほか	6点	1992. 3. 19～1992. 6. 16
			琵琶の家—楽琵琶	1点	1991. 11. 21～1992. 2. 18
		能と狂言	蹴鞠の家—鞠ほか	7点	1992. 2. 20～1992. 5. 19
			狂言面ほか（協力：茂山家）	3点	1991. 5. 16～1991. 8. 20
			中啓ほか（協力：金剛家）	4点	1991. 8. 22～1991. 11. 19
			狂言面ほか（協力：茂山家）	3点	1991. 11. 21～1992. 2. 18
			腰帯ほか（協力：金剛家）	4点	1992. 2. 20～1992. 5. 19
			塗り・三宝ほか（協力：有職塗平尾傳右衛門）	33点	1991. 9. 19～1992. 4. 14
		匠の世界 京のまつり	祇園祭月鉾模型	1点	1991. 4. 18～1991. 7. 16
			久多花笠祭花笠	1点	1991. 7. 18～1991. 10. 24
			鞍馬火祭鎧	1点	1991. 10. 25～1992. 2. 18
祇園祭月鉾模型ほか			2点	1992. 2. 20～1992. 4. 14	

年度	展示テーマ	展示項目	資料名	点数	展示期間
1992年度	武者の世に 京洛四季	京に集う 京の商い	茶器（協力：門脇氏）		随時
			看板・天秤ほか	5点	1992. 4. 16～1992. 10. 20
	古都飛翔	明治の洋食器	生掛屋看板ほか	6点	1992. 10. 22～1993. 4. 20
			幹山伝七「染付草花模様台付盛皿」ほか	6点	1992. 6. 18～1992. 9. 15
			幹山伝七「染付草花模様砂糖入れ」ほか	6点	1992. 9. 17～1992. 12. 15
			幹山伝七「染付草花模様台付盛皿」ほか	6点	1992. 12. 17～1993. 3. 16
			幹山伝七「染付草花模様水差」ほか	6点	1993. 3. 18～1993. 6. 15
	集中展示	宗家の地	和歌の家—冷泉家七夕飾りほか	2点	1992. 5. 21～1992. 8. 18
			琵琶の家—楽琵琶ほか	2点	1992. 8. 20～1992. 11. 17
			蹴鞠の家—鞠ほか	7点	1992. 11. 19～1993. 2. 16
			琴の家—琴ほか	3点	1993. 2. 18～1993. 5. 18
		能と狂言	狂言面ほか（協力：茂山家）	3点	1992. 5. 21～1992. 8. 18
			腰帯ほか（協力：金剛家）	4点	1992. 8. 20～1992. 11. 17
			狂言面ほか（協力：茂山家）	3点	1992. 11. 19～1993. 2. 16
			腰帯ほか（協力：金剛家）	4点	1993. 2. 18～1993. 5. 18
			能「杜若」写真（撮影：後藤紳介氏／協力：金剛家）	1点	1993. 3. 18～
			狂言「水掛婿」写真 （撮影：牛窓正勝氏／協力：茂山家）	1点	1993. 3. 18～
	匠の世界	番匠式具（協力：三上皓造氏）	23点	1992. 4. 16～1992. 7. 14	
		左官具（協力：田代千代商店）	35点	1992. 7. 16～1993. 1. 19	
京のまつり	壘製作（協力：壘三中村三次郎商店）	56点	1993. 1. 21～1993. 7. 20		
	祇園祭長刀鉾模型	1点	1992. 4. 16～1992. 7. 31		
	久多花笠祭花笠	1点	1992. 8. 1～1992. 10. 30		
	鞍馬火祭籠	1点	1992. 10. 31～1993. 1. 19		
		太秦牛祭面ほか	7点	1993. 1. 21～1993. 4. 20	
1993年度	武者の世に 京洛四季	京に集う 京の商い	茶器（協力：門脇氏）		随時
			看板・天秤ほか	5点	1993. 4. 22～1993. 10. 19
	古都飛翔	明治の洋食器	生掛屋看板ほか	6点	1993. 10. 21～1994. 4. 19
			幹山伝七「染付草花模様砂糖入れ」ほか	6点	1993. 6. 17～1993. 9. 15
			幹山伝七「染付草花模様水差」ほか	9点	1993. 9. 17～1993. 12. 14
			和気島亭「染付草花模様ソース鉢」ほか	6点	1993. 12. 16～1994. 3. 15
			幹山伝七「染付草花模様台付盛皿」ほか	6点	1994. 3. 17～1994. 7. 19
	集中展示	宗家の地	和歌の家—冷泉家七夕飾りほか	2点	1993. 5. 20～1993. 8. 17
			琵琶の家—楽琵琶ほか	2点	1993. 8. 19～1993. 11. 16
			蹴鞠の家—鞠ほか	7点	1993. 11. 18～1994. 2. 15
			琵琶の家—楽琵琶ほか	2点	1994. 2. 17～1994. 5. 17
		能と狂言	狂言面ほか（協力：茂山家）	3点	1993. 5. 20～1993. 8. 17
			中啓ほか（協力：金剛家）	5点	1993. 8. 19～1993. 11. 16
			狂言面ほか（協力：茂山家）	3点	1993. 11. 18～1994. 2. 15
			金剛裂ほか（協力：金剛家）	3点	1994. 2. 17～1994. 5. 17
			茅葺き—屋根模型ほか（協力：資金）	16点	1993. 7. 22～1994. 1. 18
			仏壇—宮殿ほか（協力：仏光堂・田畑木彫工）	61点	1994. 1. 20～1994. 7. 19
	京のまつり	祇園祭月鉾模型ほか	2点	1993. 4. 22～1993. 7. 20	
		久多花笠祭花笠	1点	1993. 7. 22～1993. 10. 26	
鞍馬火祭籠		1点	1993. 10. 27～1994. 1. 18		
太秦牛祭面ほか		5点	1994. 1. 20～1994. 4. 19		
1994年度	武者の世に 京洛四季	京に集う 京の商い	茶器（協力：門脇氏）		随時
			看板・天秤ほか	5点	1994. 4. 21～1994. 10. 18
	古都飛翔	明治の洋食器	生掛屋看板ほか	6点	1994. 10. 20～1995. 4. 18
			幹山伝七「染付草花模様砂糖入れ」ほか	6点	1994. 7. 21～1994. 10. 18
			幹山伝七「染付草花模様水鉢」ほか	6点	1994. 10. 20～1995. 1. 17
			幹山伝七「染付草花模様水差」ほか	6点	1995. 1. 19～1995. 4. 18
			和歌の家—七夕色紙ほか	2点	1994. 5. 19～1994. 8. 16
	集中展示	宗家の地	琵琶の家—楽琵琶ほか	2点	1994. 8. 18～1994. 11. 15
			蹴鞠の家—鞠ほか	7点	1994. 11. 17～1995. 2. 14
			琴の家—琴ほか	3点	1995. 2. 16～1995. 5. 16
			狂言面ほか（協力：茂山家）	3点	1994. 5. 19～1994. 8. 16
		能と狂言	腰帯ほか（協力：金剛家）	4点	1994. 8. 18～1994. 11. 15

年度	展示テーマ	展示項目	資料名	点数	展示期間
		匠の世界	狂言面ほか(協力:茂山家) 中啓ほか(協力:金剛家) 石工—復元礎盤ほか (協力:榑芳村石材店・柴田石材榑・榑石寅)	3点 4点 52点	1994. 11. 17~1995. 2. 14 1995. 2. 16~1995. 5. 16 1994. 7. 21~1995. 4. 18
		京のまつり	祇園祭月鉾模型ほか 久多花笠祭花笠 鞍馬火祭鎧 太秦牛祭面ほか	2点 1点 1点 5点	1994. 4. 21~1994. 7. 19 1994. 7. 21~1994. 10. 26 1994. 10. 27~1995. 1. 17 1995. 1. 19~1995. 4. 18
1995年度	武者の世に 京洛四季	京に集う 京の商い	茶器(協力:門脇氏) 看板・天秤ほか 生掛屋看板ほか	5点 6点	随時 1995. 4. 20~1995. 10. 17 1995. 10. 19~1996. 4. 16
	古都飛翔	明治の洋食器	幹山伝七「染付草花模様台付盛皿」ほか 幹山伝七「染付草花模様水差」ほか 幹山伝七「染付草花模様水鉢」ほか 三代清風与平「染付草花模様蓋付平鉢」ほか	6点 6点 6点 6点	1995. 4. 20~1995. 7. 18 1995. 7. 20~1995. 10. 17 1995. 10. 19~1996. 1. 16 1996. 1. 18~1996. 4. 16
	集中展示	宗家の地	和歌の家—七夕色紙ほか 琵琶の家—楽琵琶ほか 蹴鞠の家—鞠ほか 琴の家—琴ほか	2点 2点 7点 3点	1995. 5. 18~1995. 8. 15 1995. 8. 17~1995. 11. 14 1995. 11. 16~1996. 2. 20 1996. 2. 22~1996. 5. 14
		能と狂言	狂言面ほか(協力:茂山家) 扇子ほか(協力:金剛家) 狂言面ほか(協力:茂山家) 腰帯ほか(協力:金剛家)	3点 4点 3点 4点	1995. 5. 18~1995. 8. 15 1995. 8. 17~1995. 11. 14 1995. 11. 16~1996. 2. 20 1996. 2. 22~1996. 5. 14
		匠の世界	宮大工—清水寺三重塔組物模型(協力:榑木澤工務店) 墨蓋等大工道具	1台 1式	1995. 4. 20~1996. 10. 15 1995. 4. 20~1996. 10. 15
		京のまつり	祇園祭月鉾模型ほか 久多花笠祭花笠 鞍馬火祭鎧 太秦牛祭面ほか	2点 1点 1点 5点	1995. 4. 20~1995. 7. 18 1995. 7. 20~1995. 10. 24 1995. 10. 25~1996. 1. 16 1996. 1. 18~1996. 4. 16
1996年度	武者の世に 京洛四季	京の集う 京の商い	茶器(協力:門脇氏) 看板・天秤ほか 生掛屋看板ほか	5点 6点	随時 1996. 4. 18~1996. 10. 15 1996. 10. 17~1997. 4. 15
	古都飛翔	明治の洋食器	幹山伝七「染付草花模様蓋付肉皿」ほか 幹山伝七「染付草花模様台付盛皿」ほか 幹山伝七「染付草花模様水鉢」ほか 幹山伝七「染付草花模様水差」ほか	6点 6点 6点 6点	1996. 4. 18~1996. 7. 16 1996. 7. 18~1996. 10. 15 1996. 10. 17~1997. 1. 14 1997. 1. 16~1997. 4. 15
	集中展示	宗家の地	和歌の家—七夕色紙ほか 琴の家—琴ほか 蹴鞠の家—鞠ほか 琴の家—琴ほか	2点 3点 7点 3点	1996. 5. 16~1996. 9. 17 1996. 9. 19~1996. 12. 17 1996. 12. 19~1997. 3. 18 1997. 3. 20~1997. 6. 17
		能と狂言	狂言面ほか(協力:茂山家) 腰帯ほか(協力:金剛家) 狂言面ほか(協力:茂山家) 腰帯ほか(協力:金剛家)	3点 4点 3点 4点	1996. 6. 20~1996. 9. 17 1996. 9. 19~1996. 12. 17 1996. 12. 19~1997. 3. 18 1997. 3. 20~1997. 6. 17
		匠の世界	造園—桂離宮模型(縮尺1/100) 造園関係道具(協力:花豊造園榑・村岡とも子氏)	1台 1式	1996. 10. 17~1998. 4. 14 1996. 10. 17~1998. 4. 14
		京のまつり	祇園祭月鉾模型ほか 久多花笠祭花笠 鞍馬火祭鎧 太秦牛祭面ほか	2点 1点 1点 5点	1996. 4. 18~1996. 7. 16 1996. 7. 18~1996. 10. 24 1996. 10. 25~1997. 1. 14 1997. 1. 16~1997. 4. 15
1997年度	武者の世に	京の集う	茶器(協力:門脇氏)	1式	随時
	京洛四季	ひろがる京文化 京の商い	「文化人の移動と小京都」図 看板・天秤ほか 生掛屋看板ほか	5点 6点	1998. 3. 19~ 1997. 4. 17~1997. 10. 14 1997. 10. 16~1998. 4. 14
	古都飛翔	明治の洋食器	幹山伝七「染付草花模様蓋付鉢」ほか 幹山伝七「染付草花模様台付盛皿」ほか 幹山伝七「染付草花模様水鉢」ほか 幹山伝七「染付草花模様蓋付鉢皿」ほか	6点 6点 6点 6点	1997. 4. 17~1997. 7. 15 1997. 7. 17~1997. 10. 14 1997. 10. 16~1998. 1. 20 1998. 1. 22~1998. 4. 21
	集中展示	宗家の地	和歌の家—七夕色紙ほか 蹴鞠の家—鞠ほか	2点 7点	1997. 6. 19~1997. 9. 16 1997. 9. 18~1997. 12. 16

年度	展示テーマ	展示項目	資料名	点数	展示期間
		能と狂言	琵琶の家—楽琵琶ほか	2点	1997. 12. 18~1998. 3. 17
			琴の家—琴ほか	3点	1998. 3. 19~1998. 6. 16
		京のまつり	狂言面ほか(協力:茂山家)	3点	1997. 6. 19~1997. 9. 16
			腰帯ほか(協力:金剛家)	4点	1997. 9. 18~1997. 12. 16
			狂言面ほか(協力:茂山家)	3点	1997. 12. 18~1998. 3. 17
			腰帯ほか(協力:金剛家)	4点	1998. 3. 19~1998. 6. 16
			祇園祭月鉾模型ほか	2点	1997. 4. 17~1997. 7. 15
			祇園祭長刀鉾模型	1点	1997. 7. 17~1997. 9. 16
			久多花笠祭花笠	1点	1997. 9. 18~1997. 12. 16
			太秦牛祭面ほか	5点	1997. 12. 18~1998. 3. 17
			祇園祭月鉾模型ほか	2点	1998. 3. 19~1998. 6. 16

(2)美術・工芸展示

①1988年度

第1期 現代京都の美術・工芸展

概要: 京都に創作活動の本拠を置いて活躍する作家から最近作を出品していただき、現代京都の美術・工芸の精華を紹介する展示

期間: 1988年10月1日~12月25日

作品: 日本画38点、洋画22点、彫刻9点、陶磁器13点、染織23点、漆器9点、金工3点、木竹1点、人形2点

第2期 現代京都の美術・工芸展

概要: 京都に創作活動の本拠を置いて活躍する作家から最近作を出品していただき、現代京都の美術・工芸の精華を紹介する展示

期間: 1989年1月2日~4月16日

作品: 日本画6点、洋画9点、彫刻6点、書10点、陶磁器18点、染織8点、漆器3点、金工2点、木竹1点、人形1点

②1989年度

第3期 現代京都の美術・工芸展

概要: 京都に創作活動の本拠を置いて活躍する作家から最近作を出品していただき、現代京都の美術・工芸の精華を紹介する展示

期間: 1989年5月26日~8月15日

作品: 日本画14点、洋画13点、彫刻6点、陶磁器17点、染織10点、漆器4点、金工2点、木竹1点、人形2点、諸工芸1点

第4期 現代京都の美術・工芸展

概要: 京都に創作活動の本拠を置いて活躍する作家から最近作を出品していただき、現代京都の美術・工芸の精華を紹介する展示

期間: 1989年8月17日~11月14日

作品: 日本画13点、洋画12点、彫刻6点、陶磁

器17点、染織11点、漆器3点、金工2点、木竹2点、人形3点

第5期 現代京都の美術・工芸展

概要: 京都に創作活動の本拠を置いて活躍する作家から最近作を出品していただき、現代京都の美術・工芸の精華を紹介する展示

期間: 1989年11月16日~1990年2月20日

作品: 日本画7点、洋画9点、書9点、彫刻6点、陶磁器17点、染織11点、漆器2点、金工2点、木竹2点、人形3点、諸工芸1点

第6期 現代京都の美術・工芸展

概要: 京都に創作活動の本拠を置いて活躍する作家から最近作を出品していただき、現代京都の美術・工芸の精華を紹介する展示

期間: 1990年2月22日~5月15日

作品: 日本画7点、洋画8点、彫刻5点、陶磁器17点、染織17点、漆器2点、金工2点、木竹2点、人形4点

③1990年度

第7期 現代京都の美術・工芸展

概要: 京都に創作活動の本拠を置いて活躍する作家から最近作を出品していただき、現代京都の美術・工芸の精華を紹介する展示

期間: 1990年5月17日~8月14日

作品: 日本画15点、洋画12点、彫刻5点、陶磁器18点、染織8点、漆器3点、金工1点、木竹1点、人形4点

第8期 現代京都の美術・工芸展

概要: 京都に創作活動の本拠を置いて活躍する作家から最近作を出品していただき、現代京都の美術・工芸の精華を紹介する展示

期間: 1990年8月16日~11月20日

作品：日本画13点、洋画13点、彫刻5点、陶磁19点、染織8点、漆7点、金工2点、人形2点

第9期 現代京都の美術・工芸展

概要：京都に創作活動の本拠を置いて活躍する作家から最近作を出品していただき、現代京都の美術・工芸の動向を紹介する展示

期間：1990年11月22日～1991年2月19日

作品：日本画14点、洋画12点、彫刻5点、陶磁17点、染織8点、漆5点、金工1点、截金2点、人形4点

第10期 現代京都の美術・工芸展

概要：京都に創作活動の本拠を置いて活躍する作家から最近作を出品していただき、現代京都の美術・工芸の動向を紹介する展示

期間：1991年2月21日～5月14日

作品：日本画17点、洋画9点、彫刻5点、陶磁17点、染織9点、漆4点、木竹1点、金工1点、諸工芸1点、人形1点

④1991年度

第11期 現代京都の美術・工芸展

◇樹木・人間・表現

概要：京都府で開催された全国植樹祭に協賛して、京都で活躍中の作家の作品を中心に、樹木に関連する美術工芸品を、五つのテーマを設けて展示

期間：1991年5月16日～8月20日

作品：日本画9点、油彩6点、立体5点、平面2点、染色3点、織物3点、陶磁器6点、木工1点、截金1点、漆芸1点、彫鍛1点、植物図譜22点

第12期 現代京都の美術・工芸展

概要：京都に創作活動の本拠を置いて活躍する作家から最近作を出品していただき、現代京都の美術・工芸の動向を紹介する展示

期間：1991年8月22日～11月19日

作品：日本画12点、洋画12点、彫刻3点、陶磁16点、染織10点、漆4点、金工2点、人形1点、諸工芸1点

第13期 現代京都の美術・工芸展

概要：京都を創作の場として活躍している女性作家から最近作を出品していただいた展示

期間：1991年11月21日～1992年2月18日

作品：日本画17点、洋画9点、彫刻3点、陶磁14

点、染織8点、漆3点、人形5点、七宝2点、截金1点

第14期 現代京都の美術・工芸展

◇京都府主催 美術・工芸公募展のあゆみⅠ

1965年～1970年

概要：京都府の開催した過去の公募展から京都府が購入、収集した作品のうち、1965年から1970年に制作されたものを展示

期間：1992年2月20日～5月19日

作品：管理資料より、日本画25点、洋画12点、彫刻3点、陶磁15点、染織3点、漆4点、金工2点、木竹3点、人形1点

⑤1992年度

第15期 現代京都の美術・工芸展

◇京都府主催 美術・工芸公募展のあゆみⅡ

1971年～1975年

概要：京都府の開催した過去の公募展から京都府が購入、収集した作品のうち、1971年から1975年に制作されたものを展示

期間：1992年5月21日～8月18日

作品：管理資料より、日本画27点、洋画22点、彫刻5点、陶磁16点、染織5点、漆3点、金工2点、竹工2点、人形3点

第16期 京都の美術・工芸展

◇特別陳列 京都府所蔵秀作展

概要：京都府所蔵の美術・工芸資料の中から各分野を代表する作品を選んで展示

期間：1992年8月20日～11月17日

作品：管理資料より、日本画14点、洋画12点、彫刻3点、陶磁器18点、染織17点、漆4点、木竹2点、金工2点、人形4点

▽併催 幕末・明治の日本画

期間：1992年8月20日～10月20日

作品：管理資料より、日本画14点

第17期 現代京都の美術・工芸展

◇明日への道標

概要：明日の京都を示唆する個性豊かな作品に取り組んでいる作家の作品を展示

期間：1992年11月19日～1993年2月16日

作品：日本画16点、洋画9点、彫刻3点、陶磁11点、染織5点、漆工2点、木工1点、金工1点、ガラス2点、人形2点

▽併催 京都府所蔵 京都の近世・近代絵画

期間：1992年11月19日～1993年2月16日

作品：管理資料より、日本画32点

第18期 現代京都の美術・工芸展

◇京都府主催 美術・工芸公募展のあゆみⅢ

1976年～1980年

概要：京都府の開催した過去の公募展から京都府が購入、収集した作品のうち、1976年から1980年に制作されたものを展示

期間：1993年2月18日～5月18日

作品：管理資料より、日本画20点、洋画15点、彫刻6点、陶磁15点、染織8点、漆工6点、木工3点、金工5点、截金1点、人形2点

⑥1993年度

第19期 現代京都の美術・工芸展

概要：京都に創作活動の本拠を置いて活躍する作家の意欲作を紹介する展示

期間：1993年5月20日～8月17日

作品：日本画12点、洋画8点、彫刻3点、陶磁13点、染織10点、漆芸2点、木工1点、竹工1点、金工1点、人形1点、截金1点

▽併催 現代工芸作家選

期間：1993年5月20日～7月20日

作品：管理資料より、陶磁6点、染織4点、漆芸1点、金工1点、人形1点、截金1点

▽併催 幽霊・妖怪・地獄

—吉川観方コレクションより—

期間：1993年7月22日～8月17日

作品：管理資料より、日本画11点

第20期 現代京都の美術・工芸展

◇ねんりんピック'93京都協賛

京の彩り—絵画と工芸— 「京の四季」から

概要：京都府が京都在住ならびに京都ゆかりの作家の協力により1985年に制作した「京の四季」を展示

期間：1993年8月19日～9月15日

作品：日本画14点、洋画41点

◇ねんりんピック'93京都協賛

京の彩り—絵画と工芸—

清水六兵衛コレクションより

概要：京焼の名門清水六兵衛家より寄贈を受けた陶芸の中から五代・六代の作品を展示

期間：1993年8月19日～11月16日

作品：管理資料より、陶芸29点

◇ねんりんピック'93京都協賛

「京の百景」展

概要：京都府が京都画壇の作家の協力により1973年に制作した「京の百景」を展示

期間：1993年9月17日～11月16日

作品：管理資料より、日本画118点

第21期 現代京都の美術・工芸展

◇京都府主催 美術・工芸公募展のあゆみⅣ

1981年～1985年

概要：京都府の開催した過去の公募展から京都府が購入、収集した作品のうち、1981年から1985年に制作されたものを展示

期間：1993年11月18日～1994年2月15日

作品：管理資料より、日本画19点、洋画15点、彫刻5点、陶磁12点、染織10点、漆工2点、木竹4点、金工2点、人形2点

第22期 現代京都の美術・工芸展

◇建都1200年・都の春

概要：平安建都1200年を記念して祝祭ムードにふさわしいイメージの作品を展示

期間：1994年2月17日～4月7日

作品：管理資料より、日本画15点、洋画12点、彫刻3点、陶磁14点、染織5点、漆芸2点、金工2点、人形2点、木工1点

▽併催 三熊派の桜写生図と桜の情景

期間：1994年3月17日～4月7日

作品：管理資料より、日本画17点

⑦1994年度

第23期 現代京都の美術・工芸展

◇平安建都1200年・12人の作家

概要：平安建都1200年にちなんで、12人の作家の作品を展示

期間：1994年5月19日～8月28日

作品：日本画15点、洋画3点、版画3点、彫刻9点、陶磁7点、染織22点、漆芸8点

第24期 現代京都の美術・工芸展

◇京都府所蔵品展

概要：京都府の所蔵品から、京都に創作活動の本拠を置いて活躍する作家の作品を展示

期間：1994年12月6日～1995年2月14日

作品：管理資料より、日本画12点、洋画12点、彫刻5点、陶芸11点、染織10点、漆芸4点、金工1点、截金1点、人形3点

▽併催 工芸技法シリーズ1

期間：1994年12月6日～1995年2月14日

作品：管理資料より、陶芸6点、染織8点、漆芸

5点

第25期 現代京都の美術・工芸展

◇13人の表現

概要：京都に創作活動の本拠を置いて活躍する作家13人を選抜し、その作品を展示

期間：1995年2月16日～5月16日

作品：日本画21点、洋画10点、彫刻3点、陶磁9点、染織8点、漆芸5点、截金8点

▽併催 宇野三吾コレクション

期間：1995年3月16日～5月16日

作品：管理資料より、陶芸27点

◎1995年度

第26期 京都の美術・工芸展

◇夏に思う

概要：所蔵品のなかから夏あるいは夏の景物そのものをモチーフにする作品を展示

期間：1995年5月18日～8月15日

作品：管理資料より、日本画17点、洋画10点、彫刻3点、陶磁8点、染織13点、木竹9点、人形3点

▽併催 吉川観方コレクションの絵画 夏に備えて
—扇面特集

期間：1995年5月18日～6月20日

作品：管理資料より、日本画18点

▽併催 吉川観方コレクションの絵画 屏風祭

期間：1995年6月22日～7月18日

作品：管理資料より、日本画4点

▽併催 吉川観方コレクションの絵画 美人と幽霊

期間：1995年7月20日～8月15日

作品：管理資料より、日本画14点

第27期 京都の美術・工芸展

◇技と構想の輝き

概要：各分野の第一人者の近作を中心に展示

期間：1995年8月17日～11月14日

作品：日本画19点、洋画8点、彫刻2点、陶磁12点、染織28点、漆芸6点、金工6点

第28期 京都の美術・工芸展

◇京都府収蔵品から

概要：京都府所蔵の美術・工芸品のうちから、京都にゆかりのある作家の作品を展示

期間：1995年11月16日～12月19日

作品：管理資料より、日本画9点、洋画22点、彫刻5点、陶磁12点、染織7点、漆芸4点

▽併催 京都府所蔵清水六兵衛コレクションより

六代清水六兵衛展

期間：1995年11月16日～1996年2月20日

作品：管理資料より、陶芸27点

第29期 京都の美術・工芸展

◇表現と技法

概要：京都府所蔵の美術・工芸作品をとおして、表現と技法の複雑な相互作用と、そこから生み出される表現の豊かさを提示

期間：1996年2月22日～5月14日

作品：管理資料より、日本画23点、洋画7点、彫刻3点、陶磁21点、染織25点、人形2点、漆芸6点、金工7点

◎1996年度

第30期 京都の美術・工芸展

◇第14回京都府文化賞受賞者展

概要：平成7年度の第14回京都府文化賞を受賞した16名の中から、美術・工芸分野の作家7名の作品を展示

期間：1996年5月16日～8月20日

作品：洋画6点、陶磁33点、染織12点、漆芸11点

第31期 京都の美術・工芸展

◇京都府・新収蔵品展

概要：1991年から1995年にかけて新たに収蔵した252点の美術・工芸資料の中から91点の作品を展示

期間：1996年8月22日～11月19日

作品：管理資料より、日本画22点、洋画8点、書4点、写真16点、彫刻1点、陶磁17点、染織8点、人形7点、漆芸5点、金工1点、竹工1点、革工芸1点

第32期 京都の美術・工芸展

◇伝統と創生—京都府無形文化財保持者による—

主催：京都文化博物館、京都府教育委員会、京都府無形文化財保持者会

後援：京都新聞社、KBS京都

概要：京都府が指定する無形文化財保持者9人の作品を展示

期間：1996年11月21日～12月17日

作品：陶芸20点、染織40点、竹工芸20点、人形10点

第33期 京都の美術・工芸展

◇深化する色

概要：京都府所蔵の美術・工芸作品から比較的色彩の少ない作品を集め、限られた色で、いかに深く広い表現が可能であるかを展示

期間：1997年2月20日～5月20日

作品：管理資料より、日本画19点、洋画9点、彫刻3点、陶芸16点、染織13点、金工2点、木竹2点

▽併催 近世絵画 池大雅の絵画

—京都府蔵池大雅美術館コレクションより

期間：1997年3月20日～4月15日

作品：管理資料より、日本画10点

▽併催 近世・近代絵画 黒・白・赤

—京都府蔵吉川観方コレクションより

期間：1997年4月17日～5月20日

作品：管理資料より、日本画9点

⑩1997年度

第34期 京都の美術・工芸展

◇第15回京都府文化賞受賞者展

概要：平成8年度の第15回京都府文化賞を受賞した作家の中から、美術・工芸分野7名の作品を展示

期間：1997年5月22日～8月19日

作品：日本画26点、陶芸18点、染色11点、漆芸11点

第35期 京都の美術・工芸展

◇花と鳥

概要：京都府の所蔵品を中心に、近世・近代の絵画に見られる花鳥表現をもつ作品と、現代京都の美術・工芸作家の作品を展示

期間：1997年8月21日～11月18日

作品：管理資料より、日本画38点、洋画8点、陶芸20点、染織8点、漆芸5点、金工4点

▽併催 中村善種の遺作

主催：京都文化博物館、中村善種遺作展実行委員会

(3)別館展示

①中央ホール

- ・ビデオ「新洛中洛外図会」(京の水・京の町から／約10分／～1992年3月)
- ・モニュメント(京都の変遷をイメージ、平安京条坊図／～1992年3月)

概要：京都の洋画界に大きな足跡を残し、1995年に逝去した中村善種氏の遺作を展示

期間：1997年10月16日～11月18日

作品：洋画20点

地球温暖化防止京都会議開催記念

人と自然の共生—京都府所蔵名画展

◇京の自然と風物

—京の百景・京の四季・いのち賛歌より—

概要：地球温暖化防止京都会議の開催を記念して、京都府所蔵の「京の百景」「京の四季」「いのち賛歌」の作品から自然と風物を題材とする作品を展示

期間：1997年11月21日～12月16日

作品：日本画・洋画80点

京都の美術・工芸展

◇春の収藏品展

概要：京都府所蔵の美術・工芸作品の中から、春を題材とする作品を展示

期間：1998年2月19日～5月19日

作品：管理資料より、日本画21点、洋画11点、彫刻3点、陶芸10点、染織13点、漆芸5点、金工1点、截金1点、人形3点

▽併催 池大雅の人と作品

期間：1998年4月16日～5月19日

作品：管理資料より、日本画14点

*作家情報(3階)

<美術工芸作家ファイル>

日本画163人、洋画126人、版画29人、彫刻58人

<美術工芸団体ファイル>

総合、日本画、洋画、洋画等、平面・立体、版画、書等、写真、工芸等、陶芸、染織等、漆芸、人形など110団体

<京都の作家・作品集>

日本画、彫刻、漆器、洋画、染織、陶磁器、金工、人形

②西室

a. 世界の石器

- ・猿人の石器—打器・球形石器・
多面体石器・削器 5点
- ・原人の石器—握槌 5点
- ・旧人の石器—尖頭器・削器・剥片・石核 8点

- ・新人の石器・骨角器－石槍・彫器・搔器・石核・石刃・トランシェ・石斧・骨製鋸 22点
- ・北ヨーロッパ新石器時代の石器
－石斧・鬮器・鏝・石槍 17点
- ・大分県宮地前遺跡出土の石器

－細石刃・搔器・削器・細石核 24点

b. 青森県石亀遺跡の縄文土器

- ・土器－深鉢形土器・浅鉢形土器・壺形土器・注口土器・皿形土器・丹塗鉢形土器 24点
- ・石製品－岩偶・岩版 7点

c. 平安京跡出土瓦 97点

資料名	出土遺跡	備考	資料名	出土遺跡	備考
蓮華文軒丸瓦	平安宮内裏蘭林坊	平城宮型式	宝相華文軒平瓦	土御門内裏	丹波産
唐草文軒平瓦	平安宮朝堂院	平城宮型式	蓮華文軒丸瓦	三条西殿	
重圈文軒丸瓦	平安宮内蔵寮	難波宮型式	唐草文軒平瓦	平安宮民部省	
		「右」銘	蓮華文軒丸瓦	三条西殿	
重廓文軒平瓦	平安宮内裏	難波宮型式	唐草文軒平瓦	高倉宮	
蓮華文軒丸瓦	平安宮内裏	長岡宮型式	蓮華文軒丸瓦	平安宮朝堂院	
唐草文軒平瓦	平安宮内裏内廓回廊	長岡宮型式	唐草文軒平瓦	三条西殿	
蓮華文軒丸瓦	西寺	「西寺」銘	蓮華文軒丸瓦	平安宮内裏	
唐草文軒平瓦	西寺	「西」銘	唐草文軒平瓦	平安宮内裏	
蓮華文軒丸瓦	平安宮朝堂院		蓮華文軒丸瓦	左京六条二坊六町	
唐草文軒平瓦	西賀茂角社瓦窯		幾何学文軒平瓦	広隆寺	
蓮華文軒丸瓦	平安宮朝堂院		巴文軒丸瓦	高倉宮	
唐草文軒平瓦	西賀茂醍醐の森瓦窯		剣頭文軒平瓦	高倉宮	
蓮華文軒丸瓦	西賀茂角社瓦窯		蓮華文軒丸瓦	高倉宮	
唐草文軒平瓦	平安宮采女町	緑釉	唐草文軒平瓦	土御門内裏	
蓮華文軒丸瓦	平安宮豊楽院	緑釉	蓮華文軒丸瓦	高倉宮	
唐草文軒平瓦	平安宮朝堂院	緑釉	唐草文軒平瓦	高倉宮	
蓮華文軒丸瓦	西賀茂角社瓦窯	「官」銘	蓮華文軒丸瓦	平安宮民部省	播磨産
唐草文軒平瓦	西賀茂角社瓦窯	「近」銘	唐草文軒平瓦	三条西殿	播磨産
蓮華文軒丸瓦	平安宮朝堂院		蓮華文軒丸瓦	平安宮朝堂院	丹波産
唐草文軒平瓦	西賀茂角社瓦窯		唐草文軒平瓦	平安宮朝堂院	丹波産
蓮華文軒丸瓦	西賀茂角社瓦窯		蓮華文軒丸瓦	平安宮朝堂院	土佐産
唐草文軒平瓦	平安宮豊楽院		唐草文軒平瓦	平安宮内裏	伊予産
蓮華文軒丸瓦	平安宮朝堂院	緑釉	宝相華文軒平瓦	平安宮内裏	吉備産
唐草文軒平瓦	平安宮朝堂院	緑釉	唐草文軒平瓦	平安宮内裏	吉備産
蓮華文軒丸瓦	平安宮朝堂院		蓮華文軒丸瓦	平安宮内裏	淡路産
唐草文軒平瓦	平安宮朝堂院		幾何学文軒平瓦	平安宮内裏	淡路産
蓮華文軒丸瓦	平安宮豊楽院	「栗」銘	蓮華文軒丸瓦	高倉宮	播磨産
唐草文軒平瓦	平安宮内裏	「栗」銘	蓮華文軒丸瓦	左京七条三坊五町	讃岐産
蓮華文軒丸瓦	平安宮豊楽院豊楽殿	「小乃」銘	宝相華文軒平瓦	平安宮朝堂院	播磨産
唐草文軒平瓦	平安宮豊楽院	「小乃」銘	巴文軒丸瓦	高倉宮	播磨産
蓮華文軒丸瓦	平安宮豊楽院		蓮華文軒丸瓦	三条西殿	播磨産
唐草文軒平瓦	平安宮豊楽院		蓮華文軒丸瓦	平安宮内裏	
蓮華文軒丸瓦	平安宮豊楽院	「左」銘	格子巴文軒平瓦	押小路殿	
唐草文軒平瓦	平安宮豊楽院	「左」銘	蓮華文軒丸瓦	高倉宮	
蓮華文軒丸瓦	平安宮豊楽院	「栗」銘	唐草文軒平瓦	平安宮内裏	
唐草文軒平瓦	平安宮内裏		蓮華文軒丸瓦	土御門内裏	
蓮華文軒丸瓦	平安宮豊楽院	「木」銘	宝相華文軒平瓦	土御門内裏	
唐草文軒平瓦	平安宮豊楽院		蓮華文軒丸瓦	高倉宮	
蓮華文軒丸瓦	平安宮豊楽院		唐草文軒平瓦	高倉宮	
唐草文軒平瓦	平安宮豊楽院		巴文軒丸瓦	平安宮内裏	
蓮華文軒丸瓦	平安宮豊楽院		雁巴文軒平瓦	高倉宮	
唐草文軒平瓦	平安宮内裏内廓回廊		巴文軒丸瓦	平安宮朝堂院	
蓮華文軒丸瓦	平安宮豊楽院		剣巴文軒平瓦	左京四条三坊十三町	
唐草文軒平瓦	平安宮豊楽院・高倉宮		巴文軒丸瓦	押小路殿	
蓮華文軒丸瓦	平安宮豊楽院	讃岐産	剣頭文軒平瓦	押小路殿	
唐草文軒平瓦	平安宮豊楽院	讃岐産	巴文軒丸瓦	三条西殿	
蓮華文軒丸瓦	土御門内裏	丹波産	剣頭文軒平瓦	左京七条三坊五町	

③東 室 (展示資料はいずれも当館管理資料)

年度	回	展示期間	テ ー マ	点数
1988年度	第1回	1988. 10. 1～1989. 1. 29	京の郷土玩具／食膳と弁当箱／燭台とランプ	88点
	第2回	1989. 2. 1～1989. 5. 29	銅鐸／戦時中の暮らし／祭礼の玩具／明治期の振袖／古清水	40点
1989年度	第3回	1989. 6. 1～1989. 8. 29	船の玩具／幕末の京都／神馬図絵馬／団扇	78点
	第4回	1989. 9. 1～1989. 11. 28	京都府北部の暮らし／アジアの玩具1 (朝鮮半島)／岸竹堂の絵画／雅楽の鼓	85点
	第5回	1989. 12. 1～1990. 2. 26	京都府中部の暮らし／絵双六／馬の郷土玩具／明治時代のお細工物	68点
	第6回	1990. 3. 1～1990. 5. 29	アジアの玩具2 (中国大陸)／戦時中の暮らし／染色型紙／江戸後期の京焼	66点
1990年度	第7回	1990. 6. 1～1990. 8. 29	京都府南部の暮らし／京の小絵馬／こけし	112点
	第8回	1990. 9. 1～1990. 11. 28	近代天皇制と京都／アジアの玩具1 (台湾)／明治時代の子供衣裳／祇園井 特の肉筆浮世絵	51点
	第9回 第10回	1990. 12. 1～1991. 2. 26 1991. 3. 1～1991. 5. 29	京都市の暮らし／羊の郷土玩具／羽子板 久多の暮らし／荷車模型／冷泉為恭／古清水・江戸後期の名工	100点 54点
1991年度	第11回	1991. 6. 1～1991. 8. 29	駒倉の暮らし／ガーナの子授け人形と金銀細工玩具／喫煙具	57点
	第12回	1991. 9. 1～1991. 11. 28	豊富の暮らし／中南米の玩具／円山派の美人画と江戸時代後期の小袖	60点
	第13回	1991. 12. 1～1992. 2. 29	田山・高尾の暮らし／七脚落図屏風／猿の郷土玩具	57点
1992年度	第14回	1992. 4. 1～1992. 6. 16	戦時中の暮らし／日本の郷土玩具1 (北海道)／四条派の美人画	52点
	第15回	1992. 6. 18～1992. 9. 15	巨椋池の暮らし／日本の郷土玩具2 (青森県1)／初期の京焼／夏の衣料・帷子	81点
	第16回	1992. 9. 17～1992. 12. 15	吉祥院の暮らし／日本の郷土玩具3 (青森県2)／色絵陶／雅楽の笛	77点
	第17回	1992. 12. 17～1993. 3. 16	毘沙門の竹製品／扇／鶴の郷土玩具／日本の郷土玩具4 (岩手県1)	130点
	第18回	1993. 3. 18～1993. 6. 15	アイヌの民俗／日本の郷土玩具5 (岩手県2)／明治の京焼	51点
1993年度	第19回	1993. 6. 17～1993. 9. 15	中浜の竹製品／日本の郷土玩具6 (宮城県1)／小紋染／四条河原納涼と京の夏	52点
	第20回	1993. 9. 17～1993. 12. 14	絵葉書／日本の郷土玩具7 (宮城県2)／能の楽器／能の意匠	29点
	第21回	1994. 3. 17～1994. 6. 14	平安遷都千百年／日本の郷土玩具8 (秋田県1)／春の装い・花の意匠／ 岡本春暉筆・名画家肖像	48点
1994年度	第22回	1994. 6. 16～1994. 9. 20	柄鏡／日本の郷土玩具9 (秋田県2)／初期の京焼	48点
	第23回	1994. 9. 22～1994. 12. 20	指物大工／日本の郷土玩具10 (山形県1)／近世・近代の王朝人物図	76点
	第24回	1995. 3. 16～1995. 6. 20	古貨幣／日本の郷土玩具11 (山形県2)／古清水と色絵／襦紗	123点
1995年度	第25回	1995. 6. 22～1995. 9. 19	版木／伏見人形／夏の装い・単衣と帷子	46点
	第26回	1995. 9. 21～1995. 12. 19	西国巡礼と寺社参詣／船の郷土玩具／近世絵画流派別シリーズ(土佐派・狩野派)	40点
	第27回	1996. 3. 22～1996. 6. 18	看板と引札／雉子車と鴉車／近世絵画流派別シリーズ(岸派)	65点
1996年度	第28回	1996. 6. 20～1996. 9. 17	はきもの／郷土玩具のえびすと大黒／雅楽の楽器	50点
	第29回	1996. 9. 19～1996. 12. 17	京都府新収蔵品展一歴史資料・民具・郷土玩具一	119点
	第30回	1997. 3. 20～1997. 6. 17	調度／糸毬／近世絵画流派別シリーズ(円山派)	43点
1997年度	第31回	1997. 6. 19～1997. 9. 16	裂き織り／金太郎／錆絵と色絵	36点
	第32回	1997. 9. 18～1997. 12. 16	被り物／商い具／姉様／伏見人形	107点
	第33回	1998. 3. 19～1998. 6. 16	江戸時代の在銘民具／現在の伏見人形／江戸時代の衣裳／螺鈿	56点

(4)その他

資料・作品名	展示場所	点数	年度展示期間	備 考
土層剥ぎ取り標本	本館地下階段	1件	1988.10. 1～	平安京左京三条四坊四町採取 乾漆／1987年作／現代教育研究協会寄 附／1988年9月29日除幕
杉村 尚「紫式部像」	本館1階エスカレーター前	1点	1988.10. 1～	
高山泰三「羊」「虎」	本館3階中庭	2点	1988.10. 1～	平安京左京五条三坊十五町出土／12世紀 旧二条城跡出土
高山泰三「筆硯童子」ほか	別館中庭	14点	1988.10. 1～1993.11.	
梅原龍三郎「富士山の図」	本館2階ロビー	1点	1988.11. 1～	
清水九兵衛「朱装」	本館正面入口前	1点	1990. 4.21～	
常滑壺	本館7階エスカレーター前	1点	1991. 2. ～	
石仏など	別館中庭	26点	1993.11.25～	
平安京大極殿礎石	別館中庭	1点	1995. 4.20～	
南禅寺三門礎盤(復元)	別館中庭	1点	1995. 4.20～	

第2節 特別展示

* 会場が4階特別展示室のもの、時間が午前10時～午後6時のものは記述を省略した。

(1) 自主企画展

① 1988年度

◇ 開館記念 気球があがった一近代京都の一世紀—

会 期：1988年10月1日～11月6日（36日間）

休 室：10月19日

会 場：4階特別展示室、3階映像ギャラリー

時 間：午前10時～午後8時30分

入場料：一般1,000円 大高生800円 中小生600円

特別鑑賞日：9月30日

主 催：日本体育協会・文部省・京都府・京都市・
日本スポーツ芸術協会・京都文化財団

担当者：片岡 肇・鈴木忠司・山田邦和・奥田忠雄・
大西基子・大塚活美・浅野恵子・宮垣克己

概 要：平安京以来都として我が国の中心であり続けた京都は、明治の初めの事実上の東京遷都によって重大な危機に直面した。伝統の中に育まれた創造性と誇りをもって様々な挑戦を試み、近代化を成し遂げたが、その後の京都はむしろ様々な問題を抱えてきている。近代の1世紀を回顧するとともに、京都の現在と未来を見つめ直そうとした。

作 品：蛤御門の戦図屏風、琵琶湖疏水線路全景二万分之一図（河田小龍）、第四回内国勸業博覧会平安神社大極殿之図、軽気球—大日本新工夫、ジャカード輸入第1号機、浅井忠原画・2代川島甚兵衛作「武士山狩図刺綴壁掛」、宮永東山窯陶製看板（浅井忠原案）、湯川秀樹ノーベル賞メダル、浅井忠「漁村の少女」、土田麦僊「芥子」、熊倉順吉「凝固する炎」、京都賑見立、国産1号撮影機、明倫小学校模型（1/60）、遷都千百年祭記念殿及び第四回内国勸業博覧会場模型（1/400）、三条通模型（1/300）など244点

入場者：16,453人（1日平均457人）

② 1989年度

◇ 一美の求道・具象から抽象へ—堂本印象展

会 期：1989年4月22日～5月21日（28日間）

休 室：5月8日、5月17日

会 場：4階特別展示室、3階美術工芸展示室

時 間：午前10時～午後8時30分

入場料：大人1,000円 大高生700円 中小生500円

特別鑑賞日：4月21日

主 催：京都府・京都文化財団・京都新聞社

担当者：奥田忠雄・大西基子・中井三郎

概 要：堂本印象は、日本画の伝統を継承しながら、具象から抽象へと自己の世界を形成した、京都が生んだ偉大な画家である。本展では画伯の初期から絶筆作品までを一堂に展示し、印象芸術の粋を紹介し、画業の足跡を辿った。

作 品：深草(1919年)、訶梨帝母（鬼子母神）(1922年)、木華開耶媛(1929年)、婦女(1948年)、窓(1953年)、生活(1955年)、交響(1961年)、はるかなる海(1967年)、法然上人一枚起請文(1970年)、雲華西来(1971年)、善導大師(1975年)、人形、陶芸など104点

入場者：9,539人（1日平均341人）

◇ 開館1周年記念特別展

海を渡って来た人と文化—古代日本と東アジア—

会 期：1989年9月15日～10月22日（35日間）

休 室：9月20日、10月4日、18日

時 間：午前10時～午後8時30分

入場料：大人1,000円 大高生800円 中小生600円

特別鑑賞日：9月14日

主 催：京都府・京都文化財団・読売新聞大阪本社・
読売テレビ

後 援：文化庁・京都府教育委員会

担当者：定森秀夫・山下秀樹

概 要：古代日本の文化形成に大きな影響を与えた渡来人とその文化を、主に考古資料を中心に展示し、渡来の道・日本人の形成・最初の波・米作りを伝えた人々・倭国を支えた渡来人・仏教と渡来人・渡来系氏族の活躍・平安京と渡来系氏族の8テーマに分けて、その渡来人が果たした役割を考えた。

作 品：桜ヶ丘遺跡出土銅鐸（国宝）、金銅弥勒菩薩半跏思惟像、伝秦河勝夫婦像（以上、重文）、長原遺跡出土船形埴輪、縄文～古墳時代の人骨、馬場埴遺跡出土旧石器、菜畑

遺跡出土縄文土器、好太王碑拓本、湯舟坂2号墳出土金銅装環頭太刀、朝鮮半島出土の陶質土器、九州出土の陶質土器、畿内出土の須恵器、大谷古墳出土の馬冑など考古資料を中心に500点余

入場者：14,120人（1日平均403人）

講演会：3階映像ホール

- ・9月23日 「考古学から見た渡来文化」
森 浩一（同志社大学教授）
- ・9月30日 「古代史のなかの渡来人」
上田正昭（京都大学教授）
- ・10月7日 「渡来人と平安京」
井上満郎（京都産業大学教授）
- ・10月14日 「考古学からみた古代日本と朝鮮」
西谷 正（九州大学教授）
- ・10月21日 「蘇我氏と渡来人－聖徳太子をめぐる－」
門脇禎二（京都府立大学学長）

映画会：3階映像ホール

- ・9月17日 「神々の履歴書」
- ・9月24日 「新羅双墳（98号）」「南墳」
- ・10月1日 「河内飛鳥」「古代埼玉のあけぼの」
- ・10月8日 「新羅古墳（155号）」「雁鴨池」
- ・10月10日 「高句麗古墳壁画」 解説・通訳：
永島暉臣慎（財）大阪市文化財協会調査課長
- ・10月15日 「神々の履歴書」

③1990年度

◇「染の創作－小合友之助・稲垣稔次郎展」

会 期：1990年4月7日～5月6日（28日間）
休 室：4月18日、23日
会 場：4階特別展示室、3階美術工芸展示室（一部）
時 間：午前10時～午後8時30分
入場料：大人1,000円 大高生700円 中小生500円
特別鑑賞日：4月6日
主 催：京都府・京都文化財団・京都新聞社
後 援：NHK京都放送局・KBS京都
協 力：東京国立近代美術館
協 賛：京都織物卸商業組合・京都染色共同組合連合会・京都和装振興協会・丹後織物工業組合・西陣織工業組合・日本図案家協会
助 成：芸術文化振興基金
担当者：浅野恵子・石沢誠司・小森浩一
概 要：小合友之助と稲垣稔次郎は共に京都で生れ育ち、染織図案の仕事に従事したが、折か

ら工芸の個性的表現が求められる時代の気運に、彼らも染色作家を志した。小合は「藤瀬染」、稲垣は「型絵染」の技法を駆使して、個性的な表現を展開し、第二次大戦後、京都の染色界の双璧として今日の作家に大きな影響を与えた。本展は、作品および素描・下絵を展示し、二人の染の芸術の精髓を紹介した。

作 品：小合友之助；山海(1934年)、洛北山川図(1936年)、山月(1946年)、山水(1953年)、初子と太郎(1957年)、樹(1960年)、上雲(1963年)、着物、図案、画帖など101点。
稲垣稔次郎；善隣譜(1941年)、青楓の図(1948年)、六斎念仏(1951年)、平家物語(1954年)、青麦(1961年)、着物、帯など105点。

入場者：9,700人（1日平均346人）

列品解説：4階会場

- ・4月14日 浅野恵子（当館学芸員）
- ・4月21日 中井貞次（京都市立芸術大学教授）
- ・4月28日 伊砂利彦（染色作家）

◇第2回生涯学習フェスティバル協賛

京の百景展－日本画で描く古都の四季－

会 期：1990年11月1日～11月25日（24日間）

休 室：11月21日

入場料：大人700円 大高生500円 中小生400円

主 催：京都府・京都文化博物館

担当者：大西基子・浅野恵子

概 要：京都の景観や古くから伝えられてきた行事・風俗などを日本画の技法によって描きとどめ、永く後世に残そうとして、京都府が京都画壇の作家の協力をえて1973年に完成をみた「京の百景」の作品群を展示した。

作 品：水田硯山「鴨川」、麻田辨自「梅尾」、池田道夫「宝ヶ池」、川口金作「黒谷界限」、渡辺武蔵「稻荷山」、岩倉寿「笠置」、曲子光男「瑠璃溪」、西内利夫「冠島」など118点

入場者：10,154人（1日平均423人）

④1991年度

◇開館3周年記念特別展

光源氏と平安貴族－栄華の日の虚・実－

会 期：1991年10月10日～11月17日（34日間）

休 室：10月16日、23日、30日、11月6日、13日

入場料：大人1,000円 大高生600円 中小生400円

特別鑑賞日：10月9日

主催：京都府・京都文化博物館・朝日新聞社

後援：京都府教育委員会・京都市教育委員会・NHK 京都放送局

協賛：平安建都1200年記念協会

助成：芸術文化振興基金

担当者：藤本孝一・南博史

概要：紫式部の生涯を接点にしながら、光源氏のモデルともいわれる藤原道長が生きた平安時代の実像と、『源氏物語』の虚像の栄華世界を歴史的視点から展覧。そして、紫式部が描いた『源氏物語』の時代を越えた華やかな王朝文化の魅力を紹介した。

作品：御堂関白記、金銅藤原道長経筒、扇面法華経冊子（以上、国宝）、石山寺縁起絵巻、青表紙本源氏物語、小右記（以上、重文）、類聚雑要抄、大内裏図考証絵図、鬼瓦、緑釉鷗尾、東三条殿模型、女房装束、源氏物語屏風、源氏物語貝桶・合貝など89点

入場者：33,202人（1日平均977人）

特別講演会：6階和室

源氏の夕べ 10月14日

「京ことばで源氏物語を語る」

中井和子（京都府立大学女子短期大学部名誉教授）

朗読：福田孝子

「源氏物語の男と女」

瀬戸内寂聴

講演会：3階映像ホール

・10月12日 「光源氏と藤原道長」

藤本孝一（当館主任学芸員）

・10月19日 「光源氏のすまい」

池浩三（中部大学教授）

・10月26日 「源氏物語と陰陽道」

加納重文（京都女子大学教授）

・11月2日 「紫式部とその時代」

角田文衛（古代学研究所所長）

◇開館3周年記念特別展

京の歌舞伎展—四条河原芝居から南座まで—

会期：1991年12月7日～1992年1月12日

（30日間）

休室：12月18日、24日、28日～1月1日

入場料：大人1,000円 大高生600円 中小生400円

主催：京都府・京都文化博物館・京都新聞社・松竹株式会社

後援：京都府教育委員会・NHK京都放送局・京都府観光連盟・京都市観光協会

協賛：関西電力・京都銀行

助成：芸術文化振興基金

担当者：塩見嘉久・大塚活美・田島達也

概要：京都は出雲のお国が慶長8年に歌舞伎を始めた歌舞伎発祥の地である。元禄期には四条河原に七つの芝居小屋が建ち並び、股賑を極め、その後も大坂とともに上方歌舞伎をリードしてきた地である。1990年から翌年にかけての南座の改築を機として、京都の歌舞伎400年の歴史を振り返った。

作品：阿国歌舞伎草紙（重美）、四条河原遊楽図屏風、四条河原風俗図巻、都万太夫座芝居図屏風、眼鏡絵、立版古、元禄期四条河原周辺復元模型、番付・都万太夫座役割番付、狂言本・けいせい壬生大念仏、役者評判記・役者口三味線、劇書・古今役者大全、上方浮世絵、絵看板、金山平三「刃傷」、宇田萩邨「南座」、筋書、四条南側芝居番付、映画など217点

入場者：10,143人（1日平均338人）

講演会：3階映像ホール

・12月14日 「歌舞伎の百年」

鳥越文蔵（早稲田大学演劇博物館長）

・12月21日 「上方の役者絵」

松平進（甲南女子大学教授）

⑤1992年度

◇師から弟子へ 動物に魅せられた京の画家

—岸竹堂・西村五雲・山口華楊—

会期：1992年5月16日～6月14日（28日間）

休室：5月20日、6月3日

会場：4階特別展示室、3階美術工芸展示室（一部）

入場料：大人900円 大高生700円 中小生400円

特別鑑賞日：5月15日

主催：京都府・京都文化博物館・読売新聞大阪本社・読売テレビ

後援：京都府教育委員会・京都市教育委員会・NHK京都放送局・京都府観光連盟・京都市観光協会・平安建都1200年記念協会

協賛：月桂冠・大日本スクリーン製造

担当者：大西基子・田島達也・大塚活美

概要：鋭い筆運びと迫力のある画面構成で写実に重きをおいた作風を残した岸竹堂、竹堂晩年の弟子で、独特の軽妙な筆運びで暖かさ

を感じさせる画風の西村五雲、五雲の弟子で日本画の近代化を意識し、感性で描いた山口華楊。この三人の動物を描いた作品を通して京都画壇の足跡をたどった展覧会。

作品：岸竹堂；花卉鳥禽図、猛虎図、谷川に熊図、群鶴図、牛馬図、鶴図など19点。西村五雲；凍夜、咆哮、秋興、秋茄子、午閑、冬暖、海驢、麦秋、園裡即興、春宵など13点。山口華楊；角とぐ鹿、朝草、草、白い馬、黒豹、白鷺、凝視、幻化、望郷、白狐など40点。素描・下絵39点

入場者：14,330人（1日512人）

講演会：3階映像ホール

- ・5月23日「動物を視る目 描く心」
大西基子（当館学芸員）
- ・5月30日「花鳥走獣から動物画へ」
榊原吉郎（京都市立芸術大学教授）

◇創建1000年記念

壬生寺展—大念仏狂言と地藏信仰の寺—

会期：1992年11月3日～12月6日（33日間）

休室：11月18日

入場料：大人900円 大高生700円 中小生400円

特別鑑賞日：11月2日

主催：京都府・京都文化博物館・壬生寺・平安建都1200年記念協会・京都新聞社

後援：京都府教育委員会・NHK京都放送局・京都府観光連盟・京都市観光協会

協賛：日本火災海上保険・ウェルエイジみぶ

協力：壬生大念仏講・壬生六斎会・中堂寺六斎会

助成：芸術文化振興基金

担当者：植山 茂・大塚活美

概要：大念仏狂言と地藏信仰で知られる壬生寺の歴史と文化財について、歴史、文化財、狂言の三部に分けて展示した。歴史の部では境内の出土品に始まり、縁起や室町時代の諸記録、鎌倉時代の鱗口などを、文化財の部では本尊を始めとする仏像、仏画、典籍、その他の文化財、特別出品として律宗本山である唐招提寺の文化財、狂言の部では実際に使われている面や衣裳、小道具などを展示した。

作品：金亀舎利塔（国宝）、木造釈迦如来立像、壬生寺本尊木造地藏菩薩立像、錫杖頭、長谷川等伯筆「列仙図屏風」（以上、重文）、壬生寺縁起絵巻、円覚上人像、晴富宿禰記、

壬生寺勸進帳、地藏菩薩坐像、壬生三面、壬生狂言面、壬生狂言衣裳、言繼卿記、鶴澤探索筆「洛中洛外図屏風」など84点

入場者：8,715人（1日264人）

重要無形民俗文化財壬生狂言上演：別館ホール

・11月8日「桶取」「土蜘蛛」

・11月15日「大原女」「餓鬼角力」

重要無形民俗文化財六斎念仏上演：別館ホール

・11月29日

映画上映：3階映像ホール

・11月23日「壬生大念仏」（昭和36年製作）

講演会：3階映像ホール

・11月14日「壬生寺の歴史」

細川涼一（京都橘女子大学助教授）

・11月21日「大念仏と狂言」

植木行宣（京都市立芸術大学講師）

◎1993年度

◇開館5周年記念特別展 マヤ—歴史と民族の十字路口—

会期：1993年4月13日～5月30日（46日間）

休室：4月21日、5月19日

入場料：大人1,000円 大高生700円 中小生400円

特別鑑賞日：4月12日

主催：京都府・京都文化博物館・たばこと塩の博物館・読売新聞大阪本社・読売テレビ

後援：外務省・文化庁・グアテマラ大使館・平安建都1200年記念協会

協力：ポ波尔・ヴフ博物館、グアテマラ国立考古学民族学博物館、グアテマラ国立人類学歴史学研究所、東京家政大学、コンピュータ・システム株式会社

協賛：ワールドコーヒー

担当者：南 博史・山田邦和

概要：密林と石造ピラミッド、文字、そして謎の滅亡。古代マヤ文化のもつ魅力は多い。今も多くのマヤ民族の人々が、メキシコ、グアテマラで伝統的な文化を継承しながら生き続けている。グアテマラ、カミナルフユ遺跡の発掘調査の成果を中心として、今に生きるマヤの人々と古代マヤ文化の歴史を再構成した。

作品：太った神石像、人物・動物石像、キノコ石、形象土器、土偶、印章、香炉、ヒスイ製品、石器、石製品、多彩文土器、大型骨壺、鉛釉土器、カミナルフユ遺跡出土一括遺物。衣裳、メルカード（市場）再現資料。

実 演：機織り、ヒカラ細工。
その他：1階にマヤ遺跡探訪の画像データベース、
ハイビジョン番組放映。

入場者：21,665人（1日471人）

講演会：3階映像ホール

- ・4月17日 「新しいマヤ史を求めて」
大井邦明（京都外国大学教授）
- ・4月24日 「マヤ文明とアンコールワット」
矢澤高太郎（読売新聞東京本社記者）
- ・5月1日 「ピラミッド神殿モンゴイを発掘する」
南 博史（当館学芸員）
- ・5月8日 「マヤの国の中南米学術調査」
半田昌之（たばこと塩の博物館学芸員）
- ・5月15日 「グアテマラ・マヤの宗教儀礼」
桜井三枝子（大阪経済大学専任講師）

◇開館5周年記念特別展

京の美人画展—個性派の競艶 江戸・明治・大正—

会 期：1993年9月10日～10月11日（30日間）

休 室：9月16日、27日

入場料：大人1,000円 大高生700円 中小生400円

特別鑑賞日：9月10日

主 催：京都府・京都文化博物館・平安建都1200年
記念協会・朝日新聞社

後 援：京都府教育委員会・京都市教育委員会・京
都府観光連盟・京都市観光協会・NHK京
都放送局

協 賛：東洋信託文化財団・日本伝統染色工芸保存
協会

助 成：芸術文化振興基金

担当者：田島達也・大西基子・長舟洋司

概 要：京の美人画は女性の現実の姿を確かに捉え
る鋭いまなざしを備えていた。それが円山
応挙の写実を生み、上村松園の内面表現を
うながし、そして「美人」画という枠を超
えたりアルな女性像を流行させた。本展は、
美人画の誕生した江戸前期から、明治・大
正までの主要な作品を一堂に展観した。

作 品：舞踊図（重文）、美人立姿図、西川祐信
「柱時計美人図」、「衣通姫図」、円山応挙
「倭婦人図」、源琦「玄宗楊貴妃弄笛図」、
長沢芦雪「大原女」、山口素絢「太夫雪見
図」、祇園井特「太夫道中図」、「二美人図」、
三島上龍「観桜美人図」、吉原真龍「舞子
納涼図」、幸野椋嶺「妓女図」、竹内棲鳳
「絵になる最初」など126点

入場者：19,056人（1日635人）

講演会：3階映像ホール

- ・9月18日 「美人画の誕生」
奥平俊六（大阪大学助教授）
- ・9月26日 「京の美人画 はんなり／こってり」
田島達也（当館学芸員）
- ・10月2日 「美人と美術」
井上章一（国際日本文化研究センター助教授）

⑦1994年度

◇平安建都1200年記念

京都創作陶芸のながれ—土・火・技—

会 期：1994年6月28日～7月31日（33日間）

休 室：7月20日

入場料：大人1,000円 大高生700円 中小生400円

主 催：京都府・京都文化博物館・平安建都1200年
記念協会・京都新聞社

後 援：京都府観光連盟・京都市観光協会・NHK
京都放送局

助 成：芸術文化振興基金

担当者：谷口知己・藤本恵子・大西基子

概 要：京都陶芸界は、伝統から創造への道筋を
「つち」に求め、土と「火」という素材と
「わざ」とによって創意を主張してきた。
本展は、戦後の華やかな展開を中心に、昭
和初期から現在にかけての作品群を、所属
団体やジャンルを越えて展示し、その流れ
をたどった。

作 品：二代伊東陶山「色絵鳳凰置物」、清水六和
「大礼磁唐草文花瓶」、富本憲吉「白磁壺」、
河井寛次郎「呉須辰砂扁壺」、六代清水六
兵衛「染付草花文盛鉢」、楠部彌弼「彩埴
静晧飾皿」、宮下善爾「彩泥篋」、近藤悠三
「山 染付金彩壺」、八木一夫「雲の記憶」、
山田光「塔」、熊倉順吉「暦日」、西川勝
「異教徒の調べ」など111点

入場者：8,748人（1日265人）

講演会：別館講義室

- ・7月2日 「京都・陶芸作家の位置」
河原正彦（京都国立博物館工芸室長）
- ・7月16日 「工芸としての陶磁器」
谷口知己（当館主任学芸員）

列品解説：4階会場

- ・7月12日 谷口知己（当館主任学芸員）

◇平安建都1200年記念

京都府・陝西省友好提携10周年記念

大唐長安展—京都のはるかな源流をたずねる—

会 期：1994年9月9日～11月27日（75日間）

休 室：9月21日、10月5日、19日、11月2日、16日

会 場：4階特別展示室、3階美術工芸展示室

入場料：大人1,200円 大高生800円 中小生400円

特別鑑賞日：9月8日

主 催：京都府・陝西省人民政府・陝西省文物事業管理局・京都文化博物館・京都新聞社・NHK京都放送局・平安建都1200年記念協会

共 催：朝日新聞社・読売新聞大阪本社

後 援：中華人民共和国文化部・中華人民共和国国家文物局・中華人民共和国駐日本大使館・陝西省对外文物展覽公司・陝西歴史博物館・西安碑林博物館・法門寺博物館・文化庁・京都市・京都府教育委員会・京都市教育委員会・京都府観光連盟・京都市観光協会・歴史街道推進協議会・京都府日中友好協会・京都華僑総会・KBS京都・エフエム京都

特別協力：アート&サイエンス・NHKきんきメディアプラン・三菱電機京都製作所・アサヒワールド

担当者：片岡 肇・藤本孝一・植山 茂・山田邦和

概 要：偉大なる先進国・唐の都の長安は、今日の京都の出発点・平安京にとって、憧れの地でもあり、はるかな源流であった。本展は、陝西省出土の唐代の文物と、唐から我が国にもたらされた文物や唐文化の影響を受けた国内の資料を展示して、長安を再現し、京都の源流を探るとともに、京都と陝西省との友好の歴史の出発点を改めて認識しようとした。

作 品：＜陝西省側資料＞四鸞銜綬文金銀平脱銅鏡、天宝“信安郡税山”銀挺、三彩駱駝載樂俑、鴛鴦蔓草文金碗、双獅子文単柄金鐺、蔓草花鳥文八稜銀杯、鍍金牛首瑪瑙杯、蘇諒妻馬氏墓誌、鍍金鴻雁流雲文銀茶碾子碾軸、鍍金龟形銀盒、瑠璃茶碗茶托（以上、一級文物）など

＜国内資料＞真言七祖像、弘法大師請来目録、灌頂歴名、宝相華迦陵頻伽文蒔絵冊子箱、金銅密教法具、仁和寺御室御物実録、無学祖元墨蹟（以上、国宝）、海獸葡萄鏡、太平楽装束、大唐西域記、弘法大師行状絵

詞、円仁入唐求法目録、兜跋毘沙門天像、毛詩正義、白氏文集、福富卓紙、砧青磁鳳凰耳花入「千声」、無学祖元高峰顕著日問答語（以上、重文）など

入場者：178,703人（1日平均2,383人）

講演会：3階映像ホール

- ・9月17日 「唐代の陵墓とその陪葬墓」
田辺昭三（京都造形芸術大学教授）
- ・9月24日 「平安京と長安を結んだ道」
門脇祐二（京都府立大学名誉教授）
- ・10月8日 「唐代長安の石刻」
礪波 護（京都大学教授）
- ・10月15日 「唐長安の宮殿・仏寺と苑囿」
田中 淡（京都大学人文科学研究所教授）
- ・10月29日 「最後の遣唐使と大唐青龍寺」
渡辺信一郎（京都府立大学助教授）
- ・11月5日 「唐代の茶法—煎茶と点茶—」
筒井紘一（茶道資料館副館長）
- ・11月12日 「平安京と中国都城」
井上満郎（京都産業大学教授）
- ・11月19日 「唐長安城と日本都城」 町田 章
（奈良国立文化財研究所平城宮跡発掘調査部長）

◎1995年度

◇小野竹喬展—自然に語りかける画家—

会 期：1995年4月8日～5月14日（36日間）

休 室：4月19日

入場料：大人1,000円 大高生700円 中小生400円

特別鑑賞日：4月7日

主 催：京都府・京都文化博物館・笠岡市立竹喬美術館・朝日新聞社

後 援：京都府教育委員会・京都市教育委員会・NHK京都放送局・京都府観光連盟・京都市観光協会

助 成：芸術文化振興基金

担当者：大西基子・長舟洋司・田島達也

概 要：岡山県笠岡生まれの小野竹喬は、京都に来て竹内栖鳳に入門し頭角を現し、後に国画創作協会の運動に参加して西洋画の手法と東洋画の精神性を融合させた独自の画風を確立し、京都画壇に大きな足跡を残した。本展は画伯の代表作や京都を描いた作品などで構成し、その活躍の足跡を紹介した。

作 品：洛外の山家(1906年)、南国(1911年)、雪餘(1913年)、海島(1920年)、八瀬村頭(1926

年)、はざまの路(1933年)、新秋(1948年)、曇り日の海(1959年)、宿雪(1966年)、早春(1970年)、鴨川夜景(1973年)、樹間の茜(1974年)、奥の細道句抄絵(1976年)、樹雪(1978年)など83点

入場者：15,242人(1日423人)

講演会：別館講義室

- ・4月15日「京都画壇と竹喬画伯」
大西基子(当館学芸員)
- ・4月29日「小野竹喬について」
上蘭四郎(笠岡市立竹喬美術館学芸員)

◇桃山の春・光悦展—町衆の信仰と芸術—

会期：1995年10月7日～11月12日(34日間)

休室：10月18日、25日、11月1日

入場料：大人1,000円 大高生700円 中小生400円

特別鑑賞日：10月6日

主催：京都府・京都文化博物館・京都新聞社

後援：京都府教育委員会・京都市教育委員会・NHK京都放送局・平安建都1200年記念協会・京都府観光連盟・京都市観光協会・歴史街道推進協議会

担当者：藤本孝一・山下秀樹

概要：応仁の乱後の荒廃が収束して、豊臣秀吉という全てに派手好みの君主を戴いた桃山時代、京都では町衆の盛んな経済活動を背景に絢爛豪華な文化が開花した。その中核にあって文化的活動を演出し実践したのが本阿弥光悦であった。本展は、その光悦を軸として、彼らを支えた法華信仰とそれによる心の安寧の中から生み出された芸術を紹介した。

作品：伝藤原行成筆書卷、俵屋宗達「平家納経願文見返図」、俵屋宗達「蓮池水禽図」(以上、国宝)、吉野花見図屏風、醍醐花見図屏風、角倉船絵馬、日蓮「神国王御書」、金銅宝塔、本阿弥光悦「立正安国論」、刀(「本阿」花押金象嵌)、花唐草文螺鈿経箱(以上、重文)など86点

入場者：52,725人(1日1,551人)

講演会：別館講義室

- ・10月14日「法華と桃山美術」
武田恒夫(大手前女子大学教授)
- ・10月21日「幻の一切経発見」
中尾 堯(立正大学教授)
- ・11月4日「光悦の信仰と町衆」

藤井 学(奈良大学教授)

◎1996年度

◇叻京都文化財団設立10周年記念特別展

文人画の巨匠 池大雅展

会期：1996年10月3日～11月4日(32日間)

休室：10月16日

入場料：大人1,000円 大高生700円 中小生400円
特別鑑賞日：10月2日

主催：京都府・京都文化博物館・池大雅美術館・朝日新聞社

後援：京都府教育委員会・京都市教育委員会・NHK京都放送局・京都府観光連盟・京都市観光協会・平安建都1200年記念協会・歴史街道推進協議会

助成：芸術文化振興基金

担当者：田島達也・大西基子・長舟洋司

概要：日本の文人画の大成者・池大雅は京都で生まれ育ち江戸時代を代表する画家・書家として活躍した。1995年3月、財団法人池大雅美術館より池大雅の絵画、書跡、関係資料が、京都府へ寄贈された。本展はこの作品を核として、日本各地に所蔵される代表作を加えた百余点を通じ、池大雅の生涯の歩みとその芸術の全貌を追及した。

作品：前後赤壁図屏風、漁楽図、西湖春景・錢塘觀潮図屏風、五百羅漢図、柳下童子図屏風(以上、重文)、六遠図卷(重美)、金山、箕山瀑布図、天産奇葩図卷、高士訪隠図屏風、墨梅図、墨竹図、六遠山水図、大雅堂旧居図、嵐亭之詩など114件

入場者：19,070人(1日平均596人)

講演会：3階映像ホール

- ・10月12日「文人池大雅の人となり」
佐々木もと子(池大雅美術館館長)
- ・10月19日「筆あとからたどる池大雅の世界」
田島達也(当館学芸員)

◇叻京都文化財団設立10周年記念特別展

京都・激動の中世一帝と将軍と町衆と一

会期：1996年11月13日～12月15日(30日間)

休室：11月20日、27日、12月4日

入場料：大人1,000円 大高生700円 中小生400円
特別鑑賞日：11月12日

主催：京都府・京都文化博物館・京都新聞社

後援：京都府教育委員会・京都市教育委員会・N

H K 京都放送局・京都府観光連盟・京都市観光協会・平安建都1200年記念協会・歴史街道推進協議会

担当者：山田邦和・鈴木忠司

概要：日本の中世は人々のエネルギーがあふれた躍動の時代であり、京都は中世を通じて常に政治・経済・文化の中心であった。近年著しい発達を示した中世史研究の成果を充分にとりいれ、中世の首都・京都の活力に満ちた姿を紹介した。

作品：法住寺殿跡出土鉄形・馬具、遊行上人縁起絵、等持寺古絵図、足利義満像、真如堂縁起絵巻、八坂塔絵図、東寺百合文書、百鬼夜行図、足利義政像、源氏物語青表紙本（以上、重文）、泥塔（重有民文）、後醍醐天皇像、錦旗、おようの尼絵など129件

入場者：20,248人（1日平均675人）

講演会：3階映像ホール

- ・11月16日 「東国武士と京都」
野口 実（聖徳大学教授）
- ・11月23日 「中世京都を見る目」（展示解説）
山田邦和（当館学芸員）

⑩1997年度

◇近世工芸の華 婚礼のいろとかたち

会 期：1997年4月5日～5月6日（31日間）

休 室：4月16日

入場料：一般1,000円 大高生700円 中小生400円

特別鑑賞日：4月4日

主 催：京都府・京都文化博物館・京都新聞社

後 援：京都府教育委員会・京都市教育委員会・NHK京都放送局・京都府観光連盟・京都市観光協会・平安建都1200年記念協会・歴史街道推進協議会

助 成：芸術文化振興基金

担当者：洲鎌佐智子・古郷彰治・谷口知己

概要：大名や公家、そして豪商とよばれる町人たちが婚礼のために用意した調度や衣裳は、近世の工芸品のなかでもひととき豪華で華やかである。本展は京都の豪商・柏原家所蔵の調度と衣裳を中心に、各地の絢爛豪華な婚礼調度類と式にまつわる女性の晴着など、結婚という人生儀礼を彩った江戸時代の婚礼工芸品の数々を紹介した。

作品：東福門院入内図屏風、徳川種姫婚礼行列図、

銀細工雛調度、婚礼道しるべ、犬張子、柳海棠丸に隅立四つ目紋蒔絵婚礼調度、白綾子地流水に四季花の丸文様絞緋打掛、牡丹唐草向鶴丸紋蒔絵婚礼調度、梅笹文葵紋散蒔絵女乗物、叢梨地花菱唐草蒔絵調度、紅綾子地掛軸尽文様絞緋描絵振袖、染分綾子地段替り松竹梅鶴亀文様絞振袖など138件

入場者：14,027人（1日平均452人）

講演会：別館講義室

- ・4月19日 「吉祥の意匠」

切畑 健（大手前女子大学教授）

列品解説：4階会場

- ・4月12日 洲鎌佐智子（当館学芸員）
- ・4月26日 古郷彰治（当館主任学芸員）

◇ヒトの来た道一人類500万年と列島最古の居住者一

会 期：1997年11月8日～12月14日（36日間）

休 室：11月19日

入場料：一般1,000円 大高生700円 中小生400円

特別鑑賞日：11月7日

主 催：京都府・京都文化博物館・読売新聞大阪本社・読売テレビ

後 援：京都府教育委員会・京都市教育委員会・京都府観光連盟・京都市観光協会・平安建都1200年記念協会・歴史街道推進協議会・地球温暖化防止京都会議支援実行委員会・KBS京都・エフエム京都

特別協力：アルタミラ博物館・研究所、志摩スペイン村、アイ・エヌ・エー

担当者：鈴木忠司・南 博史

概要：列島史の第1ページを飾る岩宿時代の実像に迫るとともに、岩宿発見後50年の研究成果を一堂に展示。岩宿時代とは日本文化にとってどのような時代であったかを考える企画とした。

作品：岩宿遺跡出土石器（重文）、食料、木器、植物化石、ナウマンゾウ・ヤギウウ・オオツノジカ・マチカネワニ全身骨格標本、隣群・石器出土状態型取り模型、日本の人類化石、アフリカ猿人化石（複製）、アルタミラ洞窟場面復元、人類最初の足跡模型、人類最古の墓（複製）など95件

入場者：13,313人（1日平均370人）

講演会：別館講義室

- ・11月15日 「化石からみた人類の起源と進化」

石田英実（京都大学大学院教授）

- ・11月22日 「考古学からみた人類の起源と拡散」
山中一郎（京都大学大学院教授）
- ・11月29日 「岩宿時代の動物たち」
亀井節夫（京都大学名誉教授）
- ・12月6日 「岩宿時代のヒトと暮らし」
鈴木忠司（当館主任学芸員）

①1998年度

◇開館10周年記念特別展

京の江戸時代—町人の社会と文化—

会 期：1998年4月17日～5月17日（30日間）

休 室：5月6日

入場料：一般1,000円 大高生700円 中小生400円

特別鑑賞日：4月16日

主 催：京都府・京都文化博物館・京都新聞社・NHK京都放送局

後 援：京都府教育委員会・京都市教育委員会・京都府観光連盟・京都市観光協会・平安建都1200年記念協会・歴史街道推進協議会・KBS京都・エフエム京都

担当者：大塚活美・山田邦和

概 要：江戸時代の京都は幕府直轄の政治都市、産業・流通の発達した経済都市、町人が主体となった文化都市であった。本展では、江戸時代の京都を担った町人に焦点をあて、政治・経済・文化の繁栄の姿を紹介するため、文書、記録、文献、木札、扁額、屏風、絵巻物、掛幅、版画、絵馬、工芸品、歴史資料、民具、考古資料、模型など多彩な資料により展観した。

作 品：福井家京榎座関係資料、東海道分間延絵図（以上、重文）、神家京秤座関係資料、今宮神社沢瀉鉾吹散、京都絵図屏風、妙蓮寺制札、町代日記、家訓、大丸江戸店図絵馬、三条油小路西側・東側町並絵巻、桂離宮模型、糠唐箕、都名所図会版木、明親館扁額、古義堂文庫、山崎闇斎関係資料、京中一目細見図、都百景、天保踊図屏風など145件

入場者：23,090人（1日平均770人）

講演会：別館講義室

- ・4月18日 「近世京都の成立」
横田冬彦（京都橘女子大学教授）
- ・4月25日 「近世における京文化の形成」
鎌田道隆（奈良大学教授）

列品解説：4階会場

・4月24日 大塚活美（当館学芸員）

・5月8日 山田邦和（当館学芸員）

◇開館10周年記念特別展 京の絵師は百花繚乱

—「平安人物志」にみる江戸時代の京都画壇—

会 期：1998年10月2日～11月10日（39日間）

休 室：10月21日

会 場：4階特別展示室、3階美術工芸展示室

入場料：一般1,200円 大高生800円 中小生500円

特別鑑賞日：10月1日

主 催：京都府・京都文化博物館・京都新聞社・NHK京都放送局

後 援：京都府教育委員会・京都市教育委員会・京都府観光連盟・京都市観光協会・歴史街道推進協議会・KBS京都・エフエム京都

特別協賛：京都文化財団賛助会・平安建都1200年記念協会

助 成：芸術文化振興基金

担当者：野口 剛・大西基子・長舟洋司

概 要：江戸時代の京都が、日本絵画史上に名高い画家たちを数多く輩出したことはよく知られる。とくにその後半期には、写生に基づく斬新な画風を確立した円山応挙、日本の文人画を大成させた池大雅や与謝蕪村、奇想に溢れる画風を誇った伊藤若冲や曾我蕭白、写生画風と文人画風を融合して後に四条派の祖となった呉春など重要な画家が続々と登場した。そうした状況を伝えてくれるのが、当時の京都で刊行された『平安人物志』という文化人名録である。この人名録には、のべ400名弱もの画家が掲載され、京都画壇の層の厚さを物語っている。本展は、この『平安人物志』を手がかりに、そこに登場する画家の作品を可能な限り一堂に集め、まさに百花繚乱と呼ぶにふさわしい近世京都画壇の多彩な魅力を紹介した。

作 品：尾形光琳「太公望図」、円山応挙「牡丹に孔雀図」、「保津川図」、池大雅「柳下童子図」、呉春「白梅図」、曾我蕭白「月夜山水図」、長沢芦雪「群猿図」、円山応瑞「双鶏図」（以上、重文）、与謝蕪村「草廬三顧・蕭何追韓信図」、長沢芦洲「月夜山水図」（以上、重美）、長沢芦洲「虎ニ岩浪図」（府指定）、平安人物志など257点

入場者：33,156人（1日平均850人）

シンポジウム：3階映像ホール

- ・10月24日 「京の絵師 いま・むかし」
上村淳之（日本画家）、太田垣實（京都新聞社）、小林丈広（京都市歴史資料館）、
榊原吉郎（京都市立芸術大学教授）、田
島達也（北海道大学助教授）

講演会：3階映像ホール

- ・10月10日 「文化・文政期の京都画壇
—京都御所の障壁画をめぐる—」
冷泉為人（大手前女子大学教授）
- ・11月22日 「『平安人物志』にみる京画壇」
佐々木丞平（京都大学教授）

(2)共催展等

①1988年度

- ◇開館記念 千家十職展—近代の名品を中心に—
会 期：1988年10月1日～10月30日（29日間）
休 室：10月19日
会 場：6階展示室
時 間：午前10時～午後8時30分
入場料：一般400円 大学生以下300円
主 催：京都文化財団・十備会・京都新聞社
協 賛：三千家・藪内家
担当者：石沢誠司・小森浩一・浅野恵子
概 要：家元との緊密な連携をもって茶道具作りを
伝えてきた千家十職の明治以降から現代ま
での名品を一堂に展観した展覧会。
作 品：永楽家、中川家、大西家、奥村家、黒田家、
土田家、楽家、中村家、飛来家、駒沢家の
歴代の各作品、各家組物など139点
入場者：18,061人（1日平均623人）

◇開館記念 京の四季

- 会 期：1988年10月1日～10月30日（29日間）
休 室：10月19日
会 場：5階展示室
時 間：午前10時～午後8時30分
入場料：無料
主 催：日本体育協会・文部省・京都府・京都市・
日本スポーツ芸術協会・京都文化財団
担当者：奥田忠雄・大西基子・中井三郎
概 要：昭和61年度に京都府が制作した「京の四季」
を展示。これは、京都および京都にゆかり
のある日本画家、洋画家に依頼し、京都を
題材とした作品を制作してもらうとともに
公募の入選作と合わせた絵画作品群。
作 品：高越甚「金閣冬日」、大塚明「愛宕山冬日」、
三輪晃久「魁桜」、木村広吉「哲学の道」、
福島一二三「宵・牡丹・塔」、佐々木豊
「乙訓の竹林」、石川義「原生」、伊東俊平
「冠島」など291点

入場者：29,418人（1日平均1,014人）

◇方濟衆遺墨展

- 会 期：1988年11月9日～11月14日（6日間）
時 間：午前10時～午後8時30分
入場料：700円
主 催：京都府・京都文化財団・京都書画院
後 援：京都市・京都府日中友好協会・京都新聞社・
KBS京都・陝西省・西安市・中国对外友
好協会陝西支部・陝西国画院
担当者：奥田忠雄・大西基子・中井三郎
概 要：現代中国を代表する画家の方濟衆の遺作展。
作 品：「岩畔」など135点、林田悠紀夫「青々柳
色新」など59点
入場者：2,050人（1日平均342人）

▽併催京都書画院作家選抜展

◇開館記念 京の雅 近世の宮廷文化展

- 会 期：1988年11月17日～12月25日（38日間）
休 室：12月21日
時 間：午前10時～午後8時30分
入場料：一般1,000円 大高生700円 中小生500円
主 催：京都文化財団・毎日新聞社
後 援：文化庁・京都府・京都市・大阪府・大阪市・
兵庫県・神戸市・滋賀県・津市・奈良県・
奈良市・和歌山県・和歌山市・各府県市教
育委員会・京都商工会議所・毎日放送・ス
ポーツニッポン新聞社
協 賛：大丸
担当者：藤本孝一
概 要：17世紀の初めに、王朝文化の復興ともいう
べき宮廷文化が開花した。京都御所・桂離
宮・修学院離宮などを飾った障屏画、門跡
寺院や冷泉家に伝わる絵画や書跡など、そ
の代表的な作品によって日本人の美意識の
源流を見出そうとした。
作 品：後陽成天皇宸翰消息、林丘寺御手鑑（以上、
重文）、海北友松「浜松図屏風」、狩野探幽

「源氏物語図屏風」、伝依屋宗達「葛図屏風」、
伝狩野永徳「竹に虎図杉戸絵」、後水尾法
皇像、月次図屏風、桂宮家日記など84点

入場者：39,378人（1日平均1,036人）

講演会：3階映像ホール

- ・12月3日「宮廷の絵画」
狩野博幸（京都国立博物館美術室長）
- ・12月10日「桂宮家と桂離宮の絵画」
冷泉勝彦（大手前女子大学教授）
- ・12月17日「宮廷絵画の諸相」
榎原吉郎（京都市立芸術大学教授）

◇第11回京都美術展

会期：1989年1月20日～2月12日（24日間）

時間：午前10時～午後8時30分

入場料：一般700円 大高生500円 中小生400円

主催：京都府・京都文化財団

担当者：奥田忠雄・大西基子・中井三郎

概要：美術の公募展で、日本画・洋画・版画の応募作品510点から選んだ入選作を展示。

作品：岸中延年「Spring View 89-1」、城野奈英子「地」、柴田純生「KUMO」など93点

入場者：6,858人（1日平均286人）

◇京の名工展—京都府伝統産業優秀技術者作品展—

会期：1989年2月18日～2月22日（5日間）

時間：午前10時～午後8時30分

入場料：一般600円 大高生500円 中小生400円

主催：京都府・京都府匠会・京都文化財団

担当者：石沢誠司・小森浩一・浅野恵子

概要：京都府内の伝統産業に従事する優秀技術者の作品展。

作品：青木保太郎「訪問着 花の道」、加藤隆一「山水画飾皿」、一瓢栄一郎「広蓋」、安藤桂甫「東帯京雛」など117点

入場者：4,240人（1日平均848人）

②1989年度

◇国際〔紙〕造形展

会期：1989年4月1日～4月10日（10日間）

時間：午前10時～午後8時30分

入場料：大人1,200円 大高生1,000円

特別鑑賞日：3月31日

主催：日本・紙アカデミー、京都文化財団

後援：京都府・京都市・京都商工会議所・米国外使館・ドイツ連邦共和国総領事館・カナダ大使館・ブラジル連邦共和国総領事館・ベ

ルギー王国大使館・デンマーク王国大使館・大韓民国総領事館、レオポルド・ホーエッシュミュージアム、ノルジランド・クンストミュージアム、京都デザイン関連団体協議会・京都新聞社・NHK京都放送局・KBS京都

協賛：京都銀行・京都信用金庫・京都中央信用金庫・伏見信用金庫・西陣信用金庫・京都相互銀行・京都労働金庫・黒谷和紙振興会・西陣織工業組合・京都織物卸商業組合、ジャパン・スカンジナビア笹川財団

担当者：石沢誠司

概要：8か国からの招待作家による日本で初めての本格的な紙造形の国際展であった。

作品：趙晟黙（韓国）、Freddy Freak（デンマーク）、伊部京子（日本）、Laurent Roberge（カナダ）など24作家

入場者：4,132人（1日平均413人）

◇現代中国画壇の巨匠による 桂林百景展

会期：1989年6月3日～7月9日（36日間）

休室：6月21日

時間：午前10時～午後8時30分

入場料：大人700円 大高生500円 中小生400円

主催：京都府・京都文化財団・朝日新聞社

後援：外務省・文化庁・在日中国大使館

協力：渭江出版社・賛交社

担当者：大西基子・中井三郎・大塚活美

概要：中国画壇を代表する作家87名が「山水画のふるさと」桂林を描いた風景画を展示。

作品：王文芳「自有家山人夢来」、孔仲起「漓江所見」、李可染「牧牛図」、顔文梁「朝気新」など100点

入場者：12,513人（1日平均348人）

◇高山辰雄展

会期：1989年7月20日～9月3日（45日間）

休室：8月16日

時間：午前10時～午後8時30分

入場料：大人1,000円 大高生700円 中小生500円

特別鑑賞日：7月19日

主催：京都文化財団・東京国立近代美術館・日本経済新聞社

担当者：奥田忠雄・大西基子・浅野恵子

概要：現代日本画を代表する高山辰雄の戦前から最近に至る代表作を通して高山芸術の軌跡をたどった。

作品：砂丘(1936年)、沼(1956年)、行人(1969年)、
少女(1979年)、牡丹(1988年)など87点
入場者：20,265人(1日平均450人)

◇バリ・ムルロエ工房所蔵 ピカソ石版画展

会期：1989年10月28日～11月26日(29日間)
休室：11月15日
時間：午前10時～午後8時30分
入場料：大人800円 大高生600円 中小生400円
主催：京都文化財団・毎日新聞社
後援：京都府・京都府教育委員会・京都市・京都
市教育委員会・毎日放送・フランス大使館
協力：アートワン
担当者：大西基子・奥田忠雄
概要：20世紀美術の巨匠パブロ・ピカソの石版画
を通して、油彩とは違った版画家としての
ピカソの創造に触れた。

作品：果物鉢のある静物(1945年)、花瓶のあるコ
ンポジション(1947年)、飛翔する鳩(1952
年)、画家とモデルII(1964年)など206点
入場者：13,304人(1日平均459人)

◇熊倉順吉の陶芸－生命のかたち－

会期：1989年12月9日～1990年1月15日
(32日間)
休室：12月20日、12月28日～1月1日
時間：午前10時～午後8時30分
入場料：大人700円 大高生500円 中小生400円
特別鑑賞日：12月8日
主催：京都文化財団・東京国立近代美術館
後援：京都府・京都新聞社・NHK京都放送局
担当者：小森浩一・石沢誠司・塩見嘉久
概要：戦後の前衛的陶芸を主導したグループ・走
泥社の中心的メンバーとして活躍した陶芸
家熊倉順吉の豊富な作風の変遷を辿った。
作品：さざめごと(1955年)、暦日(1965年)、ジャ
ズの城(1977年)、夏の雲(1985年)など172
点

入場者：4,557人(1日平均142人)

講演会：3階映像ホール

・1月6日「熊倉順吉と走泥社」

木村重信(美術評論家)

▽併催 華と陶展

会期：1990年1月3日～1月6日(4日間)
会場：5階展示室
時間：午前10時～午後5時
入場料：無料

主催：京都文化財団
後援：京都府・京都新聞社・NHK京都放送局
花器出品協力：走泥社

入場者：1,322人(1日平均331人)

◇第41回京都工芸美術展

会期：1990年1月25日～2月18日(25日間)
時間：午前10時～午後8時30分
入場料：大人700円 大高生500円 中小生400円
主催：京都府・京都文化財団
担当者：石沢誠司・小森浩一・浅野恵子
概要：工芸の公募展で、染織・陶芸・漆芸・木竹・
金工・人形・諸工芸の入選作品を展示。
作品：奥村博美「象嵌壺」、山形満「拭漆繻文机」、
阿部緑「彩花」など115点
入場者：7,215人(1日平均289人)

③1990年度

◇リッカー美術館所蔵 名作浮世絵の系譜展

－浮世絵300年 師宣から深水まで－

会期：1990年5月17日～6月17日(32日間)
入場料：大人800円 大高生600円 中小生400円
主催：京都府・京都文化財団・毎日新聞社
担当者：大西基子・奥田忠雄・大塚活美
概要：菱川師宣から伊藤深水まで77人の絵師の作
品を通して、浮世絵300年の歴史の流れと、
その伝統美を紹介した。
作品：菱川師宣「若衆と娘」、鈴木春信「手拭掛
婦帆」、喜多川歌麿「橋下男女魚釣」、葛飾
北斎「あやめにきりぎりす」など133点
入場者：9,261人(1日平均289人)

◇イタリア現代彫刻の俊英 ボナノッテの世界

会期：1990年6月30日～7月29日(29日間)
休室：7月18日
入場料：大人800円 大高生600円 中小生400円
特別鑑賞日：6月29日
主催：京都府・京都文化博物館・美術館連絡協議
会・読売テレビ・読売新聞大阪本社
後援：イタリア大使館・イタリア文化会館
協力：アリタリア航空・ヒロ画廊
協賛：花王
担当者：大西基子・大塚活美
概要：イタリアで活躍する彫刻家チェッコ・ボナ
ノッテの彫刻・絵画作品により、ボナノッ
テの創作活動の軌跡を紹介した。
作品：期待(1970年)、綱渡り師たち(1978年)、対

照(1985)、最後の飛翔—期待(1989-90) など90点

入場者：5,701人（1日平均197人）

◇京都府埋蔵文化財調査研究センター10周年記念

京都・古代との出会い

会期：1990年8月8日～9月2日（25日間）

休室：8月15日

入場料：大人700円 大高生500円 中小生400円

主催：(財)京都府埋蔵文化財調査研究センター・京都府教育委員会・京都文化財団

後援：京都府・京都市・京都市教育委員会・京都府市町村教育委員会連合会・京都新聞社・NHK京都・KBS京都

担当者：山下秀樹

概要：本展は(財)京都府埋蔵文化財調査研究センターの設立十周年を記念して企画された。府内の遺跡から出土した資料580件を選び、京都のひと・王と民・文字・都・つくる・戦い・遊び・音・花・うつわ・住まいのテーマで展示した。

作品：芝ヶ原古墳出土鏡・釧・玉類等、広峯15号墳出土景初四年銘鏡、法住寺殿跡出土鍬形・轡、遠所遺跡製鉄遺構模型など580点

入場者：8,050人（1日平均322人）

講演会（同センター第57回研修会）：映像ホール

・8月18日「京都府の発掘10年」

安藤信策（同センター調査第二課長）

「展示品解説」

奥村清一郎（同センター企画係長）

◇京都府・陝西省友好交流事業 陝西省風物写真展

会期：1990年9月20日～9月26日（7日間）

入場料：無料

主催：京都府・中華人民共和国陝西省・京都文化博物館

後援：外務省・文化庁・国際交流基金・中華人民共和国大使館・京都府日本中国友好協会

担当者：塩見嘉久・大西基子

概要：京都府と陝西省の友好交流事業として、中国の精鋭写真家89名が壮大な歴史とロマンに彩られた陝西省を、それぞれのテーマによりとらえた風俗・景観写真を展示した。

作品：王沛「陝北腰鼓」、龍吼「錦秋田園」、陳宝生「浪遇飛舟」、姚秦煌「民間芸人」など180点

入場者：1,452人（1日平均207人）

◇京町家—歴史を未来へ—

会期：1990年9月29日～10月28日（29日間）

休室：10月17日

時間：午前10時～午後7時

入場料：大人700円 大高生500円 中小生400円

主催：京町家展実行委員会・平安建都1200年記念協会・京都文化財団・町家研究会・京都新聞社

後援：京都府・京都市・京都商工会議所・京都経済同友会・西陣織工業組合・京都織物卸商業組合・NHK京都放送局

協賛：オムロン・鹿島建設・京セラ・京都銀行・京都信用金庫・京都中央信用金庫・京都府建設業協会・京都府建設産業団体連合会・サントリー・ダイキン・竹中工務店・戸田建設・伏見信用金庫・村田機械・ワコール

担当者：大塚活美

概要：京町家の歴史、現在、未来を写真・イラスト・絵画などにより展示し、京町家の未来を考える展示とした。

作品：安藤忠雄「まちに住むことの骨格」、高松伸「新しい商空間としての新しい町家」、若林広幸「建都2000年」など101点

入場者：10,196人（1日平均352人）

シンポジウム：京都会館第2ホール

・10月6日「未来の町家・闘論」

◇第15回全日本新人染織展

会期：1990年12月1日～12月10日（10日間）

時間：午前10時～午後6時

入場料：大人600円 大高生500円 中小生400円

主催：日本きもの染織工芸会

共催：京都文化博物館・日本経済新聞社

後援：通商産業省・文化庁・京都府・京都市・NHK京都放送局・日本絹人織織物工業会・全日本きもの振興会

協賛：京都きもの振興会・西陣織工業組合・西陣織物産地問屋協同組合・京都染色協同組合連合会・京都友禅協同組合・日本図案化協会・丹後織物工業組合・加賀染振興協会・京都中央信用金庫

担当者：浅野恵子・谷口知己

概要：公募展の入賞・入選作を展示。

作品：松枝小夜子「織着物 月照心花」、佐藤泰子「訪問着 流・留・流」、山田槇子「訪問着 南の楽園」、根橋秀治「訪問着 摩

天楼V」、青戸秀則「着物 小紋緋着物」
など106点

入場料：3,289人（1日平均329人）

◇現代京都画壇による 源氏物語絵

会期：1991年1月2日～1月20日（18日間）

休室：1月16日

入場料：大人700円 大高生500円 中小生300円

主催：京都文化博物館・日本経済新聞社・京都新聞社

後援：京都府・京都市

協力：松栄堂

担当者：大西基子・田島達也

概要：現代京都日本画壇の54人の作家が、「源氏物語」54帖に因んで描いた作品を展示。

作品：水田慶泉「桐壺」、下村良之助「須磨」、来野あぢさ「乙女」、秋野不矩「浮舟」、大野倣嵩「夢浮橋」など54点
源氏物語手鑑、千鳥蒔絵十種香道具、梨子地夕顔蒔絵香枕など61点

入場者：18,910人（1日平均1,051人）

▽併催 香の文化史展

◇第12回京都美術展

会期：1991年1月26日～2月17日（23日間）

入場料：大人700円 大高生500円 中小生400円

主催：京都府・京都文化博物館

担当者：大西基子・田島達也・浅野恵子

概要：美術部門の公募展で、平面1（日本画）、平面2（洋画、版画等）、立体（彫刻）の入選作品を展示。

作品：近藤昭代「月へ」、浦田和義「Coleoptera 90-N」、田中太郎「サボテン」など88点

入場者：5,683人（1日平均247人）

④1991年度

◇医学史展示一人・愛・技一

会期：1991年4月3日～4月7日（5日間）

会場：5階展示室

入場料：無料

主催：日本医学会

共催：京都文化博物館

担当者：藤本孝一

概要：京都で開催された第23回日本医学会総会に関連して開催。

作品：「医心方」（国宝）など約80点

◇ヨーロッパ巡回展帰朝記念 一竹辻が花展

会期：1991年4月19日～5月12日（24日間）

時間：午前10時～午後7時

入場料：大人700円 大高生500円 中小生400円

主催：京都新聞社

後援：京都府・京都文化博物館・京都市・NHK 京都放送局

担当者：藤本恵子

概要：染織界に独自の世界を作り上げ、和装界に「辻が花ブーム」をまき起こした染織作家久保田一竹の作品を紹介した。

作品：穂（富士山）、御（富士山）、光響など45点

入場者：38,736人（1日1,614人）

◇内海清美・和紙ひとがたによる平家物語展

観●平家

会期：1991年5月18日～6月16日（30日間）

入場料：大人700円 大高生500円 中小生400円

主催：京都文化博物館・京都新聞社

後援：京都府・京都市・NHK 京都放送局・京都商工会議所・日本紙アカデミー

協賛：東急エージェンシー

協力：観●平家企画委員会

担当者：谷口知己

概要：和紙工芸作家の内海清美が制作した和紙人形を、「平家物語」の舞台構成に演出して展示した。

作品：琵琶法師、清盛と平家一門の栄華、奈良炎上、一の谷・屋島・壇の浦、大原御幸など12場面、約250点

入場者：19,921人（1日平均664人）

◇第9回上野の森美術館大賞展・関西展

会期：1991年6月22日～6月30日（9日間）

入場料：大人600円 大高生500円 中小生400円

主催：京都文化博物館・日本美術協会 上野の森美術館・フジサンケイグループ

後援：文化庁・京都府・関西テレビ放送

協賛：日本アイ・ビー・エム

担当者：大西基子

概要：上野の森美術館大賞展の公募作品の入選作品等を展示。

作品：佐藤孝義「幽寂」、城ヶ崎悟「手を振る女」、福西三千春「忘れられた問題」、西岡民雄「或る日常」など129点

入場者：3,296人（1日平均366人）

講演会：別館講義室

・6月22日「京都と近代美術」

乾 由明（京都大学名誉教授）
「今日の絵画について」日野耕之祐
（上野の森美術館大賞展審査委員）

◇南ロシア騎馬民族の遺宝展

ーヘレニズム文明との出会いー

会 期：1991年7月10日～8月18日（40日間）
入場料：大人900円 大高生600円 中小生400円
特別鑑賞日：7月9日
主 催：京都文化博物館・朝日新聞社
後 援：外務省・ソ連大使館・国際交流基金・日本
ユネスコ協会連盟

特別協賛：オリエントコーポレーション

協 賛：日本中央競馬会

担当者：南 博史

概 要：ユーラシア大陸ステップ地帯の東西に位置
する草原の道は騎馬民族が活躍した世界で
ある。南ロシアの遺跡から出土した金製品・
銅製品など、ヘレニズム文明と出会った彼
らが遺した遺物を紹介した。

作 品：金製飾り刀鞘、冠、銅製馬具飾り、石像、
コインなど220点

入場者：31,224人（1日平均781人）

講演会：映像ホール

- ・7月10日「サルマタイの工芸とその周辺」
加藤九祚（創価大学教授）
- ・8月3日「騎馬民族の墓と文化」
山本忠尚（奈良国立文化財研究所遺構調査室長）

◇贈答の美 袱紗展

会 期：1991年8月24日～9月8日（16日間）
入場料：大人700円 大高生500円 中小生400円
主 催：京都府・京都文化博物館・読売新聞大阪本
社・読売テレビ・美術館連絡協議会

協 賛：花王

特別協力：乃村工芸社

協 力：宮井株式会社

担当者：藤本恵子

概 要：贈答の場において使用される掛袱紗の、江
戸中期から昭和に至る作品を通して、そこ
に表現された日本人の美意識を辿った。

作 品：呉呂地布袋に唐子遊図刺繍袱紗、縹子地狸々
模様刺繍袱紗、綴錦地諫鼓に鶏模様袱紗な
ど69点

特別出品：「奈良・興福院の袱紗」など10点

入場者：8,741人（1日平均546人）

講演会：別館講義室

・8月29日「吉祥の思想」

切畑 健（大手前女子大学教授）

◇イギリス現代彫刻・生命感の形象

チャドウィックの彫刻

会 期：1991年9月13日～10月2日（19日間）
休 室：9月18日
入場料：大人800円 大高生600円 中小生400円
主 催：京都府・京都文化博物館・産経新聞社・チャ
ドウィックの彫刻展実行委員会
後 援：英国大使館、ブリティッシュ・カウンシル、
NHK京都放送局

協 力：ギャラリー・ユニバース、CCAギャラリー
ズ

協 賛：安田火災海上保険

担当者：長舟洋司・大西基子

概 要：イギリスの戦後の彫刻界を代表するリン・
チャドウィックの全貌を紹介する展示で、
彫刻、ドローイング、版画などを展覧した。

作 品：ストレンジャー（1954年）、三人の衛士（1969
年）、外套の人（1978年）、座る動物（1990年）
など100点

入場者：3,926人（1日平均207人）

◇アジア・太平洋工芸展

会 期：1991年11月23日～12月1日（9日間）
入場料：大人800円 大高生500円 中小生400円
主 催：第15回WCCアジア総会&アジア・太平洋
工芸会議'91京都開催委員会、京都国際工
芸センター

共 催：京都府・京都市・京都商工会議所・伝統的
工芸品産業振興協会・日本工芸協議会・京
都文化博物館

後 援：通商産業省・外務省・文化庁・日本商工
議所・国際交流基金・日本自転車振興会

担当者：谷口知己

概 要：「アジア・太平洋工芸会議'91京都」の一
環として、アジア・太平洋地域の生活の中
で育まれてきた工芸品を展示した。

作 品：ティーポット（オーストラリア）、箱（ネ
パール）、トレイ（スリランカ）、ブローチ
（マレーシア）など262点

入場者：3,614人（1日平均402人）

◇第42回京都工芸美術展

京都工芸ビエンナーレ1992

会 期：1992年1月17日～2月9日（24日間）
入場料：大人700円 大高生500円 中小生400円

主催：京都府・京都文化博物館
 担当者：谷口知己・藤本恵子
 概要：工芸の公募展で、染織・陶芸・漆芸・木竹・
 金工・人形・諸工芸の入選作品を展示。
 作品：山中晴夫「都会の華」、本田昌史「fetish-
 OHH」、春名淳一「芳生」など102点
 入場者：6,715人（1日平均280人）
 審査：1991年11月3日
 表彰式：1992年1月17日

◇ゴーギャンとブルターニュの画家たち

会期：1992年2月14日～3月8日（23日間）
 休室：2月19日
 入場料：大人1,000円 大高生700円 中小生500円
 特別鑑賞日：2月13日
 主催：京都文化博物館・京都新聞社
 後援：外務省・文化庁・フランス大使館・京都府・
 京都市・京都府教育委員会・京都市教育委
 員会・NHK京都放送局
 協賛：AIR FRANCE
 担当者：長舟洋司・大西基子
 概要：ゴーギャンを中心とするボン・タヴェン派
 の画家をはじめ、ブルターニュを描いた画
 家たちの作品を展示した。
 作品：ゴーギャン「ドラクロワのエスキースのあ
 る静物」、モネ「雨のベリール島」、マティ
 ス「ベリール島」など85点
 入場者：26,895人（1日平均1,169人）

◇第3回国際テキスタイルコンペティションー京都ー

会期：1992年3月14日～3月29日（15日間）
 休室：3月18日
 入場料：大人800円 大高生600円 中小生400円
 主催：国際テキスタイルフェア開催委員会
 共催：京都府・京都市・京都商工会議所・京都織
 物卸商業組合・西陣織工業組合・京都染色
 協同組合連合会・京都絞工業協同組合・西
 陣織物産地間屋協同組合・京染卸商業組合・
 丹後織物工業組合・京都デザイン関連団体
 協議会・京都プリント振興協会・京都文化
 博物館など
 後援：通商産業省・中小企業庁・外務省・文化庁・
 日本商工会議所ほか
 担当者：藤本恵子
 概要：テキスタイルの国際的な公募展。世界36か
 国、1049点の応募から選ばれた、これから
 の染織の可能性を示唆する作品を展示。

作品：本田昌史「fetish-OHD」、HEIJNEN Si-
 byl「The two sides of the same coin 1」、
 車李南「Flowing」、栗辻博「社=SOU」
 「華=HANA」、HENRIKSEN Ane「SET
 GOING」など98点
 入場者：7,042人（1日平均469人）

⑤1992年度

◇絵筆のゆくえーインテリアの道 澤部清五郎

会期：1992年4月10日～5月5日（25日間）
 休室：4月15日
 入場料：大人800円 大高生600円 中小生400円
 主催：京都府・京都文化博物館・読売新聞大阪本
 社・読売テレビ・美術館連絡協議会・川島
 織物文化館
 協賛：花王
 担当者：藤本恵子・長舟洋司
 概要：日本画家、洋画家、装飾織物デザイナー、
 原画制作者として多くの仕事に携わった京
 都出身の澤部清五郎の作品を紹介した。
 作品：絵をかく少女(1912年)、石楠花(1956年)、
 春郊鷹狩・秋庭観楓（綴錦壁掛）(1923～
 1924年)など167点
 入場者：6,784人（1日平均271人）

◇第10回上野の森美術館大賞展・関西展

会期：1992年6月19日～6月28日（10日間）
 入場料：大人600円 大高生500円 中小生400円
 主催：京都文化博物館・日本美術協会上野の森美
 術館・フジサンケイグループ
 後援：文化庁・京都府・関西テレビ放送
 協賛：日本アイ・ビー・エム
 担当者：塩見嘉久・谷口知己
 概要：上野の森美術館大賞展の入選作の展示。
 作品：戸田みどり「群像 I」、西尾征一郎「こと
 ばのないものたち(1)」、坂本泰漣「Untitled」、
 加藤泰「三人 I」など125点
 入場者：3,313人（1日平均331人）
 講演会：別館講議室
 ・6月19日「コンクール展で感ずること」
 富山秀男（京都国立近代美術館長）
 「上野の森美術館大賞展10年の成果
 と意義」日野耕之祐（日展評議員）

◇ほとけ・さむらい・むら

ー京都府指定・登録文化財が語る京都の文化展ー
 会期：1992年7月11日～8月16日（36日間）

休 室：7月15日

入場料：大人800円 大高生500円 中小生400円

主 催：京都府「ほとけ・さむらい・むら」展開催委員会・京都府教育委員会・京都文化博物館

後 援：京都府・京都市・京都府市町村教育委員会連合会・京都府文化財保護基金・平安建都1200年記念協会・NHK京都放送局・KBS京都・エフエム京都・朝日新聞社・京都新聞社・産経新聞社・日本経済新聞社・毎日新聞社・読売新聞社

監 修：京都府文化財保護審議会

担当者：藤本孝一

概 要：京都府文化財保護条例制定10周年を記念して、京都府指定文化財及び登録文化財を5部に分けて構成し、文化財を通して豊かな京都の歴史と文化に親しんでもらおうとした展覧会。

作 品：湯舟坂2号墳出土金銅装環頭太刀、浄瑠璃寺流記、安国寺文書（以上、重文）、木像善導大師立像、絹本著色松井与八郎像、紙本墨画方士求不死薬図、京都盲啞院関係資料など115点

入場者：10,039人（1日平均279人）

講演会：3階映像ホール

- ・7月18日「金銅装具の源流を追う」
樋口隆康（泉屋博古館館長）
- ・7月25日「むらのまつりと芸能」
上田正昭（大阪女子大学学長）
- ・8月1日「丹後の麻呂子親王伝説絵」
中野玄三（嵯峨美術短期大学学長）

◇日本の抽象絵画 1910-1945

会 期：1992年8月22日～9月13日（23日間）

入場料：大人800円 大高生600円 中小生400円

主 催：京都府・京都文化博物館・読売新聞大阪本社・読売テレビ・美術館連絡協議会

協 力：「日本の抽象絵画 1910-1945」研究部会

協 賛：花王

担当者：長舟洋司・大西基子

概 要：今世紀初頭のヨーロッパで誕生し、時を経ずして日本でも始まった抽象絵画の調査を基に、戦前期の日本の抽象絵画の全貌を紹介した展覧会。

作 品：矢部友衛「裸婦」(1925年)、小牧源太郎「多義図形」(1940年)、村井正誠「URBAIN No.1」(1936年)など180点

入場者：3,740人（1日平均163人）

◇スキタイ黄金美術展

ーウクライナ歴史宝物博物館秘蔵ー

会 期：1992年9月22日～10月25日（33日間）

休 室：10月21日

入場料：大人1,000円 大高生700円 中小生400円

特別鑑賞日：9月21日

主 催：京都文化博物館・ウクライナ国立歴史博物館・ウクライナ歴史宝物博物館・NHK京都放送局・NHKきんきメディアプラン

後 援：外務省・文化庁・京都府・京都市・京都府教育委員会・京都市教育委員会

協 力：日本航空、ムジカ・アーツインタナショナル

担当者：定森秀夫

概 要：遊牧騎馬民族スキタイが残した金銀細工の遺宝などを、ウクライナ歴史宝物博物館秘蔵品を中心に、最近の研究成果も加えて概観した。多くは日本初公開のものであった。

作 品：帯飾板、腕輪、首飾り、指輪、馬具の装飾品、武器、生活用具など約300点

入場者：67,143人（1日平均2,035人）

◇旅順博物館所蔵品展ー幻の西域コレクションー

会 期：1992年12月12日～1993年1月10日（24日間）

休 室：12月16日、12月28日～1月1日

入場料：大人1,000円 大高生800円 中小生500円

主 催：旅順博物館展実行委員会・京都文化博物館・京都新聞社

後 援：外務省・文化庁・中国大使館・浄土真宗本願寺派・京都府・京都市・舞鶴市・京都府教育委員会・京都市教育委員会・NHK京都放送局・KBS京都・京都華僑総会

協 賛：長谷工コーポレーション

担当者：鈴木忠司

概 要：旅順博物館が所蔵する考古・美術品、新疆ウイグル自治区出土大谷探検隊将来品の展示。

作 品：泥塑彩色女人騎馬俑、毛氏墓誌、孔目司帖、菩薩像、明清代絵画、陶磁器など114点

入場者：26,013人（1日平均1,084人）

◇第13回京都美術展 アートビエンナーレ京都'93

会 期：1993年1月16日～2月7日（22日間）

休 室：1月20日

入場料：大人700円 大高生500円 中小生400円

主 催：京都府・京都文化博物館

担当者：大西基子・田島達也

概要：美術部門の公募展で、平面1（日本画）、平面2（洋画・版画等）、立体（彫刻）の入選作品を展示。

作品：藤岡雅人「彷徨」、原田一「ラインシリーズより 空間-広がりを持つ線」、柴田純生「三間四柱」など86点

入場者：3,713人（1日平均169人）

審査：1992年11月12日、13日

表彰式：1993年1月19日

◇小林天眠文庫展 与謝野晶子・鉄幹と浪漫派の人々
知られざる近代日本文学小史

会期：1993年2月13日～3月7日（22日間）

休室：2月17日

入場料：大人800円 大高生500円 中小生400円

主催：京都府・京都文化財団・京都新聞社

担当者：塩見嘉久・谷口知己

概要：実業家小林天眠が大正～昭和初期に得た文学・芸術関係の資料「天眠文庫」から、その中心となる与謝野晶子・鉄幹の作品・手紙などを展示した。

作品：「晶子和歌（柿の葉）」、晶子筆油絵「リュクサンブール公園」、晶子・鉄幹歌帖「山光水色」、「和歌散らし屏風」など462点

入場者：8,613人（1日平均392人）

列品解説：4階会場

- ・2月27日、2月28日、3月6日、3月7日
黒川直則（京都府立総合資料館歴史資料課長）

ミニコンサート：別館ホール

- ・2月14日「浪漫派歌人と与謝野晶子その叙情歌を奏でる」阿武野逢世（音楽家）

講演会：別館講義室

- ・2月20日「『よしあし草』と小林天眠」
宮本正章（宇部短期大学助教授）
- ・2月21日「源氏物語の表現」
中井和子（京都府立大学女子短期大学部名誉教授）

◎1993年度

◇ロシアの秘宝 ユーラシアの輝き

会期：1993年6月7日～7月4日（27日間）

休室：6月16日

入場料：大人1,000円 大高生800円 中小生500円

特別鑑賞日：6月6日

主催：京都文化博物館・エルミタージュ美術館・プーシキン美術館・京都新聞社

後援：外務省・文化庁・ロシア連邦文化省・ロシ

ア連邦大使館・スイス大使館・京都府・京都市・京都府教育委員会・京都市教育委員会・NHK京都放送局

協力：日本航空・スイス航空・JR西日本

担当者：鈴木忠司・山下秀樹

概要：主としてエルミタージュ美術館とプーシキン美術館の所蔵品の優品の中から、ギリシャ・スキタイ黄金美術を中心にして、エジプト、ローマ時代の宝物を加えて一堂に展示。ギリシャ・スキタイ黄金美術の海外展としては、稀にみる優品と規模で構成。

作品：スフィンクス飾付腕輪、戦うスキタイ人黄金製櫛、金製壺、金製動物闘争文フィアラ杯、銀製リュトン、騎馬スキタイ人飾付首輪など170点

入場者：33,908人（1日平均1,256人）

◇第11回上野の森美術館大賞展・関西展

会期：1993年7月7日～7月12日（6日間）

会場：5階展示室

入場料：大人600円 大高生500円 中小生400円

主催：京都文化博物館・日本美術協会上野の森美術館・フジサンケイグループ

後援：文化庁・京都府・関西テレビ放送

協賛：日本アイ・ピー・エム

担当者：長舟洋司

概要：上野の森美術館大賞展の入選作品の中から関西出身者のものを中心に展示。

作品：清水正志「生まれいづる処 II」、松崎十朗「夜景」、菅田幸子「犬 1」、黒政幸義「天地玄覽」など111点

入場者：1,843人（1日平均307人）

講演会：別館講義室

- ・7月7日「作者・作品・観者」
木村重信（国立国際美術館長）
「現代の日本絵画—日本画と洋画のはざままで—」
日野耕之祐（本展審査委員・日

展評議員）

◇ポルトガルと南蛮文化展—めざせ、東方の国々—

会期：1993年7月13日～8月31日（48日間）

休室：7月21日、8月18日

入場料：大人1,000円 大高生700円 中小生400円

特別鑑賞日：7月12日

主催：日本ポルトガル友好450周年記念行事実行委員会・NHK京都放送局・NHKきんき

メディアプラン・ポルトガル文化庁・ポルトガル文化庁美術館協会・ポルトガル文化庁国際文化交流部・京都文化博物館

後援：外務省・文化庁・ポルトガル大使館・国際交流基金・ポルトガル大航海時代記念委員会・オリエント財団・京都府・京都市・京都府教育委員会・京都市教育委員会・平安建都1200年記念協会

協賛：NEC・トヨタ自動車・青木建設・サントリー・矢崎総業・全日空・ポルトガル航空

企画制作：NHKプロモーション

担当：長舟洋司・大塚活美

概要：日本とポルトガルの友好450年を記念して、大航海時代のポルトガルが日本に至る道程で各地に育んだ混交文化と日本の南蛮文化とを併せて紹介した。

作品：「リスボンの眺望と聖フランシスコ・ザヴィエルのインドへの出港の図」、「第二代インド副王アフォンソ・デ・アルブケルケの肖像」など203点

入場者：59,948人（1日平均1,249人）

▽併催：南蛮菓子展（1階／協力：虎屋、虎屋文庫）

◇京都文化博物館開館5周年・
産経新聞創刊60周年記念 横山大観展

会期：1993年10月21日～11月21日（30日間）

休室：11月4日、11月17日

会場：4階特別展示室、3階美術工芸展示室（一部）

入場料：大人1,000円 大高生700円 中小生400円

特別鑑賞日：10月21日

主催：京都府・京都文化博物館・産経新聞社・関西テレビ

後援：文化庁・日本美術院・横山大観記念館・平安建都1200年記念協会・大阪新聞・夕刊フジ・サンケイスポーツ・サンケイリビング新聞・ラジオ大阪

担当者：大西基子・大塚活美

概要：日本美術院などを舞台に、恩師岡倉天心が理想とした日本画の創造に生涯を捧げた横山大観の、初期から晩年に至るまでの作品と、京都にゆかりの作品を展示した。

作品：無我(1897年)、屈原(1898年)、作右衛門の家(1916年)、或る日の太平洋(1952年) など101点

入場者：37,996人（1日平均1,267人）

◇ロートレックと日本展

会期：1993年11月30日～12月26日（26日間）

休室：12月15日

入場料：大人1,000円 大高生800円 中小生600円

特別鑑賞日：11月29日

主催：京都文化博物館・毎日放送・京都新聞社

後援：フランス大使館・京都府・京都市・京都府教育委員会・京都市教育委員会

協賛：JR西日本・京阪電鉄

協力：エールフランス・KKBファインアーツ

特別協賛：京都成安学園・成安造形大学・成安造形短期大学

担当者：長舟洋司・大西基子

概要：ロートレック美術館所蔵の油彩・素描・版画と、イクセル美術館所蔵のポスターにより、ロートレックの日本への関心を作品から読み取ろうとした展覧会。

作品：フランソワ・ゴージ(1886-87年)、コーデュ(1893年)、マルセル・ランデル(1895年) など147点

入場者：29,939人（1日平均1,152人）

◇京都工芸ビエンナーレ1994 —

会期：1994年1月14日～2月6日（23日間）

休室：1月19日

入場料：大人700円 大高生500円 中小生400円

主催：京都府・京都文化博物館

担当：谷口知己・藤本恵子

概要：工芸の公募展で、染織・陶芸・漆芸・木竹・金工・人形・諸工芸の入選作品を展示。

作品：藤野靖子「陰陽師」、上田順康「ハジメテノイノリ」、藤本哲夫「WORK 93-II」 など115点

入場者：4,647人（1日平均202人）

審査：1993年11月7日

表彰式：1994年1月14日

◇ヴィクトリア&アルバート美術館展
インド宮廷文化の華—細密画とデザインの世界—

会期：1994年2月19日～4月3日（43日間）

休室：3月16日

入場料：大人1,000円 大高生800円 中小生500円

主催：ヴィクトリア&アルバート美術館・NHK京都放送局・京都文化博物館・NHKきんきメディアプラン

後援：外務省・文化庁・英国大使館、ブリティッシュ・カウンシル、京都府・京都市・京都府教

育委員会・京都市教育委員会・京都新聞社
 協賛：村田製作所・パイオニア・ヤマト運輸
 担当者：大塚活美・長舟洋司
 概要：ロンドンにあるヴィクトリア&アルバート美術館の所蔵するインド美術品の中から、ムガル朝時代を中心とする細密画および工芸品を展示した。
 作品：アクバルナーマの挿絵、ターバン飾り、水パイプの壺、プレスレット、ドレス、玉座、アームレット、揺り籠など153点
 入場者：35,955人（1日平均836人）

⑦1994年度

◇祇園祭大展－山鉾名宝を中心に－

会期：1994年4月12日～5月15日（33日間）
 休室：4月20日
 会場：4階特別展示室、3階美術工芸展示室、別館ホール
 入場料：大人1,200円 大高生800円 中小生400円
 主催：祇園祭山鉾連合会・京都文化博物館・平安建都1200年記念協会・NHK京都放送局・京都新聞社
 後援：文化庁・京都府・京都市・京都府教育委員会・京都市教育委員会・京都府観光連盟・京都市観光協会
 特別協賛：JR西日本
 協賛：日本たばこ産業印刷事業部・長谷工コーポレーション
 協力：さくら銀行・NTT京都中支店・川島織物・龍村美術織物・サントリー・パールトーン
 担当：大塚活美・藤本恵子
 概要：祇園祭の32カ所の山鉾町が所蔵する懸装染織品を中心に、山鉾の軒裏絵、金工、彫刻などの工芸品、祭礼図などにより、祇園祭の全体像を紹介した。
 作品：祇園祭礼図、鯉山見送り（以上重文）、長刀鉾鉾頭、月鉾前掛絨毬、船鉾格天井、茶会のしつらえ。占出山、浄妙山（以上重有文）、綾傘鉾など197点
 入場者：72,214人（1日平均2,188人）

◇小袖屏風展－近世きもの万華鏡－

会期：1994年5月24日～6月19日（25日間）
 休室：6月6日、6月19日
 入場料：大人1,000円 大高生700円 中小生400円
 特別鑑賞日：5月23日

主催：京都府・京都文化博物館・平安建都1200年記念協会・朝日新聞社
 後援：文化庁・京都府産業振興財団
 特別協力：国立歴史民俗博物館
 担当者：藤本恵子・田島達也
 概要：国立歴史民俗博物館の所蔵する野村コレクションの小袖屏風104隻の作品群を展示し、桃山から江戸時代にかけての染織芸術の流れを紹介した。
 作品：白練緯地桔梗椿模様辻が花染小袖屏風、黒繪子地檜扇散し模様絞縫小袖屏風、白繪子地流水菊橋模様絞小袖など225点

講演会：映像ホール

- ・5月28日 「小袖屏風・野村コレクションとその背景」

丸山伸彦（国立歴史民俗博物館助手）

列品解説：4階会場

- ・6月11日 藤本恵子（当館学芸員）

入場者：21,319人（1日平均853人）

◇第12回上野の森美術館大賞展・関西展

会期：1994年7月8日～7月14日（7日間）
 会場：5階展示室
 入場料：大人600円 大高生500円 中小生400円
 主催：京都文化博物館・日本美術協会上野の森美術館・彫刻の森美術館・フジサンケイグループ
 後援：文化庁・京都府・関西テレビ放送
 協賛：日本アイ・ビー・エム
 担当者：長舟洋司
 概要：上野の森美術館大賞展の入選作品の中から関西出身者のものを中心に展示。
 作品：今永清玄「虜1」など113点
 入場者：1,677人（1日平均240人）
 講演会：別館講義室

- ・7月8日 「絵画の寿命」

中原佑介（美術評論家）

「現代の日本絵画－日本画と洋画のはざままで－」

日野耕之祐（本展審査委員・日展評議員）

◇第4回国際テキスタイルコンペティション'94京都

会期：1994年8月11日～8月25日（14日間）
 休室：8月17日
 入場料：大人800円 大高生600円 中小生400円
 主催：国際テキスタイルフェア開催委員会

共 催：京都府・京都市・京都商工会議所・平安建
都1200年記念協会・京都織物卸商業組合・
西陣織工業組合・京都染色協同組合連合会・
京都絞工業協同組合・西陣織物産地間屋協
同組合・京染卸商業組合・丹後織物工業組
合・京都デザイン関連団体協議会・京都プ
リント振興協会・京都文化博物館など

後 援：通商産業省・中小企業庁・外務省・文化庁・
NHK京都放送局・京都新聞社ほか

協 賛：第24回国際園芸学会議

担当者：藤本恵子・谷口知己

概 要：テキスタイルの国際的な公募展。これから
の染織の可能性を示唆する入選作品を展示。

作 品：太田奈緒美「ONE DAY I FOUND」、宮
本圭介「Mother Sea has memories of
ancient times」、小林正和「Sound-Collage
1-93」など78点

入場者：6,097人（1日436人）

◇'94洋画KYOTO展—現代絵画の断面—

会 期：1994年12月7日～12月23日（16日間）

休 室：12月21日

会 場：4階特別展示室、5階展示室

入場料：大人700円 大高生500円 中小生400円

主 催：京都府・洋画KYOTO展実行委員会・京
都文化博物館・京都新聞社

後 援：平安建都1200年記念協会・NHK京都放送
局

協 賛：大丸京都店・高島屋京都店・マルイ美術・
ニューカラー写真印刷

担当者：長舟洋司・大西基子

概 要：近代日本の洋画史上に大きな足跡を残して
きた京都洋画の「今」を提示する意図のも
とに、京都を代表する作家55名の最新の力
作を展示した。

作 品：赤松玉女「セリフを自分にあてはめる」、
麻田浩「漂着・船」、生駒泰充「旅の鞆」、
井澤幸三「Imitation」、伊庭新太郎「エチュー
ド」など119点

入場者：6,835人（1日平均427人）

◇現代・京都の日本画展

会 期：1995年1月2日～1月16日（15日間）

入場料：大人700円 大高生500円 中小生400円

主 催：京都府・京都日本画家協会・京都文化博物
館・京都新聞社

後 援：NHK京都放送局

担当者：大西基子・田島達也

概 要：現代京都画壇を代表する日本画家114人が
世代や会派を越えて最新作を出品し、京都
日本画壇の「今」を表現する展覧会。

作 品：秋野不矩「九曜星」、石川義「原生」、伊藤
はるみ「薔薇」、今井文二「卓上」、岩澤重
夫「静境」、上村松篁「粟」など114点

入場者：10,552人（1日平均703人）

◇現代・京都の工芸展

会 期：1995年1月19日～1月29日（11日間）

入場料：大人700円 大高生500円 中小生400円

主 催：京都府・京都工芸美術作家協会・京都文化
博物館・京都新聞社

後 援：NHK京都放送局

担当者：谷口知己・藤本恵子・洲鎌佐智子

概 要：京都を拠点に活躍する149人の工芸作家が、
世代や会派を越えて最新作を出品し、京都
工芸界の「今」を表現する展覧会。

作 品：三浦景生「れんこんとかりふらわー」、赤
沢露石「交趾線文様組重」、青山俊夫「夜
空に舞う」、植田参稔「鍛銅鑑流香炉」な
ど149点

入場者：5,363人（1日488人）

◇ヴィクトリア&アルバート美術館展

ヨーロッパ染織の美

会 期：1995年2月11日～3月28日（44日間）

休 室：2月15日、3月15日

入場料：大人1,000円 大高生800円 中小生500円
特別鑑賞日：2月10日

主 催：ヴィクトリア&アルバート美術館・京都文
化博物館・NHK京都放送局・京都新聞社・
NHKきんきメディアプラン

後 援：外務省・文化庁・英国大使館、ブリティシュ・
カウンシル、京都府・京都市・京都府教育
委員会・京都市教育委員会

協 賛：村田製作所・パイオニア・ヤマト運輸

特別協賛：ルシアン

担当者：藤本恵子・田島達也

概 要：ヴィクトリア&アルバート美術館の所蔵品
の中からヨーロッパの染織品を展示し、14
世紀から現代までの各時代の染織芸術の粋
を紹介した。

作 品：装飾帯のついたカズラ（15世紀）、女性用
上衣（17世紀）、衣裳用布（18世紀）、室内
装飾用布（19世紀）など176点

入場者：27,712人（1日平均630人）

評議員）

⑧1995年度

◇ティベア物語展ーパリ装飾美術館コレクションー

会期：1995年5月27日～7月2日（36日間）

休室：6月21日

入場料：大人1,000円 大高生800円 中小生500円

特別鑑賞日：5月26日

主催：京都文化博物館・日本経済新聞社

後援：京都府・京都市・京都府教育委員会・京都市教育委員会・京都府観光連盟・京都市観光協会・フランス大使館・テレビ大阪

協力：日本航空・旭硝子

担当者：藤本恵子・洲鎌佐智子

概要：パリ装飾美術館のティベアコレクションを中心に、多彩なクマの玩具を展示するとともに、生活文化の関わり、玩具史上の位置づけなどを示した。

作品：ティベア（シュタイフ社、1903年）、酒のみグマ（ルレ・デカン社、1920年）、モード・ベア（アブソルバ）など約500点

入場者：34,049人（1日平均946人）

◇第13回上野の森美術館大賞展ー関西展

会期：1995年7月14日～7月30日（16日間）

休室：7月19日

入場料：大人700円 大高生500円 中小生400円

主催：京都文化博物館・日本美術協会上野の森美術館・彫刻の森美術館・フジサンケイグループ

後援：文化庁・京都府・関西テレビ放送

協賛：日本アイ・ビー・エム

担当者：田島達也・長舟洋司

概要：上野の森美術館大賞展の入選作品の中から関西出身者のものを中心に展示。

作品：古川勝紀「振り返ればピカソ・Ⅱ」、川野裕一郎「うみとやまの遊戯」、大道厚子「ベンガルの朝」、原秀一「夜の聖堂」、福山敬之「かげろうの道」、福島房江「顔と鳥のかたちー囲」など214点

入場者：3,090人（1日平均193人）

講演会：別館講義室

・7月14日「美術の起源」

木村重信（国立国際美術館館長）

「日本絵画の可能性」

日野耕之祐（本展審査委員・日展

◇ヴィクトリア&アルバート美術館展

イギリス絵画の350年

会期：1995年8月6日～9月24日（48日間）

休室：8月16日、9月20日

入場料：大人1,000円 大高生800円 中小生500円

特別鑑賞日：8月5日

主催：京都文化博物館・ヴィクトリア&アルバート美術館・NHK京都放送局・京都新聞社・NHKきんきメディアプラン

後援：外務省・文化庁・英国大使館・京都府・京都市・京都府教育委員会・京都市教育委員会、ブリティッシュ・カウンシル、平安建都1200年記念協会

協賛：村田製作所・パイオニア・ヤマト運輸

担当者：長舟洋司・大西基子

概要：ヴィクトリア&アルバート美術館の所蔵品の中からイギリス絵画を展示し、16世紀から19世紀にかけてのイギリス絵画の歩みを紹介した。

作品：シモン・ベニンク「時禱書の月曆画の一頁」、ジョン・コンスタンブル「主教館の庭から見たソールズベリー大聖堂」、フレデリック・ウォーカー「秋」など182点

入場者：51,557人（1日平均1,074人）

◇西国三十三所ー観音霊場の信仰と美術ー

会期：1995年11月21日～12月19日（29日間）

入場料：大人1,000円 大高生800円 中小生500円

特別鑑賞日：11月20日

主催：西国三十三所礼所会・京都文化博物館・日本経済新聞社

後援：文化庁・テレビ大阪

担当者：大塚活美

概要：西国三十三所の各寺院に伝わる観音信仰に関わる美術品と、巡礼に関する資料を集めて展観した。

作品：法華説相図、粉河寺縁起（以上、国宝）、木造十一面観音菩薩立像（重文）、清水寺参詣曼荼羅、経典、仏像、絵巻、絵図、巡礼札、版木など98点

入場者：20,278人（1日平均699人）

講演会：別館講義室

・11月25日「観音様と私」

前田孝道（紀三井寺貫主）

・12月9日「西国巡礼と四国遍路」

大塚活美(当館学芸員)

◇'96京都美術工芸展

会期：公募部門 1996年1月5日～1月23日
(18日間)

選抜部門 1995年12月21日
～1996年2月20日(55日間)

休室：12月28日～1996年1月2日/1月17日

会場：4階特別展示室・3階美術工芸展示室

入場料：大人700円 大高生500円 中小生400円

主催：京都府・京都文化博物館

担当者：谷口知己・大西基子

概要：明日の美術工芸界を担う気鋭の作家を京都から発信していく総合的な展覧会。

作品：(公募部門)信ヶ原良和「飄一水声」、西川勝「夜の生産」、山下哲郎「陶板の為のWoodcut<海>」、吉水絹代「緋の時」など65点

(選抜部門)松本祐子「春を夢む」、篠原猛史「GELUID VEN DE WIND/Series 土の音」、柴田純生「四間五柱」、藤本哲夫「WORK'95-IV」、吉川充「器台付器」、栗本夏樹「出エジプト」など42点

入場者：5,069人(1日平均282人)

◇日本出版文化史展 '96京都

一百万塔陀羅尼からマルチメディアへ

会期：1996年2月3日～2月25日(22日間)

休室：2月21日

入場料：大人1,000円 大高生800円 中小生500円

特別鑑賞日：2月2日

主催：日本書籍出版協会・京都文化博物館・朝日新聞社

共催：京都府・京都市

後援：文部省・通商産業省・国立国会図書館・京都府教育委員会・京都市教育委員会・日本放送協会・日本雑誌協会・日本出版取次協会・読書推進運動協議会・日本書店商業組合連合会

協賛：大成建設・凸版印刷

担当者：藤本孝一

概要：奈良時代の「百万塔陀羅尼」から戦後のベストセラーに至るまでを歴史的にたどり、独自の発展を遂げてきた日本の出版文化を概観するとともに、マルチメディア出版の未来への道を探ろうとした展覧会。

作品：類聚古集、類聚歌合(以上、国宝)、宋刊

纂図互註尚書、宮城図、明月記、ドチリナ＝キリシタン、こんてむつすむん地、太平記抜書、駿河版活字(以上、重文)、百万塔陀羅尼、日本書紀、解体新書、都名所図会など

入場者：20,394人(1日平均927人)

実演：4階会場

・2月10日～12日 木版刷(京都木版画工芸組合)

・2月16日～18日・24日・25日 和綴(楸大入)

講演会：別館ホール

・2月4日「医師から作家へ」渡辺淳一(作家)

・2月10日「書誌学と書物の歴史」

林望(作家)

・2月11日「源氏物語と出版文化」

瀬戸内寂聴(作家)

・2月12日「重さ300gの電子紙に1000万冊の本を入れて売る日」

山根一真(作家)

・2月24日「茶の心」

千宗室(茶道裏千家家元)

シンポジウム：別館ホール

・2月3日「本の過去・現在そして未来ー出版のあるべき姿についてー」

朝尾直弘(京都大学名誉教授)、井上章一(国際日本文化研究センター助教授)、小池民男(朝日新聞社論説委員)、長尾真(京都大学教授)、安江良介(岩波書店社長)、山本容子(版画家)

・2月5日「編集者という仕事」

長藪安浩(ダ・ヴィンチ編集長)、早川幸彦(中公新書編集長)、松田哲夫(頓智編集長)、渡辺直樹(PANJA編集長)

映画：3階映像ホール

・2月10日、18日 アニメ「戦争が終わった夏に」

(1990年講談社作品)

・2月11日、17日 アニメ「アンネの日記」

(1995年文芸春秋作品)

ハイビジョン：3階映像ホール

・2月6日～8日、13日「洛中洛外図屏風Ⅰ」

・2月14日、15日、20日、22日

「洛中洛外図屏風Ⅱ」「京都名勝図絵」

◇黄金の都 シカン発掘展

会期：1996年3月6日～4月7日(32日間)

休室：3月21日

入場料：大人1,000円 大高生800円 中小生500円

特別鑑賞日：3月5日

主催：京都文化博物館・毎日放送・京都新聞社
 後援：外務省・文部省・ペルー国政府・在日ペルー大使館・京都府・京都市・京都府教育委員会・京都市教育委員会
 協力：日立物流・東京海上、ヴァリグ・ブラジル航空
 担当者：南 博史
 概要：南米ペルー北部太平洋岸で、南イリノイ大学の島田泉氏が、インカに先立つ時期の貴族の王墓から人骨と多くの金製品などの副葬品を発見した。シカン文明と名づけられたこの至宝を展観した。
 作品：衣裳関係金製品（冠・面・腕足飾・手袋）、副葬品関係（土器・青銅剣・金製品）、貴族墓の復元模型など258点
 入場者：62,516人（1日平均1,954人）
 講演会：別館ホール
 ・3月31日「シカン文化を掘る」
 島田 泉（南イリノイ大学教授）

◎1996年度

◇中国考古十大発掘文物

北方騎馬民族の黄金マスク展
 会期：1996年4月20日～5月26日（36日間）
 休室：5月15日
 入場料：大人1,000円 大高生800円 中小生500円
 主催：京都文化博物館・朝日新聞社・朝日放送・中国国家文物局・内モンゴル自治区文化庁
 後援：外務省・中国大使館・新華通信社・平安建都1200年記念協会
 協力：日本航空・東京海上
 特別協賛：オリエントコーポレーション・大和証券・バンダイ・三菱自動車
 担当者：定森秀夫
 概要：中国考古十大発掘文物である遼陳国公主墓から出土した夫婦の「黄金のマスク」を中心に、その装飾品、生活用品、馬具などを展示し、特異で華麗な騎馬民族文化を紹介した。
 作品：金製仮面、鍍金銀製冠、鍍金鳳凰文銀製靴、銀糸製網衣、鍍金鳳凰文銀製枕、金製ベルト飾りなど約120点
 入場者：39,896人（1日平均1,108人）

◇カーサ・ブオナローティ所蔵 ミケランジェロ展

会期：1996年6月6日～7月21日（45日間）

休室：6月19日
 入場料：大人1,200円 大高生800円 中小生400円
 特別鑑賞日：6月5日
 主催：ミケランジェロ展実行委員会・京都文化博物館・京都新聞社
 後援：外務省・文化庁・イタリア大使館・京都府
 協力：日本航空
 企画：東京富士美術館
 担当者：長舟洋司・大西基子
 概要：フィレンツェにあるカーサ・ブオナローティの所蔵品の中から、ミケランジェロのデッサンや自筆書簡、絵画、彫刻、版画、工芸品などを展示した。
 作品：ブオナローティ家の紋章入り皿、ブオナローティ・ディ・シモーネ所用の剣、ミケランジェロの肖像など56点
 入場者：195,268人（1日平均4,339人）
 講演会：別館ホール
 ・6月15日「ルネサンスの美と人間」
 上平 貢（京都市美術館館長）
 ・6月22日「作〔ピエタ〕像について」
 樞分一弘（学習院大学名誉教授）

◇中国・南越王の至宝一前漢時代 広州の王朝文化一

会期：1996年8月3日～9月23日（50日間）
 休室：8月21日、9月18日
 入場料：大人1,000円 大高生800円 中小生500円
 特別鑑賞日：8月2日
 主催：京都文化博物館・毎日新聞社・毎日放送
 後援：外務省・中国大使館・広州市人民政府・京都府・京都市・平安建都1200年記念協会
 特別協賛：N T T・大塚製薬・報道出版
 協賛：コマツ・信陽テクニカ・竹中工務店・東日印刷・安田火災海上保険・おきなわクリーンセンター
 特別協力：西漢南越王墓博物館・日中友好協会
 協力：日本航空・日本通運・毎日書道会
 担当者：片岡 肇
 概要：1983年に中国広州市で発見された前漢時代の南越国第二代王・趙昧の石室墓から出土した一千余点の中から、選りすぐった146点の文物を、世界にさきがけて公開した展覧会。
 作品：「文帝行璽」金印、絲縷玉衣、右夫人佩玉、八節鉄芯玉帶鉤、青銅句鑊、玉象嵌銅有蓋杯、「蕃禺」銅鼎、船紋銅桶形器、鍍金銅壺、

四連体銅香炉、屏風銅蟠竜台座、「長楽宮器」陶甕など83点

入場者：32,044人（1日平均641人）

◇第14回上野の森美術館大賞展・関西展

会期：1996年8月9日～8月15日（7日間）

会場：5階展示室

入場料：大人700円 大高生500円 中小生400円

主催：京都文化博物館・日本美術協会上野の森美術館・彫刻の森美術館・産経新聞社・フジサンケイグループ

後援：文化庁・京都府・関西テレビ放送

協賛：日本アイ・ビー・エム

担当者：長舟洋司・大西基子

概要：上野の森美術館大賞展の入選作品の中から関西出身者のものを中心に展示。

作品：増田直人「おおきな時間C-1」、井手康人「神々の泉で」、黒政幸義「玄（Ⅲ）」、小川修弘「人体」、伊藤阿二子「きつねになる夜1」、田中玉紀「ある風景Ⅰ」、など120点

入場者：1,344人（1日平均192人）

講演会：別館講義室

・8月9日「美術記者の眼」

前田昌宏（産経新聞社）

「現代絵画のはざま」

日野耕之祐（本展審査委員）

◇'97京都美術工芸展

会期：公募部門 1997年1月4日～1月23日

（19日間）

選抜部門 1996年12月19日

～1997年2月18日（55日間）

休室：12月28日～1997年1月2日／1月15日

会場：4階特別展示室・3階美術工芸展示室

入場料：大人700円 大高生500円 中小生400円

主催：京都府・京都文化博物館

担当者：谷口知己・大西基子

概要：明日の美術工芸界を担う気鋭の作家を京都から発信していく総合的な展覧会。

作品：（公募部門）山中章寛「森羅万象-絆-」、井上博和「隔たるもの」、津村健一「名前のない記憶」、野村晶子「白の瞬間」など109点

（選抜部門）西久松吉雄「風景」、小枝繁昭「家族の肖像#1」、信ヶ原良和「隙-煌々Ⅰ」、内藤英治「山塊」、藤野さち子

「うねり」、山田豊子「乾漆 Bright ship」など62点

入場者：5,136人（1日平均270人）

◇日本のわざと美展

—重要無形文化財とそれを支える人々—

会期：1997年2月1日～3月2日（29日間）

休室：2月19日

入場料：大人1,000円 大高生700円 中小生400円

特別鑑賞日：1月31日

主催：文化庁・京都府教育委員会・京都文化博物館・京都新聞社

後援：京都府・NHK京都放送局

担当者：石沢誠司・谷口知己・古郷彰治・洲鎌佐智子

概要：111人の重要無形文化財保持者と、選定保存技術をもつ13の保持団体の作品を一堂に展示するとともに、実演や記録映画等により、その「わざ」を紹介した。

作品：重要無形文化財・保持団体関係164点。富本憲吉「色絵金銀彩師壺」、喜多川平朗「紅地鳥蝶唐花文錦」など。選定保存技術関係22件

入場者：13,047人（1日平均450人）

シンポジウム：3階映像ホール

・2月15日「無形文化財の保存と伝承—染織を中心に—」

工芸技術記録映画

「有職織物—喜多川平朗のわざ—」

パネリスト

北村武資（重要無形文化財「羅」保持者・染織作家）、切畑 健（文化財保護審議会専門委員）、森口邦彦（日本工芸会常任理事・染色作家）

実演：4階会場 伊勢型紙技術保存会

・2月15日 中島嗣雄（突彫り）

六谷博臣（錐彫り）

・2月16日 黒野睦雄（道具彫り）

佐々木正明（縞彫り）

記録映画上映：3階映像ホール

・2月9日「友禅—森口華弘のわざ—」

「蒔絵—松田権六のわざ—」

「彫漆—音丸耕堂のわざ—」

・2月22日「柿右衛門—にごして—」

「竹工芸—飯塚小汗齋のわざ—」

「木工芸—大野昭和齋の指物のわざ—」

◇第5回国際テキスタイルコンペティション'97

—京都— 染織の感性—21世紀へのメッセージ—

会期：1997年3月13日～3月25日（12日間）

休室：3月19日

入場料：大人800円 大高生600円 中小生400円

主催：国際テキスタイルフェア（ITF）開催委員会

共催：京都府・京都市・京都商工会議所・京都織物卸商業組合・西陣織工業組合・京都染色協同組合連合会・西陣織物産地問屋協同組合・京染卸商業組合・丹後織物工業組合・京都デザイン関連団体協議会・京都プリント振興協会・京都文化博物館・平安建都1200年記念協会など

後援：通商産業省・中小企業庁・外務省・文化庁・京都新聞社・NHK京都放送局ほか

協賛：日本万国博覧会記念協会

担当者：古郷彰治・谷口知己

概要：テキスタイルの国際的な公募展。これからの染織の可能性を示唆する斬新な技法やデザインの作品を展示。

作品：山口英夫「腕（UDE）」、PEDAK Erika「GREEN」、JONIKIENE Lina「PRIESTS CROTH-CHASUBLE」など84点

入場者：3,652人（1日平均304人）

⑩1997年度

◇土門拳の日本

会期：1997年5月13日～6月22日（39日間）

休室：5月21日、6月18日

入場料：大人800円 大高生600円 中小生400円

主催：京都文化博物館・読売新聞大阪本社・読売テレビ

後援：文化庁・京都府・京都府教育委員会・京都市・京都市教育委員会・京都府観光連盟・京都市観光協会・平安建都1200年記念協会・歴史街道推進協議会

協力：財団法人土門拳記念館

監修：土門たみ・亀倉雄策・桑原甲子雄

協賛：小学館

担当者：大塚活美

概要：写真家土門拳のドキュメント作品と古寺巡礼の作品を展示。

作品：七五三、予科練、江東のこども、ヒロシマ、筑豊のこどもたち、神護寺金堂薬師如来立

像など356点

対談：3階映像ホール

・6月8日「土門拳の世界」

西川 孟(写真家)、重森執氏(本展プロデューサー)

入場者：18,404人（1日平均472人）

▽併催「古寺巡礼」傑作展

◇知られざるインド更紗

—南海の島々インドネシアにおける発見—

会期：1997年7月1日～7月27日（26日間）

休室：7月16日

入場料：大人1,000円 大高生700円 中小生400円

特別鑑賞日：6月30日

主催：京都文化博物館・朝日新聞社

後援：京都府・京都府教育委員会・京都市教育委員会・京都府観光連盟・京都市観光協会・平安建都1200年記念協会・歴史街道推進協議会・NHK京都放送局・KBS京都・エフエム京都

協力：岡田コレクション・今昔西村コレクション・織田有コレクション・国立民族学博物館

担当者：古郷彰治・洲鎌佐智子

概要：インドネシアの島々で発見されたインド更紗を展示し、裁断されていない本来のインド更紗の多彩なデザインを紹介した。

作品：儀礼用布（スマトラ島ランブン）、儀礼用上衣（スマトラ島パレンバン）、儀礼用壁飾り（インド・コロマンデル海岸）など77点

ギャラリートーク

・7月5日、7月19日

内海涼子（成安造形短期大学助教授）

入場者：10,608人（1日平均408人）

◇第15回上野の森美術館大賞展・関西展

会期：1997年7月9日～7月15日（7日間）

会場：5階展示室

入場料：大人700円 大高生500円 中小生400円

主催：京都文化博物館・日本美術協会上野の森美術館・彫刻の森美術館・フジサンケイグループ

後援：文化庁

協賛：日本アイ・ビー・エム

担当者：野口 剛・大西基子

概要：上野の森美術館大賞展の入選作品の中から関西出身者のものを中心に展示。

作品：丸山敏子「泥ひかる（代掻きの田）」、ゴージュマタブ「形から姿へー変成ー」、里村

嘉多朗「波動するカルマ(1)」、近藤千夏「温泉」、新津弓彦「Life I」、矢嶋渉「ピアニストのいる部屋」など74点

入場者：1,601人(229人)

◇アメリカ・カナダ帰朝記念

久保田一竹・自然への賞賛展

会期：1997年8月7日～9月15日(39日間)

休室：8月20日

入場料：大人1,000円 大高生700円 小中生400円

特別鑑賞日：8月6日

主催：京都新聞社

後援：京都府・京都文化博物館・京都市・KBS 京都

担当者：古郷彰治・谷口知己

概要：染織家・久保田一竹の作品を展覧した。

作品：菟(富士山)、恩(富士山)、俺(富士山)、縊(富士山)など40点

入場者：39,484人(1日平均1,012人)

◇アールブリュット「生の芸術」—その発見と未来—

会期：1997年9月24日～10月26日(32日)

休室：10月15日

入場料：大人900円 大高生700円 小中生400円

特別鑑賞日：9月23日

主催：生の芸術展実行委員会(京都文化博物館・NHK京都放送局・京都新聞社・京都新聞社会福祉事業団)

共催：京都府・滋賀県

後援：スイス大使館・京都府教育委員会・滋賀県教育委員会・京都商工会議所・平安建都1200年記念協会

協賛：資生堂・トヨタ自動車・松下電器・日本航空・NTT京都支店・オムロン・全労済京都府本部・ワコール

協力：真宗大谷派(東本願寺)・東京海上

助成：東洋信託文化財団・ヤマト福祉財団・野村国際文化財団・京都堀川ライオンズクラブ・京都ときわライオンズクラブ

企画協力：アール・ブリュット美術館(スイス)

担当者：長舟洋司・谷口知己

概要：京都府・滋賀県の知的障害者施設で生まれた美術作品と、スイスにあるアール・ブリュット美術館等の海外作家の作品を展示した。

作品：アドルフ・ヴェルフリ「オーストラリアの牧場主のバラ 話す器官」、小笹逸男「猫」、吉田修三「無題」など136点

入場者：20,779人(1日平均649人)

◇'98京都美術工芸展

会期：公募部門 1997年12月23日～1月18日

(20日間)

選抜部門 1997年12月18日

～1998年2月17日(49日間)

休室：12月28日～1998年1月3日/1月19日

会場：4階特別展示室・3階美術工芸展示室

入場料：大人700円 大高生500円 小中生400円

主催：京都府・京都文化博物館

担当者：谷口知己・大西基子・洲鎌佐智子・長舟洋司・古郷彰治

概要：明日の美術工芸界を担う気鋭の作家を京都から発信していく総合的な展覧会。

作品：(公募部門)中川周士「時のベクトル—個と全と—」、堀紀幸「器」、柳原六郎「響」、井上博和「ナイーブ」など105点

(選抜部門)森田りえ子「秋蒼穹」、八幡はるみ「水のトンネル」、吉野央子「Cow House」、小林祥晃「風来」、加藤和宏「流葉器」、扇千花「光のかけら—茶室」など43点

入場者：4,560人(1日平均228人)

◇近代日本美術史の形成

—河北倫明が探求した芸術の世界—

会期：1998年1月27日～2月22日(26日間)

休室：2月18日

入場料：大人1,000円 大高生700円 小中生400円

主催：京都文化博物館・京都新聞社

後援：京都府教育委員会・NHK京都放送局・久留米市・浮羽町

担当者：大西基子・野口剛

概要：日本の美術界に大きな功績を残した美術評論家・河北倫明氏の三回忌にちなんで、近代日本美術の潮流を辿る作家の作品により、近代日本美術史の形成過程を紹介した。

作品：狩野芳崖「懸崖山水図」、竹内栖鳳「絵になる最初」、黒田清輝「赤き衣を着たる女」、藤島武二「東海旭光」、青木繁「自我像」、竹久夢二「初恋」など80点

入場者：11,214人(1日平均431人)

◇パリ国立オペラ座オペラ・バレエ衣裳名作展

会期：1998年3月5日～4月5日(31日間)

休室：3月18日

入場料：大人1,000円 大高生700円 小中生400円

主催：京都文化博物館・京都新聞社・パリ国立オペラ座

特別協力：フランス国立図書館オペラ座美術資料館

後援：フランス大使館・京都府・京都市・NHK
京都放送局・KBS京都・平安建都1200年
記念協会

協力：エールフランス国営航空会社

企画協力：ツルモトルーム

担当者：古郷彰治・洲鎌佐智子

概要：パリにあるオペラ座の舞台を華麗に彩った
衣裳に焦点をあて、オペラ衣裳、バレエ衣
裳、衣裳デザイン画などを展示した。

作品：「マントヴァ公爵の衣裳」(リゴレット)、
「従僕の衣裳」(風変わりな店)、「女王の衣
裳」(白鳥の湖)など112点

入場者：24,237人(1日平均782人)

①1998年度

◇豊太閤没後400年記念

秀吉と京都—豊国神社社宝展

会期：1998年5月28日～6月28日(31日間)

休室：6月17日

入場料：大人1,000円 大高生700円 中小生400円

特別鑑賞日：5月27日

主催：豊太閤四百年祭奉賛会豊国会・豊国神社・
京都文化博物館・読売新聞大阪本社・読売
テレビ

後援：京都府・京都市・京都府教育委員会・京都
市教育委員会・京都商工会議所・京都府観
光連盟・京都市観光協会・平安建都1200年
記念協会・歴史街道推進協議会・エフエム
京都

特別協力：妙法院門跡

担当者：片岡 肇

概要：豊臣秀吉の没後400年を記念して、豊国神
社に収蔵されている文化財・社宝を展示し、
秀吉と京都の関係を探る展示とした。

作品：ポルトガル国インド副王信書(国宝)、鉄
燈籠、桐鳳凰文蒔絵唐櫃(以上、重文)、
豊臣秀吉画像、京都総曲輪御土居絵図、聚
楽第行幸図屏風など82点

入場者：12,866人(1日平均415人)

◇一乗谷朝倉氏遺跡発掘調査開始30周年・一乗谷朝倉 氏遺跡特別史跡指定25周年記念巡回展 越前朝倉氏・ 一乗谷—眠りからさめた戦国の城下町—

会期：1998年7月10日～8月11日(33日間)

入場料：大人1,000円 大高生800円 中小生500円

主催：福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館・京都文
化博物館・朝日新聞社

後援：文化庁・京都府・京都市・福井市・NHK
京都放送局

担当者：植山 茂

概要：戦国時代の城下町である福井県一乗谷朝倉
氏遺跡の調査成果を、出土品150万点の中
から厳選し、当時の首都である京都で展示
した。

作品：考古資料約350点、朝倉義景画像(重文)、
朝倉義景免許状など

入場者：11,512人(1日平均349人)

講演会：別館講義室

・7月12日「戦国城下町の生活と文化」

脇田晴子(滋賀県立大学教授)

朝倉将棋大会：別館ホール

・7月19日「指してみよう朝倉象棋」

◇源氏おんな物語展

—愛に生き、自分を探し続けた女たち—

会期：1998年8月21日～9月20日(27日間)

休室：8月26日、9月2日、9日、16日

入場料：大人1,000円 大高生700円 中小生400円

特別鑑賞日：8月20日

主催：京都文化博物館・日本経済新聞社

後援：京都府・京都市・京都府教育委員会・京都
市教育委員会・京都商工会議所・京都府観
光連盟・京都市観光協会・平安建都1200年
記念協会・歴史街道推進協議会・NHK京
都放送局・テレビ大阪・エフエム京都

協賛：凸版印刷

担当者：藤本孝一・片岡 肇・大塚活美

概要：源氏物語に登場する女性に注目しつつ、そ
れを主題とする絵画、工芸、書などを幅広
く展示し、源氏物語の受容史、源氏絵の魅
力などを展覧した。

作品：源氏物語奥入、紫式部日記絵詞(以上国宝)、
石山寺縁起絵巻(重文)ほか、源氏物語に
関する絵画、工芸、書など73件。

入場者：26,743人(1日平均990人)

コンサート：京都山一ホール

・8月29日「源氏おんな物語幻想曲」

講演会：シルクホール

・9月11日「源氏物語のおんなたち」瀬戸内寂聴

(3)特別陳列

①1988年度

◇京都府新収品展

会場：5階小展示室

会期：1988年10月1日～10月30日（30日間）

概要：京都府が近年に収集した美術品・工芸の内、名品5点を展示。

◇民具にみる京郊村落の暮らし

—上賀茂・下鴨・松ヶ崎—

会場：4階特別展示室東南

会期：1989年3月1日～3月22日（21日間）

概要：京都近郊の上賀茂・下鴨・松ヶ崎の民具66点を展示。

◇雛人形展

会場：4階特別展示室南半

会期：1989年3月1日～3月22日（21日間）

概要：京雛を時代を追って陳列するとともに、日本各地の郷土雛を含む多様な雛人形66点を展示。

②1989年度

◇年号のある民具

会場：4階特別展示室南半

会期：1990年2月24日～3月18日（23日間）

概要：管理資料の中から年号の記入のある民具106点を展示。

◇雛人形展

会場：4階特別展示室北半

会期：1990年2月24日～3月18日（23日間）

概要：雛人形の歴史を追って立雛など74点を展示。

③1990年度

◇アジアの郷土玩具展

会場：4階特別展示室南半

会期：1991年2月23日～3月17日（23日間）

概要：船コレクションの中からアジアの郷土玩具1039点を展示。

◇雛人形展—雛祭りと子供の晴れ着—

会場：4階特別展示室北半

会期：1991年2月23日～3月17日（23日間）

概要：雛人形と子供の晴れ着、併せて65点を展示。

◇新収蔵品展

会場：4階特別展示室

会期：1991年3月23日～4月14日（23日間）

概要：京都府で1986年度から1990年度に収集した作品の内、藤沢赤心「寿山福海」など120点を紹介した展示。

④1991年度

◇民具にみる私達の暮らし—京都府北部～南部—

会場：別館1階東室

会期：1992年3月1日～3月28日（27日間）

概要：京都府の北部・中部・南部の民具31点を通して京都府内の暮らしを紹介。

◇現代の雛人形—袱紗資料とともに—

会場：3階美術工芸展示室西北室

会期：1992年2月20日～3月17日（27日間）

概要：現代作家による雛人形9点を展示。

⑤1992年度

◇近畿の郷土玩具展—京都を中心に—

会場：4階特別展示室南半

会期：1993年3月13日～4月4日（32日間）

概要：京都を中心にした近畿の郷土玩具601点を展示。

◇雛人形と雑道具展

会場：4階特別展示室北半

会期：1993年3月13日～4月4日（32日間）

概要：雛人形と雑道具34点を展示。

◇曾根隕石

会場：3階美術工芸展示室（彫刻室）

会期：1992年10月1日～10月30日（29日間）

概要：慶応2年6月7日に丹波国船井郡曾根村の麦畑に落下した隕石が京都府に寄贈されたのを記念して展示。

⑥1993年度

◇祭りにみる民具・玩具展

会場：別館1階東室

会期：1993年12月16日～1994年3月15日

（83日間）

概要：全国の山車の郷土玩具を中心に76点（民具10点、郷土玩具65点、人形1点）を展示。

◇京都府所蔵の雛人形展

会場：3階美術工芸展示室西北室

会期：1994年2月17日～3月15日（27日間）

概要：立雛など8点を展示。

⑦1994年度

◇正月の民具・玩具展

会場：別館1階東室
会期：1994年12月22日～1995年3月14日
(76日間)

概要：正月に関する郷土玩具を中心に130点（民具6点、郷土玩具118点、風俗6点）を展示。

◇京都府所蔵の雛人形と御所人形展

会場：3階美術工芸展示室西北室
会期：1995年2月16日～3月14日（27日間）
概要：古今雛・御所人形など19点を展示。

⑧1995年度

◇京都の郷土玩具展

会場：別館1階東室
会期：1995年12月21日～1996年3月19日
(78日間)

概要：京都の郷土玩具150点を展示。

◇京都府所蔵の雛人形展

会場：3階美術工芸展示室西北室
会期：1996年2月22日～3月19日（27日間）
概要：次郎左衛門雛など17点を展示。

(4)館外共催事業

①1986年度

◇京の四季展 京都展

・会場：大丸京都店
会期：1986年9月11日～9月23日（13日間）
主催：京都府・京都文化財団・大丸京都店
出品作品：「京の四季」のうち約100点

・会場：高島屋京都店
会期：1986年9月11日～9月23日（13日間）
主催：京都府・京都文化財団・高島屋京都店
出品作品：「京の四季」のうち約100点

◇京の四季展 大阪展

・会場：大丸梅田店
会期：1986年10月8日～10月13日（6日間）
主催：京都府・京都文化財団・大丸梅田店
出品作品：「京の四季」のうち約100点

・会場：大丸心齋橋店
会期：1986年10月9日～10月14日（6日間）
主催：京都府・京都文化財団・大丸心齋橋店
出品作品：「京の四季」のうち約100点

⑨1996年度

◇竹の民具と玩具

会場：別館1階東室
会期：1996年12月19日～1997年3月18日
(83日間)

概要：竹を素材とする民具と郷土玩具60件73点を展示。

◇雛人形展

会場：3階美術工芸展示室西北室
会期：1997年2月20日～3月18日（28日間）
概要：立雛・郷土雛など35点を展示。

⑩1997年度

◇藁の民具と玩具

会場：別館1階東室
会期：1997年12月18日～1998年3月17日
(81日間)

概要：藁を素材とする民具と郷土玩具49件74点を展示。

◇雛人形展

会場：3階美術工芸展示室西北室
会期：1998年2月19日～3月17日（27日間）
概要：立雛・掛軸雛・郷土雛など36点を展示。

◇京の四季展 東京展

会場：高島屋日本橋店
会期：1986年10月16日～10月21日（6日間）
主催：京都府・京都文化財団・高島屋日本橋店
出品作品：「京の四季」のうち約200点

◇京の四季展 横浜展

会場：高島屋横浜店
会期：1987年1月9日～1月20日（11日間）
主催：京都府・京都文化財団・高島屋横浜店
出品作品：「京の四季」のうち約200点

◇京の四季展 松山展

会場：いよてつそごう
会期：1987年2月27日～3月4日（6日間）
主催：京都府・京都文化財団・いよてつそごう
出品作品：「京の四季」のうち約200点

②1987年度

◇京の四季展 名古屋展

会場：名古屋丸栄

会 期：1987年4月2日～4月14日（12日間）
主 催：京都府・京都文化財団・名古屋丸栄
出品作品：「京の四季」のうち約200点

◇京の四季展 下関展

会 場：下関大丸
会 期：1987年4月16日～4月21日（6日間）
主 催：京都府・京都文化財団・下関大丸
出品作品：「京の四季」のうち約200点

◇京の四季展 宮津展

会 場：宮津体育館
会 期：1987年5月18日～5月24日（7日間）
主 催：京都府・京都文化財団・宮津市
出品作品：「京の四季」のうち約100点

◇京の四季展 福知山展

会 場：福知山厚生会館
会 期：1987年5月18日～5月24日（7日間）
主 催：京都府・京都文化財団・福知山市
出品作品：「京の四季」のうち約100点

◇京の四季展 福岡展

会 場：博多大丸
会 期：1987年5月29日～6月9日（11日間）
主 催：京都府・京都文化財団・博多大丸
出品作品：「京の四季」のうち約200点

◇京の四季展 浜松展

会 場：浜松市美術館
会 期：1987年9月12日～9月27日（12日間）
主 催：京都府・京都文化財団・浜松市美術館
出品作品：「京の四季」のうち約200点

◇京の四季展 富山展

会 場：富山県民会館
会 期：1987年10月3日～10月18日（16日間）
主 催：京都府・京都文化財団・富山県民会館
出品作品：「京の四季」のうち約200点

◇京の四季展 帯広展

会 場：藤丸百貨店
会 期：1987年10月22日～10月27日（6日間）
主 催：京都府・京都文化財団・藤丸百貨店
出品作品：「京の四季」のうち約200点

◇京の四季展 尼崎展

会 場：尼崎市総合文化センター
会 期：1987年11月1日～11月29日（29日間）
主 催：京都府・京都文化財団・尼崎市総合文化センター
出品作品：「京の四季」のうち約200点

◇京の四季展 新潟展

会 場：大和新潟店

会 期：1988年1月2日～1月18日（17日間）

主 催：京都府・京都文化財団・大和新潟店

出品作品：「京の四季」のうち約200点

③1988年度

◇京の百景展

会 場：舞鶴市総合文化会館
会 期：1988年9月13日～9月15日（3日間）
主 催：京都府・京都文化財団・舞鶴市・舞鶴市教育委員会・舞鶴市文化事業団
出品作品：「京の百景」のうち44点

④1989年度

◇京の百景展

会 場：丸亀美術館
会 期：1989年8月10日～9月10日（32日間）
主 催：京都府・京都文化財団・丸亀市教育委員会・丸亀美術館・四国新聞社
出品作品：「京の百景」118点

◇京の四季展

会 場：三越高松店
会 期：1989年5月9日～5月14日（6日間）
主 催：京都府・京都文化財団・毎日新聞社
出品作品：「京の四季」のうち103点

⑤1990年度

◇京の四季展

会 場：亀岡市役所市民ホール
会 期：1990年12月7日～12月9日（3日間）
主 催：京都府・亀岡市・京都文化財団
出品作品：「京の四季」のうち21点

⑥1991年度

◇京の百景展

会 場：福知山市美術館
会 期：1991年10月16日～11月10日（26日間）
主 催：福知山市・京都府・京都文化博物館
出品作品：「京の百景」のうち60点

◇京の百景展

会 場：新潟伊勢丹アートホール
会 期：1992年1月3日～1月15日（13日間）
主 催：京都府・京都文化博物館・新潟日报社
出品作品：「京の百景」118点

◇京の四季展

会場：京阪ギャラリー・オブ・アーツ・アンド・サイエンス（守口市 京阪百貨店）
 会期：1991年10月10日～10月27日（18日間）
 主催：京都府・京都文化博物館・読売新聞大阪本社・読売テレビ
 出品作品：「京の四季」のうち76点

◇京の四季展

会場：田辺町コミュニティホール
 会期：1991年10月25日～10月30日（6日間）
 主催：田辺町・田辺町教育委員会・京都府・京都文化博物館
 出品作品：「京の四季」のうち40点

⑦1992年度

◇京の百景展

会場：福知山市美術館
 会期：1992年10月14日～11月9日（27日間）
 主催：福知山市・京都府・京都文化博物館
 出品作品：「京の百景」のうち58点

◇京の百景展

会場：宇部市文化会館
 会期：1993年1月5日～1月31日（27日間）
 主催：京都府・京都文化博物館・宇部市・宇部市教育委員会・テレビ山口
 出品作品：「京の百景」118点

◇京の四季展

会場：舞鶴市総合文化会館小ホール
 会期：1992年8月28日～8月30日（3日間）
 主催：京都府・京都文化博物館・舞鶴市文化事業団・舞鶴文化教育財団
 出品作品：「京の四季」のうち45点

◇京の四季展

会場：三原リージョンプラザ
 会期：1992年10月25日～11月10日（17日間）
 主催：三原市・三原市教育委員会・読売新聞大阪本社・京都府・京都文化博物館
 出品作品：「京の四季」のうち80点

⑧1993年度

◇京の四季展

会場：銀座松坂屋
 会期：1993年12月30日～1994年1月12日（14日間）
 主催：京都府・京都文化博物館・読売新聞社
 出品作品：「京の四季」のうち101点

◇京都府立総合資料館30周年記念・ねんりんピック'93京都協賛 全国ふるさとの人形展

会場：京都府立総合資料館
 会期：1993年10月1日～10月7日（7日間）
 主催：京都府立総合資料館
 出品作品：全国の郷土人形453点

◇京都府立総合資料館30周年記念 所蔵名品百選展

会場：京都府立総合資料館
 会期：1993年10月15日～11月7日（24日間）
 主催：京都府立総合資料館
 出品作品：秋野不矩「ビジュヌプール寺院」など25点

⑨1994年度

◇京の百景展

会場：松坂屋高槻店
 会期：1994年4月28日～5月4日（7日間）
 主催：京都府・京都文化博物館・読売新聞社・平安建都1200年記念協会
 出品作品：「京の百景」118点

◇京の百景展

会場：岡崎市立美術館
 会期：1994年8月3日～8月21日（19日間）
 主催：岡崎市・中日新聞社・京都府・京都文化博物館
 出品作品：「京の百景」118点

◇京の百景展

会場：木津町中央交流会館
 会期：1994年11月27日～11月29日（3日間）
 主催：木津町・京都府・京都文化博物館
 出品作品：「京の百景」のうち48点

◇京の四季展

会場：名都美術館
 会期：1994年4月16日～5月15日（30日間）
 主催：京都府・京都文化博物館・名都美術館・朝日新聞社
 出品作品：「京の四季」のうち101点

◇京の四季展

会場：八幡市文化センター
 会期：1994年11月9日～11月23日（15日間）
 主催：京都府・京都文化博物館・やわた市民文化事業団
 出品作品：「京の四季」のうち64点

◇京の四季展

会場：北九州市立美術館

会 期：1994年12月10日～1995年1月16日
(38日間)

主 催：北九州市立美術館・京都府・京都文化博物館
館・朝日新聞社

出品作品：「京の四季」のうち130点

◇京の美人画展

会 場：福知山市美術館

会 期：1994年9月17日～10月16日(30日間)

主 催：福知山市美術館・京都文化博物館

出品作品：益利「吉野大夫図」など38点

⑩1995年度

◇京の四季展

会 場：愛媛県立美術館

会 期：1995年9月23日～10月19日(27日間)

主 催：愛媛県立美術館・京都府・京都文化博物館・
読売新聞社・美術館連絡協議会

出品作品：「京の四季」のうち160点

◇京の四季展

会 場：八幡市文化センター

会 期：1995年11月1日～11月14日(14日間)

主 催：京都府・京都文化博物館・八幡市・やわた
市民文化事業団

出品作品：「京の四季」のうち24点

◇京都府所蔵 京都の現代日本画展

会 場：笠岡市立竹喬美術館

会 期：1995年4月8日～5月14日(37日間)

主 催：笠岡市立竹喬美術館・京都文化博物館

出品作品：国府克「風景」など48点

◇現代京都の日本画・洋画・陶芸展

会 場：福知山市美術館

会 期：1995年10月19日～11月21日(33日間)

主 催：京都府・京都文化博物館・福知山市美術館

出品作品：今井守彦「北国の女」など19点

⑪1996年度

◇京の百景展

会 場：豊科近代美術館

会 期：1996年4月26日～5月19日(24日間)

主 催：豊科町・豊科町教育委員会・豊科近代美術

館・京都府・京都文化博物館

出品作品：「京の百景」118点

⑫1997年度

◇地球温暖化防止京都会議開催記念展覧会「人と自然の共生」京都府所蔵名画展

・会 場：けいはんなみどりのギャラリー

会 期：1997年10月25日～11月4日(11日間)

テーマ：山城の風土

出品作品：「京の四季」のうち18点

・会 場：福知山市美術館

会 期：1997年11月8日～11月16日(9日間)

テーマ：丹波・丹後の四季

出品作品：「京の百景」「京の四季」「いのち賛歌」
のうち53点

・会 場：宮津市立前尾記念文庫

会 期：1997年11月19日～11月26日(8日間)

テーマ：森と水辺に生きる

出品作品：「いのち賛歌」のうち19点

・会 場：京都府国際センター

会 期：1997年12月1日～12月10日(10日間)

テーマ：自然のひそやかな息づかい

出品作品：「いのち賛歌」のうち12点

*「京の四季展」について

京都は千年の王都として日本の歴史、文化を育ててきた。この京都文化はいつの時代も人々の新しい息吹を加え、未来へとつないで大切に保存、発展してきたものである。

京都府では、1981年度に受けた京都府文化懇談会の提言をもとに、京都の貴重な文化を後世に語り継ぐ事業として「京の四季」の絵画制作を企画し、京都および京都にゆかりのある日本画家、洋画家に京都を題材とした作品の制作を依頼し、委嘱作品280点、公募入選作品50点が完成した。

京都府は、これを広く一般に公開する展示事業を主催し、財団法人京都文化財団もこれに共催すると共に京都府からの受託事業として、展示事業の推進、画集・図録・絵はがき等の製作、頒布を担当し協力を行ってきたものである。

(5)京都府民ギャラリー事業への協力

京都府が所蔵する美術工芸品の鑑賞機会を広く府民に提供し、府民が身近に「文化・芸術の町」を体感で

きる空間を創出するため、京都府は1995年から府民ギャラリー事業を実施している。この事業は、京都府が所

蔵する「京の四季」「京の絵本原画」等からテーマを
定めて構成した作品群を府内の文化施設で展示するも
ので、当館は京都府の美術工芸作品を管理している関

係から、(1)展示会場となる文化施設の事前調査、(2)展
示作品の選定、(3)会場での展示指導、において府民ギャ
ラリー事業に協力している。

年度	地元主催者名	期 間	開催場所	展示内容
1995年度	大宮町 福知山市美術館 やわた市民文化事業団	1995. 8. 1～ 8.20	京都府大宮ふれあい工房	「いのち賛歌」のうち24点 京都で活躍する現代作家の作品45点 「京の四季」のうち24点
		1995.10.19～11.21	福知山市美術館	
		1995.11. 1～11.14	八幡市文化センター展示室	
1996年度	大宮町 公園緑地課 宮津市実践活動センター 公園緑地課 福知山市美術館 京都ゼミナールハウス 舞鶴市文化事業団 やわた市民文化事業団 大宮町	1996. 4.26～ 5.10	京都府大宮ふれあい工房	「京の絵本」原画のうち64点 「いのち賛歌」のうち18点 「京の四季」のうち17点 「いのち賛歌」のうち15点 「京の絵本」原画のうち68点 「いのち賛歌」のうち15点 「京の四季」のうち24点 「京の四季」のうち24点 次代を担う作家展作品のうち15点
		1996. 4.27～ 5. 6	けいはんなみどりのギャラリー	
		1996. 6. 1～ 6. 9	宮津市立前尾記念文庫	
		1996. 9.27～11. 4	けいはんなみどりのギャラリー	
		1996.10. 9～11.17	福知山市美術館	
		1996.10.17～10.22	京都ゼミナールハウス	
		1996.10.22～10.27	舞鶴市政記念館	
		1996.11. 6～11.19	八幡市文化センター展示室	
1997年度	公園緑地課 園部町	1997. 4.26～ 5. 5	けいはんなみどりのギャラリー	「いのち賛歌」のうち15点 「いのち賛歌」のうち27点
		1997.11. 6～11.10	園部中学校多目的ホール	

第3節 映画・ハイビジョン

(1)収 集

①映画

年度	作 品 名	製作年	製作会社	監 督	小 計
1988年度	弥次喜多 善光寺詣り 鶴八鶴次郎 狂った果実 ぼんち 宮本武蔵 恋や恋なすな恋 古都 怪談 肉体の門 緋と金彩	1921年	日活(京都)	辻 吉朗・小林弥六 成瀬巳喜男 中平 康 市川 崑 内田吐夢 内田吐夢 中村 登 小林正樹 鈴木清順 家喜俊彦	10作品
		1938年	P.C.L./東宝		
		1956年	日活(東京)		
		1960年	大映(京都)		
		1961年	東映(京都)		
		1962年	東映(京都)		
		1963年	松竹(大船)		
		1964年	文芸プロ/にんじんくらぶ		
		1964年	日活(東京)		
		1988年	京都府染織工芸課		
		1989年度	青春残酷物語 太陽の墓場 日本の夜と霧 悪名 宮本武蔵 般若坂の決斗 宮本武蔵 二刀流開眼 太平洋ひとりぼっち 東京オリンピック 京鹿の子紋		
1960年	松竹(大船)				
1960年	松竹(大船)				
1961年	大映(京都)				
1962年	東映(京都)				
1963年	東映(京都)				
1963年	石原プロモーション				
1965年	東宝				
1989年	京都府染織工芸課				
1990年度	煙突屋ペロー 僕等の弟 女殺し油地獄 楢山節考 彼岸花 宮本武蔵 一乗寺の決斗 宮本武蔵 巖流島の決斗 修羅 夢幻の世界“香” 京の菓子	1930年	童映社	田中喜次 春原政久 堀川弘通 木下恵介 小津安二郎 内田吐夢 内田吐夢 松本俊夫	10作品
		1933年	日活(太秦)		
		1957年	東宝(東京)		
		1958年	松竹(大船)		
		1958年	松竹(大船)		
		1964年	東映(京都)		
		1965年	東映(京都)		
		1971年	松本プロ/ATG		
		1989年	電通/松香堂		
		1990年	京都府染織工芸課		
1991年度	京都の庭 祇園会 京の工芸	1953年	田村プロ	田村 潔 田村 潔 田村 潔	
		1954年	田村プロ		
		1954年	田村プロ		

年度	作品名	製作年	製作会社	監督	小計
	島原角屋 美しき京都 夜の河 弁天小僧 薄桜記 山城の詩 冷飯とおさんとちゃん 心中天網島 戦争と人間 第1部 戦争と人間 第2部 忍ぶ川 戦争と人間 第3部完結篇 曾根崎心中 近松門左衛門 鍵の権三 比叡山麓 炎の譜	1955年 1955年 1956年 1958年 1959年 1962年 1965年 1969年 1970年 1971年 1972年 1973年 1978年 1986年 1990年	田村プロ 田村プロ 大映(京都) 大映(京都) 大映(京都) 八雲プロ 東映(京都) 表現社 日活 日活 東宝/俳優座 日活 行動社/ATG 松竹 八雲プロ	田村 潔 田村 潔 吉村公三郎 伊藤大輔 森 一生 佐々木勘一郎 田坂具隆 篠田正浩 山本薩夫 山本薩夫 熊井 啓 山本薩夫 増村保造 篠田正浩 佐々木勘一郎	18作品
1992年度	鞍馬天狗 われ幻の魚を見たり 番町皿屋敷 お菊と播磨 元禄美少年記 駅前旅館 花の吉原百人斬り 瀬東綺譚 妖刀物語花の吉原百人斬り 男はつらいよ 薔薇の葬列 千利休本覚坊遺文 琵琶湖疏水物語	1942年 1950年 1954年 1955年 1958年 1960年 1960年 1960年 1969年 1969年 1989年 1990年	大映(京都) 大映(京都) 大映(京都) 松竹(京都) 東宝 東映(京都) 東宝・東京映画 東映(京都) 松竹(大船) 松本プロ/ATG 西友 八雲プロ	伊藤大輔 伊藤大輔 伊藤大輔 伊藤大輔 豊田四郎 内田吐夢 豊田四郎 内田吐夢 山田洋次 松本俊夫 熊井 啓 佐々木勘一郎	12作品
1993年度	獅子の座 お菊と播磨 いとはん物語 源氏九郎爽快記 秘剣揚羽の蝶 この首一万石 幕末	1953年 1954年 1957年 1962年 1963年 1970年	大映(京都) 大映(京都) 大映(東京) 東映(京都) 東映(京都) 中村プロ/東宝	伊藤大輔 伊藤大輔 伊藤大輔 伊藤大輔 伊藤大輔 伊藤大輔	6作品
1994年度	山びこ学校 サンダカン八番娼館 望郷 三婆 大地の子守歌	1952年 1974年 1974年 1976年	八木プロダクション 東宝 東京映画/東宝 行動社/ATG	今井 正 熊井 啓 中村 登 増村保造	4作品
1995年度	紅葉狩 お父さんはお人好し たけくらべ 黄色いからす ジャン有馬の腹撃 893 愚連隊 ある映画監督の生涯 溝口健二の記録	1899年 1955年 1955年 1957年 1959年 1966年 1975年	松竹 大映(東京) 新東宝 松竹(大船) 大映(京都) 東映(京都) 近代映画協会	柴田常吉(撮影) 斎藤寅次郎 五所平之助 五所平之助 伊藤大輔 中島貞夫 新藤兼人	7作品
1996年度	忠臣蔵 右門捕物帖 三番手柄 国士無双 噂の娘 女人哀愁 その前夜 樋口一葉 続清水港 不知火検校 緋牡丹博徒 お竜参上 竜馬暗殺	1926年 1930年 1932年 1935年 1937年 1939年 1939年 1940年 1960年 1970年 1974年	日活(太秦) 千恵蔵映画(嵯峨野) 千恵蔵映画(嵯峨野) P.C.L./東宝 P.C.L./東宝/入江プロ P.C.L./東宝 P.C.L./東宝 日活(太秦) 大映(京都) 東映(京都) ATG/映画同人社	池田富保 辻 吉朗 伊丹万作 成瀬巳喜男 成瀬巳喜男 萩原 遼 並木鏡太郎 マキノ正博 森 一生 加藤 泰 黒木和雄	11作品
1997年度	笛吹童子 第一部 どくろの城 笛吹童子 第二部 妖術の闘争 笛吹童子 第三部 満月城の凱歌 眠狂四郎 殺法帖 序の舞 鬼龍院花子の生涯 火宅の人	1954年 1954年 1954年 1963年 1974年 1982年 1986年	東映(京都) 東映(京都) 東映(京都) 大映(京都) 東映(京都) 東映(京都) 東映(京都)	萩原 遼 萩原 遼 萩原 遼 田中徳三 中島貞夫 五社英雄 深作欣二	7作品

②ハイビジョン

ア. 1991年度

「日本で見られる19世紀フランス美術」

(141分、1991年、東京ハイビジョン)

ハイビジョンミュージアム推進協議会の第1回の企画として、全国28に及ぶ美術館から、19世紀フランスで活躍したクールベからロダンまでの33人の画家・彫刻家等の作品162点を静止画で紹介。

イ. 1992年度

「パリで見られる19世紀フランス美術」

(98分、1992年、東京ハイビジョン)

19世紀後半の芸術作品を専門とする1986年に開館したオルセー美術館をはじめパリの美術館で見られる作品を通して、19世紀に活躍したコロー、ルドンなど10人の画家の作品を静止画で紹介。

ウ. 1993年度

「印象派展覧会」(企画：ハイビジョンミュージアム推進協議会、61分、1992年、東京ハイビジョン)

19世紀末、パリで開かれた印象派グループ展(第1回～第8回)の出品カタログをもとに、フランスをはじめ各国の美術館から代表的な出品作を集め、モネ、ピサロなど代表的な画家を中心に会の開催順に印象派の運動を静止画で紹介。

「いのち賛歌」(企画：京都府・京都文化博物館、55分、1993年、日本写真印刷(株))

1992年に京都で開催された「ワシントン条約第8回締結国会議」を記念して、京都ゆかりの日本画家から寄せられた作品による「いのち賛歌—日本画百人展」が開かれた。本作品は、当館と京都府でこの展覧会の出品作品のハイビジョン化を企画し、日本写真印刷の協力を得て制作したものである。

(2)上 映

①映画

a. 常設上映

年度	上映期間	テ ー マ	作 品 名	日	回数	鑑賞者数
1988年度	1988.10. 1～11. 5	映画、よき時代の 京都作品特集1	渡川伴五郎／丹下左膳余話百万両の壺／祇園の姉妹／春秋一刀流／無法松の一生／羅生門／源氏物語／臉の母／大江戸五人男／西陣の姉妹／雨月物語／女の園	35	83	2,682
	1988.11. 6～12.27	戦前時代劇特集その1	血煙高田の馬場／雪之丞変化／赤西蛸太／四十八人目／河内山宗俊／土屋主税／恋山彦／エノケンのちゃつきり金太／人情紙風船／戦国群盗伝／赤垣源蔵／忠臣蔵／鞍馬天狗角兵衛獅子の巻／出世太閤記／闇の影法師	49	106	2,723
	1989. 1. 2～ 3. 1	戦前時代劇特集その2	藤十郎の恋／初姿人情蕎／宝の山に入る退屈男／柳生二蓋笠／荒獅子／鞍馬天狗竜攘虎博の巻／阿部一族／牢獄の花嫁／三味線武士／鞍馬天狗江戸日記／江戸の悪太郎／鳥人／昨日消えた男／剣光桜吹雪／江戸最後の日／元禄忠臣蔵	55	110	2,167
	1989. 3. 3～ 3.30	戦前時代劇特集その3	京洛の舞／維新の曲／独眼竜政宗／富士に立つ影／宮本武蔵(総集編)／宮本武蔵 一乗寺の決斗／臉の母／渡川伴五郎／血煙高田の馬場／春秋一刀流	26	52	815
1989年度	1989. 4. 1～ 4.30	戦前現代劇特集その1 —名残の無声映画	路上の靈魂／不如帰／波浮の港／無憂華／若者よなげ泣か／祇園小唄絵日傘／汗／夜毎の夢／金色夜叉	26	52	824
	1989. 5. 1～ 5.29	戦前現代劇特集その2 —無声映画・巨匠特集	東京の合唱／落第はしたけれど／生まれてはみたけれど／出来ごころ 浮草物語／東京の宿／伊豆の踊子／滝の白糸／折鶴お千	27	54	1,827
	1989. 5.31～ 6. 9	ドイツ表現主義無声映画 と日本の実験映画	狂った一頁／十字路／プラーグの大学生／カリガリ博士／吸血鬼ノスフェラトッ／死滅の谷／ドクトルマブゼ／裏町の怪老窟／ニーベルンゲン1 ジークフリートの死	10	20	685
	1989. 6.10～ 6.29	戦前現代劇特集その3 —トーキーの曙	マダムと女房／ほととぎす浪子／隣の八重ちゃん／妻よ薔薇のように／人生のお荷物／春琴抄お琴と佐助	18	37	806
	1989. 7. 1～ 7.30	戦前現代劇特集その4 —文芸作品の黄金時代1	彦六大いに笑う／情熱の人啄木／浅草の灯／花火の街／鶴／土／むかしの歌／小島の春	48	24	851

年度	上映期間	テーマ	作品名	日	回数	鑑賞者数
1989. 7.10～ 7.14		日本の実験映画Ⅰ ビデオ上映	メタスタシス/オートノミー/エニグマ/ホワイトホール/コネクション/リレイション/シフト/SPACY/BOX/THUNDER/ドリル/GHOST/GRIM/WALL	5	10	28
1989. 8. 1～ 8.31		戦前現代劇特集その5 -子供の世界を描く	風の中の子供/路傍の石/綴方教室/泣虫小僧/太陽の子/風の又三郎/次郎物語/みかえりの塔/馬/生まれてはみたけれど	30	60	1,345
1989. 9. 1～ 9. 5		日本の実験映画Ⅱ 「1970年代後半特集」	映画 LE CINEMA/我が映画旋律/日没の印象/オランダ人の写真/フィルムディスプレイ/フリクション/パルス/形態集	5	12	92
		日本の実験映画Ⅲ 「古川タク特集」	牛頭/ヘッドスプーン/ニューヨークトリップ/美しい屋/ナイストゥシーユー/驚き盤/コーヒーブレイク/モーションルミネ/コミックス/スリーピー/スピード/カリグラフィ/ポートレイト/マックザムビー/鳥/プレイ・ジャズ			
		日本の実験映画Ⅳ 「1980年代前半特集」	スイッチバック/絵日記2/Bふたたび/巻貝の扇/悲しきガドルフ/UN IMAGE			
1989. 9. 6～ 9.28		戦前現代劇特集その6 記録映画特集-戦争の暗き時代を描く1	上海/五人の斥候兵/戦ふ兵隊/土と兵隊/爆音/上海陸戦隊	22	42	865
1989. 9.17・ 9.24		「海を渡って来た人と文化」特別展企画上映	神々の履歴書/新羅双墳/南墳	2	2	202
1989. 9.30～10.27		戦前現代劇特集その7 -文芸作品の黄金時代2	家族会議/兄いもうと/愛染かつら/若い人/母と子/暖流/兄とその妹	25	45	931
1989.10. 1・10. 8・ 10.10・10.15		「海を渡って来た人と文化」特別展企画上映	河内飛鳥/古代埼玉のあけぼの/新羅古墳/雁鴨池/高句麗古墳壁画/神々の履歴書	4	4	329
1989.10.28～11.30		戦前現代劇特集その8 -巨匠特集2	祇園の姉妹/浪華悲歌/残菊物語/臘夜の女/花籠の歌/木石/一人息子/淑女は何を忘れたか/戸田家の兄妹/父ありき	30	60	2,275
1989.12. 1～12.25		戦前現代劇特集その9 -戦争の暗き時代を描く2	西住戦車長伝/沃土万里/ハワイ・マレー沖海戦/将軍と参謀と兵/愛機南へ飛ぶ/海軍/加藤隼戦闘隊/陸軍	23	46	1,309
1989.12.26・12.27		日本の実験映画Ⅴ 「1983～86年特集」	影踏み/ワイパー/たわむれときまぐれと/放送室/海の底/あにまんだら2	2	4	25
		日本の実験映画Ⅵ 「1987～89年特集」	連続四辺形/MODEL/海の唄/フィールド/蒐集集			
1990. 1. 2～ 1. 4		文化映画ビデオ上映	京に生きる味/清水焼/祇園/映画のふるさと/京の春/京の町屋	3	9	77
1990. 1. 5～ 2. 1		映画にみる京その1 -時代劇特集1	羅生門/源氏物語/祇園祭/新平家物語/地獄門/忍びの者/宮本武蔵 一乗寺の決斗/藤十郎の恋	25	49	1,126
1990. 2. 2～ 2.25		映画にみる京その2 -時代劇特集2	近松物語/京洛の舞/螢火/新鞍馬天狗/維新の曲/新鞍馬天狗五条坂の決闘/花ちりぬ	21	42	792
1990. 2.26～ 2.28		文化映画ビデオ上映	日本の美 日本の色/日本の美 水平と垂直/日本の美 草のころ/人間国宝 荒川豊蔵/人間国宝 松田権六/人間国宝 森口華弘	3	6	43
1990. 3. 1～ 3.16		映画にみる京その3 -現代劇特集1	偽れる盛装/祇園囃子/祇園の姉妹/噂の女/五番町夕霧楼	15	30	856
1990. 3.17～ 3.27		ドイツ映画に見る 女性監督の活躍	全面的に制約された人間性/カテリーナブルームの失われた名誉/エリカの煩惱/グレーテミンデ/ドイツ青ざめた母/マルー/本題に入ろう/ペパーミントピース/心の中で/メン	5	10	391

年度	上映期間	テ - マ	作 品 名	日	回数	鑑賞者数
	1990. 3.28～ 3.30	文化映画ビデオ上映	映画のふるさと／京の春／京の町屋／京に生きる味／清水焼	3	6	31
1990年度	1990. 4. 1～ 4.21	映画にみる京その4 －現代劇特集2	西陣の姉妹／古都／炎上／雁の寺／女の園／わが青春に悔なし	19	38	1,066
	1990. 4.22～ 5.28	無声映画時代劇特集	弥次喜多 善光寺詣り／良弁杉／快人狼／百万両秘聞／砂絵呪縛／清水次郎長／からくり蝶／右門捕物帖一番手柄／諸語三浪士／関取千両幟／鞍馬天狗恐怖時代／男達ばかり	33	66	1,075
	1990. 5.29～ 5.31	文化映画ビデオ上映	風俗画／美術のみかた－ジャポニズムの時代	3	7	64
	1990. 6. 1～ 6.29	特集記録映画の世界1 監督 亀井文夫・下村兼史	或日の干潟／信濃風土記より小林一茶／上海／生きていてよかった／戦ふ兵隊／流血の記録砂川／鳩ははばたく／人間みな兄弟／女ひとり大地をゆく／世界は恐怖する	27	54	1,269
	1990. 7. 1～ 7.30	監督伊藤大輔特集1	御詠治郎吉格子／治郎吉格子／素浪人罷り通る／おぼろ駕籠／王将／王将一代／明治一代女／叛逆児	24	48	1,547
	1990. 7. 1	研究試写会	支那の夜	1	1	71
	1990. 7. 6	研究試写会	七人の侍	1	1	45
	1990. 7.16・ 7.17	文化映画ビデオ上映	祇園祭／大文字	2	4	50
	1990. 8. 1～ 8.31	特集 子供の世界を描く2	手をつなぐ子等／原爆の子／おかあさん／蜂の巣の子供たち／ノンちゃん雲に乗る／キクとイサム／女中ッ子／私は二歳／にあんちゃん	27	53	1,449
	1990. 9. 1～ 9. 5	京都府伝統産業 記録映画ビデオ上映	鋳起／ろう型／截金／和鏡／数寄屋／車大工	5	10	105
	1990. 9. 7～ 9.30	山中貞雄と その仲間たち	戦国群盗伝／出世太閤記／牢獄の花嫁／河内山宗俊／丹下左膳余話百万両の壺／富士に立つ影／人情紙風船	21	42	1,874
	1990.10. 2～10.31	監督五所平之助特集	マダムと女房／人生のお荷物／花籠の歌／今ひとたびの／煙突の見える場所／大坂の宿／挽歌／螢火	23	46	1,675
	1990.10. 6	第9回日本映画講座1	炎上	1	2	170
	1990.10.13	第9回日本映画講座2	裸の島	1	2	215
	1990.10.20	第9回日本映画講座3	暁の脱走	1	2	271
	1990.10.27	第9回日本映画講座4	警察日記	1	2	192
	1990.11. 1～11.27	特集忠臣蔵	忠臣蔵／実録忠臣蔵／忠臣蔵／忠臣蔵／元禄忠臣蔵（前）／元禄忠臣蔵（後）／赤垣源蔵／土屋主税	24	48	1,804
	1990.11.28～11.30	特集映像の前衛1 UK90 全英実験映画 ・ビデオセレクション －ビットウィーン・イマ ジネーション・アンド・ リアリティー	泳ぐ人／K／犯罪／おばあちゃんのもの／マン・オブ・ストーン／川を下る鱒／アンディーが考えもしなかった1001の色／輝くポートレイト／分割の事情／視覚の限界／教育者・ニール・パートレット／ジェームス・ボンクマットブラックフィンガー ほか	3	15	454
	1990.12. 1～12. 5	特集映像の前衛1 －飯村隆彦回顧展	視姦について／ダダ62／愛 LOVE／おなん／あんま／リリパット王国舞踏会／私は影を見た／フィルム・ストリップス／フィルム・メーカーズ／イン・ザ・リバー／シャッター／1秒24コマ／1コマの長さ／反復し逆行する時間 ほか	5	15	172
	1990.12. 6～12. 9	特集映像の前衛1 －アジア・アメリカ ン映画祭1990	姓はヴェト・名はナム／ビーブ・ショー／スリーブ・サウンド／獅子舞／ペンディト／冬／ゲップ／テイク5／タフ・トーク／反射鏡／車の窓から／Zの向こう側／線／犬と眼／待ちわびる日々／絆／プログレス・進む／ビッグ・キャラクターポスター ほか	4	16	552

年度	上映期間	テ ー マ	作 品 名	日	回数	鑑賞者数
	1990.12.11~12.14	特集映像の前衛1 -松本俊夫特集	薔薇の葬列/石の詩/気 Brething/エクスタシス /青女/幻妄/色即是空/アートマン/ブラック・ ホール/エニグマ/コネクション/シフト/スウェ イ/エングラム/メタスタシス/エクспанション /ホワイト・ホール/リレーション ほか	4	16	334
	1990.12.15~12.24	特集映像の前衛1 -勅使河原宏特集	他人の顔/おとし穴/砂の女	3	6	670
	1990.12.25~12.27	特集映像の前衛1 -ヴォワイアンシネマ テーク	火の子/INSECT/Surface/ANMAN/逢魔が 時/千本キネマ通り/FIX/TV NEWS/生体系3 /東京蜜月/ギャングよ向こうは晴れているか/ Skylight/洗洗/あと三日/Floor Light/はず かしい夜/なつかしい朝/視考癖/花を放つ ほか	3	9	108
	1991. 1. 2・ 1. 3	文化映画ビデオ上映	夢幻の世界 香	2	6	153
	1991. 1. 4~ 1.30	監督黒澤明特集1	姿三四郎/素晴らしき日曜日/酔いどれ天使/野良 犬/静かなる決闘/醜聞/白痴/生きものの記録	24	48	3,087
	1991. 2. 1~ 2.27	映画に見る 文学作品特集1	夜明け前/破戒(木下版)/破戒(市川版)/お遊 さま/細雪/春琴物語/猫と庄造と二人の女/鍵	24	48	2,167
	1991. 3. 1~ 3.31	監督木下恵介特集1	花咲く港/大曾根家の朝/わが恋せし乙女/お嬢さ ん乾杯/破れ太鼓/カルメン故郷に帰る/カルメン 純情す/日本の悲劇/二十四の瞳	27	54	2,135
1991年度	1991. 4. 1~ 4.20	戦後時代劇特集1 -封建時代からの脱皮	狐の呉れた赤ん坊/稲妻草紙/箱根風雲録/あばれ 獅子/下郎の首/血槍富士	28	55	1,132
	1991. 4. 8	特別試写会	狂った一頁	1	1	60
	1991. 4.21~ 4.29	アンディ・ウォーホル 映画回顧展 1991	キス/ビューティ #2/エンパイア/イート/ロン サム・カウボーイ/チェルシー・ガール	9	18	1,467
	1991. 5. 1~ 5.24	喜劇特集-風刺と 哀しさにみる笑い	夫婦善哉/台風騒動記/幕末太陽伝/気遣い部落/ 競輪上人行状記/にっぽん泥棒物語/エロ事師より 人類学入門	21	42	1,874
	1991. 5.25・ 5.26	記録映画特集	機関車 C-57/或る保母の記録	2	4	61
	1991. 5.27~ 5.30	京都府伝統産業 記録映画ビデオ上映	金銀糸/緞と金彩/京の和紙/京人形	4	8	61
	1991. 6. 1~ 6.30	監督溝口健二特集	歌麿をめぐる五人の女/夜の女たち/我が恋は燃え ぬ/雪夫人絵図/西鶴一代女/雨月物語/山椒大夫 /噂の女/赤線地帯	27	54	3,444
	1991. 7. 1・ 7. 2	京都府伝統産業 記録映画ビデオ上映	京扇子・京うちわ	2	4	25
	1991. 7. 3~ 7.31	映画にみる怪異と 恐怖の世界	有馬猫/怪談/東海道四谷怪談/修羅/蜘蛛巣城/ 美女と怪竜/恋や恋なすな恋/ゴジラ	25	50	2,425
	1991. 7.14~ 7.16	記録映画ビデオ上映	祇園祭/祇園会	3	6	130
	1991. 8. 1~ 8. 4	戦前短編アニメ特集	武者修行物語 “珍説吉田御殿”/蛙は蛙/のらくろ 二等兵教練・演習の巻/煙突屋ペロー (復元版ト キー)	3	6	250
	1991. 8. 5~ 8.30	特集 子供の世界を描く 3	鐘の鳴る丘隆太の巻/鐘の鳴る丘修吉の巻/鐘の鳴 る丘クロの巻/忘れられた子等/みんなわが子/し いのみ学園/サムライの子/不良少年	24	48	1,613
	1991. 9. 1・ 9. 2	記録映画特集	東京大震災第一報/陳水-流れに沿って/原子爆弾 の効果 広島・長崎 1945年8月/轟進	2	4	140
	1991. 9. 8~11. 7	特集新興キネマの世界	警察官/霧笛/三聯花/雁来紅/大尉の娘/児雷也 /仇討膝栗毛/祐天吉松/国訛道中笠/お伊勢詣り /御存じ紫頭巾/金比羅代参 森の石松/落花の舞 /怪談鴛鴦帳/亜細亜の娘/鏡山競艶録/若妻/母 に捧ぐる歌/暁	56	112	3,615

年度	上映期間	テ ー マ	作 品 名	日	回数	鑑賞者数
	1991.10. 1	開館3周年記念『映像は、いま?』-映画という社会生産装置	神のわざ-稲妻/飛沫をあげて/ジョン・ケージ/メレディス・モンク/緑虫	1	1	160
	1991.11. 9	第10回日本映画講座1	キューボラのある街	1	2	131
	1991.11.10~11.28	特集スリルとサスペンスそしてヒューマニティ	ペン偽らず 暴力の街/帝銀事件 死刑囚/黒い潮/黒い画集 あるサラリーマンの証言/張り込み	15	30	857
	1991.11.16	第10回日本映画講座2	きけわだつみの声	1	2	149
	1991.11.23	第10回日本映画講座3	くちづけ	1	2	122
	1991.11.30	第10回日本映画講座4	醜の母	1	2	114
	1991.12. 1~12. 6	特集英国人監督デビッド・リーンの初期作品集	我らが艦艇/逢いびき/オリヴァ・ツイスト/マデリーン	6	12	534
	1991.12. 7~ 1992. 1.12	特集映画の中の歌舞伎	藤十郎の恋/近松物語/夜の鼓/浪花の恋の物語/女殺し油地獄/紅葉狩/中村雁治郎 舞台のおもかげ/心中天網島/曾根崎心中/近松門左衛門 錠の権三	30	62	2,229
	1992. 1.14~ 1.30	監督今井正特集1	青い山脈(前編)/青い山脈(後編)/また逢う日まで/どっこい生きている/にぎりえ	15	30	1,884
	1992. 2. 1~ 2. 6	英国の新しい映像1 ピーター・グリーンウェイ監督作品集	ハウスのH/窓/水辺の騒ぎ/親愛なる電話/Hを通り過ぎて/垂直風景リメイク/落下/画家の契約/TV ダンテ第1章~7章/ZOO/数に溺れて	6	12	1,166
	1992. 2. 7~ 2.26	監督小林正樹特集1	人間の条件 第1部~第6部/壁あつき部屋	17	36	1,497
	1992. 2.20・ 2.21	英国の新しい映像2 ベスト・オブ・ブリティッシュ・アニメーション	カーニバル/イゴリ/トクシク/すばらしい一日/ブローチピンと罪深き止め金/セカンド・クラス・メール/父のドレスデン製陶器/ブルーフィールド・エクスプレス/ネクスト/丘の農家/死神/戦争の話/フィート・オブ・ソング	2	4	218
	1992. 2.27	映画の保存と復元についてドイツでは	メトロポリス	1	1	141
	1992. 3.14~ 3.24	京都映画まつりフィルムフェスティバル	大江戸五人男/人情紙風船/無法松の一生/狂った一頁/薄桜記/宮本武蔵/風と女と旅鴉/羅生門/五番町夕霧楼/武士道残酷物語/祇園の姉妹/古都/緋牡丹博徒/細雪/雁の寺/新諸国物語 笛吹童子 第1部~第3部 ほか	10	21	1,049
1992年度	1992. 4. 1~ 4. 4	監督 ヨネモト兄弟の世界	跳躍/プリンキー/河童/メイド・イン・ハリウッド	4	5	773
	1992. 4. 5~ 4.27	監督小津安二郎の世界	風の中の牝鷄/晩春/宗方姉妹/麦秋/彼岸花	19	19	995
	1992. 4.29~ 5.17	ドキュメンタリー 映画の世界	海に生きる/月の輪古墳/東京オリンピック/米・農民の記録/失業・炭坑合理化との闘い/われら人間家族/にっぽん戦後史マダムおんぼろの生活	20	20	260
	1992. 5.21	アメリカの ドキュメンタリー	ハーレム 135 丁目 ジェームス・ボールドウィン抄	1	1	177
	1992. 5.25~ 5.31	1980年代の ドイツ実験映画特集	S1/青いラドロー/M/私を殺したハリウッド/ベルリンアラモ/メッセージ死の舞踏/レモン/魅力的な人形の家/クラウゼ/ユリシーズ/間/カリ・フィルム/ゲミベアをやっつけろ/クール・キラー/原風景/いじわるも感情	7	12	271
	1992. 6. 2~ 6.23	監督成瀬巳喜男の世界	鶴八鶴次郎/めし/稲妻/浮雲/流れる	16	16	1,232
	1992. 6.25~ 6.28	北ドイツの実験映画と日本の個人映像作家特集	半夏生/Stainless Steel/水の物語/close/N-point/BUSON/世代解析/生態系-8-/Sight/ベルリン・サッポロ/AQUARIUM/轍の中で/MARIA II/夢のとりで/炎・雲からの展開/Fil-	4	4	160

年度	上映期間	テーマ	作品名	日	回数	鑑賞者数
			my Film005/片足の神様/大きな石小さな夜 ほか			
	1992. 7. 1～ 7.27	俳優市川雷蔵の世界	斬る/華岡青洲の妻/剣/薄桜記/弁天小僧/ぼんち	24	25	1,314
	1992. 8. 1～ 8.27	戦争の暗き時代を描く3	太平洋奇跡の作戦 キスカ/野火/ビルマの豎琴/日本の一番長い日/私は貝になりたい/肉弾	24	24	1,121
	1992. 9. 1～ 9.24	カメラマン 宮川一夫の世界	手をつなぐ子等/おとうと/羅生門/雨月物語/無法松の一生/越前竹人形/用心棒	22	23	1,461
	1992.10. 2～10.25	俳優嵐寛寿郎の世界	百万両秘出/からくり蝶/右門一番手柄 南蛮幽霊/鞍馬天狗恐怖時代/江戸の悪太郎/三味線武士/剣光桜吹雪	21	22	823
	1992.10. 3	第11回日本映画講座1	誇り高き挑戦	1	1	127
	1992.10.10	第11回日本映画講座2	愛と希望の街	1	1	147
	1992.10.17	第11回日本映画講座3	日本列島	1	1	107
	1992.10.24	第11回日本映画講座4	豚と軍艦	1	1	127
	1992.11. 1～12.12	脚本家依田義賢の世界	大阪物語/荷車の歌/私の名は情婦/妖刀物語花の吉原百人斬り/残菊物語/悪名/近松物語/千利休本覚坊遺文	32	32	1,659
	1992.12.18～12.22	インド映画 サタジット・レイ監督特集	チャルラータ/株式会社/遠い雷鳴/チェスをする人/家と世界	5	5	384
	1993. 1. 2・ 1. 3	英国アニメーション 特集	ブラック・ドッグ/ドラマー/バルーン/ネクスト/動物達の理想/サンドマン/ドア/バイオウマン/オーザット/ボディ・ビューティフル/すばらしい一日/マニピュレーション/アダム/丘の農家/三人の騎士/白鳥の歌	2	2	233
	1993. 1. 4～ 1.25	監督内田吐夢 宮本武蔵の世界	宮本武蔵/宮本武蔵 般若坂の決斗/宮本武蔵 二刀流開眼/宮本武蔵 一乗寺の決斗/宮本武蔵 巖流島の決斗	20	20	849
	1993. 1.31・ 2. 1	アメリカ人映像作家 シャーレン・カズン特集	ポートレイト/ドイツの鏡/ポリーン/オーディロン・オーディロン/救済/映画における抽象/ローズ・ブラット/貝と灯心草/花束/ビルディング	2	4	192
	1993. 2. 2～ 2.27	特集昭和30年代青春 映画にみる若者の叫び	太陽の季節/狂った果実/純愛物語/くちづけ/愛と希望の街/青春残酷物語	24	24	842
	1993. 3. 1～ 3.25	監督豊田四郎特集	雁/雪国/瀬東綺譚/甘い汗/夫婦善哉	20	20	906
	1993. 3. 8	ドイツ女性監督特集	APPLE TREES	1	2	89
	1993. 3.12	英国黒人監督特集	ヤング・ソウル・レベルズ	1	2	176
1993年度	1993. 4. 1～ 5.25	俳優笠智衆の世界	落第はしたけれど/一人息子/花籠の歌/浅草の灯/みかえりの塔/父ありき/晩春/麦秋/手をつなぐ子等/忘れられた子等/生きている画像/東京物語/命美わし/野菊の如き君なりき/男はつらいよ	48	71	6,800
	1993. 6. 1～ 6.13	記録映画特集	山城の詩/比叡山麓 炎の譜/京都の庭/島原角屋/美しき京都/京の工芸/京菓子/京鹿の子絞り/京舞四世井上八千代/文楽	13	16	235
	1993. 6.18～ 7.27	監督伊藤大輔特集	忠次旅日記/御詔治郎吉格子/鞍馬天狗/われ幻の魚を見たり/獅子の座/お菊と播磨/元禄美少年記/いとはん物語/丹下左膳/源氏九郎颯爽記 秘剣揚羽の蝶/この首一万石/幕末	37	53	2,490
	1993. 8. 7～ 8.14	英国人俳優 ピーター・セラーズ特集	ランニング・ジャンピング・スタンディング・スティルフィルム/スモレストショウ・オン・アース/ロリータ/カートンブラウニー・オブ・ザ・FO/アイム・オール・ライト・ジャック/オンリー・ツー・	7	14	466

年度	上映期間	テーマ	作品名	日	回数	鑑賞者数
			キャン・ブレイ/チャンス/博士の異常な愛情			
	1993. 8.15～ 9.18	監督山本薩夫特集	戦争と平和/日の果て/人間の壁/浮草物語/乳房を抱く娘たち/武器なき闘い/証人の椅子/松川事件/傷だらけの山河	27	36	1,716
	1993. 9.23～10. 4	現実の表現 日本映画とドイツ映画	昨日からの別れ/日本の夜と霧/あの頃/また逢う日まで/幸運児/妻よ薔薇のように/家族/少しの愛だけでも/落葉樹/ドイツ青ざめた母/あふれる熱い涙/不安と魂/都会のアリス/淑女は何を忘れたか	7	21	1,277
	1993.10. 2	アメリカ女性監督ジュリー・ダッシュ特集	ドクターズ・オブ・ダスト	1	1	56
	1993.10. 5～10.23	監督新藤兼人特集	愛妻物語/縮図/原爆の子/第五福竜丸/裸の島	15	20	661
	1993.10.24～10.26	英国監督デレク・ジャーマン特集	In the shadow of the sun/pirate tape/TG psychic/rally in heaven/sloane square/セバスチャン/ヴィトゲンシュタイン	3	6	243
	1993.10.30～11.27	監督吉村公三郎特集	安城家の舞踏会/暖流/わが生涯のかげやける日/偽れる盛装/西陣の姉妹/足摺岬/夜の河/大阪物語	24	32	1,672
	1993.12. 1～12. 5	映像表現の場1	下山田君と僕/でうれ/ちょっと屋上に来てごらん/VIEW-er/真昼の表質/山からきたくじらやろう/Attack/荒野聖/びいどろ/Les shoses sont bizarres/鼠の瞳/ゴトウヒロミ珈琲天国/fan/ムダマラ/体育館にかみなりがお	5	13	406
	1993.12. 8～ 1994. 1. 9	小津安二郎監督特集	生まれてはみたけれど/出来ごころ/浮草物語/長屋紳士録/お茶漬の味/彼岸花/早春	20	27	1,539
	1994. 1.10～ 1.23	女性シナリオ作家特集 -和田夏十	鍵/黒い十人の女/私は二歳/太平洋ひとりぼっち	12	16	570
	1994. 1.24～ 1.28	英国 ICA 短編映画 特集	ロバート・マーシャル/ア・タッチ・オブ・ザ・ター・ブラッシュ/ジャスティス・サックス/ストーン・ステップ/コフルッキング/インビトゥイーン/アンノウ・ウーマン/レイク・オブ・ドリームス/ザ・ブル/リラックス ほか	5	10	325
	1994. 2. 2～ 2. 6	ドイツ短編映画特集	フォト・フィニッシュ/夢見る人/水曜日/初演/16ミリフィルム一巻のシャワー/世界一美しい胸/昼寝/マデイラ酒入りタンシチュー/高い身分に伴う義務/ちょっと怖い話/こだま/最後のダンス/カーメン南インターチェンジ/八月の日 ほか	5	10	200
	1994. 2. 8～ 3. 6	女性シナリオ作家特集 -水本洋子	あにいうと/ここに泉あり/夫婦/ひめゆりの塔/山の音/あれが港の灯だ	21	28	1,257
	1994. 3. 8～ 3.28	女性シナリオ作家特集 -田中澄江、楠田芳子	にっぼんのお婆ちゃん/めし/稲妻/晩菊/流れる/この広い空のどこかに	15	20	1,024
	1994. 3.12～ 3.14	アメリカの社会 ドキュメンタリー特集	橋の上で/私のなかに/歴史と記憶-アキコとタカシゲのために/旅する学者	3	6	208
	1994. 3.20	WAX-蜜蜂テレビの 発見上映会	WAX-蜜蜂テレビの発見	1	1	80
1994年度	1994. 4. 1・ 4. 2	英国アニメーション 作家特集	ピッツァ・ピクチャー短編集/ソーホー・スクエア/メアリー・ブラック/カルメン/ポール・ドーリア短編集/MKD 短編集/黒白映画短編集/コンピュータ・グラフィック・アニメーション集	2	4	78
	1994. 4. 3～ 4.30	監督田坂具隆特集	路傍の石/乳母車/陽の当たる坂道/爆音/海軍/湖の琴/女中っ子/五番町夕霧楼/冷飯とおさんとちゃん	18	36	1,324

年度	上映期間	テーマ	作品名	日	回数	鑑賞者数
	1994. 5. 1～ 5.27	女優山田五十鈴特集	番場の忠太郎 暎の母/折鶴お千/浪華悲歌/祇園の姉妹/鶴八鶴次郎/女優/箱根風雲録/現代人/女ひとり大地を行く	18	36	1,760
	1994. 5.20	シェリー・シルバー 監督特集	取り壊された家/ミート・ザビープル	1	1	50
	1994. 6. 3～ 6.25	1960年代時代劇特集	風と女と旅鴉/大江戸の侠児/暎の母/切腹/座頭市物語/暗殺/大殺陣 雄呂血/上意討ち	16	32	1,515
	1994. 7. 2～ 7.26	監督木下恵介特集	二十四の瞳/遠い雲/太陽とバラ/風花/笛吹川/喜びも悲しみも幾年月/香華/永遠の人	16	32	1,598
	1994. 7.18	映画評論家滝澤一を 読んで	ジャン有馬の襲撃	1	2	127
	1994. 8. 5～ 8.27	監督山本薩夫特集	戦争と人間 第一部～完結編/真空地帯/白い巨塔/台風騒動記/にっぽん泥棒物語	16	34	1,684
	1994. 8.28・ 8.29	英国国立映画テレビ 学校学生作品特集	普通郵便/ラーグ/ブローチピンと罪深き止め金/グランド・ナショナル/楽しい一日/丘の農家/アレックス/思春期/うかつな話/キャンディ・ショー/鋳打機/束の間の栄光	2	6	56
	1994. 9. 3～10.28	女優田中絹代特集	森の鍛冶屋/マダムと女房/伊豆の踊子/風の中の牝鷄/宗方姉妹/流れる/煙突の見える場所/恋文/三婆/サンダカン八番娼館 望郷/大地の子守歌/悲しみは女だけに/ある映画監督の生涯/楳山節考/山椒大夫/西鶴一代女	32	64	4,138
	1994.10.20～10.25	ラインハルト・ハウフ 監督特集	主役の少年/頭の中のナイフ/ライン・ワン/壁の上の男/車と商売/別れ/運命/ナイーブ	6	12	137
	1994.11. 3～11.27	特集文芸作品と映画	自由学校/本日休診/叛乱二・二六事件/こころ/肉休の門/浮雲/暗夜行路	16	32	1,824
	1994.12. 1～12.25	監督今井正特集	ひめゆりの塔/山びこ学校/真昼の暗黒/米/夜の鼓/越後つっし親不知/仇討/キクとイサム/また逢う日まで	18	36	1,469
	1995. 1. 4～ 2.23	監督黒澤明特集	姿三四郎/虎の尾を踏む男たち/わが青春に悔なし/生きる/野良犬/七人の侍/白痴/隠し砦の三悪人/蜘蛛巣城/悪い奴ほどよく眠る/どん底/赤ひげ/用心棒/天国と地獄/椿三十郎	30	60	3,460
	1995. 3. 3～ 3.27	俳優阪東妻三郎特集	小雀峠/影法師/闇の影法師/狐の呉れた赤ん坊/王将/破れ太鼓/おぼろ駕籠/稲妻草子/あばれ獅子	16	32	1,401
1995年度	1995. 4. 7～ 5. 1	京都府コレクションで 見る日本映画の歴史 映画生誕百年によせてー 活動写真、映画の黎明期	紅葉狩/忠臣蔵/渡川伴五郎/国定忠次/尾上松之助葬儀/路上の靈魂/狂った一頁/水戸黄門漫遊記/弁天小僧/汗/祇園小唄 絵日傘/御談治郎吉格子	16	32	1,104
	1995. 5. 5～ 5.29	京都府コレクションで 見る日本映画の歴史 映画生誕百年によせてー サイレント映画からトー キーへ	マダムと女房/生まれてはみたけれど/伊豆の踊子/お琴と佐助/妻よ薔薇のように/丹下左膳余話百万両の壺/赤西鋸太/浪華悲歌	16	32	1,530
	1995. 6. 2～ 6.26	京都府コレクションで 見る日本映画の歴史 映画生誕百年によせてー 戦前日本映画の黄金期	エノケンのちゃっきり金太/浅草の灯/血煙高田の馬場/人情紙風船/愛染かつら/花ちりぬ/鞍馬天狗 角兵衛獅子の巻/忠臣蔵 天の巻/忠臣蔵 地の巻	16	34	2,493
	1995. 6.30～ 7.22	京都府コレクションで 見る日本映画の歴史 映画生誕百年によせてー 戦前日本映画名作選	綴方教室/暖流/春秋一刀流/江戸最後の日/昨日消えた男/無法松の一生/姿三四郎	14	28	694

年度	上映期間	テ ー マ	作 品 名	日	回数	鑑賞者数
	1995. 8. 4～ 8.28	京都府コレクションで見る日本映画の歴史 映画生誕百年によせて— 戦後五十年企画 映画 に見る戦争とその傷跡	煙突屋ペロー／戦ふ兵隊／西住戦車長伝／ハワイ・マレー沖海戦／加藤隼戦隊／原爆の子／私は貝になりたい／ビルマの壺琴／野火	16	32	2,357
	1995. 9. 1～ 9.30	京都府コレクションで見る日本映画の歴史 映画生誕百年によせて— 日本映画の復興期	虎の尾を踏む男達／わが青春に悔なし／長屋紳士録／素浪人罷通る／青い山脈／続・青い山脈／破れ太鼓／おぼろ観籠／源氏物語	18	36	2,747
	1995.10. 1～10.31	京都府コレクションで見る日本映画の歴史 映画生誕百年によせて— 日本映画の隆盛と国際 的評価	羅生門／カルメン故郷に帰る／祇園囃子／地獄門／雨月物語／近松物語／山椒大夫／二十四の瞳／七人の侍	18	36	2,963
	1995.11. 3～11.27	京都府コレクションで見る日本映画の歴史 映画生誕百年によせて— 戦後日本映画の黄金期	血槍富士／警察日記／夫婦善哉／あなた買います／螢火／弁天小僧／東海道四谷怪談／浪花の恋の物語／おとうと／ぼんち／妖刀物語花の吉原百人斬り／釈迦	16	33	2,211
	1995.12.1	映画100年・京都国際 フェスティバル アメリカ作品上映会	ピクチャーブライド／ウィンズ	1	2	107
	1995.12. 3～12.10	映画100年・京都国際 フェスティバル 英国人監督ケン・ロー チ特集	ケス／レディーバード・レディーバード／まなざしと微笑み／夜空に星のあるように／家庭生活／祖国／ブラック・ジャック／狩場の管理人	5	10	1,148
	1995.12.15～ 1996. 1.29	京都府コレクションで見る日本映画の歴史 映画生誕百年によせて— 1960年代前半名作選	用心棒／座頭市物語／険の母／五番町夕霧楼／宮本武蔵 一乗寺の決斗／宮本武蔵 巖流島の決斗	20	40	2,263
	1996. 1. 6～ 1.11	京都府コレクションで振り返る 話題映画の 上映とポスター展	紅葉狩／祇園小唄絵日傘舞ひの袖／愛染かつら（総集編）／ハワイ・マレー沖海戦／君の名は／男はつらいよ 第1作	6	6	1,310
	1996. 2. 2～ 2.26	京都府コレクションで見る日本映画の歴史 映画生誕百年によせて— 1960年代以降名作選 1	日本列島／白い巨塔／雁／他人の顔／大殺陣 雄呂血／華岡清洲の妻／祇園祭	16	36	2,472
	1996. 2.10～ 2.18	「日本出版文化史展'96 京都」記念特別上映	戦争が終わった夏に／アンネの日記	4	4	112
	1996. 3. 1～ 3.30	京都府コレクションで見る日本映画の歴史 映画生誕百年によせて— 1960年代以降名作選 2	肉弾／心中天網島／薔薇の葬列／大地の子守歌／幕末／サンダカン八番娼館 望郷／曾根崎心中／近松門左衛門 鍵の権三／千利休本覚坊遺文	18	36	2,467
1996年度	1996. 4. 5～ 4.22	人間の肖像 家族、男、 古い、女 【家族】切っても切れない仲だから	一人息子／めし／浅草の灯／ここに泉あり／赤線地帯／日本の悲劇	12	24	1,593
	1996. 4.26～ 5.13	人間の肖像 家族、男、 古い、女 【男】意地・生き甲斐・ 反抗	人情紙風船／螢火／血槍富士／残菊物語／炎上／叛逆児	12	24	1,841
	1996. 5.17～ 6. 3	人間の肖像 家族、男、 古い、女 【古い】老いの予感・ 老いと女・老いと性	晩春／山の音／にっぽんのお婆ちゃん／三婆／鍵／栖山節考	12	24	2,035

年度	上映期間	テーマ	作品名	日	回数	鑑賞者数
	1996. 6. 7～ 6.24	人間の肖像 家族、男、 古い、女 【女】働く女・京女	祇園の姉妹／女優／どっこい生きてる／夜の河／喜びも悲しみも幾年月／古都	12	24	2,132
	1996. 7. 5～ 7.29	京都府フィルム・ コレクション名作映画 リクエスト特集	アトランタオリンピック記念上映：東京オリンピック 文芸作品選：ぼんち／破戒（木下版）／破戒（市川 版）／炎上 ファンタジーとSF 作品選：風の又三郎／ノンちゃん 雲に乗る／ゴジラ	16	32	3,167
	1996. 8. 2～ 8.31	京都府フィルム・ コレクション名作映画 リクエスト特集	戦争の傷跡：ビルマの壺／私は貝になりたい／き けわだつみの声／戦争と人間 第一部～第三部／人 間の条件 第一部～第五部 笑いとユーモア作品選：エノケンのちゃっきり金太 ／男はつらいよ／幕末太陽伝	18	39	4,738
	1996. 9. 1～ 9.30	京都府フィルム・ コレクション名作映画 リクエスト特集	社会派作品選：キューポラのある街／白い巨塔 時代劇 男の無念：薄桜記／切腹／人情紙風船 女性映画作品選：夜の河／愛染かつら／滝の白糸／ 祇園の姉妹	18	36	3,476
	1996.10. 4～11. 4	京都府フィルム・ コレクション名作映画 リクエスト特集	黒澤明監督作品選：用心棒／野良犬／椿三十郎／天 国と地獄／赤ひげ 現代劇名作選：喜びも悲しみも幾年月／王将／名も なく貧しく美しく／暖流／麦秋	20	40	3,868
	1996.11. 8～11.30	京都府フィルム・ コレクション名作映画 リクエスト特集	時代劇名作選：近松物語／西鶴一代女／弁天小僧／ 丹下左膳余話百万両の壺 ベスト10 作品集：雨月物語／青い山脈／二十四の 瞳	14	28	2,620
	1996.12. 1～12.23	京都府フィルム・ コレクション名作映画 リクエスト特集	ベスト10 作品集：飢餓海峡／浮雲／無法松の一生 ／羅生門／生きる／東京物語／七人の侍	14	30	3,957
	1997. 1.11～ 2. 8	東京国際映画祭ニッポ ン・シネマ・クラシッ ク in Kyoto	忠臣蔵／右門捕物帖 三番手柄／国士無双／忠臣蔵 ／朧夜の女／兄いもうと／鴛／泣き小僧／花ちりぬ ／その前夜／むかしの歌／噂の娘／春秋一刀流／続 清水港／雲母坂／仇討選手／磯の源太 抱寝の長脇 差／木曾路の鴉	14	28	2,556
	1997. 2. 9・ 2.15・ 2.22	「日本のわざと美度」 関連記録映画上映	友禅－森口華弘のわざ／彫漆－音丸耕堂のわざ／時 絵－松田権六のわざ／有職織物－喜多川平朗のわざ ／柿右衛門－にごしで／竹工芸－飯塚小玗齋のわざ ／木工芸－大野昭和齋の指物のわざ	3	3	214
	1997. 2. 9～ 3. 3	変貌する日本映画 友達・雪の道行・ 議論する人々・狂気	駅前旅館／路上の靈魂／檜山節考／青い山脈／日本 の夜と霧／本日休診／エロ事師たちより 人類学入 門	14	25	1,839
	1997. 3. 7～ 3.31	変貌する日本映画	キス：また逢う日まで／くちづけ ふたり妻：妻よ薔薇のように／猫と庄造と二人のを んな 男の死：暗殺／剣 ドロップアウト：狂った果実／893愚連隊	16	32	1,967
1997年度	1997. 4.11～ 4.28	ドキュメンタリーの 精神－亀井文夫の世界	支那事変後方記録 上海／戦ふ兵隊／信濃風土記よ り小林一茶／或日の干潟／女ひとり大地をゆく／世 界は恐怖する／人間みな兄弟	12	24	1,273
	1997. 5. 3～ 5.26	日本映画 100 年企画 銀幕を彩った スターたち	追悼萬屋錦之助：新諸国物語笛吹童子／宮本武蔵／ 宮本武蔵 般若坂の決斗／宮本武蔵 二刀流開眼／ 宮本武蔵 一乗寺の決斗／宮本武蔵 巖流島の決斗 ／臉の母／祇園祭 京マチ子：偽れる盛装／甘い汗	15	30	2,916

年度	上映期間	テ ー マ	作 品 名	日	回数	鑑賞者数
	1997. 5.30～ 6.30	日本映画 100 年企画 銀幕を彩った スターたち	原節子：河内山宗俊／晩春 榎本健一：エノケンのちゃっかり金太／虎の尾を踏む男達 高峰秀子：綴方教室／カルメン純情す 上原謙：浅草の灯／妻 田中絹代：伊豆の踊子／西鶴一代女	18	36	2,748
	1997. 6. 8	京都映画講座 1	エノケンのちゃっかり金太	1	1	190
	1997. 6.28	京都映画講座 2	伊豆の踊子	1	1	205
	1997. 7. 4～ 7.21	日本映画100年企画 銀幕を彩った スターたち	長谷川一夫・山田五十鈴・阪東妻三郎：藤十郎の恋 ／地獄門／鶴八鶴次郎／蜘蛛巣城／恋山彦／大江戸 五人男	12	24	1,814
	1997. 7. 6	京都映画講座 3	地獄門	1	1	130
	1997. 7.21	京都映画講座 4	大江戸五人男	1	1	160
	1997. 8. 1～ 9. 1	日本のハリウッド 京都撮影所特集	二条城撮影所：忠臣蔵 日活大將軍撮影所：弥次喜多 善光寺詣り／忠臣蔵 日活太秦撮影所：御詔治郎吉格子／江戸の悪太郎／ 宮本武蔵／江戸最後の日 マキノ等持院撮影所：影法師／からくり蝶 マキノ御室撮影所：砂絵呪縛／祇園小唄 絵日傘	19	38	1,494
	1997. 9. 5～ 9.29	日本のハリウッド 京都撮影所特集	双ヶ岡撮影所：鞍馬天狗 恐怖時代／滝の白糸 千恵蔵映画撮影所：右門捕物帖 三番手柄／諸語三 浪士／国士無双／気まぐれ冠者 第一映画撮影所：祇園の姉妹／四十八人目 松竹下加茂撮影所：十字路／弁天小僧／雪之丞変化	15	30	1,310
	1997. 9. 6	シネマ京都	忠臣蔵	1	1	400
	1997. 9.14	京都映画講座 5	扇屋衛門 證城寺の狸囃子／チャップリンの酔いど れ天国／坂本龍馬	1	1	200
	1997.10. 3～11. 1	日本のハリウッド 京都撮影所特集	興亜・松竹太秦撮影所：元禄忠臣蔵（前編・後編） JO スタジオ：花ちりぬ／沼津兵学校 新興キネマ京都撮影所：宝の山に入る退屈男 大映京都撮影所：山椒大夫／釈迦／悪名／眠狂四郎 殺法帖	18	36	1,841
	1997.10.26	京都映画講座 6	悪名	1	1	140
	1997.11. 2～11.29	日本のハリウッド 京都撮影所特集	松竹太秦撮影所：おぼろ駕籠／治郎吉格子／螢火／ 切腹 東映京都撮影所：血槍富士／冷飯とおさんとちゃん ／緋牡丹博徒 お龍参上／鬼龍院花子の生涯	15	30	1,506
	1997.11.23	京都映画講座 8	緋牡丹博徒 お龍参上	1	1	105
	1997.12. 5～12.20	日本映画100年企画 銀幕を彩った スターたち 2	追悼 勝新太郎：薄桜記／不知火検校／悪名／座頭 市物語	8	16	708
	1997.12.13	京都映画講座 9	平成狸合戦ぽんぽこ	1	1	105
	1998. 1. 9～ 1.26	日本映画 100 年企画 銀幕を彩った スターたち 2	吉永小百合：キューポラのある街／幕末 石原裕次郎：太陽の季節／太平洋ひとりぼっち 若尾文子：祇園囃子／越前竹人形	11	22	1,081
	1998. 1.25	京都映画講座10	火宅の人	1	1	110
	1998. 1.30～ 2.23	日本映画100年企画 銀幕を彩った スターたち 2	本暮実千代：雪夫人絵図／明治一代女 市川雷蔵：ジャン有馬の襲撃／斬る 乙羽信子：愛妻物語／裸の島 嵐寛寿郎：出世太閤記／鞍馬天狗	16	29	2,080

年度	上映期間	テーマ	作品名	日	回数	鑑賞者数
	1998. 2. 8	京都映画講座11	弁天小僧	1	1	142
	1998. 3. 1	京都映画講座12	序の舞	1	1	164
	1998. 3. 2～ 3.30	日本映画100年企画 銀幕を彩った スターたち2	追悼 三船敏郎：銀嶺の果て／野良犬／馬喰一代／ 七人の侍／隠し砦の三悪人／椿三十郎／上意討ち 拝領妻始末／千利休本覚坊遺文	15	28	2,293

b. 特別上映・共催事業

ア. 1988年度

◇日本映像学会関西支部 夏期ゼミナール

「時代劇映画 その抵抗と可能性」

期 間：1988年7月21日～23日

共 催：日本映像学会関西支部、京都府

会 場：京都府立ゼミナールハウス

◇第7回日本映画講座「シネアストたちの夢」

期 間：1988年10月8日～29日

共 催：日本映画講座実行委員会、日本映画監督協会、京都府

会 場：京都会館別館

◇特別試写会『利休の茶』

期 間：1988年10月22日～30日

共 催：桜映画社

◇マキノ旧友会同窓会

期 間：1989年3月22日

イ. 1989年度

◇日本映像学会関西支部 夏期ゼミナール

「巨匠監督の処女作、出世作の軌跡」

期 間：1989年7月12日～14日

共 催：日本映像学会関西支部、京都府

会 場：京都府立ゼミナールハウス

◇特別試写会『歌舞伎役者 片岡仁左衛門 若鮎編』

(1989年／監督：羽田澄子)

期 間：1990年2月12日

◇ドイツ映画に見る女性監督の活躍

期 間：1990年3月17日～27日

共 催：ドイツ文化センター

講演会：3月17日

「ドイツにおける女性の映画制作と

社会的評価」

レナーテ・メアマン氏（ケルン大学教授）

「女性映画特有の視点」

ヘルケ・ザンダー氏（映画監督）

ウ. 1990年度

◇特集 記録映画の世界1

「監督亀井文夫・下村兼史」講演会

期 間：1990年6月9日

「記録映画製作について」 柳沢壽夫氏（映画監督）

◇日本映像学会関西支部 夏期ゼミナール

「成瀬巳喜男 情の世界」

期 間：1990年7月16日～18日

共 催：日本映像学会関西支部、京都府

会 場：京都府立ゼミナールハウス

◇第9回日本映画講座「個性の肖像」

期 間：1990年10月6日～27日

共 催：日本映画講座実行委員会、日本映画監督協会、京都府

◇特集 映像の前衛1

UK90 全英実験映画・ビデオセレクション

「ビトウィーン・イマジネーション・

アンド・リアリティ」

期 間：1990年11月28日～30日

共 催：ブリティッシュ・カウンシル京都

講演会：11月28日

「イギリス映像芸術の最近の動向」

中村敬治氏（国立国際美術館主任研究官）

◇特集 映像の前衛1「飯村隆彦回顧展」講演会

期 間：1990年12月1日

「30年を振り返って」 飯村隆彦氏（映像作家）

◇特集 映像の前衛1

アジア・アメリカン映画祭1990

期 間：1990年12月6日～9日

共 催：京都アメリカンセンター

座談会：12月9日

「アジア系アメリカ映画とは何か」

ダリル・チン氏（映像作家）

トリン・T・ミンハ氏（映像作家）

グレッグ・アラキ氏（映像作家）

◇チップ・ロード ビデオアート個展

期 間：1991年3月17日～24日

共 催：京都アメリカンセンター

会 場：当館別館ホール

講演会：3月24日

「制作活動について」

チップ・ロード氏（映像作家）

エ. 1991年度

◇アンディ・ウォーホル映画回顧展1991

期 間：1991年4月21日～29日

協 力：イメージ・フォーラム

◇日本映像学会関西支部 夏期ゼミナール

「映画と文学」

期 間：1991年7月14日～16日

共 催：日本映像学会関西支部、京都府

会 場：京都府立ゼミナールハウス

◇特集 新興キネマの世界

期 間：1991年9月8日～11月7日

共 催：東京国立近代美術館フィルムセンター

講演会：9月29日

「新興キネマと京都の映画史」

江馬道生（当館嘱託）

10月10日

「フィルム・アーカイヴとは、映画の保存
について」 大場正敏氏（東京国立近代

美術館フィルムセンター主幹）

◇開館3周年記念 レクチャー・コンサート

「映像は、いま？ 映画という社会生産装置」

期 間：1991年10月1日

協 力：ブリティッシュ・カウンシル京都

会 場：当館別館ホール

ピアノ演奏：マイケル・ナイマン（音楽家）

◇第10回日本映画講座「魂の継承」

期 間：1991年11月9日～30日

共 催：日本映画講座実行委員会、日本映画監督協
会、京都府

◇特集 英国人監督デビット・リーン初期作品集

期 間：1991年12月1日～6日

共 催：ブリティッシュ・カウンシル京都

◇英国の新しい映像1

ピーター・グリーンハウエイ監督作品集

期 間：1992年2月1日～6日

共 催：ブリティッシュ・カウンシル京都

◇英国の新しい映像2

ベスト・オブ・ブリティッシュ・アニメーション

期 間：1992年2月20日・21日

共 催：ブリティッシュ・カウンシル京都

◇KYOTO映画塾卒業制作上映会

期 間：1992年2月24日・25日

◇映画フィルム復元

期 間：1992年2月27日

共 催：京都ドイツ文化センター

講演会：「映画の保存と復元について、ドイツでは」

エンノ・パタラス氏（ミュンヘン市

映画博物館館長）

オ. 1992年度

◇アメリカのドキュメンタリー

期 間：1992年5月21日

共 催：京都アメリカン・センター

対 談：「ハーレム135丁目ジェームス・ゴールド
ウィン抄について」

カーレン・トーセン氏（映画監督）

ダグラス・デンプシー氏（映像作家）

◇1980年代のドイツ実験映画特集

期 間：1992年5月25日～31日

共 催：京都ドイツ文化センター

ワークショップ：クリストフ・ヤネツコ氏（映像作家）

◇ビデオ・ライブ・パフォーマンス

期 間：1992年6月7日

共 催：京都アメリカン・センター

会 場：当館別館ホール

出 演：ピーター・ゴードン氏（音楽家）

キット・フィッツジェラルド氏（映像作家）

◇西鶴再発見ー女性学の視点から

期 間：1992年6月20日

共 催：京都生涯大学

◇北ドイツの実験映画と日本の個人映像作家特集

期 間：1992年6月25日～28日

共 催：京都ドイツ文化センター

◇日本映像学会関西支部 夏期ゼミナール

「追悼 依田義賢特集」

期 間：1992年7月14日～16日

共 催：日本映像学会関西支部、京都府

会 場：京都府立ゼミナールハウス

◇俳優市川雷蔵特集ポスター・スチール写真展

期 間：1992年7月17日～21日

会 場：当館別館ホール

座談会：7月19日

「市川雷蔵と大映京都」

内藤 昭氏（美術監督）

土田正義氏 (KYOTO映画塾
事務局長)

◇カメラマン宮川一夫の世界座談会

期 間：1992年9月12日

「宮川一夫の世界」

宮川一夫氏 (撮影監督)

太田米男氏 (大阪芸術大学助教授)

◇第11回日本映画講座「映画監督 自作を語る」

期 間：1992年10月3日～24日

共 催：日本映画講座実行委員会、日本映画監督協
会、京都府

◇俳優嵐寛寿郎特集ポスター・スチール写真展

期 間：1992年10月7日～11日

会 場：当館別館ホール

座談会：10月11日

「アラカンの思い出」

菅沼完二氏 (映画監督)

市川正二郎氏 (俳優)

小林 勝氏 (俳優)

◇脚本家 依田義賢の世界

期 間：1992年11月1日～12月12日

講演会：11月22日

「依田義賢について」

滝澤 一氏 (映画評論家)

◇第4回京都現代音楽フォーラム「京都・新・旧」

▽映像オペラ「ハウスウォッチ」

期 間：1992年11月23日

共 催：ブリティッシュ・カウンシル京都

会 場：当館別館ホール

▽映像インスタレーション「ペーパーハウス」

期 間：1992年12月3日～6日

共 催：ブリティッシュ・カウンシル京都

会 場：当館別館ホール

◇アメリカ人映像作家シャーレン・カズン特集

期 間：1993年1月31日～2月1日

共 催：京都アメリカン・センター

講演会：1月31日

「アメリカの女性映像作家について」

シャーレン・カズン氏 (映画監督)

◇ドイツ女性監督特集

期 間：1993年3月8日

共 催：京都ドイツ文化センター

講演会：「女性が映画をつくるとき」

ヘルマ・サンダース・ブラームス氏

(映画監督)

◇英国黒人監督特集

期 間：1993年3月12日

共 催：ブリティッシュ・カウンシル京都

講演会：「英国映画の動向 黒人監督として」

アイザック・ジュリアン氏 (映画監督)

カ. 1993年度

◇俳優 笠智衆の世界 笠智衆写真展

期 間：1993年4月1日～5月9日

撮 影：岩切卓士氏

会 場：当館別館ホール

対 談：4月3日

「俳優笠智衆について」

佐藤忠男氏 (映画評論家)

岩切卓士氏 (カメラマン)

◇監督 伊藤大輔特集

期 間：1993年6月18日～7月31日

共 催：東京国立近代美術館フィルムセンター

講演会：6月19日

「忠次旅日記の復元と監督伊藤大輔について」
佐伯知紀氏 (東京国立近代美術館フィルムセンター主任研究官)

7月18日

「監督伊藤大輔とは」

滝澤 一氏 (映画評論家)

◇伊藤大輔文庫展

期 間：1993年7月1日～7月11日

会 場：当館別館ホール

◇日本映像学会関西支部 夏期ゼミナール

「監督 今井正特集」

期 間：1993年7月20日～22日

共 催：日本映像学会関西支部、京都府

会 場：京都府立ゼミナールハウス

◇英国人俳優ピーター・セラーズ特集

期 間：1993年8月7日～14日

共 催：ブリティッシュ・カウンシル京都

◇現実の表現 日本映画とドイツ映画

期 間：1993年9月23日～10月4日

共 催：京都ドイツ文化センター

レクチャー：カルステン・ヴィッテ氏 (ベルリン大学)

◇アメリカ女性監督ジュリー・ダッシュ特集

期 間：1993年10月2日

共 催：京都アメリカンセンター

講演会：「ドーターズ・オブ・ダストについて」

ジュリー・ダッシュ氏 (映画監督)

- ◇英国監督 デレク・ジャーマン特集
期 間：1993年10月24日～26日
共 催：ブリティッシュ・カウンシル京都
- ◇英国ICA短編映画特集
期 間：1994年1月24日～28日
共 催：ブリティッシュ・カウンシル京都
- ◇アメリカの社会ドキュメンタリー特集
期 間：1994年3月12日～14日
共 催：京都アメリカン・センター
- ◇WAX-蜜蜂テレビの発見上映会
期 間：1994年3月20日
共 催：京都アメリカン・センター
講演会：「自作を語る」
デビッド・ブレア（映画監督）

キ. 1994年度

- ◇英国アニメーション作家特集
期 間：1994年4月1日・2日
共 催：ブリティッシュ・カウンシル京都
- ◇シェリー・シルバー監督特集
期 間：1994年5月20日
共 催：京都アメリカン・センター
講演会：「自作を語る」
シェリー・シルバー（映画監督）
- ◇バリ夢うつつスエチャおじさん上映会
期 間：1994年8月1日
講演会：「バリの民俗舞踊と音楽について」
中川 真氏（京都市立芸術大学助教授）
- ◇日本映像学会関西支部 夏期ゼミナール
「伊藤大輔と時代劇の情念」
期 間：1994年8月1日～3日
共 催：日本映像学会関西支部、京都府
会 場：京都府立ゼミナールハウス
- ◇英国国立映画テレビ学校学生作品特集
期 間：1994年8月28日・29日
共 催：ブリティッシュ・カウンシル京都
- ◇ラインハルト・ハウフ監督特集
期 間：1994年10月20日～25日
共 催：京都ドイツ文化センター
- ◇ロマン・ロラン没後50周年記念企画映画上演と講演会
期 間：1994年12月24日
講演会：「“ピエールとリュス”と“また逢う日まで”」
今江祥智氏（童話作家）
- ◇KYOTO映画塾卒業制作上映会

期 間：1995年3月19日～24日

ク. 1995年度

- ◇日本映像学会関西支部 夏期ゼミナール
「戦後映画 忘れられた名作」
期 間：1995年7月11日～13日
共 催：日本映像学会関西支部、京都府
会 場：京都府立ゼミナールハウス
- ◇特別試写会『絵の中の僕の村』
期 間：1995年11月21日
- ◇映画100年・京都国際フェスティバル
▽「アメリカ映画上映」
期 間：1995年12月1日
共 催：京都アメリカン・センター
▽「英国人監督ケン・ローチ特集」
期 間：1995年12月3日～10日
共 催：ブリティッシュ・カウンシル京都、川崎市
市民ミュージアム
講演会：12月3日
「ケン・ローチ監督最近作について」
ジョージ・ペリー氏（映画評論家）
- ◇映画生誕100年特別企画
「話題映画の上映とポスター展」
期 間：1996年1月6日～11日
会 場：当館別館ホール
座談会：1月6日
「尾上松之助を偲ぶ」
中村房吉氏（尾上松之助氏子息）
小林昌典氏（映画美粧、
小林弥六監督子息）

◇KYOTO映画塾卒業制作上映会

期 間：1996年3月19日・20日

ケ. 1996年度

- ◇京都府フィルムコレクション名作映画リクエスト特集
期 間：1996年7月5日～12月23日
共 催：京都府
協 力：東映太秦映画村、京都朝日シネマ、京都みなみ会館、祇園会館、プラネット映画資料図書館
- ◇日本映像学会関西支部 夏期ゼミナール
「転換期の映画・1960年代」
期 間：1996年8月1日～3日
共 催：日本映像学会関西支部、京都府

- 会場：京都府立ゼミナールハウス
- ◇ジュニファー・ジョンストン氏朗読会と映画上映
 期間：1996年9月26日・27日
 共催：ブリティッシュ・カウンシル京都、京都大学
 講演会：9月26日
 「暴力とともに生きることへの思い」
 ジュニファー・ジョンストン氏（作家）
- ◇東京国際映画祭ニッポン・シネマ・クラシック in
 Kyoto
 期間：1997年1月11日～2月8日
 後援：財団法人東京国際映像文化振興会
 講演会：1月11日
 「フィルム発掘の旅」
 山根貞男氏（映画評論家）
- ◇KYOTO映画塾卒業制作上映会
 期間：1997年3月9日・10日

コ. 1997年度

- ◇映画日本上映100年記念 京都映画講座
 期間：1997年6月～1998年3月
 共催：京都府
- ▽第1回 1997年6月8日
 「京都映画概論」 佐藤忠男氏（映画評論家）
 会場：当館別館ホール
- ▽第2回 1997年6月28日
 「活弁と映画スター」 井上陽一氏（映画解説者）
 会場：当館別館ホール
- ▽第3回 1997年7月6日
 「京都が育んだ映画スター」
 上倉庸敬氏（大阪大学教授）
- ▽第4回 1997年7月21日
 「美しい日本の時代劇」
 加藤幹郎氏（京都大学助教授）
- ▽第5回 1997年9月14日
 「活動写真の時代」
 庄林二三雄氏（大阪国際大学教授）
 会場：京都子供文化会館

- ▽第6回 1997年10月26日
 「大映京都撮影所を語る」
 田中徳三氏（映画監督）
 内藤昭氏（美術監督）
- ▽第7回 1997年11月15日
 バスツアー「探訪・京都映画地図」
 撮影所跡地、映画関連史跡探訪バスツアー
- ▽第8回 1997年11月23日
 「東映京都撮影所を語る」
 日下部五朗氏（映画プロデューサー）
- ▽第9回 1997年12月13日
 「アニメの時代」 森脇清隆（当館学芸員）
 会場：京都テルサ
- ▽第10回 1998年1月25日
 「京都映画事情 企画者から」
 佐藤雅夫氏（東映企画製作部長）
- ▽第11回 1998年2月8日
 「京都映画事情 美術監督から」
 西岡善信氏（美術監督）
- ▽第12回 1998年3月1日
 「総括・京都映画事情」 中島貞夫氏（映画監督）
- ◇日本映像学会関西支部 夏期ゼミナール
 「日本のユーモア」
 期間：1997年7月30日～8月1日
 共催：日本映像学会関西支部、京都府
 会場：京都府立ゼミナールハウス
- ◇シネマ京都
 期間：1997年9月6日
 協力：東映太秦映画村
 会場：東映太秦映画村
 出演：浜村淳氏（映画評論家）
 横田良之助氏（横田永之助氏孫子）
 中村房吉氏（尾上松之助氏子息）
- ◇KYOTO映画塾卒業制作上映会
 期間：1998年3月8日・9日

※映画タイトルは『』で表記。特に会場の記載されていない催しは当館3階映像ホールで開催した。

②ハイビジョン

年度	タイトル	期 間	日数	入場者数
1992年度	日本で見られる19世紀フランス美術Ⅰ～Ⅲ	1992. 4. 1～1992. 9.24	154	3,616
	世界やきもの紀行	1992. 9.26～1992. 9.30	5	427
	開館4周年記念映像イベント	1992.10. 1	1	1,503
	世界やきもの紀行	1992.10. 2	1	13
	日本で見られる19世紀フランス美術Ⅰ～Ⅲ	1992.10. 4～1992.10.23	16	862
	オーケストラ	1992.10.25～1992.10.31	7	354
	日本で見られる19世紀フランス美術Ⅰ～Ⅲ	1992.11. 1～1992.11.20	18	219
	再現法隆寺金堂壁画 他	1992.11.23～1992.11.29	7	150
	日本で見られる19世紀フランス美術Ⅰ～Ⅲ	1992.12. 1～1992.12.22	21	458
	大英博物館中央アジアの美	1992.12.23～1993. 1. 3	7	225
	日本で見られる19世紀フランス美術Ⅰ～Ⅲ	1993. 1. 4～1993. 1.25	21	1,278
	ラブソディ・イン・ザ・スカイ大聖堂への挑戦	1993. 1.26～1993. 1.31	6	120
	パリで見られる19世紀フランス美術Ⅰ・Ⅱ	1993. 2. 1～1993. 3.26	48	589
	花・生命の神秘 他	1993. 3.27～1993. 3.31	5	115
		計		317
1993年度	パリで見られる19世紀フランス美術Ⅰ・Ⅱ	1993. 4. 2～1993. 4.27	16	207
	ビバ!メヒコ マヤ・謎の神殿都市 他	1993. 4.13～1993. 5.30	46	994
	パリで見られる19世紀フランス美術Ⅰ・Ⅱ	1993. 5. 3～1993. 6.13	31	464
	印象派展覧会	1993. 6.14～1993. 7.31	29	523
	ジンベイザメに会える日	1993. 8. 1～1993. 8. 5	5	187
	印象派展覧会	1993. 8. 7～1993. 8.28	15	322
	進化の森、イルカの海 他	1993. 8.29～1993. 8.31	3	399
	印象派展覧会	1993. 9. 2～1993. 9.26	16	131
	いのち賛歌	1993.10. 4～1993.10.31	15	120
	葵祭・祇園祭	1993.10.27～1993.10.29	3	87
	いのち賛歌	1993.11. 1～1994. 1.23	52	374
	ビジョンズ・オブ・ライト映画撮影技術の変遷	1994. 1.29～1994. 2.28	7	266
	いのち賛歌	1994. 2. 7～1994. 3.28	30	155
	M. C. エッシャー異次元への挑戦	1994. 3.29～1994. 3.31	3	163
		計		271
1994年度	日本で見られる19世紀フランス美術Ⅰ・Ⅱ	1994. 4. 5～1994. 4.11	3	20
	祇園祭	1994. 4.12～1994. 5.15	11	1,685
	日本で見られる19世紀フランス美術Ⅰ・Ⅱ	1994. 5.16～1994. 5.23	2	22
	いのち賛歌	1994. 5.28～1994. 5.31	4	52
	日本で見られる19世紀フランス美術Ⅰ・Ⅱ	1994. 6. 1～1994. 6.21	8	98
	いのち賛歌	1994. 6.26～1994. 7. 1	6	37
	パリで見られる19世紀フランス美術Ⅰ・Ⅱ	1994. 7. 6～1994. 7.19	5	76
	コメディーへまばかり	1994. 7.27～1994. 7.30	4	73
	動物会議	1994. 8. 1～1994. 8. 4	4	37
	印象派展覧会	1994. 8.11～1994. 8.23	6	110
	ヒロ・ヤマガタの世界	1994. 8.30～1994. 9. 2	4	32
	印象派展覧会	1994. 9. 7～1994. 9. 8	2	21
	唐王朝爛漫	1994. 9.13～1994.11.25	27	3,654
	日本で見られる19世紀フランス美術Ⅰ・Ⅱ	1994.12. 5～1994.12.27	5	81
	オペラシアター椿姫	1994.12.17～1994.12.18	2	323
	いのち賛歌	1995. 1. 6～1995. 1.26	8	65
	エンマ・バルダックの愛	1995. 1.29～1995. 2. 2	5	66
	印象派展覧会	1995. 2. 7～1995. 2.28	11	110
日本で見られる19世紀フランス美術Ⅱ	1995. 3. 1～1995. 3.23	10	179	
京都歳時記 紅の春	1995. 3.28～1995. 3.31	4	93	
	計		131	6,834
1995年度	京都歳時記 紅の春	1995. 4. 1～1995. 4. 2	2	39
	冷泉家・春	1995. 4. 3～1995. 4. 4	2	18
	日本で見られる19世紀フランス美術Ⅰ	1995. 4.11～1995. 7.20	41	530
	夏休み子供特集 ハイビジョンで見る手塚治虫アニメ	1995. 7.23～1995. 8. 3	12	908
	日本で見られる19世紀フランス美術Ⅰ	1995. 8. 8～1995. 8.31	11	353
パリで見られる19世紀フランス美術Ⅰ	1995. 9. 5～1995. 9.28	11	248	

年度	タイトル	期 間	日数	入場者数
	印象派展覧会	1995.10. 3~1995.10.31	12	265
	いのち賛歌	1995.11. 1~1995.11.30	13	312
	黒澤明映画造りの神髄「まあだだよ」	1995.12. 2~1995.12.27	12	208
	いのち賛歌	1996. 1.16~1996. 1.31	7	40
	洛中洛外図屏風 I	1996. 2. 6~1996. 2.22	8	188
	パリで見られる19世紀フランス美術 I	1996. 3. 5~1996. 3.20	7	213
	春休み子供特集 忍たま乱太郎	1996. 3.26~1996. 3.31	4	457
		計	142	3,779
1996年度	春休み子供特集 忍たま乱太郎	1996. 4. 1~1996. 4. 4	4	373
	パリで見られる19世紀フランス美術 II	1996. 4. 9~1996. 4.30	9	104
	洛中洛外図屏風 I	1996. 5. 1~1996. 5.30	13	91
	洛中洛外図屏風 II	1996. 5.16~1996. 5.30	7	211
	フィレンツェ・ルネサンス II	1996. 6. 4~1996. 7.18	20	4,530
	夏休み子供特集 ウルトランキッズ	1996. 7.23~1996. 7.31	5	109
	パリで見られる19世紀フランス美術 I	1996. 8. 6~1996. 8.20	7	204
	パリで見られる19世紀フランス美術 II	1996. 8.22~1996. 8.28	3	58
	印象派展覧会	1996. 9. 3~1996. 9.25	10	161
	洛中洛外図屏風 I	1996.10. 1~1996.11.27	23	363
	洛中洛外図屏風 II	1996.12. 3~1996.12.19	8	132
	湖・三橋節子伝説	1997. 1. 7~1997. 1.29	10	145
	日本の名宝 狩野派の屏風	1997. 2. 4~1997. 2.26	10	105
	日本で見られる19世紀フランス美術 II	1997. 3. 4~1997. 3.13	6	43
	春休み子供特集 自然シリーズ	1997. 3.18~1997. 3.27	5	105
		計	140	6,734
1997年度	春休み子供特集 自然シリーズ	1997. 4. 1~1997. 4. 6	6	58
	洛中洛外図屏風 I	1997. 4. 9~1997. 4.29	8	111
	洛中洛外図屏風 II	1997. 5. 6~1997. 5.28	10	113
	匠の里の宮大工・木造の美 錦帯橋	1997. 6. 3~1997. 6.25	10	141
	美の回廊を行く	1997. 7. 1~1997. 7.22	9	196
	夏休み子ども特集 忍たま乱太郎	1997. 7.24~1997. 7.30	7	382
	讃岐の森、伝統文化が生んだ人と技	1997. 8. 7~1997. 8.27	8	176
	いのち賛歌	1997. 9. 2~1997. 9.24	10	164
	日本で見られる19世紀フランス美術 I	1997.10. 1~1997.10.28	11	107
	日本で見られる19世紀フランス美術 II	1997.11. 4~1997.12.18	17	158
	白への幻想 陶磁器の究極に挑む名工達	1998. 1. 6~1998. 1.27	9	121
	日本で見られる19世紀フランス美術 II	1998. 2. 3~1998. 2.24	9	94
	日本の名宝・狩野派の屏風	1998. 3. 3~1998. 3.19	7	52
	オペラシアター 魔笛	1998. 3. 4~1998. 3. 6	3	383
		計	124	2,256

(3)展 示

①映像ギャラリー常設展示

所蔵の映画関連資料より、明治・大正・昭和初期の映画カメラ・映写機や伊藤大輔文庫、大映京都撮影所関連資料を常設展示する。また所蔵映画作品から73作品をダイジェストして収録し検索システムとして公開している。

映像ホールの企画上映にあわせて、ポスター、スチール、チラシ等の50点前後の資料を随時展示替えている。

・映画関連機器 40点

手廻し式35mm木製カメラ(明治後期)／手廻し式

35mm映写機(大正期)／パルヴォ社製手廻し式35mmカメラ(大正期)／日本ライオン社製手廻し式35mm子供用映写機(大正期)／パター社製9.5mmパター・ベビー映写機(昭和初期)／パター社製9.5mmモート・カメラ(昭和初期)

・映画関連資料 約15点

日本映画監督協会設立時記念絵馬(1936年)／第12回ヴェネツィア国際映画祭グランプリ『羅生門』金獅子像レプリカ・賞状(1951年)／第24回アメリカ・アカデミー協会外国映画部門特別賞『羅生門』オスカー像レプリカ(1952年)／第14回ヴェネツィ

ア国際映画祭グランプリ『雨月物語』賞状(1953

年) / その他小型映画カメラ、映写機等

・伊藤大輔文庫資料

伊藤大輔自筆原稿 / シナリオ草稿 / マキノ省三氏

自筆書簡 / 伊丹万作氏自筆書簡等

・映画宣伝用スチール写真 (随時展示替え)

・映画宣伝用ポスター、チラシ (随時展示替え)

・所蔵映画作品ダイジェスト映像 73作品 (次表)

所蔵映画作品ダイジェスト映像一覧

*印は記録映画

作品名	製作年	製作会社	監督	作品名	製作年	製作会社	監督
紅葉狩*	1899年	松竹	柴田 常吉	麦秋	1951年	松竹	小津安二郎
忠臣蔵	1912年	横田商会	牧野 省三	大江戸五人男	1951年	松竹	伊藤 大輔
狂った一頁	1926年	新感覚派映画連盟	衣笠貞之助	生きる	1952年	東宝	黒澤 明
尾上松之助 葬儀*	1926年	日活作品		地獄門	1953年	大映	衣笠貞之助
臉の母	1931年	千恵蔵映画	稲垣 浩	雨月物語	1953年	大映	溝口 健二
マダムと女房	1931年	松竹	五所平之助	祇園囃子	1953年	大映	溝口 健二
伊豆の踊子	1933年	松竹	五所平之助	雲ながるる果てに	1953年	新世紀映画	家城巳代治
滝の白糸	1933年	入江プロ	溝口 健二	煙突の見える場所	1953年	エイトプロ	五所平之助
隣りの八重ちゃん	1934年	松竹	島津保次郎	東京物語	1953年	松竹	小津安二郎
丹下左膳余話・ 百万両の壺	1935年	日活	山中 貞雄	君の名は	1953		
祇園の姉妹	1936年	第一映画	溝口 健二	二十四の瞳	1954年	松竹	大庭 秀雄
一人息子	1936年	松竹	小津安二郎	女の園	1954年	松竹	木下 恵介
人情紙風船	1937年	P.C.L.・前進座・ 東宝	山中 貞雄	ゴジラ	1954年	東宝	木下 恵介
支那事変 後方記録上海*	1937年	東宝	亀井 文夫	浮雲	1955年	東宝	本多猪四郎
エノケンの ちゃっきり金太	1937年	P.C.L.・東宝	山本嘉次郎	夫婦善哉	1955年	東宝	成瀬巳喜男
五人の斥候兵	1938年	日活	田坂 具隆	流れる	1956年	東宝	豊田 四郎
愛染かつら	1938年	松竹	野村 浩将	炎上	1958年	大映	成瀬巳喜男
花ちりぬ	1938年	東宝	石田 民三	螢火	1958年	大映	市川 崑
暖流	1939年	松竹	吉村公三郎	陽のあたる坂道	1958年	日活	五所平之助
戦ふ兵隊*	1939年	東宝	亀井 文夫	私は貝になりたい	1959年	東宝	田坂 具隆
上海陸戦隊	1939年	東宝	熊谷 久虎	浪花の恋の物語	1959年	東映	橋本 忍
小島の春	1940年	東京発声	豊田 四郎	人間の條件	1959		内田 吐夢
宮本武蔵	1940年	日活	稲垣 浩		~61年	松竹	小林 正樹
或日の干潟*	1940年	理研科学	下村 兼史	大江戸の侠児	1960年	東映	加藤 泰
戸田家の兄妹	1941年	松竹	小津安二郎	裸の島	1960年	近代映画協会	新藤 兼人
信濃風土記より 小林一茶*	1941年	東宝	亀井 文夫	反逆児	1961年	東映	伊藤 大輔
元禄忠臣蔵	1941 ~42年	興亜・松竹	溝口 健二	用心棒	1961年	黒澤プロ・東宝	黒澤 明
無法松の一生	1943年	大映	稲垣 浩	私は二歳	1962年	大映	市川 崑
姿三四郎	1943年	東宝	黒澤 明	キューポラの ある街	1962年	日活	浦山 桐郎
玉将	1948年	大映	伊藤 大輔	座頭市物語	1962年	大映	三隅 研次
蜂の巣の子供たち	1948年	蜂の巣映画部	清水 宏	忍びの者	1962年	大映	山本 薩夫
晩春	1949年	松竹	小津安二郎	にっぽん昆虫記	1963年	日活	今村 昌平
青い山脈	1949年	藤本プロ・東宝	今井 正	五番町夕霧楼	1963年	東映	田坂 具隆
お嬢さん乾杯	1949年	松竹	木下 恵介	越前竹人形	1963年	大映	吉村公三郎
羅生門	1950年	大映	黒澤 明	飢餓海峡	1965年	東映	内田 吐夢
また逢う日まで	1950年	東宝	今井 正	白い巨塔	1966年	大映	山本 薩夫
				にっぽん戦後史*	1970年	東宝・日映新社	今村 昌平
				彫る 棟方志功の 世界*	1975年	美術映画製作協会	柳川 武夫

第3章 調査研究活動

第1節 調査

(1)埋蔵文化財の発掘と整理

①1986年度

◇平安京左京八条三坊七町の発掘調査

遺跡名：平安京左京八条三坊七町

所在地：京都市下京区東塩小路町579

調査期間：1987年2月1日～6月6日

依頼者：関西電力㈱

調査原因：社屋建設に伴う事前調査

調査面積：約650m²

担当者：鈴木忠司、山下秀樹、野口 実

調査概要：11～16世紀にわたる遺跡。井戸、溝、集石、土器集積土坑、埋甕、柱穴等450基の遺構を検出。

主要遺構：埋納銭土坑2基、井戸48基（10～15世紀）、埋甕（備前、常滑産）

主要出土品：埋納銭31,415枚、備前・常滑産大甕、小型銅製如来立像、石臼、瓦、磚、土馬

報告書：『平安京左京八条三坊七町 京都市下京区東塩小路町』（『京都文化博物館調査研究報告』第1集、1988年3月）

◇平安京左京三条四坊四町の発掘調査

遺跡名：平安京左京三条四坊四町（高倉宮下層遺跡）

所在地：京都市中京区曇華院前ノ町705の1、菱屋町41ほか

調査期間：1987年2月2日～6月27日

依頼者：白水化学工業㈱

調査原因：専修学校建設に伴う事前調査

調査面積：約1,200m²

担当者：植山 茂、山田邦和、片岡 肇

調査概要：調査地は四町の南半中央部にあたり、南辺築地と三条大路北側溝の一部を検出。また、下層から縄文時代の谷状地形や土坑を検出し、土器・石器が出土した。

主要遺構：築地基部、各時期の井戸・溝

主要出土品：縄文土器（晩期）、土器類、瓦類

報告書：『平安京左京三条四坊四町 京都市中京区曇華院前ノ町』（『京都文化博物館調査研究報告』第2集、1988年3月）

②1987年度

◇近衛基通公墓の発掘調査

遺跡名：近衛基通公墓

所在地：京都府綴喜郡田辺町大字普賢寺小字打垣内49・50-1・50-2

調査期間：1987年9月14日～10月14日

依頼者：勸陽明文庫

調査原因：防災工事に伴う事前調査

調査面積：約100m²

担当者：定森秀夫、藤本孝一

調査概要：明治年間に造られた近衛基通公墓と伝承される墓を移転するため、実測調査と発掘調査とを実施した。その結果、近衛基通を火葬した地ではないと判断され、また明治年間の墓の造営記録とは異なる事実も判明した。

主要遺構：外垣、門垣、敷石、内垣、家形石祠、墓石、門前燈籠、石垣

主要出土品：家形石祠、自然石碑、墓石、土師器、陶器、磁器、寛永通宝

報告書：『京都府田辺町近衛基通公墓』（『京都文化博物館調査研究報告』第3集、1988年3月）

◇吉田近衛町遺跡の発掘調査

遺跡名：吉田近衛町遺跡

所在地：京都市左京区吉田近衛町26-66・67

調査期間：1988年1月18日～5月31日

依頼者：京都府

調査原因：府営住宅吉田近衛団地の建替新築工事に伴う事前調査

調査面積：約1,200m²

担当者：南 博史、定森秀夫、野口 実

調査概要：鳥羽法皇の皇后藤原泰子の御願寺として仁平元年（1151）に創建された福勝院の推定地にあたる。明確な福勝院の遺構は検出されなかったが、13～15世紀にかけての遺構・遺物が多量に見つかった。また、北白川の氾濫層と思われる砂層を取り除いた最終面から、縄文時代晩期から弥生時代前期にかけての土器・石器などが出土した。

主要遺構：I区 掘立柱建物跡（13世紀）、溝4条、

埋甕（14世紀後半）、墓坑（14世紀）、柱穴、土坑など

Ⅱ区 石列（近世）、井戸6基、柱穴、土坑など

主要出土品：土師質皿・鍋・釜、黒色土器、須恵質甕・壺、瓦器椀、瓦質鍋、磁器・陶器類。瓦類、磚。石鍋、石硯。古銭、釘。縄文晩期～弥生前・中期の土器類、石鏃、打製石斧、石皿、台石、環状土製品

報告書：『吉田近衛町遺跡 京都市左京区吉田近衛町』（『京都文化博物館調査研究報告』第4集、1989年3月）

③1988年度

◇平安京右京五条一坊皇嘉門大路の発掘調査

遺跡名：平安京右京五条一坊皇嘉門大路
所在地：京都市中京区壬生高樋町64番地4
調査期間：1989年3月10日～4月10日
依頼者：㈱新井
調査原因：遊戯店舗兼住宅建設に伴う事前調査
調査面積：約360m²
担当者：植山 茂、山下秀樹
調査概要：調査地東端で皇嘉門大路東側溝を、西端で西側側溝の可能性のある溝状遺構を検出した。
主要遺構：皇嘉門大路東側溝
主要出土品：瓦類、万年通宝
報告書：『平安京右京五条一坊皇嘉門大路 京都市中京区壬生高樋町』（『京都文化博物館調査研究報告』第5集、1990年3月）

④1989年度

◇平安京左京五条二坊十六町の発掘調査

遺跡名：平安京左京五条二坊十六町
所在地：京都市下京区傘鉾町59・61番地
調査期間：1989年6月1日～7月31日
依頼者：村本建設㈱
調査原因：ビジネスホテル建設に伴う事前調査
調査面積：約320m²
担当者：山田邦和、鈴木忠司、南 博史
調査概要：弥生時代から江戸時代にいたる各時期の遺構・遺物を検出した。特に、弥生時代中期の遺構群（傘鉾町遺跡〔仮称〕）、平安時代後期の瓦葺小建物跡（12世紀の火災によって焼失、持仏堂か？）、江戸時代の町屋の

遺構群（土蔵、井戸、廃棄坑など）は注目される。

主要遺構：弥生時代の溝・土坑、平安時代の建物跡（雨落溝）・井戸・土坑・整地層、鎌倉・室町時代の土坑、桃山・江戸時代の建物跡・井戸・土坑

主要出土品：弥生時代の土器、平安時代の瓦・土器、桃山・江戸時代の陶磁器、中国南方産の三彩盤、李氏朝鮮産の白磁・陶器

報告書：『平安京左京五条二坊十六町 京都市下京区傘鉾町』（『京都文化博物館調査研究報告』第6集、1991年3月）

⑤1990年度

◇平安京右京五条二坊九町・十六町の発掘調査

遺跡名：平安京右京五条二坊九町・十六町
所在地：京都市右京区西院三蔵町17番地ほか
調査期間：1990年4月2日～7月7日
依頼者：㈱富士ビルディング
調査原因：ホテル建設に伴う事前調査
調査面積：約1,300m²
担当者：定森秀夫、植山 茂
調査概要：平安時代前期の野寺小路東西両側溝および建物、塀、井戸などの遺構と、当時の土師器・須恵器などの遺物を多数検出した。井戸からは9世紀後半の木製榑が出土した。中世素掘り溝も多数検出し、ナイフ形石器や縄文・弥生の石器も若干出土した。
主要遺構：野寺小路側溝、掘立柱建物、掘立柱塀、井戸、土器溜まり、土坑、中世素掘り溝
主要出土品：土師器、須恵器、緑釉陶器、黒色土器、中国陶磁、瓦、木製品、石器、石製品
報告書：『平安京右京五条二坊九町・十六町 京都市右京区西院三蔵町』（『京都文化博物館調査研究報告』第7集、1991年3月）

◇平安京右京六条四坊九町・五条大路の発掘調査

遺跡名：平安京右京六条四坊九町・五条大路
所在地：京都市右京区西院月双町36～39番地
調査期間：1990年8月6日～12月28日
依頼者：基金興業㈱
調査原因：社会保険診療支払基金事務所棟建設に伴う事前調査
調査面積：約1,300m²
担当者：山下秀樹、南 博史
調査概要：検出された遺構は、縄文後期から鎌倉時

代にわたるが、主体となるのは古墳時代中期と平安時代である。両時代の遺構には、遺物の出土量は少なかったが、重要なものがあった。鎌倉時代以降にはこのあたりは畑地になったようである。

主要遺構：古墳時代中期住居跡3基、平安京五条大路の轍・足跡・側溝

主要出土品：布留式の甕、古墳時代中期住居跡出土須恵器・土師器一括資料

報告書：『平安京右京六条四坊九町・五条大路 京都市右京区西院月双町』（『京都文化博物館調査研究報告』第8集、1991年3月）

⑥1991年度

◇平安京左京四条四坊四町の発掘調査

遺跡名：平安京左京四条四坊四町

所在地：京都市中京区阪東屋町661番地ほか

調査期間：1991年4月1日～10月12日

依頼者：(株)大丸

調査原因：大丸京都店増築に伴う事前調査

調査面積：約950m²

担当者：植山 茂、定森秀夫

調査概要：江戸時代前期の鏡鑄造工房を発見した。また、下層から弥生時代中～後期の溝状遺構・流路を検出。

主要遺構：鑄造関係遺構（江戸）、井戸（平安～鎌倉）、溝状遺構（弥生）

主要出土品：鏡鑄型・埴塼・陶磁器類（江戸）、弥生土器類（後期）

報告書：『平安京左京四条四坊四町 京都市中京区阪東屋町』（『京都文化博物館調査研究報告』第9集、1993年3月）

◇匂坂中遺跡（北、南区）の整理

遺跡名：匂坂中遺跡（北、南区）

所在地：静岡県磐田市匂坂中

整理期間：1991年10月1日～1992年3月31日

依頼者：磐田市教育委員会

担当者：鈴木忠司

作業概要：発掘資料整理

遺構・出土品：1993年度の項参照

⑦1992年度

◇宮ノ口遺跡の発掘調査

遺跡名：宮ノ口遺跡

所在地：京都府綴喜郡田辺町大字宮津小字鳥羽田50

調査期間：1992年7月13日～9月11日

依頼者：関西電力(株)

調査原因：関西電力三山木変電所内における変電施設新築工事に伴う事前調査

調査面積：530m²

担当者：南 博史、山田邦和、山下秀樹

調査概要：鎌倉時代を中心に4つの遺構面が認められた。おもな遺構は14世紀前半頃の掘立柱建物跡、柱根が残る柱穴、井戸などである。とくに南北方向の段状遺構は、その上面でもほぼ同じ位置に検出されており、耕作関係の溝（畝）が多く見つかっていることから、居住地から耕作地への土地利用の変化が見てとれた。

主要遺構：耕作関係溝（畝）、段状遺構、井戸、池状遺構、溝、掘立柱建物跡3棟、土坑、柱穴など

主要出土品：土師質皿・鍋、瓦器碗・皿、須恵質甕、瓦質鍋、陶器類。瓦類。漆塗椀。古墳時代後期須恵器（杯蓋・杯身・壺・瓶）

報告書：『宮ノ口遺跡 京都府綴喜郡田辺町』（『京都文化博物館調査研究報告』第10集、1993年3月）

◇匂坂中遺跡（北、南区）の整理

遺跡名：匂坂中遺跡（北、南区）

所在地：静岡県磐田市匂坂中

整理期間：1992年4月1日～1993年3月31日

依頼者：磐田市教育委員会

担当者：鈴木忠司

作業概要：発掘資料整理

遺構・出土品：1993年度の項参照

⑧1993年度

◇匂坂中遺跡（北、南区）の整理と報告書の作成

遺跡名：匂坂中遺跡（北、南区）

所在地：静岡県磐田市匂坂中

整理期間：1993年4月1日～1994年3月31日

依頼者：磐田市教育委員会

遺跡面積：40,000m²

担当者：鈴木忠司

作業概要：発掘資料整理・報告書作成

遺跡概要：岩宿時代～縄文時代におよぶ集落遺跡

主要遺構：礫群、配石、石器ブロック、土坑、焼土土坑

主要出土品：ナイフ形石器、細石刃、石槍、彫器

報告書：『静岡県磐田市匂坂中遺跡群発掘調査報告書 磐田北部工業団地造成事業に伴う発掘調査』（静岡県企業局・磐田市教育委員会、1994年3月）

⑨1994年度

◇平安京左京六条三坊七町の発掘調査

遺跡名：平安京左京六条三坊七町
所在地：京都市下京区小田原町241-1～3番地・東鋸屋町179番地

調査期間：1994年4月18日～9月30日

依頼者：(株)長谷ビル

調査原因：ビジネスホテル建設に伴う事前調査

調査面積：545m²

担当者：定森秀夫、山下秀樹

調査概要：平安時代後期から江戸時代にわたる六条坊門小路の路面と北側溝を重複して検出した。また平安時代から近現代の遺構・遺物を多数検出し、遺物では室町後期の铸造関係遺物、近世のタイ四耳壺・ベトナム長胴甕・華南三彩、19世紀中頃のヨーロッパ陶器などが特筆される。

主要遺構：六条坊門小路路面・北側溝、溝、建物、柱穴、井戸、土坑

主要出土品：土師器、須恵器、緑釉陶器、灰釉陶器、中国陶磁、瓦、陶器、磁器、铸造関係遺物

報告書：『平安京左京六条三坊七町 京都市下京区小田原町・東鋸屋町』（『京都文化博物館調査研究報告』第11集、1995年9月）

◇匂坂中遺跡（東区）の整理

遺跡名：匂坂中遺跡（東区）

所在地：静岡県磐田市匂坂中

整理期間：1994年4月1日～1995年3月31日

依頼者：磐田市教育委員会

担当者：鈴木忠司

作業概要：発掘資料整理

遺構・出土品：1995年度の項参照

◇宮ノ口遺跡の第2次発掘調査

遺跡名：宮ノ口遺跡

所在地：京都府綴喜郡田辺町大字宮津小字鳥羽田50

調査期間：1995年2月6日～1995年7月1日

依頼者：関西電力(株)

調査原因：関西電力三山木変電所内における変電施設増設工事に伴う事前調査

調査面積：660m²

担当者：南 博史、山田邦和

調査概要：1992年度に続く第2次調査である。前回の調査結果も踏まえて6つの時期に区分した。Ⅰ期は古墳時代後期を中心。加えて古墳時代前期や弥生時代前期の資料も出土しており、遺跡の始まりがさらに古くなった。Ⅱ期は鎌倉時代に相当する。Ⅲ期は、14世紀前半から中葉にかけての時期。さらに14世紀中葉から15世紀にかけてのⅣ期以降は、耕作地として遺跡が形成されていく。

主要遺構：＜Ⅱ層＞人・牛足跡。＜Ⅴ層＞段状遺構、井戸4基、池状遺構2、溝、掘立柱建物跡3棟、土器集中部、土坑、柱穴など。＜Ⅴ層下面＞井戸、土坑

主要出土品：土師質皿・鍋、瓦器碗・皿、須恵質甕、瓦質鍋、陶器、青磁。瓦類。古銭。漆塗椀、下駄、曲物容器、木球、編物、面取り柱・柱根・杭。古墳時代須恵器（杯蓋・杯身・壺）、土師器（甕・鉢・高杯・複合口縁壺・器台）、砥石。弥生時代壺型土器、石鍬

報告書：『宮ノ口遺跡—第2次発掘調査—京都府綴喜郡田辺町』（『京都文化博物館調査研究報告』第12集、1996年3月）

⑩1995年度

◇内里八丁遺跡G地区の発掘調査

遺跡名：内里八丁遺跡（G地区）

所在地：八幡市内里日向堂・上奈良長池

調査期間：1995年6月19日～1996年3月28日

依頼者：日本道路公団

調査原因：第二京阪道路建設に伴う事前調査

調査面積：約2,400m²

担当者：植山 茂、定森秀夫、山下秀樹

調査概要：平安～江戸時代の耕作関係遺構、飛鳥・奈良時代の井戸・鍛冶関係土坑、古墳周溝、古墳時代中～後期の住居・溝などを検出した。

主要遺構：竪穴住居・溝（古墳前期）、古墳（古墳後期）、井戸（奈良）、流路（鎌倉）

主要出土品：土師器・須恵器・瓦器

◇匂坂中遺跡（東区）の整理と報告書の作成

遺跡名：匂坂中遺跡（東区）

所在地：静岡県磐田市匂坂中

整理期間：1995年4月1日～1996年3月31日

依頼者：磐田市教育委員会

遺跡面積：40,000m²

担当者：鈴木忠司

作業概要：発掘資料整理・報告書作成

遺跡概要：岩宿時代～古墳時代におよぶ集落遺跡、古墳。

主要遺構：礫群、配石、石器ブロック、住居址、焼土土坑、古墳

主要出土品：ナイフ形石器、細石刃、石槍、彫器、押型文土器、鉄器、須恵器

報告書：『静岡県磐田市句坂中遺跡発掘調査報告書 II 磐田北部工業団地造成事業に伴う発掘調査』（静岡県企業局・磐田市教育委員会、1996年3月）

⑪1996年度

◇内里八丁遺跡G地区の発掘調査

遺跡名：内里八丁遺跡（G地区）

所在地：八幡市内里日向堂・上奈良長池

調査期間：1996年4月1日～1997年3月18日

依頼者：日本道路公団

調査原因：第二京阪道路建設に伴う事前調査

調査面積：約2,600m²

担当者：植山 茂、定森秀夫、山下秀樹

調査概要：平安～江戸時代の耕作関係遺構・溝、古墳時代中～後期の溝、弥生時代中期の住居・土坑などを検出した。

主要遺構：竪穴住居（弥生）、流路（古墳）、池・流路（鎌倉）

主要出土品：土器・石器（弥生）、土師器・木製品（古墳）、瓦器・鉄鍬（鎌倉）

⑫1997年度

◇内里八丁遺跡G地区の整理と報告書の作成

遺跡名：内里八丁遺跡（G地区）

所在地：八幡市内里日向堂・上奈良長池

整理期間：1997年4月1日～1998年3月31日

依頼者：日本道路公団

調査面積：約5,000m²

担当者：植山 茂、定森秀夫、山下秀樹

作業概要：1995・1996年度発掘調査の整理・報告書作成

報告書：『内里八丁遺跡 第二京阪道路建設に伴う京都府八幡市所在遺跡の調査』（『京都文化博物館調査研究報告』第13集、1998年3月）

(2)歴史民俗資料調査

◇京都府内の水運文化に関する調査

調査期間：1988年4月～1990年3月

担当者：塩見嘉久、大塚活美

調査概要：由良川の水運について、福知山市市川北の船大工や、福知山市福知山の古老から聞き取り調査を行った。この調査は京都府立総合資料館からの受託により行った（1984年度から1987年度までは京都府立総合資料館で実施）。

報告：塩見嘉久、大塚活美「聞き取り；京都府内の河川水運」（京都文化博物館研究紀要『朱雀』第3集、京都文化博物館、1990年3月）

◇京都府内における資料館等所蔵の紀年銘民具の調査

調査期間：1990年4月～1995年3月

担当者：塩見嘉久、大塚活美

調査概要：京都府内の各市町村の小学校、資料館、教育委員会等に所蔵されている民具のうち、紀年銘をもつ民具についての情報収集を実施した。この調査は、京都府立総合資料館

からの受託により行った。

1990年度は、亀岡市の川東小学校（馬路町）、東別院小学校（東別院町）、北桑田郡の弓削小学校（京北町上弓削）、矢代小学校（京北町矢代中）、黒田小学校（京北町宮）、宮島小学校（美山町島）、船井郡の日吉町教育委員会（日吉町保野田）、殿田小学校（日吉町殿田）、富本小学校（八木町青戸）、八木小学校（八木町八木）、川辺小学校（園部町船岡）、摩気小学校（園部町穴人）、西本梅小学校（園部町南八田）、園部小学校（園部町園部）において調査した。

1991年度は福知山市の郷土資料館において調査した。

1992年度は向日市の向日市文化資料館（寺戸町）、長岡京市の長法寺小学校（長法寺町）において調査した。

1993年度は向日市の第3向陽小学校（森本町）、第5向陽小学校（上植野町）、長岡京市の神足小学校（神足）、八幡市の有智

郷市民センター（内里）、宇治市の伊勢田小学校（伊勢田町）、巨椋池土地改良区資料館（槇島町）、久世郡の御牧小学校（久御山町相島）、東角小学校（久御山町左古）において調査した。

1994年度は城陽市の久津川小学校（平川町）、今池小学校（寺田町）、綴喜郡の田辺東小学校（田辺町東）、宇治田原小学校

（宇治田原町岩山）、宇治田原町教育委員会（宇治田原町荒木）、相楽郡の川西小学校（精華町北稲八間）、木津川台小学校（木津町木津川台）、恭仁小学校（加茂町例幣）、農村婦人の家（南山城村田山）、山城町教育委員会（山城町上狛）において調査した。

第2節 学芸員の活動

(1)博物館研究費による研究

①1987年度

片岡 肇・南 博史

近畿地方における縄文時代終末期の研究

鈴木忠司・山下秀樹 日本文化の源流の研究

藤本孝一・野口 実

平安京の基礎的研究－文献学的研究－

植山 茂・山田邦和

平安京の基礎的研究－考古学的研究－

定森秀夫・川西宏幸・山田邦和

日本における朝鮮半島系遺物の研究

②1988年度

石沢誠司 小京都の工芸に関する研究

小森浩一・石沢誠司 欽古堂亀祐の研究

大塚活美 民俗学的側面からみた京都文化

浅野恵子 染の型紙に関する研究

片岡 肇・南 博史

近畿地方における縄文時代終末期の研究

鈴木忠司 日本文化の源流の研究

藤本孝一 平安京の基礎的研究－文献学的研究－

植山 茂・山田邦和

平安京の基礎的研究－考古学的研究－

定森秀夫 日本における朝鮮半島系遺物の研究

③1989年度

高木多喜男 西山翠嶂の人と画業

石沢誠司 小京都の研究

小森浩一・石沢誠司 欽古堂亀祐の研究

塩見嘉久・大塚活美 京都府内社寺奉納額の研究

大西基子 浅井忠の足跡－関西美術院の人々－

大塚活美 日本中世における都市・村落の年中行事

浅野恵子 明治・大正期の染織－その意匠の特徴－

片岡 肇・南 博史

近畿地方における縄文時代終末期の研究

鈴木忠司 日本文化の源流の研究

藤本孝一 平安京の基礎的研究－文献学的研究－

植山 茂・山田邦和・片岡 肇

平安京の基礎的研究－考古学的研究－

定森秀夫 日本における朝鮮半島系遺物の研究

④1991年度

藤本恵子 明治・大正・昭和初期の染織

長舟洋司 芸術思潮と制作の現場

片岡 肇 京都府博物館の研究

鈴木忠司 近畿地方細石刃文化の研究

藤本孝一 類聚雑要抄の研究

植山 茂 平安京所用瓦の基礎的研究

山下秀樹 石器組成に見る岩宿時代西南日本太平洋岸の独自性の研究

定森秀夫 日本列島における朝鮮半島系遺物の研究

南 博史 彩陶・彩文土器の研究

⑤1992年度

大西基子 京都画壇における西村五雲

大塚活美 祇園祭の伝播と展開について

藤本恵子 型友禅に見る近代染織意匠の欧風化

長舟洋司 中井正一とその周辺

田島達也 円山派研究

片岡 肇 京都府博物館の研究

鈴木忠司 沿日本海地域岩宿文化の研究－京都府下を例として－

藤本孝一 貴族社会の古文書伝領について－下冷泉家の場合－

植山 茂 平安京所用瓦の基礎的研究

山下秀樹 A T前後の九州南半の石器群の独自性について

南 博史 彩陶・彩文土器の研究

山田邦和 須恵器生産の地域色に関する研究

⑥1993年度

大西基子 西村五雲と京都画壇
大塚活美 祇園祭の伝播と展開について
田島達也 円山派研究—人物画における四条派との比較—
藤本孝一 古典籍の書誌的復原
植山 茂 平安京所用瓦の基礎的研究
山下秀樹 西南日本における扶入石器の展開
定森秀夫 日本列島における朝鮮半島系遺物の研究
山田邦和 平安京・中世京都の比較都市史的研究

⑦1994年度

大西基子 西村五雲をとりまく時代の作家について
大塚活美 祇園祭の伝播と展開について
藤本恵子 近代図案の傾向と図案家の活動について
長舟洋司 博物館年少者教育プログラムに関する基礎調査
田島達也 岡本春暉の研究
洲鎌佐智子 京都における漆器生産の現状とその技術的動向調査
鈴木忠司 日本細石刃文化遺跡地名表の作成
定森秀夫 日本列島における朝鮮半島系遺物の研究
南 博史 英国における博物館調査—常設展示改訂への情報収集—
山田邦和 平安京・中世京都の比較都市史的研究(2)

⑧1995年度

大西基子 京都日本画の近代化について
藤本恵子 日本の近代における工芸意匠の発達について
長舟洋司 日本初期洋画に見えるロマンティズムの範囲
洲鎌佐智子 近世の細工工芸の図案について
藤本孝一 廬山寺遺品の伝領について

(2)外部研究費・共同研究費等による研究

①1988年度

南 博史 ・京都文化財団・古代学協会・古代学研究所・コンピュータシステム共同研究「考古学におけるコンピュータの利用」

植山 茂 平安京所用瓦の基礎的研究
山下秀樹 岩宿時代遺跡の微地形と遺物分布
定森秀夫 日本列島における朝鮮半島系遺物の研究
南 博史 縄文時代における樹皮製遺物の研究
山田邦和 須恵器生産展開課程の研究
大塚活美 祇園祭の伝播と展開について

⑨1996年度

石沢誠司 七夕人形の研究
古郷彰治 戦後日本の工業デザインに見られる京都文化の影響について
大西基子 西村五雲と石崎光瑤の画業展開と、京都における位置付け、および現代京都画壇との関わり
長舟洋司 日本初期洋画に見るロマンティズムの範囲(2)
田島達也 江戸期京都画壇の合筆作品の研究
洲鎌佐智子 江戸時代における工芸図案について
片岡 肇 洛中洛外図屏風の集成と類型化の試み
鈴木忠司 彫器製作と専門工人集落
藤本孝一 廬山寺遺品の伝領について(続)
植山 茂 平安京所用瓦の基礎的研究
山下秀樹 岩宿時代遺跡の石器分布と微地形
定森秀夫 日本列島における朝鮮半島系遺物の研究
南 博史 樹皮製遺物の考古学・民俗学的研究
山田邦和 須恵器生産展開課程の研究(その2)

⑩1997年度

石沢誠司 七夕人形の研究
野口 剛 近世における中世以来の図像伝統の研究
片岡 肇 洛中洛外図屏風の類型の展開
藤本孝一 天福本伊勢物語の研究
植山 茂 平安京所用瓦の基礎的研究
山下秀樹 岩宿時代遺跡における石器分布と微地形
定森秀夫 日本列島における朝鮮半島系遺物の研究
大塚活美 祇園祭の伝播と展開について

②1989年度

植山 茂 ・1989年度文部省科学研究費補助金一般研究(C)「西日本における平安時代の瓦生産と供給に関する研究」

③1990年度

- 鈴木忠司 ・ 文部省重点領域研究補助金による研究「環境と文明－東アジアの環境と文明－」(研究代表者：金関愨) 共同研究員
- 定森秀夫 ・ 平成2年度公益信託西田記念東洋陶磁史研究助成基金による研究活動「日本出土の朝鮮陶質土器」

④1991年度

- 高木多喜男 ・ 平成3年度美術館連絡協議会花王・学芸員研究補助「西山翠嶂の人と画業に関する基礎調査(年譜私案)」
- 大塚活美 ・ 平成3年度文部省科学研究費補助金奨励研究(B)「室町時代の巡礼札の形態と奉納状況」
- 鈴木忠司 ・ 文部省重点領域研究補助金による研究「環境と文明－東アジアの環境と文明－」(研究代表者：金関愨) 共同研究員
- 植山 茂 ・ 韓国文化研究振興財団1991年度研究助成「韓国慶州地域寺院所用瓦の研究」(研究代表者：松井忠春) 共同研究員
- 山下秀樹 ・ 文部省重点領域研究補助金による研究「超細密磁場測定及び古地磁気学的手法による被熱遺構探査」(研究代表者：森永速男) 共同研究員
- 定森秀夫 ・ 韓国文化研究振興財団1991年度研究助成「韓国慶州地域寺院所用瓦の研究」(研究代表者：松井忠春) 共同研究員
- 南 博史 ・ 平成3年度美術館連絡協議会海外派遣研修「彩陶・彩文土器と世界古代文明の源流展(仮題)計画実施のための実見調査－中国華北およびアジア各地域における彩陶・彩文土器資料の調査－」

⑤1992年度

- 鈴木忠司 ・ 文部省重点領域研究補助金による研究「環境と文明－東アジアの環境と文明－」(研究代表者：金関愨) 共同研究員
- 山下秀樹 ・ 文部省重点領域研究補助金による研究「超細密磁場測定及び古地磁気学的手法による被熱遺構探査」(研究代表者：森永速男) 共同研究員
- 定森秀夫 ・ 平成4・5年度科学研究費補助金(総合研究A)(研究代表者：白石太一郎)「伽耶および日本の古墳出土遺物の比較研究」

- ・ 平成4年度文部省科学研究費補助金奨励研究(B)「東北地方出土の朝鮮陶質土器」

⑥1993年度

- 山下秀樹 ・ 文部省重点領域研究補助金による研究「超細密磁場測定及び古地磁気学的手法による被熱遺構探査」(研究代表者：森永速男) 共同研究員
- 南 博史 ・ 平成5年度文部省科学研究費補助金奨励研究(B)「縄文時代における樹皮製遺物の研究」

⑦1994年度

- 大塚活美 ・ 国立歴史民俗博物館特定研究「近畿の村落社会と民衆 課題B 神社祭祀と村落祭祀に関する調査・研究」共同研究員
- 植山 茂 ・ 平成6年度文部省科学研究費補助金奨励研究(B)「平安京跡出土の南都系瓦」
- 藤本孝一 ・ 平成6年度文部省科学研究費補助金奨励研究(B)「紀貫之『土佐日記』の復原的研究－書誌的方法論を中心として－」
- 山下秀樹 ・ 文部省重点領域研究補助金による研究「超細密磁場測定及び古地磁気学的手法による被熱遺構探査」(研究代表者：森永速男) 共同研究員
- ・ 平成6年度文部省科学研究費補助金奨励研究(B)「ナイフ形石器群に伴うスクレイパー類の研究」

⑧1995年度

- 田島達也 ・ 平成7年度文部省科学研究費補助金奨励研究(B)「近世京都画壇人名録の集成」
- 片岡 肇 ・ 平成7年度文部省科学研究費補助金奨励研究(B)「洛中洛外図屏風の集成と類型化の試み」
- 鈴木忠司 ・ 平成7年度文部省科学研究費補助金奨励研究(B)「日本細石刃文化の集落構成」
- ・ 静岡県教育委員会共同研究「陥穴状土坑をめぐる諸問題」共同研究員
- 山下秀樹 ・ 文部省重点領域研究補助金による研究「超細密磁場測定及び古地磁気学的手法による被熱遺構探査」(研究代表者：森永速男) 共同研究員
- 南 博史 ・ 共同研究「エルサルバドルにおける先住

民文化の総合的研究」共同研究員
大塚活美・国立歴史民俗博物館特定研究「近畿の村落社会と民衆 課題B 神社祭祀と村落祭祀に関する調査・研究」共同研究員

⑨1996年度

南 博史・斎藤報恩会助成金「縄文文化と新大陸古期先住民文化の比較研究」共同研究員
・(展示協力)「マヤ古代文明の遺産展」(ツルモトルム企画、下関市立美術館・八戸市博物館・北海道立帯広美術館・北海道立旭川美術館)
大塚活美・平成8年度文部省科学研究費補助金奨励研究(B)「各地に伝わる大文字送り火の成立課程の研究」

⑩1997年度

大西基子・平成9年度文部省科学研究費補助金奨励研究(B)「京都画壇における近代化と現在の京都画壇－近代化・現代化の過程

の中で何を残したか」

洲鎌佐智子・平成9年度文部省科学研究費補助金奨励研究(B)「近代京都における工芸関係資料の収集とデータベース化」
藤本孝一・国立国文学資料館「古典籍自筆本の集成とその科学的判定法に関する基礎的研究」
定森秀夫・韓国文化研究振興財団1997年度研究助成「陶質土器から見た古墳時代の東日本と朝鮮－日本列島出土の朝鮮半島系文物の研究－」
南 博史・日本科学財団笹川科学助成金「歴史系博物館における教育活動」
・文部省科学研究費補助金(国際学術研究)「メソアメリカ先住民文化の総合的研究」研究協力者〈「エルサルバドル調査」〉
・斎藤報恩会助成金「縄文文化と新大陸古期先住民文化の比較研究」共同研究員
山田邦和・平成9年度文部省科学研究費補助金奨励研究(B)「平安京地誌学の基礎的研究」

(3)出講・委嘱

①1988年度

大塚活美・滋賀県教育委員会委嘱 諸職調査
片岡 肇・京都府立大学出講(通年)
「博物館実習講義」
・京都府立大学出講(通年) 「考古学」
・古代学協会委嘱 研究員(下半年期)
鈴木忠司・奈良国立文化財研究所 昭和63年度埋蔵文化財発掘技術者専門研修「石器調査過程」講師
・古代学協会委嘱
『古代文化』刊行委員会編集委員
藤本孝一・敦賀女子短期大学出講(前期)
「日本美術史」
・敦賀女子短期大学出講(後期)
「日本文化史」
・古代学協会委嘱 研究員
・古代学協会委嘱
『古代文化』刊行委員会編集委員
・滋賀県教育委員会大般若経調査
川西宏幸・古代学協会委嘱 研究員
野口 実・立命館大学出講(通年)
「日本史史料購読」

・京都府婦人センター生活文化講座
・古代学協会委嘱 研究員
・古代学協会委嘱
『古代文化』刊行委員会編集委員
植山 茂・古代学協会委嘱
『古代文化』刊行委員会編集委員
定森秀夫・古代学協会委嘱 研究員
・古代学協会委嘱
『古代文化』刊行委員会編集委員
南 博史・京都外国語大学出講(後期)
「博物館実習Ⅰ」
・奈良国立文化財研究所 昭和63年度埋蔵文化財発掘技術者専門研修「遺物・遺構の位置記録および自動図化システム－考古学におけるパーソナルコンピュータの利用－」講師
・古代学協会委嘱 研究員
・古代学協会委嘱
『古代文化』刊行委員会編集委員
山田邦和・古代学協会委嘱 研究員
菊谷恭平・京都府産業技術コンクール
審査委員会委員

水口 薫 ・ 国際日本文化研究センター

研究資料委員会

②1989年度

高木多喜男 ・ 京都市芸術文化協会委嘱

「'90美術選抜展」選考委員

石沢誠司 ・ 国立民族学博物館委嘱

民族学資料評価委員

浅野恵子 ・ 京都国立博物館委嘱 有形文化財評価員

片岡 肇 ・ 京都府立大学出講（通年）

「博物館実習講義」

・ 古代学協会委嘱 非常勤講師

・ 古代学協会委嘱 エジプト委員会委員

・ 古代学協会委嘱

『平安京提要』編集委員会編集委員

・ 山城町教育委員会委嘱

涌出宮遺跡発掘調査指導

鈴木忠司 ・ 古代学協会出向 研究員

・ 古代学研究所 助教授

・ 古代学協会委嘱

『古代文化』刊行委員会編集委員

藤本孝一 ・ 敦賀女子短期大学出講（通年）

「日本文化史」

・ 古代学協会出向 研究員

・ 古代学研究所 助教授

・ 古代学協会委嘱

『古代文化』刊行委員会編集委員

植山 茂 ・ 古代学協会委嘱

『古代文化』刊行委員会編集委員

・ 山城町教育委員会委嘱

高麗寺跡発掘調査指導

定森秀夫 ・ 大阪府埋蔵文化財協会委嘱 遺物鑑定

・ 松山市埋蔵文化財センター・松山大学委嘱 発掘調査現地指導

・ 古代学協会委嘱

『古代文化』刊行委員会編集委員

南 博史 ・ 京都外国語大学出講（通年）

「博物館実習Ⅰ」

・ 奈良国立文化財研究所 平成元年度埋蔵文化財発掘技術者専門研修「遺物・遺構の位置記録および自動化システムー考古学におけるパーソナルコンピューターの利用ー」講師

・ 古代学協会出向 研究員

・ 古代学研究所 助手

・ 古代学協会委嘱

『古代文化』刊行委員会編集委員

山田邦和 ・ 同志社大学出講（通年）「考古学実習」

・ 古代学協会出向 研究員

・ 古代学研究所 助手

・ 古代学協会委嘱

『古代文化』刊行委員会編集委員

・ 古代学協会委嘱

『平安京提要』編集委員会編集委員

苅谷恭平 ・ 京都府産業技術コンクール

審査委員会委員

③1990年度

高木多喜男 ・ 京都市芸術文化協会委嘱

「'91美術選抜展」選考委員

・ 京都国立博物館委嘱 有形文化財評価員

片岡 肇 ・ 京都府立大学出講（通年）

「博物館実習講義」

・ 古代学協会委嘱

『平安京提要』編集委員会編集委員

鈴木忠司 ・ 古代学協会出向 研究員

・ 古代学研究所 助教授

・ 古代学協会委嘱

『古代文化』刊行委員会編集委員

藤本孝一 ・ 敦賀女子短期大学出講（通年）

「日本文化史」

・ 古代学協会委嘱

『古代文化』刊行委員会編集委員

・ 宮津市委嘱 宮津市史調査員

植山 茂 ・ 京都府立大学出講（後期）「考古学概論」

・ 山城町教育委員会委嘱

蟹満寺発掘調査指導

南 博史 ・ 京都外国語大学出講（通年）「考古学」

・ 京都外国語大学出講（通年）

「博物館実習Ⅰ」

・ 古代学協会委嘱

『古代文化』刊行委員会編集委員

山田邦和 ・ 同志社大学出講（通年）「南山城の古代」

・ 同志社大学出講（通年）「考古学実習」

・ 古代学協会出向 研究員

・ 古代学研究所 助手

・ 古代学協会委嘱

『古代文化』刊行委員会編集委員

・ 古代学協会委嘱

『平安京提要』編集委員会編集委員

荻谷恭平 ・京都府産業技術コンクール
 審査委員会委員
 水口 薫 ・国際日本文化研究センター
 日本文化に関する映像資料検討会

④1991年度

高木多喜男 ・京都市芸術文化協会委嘱
 「'92美術選抜展」選考委員
 大塚活美 ・京都府教育委員会委嘱 諸職調査調査員
 田島達也 ・京都芸術短期大学出講（前期）
 「美術概論Ⅰ」
 ・京都府婦人センター歴史講座
 ・長岡京市委嘱 長岡京市史執筆委員
 片岡 肇 ・京都府立大学出講（通年）
 「博物館実習講義」
 ・古代学協会委嘱
 『平安京提要』編集委員会編集委員
 鈴木忠司 ・磐田市教育委員会委嘱
 匂坂遺跡群発掘調査調査指導員
 ・古代学協会委嘱
 『古代文化』刊行委員会編集委員
 藤本孝一 ・同志社大学出講（後期） 「古文書学」
 ・敦賀女子短期大学出講（後期）
 「日本文化史」
 ・古代学協会委嘱
 『古代文化』刊行委員会編集委員
 ・宮津市委嘱 宮津市史調査員
 植山 茂 ・京都府立大学出講（通年）「考古学概論」
 ・山城町教育委員会委嘱
 蟹満寺発掘調査指導
 定森秀夫 ・帝塚山考古学研究所委嘱 共同研究員
 南 博史 ・京都外国語大学出講（通年）「考古学」
 ・京都外国語大学出講（通年）
 「博物館実習Ⅰ」
 ・古代学協会委嘱
 『古代文化』刊行委員会編集委員
 山田邦和 ・同志社大学出講（通年）「南山城の古代」
 ・同志社大学出講（通年）「考古学実習」
 ・古代学協会出向 研究員
 ・古代学研究所 助手
 ・古代学協会委嘱
 『古代文化』刊行委員会編集委員
 ・古代学協会委嘱
 『平安京提要』編集委員会編集委員
 荻谷恭平 ・京都府産業技術コンクール

審査委員会委員

洲鎌佐智子 ・京都府教育委員会委嘱 諸職調査調査員

⑤1992年度

高木多喜男 ・京都市芸術文化協会委嘱
 「'93美術選抜展」選考委員
 谷口知己 ・京都市委嘱
 「第2回京都府工芸選抜展」選考委員
 ・福知山市委嘱
 「福知山市美術展」審査員（工芸）
 塩見嘉久 ・田辺町教育委員会委嘱
 伏見人形展展示指導
 大塚活美 ・京都府教育委員会委嘱 諸職調査調査員
 ・滋賀県教育委員会委嘱 祭礼調査調査員
 藤本恵子 ・成安女子短期大学出講（前期）「染織概論」
 ・京都国立博物館委嘱 有形文化財評価員
 長舟洋司 ・京都府婦人センター歴史講座
 田島達也 ・舞鶴市教育委員会委嘱
 文化財指定事業現地指導講師
 ・京都府婦人センター歴史講座
 片岡 肇 ・京都府立大学出講（通年）
 「博物館実習講義」
 ・古代学協会委嘱
 『平安京提要』編集委員会編集委員
 鈴木忠司 ・磐田市教育委員会委嘱
 匂坂遺跡群発掘調査調査指導員
 ・古代学協会委嘱
 『古代文化』刊行委員会編集委員
 藤本孝一 ・同志社大学出講（通年） 「古文書学」
 ・敦賀女子短期大学出講（通年）
 「日本文化史」
 ・宮津市委嘱 宮津市史執筆委員
 ・古代学協会委嘱
 『古代文化』刊行委員会編集委員
 植山 茂 ・山城町教育委員会委嘱
 蟹満寺・神童寺発掘調査指導
 定森秀夫 ・滋賀大学出講（後期）「日本史特殊講義」
 ・国立歴史民俗博物館委嘱 共同研究員
 ・赤穂市教育委員会委嘱
 有年原・田中遺跡発掘調査指導
 ・帝塚山考古学研究所委嘱 共同研究員
 南 博史 ・京都外国語大学出講（通年）「考古学」
 ・京都外国語大学出講（通年）
 「博物館実習Ⅰ」
 ・J T中南米学術調査プロジェクト委嘱

- グァテマラ・カミナルフユ遺跡モンゴイ
地区発掘調査協力員
- ・古代学協会委嘱
『古代文化』刊行委員会編集参与
- 山田邦和 ・同志社大学出講(通年)「南山城の古代」
- ・同志社大学出講(通年)「考古学実習」
- ・古代学協会委嘱
『古代文化』刊行委員会編集委員
- ・古代学協会委嘱
『平安京提要』編集委員会編集委員
- ・京都市委嘱
『甦る平安京』展模型製作部会委員
- 苜谷恭平 ・京都府産業技術コンクール
審査委員会委員
- ・京都府伝統産業優秀技術者
選考委員会委員
- 洲鎌佐智子 ・京都府教育委員会委嘱 諸職調査調査員
- ◎1993年度
- 谷口知己 ・福知山市委嘱
「福知山市美術展」審査員(工芸)
- 大塚活美 ・京都府教育委員会委嘱 諸職調査調査員
- ・滋賀県教育委員会委嘱 祭礼調査調査員
- 藤本恵子 ・成安女子短期大学出講(前期)
「染織概論」
- ・京都府立丹後郷土資料館委嘱
新収蔵品台帳製作指導
- 田島達也 ・京都芸術短期大学出講(前期)
「美術史E」
- ・長岡京市委嘱 長岡京市史執筆委員
- ・亀岡市委嘱 亀岡市史専門委員
- ・舞鶴市教育委員会委嘱
文化財指定のための調査
- 片岡 肇 ・京都府立大学出講(通年)
「博物館実習講義」
- ・古代学協会委嘱
『平安京提要』編集委員会編集委員
- 鈴木忠司 ・磐田市教育委員会委嘱
匂坂遺跡群発掘調査調査指導員
- ・古代学協会委嘱
『古代文化』刊行委員会編集委員
- 藤本孝一 ・同志社大学出講(通年)「古文書学」
- ・敦賀女子短期大学出講(後期)
「日本文化史」
- ・文化庁委嘱 指定調査調査員

- ・京都府教育委員会委嘱
興聖寺一切経調査
- ・宮津市委嘱 宮津市史執筆委員
- ・古代学協会委嘱
『古代文化』刊行委員会編集参与
- 植山 茂 ・京都府婦人センター講座
- ・山城町教育委員会委嘱
蟹満寺・神童寺発掘調査指導
- 定森秀夫 ・国立歴史民俗博物館委嘱 共同研究員
- ・帝塚山考古学研究所委嘱 共同研究員
- ・討論会須恵器の始まりを考える実行委員会委嘱 委員
- ・赤穂市教育委員会委嘱
有年原・田中遺跡発掘調査指導
- 南 博史 ・京都外国語大学出講(通年)「考古学」
- ・京都外国語大学出講(通年)
「博物館実習I」
- ・JT中南米学術調査プロジェクト委嘱
グァテマラ・カミナルフユ遺跡モンゴイ
地区発掘調査協力員
- ・古代学協会委嘱
『古代文化』刊行委員会編集参与
- 山田邦和 ・同志社大学出講(通年)「南山城の古代」
- ・同志社大学出講(通年)「考古学」
- ・古代学協会委嘱
『古代文化』刊行委員会編集委員
- ・古代学協会委嘱
『平安京提要』編集委員会編集委員
- ・京都市委嘱
『甦る平安京』展模型製作部会委員
- 苜谷恭平 ・京都府産業技術コンクール
審査委員会委員
- ・京都府伝統産業優秀技術者
選考委員会委員
- ・長浜曳山祭山車保存修理委員会委員
- 森脇清隆 ・大阪府上方演芸資料館設立検討委員会
施設部会委員
- ◎1994年度
- 塩見嘉久 ・田辺町教育委員会委嘱 田辺町立歴史民俗資料館計画検討委員会委員
- 谷口知己 ・福知山市委嘱
「福知山市美術展」審査員(工芸)
- 大西基子 ・京都精華大学出講(通年)「京の習俗」
- 大塚活美 ・京都府教育委員会委嘱

- 有形民俗文化財調査調査員
 ・京都府教育委員会委嘱
 藤本恵子 ・無形民俗文化財調査調査員
 ・成安造形短期大学出講（前期）
 「染織概論」
 ・成安造形短期大学出講（後期）「造形概論」
 ・京都の近代染織展委嘱
 展示指導（京都産業会館）
 ・京都国立博物館委嘱 資料評価委員
 ・亀岡市委嘱 亀岡市史調査
 ・国立歴史民俗博物館委嘱
 「近世きもの万華鏡－小袖屏風展」展示
 プロジェクト委員
 田島達也 ・京都芸術短期大学出講（前期）
 「美術史H」
 ・京都芸術短期大学出講（集中講義）
 「美術史G」
 ・亀岡市委嘱 亀岡市史専門委員
 ・彦根城博物館委嘱 寺院美術品調査
 ・国立歴史民俗博物館委嘱
 「近世きもの万華鏡－小袖屏風展」展示
 プロジェクト委員
 片岡 肇 ・木下美術館委嘱 評議員
 鈴木忠司 ・京都府立大学出講（通年）
 「博物館実習講義」
 ・磐田市教育委員会委嘱
 匂坂遺跡群発掘調査調査指導員
 ・三島市教育委員会委嘱
 下原遺跡発掘調査指導
 ・古代学協会委嘱
 『古代文化』刊行委員会編集参与
 藤本孝一 ・同志社大学出講（通年） 「古文書学」
 ・敦賀女子短期大学出講（後期）
 「日本文化史」
 ・文化庁委嘱 古文書調査
 ・京都府教育委員会委嘱
 興聖寺一切経調査
 ・京都府教育委員会委嘱 古文書調査
 ・古代学協会委嘱
 『古代文化』刊行委員会編集参与
 植山 茂 ・山城町教育委員会委嘱
 蟹満寺発掘調査指導
 定森秀夫 ・国立歴史民俗博物館委嘱 共同研究員
 ・帝塚山考古学研究所委嘱 共同研究員
 ・神戸市立博物館委嘱 資料評価委員
- 大阪府埋蔵文化財協会委嘱 大庭寺遺跡
 出土土器の整理指導
 ・岡山県古代吉備文化財センター委嘱
 斎富遺跡遺物鑑定
 ・兵庫県埋蔵文化財調査事務所委嘱
 遺物整理指導
 南 博史 ・京都外国語大学出講（通年）「考古学」
 ・京都外国語大学出講（通年）
 「博物館実習 I」
 ・古代学協会委嘱
 『古代文化』刊行委員会編集参与
 山田邦和 ・同志社大学出講（通年）「南山城の古代」
 ・同志社大学出講（後期） 「考古学」
 ・古代学協会委嘱
 『古代文化』刊行委員会編集参与
 ・京都市委嘱
 『甞る平安京』展模型製作部会委員
 ・古代学協会委嘱
 『平安京提要』編集委員会編集委員
 菊谷恭平 ・京都府産業技術コンクール
 審査委員会委員
 ・京都府伝統産業優秀技術者
 選考委員会委員
 ・京都府伝統工芸品指定委員会委員
 水口 薫 ・桃山学院大学出講（前期）「視聴覚教育」
 ・桃山学院大学出講（前期）「視聴覚資料」
 ・川崎市市民ミュージアム
 シンポジウムパネラー
 森脇清隆 ・大阪府上方演芸資料館設立検討委員会
 施設部会委員
- ◎1995年度
 石沢誠司 ・第7回創工会展委嘱 審査員
 ・国立国際美術館委嘱 資料評価委員
 ・国立民族学博物館委嘱 資料評価委員
 ・伝統的工芸品産業振興協会委嘱
 伝統工芸士認定産地委員会委員(京人形)
 ・中京郵便局委嘱 第45回全日本年賀状・
 絵手紙コンクール第一次地方審査会審査
 員
 谷口知己 ・島原市教育委員会委嘱
 「京都特別展」展示指導
 大西基子 ・京都新聞社委嘱 日本画賞推薦委員
 藤本恵子 ・京都国立博物館委嘱 資料評価委員
 ・亀岡市委嘱 亀岡市史執筆

- 長舟洋司 ・ 追手門学院大学出講（通年）
「美学美術史学」
- 田島達也 ・ 京都芸術短期大学出講（前期）
「美術史A」
・ 京都芸術短期大学出講（集中講義）
「美術史I」
・ 亀岡市委嘱 亀岡市史専門委員
・ 栗東歴史民俗博物館委嘱 調査員
- 片岡 肇 ・ 木下美術館委嘱 評議員
- 鈴木忠司 ・ 京都府立大学出講（通年）
「博物館実習講義」
・ 磐田市教育委員会委嘱
匂坂遺跡群発掘調査調査指導員
・ 古代学協会委嘱
『古代文化』刊行委員会編集参与
・ 静岡県埋蔵文化財調査研究所委嘱
下原遺跡調査指導
- 藤本孝一 ・ 同志社大学出講（通年） 「古文書学」
・ 文化庁委嘱 古文書調査（醍醐寺聖教）
・ 文化庁委嘱
古文書調査（冷泉家時雨亭文庫典籍）
・ 京都府教育委員会委嘱
興聖寺一切経調査
・ 宮津市委嘱 宮津市史調査員
・ 古代学協会委嘱
『古代文化』刊行委員会編集参与
- 山下秀樹 ・ 静岡県埋蔵文化財調査研究所委嘱
高見丘遺跡調査指導
・ 静岡県豊田町委嘱 広野遺跡調査指導
- 南 博史 ・ 京都外国語大学出講（通年）「考古学」
・ 京都外国語大学出講（通年）
「博物館実習I」
・ 古代学協会委嘱
『古代文化』刊行委員会編集参与
- 山田邦和 ・ 同志社大学出講(通年)「南山城の古代」
・ 同志社大学出講（前期） 「考古学」
・ 同志社大学出講（通年）「考古学実習」
・ 古代学協会委嘱
『古代文化』刊行委員会編集参与
・ 京都府保健事業協同組合委嘱
「足利尊氏邸跡」顕彰事業の指導
- 荻谷恭平 ・ 京都府産業技術コンクール
審査委員会委員
・ 京都府伝統産業優秀技術者
選考委員会委員

- ・ 京都府伝統工芸品指定委員会委員
- 森脇清隆 ・ 大阪府上方演芸資料館設立検討委員会
施設部会委員

◎1996年度

- 石沢誠司 ・ 第8回創工会展委嘱 審査員
・ '97京都美術工芸展 審査員
・ 国立国際美術館委嘱 資料評価委員
・ 国立民族学博物館委嘱 資料評価委員
・ 京都府中小企業総合センター委嘱
地域産官学共同研究事業推進委員
- 田島達也 ・ 京都芸術短期大学出講（前期）
「美術史I」
・ 京都芸術短期大学出講（集中講義）
「美術史H」
・ 久御山町委嘱 有形文化財詳細調査委員
・ 栗東歴史民俗博物館委嘱 調査員
・ 京都SKY観光ガイド養成講座講師
- 洲鎌佐智子 ・ 京都芸術短期大学出講（前期）
「博物館学」
- 片岡 肇 ・ 木下美術館委嘱 評議員
- 鈴木忠司 ・ 京都府立大学出講（通年）
「博物館実習講義」
・ 古代学協会委嘱
『古代文化』刊行委員会編集参与
- 藤本孝一 ・ 同志社大学出講（通年） 「古文書学」
・ 文化庁委嘱 古文書調査（醍醐寺聖教）
・ 文化庁委嘱
古文書調査（冷泉家時雨亭文庫典籍）
・ 文化庁委嘱 古文書調査（妙蓮寺一切経）
・ 京都府教育委員会委嘱
興聖寺一切経調査
・ 宮津市委嘱 宮津市史調査員
・ 古代学協会委嘱
『古代文化』刊行委員会編集参与
- 南 博史 ・ 古文書学会 評議員
・ 冷泉家時雨亭文庫委嘱
評議員・調査主任
・ 通産省委嘱 伝統的工芸品産業審議会の
開催に係る専門委員（指定部会専門委員）
・ 京都外国語大学出講（通年）
「考古学の基礎」
・ 京都外国語大学出講（通年）
「博物館実習I」
・ 名古屋大学出講(集中講義)「博物館学」

- ・古代学協会委嘱
『古代文化』刊行委員会編集参与
- 山田邦和 ・同志社大学出講(通年)「南山城の古代」
- ・同志社大学出講(前期) 「考古学」
- ・同志社大学出講(通年)「考古学実習」
- ・古代学協会委嘱
『古代文化』刊行委員会編集参与
- 大塚活美 ・近江八幡市教育委員会委嘱
近江八幡の火祭り調査にかかる調査員

◎1997年度

- 石沢誠司 ・第9回創工会展委嘱 審査員
- ・'98京都美術工芸展 審査員
- ・国立国際美術館委嘱 資料評価委員
- ・国立民族学博物館委嘱 資料評価委員
- 谷口知己 ・奈良芸術短期大学出講(通年)「陶芸理論」
- ・奈良芸術短期大学出講(通年)「陶芸史」
- ・京都SKY大学講師
- 洲鎌佐智子 ・京都芸術短期大学出講(前期)
「博物館学」
- 片岡 肇 ・木下美術館委嘱 評議員
- 鈴木忠司 ・古代学協会委嘱
『古代文化』刊行委員会編集参与
- 藤本孝一 ・同志社大学出講(通年) 「古文書学」
- ・文化庁委嘱 古文書調査(醍醐寺聖教)
- ・文化庁委嘱
古文書調査(冷泉家時雨亭文庫典籍)
- ・京都府教育委員会委嘱
興聖寺古文書調査

(4)その他

- 山田邦和 ・学位取得 博士(文化史学 同志社大学)
学位論文「須恵器生産の研究」(1997年
3月7日)

- ・宮津市委嘱 宮津市史調査員
- ・古代学協会委嘱
『古代文化』刊行委員会編集参与
- ・古代学協会委嘱 仁和寺研究会
- ・古文書学会 評議員
- ・冷泉家時雨亭文庫委嘱
評議員・調査主任
- 山下秀樹 ・京都府立大学出講(通年)
「博物館実習講義」
- 定森秀夫 ・花園大学出講(通年) 「考古学研究」
- ・京都府埋蔵文化財調査研究センター委嘱
精華町森垣外遺跡出土品の鑑定
- 南 博史 ・京都外国語大学出講(通年)
「考古学の基礎」
- ・京都外国語大学出講(通年)
「博物館実習Ⅰ」
- ・古代学協会委嘱
『古代文化』刊行委員会編集参与
- ・文部省科学研究費補助金(国際学術研究)
「メソアメリカ先住民文化の総合的研究」
研究協力者
- 山田邦和 ・同志社大学出講(通年)「南山城の古代」
- ・同志社大学出講(前期) 「考古学」
- ・同志社大学出講(通年)「考古学実習」
- ・古代学協会委嘱
『古代文化』刊行委員会編集参与
- 大塚活美 ・近江八幡市教育委員会委嘱
近江八幡の火祭り調査にかかる調査員

- 鈴木忠司 ・群馬県笠懸野町より第6回岩宿文化賞を
受賞(1997年10月11日)

第4章 普及活動

第1節 出版物

(1) 京都文化博物館研究紀要『朱雀』

①1987年度

◇『朱雀』第1集

発行：財団京都文化財団

発行日：1988年3月31日

印刷：東洋紙業

体裁：B5判、128ページ

編集担当：鈴木忠司

所載記事：

岡本道雄 序

【論攷】

鈴木忠司 素描・日本先土器文化の食糧と生業
山下秀樹 日本先土器時代遺跡における受熱石器の分布

定森秀夫 韓国慶尚北道星州地域出土陶質土器について

野口 実 京都七条町の中世的展開

【研究ノート】

片岡 肇 異形押型文土器について

山田邦和 寛政『古圖』所載の考古資料－美濃国野口村発見の古墳遺物など－

②1988年度

◇『朱雀』第2集

発行：財団京都文化財団

発行日：1989年3月31日

印刷：東洋紙業

体裁：B5判、109ページ

編集担当：南 博史

所載記事：

【論攷】

南 博史 大阪湾周辺地域における縄文晩期凸帯文土器の変遷－口酒井遺跡第11次調査を中心として－

定森秀夫 日本出土の“高霊タイプ”系陶質土器(1)－日本列島における朝鮮半島系遺物の研究－

植山 茂 日本古代の瓦にみる新羅・高麗系要素

藤本孝一 山城国宇治郡と久世郡境界考

－二つの宇治郷を中心にして－

大塚活美 中世における梵鐘と人々の暮らし
－京都の鐘・村落の鐘－

浅野恵子 京都府所蔵の染色型紙・畑山氏資料について－分類と意匠的特徴－

【資料紹介】

塩見嘉久・大塚活美

京都府立総合資料館所蔵の在銘農具

③1989年度

◇『朱雀』第3集

発行：京都文化博物館

発行日：1990年3月31日

印刷：東洋紙業

体裁：B5判、135ページ

編集担当：山下秀樹、大塚活美

所載記事：

【論攷】

山下秀樹 ナイフ形石器文化後半期の遺跡の規模－地域差についての予察－

藤本孝一 平安京の制宅法
－班給及び東山の景観保持－

植山 茂 11世紀後半の平安京所用瓦

大塚活美 畿内・近国の中世石造物

－歴史的展開と社会的諸相－

【資料紹介】

定森秀夫・吉井秀夫・内田好昭

韓国慶尚南道晋州水精峯2号墳・玉峯7号墳出土遺物－東京大学工学部建築史研究室所蔵資料の紹介－

【調査報告】

塩見嘉久・大塚活美

聞き取り；京都府内の河川水運

④1991年度

◇『朱雀』第4集

発行：京都文化博物館

発行日：1991年11月30日

印刷：東洋紙業

体 裁：B5判、151ページ

編集担当：片岡 肇

所載記事：

【論攷】

吉田光邦 現実と夢の日本
—写真家ベアトとポンティング—

山下秀樹・林 昭三
岩宿時代の堅果類利用に関わる古植物学的背景—静岡県広野北遺跡出土炭化材から—

定森秀夫 日本出土の“泗川・固城タイプ”系陶質土器—日本列島における朝鮮半島系遺物の研究—

南 博史 遺跡出土の曲物製コシキ
藤本孝一 大島本源氏物語の書誌的考察
片岡 肇 京都府田辺町十塚古墳の発見と保存の経緯について

【資料紹介】

塩見嘉久・大塚活美
京都府立総合資料館の在銘民具

【追悼】

初代館長吉田光邦先生
弔辞 岡本道雄
吉田光邦先生略年譜
吉田光邦先生著作目録抄
吉田光邦先生を偲ぶ
(水口 薫・菊谷恭平・植山 茂・片岡 肇・東條 壽・高木多喜男・南 博史・新井田郁雄・西尾信一・山下秀樹・藤本恵子・藤本孝一・鈴木忠司)

◎1992年度

◇『朱雀』第5集

発行：京都文化博物館
発行日：1992年12月31日
印刷：正美社印刷
体 裁：B5判、126ページ
編集担当：長舟洋司
所載記事：

【論攷】

田島達也 江戸時代後期京都の美人画について—京都府立総合資料館蔵吉川観方コレクションに見る—

藤本孝一 『藤原惺高先生文集』について

—下冷泉家の歴史史料(上)—

【研究ノート】

高木多喜男 西山翠嶂の人と画業に関する基礎調査(年譜私案)

鈴木忠司 三州愛郷猪狩記

【資料紹介】

定森秀夫・白井克也
韓国慶尚北道高靈池山洞古墳群出土遺物—東京大学工学部建築史研究室所蔵資料の紹介—

◎1993年度

◇『朱雀』第6集

発行：京都文化博物館
発行日：1993年12月31日
印刷：正美社印刷
体 裁：B5判、128ページ
編集担当：山田邦和
所載記事：

【論攷】

山下秀樹 挾入石器の形態的研究
—九州地方の様相—

定森秀夫 東北地方出土の陶質土器—日本列島における朝鮮半島系遺物の研究—

藤本孝一 下冷泉家の歌学・典籍概観
—下冷泉家の歴史史料(下)—

【研究ノート】

山田邦和 須惠器動物形礎考
大塚活美 湯起請・鉄火についての覚書
—境相論を中心に—

藤本恵子 近代染色図案の一考察
—高島屋史料館所蔵友禅裂地から—

南 博史 彩陶を求めて—平成3年度美術館連絡協議会海外派遣研修報告—

◎1994年度

◇『朱雀』第7集

発行：京都文化博物館
発行日：1994年12月31日
印刷：正美社印刷
体 裁：B5判、106ページ
編集担当：田島達也
所載記事：

【論攷】

藤本孝一 尊経閣文庫蔵『土左日記』(国宝)

の書誌的研究

田島達也 近世後期京都画壇の縮図
—宮津市智源寺天井画—

南 博史・西山弥生

博物館における教育活動とマーケティング活動—京都文化博物館常設展示
改訂にむけての英国博物館調査—

【資料紹介】

鈴木忠司 日本細石刃文化遺跡地名表
定森秀夫 兵庫県出石神社所蔵の陶質土器

⑧1995年度

◇『朱雀』第8集

発行：京都文化博物館

発行日：1995年12月31日

印刷：正美社印刷

体裁：B5判、136ページ

編集担当：大塚活美

所載記事：

【論攷】

山下秀樹 東海・南関東地方の抉入石器
藤本孝一 藤原定家自筆本『拾遺愚草』の書誌的研究

【研究ノート】

田島達也 京都府立総合資料館蔵 歌川春貞＝岡本春暉資料—五つの顔を持つ画家の軌跡—
大塚活美 滋賀県東部地域の農具の生産と流通—明治農具絵図を中心に—

【資料紹介】

定森秀夫 日本出土ヨーロッパ陶器集成・文献目録（稿本）
藤本恵子 近代京都の染織産業と図案研究会—京都市立美術工芸学校図案科卒業生による図案研究会「美工会」の活動記録から—

⑨1996年度

◇『朱雀』第9集

発行：京都文化博物館

発行日：1997年3月31日

印刷：正美社印刷

体裁：B5判、128ページ

編集担当：洲鎌佐智子

所載記事：

【論攷】

片岡 肇 洛中洛外図屏風の類型について(1)

【研究ノート】

田島達也 『平安人物志』に登場する画家一覧
大西基子 西村五雲と石崎光瑤—京都の日本画近代から現代への一方向—
洲鎌佐智子 近代京都の蒔絵師戸嶋光孚について
石沢誠司 七夕行事と七夕人形

【翻訳】

定森秀夫 馮永謙「近代考古学における30年来の重要発見」

⑩1997年度

◇『朱雀』第10集

発行：京都文化博物館

発行日：1998年3月31日

印刷：正美社印刷

体裁：B5判、172ページ

編集担当：定森秀夫

所載記事：

【論攷】

山下秀樹 三島市陰洞E遺跡の微地形と遺物分布—岩宿時代後期の遺跡における居住空間配置について—
藤本孝一 冷泉家御文庫の封と『明月記』

【研究ノート】

定森秀夫 初期須恵器と韓半島製陶質土器
野口 剛 聖護院蔵石田幽汀筆〈須磨之図〉屏風の主題と構図
石沢誠司 三月三日節の研究ノート I

【資料紹介】

山田邦和・外池 昇 『文化山陵図』の一写本—家蔵考古学史史料の紹介と検討—
洲鎌佐智子 京都美術協会雑誌の目録—人物編・展覧会編・団体編—
京都文化博物館研究紀要『朱雀』総目次

(第1集～第10集)

(2)京都文化博物館調査研究報告

①1987年度

◇第1集『平安京左京八条三坊七町

—京都市下京区東塩小路町—』

編集：京都文化財団歴史研究室

発行：京都文化財団

発行日：1988年3月31日

印刷：東洋紙業

体裁：B5判、160ページ

編集担当：鈴木忠司

◇第2集『平安京左京三条四坊四町

—京都市中京区曇華院前ノ町—』

編集：京都文化財団歴史研究室

発行：京都文化財団

発行日：1988年3月31日

印刷：ビクトリー社

体裁：B5判、111ページ

編集担当：植山 茂・山田邦和・南 博史

◇第3集『京都府田辺町近衛基通公墓』

編集：京都文化財団歴史研究室

発行：京都文化財団

発行日：1988年3月31日

印刷：ビクトリー社

体裁：B5判、36ページ

編集担当：定森秀夫

②1988年度

◇第4集『吉田近衛町遺跡—京都市左京区吉田近衛町—』

編集：京都文化博物館学芸第二課

発行：京都文化財団

発行日：1989年3月31日

印刷：ビクトリー社

体裁：B5判、114ページ

編集担当：南 博史

③1989年度

◇第5集『平安京右京五条一坊皇嘉門大路

—京都市中京区壬生高樋町—』

編集：京都文化博物館学芸第二課

発行：京都文化博物館

発行日：1990年3月31日

印刷：正美社印刷

体裁：B5判、40ページ

編集担当：植山 茂

④1990年度

◇第6集『平安京左京五条二坊十六町

—京都市下京区傘鉾町—』

編集：京都文化博物館学芸第二課

発行：京都文化博物館

発行日：1991年3月31日

印刷：中西印刷

体裁：B5判、77ページ

編集担当：山田邦和

⑤1991年度

◇第7集『平安京右京五条二坊九町・十六町

—京都市右京区西院三蔵町—』

編集：京都文化博物館学芸第二課

発行：京都文化博物館

発行日：1991年9月30日

印刷：正美社印刷

体裁：B5判、116ページ

編集担当：定森秀夫

◇第8集『平安京右京六条四坊九町・五条大路

—京都市右京区西院月双町—』

編集：京都文化博物館学芸第二課

発行：京都文化博物館

発行日：1991年9月30日

印刷：正美社印刷

体裁：B5判、118ページ

編集担当：山下秀樹

⑥1992年度

◇第9集『平安京左京四条四町四坊

—京都市中京区阪東屋町—』

編集：京都文化博物館学芸第二課

発行：京都文化博物館

発行日：1993年3月31日

印刷：正美社印刷

体裁：B5判、94ページ

編集担当：植山 茂

◇第10集『宮ノ口遺跡—京都府綴喜郡田辺町—』

編集：京都文化博物館学芸第二課

発行：京都文化博物館

発行日：1993年3月31日

印刷：中西印刷

体裁：B5判、88ページ

編集担当：南 博史

⑦1995年度

◇第11集『平安京左京六条三町七坊
—京都市下京区小田原町・東鋸屋町—』

編集：京都文化博物館学芸第二課

発行：京都文化博物館

発行日：1995年9月30日

印刷：中西印刷

体裁：B5判、186ページ

編集担当：定森秀夫

◇第12集『宮ノ口遺跡—第2次発掘調査
—京都府綴喜郡田辺町—』

編集：京都文化博物館学芸第二課

発行：京都文化博物館

発行日：1996年3月31日

印刷：正美社印刷

体裁：B5判、112ページ

編集担当：南 博史

⑧1997年度

◇第13集『内里八丁遺跡—第二京阪道路建設に
伴う京都府八幡市所在遺跡の調査—』

編集：京都文化博物館学芸第二課

発行：京都文化博物館

発行日：1998年3月31日

印刷：正美社印刷

体裁：A4判、172ページ

編集担当：植山 茂

(3)展覧会図録

(当館での開催順としたので、発行日が前後することがある。各書の奥付に発行日のないものは、その展覧会の開始月を挙げた。)

①1988年度

◇『気球があがった—近代京都の1世紀—』

監修：吉田光邦

編集：京都文化博物館学芸第二課

発行：京都文化財団

発行日：1988年10月1日

制作：淡交社

印刷：日本写真印刷

体裁：A4判、176ページ

編集担当：片岡 肇・鈴木忠司

◇『京の四季』

発行：京都文化財団

発行日：1988年10月1日

印刷：日本写真印刷

体裁：24cm×25cm、208ページ

◇『千家十職—近代の名品を中心に—』

編集・発行：京都文化博物館

発行日：1988年10月

印刷：ニューカラー写真印刷

体裁：B5判、128ページ

②1989年度

◇『美の求道・具象から抽象へ—堂本印象』

編集：京都文化博物館学芸第一課

発行：京都文化財団

発行日：1989年4月

製作・印刷：ニューカラー写真印刷

体裁：28cm×25cm、136ページ

◇『海を渡って来た人と文化—古代日本と東アジア—』

編集：京都文化博物館学芸第二課

発行：京都文化博物館

発行日：1989年9月15日

制作・印刷：ニューカラー写真印刷

体裁：A4判、152ページ

編集担当：定森秀夫・山下秀樹

◇『生命のかたち—熊倉順吉の陶芸』

編集：東京国立近代美術館

発行：京都文化博物館

発行日：1989年12月

制作・印刷：印象社

体裁：24cm×19cm、185ページ

③1990年度

◇『染の創作—小合友之助・稲垣稔次郎展』

監修：伊砂利彦・佐野猛夫・中井貞次

編集：京都文化博物館学芸第一課

発行：京都文化博物館

発行日：1990年4月7日

印刷：日本写真印刷

体裁：27cm×21cm、148ページ

編集担当：浅野恵子・石沢誠司・小森浩一

◇『浮世絵三〇〇年 師宣から深水まで』

—名作浮世絵の系譜展—

- 編集：平木浮世絵財団
 発行：京都文化博物館
 企画協力：アートワン
 発行日：1990年5月
 制作・印刷：ニューカラー写真印刷
 体裁：28 cm×25 cm、186ページ
- ◇『源氏絵と香の文化史』
 編集：京都文化博物館
 発行：日本経済新聞社
 発行日：1991年1月
 制作・印刷：ニューカラー写真印刷
 体裁：26 cm×23 cm、34ページ
- ◇『第12回京都美術展』
 編集・発行：京都府・京都文化博物館
 発行日：1991年1月25日
 制作・印刷：写真化学
 体裁：25 cm×25 cm、72ページ
- ④1991年度
- ◇『贈答の美—袱紗展』
 編集：京都文化博物館・東京都庭園美術館
 発行：読売新聞社・美術館連絡協議会
 発行日：1991年8月24日
 印刷：瞬報社写真印刷
 体裁：21.5 cm×21.5 cm、160ページ
- ◇『チャドウィックの彫刻』
 監修：小川正隆
 編集：富山県立近代美術館・埼玉県立近代美術館・
 彫刻の森美術館・京都文化博物館
 発行：チャドウィックの彫刻展実行委員会
 発行日：1991年4月
 制作：美術出版デザインセンター
 体裁：24 cm×25.5 cm、112ページ
- ◇『光源氏と平安貴族—栄華の日と虚・実—』
 編集：京都文化博物館学芸第二課
 発行：京都文化博物館
 発行日：1991年10月10日
 印刷：日本写真印刷
 体裁：A4判、163ページ
 編集担当：藤本孝一・南 博史
- ◇『京の歌舞伎展—四条河原芝居から南座まで—』
 編集：京都文化博物館学芸第一課
 発行：京都文化博物館
 発行日：1991年12月7日

制作・印刷：ニューカラー写真印刷
 体裁：A4判、192ページ
 編集担当：塩見嘉久・大塚活美・田島達也

⑤1992年度

- ◇『絵筆のゆくえ インテリアへの道—澤部清五郎』
 編集・発行：目黒区美術館・京都文化博物館
 発行日：1992年4月10日
 制作・印刷：印象社
 体裁：24 cm×25.5 cm、142ページ
- ◇『師から弟子へ 動物に魅せられた京の画家
 —岸竹堂・西村五雲・山口華揚—』
 編集：京都文化博物館学芸第一課
 発行：京都文化博物館
 発行日：1992年5月15日
 制作・印刷：ニューカラー写真印刷
 体裁：25.5 cm×21 cm、138ページ
 編集担当：大西基子・大塚活美・田島達也
- ◇『壬生寺展—大念仏狂言と地藏信仰の寺—』
 編集：京都文化博物館学芸第二課
 発行：京都文化博物館
 発行日：1992年11月3日
 印刷：ニューカラー写真印刷
 体裁：A4判、140ページ
 編集担当：植山 茂・大塚活美
- ◇『日本の抽象絵画—1910-1945—』
 企画・構成：「日本の抽象絵画—1910-1945—」
 研究部会
 編集：京都文化博物館 長舟洋司ほか
 発行：読売新聞社・美術館連絡協議会
 発行日：1992年4月
 制作・印刷：集巧社
 体裁：24 cm×25 cm、228ページ
- ◇『旅順博物館所蔵品展—幻の西域コレクション—』
 監修：藤枝 晃・杉山二郎
 編集・発行：京都文化博物館・京都新聞社
 発行日：1992年12月
 制作・印刷：日本写真印刷
 体裁：25 cm×21 cm、176ページ
- ◇『第13回京都美術展 アートビエンナーレ京都'93』
 編集・発行：京都府・京都文化博物館
 発行日：1993年1月15日
 制作・印刷：写真化学
 体裁：25 cm×25 cm、70ページ

⑥1993年度

◇『マヤー歴史と民族の十字路ー』

監修：大井邦明
編集：たばこと塩の博物館
発行：たばこと塩の博物館・京都文化博物館
発行日：1992年10月
印刷：日本写真印刷
体裁：A4判、200ページ

◇『ロシアの秘宝 ユーラシアの輝き』

編集・発行：京都文化博物館・京都新聞社
発行日：1993年6月
制作・印刷：日本写真印刷
体裁：28cm×22.5cm、344ページ

◇『京の美人画展ー個性派の競艶 江戸・明治・大正ー』

編集：京都文化博物館学芸第一課
発行：京都文化博物館
発行日：1993年9月10日
印刷：日本写真印刷
体裁：A4判、160ページ
編集担当：田島達也・大西基子・長舟洋司

◇『横山大観展』

編集：京都文化博物館
発行：京都府・京都文化博物館・産経新聞社・関西テレビ
発行日：1993年10月
制作・印刷：大塚巧藝社
体裁：28cm×22.5cm、154ページ

◇『京都工芸ビエンナーレ1994』

企画編集：京都文化博物館学芸第一課
発行：京都府
発行日：1994年1月14日
制作：写真化学
体裁：25cm×25cm、80ページ

⑦1994年度

◇『祇園祭大展ー山鉾名宝を中心にー』

編集・発行：祇園祭山鉾連合会・京都文化博物館・京都新聞社
発行日：1994年4月
制作・印刷：日本たばこ産業印刷事業部
体裁：A4判、224ページ

◇『京都創作陶芸のながれー土・火・技ー』

編集：京都文化博物館学芸第一課
発行：京都文化博物館
発行日：1994年6月28日

制作・印刷：日本写真印刷

体裁：24cm×19cm、152ページ

編集担当：谷口知己・藤本恵子・大西基子

◇『大唐長安展ー京都のはるかな源流をたずねるー』

編集：京都文化博物館学芸第二課
発行：京都文化博物館
発行日：1994年9月9日
制作：NHKきんきメディアプラン

印刷：日本写真印刷

体裁：A4判、364ページ

編集担当：片岡 肇・藤本孝一・植山 茂・山田邦和

⑧1995年度

◇『自然に語りかける画家 小野竹喬展』

編集：京都文化博物館学芸第一課
発行：京都文化博物館
発行日：1995年4月8日
制作・印刷：便利堂

体裁：26.5cm×21cm、132ページ

編集担当：大西基子・長舟洋司・田島達也

◇『桃山の春・光悦展ー町衆の信仰と芸術ー』

編集：京都文化博物館学芸第二課
発行：京都文化博物館
発行日：1995年10月7日
制作・印刷：ニューカラー写真印刷

体裁：A4判、176ページ

編集担当：藤本孝一・山下秀樹

◇『'96京都美術工芸展』

編集・発行：京都府・京都文化博物館
発行日：1996年1月
制作・印刷：日本写真印刷
体裁：25cm×25cm、62ページ

⑨1996年度

◇『文人画の巨匠 池大雅展』

編集：京都文化博物館学芸第一課
発行：京都文化博物館
発行日：1996年10月3日
制作・印刷：ニューカラー写真印刷

体裁：A4判、158ページ

編集担当：田島達也・大西基子・長舟洋司

◇『京都・激動の中世ー帝と将軍と町衆とー』

編集：京都文化博物館学芸第二課
発行：京都文化博物館

発行日：1996年11月13日
 制作・印刷：ニューカラー写真印刷
 体裁：A4判、180ページ
 編集担当：山田邦和

- ◇『'97京都美術工芸展』
 編集・発行：京都府・京都文化博物館
 発行日：1997年1月
 制作・印刷：写真化学
 体裁：25cm×25cm、62ページ

⑩1997年度

- ◇『一近世工芸の華－婚礼のいろとかたち』
 編集：京都文化博物館学芸第一課
 発行：京都文化博物館
 発行日：1997年4月5日
 制作・印刷：日本写真印刷
 体裁：A4判、144ページ
 編集担当：洲鎌佐智子・古郷彰治

- ◇『ヒトの来た道
 －人類500万年と列島最古の居住者－』
 編集：京都文化博物館学芸第二課
 発行：京都文化博物館
 発行日：1997年11月8日
 制作・印刷：ニューカラー写真印刷
 体裁：A4判、174ページ
 編集担当：鈴木忠司・南博史

- ◇『'98京都美術工芸展』
 編集・発行：京都府・京都文化博物館
 発行日：1998年1月
 制作・印刷：写真化学
 体裁：25cm×25cm、62ページ

- ◇『「日本のわざと美」展
 －重要無形文化財とそれを支える人々－』
 編集：文化庁文化財保護部伝統文化課
 発行：京都文化博物館・香川県文化会館
 発行日：1998年2月1日

(4)その他

- ◇『京都の歴史と文化－歴史展示案内』
 編集：京都文化博物館学芸第二課
 発行：京都文化財団
 発行日：1988年10月1日
 印刷：日本写真印刷
 体裁：B5判、108ページ

制作・印刷：大塚巧藝社
 体裁：A4判、218ページ

⑪1998年度

- ◇『京の江戸時代－町人の社会と文化－』
 編集：京都文化博物館学芸第二課
 発行：京都文化博物館
 発行日：1998年4月17日
 印刷：ニューカラー写真印刷
 体裁：A4判、164ページ
 編集担当：大塚活美・山田邦和

- ◇『秀吉と京都 豊国神社社宝展』
 監修：森谷尅久
 編集：京都文化博物館学芸第二課
 発行：豊太閤四百年祭奉賛会豊国会・豊国神社
 発行日：1998年5月28日
 印刷：日本写真印刷
 体裁：A4判、80ページ
 編集担当：片岡肇

- ◇『源氏おんな物語
 －愛に生き、自分を探し続けた女たち－』
 編集：京都文化博物館・日本経済新聞社
 発行：日本経済新聞社
 発行日：1998年8月21日
 印刷：凸版印刷
 体裁：A4判、160ページ

- ◇『京の絵師は百花繚乱－
 「平安人物志」にみる江戸時代の京都画壇－』
 編集：京都文化博物館学芸第一課
 発行：京都文化博物館
 発行日：1998年10月2日
 制作・印刷：ニューカラー写真印刷
 ブックデザイン：辻恵里子
 体裁：A4判、352ページ
 編集担当：野口剛・大西基子・長舟洋司

- ◇『古代豪族と朝鮮』
 編集：京都文化博物館
 発行：新人物往来社
 発行日：1991年2月25日
 体裁：四六判、260ページ
 編集担当：定森秀夫・山下秀樹

備考：特別展「海を渡って来た人と文化」講演記録

◇『フィルムセンター所蔵日本映画選集

新興キネマの世界』

編集・発行：京都文化博物館

発行日：1991年9月8日

体裁：B5判、36ページ

編集担当：水口 薫・江馬道生・森脇清隆・洲鎌佐智子

◇『京都の歴史と文化－歴史展示案内』（2版）

編集：京都文化博物館学芸第二課

発行：京都文化博物館

発行日：1996年3月31日

印刷：日本写真印刷

体裁：B5判、108ページ

◇『長安－絢爛たる唐の都－』

編集：京都文化博物館

発行：角川書店（『角川選書』269）

発行日：1996年4月5日

体裁：四六判、282ページ

編集担当：片岡 肇

備考：特別展「大唐長安展」講演記録

◇『INTERVIEW 映画の青春』

企画・編集・発行：京都府・京都文化博物館

発行日：1998年3月30日

体裁：B5変形版、216ページ

編集担当：細水晴実・森脇清隆・江馬道生

第2節 講演会・音楽会

(1)講演会など

①1988年度

開催年月日	講師	所属等	演題	備考
1988年12月3日	狩野 博幸	京都国立博物館美術室長	宮廷の絵画	近世の宮廷文化展講演会
12月10日	冷泉 勝彦	大手前女子大学教授	桂宮家と桂離宮の絵画	同上
12月17日	榊原 吉郎	京都市立芸術大学教授	宮廷絵画の諸相	同上

②1989年度

開催年月日	講師	所属等	演題	備考
1989年9月23日	森 浩一	同志社大学教授	考古学から見た渡来文化	海を渡って来た人と文化展講演会
9月30日	上田 正昭	京都大学教授	古代史のなかの渡来人	同上
10月7日	井上 満郎	京都産業大学教授	渡来人と平安京	同上
10月14日	西谷 正	九州大学教授	考古学からみた古代日本と朝鮮	同上
10月21日	門脇 禎二	京都府立大学学長	蘇我氏と渡来人	同上
1990年1月6日	木村 重信	美術評論家	熊倉順吉と走泥社	熊倉順吉展講演会
3月4日	石沢 誠司	当館主任学芸員		雛人形展列品解説
3月11日	大塚 活美	当館学芸員		年号のある民具展列品解説
3月17日	レナーテ・メアマン	ケルン大学教授	ドイツにおける女性の映画制作と社会的評価	ドイツ映画に見る女性監督の活躍講演会
	ヘルケ・ザンダー	映画監督	女性映画特有の視点	同上
3月21日	李 松來	ノースウェスト・クリスチャン大学副学長	<聖地の考古学> 古代地中海東部沿岸諸国地方の城郭の発生と変遷過程	古代学協会公開学術講演会 (京都文化博物館共催)

③1990年度

開催年月日	講師	所属等	演題	備考
1990年4月14日	浅野 恵子	当館学芸員		小合友之助・稲垣稔次郎展 列品解説

開催年月日	講師	所属等	演題	備考
4月21日	中井 貞次	京都市立芸術大学教授		同上
4月28日	伊砂 利彦	染色作家		同上
6月9日	柳沢 壽夫	映画監督	記録映画製作について	特集記録映画の世界1 講演会
8月18日	安藤 信策	京都府埋蔵文化財調査研究センター調査第二課長	京都府の発掘10年	京都・古代との出会い展講演会
	奥村清一郎	同センター企画係長	10周年記念展展示品解説	同上
10月6日	三村 晴彦	映画監督	「炎上」について	第9回日本映画講座
10月13日	新藤 兼人	映画監督	<自作を語る>「裸の島」	同上
10月20日	谷口 千吉	映画監督	<自作を語る>「暁の脱走」	同上
10月27日	熊井 啓	映画監督	<自作を語る>「警察日記」	同上
11月28日	中村 敬治	国立国際美術館主任研究官	イギリス映像芸術の最近の動向	UK90 全英実験映画・ビデオセレクション講演会
12月1日	飯村 隆彦	映像作家	30年を振り返って	飯村隆彦回顧展講演会
12月9日	ダリル・チン	映像作家	アジア系アメリカ映画とは何か	アジア・アメリカン映画祭1990座談会
	トリン・T・ミンハ	映像作家		
	グレッグ・アラキ	映像作家		
1991年3月2日	石沢 誠司	宇治市中央図書館長		雛人形展列品解説
3月9日	塩見 嘉久	当館主任学芸員		アジアの郷土玩具展列品解説
3月24日	チップ・ロード	映像作家	制作活動について	チップ・ロードビデオアート個展講演会

④1991年度

開催年月日	講師	所属等	演題	備考
1991年6月22日	乾 由明	京都大学名誉教授	京都と近代美術	上野の森美術館大賞展講演会
	日野耕之祐	上野の森美術館大賞展審査委員	今日の絵画について	同上
7月10日	加藤 九祚	創価大学教授	サルマタイの工芸とその周辺	南ロシア騎馬民族の遺宝展講演会
8月3日	山本 忠尚	奈良国立文化財研究所	騎馬民族の墓と文化	同上
8月29日	切畑 健	大手前女子大学教授	吉祥の思想	襦紗展講演会
9月29日	江馬 道生	当館囃託	新興キネマと京都の映画史	新興キネマの世界講演会
10月10日	大場 正敏	東京国立近代美術館フィルムセンター主幹	フィルム・アーカイヴとは、映画の保存について	同上
10月12日	藤本 孝一	当館主任学芸員	光源氏と藤原道長	光源氏と平安貴族展講演会
10月14日	中井 和子	京都府立大学女子短期大学部名誉教授	京ことばで源氏物語を語る	同上
	瀬戸内寂聴	作家	源氏物語の男と女	同上
10月19日	池 浩三	中部大学教授	光源氏のすまい	同上
10月26日	加納 重文	京都女子大学教授	源氏物語と陰陽道	同上
11月2日	角田 文衛	古代学研究所所長	紫式部とその時代	同上
11月9日	小栗 康平	映画監督	「キューポラのある街」について	第10回日本映画講座
11月16日	佐伯 孚治	映画監督	「きけわだつみの声」について	同上
11月23日	村野鐵太郎	映画監督	「くちづけ」について	同上
11月30日	三村 晴彦	映画監督	「隣の母」について	同上
12月14日	鳥越 文蔵	早稲田大学演劇博物館長	歌舞伎の百年	京の歌舞伎展講演会
12月21日	松平 進	甲南女子大学教授	上方の役者絵	同上
1992年2月27日	エンノ・パタラス	ミュンヘン市映画博物館長	映画の保存と復元についてドイツでは	映画フィルム復元講演会

⑤1992年度

開催年月日	講師等	所属等	演題	備考
1992年5月21日	カーレン・トーセン ダグラス・デンブシー	映画監督 映像作家	ハーレム 135 丁目ジェームス・ゴールドウィン抄について	アメリカのドキュメンタリー対談
5月23日	大西 基子	当館学芸員	動物を視る目 描く心	動物に魅せられた京の画家たち展 講演会
5月30日	神原 吉郎	京都市立芸術大学教授	花鳥走獣から動物画へ	動物に魅せられた京の画家たち展 講演会
6月19日	富山 秀男 日野耕之祐	京都国立近代美術館長 日展評議員	コンクール展で感ずること 上野の森美術館大賞展10年の 成果と意義	上野の森美術館大賞展講演会 同上
7月18日	樋口 隆康	泉屋博古館長	金銅装具の源流を追う	ほとけ・さむらい・むら展講演会
7月19日	内藤 昭 土田 正義	映画美術監督 KYOTO映画塾事務局長	市川雷蔵と大映京都	俳優市川雷蔵特集 ポスター・スチール写真展座談会
7月25日	上田 正昭	大阪女子大学学長	むらとまつりと芸能	ほとけ・さむらい・むら展講演会
8月1日	中野 玄三	嵯峨美術短期大学学長	丹後の麻呂子親王伝説絵	同上
9月12日	宮川 一夫 太田 米男	映画撮影監督 大阪芸術大学助教授	宮川一夫の世界	カメラマン宮川一夫の世界座談会
10月3日	深作 欣二	映画監督	<自作を語る>「誇り高き挑戦」	第11回日本映画講座
10月10日	大島 渚	映画監督	<自作を語る>「愛と希望の街」	同上
10月11日	菅沼 完二 市川正二郎 小林 勝	映画監督 俳優 俳優	アラカンの思い出	俳優嵐寛寿郎特集座談会
10月17日	熊井 啓	映画監督	<自作を語る>「日本列島」	第11回日本映画講座
10月24日	今村 昌平	映画監督	<自作を語る>「豚と軍艦」	同上
11月8日	壬生大念仏講		重要無形民俗文化財壬生狂言上演 「桶取」「土蜘蛛」	壬生寺展
11月14日	細川 涼一	京都橘女子大学助教授	壬生寺の歴史	壬生寺展講演会
11月15日	壬生大念仏講		重要無形民俗文化財壬生狂言上演 「大原女」「餓鬼角力」	壬生寺展
11月21日	植木 行宣	京都市立芸術大学講師	大念仏と狂言	壬生寺展講演会
11月22日	滝澤 一	映画評論家	依田義賢について	脚本家依田義賢特集講演会
11月29日	壬生六斎会 中堂寺六斎会		重要無形民俗文化財六斎念仏上演	壬生寺展
1993年1月31日	シャーレン・カズン	映画監督	アメリカの女性映像作家について	アメリカ人映像作家 シャーレン・カズン特集講演会
2月14日	阿武野逢世	音楽家		天眠文庫展ミニコンサート
2月20日	宮本 正章	宇部短期大学助教授	『よしあし草』と小林天眠	天眠文庫展講演会
2月21日	中井 和子	京都府立大学女子短期大学 部名誉教授	源氏物語の表現	同上
2月27日	黒川 直則	京都府立総合資料館歴史資料課長		天眠文庫展列品解説
2月28日	黒川 直則	同上		同上
3月6日	黒川 直則	同上		同上
3月7日	黒川 直則	同上		同上
3月8日	ヘルマ・S ・ブラームス	映画監督	女性が映画をつくるとき	ドイツ女性監督特集講演会
3月12日	アイザック・ジュリアン	映画監督	英国映画の動向・黒人監督として	英国黒人監督特集講演会
3月20日	藤本 恵子	当館学芸員		雛人形展列品解説
3月27日	塩見 嘉久	当館主任学芸員		郷土玩具展列品解説

⑥1993年度

開催年月日	講師	所属等	演題	備考
1993年4月3日	佐藤 忠男 岩切 卓士	映画評論家 カメラマン	俳優笠智衆について	俳優笠智衆の世界対談
4月17日	大井 邦明	京都外国大学教授	新しいマヤ史を求めて	マヤ展講演会
4月24日	矢澤高太郎	読売新聞東京本社記者	マヤ文明とアンコールワット	同 上
5月1日	南 博史	当館学芸員	ピラミッド神殿モンゴイを発掘する	同 上
5月8日	半田 昌之	たばこと塩の博物館学芸員	マヤの国の中南米学術調査	同 上
5月15日	桜井三枝子	大阪経済大学専任講師	グアテマラ・マヤの宗教儀礼	同 上
6月19日	佐伯 知紀	東京国立近代美術館 フィルムセンター主任研究官	忠次旅日記の復元と監督伊藤大輔 について	監督伊藤大輔特集講演会
7月7日	木村 重信 日野耕之祐	国立国際美術館展 上野の森美術館大賞展審査委員	作者・作品・観者 現代の日本絵画	上野の森美術館大賞展講演会 同 上
7月18日	滝澤 一	映画評論家	監督伊藤大輔とは	監督伊藤大輔特集講演会
9月18日	奥平 俊六	大阪大学助教授	美人画の誕生	京の美人画展講演会
9月26日	田島 達也	当館学芸員	京の美人画 はんなり／こってり	同 上
10月2日	井上 章一	国際日本文化研究センター 助教授	美人と美術	同 上
〃	ジェリー・ ダッシュ	映画監督	ドクターズ・オブ・ダストについて	アメリカ女性監督ジェリー・ダッシュ 特集講演会
1994年3月20日	デビッド・ ブレア	映画監督	自作を語る	WAX - 蜂蜜テレビの発見講演会

⑦1994年度

開催年月日	講師	所属等	演題	備考
1994年5月20日	ジェリー・ シルバー	映画監督	自作を語る	ジェリー・シルバー監督特集 講演会
5月28日	丸山 伸彦	国立歴史民俗博物館助手	小袖屏風・野村コレクションと その背景	小袖屏風展講演会
6月11日	藤本 恵子	当館学芸員		小袖屏風展列品解説
7月2日	河原 正彦	京都国立博物館工芸室長	京都・陶芸作家の位置	京都創作陶芸のながれ展講演会
7月8日	中原 佑介 日野耕之祐	美術評論家 上野の森美術館大賞展審査 委員	絵画の寿命 現代の日本絵画	上野の森美術館大賞展講演会 同 上
7月12日	谷口 知己	当館主任学芸員		京都創作陶芸のながれ展列品解説
7月16日	谷口 知己	同 上	工芸としての陶磁器	京都創作陶芸のながれ展講演会
7月18日	西岡 善信	映画美術監督	映画評論家滝澤一を偲んで	映画評論家滝澤一追悼上映講演会
8月1日	中川 真	京都市立芸術大学助教授	バリの民俗舞踊と音楽について	スエチャおじさん講演会
9月17日	田辺 昭三	京都造形芸術大学教授	唐代の陵墓とその陪葬墓	大唐長安展講演会
9月24日	門脇 禎二	京都府立大学名誉教授	平安京と長安を結んだ道	同 上
10月8日	磯波 護	京都大学教授	唐代長安の石刻	同 上
10月15日	田中 淡	京都大学人文科学研究所教授	唐長安の宮殿・仏寺と苑囿	同 上
10月20日 ～25日	ラインハルト ・ハウフ	映画監督		ラインハルト・ハウフ監督特集 上映作品解説
10月29日	渡辺信一郎	京都府立大学助教授	最後の遣唐使と大唐青龍寺	大唐長安展講演会
11月5日	筒井 紘一	茶道資料館副館長	唐代の茶法	同 上
11月12日	井上 満郎	京都産業大学教授	平安京と中国都城	同 上
11月19日	町田 章	奈良国立文化財研究所平城 宮跡発掘調査部長	唐長安城と日本都城	同 上
12月24日	今江 祥智	童話作家	「ビエールとリュス」と 「また逢う日まで」	ロマン・ロラン没後50周年記念 映画上映と講演
1995年2月4日	全 榮來	圓光大学校教授	扶餘出土の香爐と博山爐の型式変遷	古代学協会公開学術講演会 (京都文化博物館共催)

◎1995年度

開催年月日	講師	所属等	演題	備考
1995年4月15日	大西 基子	当館学芸員	京都画壇と竹喬画伯	小野竹喬展講演会
4月29日	上蘭 四郎	笠岡市立竹喬美術館学芸員	小野竹喬について	同上
6月3日	直木孝次郎	甲子園短期大学教授	天武天皇と難波宮	古代学協会公開学術講演会 (京都文化博物館共催)
7月14日	木村 重信 日野耕之祐	国立国際美術館長 上野の森美術館大賞展審査 委員	美術の起源 日本絵画の可能性	上野の森美術館大賞展講演会 同上
10月14日	武田 恒夫	大手前女子大学教授	法華と桃山美術	桃山の春・光悦展講演会
10月21日	中尾 堯	立正大学教授	幻の一切経発見	同上
11月4日	藤井 学	奈良大学教授	光悦の信仰と町衆	同上
11月25日	前田 孝道	紀三井寺貫主	観音様と私	西国三十三所展講演会
12月3日	ジョージ・ペリー	映画評論家	ケン・ローチ監督最近作について	英国人監督ケン・ローチ特集講演会
12月9日	大塚 活美	当館学芸員	西国巡礼と四国遍路	西国三十三所展講演会
1996年1月6日	中村 房吉 小林 昌典	尾上松之助氏子息 映画美粧、小林弥六監督子息	尾上松之助を偲ぶ	話題映画の上映とポスター展座談会
2月3日	小池 民男 朝尾 直弘 井上 章一	朝日新聞社論説委員 京都大学名誉教授 国際日本文化研究センター 助教授	本の過去・現在そして未来	日本出版文化史展シンポジウム
	長尾 真 安江 良介 山本 容子	京都大学教授 岩波書店社長 版画家		
2月4日	渡辺 淳一	作家	医師から作家へ	日本出版文化史展講演会
2月5日	長蘭 安浩 渡辺 直樹 松田 哲夫 早川 幸彦	ダ・ヴィンチ編集長 PANJA 編集長 頓智編集長 中公新書編集長	編集者という仕事	日本出版文化史展シンポジウム
2月10日	林 望	作家	書誌学と書物の歴史	日本出版文化史展講演会
2月11日	瀬戸内寂聴	作家	源氏物語と出版文化	同上
2月12日	山根 一眞	作家	重さ 300g の電子紙に1000万冊の 本を入れて売る日	同上
2月24日	千 宗室	茶道裏千家家元	茶の心	同上
3月31日	島田 泉	南イリノイ大学教授	シカン文化を掘る	黄金の都シカン発掘展講演会

◎1996年度

開催年月日	講師	所属等	演題	備考
1996年6月15日	上平 貢	京都市美術館長	ルネサンスの美と人間	ミケランジェロ展講演会
6月22日	裾分 一弘	学習院大学名誉教授	作 [ピエタ] 像について	同上
7月8日	蔡 昌林	陝西歴史博物館副研究員	中国民間美術と出土文化財を貫くもの	陝西歴史博物館友好交流事業講演会
8月9日	前田 昌宏 日野耕之祐	産経新聞社文化部 上野の森美術館大賞展審査 委員	美術記者の眼 現代絵画のはざま	上野の森美術館大賞展講演会 同上
9月14日	林 健太郎	東京大学名誉教授	歴史の新しい見方	古代学協会公開学術講演会 (京都文化博物館共催)
9月26日 ・27日	ジュニファー・ ジョンストン	作家	暴力とともに生きることへの思い	ジュニファー・ジョンストン氏 朗読会と映画上映
10月12日	佐々木もと子	池大雅美術館長	文人池大雅の人となり	池大雅展講演会
10月19日	田島 達也	当館学芸員	筆あとからたどる池大雅の世界	同上
11月16日	野口 実	聖徳大学教授	東国武士と京都	京都・激動の中世展講演会
11月23日	山田 邦和	当館学芸員	中世京都を見る目	京都・激動の中世展示解説
1997年1月11日	山根 貞男	映画評論家	フィルム発掘の旅	ニッポン・シネマ・クラシック in Kyoto 講演会
2月15日	北村 武資 切畑 健 森口 邦彦	重要無形文化財保持者・ 染織作家 文化財保護審議会専門委員 染色作家		日本のわざと美展シンポジウム

⑩1997年度

開催年月日	講師	所属等	演題	備考
1997年4月12日	洲鎌佐智子	当館学芸員		婚礼のいろとかたち展列品解説
4月19日	切畑 健	大手前女子大学教授	吉祥の意匠	婚礼のいろとかたち展講演会
4月26日	古郷 彰治	当館主任学芸員		婚礼のいろとかたち展列品解説
6月8日	西川 孟 重森 執氏	写真家 土門拳の世界展プロデューサー	土門拳の世界	土門拳の世界展対談
"	佐藤 忠男	映画評論家	京都映画概論	京都映画講座第1回
6月28日	井上 陽一	映画解説者	活弁と映画スター	同上 第2回
7月5日	内海 涼子	成安造形短期大学助教授		インド更紗展ギャラリートーク
"	小林 道憲	福井大学教授	現代世界史の新しい見方 —20世紀の意味—	古代学協会公開学術講演会 (京都文化博物館共催)
7月6日	上倉 庸敬	大阪大学教授	京都が育んだ映画スター	京都映画講座第3回
7月19日	内海 涼子	成安造形短期大学助教授		インド更紗展ギャラリートーク
7月21日	加藤 幹郎	京都大学助教授	美しい日本の時代劇	京都映画講座第4回
9月14日	庄林二三雄	大阪国際大学教授	活動写真の時代	同上 第5回 (京都こども会館)
10月26日	田中 徳三 内藤 昭	映画監督 映画美術監督	大映京都撮影所を語る	同上 第6回
11月8日	ウンベルト・ パッパラルド	ナポリ大学教授	<ヴェスヴィオ火山の噴火と埋没 都市—ポンペイとエルコラーノ —>ヴェスヴィオ—大噴火と人間の 復帰	古代学協会公開学術講演会 (京都文化博物館共催)
	アントニオ・ ヴァローネ	ポンペイ考古監督局副総督	ポンペイ遺跡アッポンダンツァ通りの 発掘調査	同上
11月15日	石田 英実	京都大学大学院教授	化石からみた人類の起源と進化	ヒトの来た道展講演会
"	江馬 道生 森脇 清隆	当館嘱託 当館学芸員	探訪・京都映画地図(バスツアー)	京都映画講座第7回
11月22日	山中 一郎	京都大学大学院教授	考古学からみた人類の起源と拡散	ヒトの来た道展講演会
11月23日	日下部五朗	映画プロデューサー	東映京都撮影所を語る	京都映画講座第8回
11月29日	亀井 節夫	京都大学名誉教授	岩宿時代の動物たち	ヒトの来た道展講演会
12月6日	鈴木 忠司	当館主任学芸員	岩宿時代のヒトと暮らし	同上
12月13日	森脇 清隆	当館学芸員	アニメの時代	京都映画講座第9回 (京都テルサ)
1998年1月25日	佐藤 雅夫	東映企画制作部長	京都映画事情—企画者から	同上 第10回
2月8日	西岡 善信	映画美術監督	京都映画事情—美術監督から	同上 第11回
3月1日	中島 貞夫	映画監督	総括・京都映画事情	同上 第12回

(2)音楽会

①京都文化博物館音楽会シリーズ

「歴史と共に<音楽>を楽しむ」

主催：京都文化博物館

後援：京都文化博物館友の会

協賛：吉忠株式会社(1991年10月20日から)

協力：アマデウス音楽事務所

企画・解説：岩淵龍太郎(京都文化財団理事・京都市立芸術大学名誉教授)

◇京都洋楽事始めの頃のヨーロッパ

第一夜	ローマン派の成熟	1990年10月6日	102名
お話し	岩淵龍太郎(京都市立芸術大学教授・音楽学部長・京都文化財団理事)		
演奏	岩淵龍太郎(ヴァイオリン)/阿部裕之(ピアノ)		
曲目	F. シューベルト：ヴァイオリンとピアノのためのソナチネ 第2番 イ短調 作品137-2 C. フランク：ヴァイオリンとピアノのためのソナタ イ長調		
第二夜	ローマン派の爛熟	1990年12月5日	126名

お話 演奏 曲目	岩淵龍太郎（京都市立芸術大学教授・音楽学部長・京都文化財団理事） 岩淵龍太郎（ヴァイオリン）／塩見裕子（ヴァイオリン）／土屋理香（ヴィオラ）／永川美穂（ヴィオラ）／大澤明（チェロ）／田中次郎（チェロ） H. ヴォルフ：イタリア風セレナード／A. シューンベルク：弦楽6重奏曲「浄夜」		
第三夜	フランス・ベルギー楽派の名人芸	1991年2月9日	142名
お話 演奏 曲目	岩淵龍太郎（京都市立芸術大学教授・音楽学部長・京都文化財団理事） 鷺山かおり（ヴァイオリン） E. イザイ：無伴奏ヴァイオリンソナタ 第3番 バラード／H. ヴィエニャフスキ：キャプリスより ほか		
第四夜	ローマン派の爛熟・崩壊とその後に来たるもの その1 A. シューンベルク、A. ベルク、A. ウェーベルンと12音音楽の世界	1991年4月13日	111名
お話 演奏 曲目	稲垣清一（仏教大学教育学部教授・作曲家） 鷺山かおり（第1ヴァイオリン）／土屋理香（第2ヴァイオリン）／鈴木博詞（ヴィオラ）／大澤明（チェロ） A. ウェーベルン：5つの小品／A. ベルク：弦楽四重奏曲 第3番／A. シューンベルク：弦楽三重奏曲		
第五夜	ローマン派の爛熟・崩壊とその後に来たるもの その2 M. レーガー、P. ヒンデミート、B. バルトークの世界とその展開	1991年6月8日	121名
お話 演奏 曲目	稲垣清一（仏教大学教育学部教授・作曲家） 鷺山かおり（第1ヴァイオリン）／土屋理香（第2ヴァイオリン）／鈴木博詞（ヴィオラ）／大澤明（チェロ） M. レーガー：無伴奏ヴィオラのための組曲 第1番／P. ヒンデミート：無伴奏チェロのためのソナタ B. バルトーク：弦楽四重奏曲 第2番		
第六夜	二つの世紀末から21世紀へ 京都洋楽事始め・シンポジウム―音楽を楽しみつつ―	1991年8月10日	48名
お話 司会	稲垣清一（仏教大学教育学部教授・作曲家）／斎藤泰弘（京都大学文学部助教授・近代文化史） 岩淵龍太郎（京都市立芸術大学教授・音楽学部長・京都文化財団理事） ほか		

◇音楽史を通して見る世界史―そのI

第一夜	パレストリーナ 中世からルネサンスへ 聖堂を揺るがすポリフォニーの響き	1991年10月20日	223名
お話と指揮 演奏 曲目	ロベルト・ヴリーゲン（ベルギー名誉領事・大阪芸術大学音楽学科長・ベルギーフランドル交流センター館長） アマデウス室内合唱団 G. デュファイ：モテット Ave Regina Coelorum／J. オケゲム：ミサ Mi-Mi より Sanctus ジョスカン・デ・プレ：モテット Ave Maria…Virgo Serena G. P. ダ・パレストリーナ：モテット Super Flumina／O. ラッスス：モテット Regina Coeli ほか		
第二夜	バロック音楽とその社会的背景 古楽器の優雅な楽しみ 北欧バロックをめぐって	1991年12月9日	215名
お話 演奏 曲目	岩淵龍太郎（京都市立芸術大学教授・音楽学部長・京都文化財団理事） 大塚まゆみ（バロック・ヴァイオリン）／中村洋彦（フラウト・トラベルソ）／坂本利文（ヴィオラ・ダ・ガンバ）／榎本淳子（チェンバロ） テレマン：ダルムシュタット トリオ／シュメルツァー：ヴァイオリンソナタ ブクステフーデ：ソナタより／ジェンキンス：ファンタジア ほか		
第三夜	イタリアの輝き・モンテヴェルディとヴィヴァルディの潮流	1992年2月11日	250名
お話と指揮 演奏 曲目	ロベルト・ヴリーゲン（ベルギー名誉領事・大阪芸術大学音楽学科長・ベルギーフランドル交流センター館長） アマデウス室内合唱団ほか（通奏低音楽器） モンテヴェルディ：「アリアンナの嘆き」より Dove è la fede／シュッツ：Cantiones Sacrae パーセル：オペラ Dido and Aeneas より Fear no danger／カルダーラ：Lauda anima mea ヴィヴァルディ：Gloria より Gratias-agimus		
第四夜	世界文化史上における巨人 バッハとヘンデルの誕生	1992年4月22日	197名
お話 演奏 曲目	岩淵龍太郎（前京都市立芸術大学教授・京都文化財団理事） 塩見裕子（ヴァイオリン）／鈴木博詞（ヴィオラ）／大澤明（チェロ） バッハ：無伴奏チェロ組曲 第6番、無伴奏ヴァイオリン組曲 第2番、インヴェンションより ヘンデル：パッサカリア、合奏協奏曲 第5番より「メヌエット」、合奏協奏曲 第6番より「アレグロ」、組曲「アルキーナ」		

第五夜	ハイドン、モーツァルトとその前後	1992年6月18日	218名
お話	岩淵龍太郎（前京都市立芸術大学教授・京都文化財団理事）		
演奏	鷺山かおり（ヴァイオリン）／鈴木博詞（ヴィオラ）／大澤 明（チェロ）		
曲目	ハイドン：ヴァイオリンとチェロのための二重奏曲 D-dur、「ロンド・トリオ」より第1番 C-dur、第3番 G-dur モーツァルト：ディヴェルティメント Es-dur KV.563		
第六夜	ベートーヴェンと時代精神	1992年8月27日	214名
お話	岩淵龍太郎（前京都市立芸術大学教授・京都文化財団理事）		
演奏	塩見裕子（ヴァイオリン）／土屋理香（ヴァイオリン）／鈴木博詞（ヴィオラ）／大澤 明（チェロ）		
曲目	ベートーヴェン：弦楽四重奏曲 第6番 Op.18-6、弦楽四重奏曲 第13番「大フーガ付」		
◇音楽史を通して見る世界史—そのⅡ 19世紀ヨーロッパ音楽の絢爛豪華と世界史の激動			
第一夜	ベートーヴェンの傑作の森 その歴史的背景	1992年10月15日	116名
お話	岩淵龍太郎（前京都市立芸術大学教授・京都文化財団理事）		
演奏	久元ゆう子（ピアノ）		
曲目	ベートーヴェン：ピアノソナタ 第14番 嬰ハ短調「月光」、ピアノソナタ 第21番 ハ長調「ワルトシュタイン」		
第二夜	ヴィルトゥオーゾの世界 バガニーニとリスト	1992年12月8日	124名
お話	岩淵龍太郎（前京都市立芸術大学教授・京都文化財団理事）		
演奏	砂原亜紀（ヴァイオリン）／中井恒仁（ピアノ）		
曲目	バガニーニ：「24のキャプリス」より第17番（オリジナル）、第24番（シマノフスキー編） リスト：「バガニーニによる大練習曲」より第2番（キャプリスの第17番）、メフィスト・ワルツ ほか		
第三夜	スラブを中心にヨーロッパ民族音楽の成立へ	1993年2月15日	118名
お話	岩淵龍太郎（前京都市立芸術大学教授・京都文化財団理事）		
演奏	鷺山かおり（ヴァイオリン）／土屋理香（ヴァイオリン）／鈴木博詞（ヴィオラ）／大澤明（チェロ）		
曲目	ボロディン：弦楽四重奏曲 第2番／ドヴォルザーク：弦楽四重奏曲 第12番「アメリカ」		
第四夜	ローマン主義の極限に向かって	1993年4月28日	114名
お話	岩淵龍太郎（京都市立芸術大学名誉教授・京都文化財団理事）		
演奏	岩淵龍太郎（ヴァイオリン）／阿部裕之（ピアノ・京都市立芸術大学音楽学部専任講師）		
曲目	リヒャルト・シュトラウス：ヴァイオリンとピアノのためのソナタ 変ハ長調 Op.18 ヨハネス・ブラームス：ヴァイオリンとピアノのためのソナタ 第3番 ニ短調 Op.108		
第五夜	19世紀音楽のデカダニズム	1993年6月24日	144名
お話	岩淵龍太郎（京都市立芸術大学名誉教授・京都文化財団理事）		
演奏	三井ツヤ子（メゾソプラノ／京都市立芸術大学助教授）／ウド・シュネーベルガー（ピアノ）		
曲目	A. シェーンベルグ：作品2より「期待」／H. ヴォルフ：「花で私を覆ってください」「棄てられし乙女」「想い」 G. マラー：「原光」「悪い子どもをしつけるために」「トランペットの鳴り響くところ」 ほか		
第六夜	20世紀へ向かう世紀末音楽の代表的潮流	1993年8月26日	113名
お話	岩淵龍太郎（京都市立芸術大学名誉教授・京都文化財団理事）		
演奏	岩淵龍太郎（ヴァイオリン） ほか		
曲目	C. A. ドビュッシー：弦楽四重奏曲／B. バルトーク：弦楽四重奏曲 第1番		
◇音楽史を通して見る世界史—そのⅢ バロックからロココへの時代思潮と音楽			
第一夜	京都洋楽事始めを導く音楽の源流 17・18世紀の洋楽の原理と実践の狭間にて	1993年10月6日	80名
お話	岩淵龍太郎（京都市立芸術大学名誉教授・京都文化財団理事）		
演奏	伊藤真理子（ヴァイオリン）／大塚まゆみ（バロック・ヴァイオリン）／西村喜子（ヴィオラ・ダ・ガンバ）／青木好美（チェンバロ）／永井利佳（ヴィオラ）		
曲目	オルティス：三つのレセルカーダ／フレスコバルディ：カンツォネ「ベルナルディーナ」 マラン・マレ：聖ジュヌヴィエーヴ・デュ・モンの教会の鐘 ほか		
第二夜	バロック芸術一般とバロック音楽 その世界史的背景	1993年12月7日	95名
お話	大橋保夫（京都大学名誉教授）／岩淵龍太郎（京都市立芸術大学名誉教授・京都文化財団理事）		
演奏	大塚まゆみ（ヴァイオリン）／上田康雄（チェロ）		
曲目	パーセル：3声のソナタ／クーブラン：トリオソナタ ほか		

第三夜	ヴィヴァルディとバッハ	イタリアといわゆるドイツとの関係	1994年2月10日	147名
お話	岩淵龍太郎(京都市立芸術大学名誉教授・京都文化財団理事)			
演奏	岩淵龍太郎(ヴァイオリン)/伊藤真理子(ヴァイオリン)/尾崎幸子(ヴィオラ)/上田康雄(チェロ)			
曲目	ヴィヴァルディ: シンフォニア 第16番 ト長調/バッハ: フーガの技法 BWV 1080			
第四夜	バロックからロココへの過渡期の音楽と世界情勢	宮廷政治とアメリカ合衆国独立とフランス革命と	1994年4月4日	106名
お話	岩淵龍太郎(京都市立芸術大学名誉教授・京都文化財団理事)			
演奏	永田美穂(ヴァイオリン)/袴田美穂(ヴァイオリン)/高橋純枝(ピアノ)			
曲目	ヴェラチーニ: ヴァイオリンソナタ ホ短調/タルティーニ: ヴァイオリンソナタ ト短調 ルクレール: ヴァイオリンソナタ			
第五夜	マンハイム楽派	シュターミッツを始めとするボーダレスの移住芸術家群	1994年6月13日	109名
お話	岩淵龍太郎(京都市立芸術大学名誉教授・京都文化財団理事)			
演奏	伊藤真理子(ヴァイオリン)/尾崎幸子(ヴィオラ) ほか			
曲目	C. P. シュターミッツ: ヴァイオリンとヴィオラのための二重奏曲 OP.18 ほか			
第六夜	ハイドンとモーツァルト	両巨匠の音楽的生涯のコントラスト	1994年8月5日	179名
お話	岩淵龍太郎(京都市立芸術大学名誉教授・京都文化財団理事)			
演奏	ヴェッセリン・バラシュケヴォフ(ヴィオラ/元ウィーンフィル及びケルン放送交響楽団のコンサートマスター・エッセン音楽大学教授)/岩淵龍太郎(ヴァイオリン)			
曲目	W. A. モーツァルト: ヴァイオリンとヴィオラのための二重奏曲 第1番 ト長調 K.423 F. J. ハイドン: ヴァイオリンとヴィオラのための二重奏曲			

◇音楽史を通して見る世界史—そのIV 19世紀末からの音楽の潮流の多様化と現代史

第一夜	マーラー、ヴォルフなどに予感される新しい世紀への鼓動		1994年10月27日	122名
お話	岩淵龍太郎(京都市立芸術大学名誉教授・京都文化財団理事)			
演奏	三井ツヤ子(メゾソプラノ/京都市立芸術大学助教授)/稲田直之(ピアノ/京都市立芸術大学教授)			
曲目	マーラー: さすらう若人の歌/ベルク: 7つの初期の歌/ヴォルフ: 「イタリア歌曲集」より			
第二夜	最も伝統的な土壌に生まれた新たな音世界	シェーンベルク、ベルク、ウェーベルン	1994年12月12日	100名
お話	岩淵龍太郎(京都市立芸術大学名誉教授・京都文化財団理事)			
演奏	岩淵龍太郎(第1ヴァイオリン)/飯下英理(第2ヴァイオリン)/尾崎幸子(ヴィオラ)/上田康雄(チェロ)			
曲目	A. ウェーベルン: 弦楽四重奏のための五つの楽章 Op.5/A. ベルク: 抒情組曲			
第三夜	世界性から民族性へ、民族性から世界性へ	バルトーク、コダーイ	1995年2月16日	100名
お話	岩淵龍太郎(京都市立芸術大学名誉教授・京都文化財団理事)			
演奏	鷺山かおり(ヴァイオリン)/柳瀬順平(チェロ)			
曲目	B. バルトーク: 無伴奏ヴァイオリンソナタ/Z. コダーイ: 無伴奏チェロソナタ			
第四夜	社会主義リアリズムと称された二人の巨匠	プロコフィエフ、ショスタコーヴィチ	1995年4月27日	68名
お話	岩淵龍太郎(京都市立芸術大学名誉教授・京都文化財団理事)			
演奏	田淵千代子(ピアノ)/近藤昌子(ヴァイオリン)/上田康雄(チェロ)			
曲目	S. S. プロコフィエフ: チェロとピアノのソナタ ハ長調 Op.119 D. D. ショスタコーヴィチ: ピアノ三重奏曲 第2番 ホ短調 Op.67			
第五夜	ストラヴィンスキー	知性とバーバリーズムの共存	1995年6月29日	164名
お話	岩淵龍太郎(京都市立芸術大学名誉教授・京都文化財団理事)			
演奏	ポリヒムニア・アンサンブル、稲垣宏豊(指揮)/吉信博(クラリネット)/佐伯利之(ファゴット)/吉崎直之(トランペット)/近藤征英(トロンボーン)/長田千草(パーカッション)/原田亜紀(ヴァイオリン)/古味寛康(コントラバス)/馬場精子(語り)			
曲目	ストラヴィンスキー: 兵士の物語			
第六夜	ヒンデミット	巨大なる総合性と個性	1995年8月3日	72名
お話	岩淵龍太郎(京都市立芸術大学名誉教授・京都文化財団理事)			
演奏	岩淵龍太郎(ヴァイオリン)/近藤昌子(ヴァイオリン)/尾崎幸子(ヴィオラ)/上田康雄(チェロ)			
曲目	ヒンデミット: 2つのヴァイオリンのための2つのカノン風二重奏曲、2つのヴァイオリンのための14の易しい小品 ほか			

第七夜	人間・自然・祈り	メシアン	1995年10月25日	125名
お話	岩淵龍太郎（京都市立芸術大学名誉教授・京都文化財団理事）			
演奏	尾崎幸子（ヴァイオリン）／吉信 博（クラリネット）／姫野貞紀（ピアノ）／香野綾子（チェロ）			
曲目	メシアン：世の終わりのための四重奏曲、鳥のカタログ			
第八夜	典雅・洒脱・重厚の天才	ブリテン	1995年12月13日	59名
お話	岩淵龍太郎（京都市立芸術大学名誉教授・京都文化財団理事）			
演奏	ポリヒムニア・アンサンブル			
曲目	ブリテン：シンプル・シンフォニー、弦楽四重奏曲 第2番 ほか			
第九夜	北方からの魂のメッセージ	シュニトケとルトスワフスキー	1996年2月7日	68名
お話	岩淵龍太郎（京都市立芸術大学名誉教授・京都文化財団理事）			
演奏	近藤昌子（ヴァイオリン）／尾崎幸子（ヴィオラ）／上田康雄（チェロ）			
曲目	シュニトケ：ショスタコーヴィチ追悼のための前奏曲／ルトスワフスキー：弦楽四重奏曲			
第十夜	纏綿たる情緒とリズムのダイナミズム	サミュエル・バーバーとコープランド	1996年4月25日	89名
お話	岩淵龍太郎（京都市立芸術大学名誉教授・京都文化財団理事）			
演奏	岩淵龍太郎（ヴァイオリン）／近藤昌子（ヴァイオリン）／尾崎幸子（ヴィオラ）／上田康雄（チェロ）／田淵千代子（ピアノ）			
曲目	サミュエル・バーバー：弦楽四重奏曲 第1番 Op.11／アーロン・コープランド：ピアノ四重奏曲			
第十一夜	ジャズの興隆と20世紀の音楽	ガーシュインほか	1996年6月26日	158名
お話	岩淵龍太郎（京都市立芸術大学名誉教授・京都文化財団理事）／松園洋二			
演奏	尾崎幸子（ヴァイオリン）／松園洋二（ピアノ）			
曲目	ガーシュイン：ピアノのための3つのプレリュード／ラヴェル：ヴァイオリンソナタより「ブルース」 ストラヴィンスキー：ラグ・タイム			
第十二夜	人間・音楽家バーンスタインの全世界的影響		1996年8月7日	135名
お話	岩淵龍太郎（京都市立芸術大学名誉教授・京都文化財団理事）			
演奏	三井ツヤ子（メゾソプラノ）／田末勝志（テノール）／吉信 博（クラリネット）／加地美秀子（ピアノ）			
曲目	バーンスタイン：クラリネットとピアノのためのソナタ、「ウェストサイドストーリー」より、「七つの記念」より			
◇歴史と共に＜音楽＞を楽しむ音楽会シリーズ・VI 近代市民社会の発展と音楽—対位法から和声法へ—				
第一夜	バロック様式と近代化の黎明	大バッハ	1996年10月30日	142名
お話	岩淵龍太郎（京都市立芸術大学名誉教授・京都文化財団理事）			
演奏	田辺良子（ヴァイオリン）			
曲目	J. S. バッハ：無伴奏ヴァイオリンソナタ 第2番 イ短調、無伴奏バルティータ 第3番 ホ長調			
第二夜	イギリスの巨星ヘンデルと対位法		1996年12月16日	117名
お話	岩淵龍太郎（京都市立芸術大学名誉教授・京都文化財団理事）			
演奏	笠置雅子（ソプラノ）／岩淵龍太郎室内合奏団			
曲目	ヘンデル：「9つのドイツ・アリア」より、合奏協奏曲 Op.6-2 ヘ長調、合奏協奏曲 Op.6-12 ロ短調 ほか			
第三夜	父なるハイドン	和声法、弦楽四重奏曲、交響曲の創造と完成	1997年2月17日	112名
お話	岩淵龍太郎（京都市立芸術大学名誉教授・京都文化財団理事）			
演奏	岩淵龍太郎（第1ヴァイオリン）／永井利佳（第2ヴァイオリン）／尾崎幸子（ヴィオラ）／上田康雄（チェロ）			
曲目	F. J. ハイドン：弦楽四重奏曲 第17番「セレナード」、弦楽四重奏曲 第77番「皇帝」 ほか			
第四夜	和声法・ソナタ形式によるオペラの典型	モーツァルト	1995年4月7日	93名
お話	岩淵龍太郎（京都市立芸術大学名誉教授・京都文化財団理事）			
演奏	日比浩一（ヴァイオリン）／永井利佳（ヴァイオリン）／尾崎幸子（ヴィオラ）／友永健二（ヴィオラ）／上田康雄（チェロ）			
曲目	モーツァルト：弦楽五重奏曲 ハ長調 K.515、弦楽五重奏曲 ト短調 K.516			
第五夜	人間的発展とそれに相応した最高度の音楽	ベートーヴェン	1997年6月16日	111名
お話	岩淵龍太郎（京都市立芸術大学名誉教授・京都文化財団理事）			
演奏	田淵千代子（ピアノ）			
曲目	ベートーヴェン：ピアノソナタ 第21番 ハ長調「ワルトシュタイン」、ピアノソナタ 第23番 ヘ短調「熱情」			

第六夜	ベートーヴェン	音楽創造の時代を超えた展開・遺言	1997年8月18日	121名
お話	岩淵龍太郎（京都市立芸術大学名誉教授・京都文化財団理事）			
演奏	日比浩一（第1ヴァイオリン）／永井利佳（第2ヴァイオリン）／尾崎幸子（ヴィオラ）／上田康雄（チェロ）			
曲目	ベートーヴェン：弦楽四重奏曲 第9番 ハ長調「ラズモフスキー第3番」Op.59-3 ほか			

◇歴史と共に＜音楽＞を楽しむ音楽会シリーズ・Ⅶ 近代市民社会の発展と音楽—その2
—和声法の展開・シューベルト生誕200年を回想して—

第一夜	ピアノ曲	古典性とロマン性	1997年11月18日	87名
お話	岩淵龍太郎（京都市立芸術大学名誉教授・京都文化財団理事）			
演奏	阿部裕之（ピアノ・京都市立芸術大学助教授）			
曲目	シューベルト：ピアノソナタ イ長調 作品120 D.664、ピアノソナタ イ短調 作品42 D.845			
第二夜	ヴァイオリン・チェロとピアノのデュオ		1997年12月18日	119名
お話	岩淵龍太郎（京都市立芸術大学名誉教授・京都文化財団理事）			
演奏	伊藤真理子（ヴァイオリン）／上田康雄（チェロ）／田淵千代子（ピアノ）			
曲目	シューベルト：ヴァイオリンとピアノのための幻想曲 ハ長調、アルペッジョーネ・ソナタ イ短調			
第三夜	歌曲集	冬の旅	1998年2月27日	165名
お話	岩淵龍太郎（京都市立芸術大学名誉教授・京都文化財団理事）			
演奏	三井ツヤ子（メゾソプラノ）／土肥寿美子（ピアノ）			
曲目	シューベルト：歌曲集「冬の旅」（全曲）			

②京都文化博物館音楽会シリーズ

—特別企画—オペラの楽しみ

◇第1夜 ギリシャ悲劇からオペラの誕生

日 時：1993年11月24日

お 話：中川牧三（日本イタリア協会会長）

◇第2夜 バロック文化とオペラ

日 時：1994年3月10日

お 話：中川牧三（日本イタリア協会会長）

◇第3夜 オペラとベルカント

日 時：1994年9月3日

お 話：中川牧三（日本イタリア協会会長）

聞き手：亀村正章

（元KBS京都チーフプロデューサー）

日 時：1990年7月15日・16日

演 目：千鳥の曲、六段、祭花、さらし風手仕事
ほか

◇第2回

日 時：1991年7月14日～16日

演 目：六段、千鳥、祭花、つむぎうた、海の詩、
祭の太鼓、まりつき、たのしいメロディー
集 ほか

◇第3回

日 時：1992年7月14日、16日

演 目：六段の調、手事（輪舌）、水の変態、みず
うみの詩、たのしいメロディー集、箱根八
里、飛躍 ほか

◇第4回

日 時：1993年7月14日～16日

演 目：六段の調、千鳥の曲、唐砦、落葉の跡、た
のしいメロディー集、エリーゼのために
ほか

◇第5回

日 時：1994年7月14日～16日

演 目：六段の調、千鳥の曲、花変奏曲、風三章、
京都の童唄、禁じられた遊び ほか

◇第6回

日 時：1995年7月14日～16日

演 目：六段の調、千鳥の曲、虫の武蔵野、和風楽、
華紋、楽しいメロディー集 ほか

③祇園祭の宵山に箏曲を聴く夕べ

* 祇園祭協賛事業として琴の演奏会を開催し、同時
に別館を無料公開（18：00～20：30）した。

主 催：京都文化博物館

後 援：京都文化博物館友の会(1991年～)、京都文
化博物館ろうじ店舗博和会(1991年～)協 賛：株式会社千總(1991年～)、株式会社川島織
物(1995年～)

会 場：京都文化博物館別館ホール

演奏者：生田流宮城会麗調会社中

（代表者 浅野愛子）

◇第1回

入場者：1548人

◇第7回

日時：1996年7月14日～16日

演目：六段の調、千鳥の曲、虫の武蔵野、輝く大地、喜びの波と花と、イタリア歌曲 ほか

入場者：907人

◇第8回

日時：1997年7月14日、15日

演目：六段の調、唐砧、虫の武蔵野、さらし風手仕事、こ手鞠、北海民謡調、なつかしいメロディー ほか

入場者：302人

第3節 博物館実習

①1989年度

実施期間：1989年7月25日～28日

実習生：京都府立大学4人・立命館大学10人・金沢大学1人

実習内容・担当者：

- ・博物館の概要・館内見学—高木・片岡・石沢・塩見
- ・美術資料について —奥田・大西
- ・工芸資料について —小森・浅野
- ・民俗資料について —塩見・大塚
- ・文書資料について —藤本
- ・考古資料について —植山・山下・定森
- ・まとめと反省会 —全担当学芸員

②1990年度

実施期間：1990年7月24日～27日

実習生：京都府立大学7人・立命館大学7人

実習内容・担当者：

- ・博物館の概要・館内見学—高木・片岡・塩見
- ・美術資料について —大西
- ・工芸資料について —谷口・浅野
- ・民俗資料について —塩見・大塚
- ・文書資料について —藤本
- ・考古資料について —植山・定森
- ・まとめと反省会 —全担当学芸員

*別枠実習

実施期間：1990年5月7日～6月3日

実習生：京都外国語大学23名（4班にわけて実施）

実習内容・担当者：

- ・平安京右京五条二坊九・十六町発掘現場で実習 —植山・定森

③1991年度

実施期間：1991年7月23日～26日

実習生：京都府立大学6人・立命館大学5人・京都橘女子大学1人・大手前女子大学1人

実習内容・担当者：

- ・博物館の概要・館内見学—高木・片岡・塩見・

鈴木

- ・美術資料について —大西・長舟
- ・工芸資料について —谷口・浅野
- ・民俗資料について —塩見・大塚
- ・文書資料について —藤本
- ・考古資料について —山下・南
- ・まとめと反省会 —全担当学芸員

④1992年度

*第1組

実施期間：1992年9月1日～4日

実習生：京都府立大学7人・京都芸術短期大学5人

*第2組

実施期間：1992年9月8日～11日

実習生：立命館大学7人・京都外国語大学5人

実習内容・担当者：

- ・博物館の概要・館内見学—高木・片岡・塩見・鈴木
- ・美術資料について —大西・長舟・田島
- ・工芸資料について —谷口・藤本(恵)
- ・民俗資料について —塩見・大塚
- ・文書資料について —藤本(孝)
- ・考古資料について —植山・定森
- ・まとめと反省会 —全担当学芸員

⑤1993年度

*第1組

実施期間：1993年7月13日～16日

実習生：京都府立大学7人・立命館大学5人

*第2組

実施期間：1993年7月20日～23日

実習生：京都外国語大学5人・京都芸術短期大学5人

実習内容・担当者：

- ・博物館の概要・館内見学—塩見・鈴木
- ・美術資料について —大西・長舟・田島
- ・工芸資料について —谷口・藤本(恵)
- ・民俗資料について —塩見・大塚

- ・文書資料について ー藤本(孝)
- ・考古資料について ー南・山田
- ・まとめと反省会 ー全担当学芸員

*別枠実習

実施期間：1993年4月10日～6月1日(随時)

実習生：京都外国語大学14名

実習内容・担当者：

- ・特別展「マヤ」の準備及び会期中に実習ー南

⑥1994年度

*第1組

実施期間：1994年7月5日～8日

実習生：京都府立大学6人・立命館大学3人

*第2組

実施期間：1994年7月12日～15日

実習生：京都外国語大学8人・京都造形大学2人・

京都芸術短期大学3人

実習内容・担当者：

- ・博物館の概要・館内見学ー塩見・鈴木
- ・美術資料について ー大西・長舟・田島
- ・工芸資料について ー谷口・藤本(恵)・洲鎌
- ・民俗資料について ー塩見・大塚
- ・文書資料について ー藤本(孝)
- ・考古資料について ー南
- ・まとめと反省会 ー全担当学芸員

⑦1995年度

*第1組

実施期間：1995年7月25日～28日

実習生：京都府立大学7人・立命館大学4人

*第2組

実施期間：1995年8月29日～9月1日

実習生：京都外国語大学8人・京都造形大学4人・

京都芸術短期大学1人

実習内容・担当者：

- ・博物館の概要・館内見学ー石沢・鈴木・長舟
- ・美術資料について ー大西・長舟・田島
- ・工芸資料について ー谷口・藤本(恵)・洲鎌

- ・民俗資料について ー石沢・大塚
- ・文書資料について ー藤本(孝)
- ・考古資料について ー南・山田
- ・まとめと反省会 ー全担当学芸員

⑧1996年度

*第1組

実施期間：1996年7月23日～26日

実習生：京都府立大学6人・立命館大学5人

*第2組

実施期間：1996年8月27日～30日

実習生：京都外国語大学6人・京都造形大学5人・

京都芸術短期大学2人

実習内容・担当者：

- ・博物館の概要・館内見学ー石沢・鈴木・南・大西
- ・美術資料について ー大西・長舟・田島
- ・工芸資料について ー谷口・古郷・洲鎌
- ・民俗資料について ー石沢・大塚
- ・文書資料について ー藤本
- ・考古資料について ー山下・南
- ・まとめと反省会 ー全担当学芸員

⑨1997年度

*第1組

実施期間：1997年7月22日～25日

実習生：京都府立大学5人・立命館大学5人

*第2組

実施期間：1997年8月26日～29日

実習生：京都外国語大学7人・京都造形大学3人・

京都芸術短期大学2人

実習内容・担当者：

- ・博物館の概要・館内見学ー石沢・鈴木・洲鎌
- ・美術資料について ー大西・長舟・野口
- ・工芸資料について ー谷口・古郷・洲鎌
- ・民俗資料について ー石沢・大塚
- ・文書資料について ー藤本・大塚
- ・考古資料について ー定森・山田
- ・映像資料について ー森脇
- ・まとめと反省会 ー全担当学芸員

第4節 その他の活動

(1)資料閲覧室

当館では館蔵の図書資料と、館職員、学芸員の研究・参考資料としての図書資料を一括して資料閲覧室で管

理するシステムをとっている。蔵書内容は歴史、考古、美術、工芸、映像等多分野にわたり、現在単行本約5万冊、逐次刊行物約1万タイトル(約4万冊)を収蔵

する。収集に関しては寄贈が中心で全体の9割以上を占めるのが現状である。

蔵書構成としては歴史、考古、美術、工芸、映像の研究に必要な単行本に加え、歴史・考古分野の発掘報告書が約17,000冊、美術・工芸分野の展覧会図録が約6,500冊と多いのが特徴である。映像関係では映画シナリオが約12,000冊と多いことに加え、映画監督の伊藤大輔氏、森一生氏、脚本家の結束信二氏、映画評論家の荻昌弘氏の蔵書を文庫化して一括管理している。開館から1994年度までは一般の来館者に開架閲覧とレファレンス・サービスを行っていたが、1995年度からは、映像資料を中心とする資料の整理や適切な資料の保存の促進をはかるため一般公開を停止し、研究目的で特に閲覧を希望する者に対して公開している。

(2)文化情報コーナー

当館では開館時から1階無料ゾーンの文化情報コーナーにおいて京都で催される歴史、美術・工芸の展覧会や映画の上映、お祭り、伝統芸能といった情報をチラシ、ポスター等の印刷物とコンピュータ端末を使った情報検索で来館者に提供してきた。

催事チラシ、パンフレットについては、京都府内を中心に国内の美術館・博物館等文化施設、社寺、映画館から直接送られてくるチラシ、催事情報のリーフレット等常時100種以上を設置し、来館者が自由に持ち帰ることができる。

コンピュータによる文化情報検索については、開館から1994年度までは汎用コンピュータを使い、京都府内で催される文化催事の情報をリアルタイムで更新し毎月300件以上提供した。そして1992年度以降はこの文字検索ベースのシステムに加え、グラフィカルなインターフェイスを持つパソコンのシステムを導入、京

(3)生涯学習ボランティア

1993年度に、京都府長寿社会政策室から生涯学習の振興を図るために、府関連文化施設に対してボランティアを導入するようとの呼びかけがあった。当館では、開館以来、コンパニオンが歴史常設展示室の監視を兼ねて、展示の説明をしてきた経過もあって、外国人の入館者に対する英語によるガイドに限定して、ボランティアを受け入れることとした。

①第1回生涯学習ボランティアの募集

・1993年10月1日 京都府が京都府内の生涯学習ボ

資料閲覧室書籍受入数・利用者数一覧

年 度	受入数	利用者数
開館前	13,887	—
1988年度	3,238	8,290
1989年度	2,382	13,989
1990年度	2,465	14,245
1991年度	3,612	18,547
1992年度	9,916	17,826
1993年度	2,865	20,578
1994年度	1,824	18,669
1995年度	2,294	—
1996年度	1,976	—
1997年度	2,077	—
計	46,536	112,144

情報コーナー利用者数一覧

年 度	利用者数	年 度	利用者数
1988年度	25,372	1992年度	41,390
1989年度	37,680	1993年度	44,114
1990年度	32,907	1994年度	43,435
1991年度	42,579		
		計	267,477

都の伝統行事、歴史、庭園、寺社の御利益、散歩道、コーヒーショップ、京の花等の内容の固定的情報(『京のオススメ』)を提供している。1995年度には汎用コンピュータによる情報提供システムを休止したが、現在は『京のオススメ』に加え、1995年より近畿の歴史文化についてのCDによる動画情報(『歴史街道～ロマンへの扉』32件)を設置して来館者に提供している。

ランティア(博物館等ボランティア)を募集(活動施設:京都府京都文化博物館、京都府立植物園、京都府立堂本印象美術館、京都府立山城郷土資料館)

京都文化博物館は英語による館内ガイドの定員20名のところに希望者64名が応募(内33名が、生涯学習ボランティア養成講座を受講)

・1993年11月～12月 生涯学習ボランティア養成講座の共通講座開催(11月10日、17日、24日、12

月1日、8日、15日)

- 1994年1月～3月 生涯学習ボランティア養成講座のコース別講座開催(1月12日、26日、2月2日、9日、16日、23日、3月2日、9日、23日)

カリキュラムの内容:

1. オリエンテーション
2. 京都文化博物館の概要
3. 館内の実地見学
4. 京都の美術史概論・3階の美術展示概要
5. 映像文化・文化情報・図書資料
6. 京都の歴史概論
7. 2階の歴史展示の内容
8. 2階歴史展示の説明についてのグループ協議
9. グループ協議の成果を英語説明の形で発表
10. 入館者対応経験談-当館コンパニオン
11. 英語解説についての指導

②第2回生涯学習ボランティア募集

- 1997年11月～12月 第2回生涯学習ボランティア養成講座の共通講座開催(11月12日、19日、26日、12月3日) 13名参加
- 1998年1月～3月 第2回生涯学習ボランティア養成講座の施設別講座開催(1月21日、28日、2月4日、18日、25日、3月4日、11日) 11名参加

カリキュラムの内容:

1. オリエンテーション
2. 京都文化博物館の概要
3. 館内の実地見学
4. 京都の美術史概論
5. 京都の映像文化
6. 京都の歴史概論
7. 歴史展示の説明
8. 英語解説の実習
9. 京都の伝統産業
10. 入館者対応経験談

1998年4月より第2回生涯学習ボランティア養成講座(英語による館内ガイド)を受けた10名が新たにボランティアMOKの会に合流

③主な活動

- 1994年度

- 4月15日 ボランティア29名で活動を開始
- 5月18日 第1回総会
- 7月9日 第2回総会 会の名称を「MOK

の会」と決定

- 9月17日 臨時総会
- 11月19日 例会
- 1月18日 生涯学習ボランティア報告会
- 2月18日 臨時総会
- 3月18日 見学研修1日旅行(神泉苑・蛇塚古墳・極原廃寺・西寺跡・羅城門・洛東遺芳館・木下美術館)

- 1995年度

- 4月22日 1995年度第1回総会 役員体制
1班 千歳(副会長) 活動調整
2班 二谷(副会長) 会計
3班 志賀(会長) まとめ役
- 6月16日 6月例会
- 9月9日 9月例会
- 11月18日 見学研修会(浄瑠璃寺・宇治平等院)
- 1月20日 1月例会
- 1月24日 生涯学習ボランティア合同研修会
場所:山城郷土資料館・けいはんなプラザ・新世代通信網実験施設
- 1月29日 全国博物館ボランティア研究協議会
場所:国立科学博物館上野本館
- 3月16日 3月例会

- 1996年度

- 4月13日 1996年度第1回総会
- 6月15日 6月例会
- 9月7日 9月例会
- 11月2日 見学研修会(東寺[講堂・金堂・五重塔一階内部・宝物館・特別展]・二条城・洛東遺芳館)
- 12月10日 生涯学習ボランティア合同研修会
場所:宇治市生涯学習センター・宇治市植物公園
- 1月11日 1月例会
- 3月8日 3月例会 1997年度役員選出
1班 桜井和代 2班 榎堀勝
3班 浅野伊三夫

- 1997年度

- 4月19日 1997年度第1回総会
- 6月21日 6月例会
- 9月20日 9月例会
- 11月15日 見学研修会(西本願寺[飛雲閣、白書院]・東本願寺[沙成園(釈迦堂)]・京都国立博物館開館100周年記念特別展覧会・三十三間堂)

1月7日 1月例会
 3月7日 3月例会 1998年度役員選出

1班 河田和子 2班 榎堀勝
 3班 今井嘉夫

(4)京都文化博物館友の会

①友の会の概要

友の会は歴史・美術・工芸、映像等に興味をもつ人々が京都文化博物館を通して楽しみながら博物館活動に協力することを目的として発足し、1990年4月からスタートした。

◇会員の特典

- ・会員証で常設展(映画鑑賞を含む)・特別展の無料での観覧
- ・会員同伴者5人以内を限度として1人20%の割引
- ・友の会が主催・後援する行事等の案内
- ・毎月、博物館の催事情報や各種行事案内の送付
- ・博物館発行出版物の割引

◇会費

- ・一般会員(個人) 年会費 6,000円
- ・グループ会員(2名以上) 年会費 5,000円(1人)

◇会員数

年度	会員総数	個人	グループ
1990年度	750	456	294
1991年度	853	585	268
1992年度	816	571	245
1993年度	983	655	328
1994年度	1,173	696	477
1995年度	1,153	718	435
1996年度	1,158	714	444
1997年度	921	606	317

②見学会

- ・1990年9月18日
 見学先：知恩院三門修理工事現場
 説明者：京都府文化財保護課福田敏朗技師

参加者：60名

- ・1992年3月5日

見学先：西本願寺(御影堂・阿弥陀堂・書院・飛雲閣)

参加者：62名

- ・1993年4月20日

見学先：妙心寺(大方丈・庫裏・法堂・仏殿・浴室・開山堂・衡梅院本堂及び庭園)

参加者：51名

- ・1994年4月24日

見学先：浄瑠璃寺・当尾の石仏・岩船寺

参加者：56名

- ・1995年4月20日

見学先：相国寺法堂保存修理現場・承天閣美術館

説明者：京都府文化財保護課白石悦二主査

参加者：55名

- ・1996年5月16日

見学先：曼殊院庫裏修理現場及び大書院・小書院

説明者：京都府文化財保護課奥野裕樹主査・小室睦技師

参加者：55名

- ・1997年5月16日

見学先：仁和寺(遶廓亭・御殿・金堂・観音堂・御影堂・五重塔・霊宝館)

説明者：全国国宝重要文化財所有者連盟後藤佐雅夫事務局長

参加者：55名

第5章 国際交流

第1節 陝西歴史博物館友好交流事業

(1)友好提携調印までの経過

陝西歴史博物館は、1990年6月に陝西省西安市に開館した陝西省立の大規模な博物館である。京都文化博物館との友好提携については、1991年以来、同館から何度か非公式に打診があったが、正式には、1993年8月に同館の陳全方館長が来日し京都府を表敬訪問された際に、荒巻京都府知事に対して申し入れられたのが最初である。同年10月、京都府・陝西省友好提携10周年記念式典のために訪中された知事に、陳館長から再度両館の友好提携についての申し入れがあり、これを受けて同行していた当館片岡学芸第二課長にこの件について検討を進めるようにと知事から指示があった。荒巻知事は帰国後の定例記者会見で、両博物館の友好提携を目指す旨発表された。

その後、館内で友好交流事業の内容や日程などについて検討を重ねるとともに京都府との調整も進めていった。1994年3月の「大唐長安展」第5回訪中団派遣の

際に、陝西省文物局より両館の友好交流は館対館の交流ではあるが陝西省人民政府の承認が必要である旨の指摘があった。当館からは、「大唐長安展」の開幕(同年9月9日)に合わせて両館の友好提携の調印をしたいので、陝西省が派遣する代表団に陝西歴史博物館の代表者を加えてほしいとの要望をして了承された。しかし、同年8月の「大唐長安展」第7回訪中団と宋振興文物局外事処長ならびに陳館長との打ち合わせにおいて、陝西省人民政府の承認が得られていないので9月の京都での調印は仮調印としたいこと、仮調印の署名は「大唐長安展」の開幕代表団団長尹盛平陝西歴史博物館副館長が行うこと、仮調印の議定書を持ち帰って省内手続きを終えてから正式調印の運びとしたいこと、という提案が陝西省側からあった。館及び京都府は相談の結果これを了承し、宋処長との間で仮調印文書案の調整を行った。

(2)友好提携に関する仮調印

「大唐長安展」の開会式の翌日、9月9日、京都文化博物館7階サロンにおいて両館の友好提携に関する仮調印式を行い、京都文化博物館側を代表して東條壽

副館長が、陝西歴史博物館を代表して尹盛平副館長が議定書に署名した。

日本国京都府京都文化博物館と中国陝西歴史博物館との友好提携に関する議定書

日本国京都府京都文化博物館と中華人民共和国陝西歴史博物館とは、交流の絆を強め、事業の推進をはかるために、両博物館の友好提携の意志を確認し、ここに調印を行う。

なお、本議定書は、双方の必要な手続きを完了したのちに正式調印を行い、その後に効力を生ずる。

1994年9月9日

日本国京都府京都文化博物館代表 副館長 東條 壽	中華人民共和国陝西歴史博物館代表 副館長 尹 盛平
-----------------------------	------------------------------

11月、京都で開催された'94世界博物館・美術館京都会議に出席のため来日された陳館長と東條副館長との間で友好提携に関する協議が行われ、具体的な内容

についても話し合われたが、最終的な結論には到らなかった。

12月上旬に借用文物の返却のために派遣された「大

唐長安展」第8回訪中団の片岡学芸第二課長に対して、陳館長から両館の友好提携についてすでに陝西省人民政府の承認を得ているので、12月下旬に訪中予定の「大唐長安展」第9回訪中団の西安滞在中に正式調印を行いたいということと、正式調印文書は具体的な交流内容を入れたものにしたい旨の申し入れがあった。これについては館及び京都府との調整を要するので、早急に正式調印文書案を作成して東條副館長宛FAXされるよう要望した。FAXされた文案について館内での検討と京都府との調整が行われた結果、若干の修正が行われた文案が学芸第二課長に届いたので、これをもとに陳館長と最終打ち合わせを行った。「展覧会

の相互開催」という項目を削除したことに対して陳館長から不満の意が示されたが、大型経費を伴う項目を入れることについては京都府との早急な調整が困難であること、展覧会の開催については「学術交流」の項目に含むものと解し、具体的には改めて協議をすること、などを説明して理解を求めた。最終的には陳館長から「具体的なことについては今後協議する」という一文を加えることを条件に、京都府側提示の文案のままの調印について了承を得た。なお、当館の岡本道雄館長は12月下旬に訪中でできないので、京都であらかじめ署名しておいて調印式に臨むことも了解された。

(3)友好提携に関する正式調印

1994年12月21日、陝西歴史博物館会議室において両館の友好提携に関する正式調印式が行われた。岡本道雄京都文化博物館館長（署名済、代理・東條壽副館長）と陳全方陝西歴史博物館館長が議定書に署名し、次い

で京都府側立会人の高橋正典京都府総合府民部次長と陝西省側立会人の張廷皓陝西省文物局副局長が署名して、両館の友好提携はここに正式にその歴史の第一歩を踏み出した。

日本国京都府京都文化博物館と中華人民共和国陝西歴史博物館の友好提携に関する議定書

日本国京都府京都文化博物館と中華人民共和国陝西歴史博物館とは、両博物館の交流の絆を強め、双方の事業の発展を推進するため、両博物館の友好関係を確立させることを確認し、ここに調印を行う。

今後、双方の協議を経て、次の分野で相互の協力・交流を行う。

1. 学術研究の成果の交流
2. 文物の保護技術の交流
3. 人材の育成・交流

以上の各号の具体的内容については別途協議を行う。

1994年12月21日

日本国京都府京都文化博物館館長 岡本道雄
立会人 高橋正典

中華人民共和国陝西歴史博物館館長 陳 全方
立会人 張 廷皓

議定書調印に基づく両館の協議の結果、人的交流については、1年おきにそれぞれ職員2名を2週間派遣

するものとし、その第1回として1995年度に京都文化博物館が職員を派遣することとなった。

(4)友好交流事業の開始

1995年8月、当館東條副館長は1995年度の具体的な交流事業として、①当館職員2名を研修のため約2週間陝西省に派遣すること、②両館の出版物を交換する

こと、③その他博物館活動に関する情報の交換を行うこと、の三点を書簡で陳館長に提案した。これに対して、①先日館長職を辞した、②後任の館長には周天游

西北大学教授が就任された、③両館の友好交流の件については、周新館長に引き継いだ、旨の返信があった。それから間もなく、周天游新館長から東條副館長に対して、館長就任の挨拶とともに、上記の東條副館長の三点の提案について、原則としてこれに同意し、当館2職員の陝西省滞在中の費用と研修に関する費用とを陝西歴史博物館側が負担するとの回答があった。

これを受けて、館内での協議の結果、本年度は新井

田郁雄事業課長と鈴木忠司学芸第二課主幹の2名を12月に派遣することと決定し、周館長に連絡した。早速、周館長から2職員の来訪を歓迎する旨の返信があった。

その後、NHKの招請で、周天游館長が王文清文物局長・韓偉陝西省考古研究所長らとともに来日されたので、11月29日、滞在中の奈良ホテルに東條副館長と新井田・鈴木の両名らが訪ねて、訪中研修などについての協力を要請した。

(5)第1回友好交流事業（第1回当館職員派遣）

1995年12月9日から12月22日まで、陝西歴史博物館との友好交流事業の第一歩として、新井田郁雄事業課長と鈴木忠司学芸第二課主幹の2名を陝西省に派遣した。

両名はまず、陝西省文物事業管理局・陝西歴史博物館および西安碑林博物館を表敬訪問して、平安建都1200年と京都府・陝西省友好提携10周年を記念して前年に開催した「大唐長安展」への協力に対して深謝するとともに、今回の両博物館の友好交流事業開始についての理解と協力を要請した。

西安滞在中には、陝西歴史博物館・西安碑林博物館のほか、法門寺博物館、乾陵博物館、昭陵博物館、茂陵博物館、咸陽博物館、秦始皇兵馬俑博物館などの博物館施設の視察と、唐大明宮含元殿跡・大雁塔（大慈恩寺）・小雁塔（薦福寺）・鐘樓、乾陵とその陪塚の永泰公主墓・章懷太子墓・懿德太子墓、阿房宮、茂陵などの遺跡や史跡の見学をした。

12月19日には、周館長以下陝西歴史博物館の職員9

名の出席を得て、懇談の場を設け、主として両館の今後の友好交流事業のあり方などについて意見の交換をした。通訳の問題もあって必ずしも十分な話し合いはできなかったが、幾つかの問題点も明らかになり、それなりに意義のある懇談会であった。今後も相互に密接に連絡を取り合って交流事業を進めていくことを確認した。

なお、旧石器文化の研究を専門とする鈴木主幹は、12月15日に陝西省考古研究所員の案内で、西安の東南170 kmにある洛南県の龍牙洞遺跡（40万年前の遺跡）を見学し、また12月18日の午前中には同研究所で旧石器の調査の機会を得た。その際に、鈴木から出版物の相互交換を申し出、また韓偉同研究所長からは共同調査の提案もあった。

帰路北京に寄り、国家文物局外事処を表敬訪問して、「大唐長安展」に対する協力への謝意を表してきた。呉熙華同処長から、今後の京都での文物展開催への協力要請があった。

(6)第2回友好交流事業

（第1回陝西歴史博物館職員招聘）

1996年6月28日から7月11日までの2週間、初めて陝西歴史博物館の職員を招聘した。派遣された職員は、楊安煜（同館后勤管理処総務科長・エンジニア）・蔡昌林（陳列保管部副研究員・画家）の2名で、楊氏は博物館における業務管理等について、また蔡氏は美術及び美術史等についての研修を目的とした来日であった。両氏の研修に際しては全館をあげて応対した。

京都府と京都文化財団関連施設（府立文化芸術会館・府立府民ホール・府立堂本印象美術館）の表敬訪問ののち、京都ならびに近隣各地の博物館・美術館施設等（京都国立博物館・同館内国宝修理所・京都国立近代美術館・兵庫県立歴史博物館・神戸市立博物館・国立

民族学博物館・奈良国立博物館・奈良国立文化財研究所など）を視察するとともに、京都市内では文化財修復現場（妙心寺庫裏）や埋蔵文化財発掘現場（法金剛院境内地）などの視察も行った。

7月8日には、博物館友の会会員にも呼びかけて、「中国民間美術と出土文化財を貫くもの—伝統的思考と向き合って—」と題する蔡氏の講演会を開催した。講演会の終了後には、両氏を囲んで、当館や文化芸術室の職員との懇談会を開いて、博物館の管理運営や学術成果などについて意見や情報の交換を行った。両氏はその後、東京で東京国立博物館や東京都江戸東京博物館、名古屋で愛知県立美術館などを視察して、7月

11日離日された。

当初は双方に若干のとまどいはあったものの、各施設訪問の間には、京都市内の観光等も織りまぜたり

して次第に交流を深め、精力的に日程をこなすことができた。講演会や懇談会を通じて相互の課題などについても語り合え、成果の多い初めての招聘であった。

(7)第3回友好交流事業（第2回当館職員派遣）

1997年9月25日から10月8日の予定で、石沢誠司学芸第一課長ならびに金田暁総務課主幹の2名を陝西歴史博物館に派遣した。

陝西歴史博物館および陝西省文物事業管理局を表敬訪問し、博物館では周天游館長に当館岡本館長の親書を手渡した。その後、西安碑林博物館、陝西省考古研究所、西安半坡博物館、大雁塔・小雁塔・大清真寺、乾陵とその陪塚の永泰公主墓・懿德太子墓および乾陵博物館、昭陵博物館、秦始皇兵馬俑博物館、華清池などを、訪問・視察・見学した。

9月30日、石沢課長の自宅で不測の事態が生じた旨の連絡が入り、館および陝西歴史博物館とも協議の結果、急遽予定を変更して翌10月1日帰国した。

急な日程の短縮ではあったが、石沢課長は研修の目的であった中国における「三節句の調査」に関して、陝西省考古研究所の呉鎮烽副所長から聞き取りを行い、金田主幹も陝西歴史博物館の組織と運営状況について、周館長に話を聞くなどして、それぞれ一定の成果を得た研修であった。

第2節 その他の交流事業

①国際協力事業団の「文化財修復整備技術コース」への協力

世界各地に存在する貴重な文化遺産の自然作用による劣化や盗掘・内戦などによる荒廃が近年著しく進んでおり、その保存修復作業は、世界的にも緊急の課題となっている。しかし開発途上国では、文化財の保存修復よりも経済開発事業が優先され、文化財の重要性は認識されていても、保存については十分な対策が講じられていないのが実状である。

こうした現状に対して、国際協力事業団では、開発途上国における関連諸技術の向上をはかり、文化財の

保存と整備の推進に貢献することを目的として、1992年度から「文化財修復整備技術コース」を設け、豊富な文化財を背景に永年蓄積されてきた文化財修復技術を有する京都で、関連諸機関（京都国立博物館・京都大学・滋賀県立大学・京都府教育委員会・兵庫県教育委員会・京都府埋蔵文化財調査研究センター・京都市埋蔵文化財研究所・滋賀県文化財保護協会・京都環境計画研究所・京都科学など）の協力を得て実施してきた。当館に対しては、1993年度に国際協力事業団から協力の要請があり、以来「展示技術」についての研修を以下のとおり実施してきた。

年度	研修年月日	研修内容		研修員	
		研修名	担当者	人数	国名
1993年度	1994年4月18日	京都文化博物館の概要・館内見学 考古学資料の展示への利用について 民俗資料の展示への利用について 「旧日本銀行京都支店」の保存と 利用について	鈴木忠司学芸第二課課長補佐 南 博史学芸第二課学芸員 大塚活美学芸第一課学芸員 東條 壽副館長	5	カンボディア 中国 パキスタン ペルー タイ
	4月19日				
1994年度	1995年3月30日	京都文化博物館の概要・館内見学 考古学資料の展示への利用について 民俗資料の展示への利用について 「旧日本銀行京都支店」の保存と 利用について	鈴木忠司学芸第二課主幹 南 博史学芸第二課学芸員 大塚活美学芸第一課学芸員 東條 壽副館長	7	カンボディア 中国 インドネシア パキスタン パキスタン タイ ペルー
	3月31日				
1995年度	1996年3月18日	京都文化博物館の概要・館内見学 考古学資料の展示への利用について	鈴木忠司学芸第二課主幹 南 博史学芸第二課学芸員	7	中国 韓国

年度	研修年月日	研修内容		研修員	
		研修名	担当者	人数	国名
1995年度	3月19日	民俗資料の展示への利用について 「旧日本銀行京都支店」の保存と 利用について	大塚活美学芸第二課学芸員 東條 壽副館長		ラオス パキスタン スリランカ タイ ベルー
1996年度	1997年4月7日	京都文化博物館の概要・館内見学 博物館における模型の活用について 三条通の街並み保存と 町づくりについて 「旧日本銀行京都支店」の保存と 利用について	鈴木忠司学芸第二課主幹 片岡 肇学芸第二課課長 望月秀祐京都府建築士会 前会長	7	バングラデシュ 中国 ブータン パキスタン スリランカ タイ ベルー
	4月8日		東條 壽参与		
1997年度	1998年4月6日	京都文化博物館の概要・館内見学 博物館における模型の活用について 考古学資料の展示への利用について 「旧日本銀行京都支店」の保存と 利用について	鈴木忠司学芸第二課主幹 片岡 肇学芸第二課課長 南 博史学芸第二課学芸員 東條 壽前副館長	7	カンボディア 中国 ミャンマー パキスタン スリランカ タイ ベリーズ
	4月7日				

②映画

京都市内にはブリティッシュ・カウンシル、ドイツ文化センター、アメリカン・センター（1995年閉館）、関西日仏学館、日本イタリア会館等、各国の文化学術の紹介と国際交流を目的とする各国の組織が活動している。これらの文化センターは、自国の文化を広範にとらえ、歴史、美術だけでなく、音楽、舞踊、そして映画等様々なジャンルのパッケージを提供している。当館は閉館以来これら各国の文化センターと多分野にわたって事業の共催を行ってきたが、その多くは、作品や研究成果を紹介するだけに止まらず、作家、研究者を京都に招聘し、講演会やワークショップを通して生の交流の場が設定されるものであった。

映像部門に関しては、京都に映画撮影所や映画スタッフ養成機関、また映像の研究に取り組む大学が複数あり、多くの映像作家、技術者、研究者が在住していることから、新しい技術情報を含めて海外の映像文化に対する関心も高く、かなり専門的な交流が行われてきた。具体的には、有名作家（アンディ・ウォーホル、デビッド・リーン、デレック・ジャーマン、ピーター・グリーナウェイ等）の日本では公開配給されていない初期作品や短編作品の上映をはじめ、英国の黒人作家

（アイザック・ジュリアン）、ドイツの女性作家（レナーテ・メアマン、ヘルケ・ザンダー、ヘルマ・ザンダース・ブラームス）、米国の女性作家（ジェリー・ダッシュ）、東洋系作家（グリル・チン、トリン・T・ミンハ）、日系作家（ヨネモト兄妹、グレッグ・アラキ）らの作品上映と講演会を開催し、欧米社会でもマイノリティに属する作家の製作環境、懸案、ヴィジョンなどについて、生の声に接する貴重な場を提供してきた。

また、米国の若手作家（デビッド・ブレア）によるデジタル技術の映画への導入の実例の紹介や、英国アニメーション作家（ポール・ドーリア）やドイツ実験映画作家（クリストフ・ヤネツコ）によるワークショップには、京都の映像作家も参加して、製作技術の公開実演を通しての熱気あふれる文化交流となった。これら製作関係に加え、映画文化の保存・普及に関する文化交流として、ドイツでのフィルム・アーカイブ運動の歴史とフィルム復元に関する講演会（エンノ・パタラス）や、ブリティッシュ・フィルム・インスティテュート、中国映画協会、ドイツの自治体で非商業上映に係わるグループ等との懇談会を通して、多面的な文化交流をはかってきた。

第6章 ギャラリー事業

第1節 5・6階展示室

(1) 京都文化財団展示室運営委員会

美術・工芸作家等が京都文化博物館5階展示室及び京都府立文化芸術会館展示室を使用するにあたって、展示室運営を適正かつ円滑に進めるために、京都文化財団では展示室運営委員会を設置している。展示室運営委員会委員は学識経験者ならびに美術・工芸作家の中から理事長が委嘱し、任期は2年である。委員会は

毎年3回開催し、展示室使用を希望する美術・工芸作家等の作品について審議している。

・展示室運営委員会委員

学識1名、日本画3名、洋画2名、彫刻1名、工芸3名(染織・陶芸・漆芸各1名)、書2名(仮名・漢字各1名)、写真1名 計13名

委員会開催日	審査対象期間	審査件数	委員会開催日	審査対象期間	審査件数
1988年6月20日	1988年11月～1989年8月①	20件	1993年5月27日	1993年12月～1994年3月	12件
9月20日	1988年11月～1989年8月②	12件	9月30日	1994年4月～1994年7月	14件
1989年1月31日	1989年9月～1989年11月	21件	1994年2月24日	1994年8月～1994年11月	31件
5月30日	1989年12月～1990年3月	13件	6月9日	1994年12月～1995年3月	16件
10月4日	1990年4月～1990年7月	16件	9月29日	1995年4月～1995年7月	15件
1990年2月13日	1990年8月～1990年11月	21件	1995年1月26日	1995年8月～1995年11月	22件
6月6日	1990年12月～1991年3月	17件	6月22日	1995年12月～1996年3月	13件
10月19日	1991年4月～1991年7月	14件	10月5日	1996年4月～1996年7月	17件
1991年2月27日	1991年8月～1991年11月	13件	1996年2月15日	1996年8月～1996年11月	21件
6月12日	1991年12月～1992年3月	13件	6月13日	1996年12月～1997年3月	14件
10月7日	1992年4月～1992年7月	14件	10月24日	1997年4月～1997年7月	13件
1992年2月25日	1992年8月～1992年11月	17件	1997年2月27日	1997年8月～1997年11月	25件
5月28日	1992年12月～1993年3月	14件	6月12日	1997年12月～1998年3月	14件
9月24日	1993年4月～1993年7月	14件	10月23日	1998年4月～1998年7月	17件
1993年1月28日	1993年8月～1993年11月	21件	1998年2月26日	1998年8月～1998年11月	19件

(2) 5階展示室(美術・工芸作家の利用)

美術・工芸作家の発表の場として開設されていた「京都府工芸美術陳列所(京都府ギャラリー)」が、1988年3月に廃止されたこととともない、その機能を展開できる場として、5階展示室に美術・工芸作家が利用する期間を設けている。利用期間は毎月21日から月末の前日までと定め、原則として府内に活動の本拠をもつ作家及び府内にゆかりのある作家が利用するも

のとする。また、展示作品については、絵画・彫刻・工芸・書・デザイン・写真・華道等の作品で、かつ内容が充実しているものとし、利用の可否は、展示室運営委員会において利用申込者の作品を審議の上、決定する。開館より1997年度末までの間に使用件数427件を数える。

① 作家利用一覧

・1988年度

会期	展覧会名	分野	会期	展覧会名	分野
1988.11.20～21	糸屋・有田絵更紗展	染織	1989.1.25～30	汎具象会友と受賞作家展	洋画
23～27	白土会洋画選抜展	洋画	25～30	京都美術文化賞受賞記念展	総合
23～27	金愛子(KIM AEJA)展	洋画	2.22～27	新象関西選抜展	洋画
23～27	成安女子短期大学造形芸術専攻科展	総合	22～27	一陽会関西作家展	洋画
12.22～25	井村之彦日本画展	日本画	22～27	あまがつ会人形展	諸工芸
22～27	平安書道会聚英展	書	22～27	全国身体障害者スポーツ大会写真展	写真
1989.1.25～29	面風会能面・狂言面展	諸工芸	3.21～26	創紀会小品展	総合

会期	展覧会名	分野	会期	展覧会名	分野
1989. 3.22~26	権貴玉個展	日本画	1989. 3.28~30	秋山公道展・公道社同人展	書
計 16件 (33日間)					22,267人

・1989年度

会期	展覧会名	分野	会期	展覧会名	分野
1989. 4. 1~ 6	堀井香坡個展	日本画	1989. 9.22~26	京都ユネスコ協会美術工芸展	総合
13~17	「紙器コンストラクション」 奥田広幸面白紙箱展	諸工芸	22~26	北村正巳個展	日本画
21~23	五橋会書展	書	22~28	日本墨絵会展	日本画
21~23	絵更紗画林展	染織	10.20~24	絵更紗美術協会会員展	染織
21~26	日本画光玄展	日本画	20~29	松村光秀 身の表現展	洋画
21~29	京都銅版協会 春の版画展	洋画	26~30	成安女子短期大学造形芸術専攻科展	総合
25~29	檀野功個展	洋画	27~29	面匡会京都能面展	諸工芸
27~29	森岡峻山 米寿記念書展	書	11.19~23	平安書道会聚英展	書
5.21~25	京都日本画家協会選抜展	日本画	25~29	萌葱会染色作品展	染織
27~30	京都書作家代表展	書	25~29	白土会洋画選抜展	洋画
27~30	艸の実会同人展	諸工芸	25~29	馬淵富士夫展	洋画
6.23~28	筍々会展	日本画	12.14~18	京の名工展	工芸総合
23~28	創工会展	工芸総合	22~24	書の会「躍」展	書
7.21~25	玄林社南画展	日本画	1990. 1.21~28	高橋文雄の世界遺作展	総合
21~25	独立美術京都会員展	洋画	22~28	京都美術文化賞受賞記念展	総合
27~30	等迦展	洋画	2.23~27	あまがっ会人形展	諸工芸
8.20~23	日中書画合同展	書	23~27	日本工芸会近畿支部金工部会展	金工
26~30	示現会京都作家展	洋画	23~27	新象関西選抜展	洋画
			3.25~27	京都華道選抜展	華道
計 37件 (105日間)					50,471人

・1990年度

会期	展覧会名	分野	会期	展覧会名	分野
1990. 4.20~22	浅井素堂個展	書	1990. 9.27~29	京扇子図案創作展	諸工芸
24~29	佐竹藍月染色作品展	染織	10.20~24	平安書道会聚英展	書
25~29	日本画光玄展	日本画	20~24	福井勇遺作展	洋画
25~29	汎具象受賞作家と会員展	洋画	20~24	白土会洋画選抜展	洋画
5.12~15	京都日本画家協会選抜展	日本画	26~28	秀叢展	書
18~20	絵更紗画林展	染織	11.24~28	京の名工展	工芸総合
18~20	漆樹展	漆芸	12.15~18	KYOTO FIBERS	染織
23~27	京都書作家代表展	書	21~25	面風会能面・狂言面展	諸工芸
6.22~27	筍々会展	日本画	21~27	帆の会展	洋画
22~29	遺作津田周平自選展	洋画	22~24	書の会「躍」展	書
7. 4~10	ニコラ・ヘンリー展	染織	1991. 1.18~22	京都芸術短期大学卒業制作展	総合
20~24	三本文夫日本画展	日本画	28~ 2. 4	京都美術文化賞受賞記念展	総合
20~24	成安女子短期大学専攻科展	総合	30~ 2. 3	森伸子個展	洋画
26~30	創工会展	工芸総合	2.22~26	あまがっ会人形展	諸工芸
8.22~26	示現会京都作家展	洋画	22~26	新象関西選抜展	洋画
22~26	孫三郎陶展	陶芸	22~26	汎具象会友と受賞作家展	洋画
24~26	柳春堤水墨画遺作展	日本画	3.22~26	京都勤労者書道連盟同人展	書
9.21~23	面匡会京都能面展	諸工芸	22~26	型染・西嶋武司の世界	染織
21~25	京都ユネスコ協会美術工芸展	総合	22~26	紺・森康次作品展	染織
21~25	萌葱会染色作品展	染織	28~30	森田和子遺作展と後藤姉妹三人書作展	書
27~29	堤雅鳳・吉川鳳春かな二人展	書	28~30	糸屋・有田絵更紗展	染織
27~29	傘寿記念平山無涯展	書			
計 43件 (109日間)					57,505人

• 1991年度

会期	展覧会名	分野	会期	展覧会名	分野
1991. 4.19～23	東筈蒼遺作展	日本画	1991. 9.26～29	面匡会京都能面展	諸工芸
19～23	現代工芸近畿会展	工芸総合	10.21～25	平安書道会聚英展	書
25～28	艸の実会同人展	諸工芸	21～25	萌葱会染色作品展	染織
25～29	日本画光玄展	日本画	23～25	屏風絵の佳人たちと江戸小袖展	染織
26～28	五橋会書展	書	27～29	秋山公道米寿記念書展	書
5.20～24	田能村直外展	日本画		併催公道社同人展	
20～24	筍々会展	日本画	11.23～27	京の名工展	工芸総合
20～24	四人の会展	美術総合	12.20～24	帆の会展	洋画
21～23	絵更紗画林展	染織	21～23	書の会「躍」展	書
26～30	京都書作家協会会員展	書	1992. 1.21～28	京都美術文化賞受賞記念展	総合
6.22～26	京都日本画家協会新鋭選抜展	日本画	22～26	汎具象会友と受賞作家展	洋画
7.19～23	成安女子短期大学専攻科展	総合	2.20～23	成安女子短期大学服飾文化学科 卒業制作展	工芸総合
25～29	創工会展	工芸総合			
8.12～19	市川洋展	洋画	21～25	あまがつ会人形展	諸工芸
22～25	比叡山回峰行絵巻展	日本画	25～29	京都芸術短期大学卒業制作展	総合
23～27	示現会京都作家展	洋画	3.20～22	森岡峻山遺作展	書
9.20～23	絵更紗美術協会会員作品展	染織	20～24	木原明展	染織
25～29	西藤正雄作品展	日本画	20～24	京都勤労者書道連盟同人展	書
25～29	京都ユネスコ協会美術工芸展	総合	27～29	京都華道選抜展	華道

計 36件 (102日間) 51,093人

• 1992年度

会期	展覧会名	分野	会期	展覧会名	分野
1992. 4.16～20	宮下南山書歴60年記念展	書	1992. 9.21～25	画業50年山田勇自選展	洋画
22～26	日本画光玄展	日本画	10.22～25	書の会「躍」展	書
22～26	新日本美術協会京都巡回展	美術総合	22～25	面匡会京都能面展	諸工芸
24～26	絵更紗画林創立70周年記念展	染織	22～25	京焼・清水焼伝統工芸士会 創立10周年記念作陶展	陶芸
5.21～25	京都書作家協会会員展	書			
27～30	むすび文化展	諸工芸	22～26	平安書道会聚英展	書
27～30	有田あや絵更紗遺作展	染織	27～30	爽爽会人形展	諸工芸
27～30	湯浅三郎個展	日本画	27～30	萌葱会作品展	染織
6.18～21	安田虚心古希展	日本画	11.25～29	京の名工展	工芸総合
18～22	森谷洋至写真展	写真	12.22～27	帆の会展	洋画
18～22	藤波晃作品展	洋画	22～27	北村正巳個展	日本画
25～29	京都日本画家協会選抜展	日本画	23～24	きもの23染技連展	染織
7. 5～ 8	成安女子短期大学専攻科展	総合	1993. 1.21～25	汎具象会友と受賞作家展	洋画
16～20	面風会能面展	諸工芸	21～28	京都美術文化賞受賞記念展	総合
16～20	山田大作水墨画展	日本画	31～ 2. 3	成安女子短期大学服飾文化学科 卒業制作展	工芸総合
16～20	筍々会展	日本画			
16～20	白土会洋画選抜展	洋画	2.16～21	京都芸術短期大学卒業制作展	総合
22～26	創工会展	工芸総合	23～ 3. 1	在仏30年赤木曠児郎展	洋画
28～ 8. 1	染・織—京都からの発信—	染織	24～28	新象関西春季展	洋画
8.26～30	示現会京都作家展	洋画	3.21～24	国際公募美展 '93 選抜展	美術総合
26～30	神谷かん個展	日本画	26～30	あまがつ会人形展	諸工芸
26～30	渡辺やすえ自選展	洋画	26～30	岡野靖夫作品展	洋画
9.21～23	春宣展	染織	26～30	京都勤労者書道連盟同人展	書
21～25	京都ユネスコ協会美術工芸展	総合			

計 45件 (111日間) 55,836人

・1993年度

会期	展覧会名	分野	会期	展覧会名	分野
1993. 4.23~27	日本画光玄展	日本画	1993. 9.25~29	白土会洋画選抜展	洋画
23~27	亀村俊二写真展 「いき」の「かたち」	写真	25~29	京都ユネスコ協会美術工芸展	総合
23~27	吉田洋三展「木版画の新しい世界」	洋画	10.21~24	萌葱会染色作品展	染織
29~ 5. 2	田中勇吉遺作展及び一門展	染織	21~24	面匡会京都能面展	諸工芸
29~ 5. 2	谷口稔・敏子写真展 「緑のメルヘン2人展」	写真	21~25	平安書道会聚英展	書
29~ 5. 2	磯部茂樹挿絵展 —天地有情・若桜軍記—	日本画	27~30	宮野ヒロコポピンレース展	染織
5.21~24	絵更紗美術協会会員作品展	染織	27~30	爽爽会人形展	諸工芸
26~30	京都書作家協会会員展	書	27~30	書の会「躍」展	書
26~30	佐橋壽郎写真展旅のスケッチ —まち・ひと・自然—	写真	28~30	絵更紗画林展	染織
6.17~21	谷田頼郎作品展	洋画	11.25~29	京の名工展	工芸総合
17~21	筍々会展	日本画	12.22~27	帆の会展	洋画
17~21	前田正志染色作品展	染織	22~27	白日会関西支部展	洋画
24~28	京都日本画家協会選抜展	日本画	22~27	森伸子水彩画展 —オーストラリアの風景—	洋画
7. 9~11	艸の実会同人展	諸工芸	1994. 1.20~24	京都芸術短期大学卒業制作展	総合
15~19	成安造形短期大学専攻科展	総合	26~30	汎具象会友と受賞作家展	洋画
22~26	創工会展	工芸総合	26~ 2. 2	京都美術文化賞受賞記念展	総合
8.10~11	現代京都書芸展	書	2.18~21	成安造形短期大学服飾文化学科 卒業制作展	工芸総合
19~24	窠鴻会展	美術総合	23~27	あまがつ会人形展	諸工芸
26~30	示現会京都作家展	洋画	23~27	四季風薫る深泥池写真展	写真
27~29	甦る染織・小袖史	染織	23~27	友禪・花のきもの展	染織
9.18~23	高麗陶芸・パリ帰朝展 —谷俊成の世界—	陶芸	23~27	京都教育大学美術科 (工芸・構成専攻) 卒業制作展	工芸総合
25~29	湯浅三郎個展 —墨彩画・和紙はり絵—	日本画	3.10~15	三上利秋柿波彫刻展	彫刻
25~29	面風会能面・狂言面展	諸工芸	20~22	シボリコミュニティ展	染織
			24~27	京都華道選抜展	華道
			29~30	谷口宏・石田凱宣染色展	染織

計 48件 (122日間) 57,902人

・1994年度

会期	展覧会名	分野	会期	展覧会名	分野
1994. 4.17~19	彩糸会絵更紗展	染織	1994. 8. 6~16	光風工芸「明日へのかたち」展	工芸総合
17~19	都機工房作品展	染織	11~22	久保田繁雄タピストリーワーク 1974—1994	染織
22~26	日本画光玄展	日本画	18~22	新美'94	美術総合
22~26	現代京都書芸展	書	24~28	示現会京都作家展	洋画
5.20~24	国際結び文化京都展	諸工芸	24~28	西田竹泉遺墨展	書
27~30	京都の書の流れ展	書	24~28	高木聡遺作展	洋画
6.21~26	猪田七郎—残していった絵画展— 6人の作品展	洋画	9.16~19	書の会「躍」展	書
28~ 7. 2	筍々会展	日本画	16~20	白日会関西支部展	洋画
28~ 7. 2	島田雨城自詠歌書 「京の四季・百景展」	書	16~20	前田正志染色作品展	染織
7.16~19	成安造形短期大学専攻科展	総合	22~26	藤波晃作品展	洋画
21~25	創工会展	工芸総合	22~26	吉田洋三手摺り木版展	洋画
27~31	大地美術会展	洋画	22~26	京都ユネスコ協会美術工芸展	総合
27~31	個の交錯	美術総合	28~30	甦る屏風展	日本画
27~31	夢大展	洋画	10.21~25	平安書道会聚英展	書
8. 6~10	京焼・清水焼伝統工芸士作陶展	陶芸	21~25	平安桜楓会御所公開展	日本画
6~10	京都教育大学彫塑研究室OB展 —SOLGENTE—	彫刻	21~25	白土会洋画作品展	洋画
			21~25	公家風篆刻と書の美	書
			23~25	絵更紗画林展	染織
			27~30	創作人形四人展	諸工芸

会期	展覧会名	分野	会期	展覧会名	分野
1994.10.27~30	面匡会京都能面展	諸工芸	1995. 2.17~21	あまがっ会人形展	諸工芸
27~30	萌葱会染色作品展	染織	17~21	京都教育大学美術科	工芸総合
11. 1~ 5	京の能を描く能英樹作品展	洋画		(工芸・構成専攻)卒業制作展	
1~ 5	中村光江能面展	諸工芸	17~21	H・Jラデロフ獨墨展	日本画
2~ 5	日本の書総合臨書同人展	書	23~26	成安造形短期大学服飾文化学科	工芸総合
18~24	日中友好写真展	写真		卒業制作展	
12. 7~23	洋画KYOTO展(京都府企画展)	洋画	3.22~26	公家風篆刻と書之美	書
1995. 1.19~22	森康次作品展一摺り泊と刺繍一	染織	22~26	新象関西春季展	洋画
19~22	川浪進洋画展	洋画	23~26	京都現代書芸展	書
24~31	京都美術文化賞受賞記念展	総合	29~ 4. 2	帆の会展	洋画
26~31	汎具象会友と受賞作家展	洋画	29~ 4. 2	面風会能面・狂言面展	諸工芸
2.17~21	面庄岡本庄三しのぶ展	諸工芸	31~ 4. 2	小椋会織物展	染織

計 58件 (137日間) 66,724人

・1995年度

会期	展覧会名	分野	会期	展覧会名	分野
1995. 4.20~24	日本画光玄展	日本画	1995.10.26~30	白土会洋画作品展	洋画
20~24	欄の会能面展	諸工芸	27~30	書の会「躍」展	書
20~24	新日美京都巡回展	美術総合	27~30	面匡会京都能面展	諸工芸
26~29	湯浅三郎展	日本画	27~30	創作人形展	諸工芸
26~29	南久美子の世界マンガ游墨展	漫画	11.16~20	創工会展	工芸総合
5. 1~ 4	新美'95	美術総合	23~27	京の名工展	工芸総合
1~ 4	前田正志染色作品展	染織	23~27	北沢一念能面展	諸工芸
1~ 4	大山甲日染色展	染織	12.22~24	水明書道会選抜秀叢展	書
20~24	京表装と現代美術の風	洋画	1996. 1.18~21	一月の会書展	書
20~24	筍々会展	日本画	18~21	谷口稔・敏子写真展	写真
26~30	京都書作家協会会員展	書	18~21	佐野朝彦・片山通夫写真展	写真
6. 4~ 7	絵更紗美術協会会員展	染織	23~30	京都美術文化賞受賞記念展	総合
24~28	京都日本画家協会新鋭選抜展	日本画	25~30	汎具象会友と受賞作家展	洋画
7.			2.13~16	成安造形短期大学服飾文化学科	工芸総合
8.	(展示室改修工事のため休室)			卒業制作展	
9.10~14	北村正巳個展	日本画	18~20	京都橘女子大学国文科書道コース	書
10~14	光風工芸「明日へのかたち」展	工芸総合		卒業制作展	
10~14	上絵陶芸展	陶芸	22~26	あまがっ会人形展	諸工芸
16~19	成安造形短期大学専攻科展	総合	22~26	京都教育大学工芸専攻科	工芸総合
21~25	示現会京都作家展	洋画		卒業作品展	
21~25	佐竹藍月染色展	染織	23~25	玉村咏作品展	染織
21~25	京都ユネスコ協会美術工芸展	総合	23~26	京都現代書芸展	書
27~30	宮野ヒロコポピンレース展	染織	3.22~24	京都教育大学構成専攻科	諸工芸
27~30	追悼三輪高英展	日本画		卒業作品展	
27~30	京都教育大学彫塑研究室OB展	彫刻	22~25	新美'96	美術総合
	—SOLGENTE—		27~30	前田正志染色作品展	染織
10.22~24	絵更紗画林展	染織	27~30	岡田直子個展—所在の軌跡—	洋画
22~24	平安書道会聚英展	書	27~30	染織作家グループ異風展	染織
22~25	萌葱会染色作品展	染織			

計 50件 (104日間) 48,621人

・1996年度

会期	展覧会名	分野	会期	展覧会名	分野
1996. 4.22~24	吉岡肇染色展	染織	1996. 4.26~30	森伸子水彩画展	洋画
26~30	日本画光玄展	日本画	27~29	一澤宗弘写真展	写真
26~30	新日美京都支部展	美術総合	5. 2~ 6	筍々会展	日本画

会期	展覧会名	分野	会期	展覧会名	分野
1996. 5. 2～6	京都教育大学120周年記念展	総合	1996.10.22～25	京焼・清水焼伝統工芸士作陶展	陶芸
22～26	京都書作家協会会員展	書	26～30	蒔葱会染色作品展	染織
6.21～25	京都日本画家協会新鋭選抜展	日本画	27～31	平安書道会聚英会	書
27～29	彩糸会絵更紗展	染織	27～31	白土会洋画作品展	洋画
7.12～18	現代日本の手仕事展	工芸総合	11.22～26	京の名工展	工芸総合
20～23	成安造形短期大学専攻科展	総合	29～12. 1	水明選抜書展	書
26～30	創工会展	工芸総合	12.21～25	帆の会展	洋画
8.22～26	示現会京都作家展	洋画	21～25	片山通夫写真展	写真
22～26	蒼龍展	書	21～25	能英樹日本伝統芸能絵画展	洋画
22～26	京都教育大学彫塑研究室OB展 —SOLGENTE—	彫刻	1997. 1.17～19	日本工芸会近畿支部人形部会展	諸工芸
28～9. 1	ファインド・アイ文人光画展	写真	21～28	京都美術文化賞受賞記念展	総合
9.19～25	光風工芸「明日へのかたち」展	工芸総合	23～28	汎具象会友と受賞作家展	洋画
21～25	面風会能面・狂言面展	諸工芸	31～2. 2	京都橘女子大学国文学部書道コース 卒業制作展	書
21～25	京都ユネスコ協会美術工芸展	総合	2.20～23	成安造形短期大学服飾文化学科展	工芸総合
27～29	面匡会京都能面展	諸工芸	3.20～24	あまがつ会人形展	諸工芸
27～29	書の会「躍」展	書	21～24	京都現代書芸展	書
27～29	絵更紗画林展	染織	26～30	日本画三人展表地・島田・岩崎	日本画
10.22～25	いなりきよこアートウィービング	染織	26～30	面風会能面・狂言面展	諸工芸
22～25	佐藤泰子きもの作品展	染織	28～30	小桜会織物展	染織
			計 44件 (112日間)		42,962人

・1997年度

会期	展覧会名	分野	会期	展覧会名	分野
1997. 4.19～23	日本画光玄展	日本画	1997. 9.25～29	大月光勲能面展	諸工芸
19～23	金愛子 (KIM AEJA) 展	洋画	25～29	京都ユネスコ協会美術工芸展	総合
19～23	新日美京都巡回展	美術総合	10. 4～8	絵更紗画林展	染織
25～29	北沢一念能面展	諸工芸	4～8	蒼蒼展	洋画
25～29	出口育子洋画展	洋画	4～8	白土会洋画作品展	洋画
25～29	諸藤英世画業八十年展	日本画	10～13	書の会「躍」展	書
5.22～26	京都書作家協会会員展	書	10～13	中嶋紫都創作きもの展	染織
28～31	絵更紗美術協会会員展	染織	10～14	三上利秋彫刻展「一流転の筏一」	彫刻
6.19～23	京都日本画家協会新鋭選抜展	日本画	10～14	欄の会能面展	諸工芸
25～29	小山静陽日本画展	日本画	16～19	蒔葱会染色作品展	染織
25～29	筍々会展	日本画	16～20	平安書道会聚英展	書
7.17～24	成安造形短期大学専攻科展	総合	16～20	東白陵生誕120周年展	美術総合
26～30	新美'97	美術総合	11.20～24	京の名工展	工芸総合
8.10～17	市川洋滞仏30年展	洋画	26～30	創工会展	工芸総合
21～25	蒼龍展	書	12.19～21	水明選抜書展	書
21～25	宋瑞和中國絵画展	日本画	23～27	帆の会展	洋画
21～25	六樹会書法篆刻作品展	書	1998. 1.22～29	京都美術文化賞受賞記念展	総合
21～25	京都教育大学彫塑研究室OB展 —SOLGENTE—	彫刻	24～29	汎具象会友と受賞作家展	洋画
27～31	示現会京都作家展	洋画	31～2. 1	京都橘女子大学国文学部書道コース 卒業制作展	書
27～31	ファインド・アイ文人光画展	写真	2.19～22	成安造形短期大学服飾文化学科 卒業制作展	工芸総合
28～31	八月の会書展	書	3.20～24	あまがつ会人形展	諸工芸
9.18～21	前田正志染色作品展	染織	20～24	面風会能面・狂言面展	諸工芸
18～21	面匡会京都能面展	諸工芸	26～30	大塚亮治の創作面展	諸工芸
18～21	嵯峨美術短期大学 2次元表現コース展	美術総合	26～30	亀村俊二写真展	写真
23～29	光風工芸「明日へのかたち」展	工芸総合	27～30	京都現代書芸展	書
			計 50件 (128日間)		51,012人

②作家利用分野別入場者状況

区分 年度		美術						工芸				美術 工芸 総合	総計
		日本画	洋画	書	写真	その他	美術 総合	染織	陶芸・金 竹・漆	諸工芸	工芸 総合		
1988年度	件数	2	5	2	1	0	0	1	0	2	0	3	16
	日数	9	26	9	9	0	0	5	0	10	0	17	—
	人数	2,671	6,903	2,895	1,336	0	0	1,336	0	2,895	0	4,231	22,267
1989年度	件数	7	9	6	0	1	0	3	1	4	2	4	37
	日数	40	53	22	0	3	0	13	5	17	11	25	—
	人数	9,205	7,694	9,937	0	1,526	0	4,057	1,343	4,543	5,213	6,953	50,471
1990年度	件数	5	9	9	0	0	0	8	2	4	2	4	43
	日数	23	50	33	0	0	0	38	8	16	10	23	—
	人数	6,759	10,790	12,488	0	0	0	7,900	2,272	4,699	5,811	6,786	57,505
1991年度	件数	7	4	7	0	1	1	5	0	3	4	4	36
	日数	34	23	27	0	3	5	20	0	13	19	23	—
	人数	9,848	3,972	7,990	0	1,724	764	6,033	0	4,822	8,262	7,678	51,093
1992年度	件数	8	10	5	1	0	2	6	1	5	3	4	45
	日数	38	51	24	5	0	9	21	4	22	14	22	—
	人数	8,524	12,596	7,083	1,435	0	1,608	5,275	1,407	7,781	4,550	5,577	55,836
1993年度	件数	5	8	4	4	2	1	10	1	5	4	4	48
	日数	24	43	16	19	10	6	37	6	21	19	23	—
	人数	5,196	7,293	4,522	5,020	4,295	402	11,855	1,776	6,592	5,782	5,169	57,902
1994年度	件数	5	16	10	1	1	2	8	1	7	4	3	58
	日数	23	80	47	7	5	10	38	5	33	21	17	—
	人数	5,621	15,606	12,656	849	843	2,478	7,913	996	10,692	5,841	3,229	66,724
1995年度	件数	6	5	7	2	2	3	10	1	6	5	3	50
	日数	28	25	28	8	8	13	39	5	26	24	17	—
	人数	5,963	4,657	7,320	1,145	884	1,977	7,231	1,073	7,817	7,032	3,522	48,621
1996年度	件数	4	6	7	3	1	1	7	1	5	5	4	44
	日数	20	31	28	13	5	5	24	4	21	28	8	—
	人数	4,598	3,442	6,661	2,157	432	908	5,186	719	4,951	8,532	5,376	42,962
1997年度	件数	6	8	9	2	2	4	5	0	7	4	3	50
	日数	30	44	33	10	10	19	21	0	34	21	21	—
	人数	6,616	6,021	8,020	3,056	1,476	2838	3,956	0	7,489	8,122	3,418	51,012

(3) 5・6階展示室（一般の利用）

5階展示室及び6階の和風展示室は美術・工芸作品の展覧会のほか、京物と称される京都の伝統産業製品を紹介することを目的とした展示会、内見会、見本市等の会場としても利用されている。5階の利用は、原則として作家の利用期間を除いた月初より20日までの

期間に限られるが、開館より1997年度末までの間に、美術・工芸展を中心に348件の利用件数を数える。

また6階和風展示室は和装・呉服展示会を中心に、448件の利用件数を数えている。

①分野別利用状況（5階）

年度	区分	和装 呉服	染織	美術	工芸	その他	計	年度	区分	和装 呉服	染織	美術	工芸	その他	計
1988年度	件数	6	0	1	2	8	17	1993年度	件数	14	6	19	8	3	50
	回数	19	0	3	9	24	55		回数	51	22	62	39	9	183
1989年度	件数	25	1	4	3	5	38	1994年度	件数	11	6	14	8	1	40
	回数	83	5	11	16	19	134		回数	39	22	46	38	4	149
1990年度	件数	17	1	2	3	5	28	1995年度	件数	10	3	15	2	2	32
	回数	54	4	9	19	16	102		回数	32	13	37	16	6	104
1991年度	件数	18	2	6	2	9	37	1996年度	件数	8	3	15	9	2	37
	回数	63	13	19	15	44	154		回数	25	14	53	44	8	144
1992年度	件数	11	5	10	8	3	37	1997年度	件数	4	2	19	6	1	32
	回数	40	23	30	35	9	137		回数	12	14	86	32	4	148

②分野別利用状況（6階）

年度	区分	和装 呉服	染織	美術	工芸	その他	計	年度	区分	和装 呉服	染織	美術	工芸	その他	計
1988年度	件数	27	0	1	0	0	28	1993年度	件数	42	4	1	0	4	51
	回数	81	0	2	0	0	83		回数	128	11	3	0	13	155
1989年度	件数	57	2	0	1	3	63	1994年度	件数	38	5	0	0	2	45
	回数	161	6	0	2	10	179		回数	113	13	0	0	7	133
1990年度	件数	52	3	1	0	3	59	1995年度	件数	30	4	0	1	1	36
	回数	143	8	2	0	6	159		回数	88	13	0	3	4	108
1991年度	件数	46	4	1	1	0	52	1996年度	件数	29	1	0	0	1	31
	回数	144	10	2	3	0	159		回数	87	2	0	0	4	93
1992年度	件数	48	3	0	0	1	52	1997年度	件数	26	2	1	1	1	31
	回数	137	8	0	0	1	146		回数	78	6	3	4	1	92

第2節 別館ホール

別館ホール（重要文化財・旧日本銀行京都支店営業室）は通常、常設展示室内のホールとして公開されている。1992年3月、多目的ホールとして展覧会、音楽会などの文化催事等に利用できるよう改修工事が施さ

れ、特別展の併設会場および音楽会等の館主催事業に利用している。また1993年1月より、貸会場として当館が認める催事にも利用している。

①利用状況

年度	会期	展覧会・音楽会名	入場者数
1992年度	1993. 1. 9～ 1.10 2.23～ 3. 1 3.18～ 3.21	C Bカレッジ京都 フラワーコーディネーター卒業作品展	
		在仏30年 赤木曠児郎「パリ20区を描く」展	
京都建築学生之会 卒業設計展			
			計 793
1993年度	1993. 4.14～ 4.18 5. 5 9.23～ 9.29 10. 9～10.11 10.17～10.18 10.22～10.24 11. 6～11. 7 11. 9～11.11 11.13～11.14 11.19～11.23 12.12 1994. 2.21～ 2.27 3.13 3.17～ 3.20	品川哲山「野人」書展	
		アストロリコ タンゴコンサート	
		「伝統と現代—内なる日本的なるもの—」建築展	
		京都書画院游墨展	
		京の川・水・流れ	
		盆石と彩石画展	
		「彩られた花たち」ドライフラワー展	
		全国手漉き和紙展	
		C Bカレッジ京都 フラワーコーディネーター卒業作品展	
		源氏物語そのころと舞台展	
		アストロリコ クリスマスタンゴコンサート	
		京の景観 応募写真展	
		京都フィルハーモニー室内合奏団 定期演奏会	
	京都建築学生之会 卒業設計展		
			計 10,068
1994年度	1994. 5.21～ 5.25 5.28～ 5.29 6.25 7.23 7.25～ 8. 3 9.13～ 9.19 9.23～ 9.25 10. 8～10. 9 10.12～10.16 10.20～10.26 10.29 10.30 11. 3～11. 7 11.12 11.13 11.17～11.20 11.23～11.27 12. 3～12. 4 12.11 1995. 3. 4～ 3. 5 3. 9～ 3.12 3.16～ 3.28	狂言「花子」装束と九人の作家たち	
		いけばなインターナショナル京都チャプター 花展	
		京都フィルハーモニー室内合奏団 定期演奏会	
		寺井一通「京に詩う」シャンソンコンサート	
		古都游彩 三田村宗二作品展	
		日本中国書画代表作家展	
		京都書画院游墨展	
		盆石と彩石画展	
		吉川一郎写真展—法常寺の彩り—	
		建築職人「枝の博物館」	
		京ことばコンサート	
		アルゼンチンfolkloreコンサート	
		宮絵師 安川如風展	
		京都国際音楽祭 奈良ゆみシャンソンコンサート	
		京都国際音楽祭 中韓日交流弦楽四重奏コンサート	
		総合美術 都々良会展	
		森谷洋至写真展 京の明治人百人衆	
		C Bカレッジ京都 フラワーコーディネーター卒業作品展	
		アストロリコ クリスマスタンゴコンサート	
		華道・写真シンポジウム	
	京都建築学生之会 卒業設計展		
ルシアン「レース資料館」特別展			
			計 14,141
1995年度	1995. 5.20 7. 1 9.22～ 9.24 11. 3～12.10 1996. 1.20～ 1.21 1.28 2.17～ 2.18 2.23	アマダハーブスタジオ イリスハーブコンサート	
		京都フィルハーモニー室内合奏団 ふみづきコンサート	
		京都書画院游墨展	
		スミソニアン博物館 大宝石・ミネラル展	
		C Bカレッジ京都 フラワーコーディネーター卒業作品展	
		諏訪あいシャンソンリサイタル	
		東山未生流 小枝の会いけばな展	
ポリヒムニアアンサンブル コンサート			

年 度	会 期	展 覧 会 ・ 音 楽 会 名	入 場 者 数
	3.10 3.14～ 3.17 3.23～ 3.24	オフィス池山 ノスタルジックコンサート 京都建築学生之会 卒業設計展 洛北ロータクトクラブ 触れてみる展覧会	
		計	39,801
1996年度	1996. 4.14 4.28 5. 3 5.11～ 5.12 5.16～ 5.24 6. 2 7.20 9.13 9.19～ 9.23 10. 4 10. 6 10.11～10.13 10.18～10.20 10.22～10.28 11.30 12.23 12.25 1997. 2. 2 2. 8 2.22 3.29～ 4. 2	アストロリコ タンゴコンサート 京都フィルハーモニー室内合奏団 定期演奏会 アトリエ咲いたさいた フラワーアレンジメント展 京友禅への期待 高橋啓治郎の足跡展 英国王室エジンバラ公 フィリップ殿下コレクション展 日本歌曲振興会「新・浪の会」日本歌曲演奏会京都公演 Moss Strings Quartet 弦楽四重奏コンサート 京都書画院遊墨展 メキシコ在住30周年記念 五次勝木彫展 京都フィルハーモニー室内合奏団 定期演奏会 (株)京都府教職員互助組合 ユーラシア音楽紀行 総合美術 都々良会展 クボ・セラミックドール展 アトリエ創立25年 石川暢子創作ジュウリー作品展 アリババと15人の盗賊 京都コンサート LA 萌 DIE・松井智恵クリスマスコンサート 安藤広ピアノリサイタル アストロリコ タンゴコンサート 杵屋寿浩 長唄「二題能会」 ポリヒムニアアンサンブル コンサート 春季チャーチル会京都作品展	
		計	9,875
1997年度	1997. 4.13 5.25 7. 4 9. 7 9.27～11. 3 12.23 1998. 1.18 1.30 2.20～22	茶木みやこ・岡崎倫典 男と女のうたがたり 京都フィルハーモニー室内合奏団 わかくさコンサート 鷺山かおり室内楽コンサート 加藤ますえカンツォーネコンサート よみがえる自動楽器の音色展—オーケストリオンとその仲間たち— LA 萌 DIE・松井智恵クリスマスコンサート アストロリコ タンゴコンサート 茶木みやこ・下田逸郎 男と女のうたがたり 京都府陶磁器バーチャル美術館	
		計	6,811

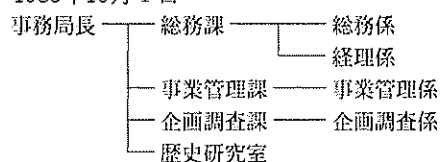
第7章 管理・運営

第1節 組織と職員

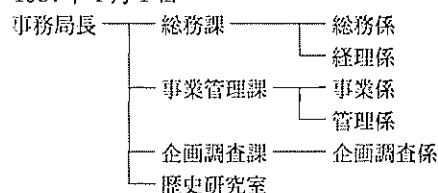
(1) 組織

① 京都文化財団（～1988年3月31日）

・1986年10月1日

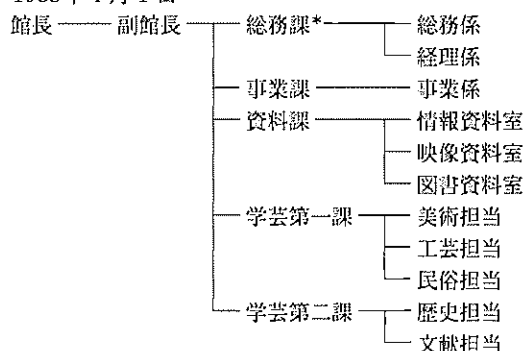


・1987年4月1日

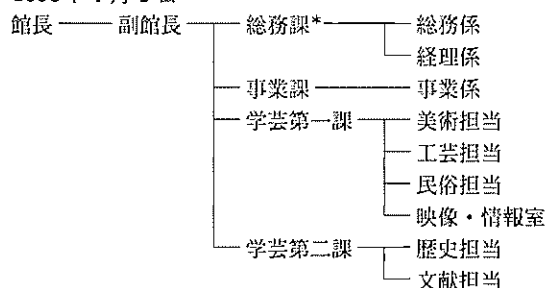


② 京都文化博物館

・1988年4月1日



・1995年4月1日



* 財団本部事務局総務課兼務

(2) 職員

① 職員数

年度	館長	副館長	参与	総務課	事業課	資料課	学芸第一課	学芸第二課	事業管理課	企画調査課	歴史研究室	計
1986年度	(1)	(1)	—	6	—	—	—	—	4	3	10	25
1987年度	(1)	(1)	—	6	—	—	—	—	5	4 +3	10	27 +3
1988年度	(1)	(1)	—	5	6	5 +4	9	10	—	—	—	35 +4
1989年度	(1)	(1)	—	6 +2	6 +1	5 +4	9	8	—	—	—	34 +7
1990年度	1	1	—	6 +1	6	5 +4	8 +1	8	—	—	—	35 +6
1991年度	1	1	—	8 +1	6 +1	5 +4	8	8	—	—	—	37 +6
1992年度	—	1	—	7 +2	6 +1	6 +3	8	8	—	—	—	36 +6
1993年度	1	1	—	7 +1	6	6 +2	7	8	—	—	—	36 +3
1994年度	1	1	—	7 +1	6	4 +2	8	8	—	—	—	35 +3
1995年度	1	1	—	7	5 +4	—	9 +2	9	—	—	—	32 +6
1996年度	1	1	—	7	5 +3	—	9 +2	9	—	—	—	32 +5
1997年度	1	1	1	7 +1	5 +2	—	9 +2	9	—	—	—	33 +5

* 1989年度までは、館長及び副館長の職務に京都文化財団常務理事ならびに同事務局長が当たったので、() 内数字で示した。1991年8月から1993年1月までは、館長不在のため副館長が館長職務代理者としてその任に当たった。なお、表中の小数字は非常勤職員の人数をあらわす。

(3)事務分掌

①総務課（財団本部事務局総務課兼務）

1. 役員会に関する事。
2. 諸規程の制定、改廃に関する事。
3. 職員の人事、服務、研修、表彰に関する事。
4. 文化芸術会館、府民ホール、堂本印象美術館との調整に関する事。
5. 関係官庁及び関連諸団体との調整に関する事。
6. 各課の調整に関する事。
7. 友の会、ボランティアの調整に関する事。
8. 国際交流事業の調整に関する事。
9. 埋蔵文化財事業に係る事務的調整に関する事。
10. 企画・共催展の事務的調整に関する事。
11. 広報、PR等普及活動に関する事。
12. 入館者、入館料、入館券等に関する事。
13. 備品、消耗品等の出納管理、文書の收受等に関する事。
14. 各種出版物等の販売、管理に関する事。
15. 臨時職員の雇用及び賃金に関する事。
16. 清水分室の管理に関する事。
17. 予算、決算に関する事。
18. 出納事務に関する事。
19. 資金計画・運用及び資産管理に関する事。
20. 京都府との受託事業の事務に関する事。
21. 各種契約に関する事。
22. その他、庶務に関する事。

②事業課

1. 貸展示室の管理・運営に関する事。
2. 別館ホールの管理・運営に関する事。
3. ろうじ店舗の管理に関する事。
4. 駐車場業務（委託）の管理に関する事。
5. 館内案内等業務（委託）の管理に関する事。
6. 施設の設備運転・備品管理業務（委託）の管理に関する事。
7. 施設の警備業務（委託）の管理に関する事。
8. 絵画「京の四季」「京の百景」出版物の管理に関する事。

③資料課（1994年度まで）

1. 映像ホールの管理・運営に関する事。
2. 映像ギャラリーの管理・運営に関する事。
3. ハイビジョンの上映に関する事。

（1992年度から）

4. 映像資料等の整理・調査に関する事。

5. 情報コーナーの管理に関する事。
6. 情報に係る提供及び調整・管理に関する事。
7. 美術工芸作家の台帳整備に関する事。
8. 資料閲覧室の管理及び資料の収集・整理に関する事。

④学芸第一課

1. 常設展示の維持・管理に関する事。
2. 自主企画展に関する事。
3. 共催展に関する事。
4. 総合資料館の受託事業に関する事。
5. 美術・工芸・民俗資料の管理等に関する事。
6. 府民ギャラリー事業に関する事。
7. 絵画「京の四季」「京の百景」展に関する事。
8. 美術・工芸・民俗の調査・研究に関する事。
9. 映像ホールの管理・運営に関する事。
10. 映像ギャラリーの管理・運営に関する事。
11. ハイビジョンの上映に関する事。
12. 映像資料等の整理・調査に関する事。
13. 情報コーナーの管理に関する事。
14. 情報に係る提供及び調整・管理に関する事。
15. 美術工芸作家の台帳整備に関する事。
16. 資料閲覧室の管理及び資料の収集・整理に関する事。
17. 研究紀要の発行に関する事。
18. 博物館実習に関する事。
19. その他、普及・教育、研修等に関する事。

* 9～16は1995年度より

⑤学芸第二課

1. 常設展示の維持・管理に関する事。
2. 自主企画展に関する事。
3. 共催展に関する事。
4. 埋蔵文化財に関する事。
5. 考古・文献資料の管理等に関する事。
6. 考古・文献の調査・研究に関する事。
7. 研究紀要の発行に関する事。
8. 博物館実習に関する事。
9. その他、普及・教育、研修等に関する事。

第2節 施設と設備

(1)本館施設及び設備概要

①施設関係

所在地：京都府京都市中京区高倉通三条上ル東片町
623-1

設計：京都府土木建築部営繕課

(株)久米建築事務所

建築担当—岡本 賢・大牧 民・西村 修

構造担当—平原秀訓・蔭平幹男・安藤優彦・
栗城幹男

整理担当—大野友資・立岩裕人・板橋弘和

展示・ろうじ店舗設計：トータルメディア開発研究所

ロビー・ショールーム：石井幹子デザイン事務所

施工：建築—竹中・住友・公成・津田・富創共同
企業体（担当 竹内・田中・木下・
春崎・大西・松本）

空調—ダイダシ・ナミレイ・春日共同企業
体

衛生—大鳥居・長尾共同企業体

電気—住友・原田・昭和共同企業体

展示・ろうじ店舗製作—トータルメディア
開発研究所・安井奎工務店

面積：敷地面積—4,790.72 m²（別館を含む）

建築面積—3,646.56 m²（別館を含む）

延床面積—15,827.42 m²

（内訳）地階 2,242.42 m²／1階 2,265.29 m²

2階 1,853.39 m²／3階 1,908.79 m²

4階 1,442.19 m²／5階 1,442.19 m²

6階 1,218.28 m²／7階 1,010.43 m²

塔屋 182.88 m²

建ぺい率：76%（許容：80%）

容積率：330%（許容：400%）

階数：地下1階・地上7階・塔屋1階

寸法：最高高—37,125mm 軒高—30,400mm

階高—2階：4,750mm

天井高—2階展示室：3,450mm

主なスパン—5,400mm×15,900mm

地域地区：商業地区／準防火地域／巨大工作物規制地
区／歴史的界隈景観地区／第5種高度地区
／駐車場整備地区

道路幅員：東6.42m

西臨地—南7.04m、北—8.28m

②設備関係

空調設備：空調方式—単一ダクト変風量方式

一部ファンコイルユニット

空冷ヒートポンプユニット

熱源—ガス焚冷温水発生機（熱回収併用同
時取出型）260 USRT × 2台

衛生設備：給水—受水槽80 m³ 高置水槽15 m³

給湯—貯湯式電気湯沸器

排水—屋内：分流方式 屋外：合流方式

電気設備：受電方式—3φ3W 6.6 kV 1回線

設備容量—2,000 kVA

契約電力—750 kW

予備電源—自家発3φ3W 6.6 kV 750 kVA
非常用蓄電池 HSE—400 AH

防災設備：消火—屋内消火栓・スプリンクラー設備・
ハロゲン化物消火設備

排煙—機械排煙（3系統）・自然排煙／そ
の他—自動火災報知設備

昇降機—乗用：15人乗2台／人荷用（非常
用）：4,000 kg 1台／エスカレーター：
800型2台

特殊設備 防火水槽—100 t／機械駐車設備リスト組
入ターンテーブル付きスライドパー
ク36台

③仕上げ

外部仕上げ：屋根—アスファルト断熱防水+軽量コン
クリート押え 笠木—アルミプレー
ト厚1mm電解二次着色仕上げ

外壁—外国産御影石／30mm打込み薄厚P
C版／一部乾式工法／薄厚PC版打
放しC C吹き付け／アルミカーテン
ウォール／アルミルーバー電解二次
着色仕上げ

開口部—アルミサッシュ電解二次着色仕
上げ／ステンレス厚1.5mm鏡面仕上
げ

外構—外国産御影石 J & P 仕上げ

中庭—白河砂利

内部仕上げ：

a. エントランスロビー

床—外国産御影石厚30mm J & P 仕上げ

一部セラミックタイル埋込み（西田明未）

壁—外国産御影石厚30mm本磨き仕上げ
J & P ボーダー

天井—P B厚9mm + 岩綿吸音板厚12mm +
A E（シャンデリア：石井幹子デザイン事務所）

b. 美術・工芸展示室

床—外国産御影石厚30mm J & P 仕上げ
／タイルカーペット厚7.5mm

壁—外国産御影石厚30mm本磨き／特殊
ケイカル板（人造木厚25mm）＋無
機質系クロス＋A E／密閉型固定展
示ケース

天井—外国産御影石厚25mm本磨き／P B
厚9mm + 岩綿吸音板厚12mm + A E

c. ろうじ店舗

床—アスファルト防水＋深草砂利洗い出
し厚100mm

壁—江戸末期の京の街並み再現

天井—アルミルーバー格子天井アクリル
焼付け仕上げ

④構造

構 造：鉄骨鉄筋コンクリート造／一部鉄骨造
杭・基礎：直接基礎

⑤期間

設計期間：1985年6月～1986年9月

施工期間：1986年10月～1988年9月（1988年10月1日
開館）

(2)別館の施設概要

①施設関係

所 在 地：京都府京都市中京区三条通高倉西入ル菱
屋町48番地

設 計：辰野金吾・長野宇平治

起 工：1903（明治36）年9月

竣 工：1906（明治39）年6月

面 積：延床面積—2,226.68 m²

別館構造：建築面積—884.4 m²

煉瓦造、2階建一部地下1階、スレート・
銅板葺、両翼塔屋付

旧金庫構造：建築面積—183.8 m²

煉瓦造、一階建、棧瓦葺

指 定：重要文化財

指定名称—旧日本銀行京都支店

指定年月日—1969（昭和44）年3月12日

指定書番号—建第1,708号

②修理

施 工：京都府教育委員会

工事担当者：

工事監督—後藤佐雅夫（文化財保護課主幹）

工事主任—塚原十三雄（文化財保護課技師）

主任補佐—森田 卓郎（文化財保護課技師）

工 事 期 間：1986年7月1日～1988年9月30日

主要復旧整備箇所：

1) 旧日本銀行京都支店本館

外廻り—東面外側ドライエリア・地階東面窓
正面中央上部カルトウシュー対ほか
間仕切—一階西側北室（東側を廊下、西側を
南北二室に復旧）・同南室（東廊下
境の出入口を南北二ヵ所に改める）
二階東側北室（中央間仕切を旧位置
に移す）・同南室（塔屋への階段の
下半部を復旧）ほか

その他—客溜り・営業室（カウンター上のス
クリーン、下の戸棚の両開戸を復旧、
シャンデリアとブラケットを旧形式
に復旧）・営業室東面及び西面（防
火シャッター・間仕切を撤去し、中
央自在扉・両脇回転窓を復旧）ほか

2) 旧日本銀行京都支店金庫

外廻り—南面庇・渡廊下（増築部分を撤去し、
柱を旧位置に立て、吹放しの旧形式
に復旧）・中央室及び東室南面（扉
を西室にならって復旧）ほか

その他—各室内部（後設された2階を撤去し、
モルタル壁を漆喰壁に復旧）ほか

③新設

屋外便所：34.88 m²、鉄筋コンクリート造

(3)主な改修工事

①別館ホール改修工事（1992年1月～3月）

常設展示の一部として公開されていた別館ホールを、音楽、芸能、展示、講演などの文化的集会の場として活用するため、音響設備、照明設備の改良工事を行うとともに、仮設舞台設備、展示パネルなどの整備をし、多目的ホールとして活用できるようにした。

施工：(株)京都舞台美術製作所・京都連合建築事務所・
(株)東京舞台照明・鳳電気土木(株)

②5・6階ハロン消火設備増設工事

(1995年7月～8月)

5・6階展示室における催事の多様化に対応するため、ハロン消火設備工事を行った。

施工：(株)久米設計事務所・(株)竹中工務店・春日設備工業(株)・能美防災(株)

第3節 ろうじ店舗

当館の1階には、江戸時代末期の京町家の表構えを復元した「ろうじ店舗」がある（ろうじとは路地のこと）。高倉通側の路地には京料理などの飲食店が並び、内側の路地には京都の伝統工芸品や土産物を販売する店が並んでいる。

ろうじ店舗の表構えを構成する格子や壁は、街の中に残る商家や町家をもとに、さらに文献資料を参考に、京都工芸繊維大学の中村昌生教授の指導と社寺や数寄屋建築に実績のある(株)安井奎工務店の協力を得て復元された。糸屋格子や仕舞屋格子などの格子、蒸子窓や与力窓、板壁や白壁、瓦葺きや檜皮葺き屋根などが造られ、揚床几や看板・暖簾などもあり、時代の雰囲気をよく再現している。

ろうじ店舗にはいつでも無料で入場でき、京町家の建築美の一端に触れ、買い物や京の味を楽しんでいただけようになっている。夜には、明かりの灯った町並みがガラス越しに浮かび上がり、入場者だけでなく通りを歩く方々にも好評を頂いている。

また、ろうじ店舗テナント会である「ろうじ店舗博和会」は当館の協力会として、開館記念日である10月1日の福引会をはじめ、多彩な催しを開催し、当館のサービス面での拡充に努めている。

①復元建具等

格子：仕舞屋格子、堺戸格子、糸屋格子、麩屋格子、酒屋格子、米屋格子、炭屋格子

窓：蒸子(虫籠)窓、与力(武者)窓

戸：格子戸、潜り戸、障子、雨戸、戸袋

壁：真壁、土蔵壁、漆喰壁、土壁

屋根：瓦葺き、銅板葺き、檜皮葺き、板葺き、一文字瓦(軒先)、むくり屋根(庇)

看板：軒吊看板、行灯看板

その他：長暖簾、玉暖簾、床几、揚床几(ばったり床几)、杉玉(酒林)、幕掛け、大垂れ 等

②ろうじ店舗一覧

紙の店—楽紙館

京しゅみ—菰軒

京のエッセンス19舗 名店会(順不同)

薫香—松栄堂 京の雅—古澤仙壽堂

京麩—半兵衛麩 京小間物—光悦

数珠—福永念珠堂 京栗葉匠—若菜屋

京菓子—鼓月 風雅便箋—表現社

京佃煮—野村 化粧小物—左り馬

宇治茶—福寿園 縮緬小物—くろちく

京扇子—とくの 京つけもの—西利

京象嵌—川人象嵌 京・清水焼—朝日堂

竹の匠—高野竹工 なま八つ橋—井筒八ッ橋

京菓子—甘春堂本舗

もち料理—きた村

手打そば・蕎麦料理—有喜屋

甘党茶寮—あけぼの

エスプレッソコーヒーの店—コロラド

織屋直販店 ショップ西陣(順不同)

風呂敷—上羽機業 絹のれん—渡文

バグー—小森織物 マフラー—塩野屋

シャツ—すぎむら ネクタイ—段下二郎

小物入れ—辻梅 綴れグーズ—本つづれ勝山

テーブルクロス—瀬川工芸織物

珈琲サロン(別館)—阿蘭陀館

ミュージアムショップ(3階)—便利堂

*京人形—福田人形店(1995年12月まで出店)

うどん—おめん(1996年12月まで出店)

文房四宝—賛交社(1997年5月まで出店)

③博和会行事

・1月4日 餅つき

- 10月1日 福引き会（以上毎年）
- 1997年10月1日 まちかどの芸能（ろうじ店舗通路で、江戸時代の物売り・大道芸を再現）
- 開館10周年記念協賛イベント

1998年10月2日～4日

ろうじの古本市「古今東西の美術本を中心に」

1998年10月4日

大福引き会

1998年10月14日

お餅つき

1998年10月31日

紙漉き体験実習

1998年11月1日

「きもの」京の町散策（きもの着付け）プレゼント 協力：西陣織工業組合

④ろうじ店舗利用者状況

年度	利用者数	年度	利用者数
1988年度	151,072	1993年度	245,229
1989年度	217,317	1994年度	253,034
1990年度	218,700	1995年度	224,089
1991年度	251,672	1996年度	205,048
1992年度	219,780	1997年度	172,436

第 3 部

資 料 編

1. 京都文化博物館関係年表

* 事項欄の「MH」は映像ホール、「AH」は別館ホール、「AL」は別館講義室、「AE」は別館東室の省略

年月日	事 項	年月日	事 項
1981.10.17	京都府文化懇談会により博物館建設の提言	1988. 9.	コンパニオン研修の開始
1983.10.	博物館建設用地の一部を購入(1,894m ²)	9.12	京都文化博物館竣工式
1984. 1.	京都文化博物館(仮称)構想懇談会の設置	9.20	展示室運営委員会
1985. 2.	京都文化博物館(仮称)基本構想の策定	9.29	紫式部像除幕
8.	京都文化博物館(仮称)基本計画の策定	9.30	京都文化博物館開館式
1986. 3.	京都文化博物館(仮称)基本設計の完了	10. 1	京都文化博物館開館
4.	京都府に京都文化博物館(仮称)創設準備室の設置	〃	開館記念「気球があがった」展開催(4階/～11.6)
4.	旧日本銀行京都支店の土地建物等寄附受入れ	〃	開館記念「千家十職展」開催(6階/～10.30)
6.25	博物館建設用地の埋蔵文化財発掘調査(～10.18)	〃	開館記念「京の四季」展開催(5階/～10.30)
7. 1	旧日本銀行京都支店修理復元工事着手(～1988.9.30)	〃	「第1期現代京都の美術・工芸展」開催(3階/～12.25)
8. 5	財団法人京都文化財団の設立	〃	「映画、よき時代の京都作品特集1」開催 (MH/～11.5)
9. 1	人事異動	〃	「京都府新収品展」開催(5階小展示室/～10.30)
9.11	「京の四季」展京都展の開催(大丸京都店・高島屋 京都店/以後、各地を巡回)	〃	2階展示室「宗家の地」18流派のいけばな展示 (～1989.4.7)
9.13	第1回京都文化財団役員会	〃	勤務時間の変更(A勤・B勤制の導入)
10. 1	京都文化博物館(仮称)の建設工事着工	〃	『京都の歴史と文化—歴史展示案内』刊行
〃	人事異動、3課1室体制の発足	11. 1	別館三条通側人口の閉鎖
〃	古代学協会へ職員5名を派遣	〃	梅原龍三郎「富士山の図」(寄贈)を2階ロビーに展示
10.30	京都文化博物館(仮称)建設起工式	11. 6	「戦前時代劇特集 その1」開催(MH/～12.27)
1987. 2. 1	平安京左京八条三坊七町の埋蔵文化財発掘調査(～6.6)	11. 9	「方濟衆遺墨展」開催(4階/～11.14)
2. 2	平安京左京三条四坊四町の埋蔵文化財発掘調査(～6.27)	11.17	「近世の宮廷文化展」開催(4階/～12.25)
3.14	第2回京都文化財団役員会	11.29	美術館連絡協議会に加盟
4.17	組織改正、人事異動	12. 3	「近世の宮廷文化展」講演会(狩野氏/MH)
〃	古代学協会へ職員5名を派遣	12.10	「近世の宮廷文化展」講演会(冷泉氏/MH)
6.27	第3回京都文化財団役員会	12.16	京都府映像文化センター運営委員会
7.28	京都府映像センター運営検討会	12.17	「近世の宮廷文化展」講演会(榊原氏/MH)
9.14	近衛基通公墓の埋蔵文化財発掘調査(～10.14)	1989. 1. 2	「第2期現代京都の美術・工芸展」開催(3階/～4.16)
11.19	京都府決算特別委員会、博物館建設現場視察	〃	「戦前時代劇特集 その2」開催(MH/～3.1)
1988. 1.14	貸展示室運営に関する懇談会	1.20	「第11回京都美術展」開催(4階/～2.12)
1.18	吉田近衛町遺跡の埋蔵文化財発掘調査(～5.31)	1.31	展示室運営委員会
3.26	第4回京都文化財団役員会	2.18	「京の名工展」開催(4階/～2.22)
3.31	京都文化博物館の建物引渡式	2.24	昭和天皇大喪のため臨時休館
〃	研究紀要『朱雀』第1集を刊行	3. 1	「雛人形展」「民具にみる京郊村落の暮らし」展開催 (4階/～3.22)
〃	『調査研究報告』第1集～第3集を刊行	3. 3	「戦前時代劇特集 その3」開催(MH/～3.30)
4. 1	京都文化博物館を京都府から無償貸与を受ける	3. 8	民俗調査(福知山市/～3.9、3.29)
〃	京都文化財団寄附行為・組織規程等を施行	3.10	平安京右京五条一坊皇嘉門大路の埋蔵文化財発掘調査 (～4.10)
〃	京都文化博物館の発足(5課体制)、人事異動	3.18	第6回京都文化財団役員会
〃	古代学協会へ職員5名を派遣	3.31	研究紀要『朱雀』第2集を刊行
〃	古代学協会に別館(一部)を貸与	3.31	『調査研究報告』第4集を刊行
4. 7	二条城北の仮事務所から現在地(高倉三条)に移転 (～4.8)	4. 1	「国際〔紙〕造形展」開催(4階/～4.10)
4.18	人事異動	〃	「戦前現代劇特集 その1—名残の無声映画」開催 (MH/～4.30)
6. 7	京都府映像センター運営検討会	〃	人事異動、古代学協会へ職員4名を派遣
6.20	展示室運営委員会	4.17	人事異動
7. 9	第5回京都文化財団役員会	4.22	「堂本印象展」開催(4階/～5.21)
8.31	別館(旧日本銀行京都支店)保存修復工事完了	5. 1	「戦前現代劇特集 その2—無声映画・巨匠特集」開催 (MH/～5.29)
		5.10	京阪バス定期観光バスの乗り入れ開始

年月日	事 項	年月日	事 項
1989. 5.23	京都府映像文化センター運営委員会	1989.12.26	「日本の実験映画Ⅴ・Ⅵ」(MH/～12.27)
5.24	関西博物館連盟に加盟		
5.26	「第3期現代京都の美術・工芸展」開催(3階/～8.15)	1990. 1. 5	「映画に見る京 その1・2—時代劇特集」開催 (MH/～2.25)
5.30	展示室運営委員会	1. 6	「熊倉順吉の陶芸」展講演会(木村氏/MH)
5.31	「ドイツ表現主義無声映画と日本の実験映画」開催 (MH/～6.9)	1.25	「第41回京都工芸美術展」開催(4階/～2.18)
6. 1	平安京左京五条二坊十六町の埋蔵文化財発掘調査 (～7.31)	2.13	展示室運営委員会
6. 3	「桂林百景展」開催(4階/～7.9)	2.18	ジンバブエ経済産業代表団(10人)来館
〃	ソ連アカデミー・シベリア支部一行(5人)来館	2.22	「第6期現代京都の美術・工芸展」開催(3階/～5.15)
6. 4	宮垣克己資料課主幹逝去(享年53歳)	2.24	「雛人形展」「年号のある民具」展開催(4階/～3.18)
6.10	「戦前現代劇特集 その3—トーカーの曙」開催 (MH/～6.29)	3. 1	「映画に見る京 その3—現代劇特集1」開催 (MH/～3.16)
6.12	オクラホマ州上院議員来館	3. 4	国際ジャーナリスト(80人)来館
7. 1	「戦前現代劇特集 その4—文芸作品の黄金時代1」 開催(MH/～7.30)	〃	「雛人形展」列品解説(石沢)
7. 3	館内の広報・PR推進委員会	3.11	「年号のある民具」展列品解説(大塚)
7. 8	第7回京都文化財団役員会	3.17	「ドイツ映画に見る女性監督の活躍」開催 (MH/～3.27)
7.10	「日本の実験映画Ⅰ」開催(MH/～7.14)	〃	同上講演会(メアマン氏、ザンダー氏/MH)
7.14	民具調査(危岡市/8.11)	3.21	古代学協会公開学術講演会(李氏/A L/当館共催)
7.20	「高山辰雄展」開催(4階/～9.3)	3.30	第8回京都文化財団役員会
7.25	博物館実習(～7.28)	3.31	研究紀要『朱雀』第3集を刊行
〃	韓国青年親善交流一行(38人)来館	〃	『調査研究報告』第5集を刊行
8. 1	「戦前現代劇特集 その5—子供の世界を描く」開催 (MH/～8.31)	4. 1	吉田光邦館長、東條壽副館長の就任
〃	日本博物館協会に加盟	〃	人事異動、古代学協会へ職員2人を派遣
8.17	「第4期現代京都の美術・工芸展」開催(3階/～11.14)	〃	京都文化博物館友の会発足
9. 1	「日本の実験映画Ⅱ～Ⅳ」開催(MH/～9.5)	〃	「映画に見る京 その4—現代劇特集2」開催 (MH/～4.21)
9. 6	「戦前現代劇特集 その6—記録映画特集 —戦争の暗き時代を描く1」開催(MH/～9.28)	4. 2	平安京右京五条二坊九町・十六町の埋蔵文化財発掘 調査(～7.7)
9.15	「海を渡って来た人と文化」展開催(4階/～10.22)	4. 7	「小合友之助・稲垣稔次郎展」開催(4階/～5.6)
9.23	同展講演会(森氏/MH)	4.14	「小合友之助・稲垣稔次郎展」列品解説(浅野)
9.30	同展講演会(上田氏/MH)	4.16	資料閲覧室、18時閉室とする
〃	「戦前現代劇特集 その7—文芸作品の黄金時代2」 開催(MH/～10.27)	4.21	清水九兵衛作「染装」除幕
10. 1	開館1周年記念事業(無料公開等)	〃	「小合友之助・稲垣稔次郎展」列品解説(中井氏)
10. 3	中国・故宮博物院一行(5人)来館	4.22	天皇・皇后両陛下ご来館
10. 4	展示室運営委員会	〃	「無声映画時代劇特集」開催(MH/～5.28)
10. 7	「海を渡って来た人と文化」展講演会(井上氏/MH)	4.28	「小合友之助・稲垣稔次郎展」列品解説(伊砂氏)
10.13	西ドイツ等映画専門家懇談会一行来館	5.17	「名作浮世絵の系譜展」開催(4階/～6.17)
10.14	「海を渡って来た人と文化」展講演会(西谷氏/MH)	〃	「第7期現代京都の美術・工芸展」開催(3階/～8.14)
10.21	同展講演会(門脇氏/MH)	5.18	中国陝西省一行(14人)来館
10.28	「ピカソ石版画展」開催(4階/～11.26)	5.26	中国工芸美術協会一行(6人)来館
〃	「戦前現代劇映画特集 その8—巨匠特集2」開催 (MH/～11.30)	5.31	関西経済連合会一行(30人)来館
11.12	皇太子殿下ご来館	6. 1	別館三条側入口の開扉
11.14	第1回京都市都市景観賞〔屋外広告物の部門〕を受賞	〃	「特集記録映画の世界1」開催(MH/～6.29)
11.16	「第5期現代京都の美術・工芸展」開催 (3階/～1990.2.20)	6. 6	展示室運営委員会
〃	展示室運営委員会	6. 9	「特集記録映画の世界1」講演会(柳沢氏/MH)
11.18	森一生監督を偲ぶ会(AH)	6.15	人事異動
12. 1	「戦前現代劇映画特集 その9 —戦争の暗き時代を描く2」開催(MH/～12.25)	6.27	第9回京都文化財団役員会
12. 4	中国陝西省文物保護視察団(10人)来館	6.30	「ボナノッテの世界」展開催(4階/～7.29)
12. 9	「熊倉順吉の陶芸」展開催(4階/～1990.1.15)	7. 1	「監督伊藤大輔特集1」開催(MH/～7.30)
〃	美術館連絡協議会に加盟	7.15	<祇園祭の宵山に箏曲を聴く夕べ>開催(AH/～7.16)
12.20	京都府映像文化センター運営委員会	7.23	中国水利部考察団(10人)来館
		7.24	博物館実習(～7.27)
		7.31	グアテマラ国文化スポーツ大臣夫妻来館
		8. 1	「特集子供の世界を描く2」開催(MH/～8.31)
		8. 6	平安京右京六条四坊九町・五条大路の埋蔵文化財 発掘調査開始(～12.28)

年月日	事項	年月日	事項
1990. 8. 8	「京都・古代との出会い」展開催(4階/～9.2)	1991. 3.23	「新収蔵品展」開催(4階/～4.14)
8.16	「第8期現代京都の美術・工芸展」開催(3階/～11.20)	3.24	「チップ・ロード・ビデオアート個展」講演会 (ロード氏/MH)
8.18	「京都・古代との出会い」展講演会 (安藤氏、奥村氏/MH)	3.30	第10回京都文化財団役員会
8.25	ソ連知事団一行(23人)来館	3.31	『調査研究報告』第6集を刊行
9. 7	「山中貞雄とその仲間たち」開催(MH/～9.30)	4. 1	平安京左京四條四坊四町の埋蔵文化財発掘調査 (～10.12)
9.18	博物館友の会見学会(知恩院三門修理工事現場)	〃	人事異動、古代学協会へ職員1人を派遣
9.20	「陝西省風物写真展」開催(4階/～9.26)	〃	「戦後時代劇特集1—封建時代からの脱皮」開催 (MH/～4.20)
9.29	「京町家」展開催(4階/～10.28)	4. 3	「医学史展示」開催(5階/～4.7)
10. 1	開館2周年記念事業(無料公開等)	4.13	音楽会<京都洋楽事始めの頃のヨーロッパ>第4夜 (AH)
10. 2	「監督五所平之助特集」開催(MH/～10.31)	4.17	人事異動
10. 3	京都文化財団職員表彰(永年勤続一片岡・中越)	4.19	「一竹辻が花展」開催(4階/～5.12)
〃	京都府映像文化センター運営委員会	4.21	高円宮殿下のご来館
10. 6	「京町家」展シンポジウム(京都会館)	〃	「アンディ・ウォーホル映画回顧展1991」開催 (AH/～4.29)
〃	第9回日本映画講座1(三村氏/MH)	5. 1	「喜劇特集—風刺と哀しさにみる笑い」開催 (MH/～5.24)
〃	音楽会<京都洋楽事始めの頃のヨーロッパ>第1夜 (AH)	5. 6	「京都の歴史と法華文化」講演とシンポジウム(AL)
10.13	第9回日本映画講座2(新藤氏/MH)	5.16	「第11期現代京都の美術・工芸展」開催(3階/～8.20)
10.18	民具調査(亀岡市・北桑田郡・船井郡 /10.24、11.1、11.20、12.7、12.13、12.20)	5.17	KBS京都かたつむり大作戦に協力
10.19	展示室運営委員会	5.18	「観●平家」展開催(4階/～6.16)
10.20	第9回日本映画講座3(谷口氏/MH)	5.23	竹田分室から清水分室への移転(～5.25)
10.27	中国国家図書館代表団来館	5.25	「記録映画特集」開催(MH/～5.26)
〃	第9回日本映画講座4(熊井氏/MH)	5.27	中国陝西省人民代表大会友好代表団(6人)来館
10.31	文部事務次官来館	6. 1	「監督溝口健二特集2」開催(MH/～6.30)
11. 1	「京の百景展」開催(4階/～11.25)	6. 8	音楽会<京都洋楽事始めの頃のヨーロッパ>第5夜 (AH)
〃	「特集忠臣蔵」開催(MH/～11.27)	6.12	展示室運営委員会
11.22	「第9期現代京都の美術・工芸展」開催 (3階/～1991.2.19)	6.17	京都府文化交流友好代表団として中国・陝西歴史 博物館の開館式典に出席(片岡/～6.23)
11.28	「特集映像の前衛1」開催(MH/～12.27)	6.22	「第9回上野の森美術館大賞展・関西展」開催 (4階/～6.30)
〃	「特集映像の前衛1」講演会(中村氏/MH)	〃	同展講演会(乾氏、日野氏/AL)
12. 1	「第15回全日本新人染織展」開催(4階/～12.10)	〃	中国国家教育委員会一行(25人)来館
〃	「特集映像の前衛1」講演会(飯村氏/MH)	7. 3	「映画にみる怪異と恐怖の世界」開催(MH/～7.31)
12. 5	音楽会<京都洋楽事始めの頃のヨーロッパ>第2夜 (AH)	7. 6	第11回京都文化財団役員会
12. 9	「特集映像の前衛1」座談会 (チン氏、ミンハ氏、アラキ氏/MH)	7.10	「南ロシア騎馬民族の遺宝展」開催(4階/～8.18)
12.12	4階展示室可動展示ケース設置工事(～12.25)	〃	同展講演会(加藤氏/MH)
12.28	別館ホール中央展示物の撤去	7.14	<祇園祭の宵山に箏曲を聴く夕べ>開催 (AH/～7.16)
1991. 1. 2	「現代京都画壇による源氏物語絵」展開催 (4階/～1.20)	7.17	祇園祭のため臨時開館
1. 4	「監督黒澤明特集1」開催(MH/～1.30)	7.18	京都府映像文化センター運営委員会
1.26	「第12回京都美術展」開催(4階/～2.17)	7.23	博物館実習(～7.26)
2. 1	「映画にみる文学作品特集1」開催(MH/～2.27)	7.30	吉田光邦館長逝去(享年70歳)
2. 9	音楽会<京都洋楽事始めの頃のヨーロッパ>第3夜 (AH)	8. 1	東條副館長、館長職務代理者となる
2.21	「第10期現代京都の美術・工芸展」開催(3階/～5.14)	〃	「戦前短編アニメ特集」開催(MH/～8.4)
2.23	「雑人形展」「アジアの郷土玩具展」開催 (4階/～3.17)	8. 2	吉田光邦館長葬儀(日本聖公会京都復活教会)
2.25	京都文化博物館編『古代豪族と朝鮮』を刊行	8. 3	「南ロシア騎馬民族の遺宝展」講演会(山本氏/MH)
2.27	展示室運営委員会	8. 5	「特集子供の世界を描く3」開催(MH/～8.30)
3. 1	「監督木下恵介特集1」開催(MH/～3.31)	8.10	音楽会<京都洋楽事始めの頃のヨーロッパ>第6夜 (AH)
3. 2	「雑人形展」列品解説(石沢)	8.22	「第12期現代京都の美術・工芸展」開催(3階/～11.19)
3. 9	「アジアの郷土玩具展」列品解説(塩見)	8.24	「袱紗展」開催(4階/～9.8)
3.17	「チップ・ロード・ビデオアート個展」開催 (AH/～3.24)	8.29	「袱紗展」講演会(切畑氏/AL)

年月日	事 項	年月日	事 項
1991. 9. 1	「記録映画特集」開催(MH/～9.2)	1992. 1. 23	文化庁長官来館
9. 4	文化庁長官来館	1. 24	シルバーガイド養成講座開講(AL)
9. 8	「特集新興キネマの世界」開催(MH/～11.7)	1. 25	別館ホール改修工事(～4.6)
〃	『フィルムセンター所蔵日本映画選集新興キネマの世界』刊行	2. 1	「英国の新しい映像1」開催(MH/～2.6)
9. 13	「チャドウィックの彫刻」展開催(4階/～10.2)	2. 7	「監督小林正樹特集1」開催(MH/～2.26)
9. 24	第12回京都文化財団役員会	2. 11	音楽会<音楽史を通して見る世界史・そのI>第3夜 (AH)
〃	京都文化財団職員表彰(永年勤続一鈴木)	2. 14	「ゴッガンとブルターニュの画家たち」展開催 (4階/～3.8)
9. 28	吉田光邦館長50日祭	2. 20	「第14期現代京都の美術・工芸展」開催(3階/～5.19)
9. 29	尹盛平陝西歴史博物館副館長・李柄武陝西省文物局副局長来館	〃	「現代の雛人形」展開催(3階/～3.17)
〃	「特集新興キネマの世界」講演会(江馬/MH)	〃	「英国の新しい映像2」開催(MH/～2.21)
9. 30	『調査研究報告』第7・8集を刊行	2. 25	展示室運営委員会
10. 1	開館記念日(無料公開)	〃	陝西省外事弁公室友好城市処長雷廷氏と協議、「大唐長安展」への協力を要請
〃	「映像は、いま?」開催(AH)	2. 27	「映画フィルム復元」上映と講演会(パタラス氏/MH)
〃	磐田市句坂中遺跡(北・南区)調査資料整理事業の受託(～1994.3.31)	3. 1	「民具にみる私達の暮らし」展開催(AE/～3.28)
10. 7	展示室運営委員会	3. 5	博物館友の会見学会(西本願寺)
10. 10	「光源氏と平安貴族」展開催(4階/～11.17)	3. 13	大唐長安展実行委員会準備会(AL)
〃	紫女文庫の公開(資料閲覧室/～11.17)	3. 14	「第3回国際テキスタイルコンペティション-京都-」展開催(4階/～3.29)
〃	「特集新興キネマの世界」講演会(大場氏/MH)	〃	「京都映画まつりフィルムフェスティバル」開催 (MH/～3.24)
10. 12	「光源氏と平安貴族」展講演会(藤本/MH)	3. 20	中国社会科学院考古研究所徐光冀副所長ら来館
10. 14	「光源氏と平安貴族」展特別講演会<源氏の夕べ> (中井氏、瀬戸内氏/6階)	3. 23	中国・旅順博物館展訪日団来館
10. 19	「光源氏と平安貴族」展講演会(池氏/MH)	3. 28	第13回京都文化財団役員会
10. 20	音楽会<音楽史を通して見る世界史・そのI>第1夜 (AH)	4. 1	別館改修オープン
10. 26	「光源氏と平安貴族」展講演会(加納氏/MH)	〃	「監督ヨネモト兄弟の世界」開催(MH/～4.4)
11. 2	「光源氏と平安貴族」展講演会(角田氏/MH)	4. 5	「監督小津安二郎の世界」開催(MH/～4.27)
11. 9	第10回日本映画講座1(小栗氏/MH)	4. 6	ハイビジョン開設式
11. 10	「特集スリルとサスペンスそしてヒューマニティ」開催 (MH/～11.28)	4. 10	「澤部清五郎」展開催(4階/～5.5)
11. 16	第10回日本映画講座2(佐伯氏/MH)	4. 12	KBS放送かたつむり大作戦に協力
11. 19	チェコ芸術アカデミーのジョセフ・ベチャック氏来館	4. 13	人事異動
11. 21	「第13期現代京都の美術・工芸展」開催 (3階/～1992.2.18)	4. 22	音楽会<音楽史を通して見る世界史・そのI>第4夜 (AH)
11. 23	「アジア・太平洋工芸展」開催(4階/～12.1)	4. 23	京都府映像文化センター運営委員会
〃	第10回日本映画講座3(村野氏/MH)	4. 24	博物館友の会見学会(西本願寺)
11. 25	建都1200年記念展3館連絡会議(京都国立博物館・京都市歴史資料館・京都文化博物館)	4. 29	「ドキュメンタリー映画の世界」開催(MH/～5.17)
11. 30	第10回日本映画講座4(三村氏/MH)	5. 15	「大唐長安展」第1回実行委員会(AL)
〃	研究紀要『朱雀』第4集を刊行	5. 16	「動物に魅せられた京の画家」展開催(4階/～6.14)
12. 1	「特集英国人監督デビッド・リーンの初期作品集」開催 (MH/～12.6)	5. 18	ハイビジョン検討委員会
12. 7	「京の歌舞伎展」開催(4階/～1992.1.12)	5. 21	「第15期現代京都の美術・工芸展」開催(3階/～8.18)
〃	「特集映画の中の歌舞伎」開催(MH/～1992.1.12)	〃	「アメリカのドキュメンタリー」開催(MH)
12. 9	音楽会<音楽史を通して見る世界史・そのI>第2夜 (AH)	〃	同対談(トーセン氏、デンプシー氏/MH)
12. 14	「京の歌舞伎展」講演会(鳥越氏/MH)	5. 23	「動物に魅せられた京の画家」展講演会(大西/MH)
12. 21	「京の歌舞伎展」講演会(松平氏/MH)	5. 25	「1980年代のドイツ実験映画特集」開催(MH/～5.31)
1992. 1. 2	コンパニオンの制服の更新	5. 28	展示室運営委員会
1. 10	働伏見信用地域協力基金よりリフト付き電動車椅子を受贈	5. 30	「動物に魅せられた京の画家」展講演会(榊原氏/MH)
1. 14	「監督今井正特集1」開催(MH/～1.30)	6. 2	「監督成瀬巳喜男の世界」開催(MH/～6.23)
1. 17	「第42回京都工芸美術展」開催(4階/～2.9)	6. 6	中国陝西省白清才省長一行来館
〃	「第42回京都工芸美術展」授賞式(MH)	6. 7	「ビデオ・ライブ・パフォーマンス」開催 (ゴードン氏、フィッツジェラルド氏/AH)
		6. 17	京都市内博物館施設連絡協議会に加盟
		6. 18	音楽会<音楽史を通して見る世界史・そのI>第5夜 (AH)
		6. 19	「第10回上野の森美術館大賞展・関西展」開催 (4階/～6.28)

年月日	事項	年月日	事項
1992. 6. 19	同展講演会(富山氏、日野氏/A L)	1992.11. 8	壬生狂言上演1(「壬生寺展」関連) (壬生大念仏講/A H)
6. 25	「大唐長安展」第2回実行委員会(A L)	11. 12	米国ロサンゼルス郡立美術館「小袖展」シンポジウム出席(～11.20/藤本恵子)
〃	「北ドイツの実験映画と日本の個人映像作家特集」 (MH/～6.28)	11. 14	「壬生寺展」講演会(細川氏/MH)
6. 26	ハイビジョン検討委員会	11. 15	壬生狂言上演2(「壬生寺展」関連) (壬生大念仏講/A H)
7. 1	「俳優市川雷蔵の世界」開催(MH/～7.27)	11. 19	「第17期現代京都の美術・工芸展」開催 (3階/～1993.2.16)
7. 4	第14回京都文化財団役員会	〃	米国ミネソタ州知事来館
7. 11	「ほとけ・さむらい・むら」展開催(4階/～8.16)	11. 21	「壬生寺展」講演会(植木氏/MH)
7. 13	宮ノ口遺跡の埋蔵文化財発掘(～9.11)	11. 22	「脚本家依田義賢の世界」講演会(滝沢氏/MH)
7. 14	<祇園祭の宵山に箏曲を聴く夕べ>開催(AH/7.16)	11. 23	映像オペラ「ハウスウオッチ」開催(AH)
7. 17	「俳優市川雷蔵特集ポスター・スチール写真展」開催 (AH/～7.21)	11. 25	別館屋根まわり改修工事開始
7. 18	「ほとけ・さむらい・むら」展講演会(樋口氏/MH)	11. 26	京都府映像文化センター運営委員会
7. 19	「俳優市川雷蔵特集ポスター・スチール写真展」対談 (内藤氏、土田氏/MH)	〃	京都府名誉友好大使来館
7. 25	「ほとけ・さむらい・むら」展講演会(上田氏/MH)	11. 29	六斎念仏上演(「壬生寺展」関連) (壬生六斎会・中堂寺六斎会/A H)
7. 30	吉田光邦館長を偲ぶ会(ロイヤルホテル)	12. 3	映像インスタレーション「ペーパーハウス」開催 (AH/～12.6)
8. 1	「ほとけ・さむらい・むら」展講演会(中野氏/MH)	12. 4	中国・旅順博物館館長来館
〃	「戦争の暗き時代を描く3」開催(MH/～8.27)	12. 8	音楽会<音楽史を通して見る世界史・そのII>第2夜 (AH)
8. 10	グァテマラ調査協力(南/～9.23)	12. 9	ロシア極東アカデミー一行来館
8. 20	「第16期現代京都の美術・工芸展」開催(3階/～11.17)	12. 12	「旅順博物館所蔵品展」開催(4階/～1993.1.10)
8. 22	「日本の抽象絵画 1910—1945」展開催(4階/～9.13)	12. 18	「インド映画 サタジット・レイ監督特集」開催 (MH/～12.22)
8. 27	音楽会<音楽史を通して見る世界史・そのI>第6夜 (AH)	12. 31	研究紀要『朱雀』第5集を刊行
9. 1	「カメラマン宮川一夫の世界」開催(MH/～9.24)	1993. 1. 2	「英国アニメーション特集」開催(MH/～1.3)
〃	博物館実習第1組(～9. 4)	〃	別館ホールの貸室としての利用を開始
〃	「大唐長安展」第1回訪中団派遣(片岡・植山/～9.7)	1. 4	「監督内田吐夢宮本武蔵の世界」開催(MH/～1.25)
9. 8	博物館実習第2組(～9.11)	1. 11	日本博物館協会フォーラム(～1.12)
9. 12	「カメラマン宮川一夫の世界」対談 (宮川氏、太田氏/MH)	1. 16	「第13回京都美術展」開催(4階/～2.7)
9. 22	「スキタイ黄金美術展」開催(4階/～10.25)	1. 18	資料整理のため資料閲覧室を臨時休室(～1.27)
9. 24	展示室運営委員会	1. 19	「第13回京都美術展」授賞式(MH)
9. 25	関西ハイビジョンコンソーシアム月例フォーラム(MH)	1. 28	展示室運営委員会
9. 30	ロシア地域交流視察団来館	1. 31	「アメリカ人映像作家シャーレン・カズン特集」開催 (MH/～2.1)
10. 1	開館記念日(無料公開)	〃	同特集講演会(カズン氏/MH)
〃	曾根暇石展示(3階/～10.30)	2. 2	「特集昭和30年代青春映画にみる若者の叫び」開催 (MH/～2.27)
〃	開館4周年記念特別企画「映像はいまーメディアとしてのハイビジョン」(MH)	2. 13	「小林天眠文庫展」開催(4階/～3.7)
10. 2	「俳優嵐寛寿郎の世界」開催(MH/～10.25)	〃	中国国家文物局呉熙華外事処長来館
〃	建都1200年記念展覧会に関する公立7館連絡会議 (A L)	2. 14	「小林天眠文庫展」ミニコンサート(阿武野氏/A H)
10. 3	第11回日本映画講座1(深作氏/MH)	2. 15	音楽会<音楽史を通して見る世界史・そのII>第3夜 (AH)
10. 7	「俳優嵐寛寿郎特集ポスター・スチール写真展」 (AH/～10.11)	2. 18	「第18期現代京都の美術・工芸展」開催(3階/～5.18)
10. 10	第11回日本映画講座2(大島氏/MH)	2. 19	マダガスカル国シネメディア局長来館
10. 11	「俳優嵐寛寿郎の世界」座談会 (菅沼氏、市川氏、小林氏/MH)	2. 20	「小林天眠文庫展」講演会(宮本氏/A L)
10. 13	ハイビジョン検討委員会	2. 21	「小林天眠文庫展」講演会(中井氏/A L)
10. 15	音楽会<音楽史を通して見る世界史・そのII>第1夜 (AH)	2. 24	「大唐長安展」第4回実行委員会(A L)
10. 17	第11回日本映画講座3(熊井氏/MH)	〃	中国社会科学院考古研究所研究員楊鴻勛氏来館
10. 20	京都府立総合資料館内の京都文化博物館分室の移転	2. 27	「小林天眠文庫展」列品解説 (黒川氏/2.28、3.6、3.7)
10. 24	第11回日本映画講座4(今村氏/MH)	2. 28	歴史常設展示利用者アンケート実施 (第1回:～3.7、第2回:5.20～6.1)
10. 28	ハイビジョン検討委員会		
10. 29	「大唐長安展」第3回実行委員会(A L)		
11. 1	「脚本家依田義賢の世界」開催(MH/～12.12)		
11. 3	「壬生寺展」開催(4階/～12.6)		

年月日	事 項	年月日	事 項
1993. 3. 1	「監督豊田四郎特集」開催(MH/～3.25)	1993. 7. 13	博物館実習第1組(～7.16)
3. 4	民具調査(長岡京市・向日市、3.19)	7. 14	<祇園祭の青山に箏曲を聴く夕べ>開催 (AH/～7.16)
3. 5	「大唐長安展」第2回訪中団派遣 (東條・片岡・山田/～3.11)	7. 18	「監督伊藤大輔特集」講演会(滝沢氏/MH)
3. 8	「ドイツ女性監督特集」開催(MH)	7. 20	博物館実習第2組(～7.23)
〃	同特集講演会(ブラームス氏/MH)	7. 30	「大唐長安展」第5回実行委員会(AL)
3. 12	「英国黒人監督特集」開催(MH)	8. 7	「英国人俳優ピーター・セラーズ特集」開催 (MH/～8.14)
〃	同特集講演会(ジュリアン氏/MH)	8. 15	「監督山本薩夫特集」開催(MH/～9.18)
3. 13	「雛人形と雛道具展」「近畿の郷土玩具展」開催 (4階/～4.4)	8. 19	「第20期現代京都の美術・工芸展」開催(3階/～9.15)
3. 19	中国社会科学院一行来館	8. 23	ゲアテマラ調査(南/～10.22)
3. 20	「雛人形と雛道具展」列品解説(藤本恵子)	8. 26	音楽会<音楽史を通して見る世界史・そのⅡ>第6夜 (AH)
3. 27	第15回京都文化財団役員会	8. 28	陝西省文物局一行来館(文物局長・陝西歴史博物館 長・陝西省考古研究所長)
3. 27	「近畿の郷土玩具展」列品解説(塩見)	9. 10	「京の美人画展」開催(4階/～10.11)
3. 31	『調査研究報告』第9集・第10集を刊行	9. 18	「京の美人画展」講演会(奥平氏/MH)
4. 1	人事異動	9. 23	「現実の表現 日本映画とドイツ映画」開催 (MH/～10.4)
〃	「俳優笠智衆写真展」(AH/～5.9)	9. 26	「京の美人画展」講演会(田島/MH)
〃	「俳優笠智衆の世界」開催(MH/～5.25)	9. 30	展示室運営委員会
4. 3	「俳優笠智衆の世界」対談(佐藤氏、岩切氏/MH)	10. 1	開館5周年記念事業 無料公開
〃	中国・旅順博物館一行来館	〃	ハイビジョン「いのちの賛歌」一般公開
4. 10	KBS放送かたつむり大作戦に協力	〃	京都府立総合資料館30周年記念事業に協力
4. 11	中国国家文物局張徳勤局長来館、「大唐長安展」への協力要請	10. 2	「京の美人画展」講演会(井上氏/MH)
4. 13	「マヤ」展開催(4階/～5.30)	〃	「アメリカ女性監督ジェリー・ダッシュ特集」開催 (MH)
4. 17	「マヤ」展講演会(大井氏/MH)	〃	同特集講演会(ダッシュ氏/MH)
4. 20	博物館友の会見学会(妙心寺)	10. 5	「監督新藤兼人特集」開催(MH/～10.23)
〃	本館エントランス・別館防犯整備工事(～4.24)	10. 6	音楽会<音楽史を通して見る世界史・そのⅢ>第1夜 (AH)
4. 24	「マヤ」展講演会(矢澤氏/MH)	10. 7	「大唐長安展」第4回訪中団派遣(片岡/～10.12)
4. 28	音楽会<音楽史を通して見る世界史・そのⅡ>第4夜 (AH)	10. 9	「大唐長安展」基本協定書調印 (荒巻京都府知事一白陝西省長)
5. 1	「マヤ」展講演会(南/MH)	〃	「大唐長安展」議定書調印 (木宮府総合府民部長一王陝西省文物局長)
5. 8	「マヤ」展講演会(半田氏/MH)	10. 19	韓国湖巖美術館一行来館
5. 10	常陸宮両殿下ご来館	10. 21	「横山大観展」開催(4階/～11.21)
5. 15	「マヤ」展講演会(桜井氏/MH)	10. 24	「英国監督デレク・ジャーマン特集」開催 (MH/～10.26)
5. 20	「第19期現代京都の美術・工芸展」開催(3階/～8.17)	10. 26	中国映画人協会一行来館
5. 21	アストロリコ・タンゴコンサート開催 (「マヤ」展協賛/AH)	10. 30	「監督吉村公三郎特集」開催(MH/～11.27)
〃	民具調査(向日市・長岡京市・八幡市・宇治市・久 世郡/6.14、6.24、6.30、1.21、1.27、2.2)	11. 10	生涯学習ボランティア養成講座開講式 (ルビノ京都堀川)
5. 27	展示室運営委員会	11. 18	「第21期現代京都の美術・工芸展」開催 (3階/～1994.2.15)
6. 1	「記録映画特集」開催(MH/～6.13)	11. 24	音楽会<オペラの楽しみ>第1夜(AH)
6. 7	「ロシアの秘宝 ユーラシアの輝き」展開催 (4階/～7.4)	11. 25	中庭に旧二条城跡出土の石仏を展示
6. 16	歴史常設展示改訂会議(学芸第二課)	11. 30	「ロートレックと日本展」開催(4階/～12.26)
6. 17	チュニジア大使館1等書記官来館	12. 1	中国新聞社一行来館
6. 18	「監督伊藤大輔特集」開催(MH/～7.27)	〃	「映像表現の場1」開催(MH/～12.5)
6. 19	「監督伊藤大輔特集」講演会(佐伯氏/MH)	12. 3	京都府映像文化センター運営委員会
6. 24	音楽会<音楽史を通して見る世界史・そのⅡ>第5夜 (AH)	12. 7	音楽会<音楽史を通して見る世界史・そのⅢ>第2夜 (AH)
6. 27	「大唐長安展」第3回訪中団派遣(東條・片岡/～7.1)	12. 8	「小津安二郎監督特集」開催(MH/～1994.1.9)
6. 30	「大唐長安展」開催についての覚書調印	12. 9	韓国国立中央博物館館長来館
7. 1	「監督伊藤大輔文庫展」(AH/～7.11)	12. 16	「祭りにみる民具・玩具展」開催(AE/～1994.3.15)
7. 3	第16回京都文化財団役員会		
7. 7	「第11回上野の森美術館大賞展・関西展」開催 (5階/～7.12)		
〃	同展講演会(木村氏、日野氏/AL)		
7. 13	「ポルトガルと南蛮文化展」開催(4階/～8.31)		

年月日	事項	年月日	事項
1993.12.31	研究紀要『朱雀』第6集を刊行	1994. 6.11	「小袖屏風展」列品解説(藤本恵子)
1994. 1.10	「女性シナリオ作家特集」開催(MH/～3.28)	6.13	音楽会<音楽史を通して見る世界史・そのⅢ>第5夜 (AH)
1.12	生涯学習ボランティア養成講座(施設別)の開催	6.28	「京都創作陶芸のながれ」展開催(4階/～7.31)
1.14	「京都工芸ビエンナーレ1994」展開催(4階/～2.6)	6.29	民具調査(八幡市・城陽市・綴喜郡・相楽郡/ 10.28、11.18、12.15、1.25、2.6、2.17、3.2、3.10)
1.24	「英国ICA短編映画特集」開催(MH/～1.28)	7. 2	「京都創作陶芸のながれ」展講演会(河原氏/AL)
2. 1	岡本道雄館長の就任	”	「監督木下恵介特集」開催(MH/～7.26)
2. 2	「ドイツ短編映画特集」開催(MH/～2.6)	7. 4	第18回京都文化財団役員会
2.10	音楽会<音楽史を通して見る世界史・そのⅢ>第3夜 (AH)	7. 5	博物館実習第1組(～7.8)
2.17	「第22期現代京都の美術・工芸展」開催(3階/～4.7)	7. 8	「第12回上野の森美術館大賞展・関西展」開催 (5階/～7.14)
”	「京都府所蔵の雛人形展」開催(3階/～3.15)	”	同展講演会(中原氏、日野氏/AL)
2.18	「大唐長安展」第6回実行委員会(AL)	7.11	「大唐長安展」第7回実行委員会(パステル京都)
”	韓国湖巖美術館一行来館	7.12	「京都創作陶芸のながれ」展列品解説(谷口)
2.19	「ヴィクトリア&アルパート美術館展—インド宮廷 文化の華」開催(4階/～4.3)	”	博物館実習第2組(～7.15)
2.24	展示室運営委員会	7.14	<祇園祭の宵山に箏曲を聴く夕べ>開催 (AH/～7.16)
3. 3	世界美術館・博物館会議打ち合わせ (館長・副館長/京都新聞社)	7.16	「京都創作陶芸のながれ」展講演会(谷口/AL)
3. 8	「大唐長安展」第5回訪中団派遣 (片岡・植山・山田/～3.17)	7.18	「映画評論家滝沢一を偲んで」上演と講演会 (西岡氏/MH)
3.10	音楽会<オペラの楽しみ>第2夜(AH)	7.22	世界博物館・美術館会議実行委員会設立総会 (館長・副館長/ホテル日航プリンス京都)
3.12	「アメリカの社会ドキュメンタリー特集」開催 (MH/～3.14)	8. 5	「監督山本薩夫特集」開催(MH/～8.27)
3.20	「WAX—蜜蜂テレビの発見」上演と講演会 (ブレア氏/MH)	”	音楽会<音楽史を通して見る世界史・そのⅢ>第6夜 (AH)
3.26	第17回京都文化財団役員会	8.11	「第4回国際テキスタイルコンペティション'94京都」 展開催(4階/～8.25)
3.30	世界美術館・博物館ワーキング会議(京都新聞社)	8.21	「大唐長安展」第7回訪中団派遣 (片岡・山田/～8.28)
4. 1	磐田市句坂中遺跡(東区)調査資料整理事業の受託 (～1996.3.31)	9. 1	「大唐長安展」随員第1組来日 (周越氏以下3名/～10.20)
”	「英国アニメーション作家特集」開催(MH/～4.2)	9. 3	「女優田中絹代特集」開催(MH/～10.28)
”	館内の文書用紙の規格をA判に統一	”	音楽会<オペラの楽しみ>第3夜(AH)
4. 2	KBS放送かたつむり大作戦に協力	9. 6	「大唐長安展」開幕陝西省代表団来日(～9.16)
4. 3	「監督田坂具隆特集」開催(MH/～4.30)	9. 9	「大唐長安展」開催(4階・3階/～11.27)
4. 4	音楽会<音楽史を通して見る世界史・そのⅢ>第4夜 (AH)	”	京都文化博物館・陝西歴史博物館友好提携仮調印式 (7階サロン)
4.12	「祇園祭大展」開催(4階・3階・別館/～5.15)	9.17	「大唐長安展」講演会(田辺氏/MH)
4.15	生涯学習ボランティアの活動開始	9.24	「大唐長安展」講演会(門脇氏/MH)
4.18	平安京左京六条三坊七町の埋蔵文化財発掘調査 (～9.30)	9.27	三笠宮殿下ご来館
”	国際交流事業団文化財修復整備技術コース研修 (～4.19)	9.29	展示室運営委員会
4.24	博物館友の会見学会(加茂町)	10. 8	「大唐長安展」講演会(磯波氏/MH)
4.25	英国エディンバラ市長一行来館	10.15	「大唐長安展」講演会(田中氏/MH)
5. 1	「女優山田五十鈴特集」開催(MH/～5.27)	10.16	「大唐長安展」随員第2組来日 (楊乘礼氏以下3名/～12.4)
5.12	「大唐長安展」第6回訪中団派遣 (片岡・山田/～5.20)	10.20	「ラインハルト・ハウフ監督特集」上映と作品解説 (ハウフ氏/MH/～10.25)
5.19	「第23期現代京都の美術・工芸展」開催(3階/～8.28)	10.27	音楽会<音楽史を通して見る世界史・そのⅣ>第1夜 (AH)
5.20	「シェリー・シルバー監督特集」開催(MH)	10.29	「大唐長安展」講演会(渡辺氏/MH)
”	同特集講演会(シルバー氏/MH)	”	中国社会科学院杜玉生氏来館
5.24	「小袖屏風展」開催(4階/～6.19)	10.31	陝西省文化交流協会一行(魏明中・高峽氏ら)来館
5.28	「小袖屏風展」講演会(丸山氏/MH)	”	「大唐長安展」餅茶試飲会(11.1、11.9・10/AH)
5.30	中国陝西省文物局宋振興外事処長一行来館	11. 1	「大唐長安展」入場者10万人突破
6. 1	人事異動	11. 2	世界博物館・美術館京都会議(館長・副館長/～ 11.4/ホテル日航プリンス京都)
6. 3	「1960年代時代劇特集」開催(MH/～6.25)		
6. 6	三笠宮殿下ご来館		
6. 9	展示室運営委員会		

年月日	事 項	年月日	事 項
1994.11. 3	中国国家副主席榮毅仁氏一行来館	1995. 4. 7	「京都府コレクションで見る日本映画の歴史一映画 生誕百年によせて」開催(MH/~/1996.3.30)
"	「特集文芸作品と映画」開催(MH/~/11.27)	4. 8	「小野竹喬展」開催(4階/~/5.14)
11. 5	「大唐長安展」講演会(筒井氏/MH)	4.15	「小野竹喬展」講演会(大西/AL)
"	ロシア・レニングラード州一行来館	4.17	修学旅行夜の体験学習「けまり」「歴史講座」開始 (AH)
"	インドネシア・ジョクジャカルタ特別区一行来館	4.19	歴史常設展改訂検討会議開始(学芸第二課)
11. 7	陝西歴史博物館陳全方館長夫妻来館	4.20	中庭に大極殿礎石、南禅寺三門復元礎盤を設置
11. 8	中国中央電視台新年特別番組「中國人看日本」製作 チーム来館、「大唐長安展」取材	"	博物館友の会見学会(相国寺法堂保存修理現場)
11. 9	陝西省総工会一行来館	4.23	KBSかたつむり大作戦に協力
11.12	「大唐長安展」講演会(井上氏/MH)	4.27	音楽会<音楽史を通して見る世界史・そのIV>第4夜 (AH)
11.19	「大唐長安展」講演会(町田氏/MH)	4.29	「小野竹喬展」講演会(上蘭氏/AL)
12. 1	「監督今井正特集」開催(MH/~/12.25)	5.18	「第26期京都の美術・工芸展」開催(3階/~/8.15)
12. 4	「大唐長安展」第8回訪中団派遣 (片岡・山田/~/12.9)	5.27	「ティペア物語展」開催(4階/~/7.2)
12. 6	「第24期現代京都の美術・工芸展」開催 (3階/~/1995.2.14)	6. 3	古代学協会公開学術講演会(直木氏/AL/当館共催)
12. 7	「'94 洋画KYOTO展」開催(4階/~/12.23)	6.19	八幡市内里八丁遺跡の埋蔵文化財発掘調査 (~/1996.3.28)
12.12	「大唐長安展」第8回実行委員会(パステル京都)	"	「大唐長安展」実行委員会、京都府開庁記念日に表彰 される
"	音楽会<音楽史を通して見る世界史・そのIV>第2夜 (AH)	6.22	展示室運営委員会
12.17	京都府映像文化センター運営委員会	6.29	音楽会<音楽史を通して見る世界史・そのIV>第5夜 (AH)
12.18	ハイビジョン・オペラシアター(MH)	7. 5	5・6階ハロン消火設備敷設工事(~/9.1)
12.20	「大唐長安展」第9回訪中団派遣 (東條・片岡/~/12.25)	7.11	第20回京都文化財団役員会
12.21	京都文化博物館・陝西歴史博物館友好提携調印 (陝西歴史博物館)	7.14	「第13回上野の森美術館大賞展・関西展」開催 (4階/~/7.30)
12.22	「正月の民具・玩具展」開催(AE/~/1995.3.14)	"	同展講演会(木村氏、日野氏/AL)
12.24	ロマン・ローラン没後50周年記念映画上映と講演会 (今江氏/MH)	"	<祇園祭の青山に箏曲を聴く夕べ>開催 (AH/~/7.16)
12.31	研究紀要『朱雀』第7集を刊行	7.18	京都府名誉友好大使の来館
1995. 1. 2	「現代・京都の日本画展」開催(4階/~/1.16)	7.23	夏休み子供特集「ハイビジョンで見る手塚治虫アニメ」 開催(MH/~/8.3)
1. 4	「監督黒澤明特集」開催(MH/~/2.23)	7.25	博物館実習第1組(~/7.28)
1.19	「現代・京都の工芸展」開催(4階/~/1.29)	8. 3	音楽会<音楽史を通して見る世界史・そのIV>第6夜 (AH)
1.26	展示室運営委員会	8. 6	「ヴィクトリア&アルバート美術館展—イギリス絵 画の350年」開催(4階/~/9.24)
2. 4	古代学協会公開学術講演会(全氏/AL/当館共催)	8.17	「第27期京都の美術・工芸展」開催(3階/~/11.14)
2. 6	宮ノ口遺跡の埋蔵文化財発掘調査(第2次)(~/7.1)	8.29	博物館実習第2組(~/9.1)
2.11	「ヴィクトリア&アルバート美術館展—ヨーロッパ 染織の美」開催(4階/~/3.28)	9.30	『調査研究報告』第11集を刊行
2.16	「第25期現代京都の美術・工芸展」開催(3階/~/5.16)	10. 5	展示室運営委員会
"	「京都府所蔵の雛人形と御所人形展」開催 (3階/~/3.14)	10. 7	「桃山の春・光悦展」開催(4階/~/11.12)
"	音楽会<音楽史を通して見る世界史・そのIV>第3夜 (AH)	10.14	「桃山の春・光悦展」講演会(武田氏/AL)
2.20	韓国国立中央博物館一行来館	10.21	「桃山の春・光悦展」講演会(中尾氏/AL)
3. 3	「俳優阪東妻三郎特集」開催(MH/~/3.27)	10.25	音楽会<音楽史を通して見る世界史・そのIV>第7夜 (AH)
3. 9	池大雅資料寄附受入れ	11. 3	「スミソニアン博物館大宝石展」開催(AH/~/11.10)
3.10	ドイツ自治体映画関係者一行来館	11. 4	「桃山の春・光悦展」講演会(藤井氏/AL)
3.18	生涯学習ボランティア見学研修会(京都市内)	11. 6	「北方騎馬民族の黄金マスク展」中国視察団来館
3.27	第19回京都文化財団役員会	11.16	「第28期京都の美術・工芸展」開催(3階/~/12.19)
3.30	国際協力事業団文化財修復整備技術コース研修 (~/3.31)	11.18	生涯学習ボランティア見学研修会(南山城)
4. 1	組織改正(5課から4課へ)。人事異動、職員定数の 削減	11.21	「西園三十三所」展開催(4階/~/12.19)
"	資料閲覧室の休室。文化催事情報提供の休止	11.25	「西園三十三所」展講演会(前田氏/AL)
"	別館閉館時間を18時に繰り上げ	"	中国社会科学院考古研究所一行来館
"	府民ギャラリー事業への協力	12. 1	映画100年・京都国際フェスティバル「アメリカ 作品上映会」開催(MH)

年月日	事項	年月日	事項
1995.12.3	映画100年・京都国際フェスティバル「英国人監督ケン・ローチ特集」開催(MH/～12.10)	1996.5.16	「フィリップ殿下コレクション展」(AH/～5.24)
"	同特集講演会(ペリー氏/MH)	"	博物館友の会見学会(曼珠院庫裏修理現場)
12.7	京都府映像文化センター運営委員会	5.21	ベトナム副大臣来館
12.9	陝西歴史博物館友好交流派遣(新井田・鈴木/～12.22)	6.6	「ミケランジェロ展」開催(4階/～7.21)
"	「西国三十三所展」講演会(大塚/AL)	6.13	展示室運営委員会
12.12	「'96京都美術工芸展」審査(パルスプラザ/～12.13)	6.15	「ミケランジェロ展」講演会(上平氏/AH)
12.13	音楽会<音楽史を通して見る世界史・そのIV>第8夜(AH)	6.22	「ミケランジェロ展」講演会(裾分氏/AH)
12.15	新人染織展授賞式(AH)	6.26	中国広州市西漢南越王墓博物館一行来館
12.21	「'96京都美術工芸展(選抜部門)」開催(3階/～1996.2.20)	"	音楽会<音楽史を通して見る世界史・そのIV>第11夜(AH)
"	「京都の郷土玩具展」開催(AE/～1996.3.19)	6.28	陝西歴史博物館友好交流研修員来日(～7.11)
12.31	研究紀要『朱雀』第8集を刊行	7.5	「京都府フィルム・コレクション 名作映画リクエスト特集」(MH/～12.23)
1996.1.5	「'96京都美術工芸展」開催(4階/～1.23)	7.8	陝西歴史博物館友好交流講演会(蔡氏/AL)
1.6	「京都府コレクションで振り返る一語題映画の上映とポスター展」開催(MH/～1.11)	7.9	第22回京都文化財団役員会
"	同上対談(中村氏、小林氏/MH)	7.14	<祇園祭の青山に箏曲を聴く夕べ>開催(AH/～7.16)
1.17	陝西歴史博物館馮庚武副館長ら来館	7.23	ハイビジョン夏休みこども特集 「ウルトラマンキッズ」開催(MH/～7.31)
1.18	「'96京都美術工芸展」授賞式	"	博物館実習第1組(～7.26)
2.3	「日本出版文化史展 '96京都」開催(4階/～2.25)	7.25	『催事情報』新装版の発行
"	同展シンポジウム(小池氏、朝尾氏ほか/AH)	8.3	「中国・南越王の至宝」展開催(4階/～9.23)
2.4	同展講演会(渡辺氏/AH)	8.7	音楽会<音楽史を通して見る世界史・そのIV>第12夜(AH)
2.5	同展シンポジウム(長岡氏、松田氏ほか/AH)	8.9	「第14回上野の森美術館大賞展・関西展」開催(5階/～8.15)
2.7	音楽会<音楽史を通して見る世界史・そのIV>第9夜(AH)	"	同展講演会(前田氏、日野氏/AL)
2.10	「日本出版文化史展 '96京都」講演会(林氏/AH)	8.22	「第31期京都の美術・工芸展」開催(3階/～11.19)
2.11	同展講演会(瀬戸内氏/AH)	8.27	博物館実習(～8.30)
2.12	同展講演会(山根氏/AH)	9.13	OECD局長夫妻来館
2.15	展示室運営委員会	9.14	古代学協会公開学術講演会(林氏/AL/当館共催)
2.22	「第29期京都の美術・工芸展」開催(3階/～5.14)	9.19	「京都府新収蔵品展—歴史資料・民具・郷土玩具」開催(AE/～12.17)
"	「京都府所蔵の雛人形展」開催(3階/～3.19)	9.26	ジェニファー・ジョンストン氏朗読会と映画上映(MH/～9.27)
2.24	「日本出版文化史展 '96京都」講演会(千氏/AH)	10.3	「文人画の巨匠 池大雅展」開催(4階/～11.4)
3.6	「黄金の都 シカン発掘展」開催(4階/～4.7)	10.5	中国山東省一行来館
3.8	台湾省研修員一行来館	10.12	「池大雅展」講演会(佐々木氏/MH)
3.18	国際協力事業団文化財修復整備技術コース研修(～3.19)	10.19	「池大雅展」講演会(田島/MH)
3.26	ハイビジョン春休み子供特集「忍たま乱太郎」開催(MH/～4.4)	10.22	レバノン国考古総局長来館
3.28	第21回京都文化財団役員会	10.24	展示室運営委員会
3.31	「黄金の都 シカン発掘展」講演会(島田氏/AH)	10.30	音楽会<近代市民社会の発展と音楽>第1夜(AH)
"	『調査研究報告』第12集を刊行	11.1	京都府映像文化センター運営委員会
"	『京都の歴史と文化—歴史展示案内』第2版を刊行	11.2	生涯学習ボランティア見学研修会(京都市内)
4.1	人事異動	11.13	「京都・激動の中世」展開催(4階/～12.15)
"	八幡市内里八丁遺跡の埋蔵文化財発掘調査(～1997.3.18)	11.16	「京都・激動の中世」展講演会(野口氏/MH)
4.5	「人間の肖像 家族、男、老い、女」開催(MH/～6.24)	11.21	「第32期京都の美術・工芸展」開催(3階/～12.17)
"	京都文化博物館編『長安—絢爛たる唐の都—』(角川選書)を刊行	11.23	「京都・激動の中世」展展示解説(山田/MH)
4.18	英国エドワード王子ご来館	12.7	京の冬の旅「都名所大福帳」事業に協賛
4.20	「北方騎馬民族の黄金マスク展」開催(4階/～5.26)	12.16	音楽会<近代市民社会の発展と音楽>第2夜(AH)
4.25	音楽会<音楽史を通して見る世界史・そのIV>第10夜(AH)	12.19	「'97京都美術工芸展(選抜部門)」開催(3階/～1997.2.18)
4.29	KBSかたつむり大作戦に協力	"	「竹の民具と玩具」展開催(AE/～1997.3.18)
5.16	「第30期京都の美術・工芸展」開催(3階/～8.20)	12.20	歴史街道の広報ビデオ設置(文化情報コーナーカウンター)
		12.26	重要文化財公開承認施設となる

年月日	事 項	年月日	事 項
1997. 1. 4	「'97京都美術工芸展(公募部門)」開催(4階/～1.23)	1997. 7. 9	「第15回上野の森美術館大賞展・関西展」 (5階/～7.15)
1.11	「東京国際映画祭ニッポン・シネマ・クラシック in Kyoto」開催(MH/～2.8)	7.14	＜祇園祭の宵山に箏曲を聴く夕べ＞開催 (AH/～7.15)
〃	同上講演会(山根氏/MH)	7.21	京都映画講座4(加藤氏/AH)
1.14	「'97京都美術工芸展」授賞式	7.22	博物館実習第1組(～7.25)
2. 1	「日本のわざと美展」開催(4階/～3.2)	7.24	ハイビジョン夏休み子供特集「忍たま乱太郎」 (MH/～7.30)
2. 9	「変貌する日本映画」開催(MH/～3.31)	8. 1	「日本のハリウッド京都撮影所特集」開催 (MH/～11.29)
2.15	「日本のわざと美」展シンポジウム (北村氏、切畑氏、森口氏/MH)	8. 2	エルサルバドル海外学術調査協力(南/～8.19)
2.17	音楽会＜近代市民社会の発展と音楽＞第3夜(AH)	8. 7	「久保田一竹・自然への賞賛展」開催(4階/～9.15)
2.20	「第33期京都の美術・工芸展」開催(3階/～5.20)	〃	京都文化財団職員表彰 (永年勤続一新井田・金田、特別一山田)
〃	「雛人形展」開催(3階/～3.18)	8.18	音楽会＜近代市民社会の発展と音楽＞第6夜(AH)
2.27	展示室運営委員会	8.21	「第35期京都の美術・工芸展」開催(3階/～11.18)
3. 6	エルサルバドル文化庁長官来日	8.26	博物館実習第2組(～8.29)
3. 7	山田学芸員、同志社大学より博士(文化史学)の学位 授与(「須恵器生産の研究」)	9.14	京都映画講座5(庄林氏/京都こども会館)
3.12	開館10周年事業検討委員会	9.24	「アール・ブリュット 生の芸術」展開催 (4階/～10.26)
3.13	「第5回国際テキスタイルコンペティション'97 —京都—」開催(4階/～3.25)	〃	10周年記念特別展実行委員会(AL)
3.18	ハイビジョン春休み子ども特集「自然シリーズ」開催 (MH/～4.6)	9.25	陝西歴史博物館友好交流派遣(石沢・金田/～10.1)
3.20	ろうじ店舗「有喜屋」開店	9.27	「よみがえる自動楽器の音色展—スミソニアン米國 史博物館—」(AH/～11.3)
3.25	第23回京都文化財団役員会	10. 1	ろうじ店舗博和会で「まちかどの芸能」開催
3.31	研究紀要『朱雀』第9集を刊行	10. 5	ろうじ店舗改装祝賀会
4. 1	人事異動	10.11	鈴木主任学芸員、第6回岩宿文化賞受賞
〃	八幡市内里八丁遺跡の整理と報告書の作成 (～1996.3.31)	10.14	修学旅行体験学習「友禅染」開始(6階)
4. 5	「婚礼のいろとかたち」展開催(4階/～5.6)	10.16	「中村善種の遺作」展開催(3階/～11.18)
4. 7	国際協力事業団文化財修復整備技術コース研修(～4.8)	〃	ポーランド日本美術センター館長来館
〃	音楽会＜近代市民社会の発展と音楽＞第4夜(AH)	10.23	展示室運営委員会
4.11	「ドキュメンタリーの精神—亀井文夫の世界」開催 (MH/～4.28)	10.26	京都映画講座6(内藤氏、田中氏/MH)
4.12	「婚礼のいろとかたち」展列品解説(洲鎌)	10.28	京都市内博物館施設連絡協議会表彰 (永年勤続一片岡・鈴木)
4.19	「婚礼のいろとかたち」展講演会(切畑氏/AL)	11. 1	開室時間・休館日の変更、B勤務時間の変更
4.22	開館10周年事業検討委員会	11. 4	'97世界博物館・美術館京都会議(館長ほか/ホテル 日航プリンセス京都/～11.6)
4.26	「婚礼のいろとかたち」展列品解説(古郷)	11. 7	陝西歴史博物館周天游館長夫妻来館
4.28	親子ふれあい事業の開始(親子の入場料の減免)	11. 8	「ヒトの来た道」展開催(4階/～12.14)
4.29	KBScあたつわり大作戦に協力	〃	古代学協会公開学術講演会(パッパラルド氏、ヴェ ローネ氏/AL/当館共催)
5. 3	「日本映画100年企画 銀幕を彩ったスターたち」開催 (MH/～7.21)	11.10	上海魯迅記念館一行来館
5.13	「土門拳の日本」展開催(4階/～6.22)	11.12	第2回生涯学習ボランティア養成講座開講
5.16	博物館友の会見学会(仁和寺)	11.15	「ヒトの来た道」展講演会(石田氏/AL)
5.22	「第34期京都の美術・工芸展」開催(3階/～8.19)	〃	京都映画講座7(バスツアー)
6. 2	重要有形民俗文化財の公開事前届出免除施設となる	〃	生涯学習ボランティア見学研修会(京都市内)
6. 8	京都映画講座1(佐藤氏/AH)	11.18	音楽会＜近代市民社会の発展と音楽・その2＞第1夜 (AH)
〃	「土門拳の日本」展対談(西川氏、重森氏/MH)	11.21	地球温暖化防止京都会議開催記念「人と自然の共生 —京都府所蔵名画展」(3階/～12.16)
6.12	展示室運営委員会	11.22	「ヒトの来た道」展講演会(山中氏/AL)
6.13	京都府映像文化センター運営委員会	11.23	京都映画講座8(日下部氏/AH)
6.15	「ヒトの来た道」展指導者委員会	11.25	「'98京都美術工芸展」審査(パルスプラザ/～11.26)
6.16	音楽会＜近代市民社会の発展と音楽＞第5夜(AH)	11.29	「ヒトの来た道」展講演会(亀井氏/AL)
6.28	京都映画講座2(井上氏/AH)	12. 5	「日本映画100年企画 銀幕を彩ったスターたち2」 開催(MH/～1998.3.30)
7. 1	「知られざるインド更紗展」開催(4階/～7.27)	12. 6	「ヒトの来た道」展講演会(鈴木/AL)
7. 3	第24回京都文化財団役員会		
7. 5	「知られざるインド更紗展」ギャラリートーク (内海氏/7.19)		
〃	古代学協会公開学術講演会(小林氏/AL/当館共催)		
7. 6	京都映画講座3(上倉氏/AH)		

年月日	事 項	年月日	事 項
1997.12.13	京都映画講座9(森脇/京都テルサ)	1998. 4.27	「京の絵師は百花繚乱」展調査委員会・同展実行委員会 (A L)
12.18	「'98京都美術工芸展(選抜部門)」開催 (3階/～1998.2.17)	4.29	ろうじ店舗「ショップ西陣」閉店
〃	「菓の民具と玩具」展開催(A E/～1998.3.17)	〃	K B Sかたつむり大作戦に協力
〃	音楽会<近代市民社会の発展と音楽・その2>第2夜 (A H)	5. 1	「日本映画の青春」開催(M H/～8.29)
12.23	「'98京都美術工芸展(公募部門)」開催 (4階/～1998. 1.18)	5. 2	美術・工芸常設展示ギャラリートーク(佐々木氏)
12.25	「'98京都美術工芸展」授賞式	5. 8	「京の江戸時代」展列品解説(山田)
1998. 1. 4	「館内ラリー お正月クイズ」の実施	5.12	ロータリークラブ研修でフィンランドへ (鈴木/～6.22)
1.20	10周年記念展広報委員会	5.17	インターネットのホームページの開設
1.21	第2回生涯学習ボランティア養成講座(施設別)開講	5.21	「京都の美術・工芸展」開催(3階/～7.7)
1.25	京都映画講座10(佐藤氏/M H)	5.22	台湾台北228記念館館長来館
1.27	「近代日本美術史の形成」展開催(4階/～2.22)	5.25	博物館友の会見学会(冷泉家)
2. 8	京都映画講座11(西岡氏/M H)	5.28	「秀吉と京都 豊国神社社宝展」開催(4階/～6.28)
2.14	韓国国立中央博物館遺物管理部長来館	5.29	京都文化財団職員表彰(永年勤続一藤本)
2.19	「京都の美術・工芸展」開催(3階/～5.19)	5.31	修学旅行生体験学習「京舞鑑賞」開始(6階)
〃	「雛人形展」開催(3階/～3.17)	6. 1	人事異動
2.20	「京都府陶磁器バーチャル美術館」展開催 (A H/～2.22)	6.18	展示室運営委員会
〃	デジタルデザイン委員会(石沢/A L)	6.22	音楽会<近代市民社会の発展と音楽・その2>第5夜 (A H)
2.21	エルサルバドル海外学術調査協力(南/～3.15)	6.23	京都市内博物館施設連絡協議会表彰 (永年勤続一新井田・金田)
2.26	展示室運営委員会	6.26	学芸合同会議
2.27	音楽会<近代市民社会の発展と音楽・その2>第3夜 (A H)	7. 2	第26回京都文化財団役員会
3. 1	京都映画講座12(中島氏/M H)	7. 8	7月の休館日を第2水曜日に変更
3. 5	「パリ国立オペラ座オペラ・バレエ衣裳名作展」開催 (4階/～4.5)	7. 9	「京都の美術・工芸展」開催(3階/～9.22)
〃	奈良国立文化財団招聘中国研究者一行来館	〃	「第16回上野の森美術館大賞展・関西展」 (5階/～7.15)
3.19	第25回京都文化財団役員会	7.10	「越前朝倉氏・一乗谷」展開催(4階/～8.11)
3.30	『INTERVIEW 映画の青春』を刊行	7.12	「越前朝倉氏・一乗谷」展講演会(脇田氏/A L)
3.31	研究紀要『朱雀』第10集を刊行	7.14	京都府青年国際交流団来館
〃	「調査研究報告」第13集を刊行	7.15	<祇園祭の宵山に箏曲を聴く夕べ>開催 (A H/～7.16)
4. 1	別館三条通側入口の閉鎖	7.19	「越前朝倉氏・一乗谷」展将棋大会(A H)
4. 2	アメリカ・アーカンソー州歴史博物館員来館	7.21	博物館実習第1組(～7.24)
4. 3	音楽会<近代市民社会の発展と音楽・その2>第4夜 (A H)	7.28	ハイビジョン夏休み子供特集「忍たま乱太郎」 (M H/～8.6)
4. 5	「京都府フィルムライブラリー新収蔵品特集」開催 (M H/～4.27)	8.17	エルサルバドル海外学術調査協力(南/～9.6)
4. 6	国際協力事業団文化財修復整備技術コース研修 (～4.7)	8.21	「源氏おんな物語展」開催(4階/～9.20)
4.14	ロシア・エルミタージュ及びプーシキン両美術館長来館	〃	音楽会<近代市民社会の発展と音楽・その2>第6夜 (A H)
4.17	「京の江戸時代」展開催(4階/～5.17)	8.25	博物館実習第2組(～8.28)
4.18	「京の江戸時代」展講演会(横田氏/A L)	9. 6	「戦後映画ラブ・シーンの変遷」開催(M H/～9.7)
4.24	10周年記念展覧会広報委員会	9.30	京都文化財団職員表彰(永年勤続一和田)
〃	「京の江戸時代」展列品解説(大塚)	10. 1	開館10周年記念式典、館協力者へ感謝状贈呈
4.25	「京の江戸時代」展講演会(鎌田氏/A L)	10. 2	「京の絵師は百花繚乱」展開催(4階/～11.10)
		〃	ろうじ店舗博和会の10周年記念協賛イベント 「ろうじの古本市」開催(～10.4)

2. 入館者一覽

① 1988年度

単位：人

年月	常設展			特別展			計			ギャラリー				総計
	有料	無料	計	有料	無料	計	有料	無料	計	作家	一般	別館	計	
1988.10	12,782	152	12,934	23,923	37,301	61,224	36,705	37,453	74,158					
11	10,106	484	10,587	11,890	2,925	14,815	21,996	3,406	25,402					
12	4,685	71	4,756	20,015	9,306	29,321	24,700	9,377	34,077					
1989. 1	8,937	383	9,320	2,324	917	3,241	11,261	1,300	12,561					
2	7,196	117	7,309	5,459	2,459	7,918	12,651	2,576	15,227					
3	12,647	360	13,007	0	0	0	12,647	360	13,007					
年度計	56,349	1,564	57,913	63,611	52,908	116,519	119,960	54,472	174,432	22,267	35,412	—	57,679	232,111
1日平均	331	9	341	461	317	698	706	320	1,026					

註・10月の特別観覧に「無料」が多いのは、「京の四季展」を無料公開したためである。

② 1989年度

年月	常設展			特別展			計			ギャラリー				総計
	有料	無料	計	有料	無料	計	有料	無料	計	作家	一般	別館	計	
1989. 4	7,398	172	7,570	5,805	716	6,521	13,203	888	14,091					
5	8,467	181	8,648	4,944	2,206	7,150	13,411	2,387	15,798					
6	6,076	256	6,332	4,964	1,609	6,573	11,040	1,865	12,905					
7	5,986	186	6,172	4,621	1,874	6,495	10,607	2,060	12,667					
8	6,718	201	6,919	9,702	4,191	13,893	16,420	4,392	20,812					
9	5,662	256	5,918	4,852	1,873	6,725	10,514	2,129	12,643					
10	5,897	2,598	8,495	4,258	6,884	11,142	10,155	9,482	19,637					
11	6,807	540	7,347	6,977	5,397	12,374	13,784	5,937	19,721					
12	4,057	308	4,365	4,442	463	4,905	8,499	771	9,270					
1990. 1	3,378	374	3,752	2,531	1,917	4,448	5,909	2,291	8,200					
2	4,414	649	5,063	2,510	2,909	5,419	6,924	3,558	10,482					
3	9,528	1,156	10,684	0	0	0	9,528	1,156	10,684					
年度計	74,388	6,877	81,265	55,606	30,039	85,645	129,994	36,916	166,910	50,471	79,481	—	129,952	294,161
1日平均	214	20	234	232	125	357	374	106	480					

③ 1990年度

年月	常設展			特別展			計			ギャラリー				総計
	有料	無料	計	有料	無料	計	有料	無料	計	作家	一般	別館	計	
1990. 4	5,997	687	6,684	4,525	1,836	6,361	10,552	2,523	13,045	4,655	3,240		7,895	20,940
5	5,916	712	6,628	5,155	1,726	6,881	11,071	2,438	13,509	6,170	3,110		9,280	22,789
6	7,551	967	8,518	4,511	1,367	5,878	12,062	2,334	14,396	3,180	1,220		4,400	18,796
7	4,724	831	5,555	2,888	2,654	5,542	7,612	3,485	11,097	4,569	700		5,269	16,366
8	4,768	917	5,685	4,472	2,392	6,864	9,420	3,309	12,549	4,368	320		4,688	17,237
9	6,806	1,092	7,898	1,123	2,201	3,324	7,929	3,293	11,222	6,479	1,040		7,519	18,741
10	5,291	2,922	8,213	7,310	2,200	9,510	12,601	5,122	17,723	4,649	8,230		12,879	30,602
11	6,789	1,149	7,938	7,653	2,501	10,154	14,442	3,650	18,092	3,657	3,820		7,477	25,569
12	4,533	997	5,530	1,865	1,424	3,289	6,398	2,421	8,819	3,368	5,370		8,738	17,557
1991. 1	4,178	1,174	5,352	9,792	10,435	20,227	13,970	11,609	25,579	4,149	1,630		5,779	31,358
2	5,661	1,602	7,263	2,170	2,196	4,366	7,831	3,798	11,629	6,513	5,560		12,073	23,702
3	11,397	2,356	13,753	0	0	0	11,397	2,356	13,753	5,748	6,140		11,888	25,641
年度計	73,611	15,406	89,017	51,464	30,932	82,396	125,075	46,338	171,413	57,505	40,380	—	97,885	269,298
1日平均	212	44	256	229	137	366	359	133	493					

④ 1991年度

年月	常設展			特別展			計			ギャラリー				総計
	有料	無料	計	有料	無料	計	有料	無料	計	作家	一般	別館	計	
1991. 4	5,821	1,345	7,166	12,646	2,567	15,213	18,467	3,912	22,379	6,229	5,486		11,715	34,094
5	6,458	1,310	7,768	23,877	4,999	28,876	30,335	6,309	36,644	6,346	2,980		9,326	45,970
6	6,572	1,484	8,056	11,671	6,193	17,864	18,243	7,677	25,920	2,607	16,430		19,037	44,957
7	5,505	2,049	7,554	7,848	5,453	13,301	13,353	7,502	20,855	3,005	1,070		4,075	24,930
8	5,865	979	6,844	11,308	10,217	21,525	17,173	11,196	28,369	3,350	240		3,590	31,959
9	5,098	1,146	6,244	4,050	3,649	7,699	9,148	4,795	13,943	4,428	2,570		6,998	20,941
10	5,101	2,200	7,301	9,850	7,110	16,960	14,951	9,310	24,261	5,067	7,660		12,727	36,988
11	5,855	2,142	7,997	10,395	9,877	20,272	16,250	12,019	28,269	2,857	5,597		8,454	36,723
12	3,426	1,372	4,798	3,862	2,394	6,256	7,288	3,766	11,054	752	5,151		5,903	16,957
1992. 1	4,311	2,153	6,464	4,604	4,150	8,754	8,915	6,303	15,218	4,964	3,135		8,099	23,317
2	4,467	1,899	6,366	9,270	7,435	16,705	13,737	9,334	23,071	6,440	4,641		11,081	34,152
3	4,917	1,441	6,358	11,186	8,844	20,030	16,103	10,285	26,388	5,048	9,388		14,436	40,824
年度計	63,396	19,520	82,916	120,567	72,888	193,455	183,963	92,408	276,371	51,093	64,348	—	115,441	391,812
1日平均	181	56	237	442	267	709	526	264	790					

⑤ 1992年度

年月	常設展			特別展			計			ギャラリー				総計
	有料	無料	計	有料	無料	計	有料	無料	計	作家	一般	別館	計	
1992. 4	5,831	1,050	6,881	1,612	2,484	4,096	7,443	3,534	10,977	4,774	4,579		9,353	20,330
5	5,874	747	6,621	4,605	4,444	9,049	10,479	5,191	15,670	6,720	1,490		8,210	23,880
6	4,760	1,374	6,134	4,665	6,617	11,282	9,425	7,991	17,416	5,283	1,050		6,333	23,749
7	4,782	2,119	6,901	2,978	1,734	4,712	7,760	3,853	11,613	7,443	2,648		10,091	21,704
8	5,951	914	6,865	3,611	2,967	6,578	9,562	3,881	13,443	2,678	180		2,858	16,301
9	5,026	946	5,972	11,797	3,868	15,665	16,823	4,814	21,637	3,285	4,124		7,409	29,046
10	4,570	1,521	6,091	32,154	21,813	53,967	36,724	23,334	60,058	6,633	7,152		13,785	73,843
11	5,954	1,800	7,754	3,807	2,646	6,453	9,761	4,446	14,207	2,389	12,398		14,787	28,994
12	3,122	1,247	4,369	6,651	5,400	12,051	9,773	6,647	16,420	2,284	5,032		7,316	23,736
1993. 1	3,649	1,231	4,880	8,599	10,130	18,729	12,248	11,361	23,609	2,586	858	242	3,686	27,295
2	3,995	3,470	7,465	3,100	2,875	5,975	7,095	6,345	13,440	7,121	1,756	0	8,877	22,317
3	8,498	2,692	11,190	1,856	1,990	3,846	10,354	4,682	15,036	4,640	11,545	551	16,736	31,772
年度計	62,012	19,111	81,123	85,435	66,968	152,403	147,447	86,079	233,526	55,836	52,812	793	109,441	342,967
1日平均	178	55	233	334	262	595	424	247	671					

⑥ 1993年度

年月	常設展			特別展			計			ギャラリー				総計
	有料	無料	計	有料	無料	計	有料	無料	計	作家	一般	別館	計	
1993. 4	8,795	2,253	11,048	3,482	1,780	5,262	12,277	4,033	16,310	3,614	3,674	651	7,939	24,249
5	8,384	1,376	9,760	10,046	6,357	16,403	18,430	7,733	26,163	6,416	10,552	172	17,140	43,303
6	4,619	866	5,485	15,640	8,011	23,651	20,259	8,877	29,136	4,502	2,289	0	6,791	35,927
7	4,250	2,657	6,907	13,958	8,977	22,935	18,208	11,634	29,842	3,296	1,241	0	4,537	34,379
8	4,946	955	5,901	27,482	19,788	47,270	32,428	20,743	53,171	5,720	1,282	0	7,002	60,173
9	4,682	1,090	5,772	7,444	2,566	10,010	12,126	3,656	15,782	6,192	6,081	553	12,826	28,608
10	5,699	1,177	6,876	13,524	6,183	19,707	19,223	7,360	26,583	5,670	6,056	1,794	13,520	40,103
11	7,096	1,859	8,955	21,851	6,311	28,162	28,947	8,170	37,117	2,725	10,774	2,234	15,733	52,850
12	2,959	1,169	4,128	19,767	9,345	29,112	22,726	10,514	33,240	2,272	3,885	449	6,606	39,846
1994. 1	3,588	939	4,527	1,866	1,307	3,173	5,454	2,246	7,700	3,380	2,208	0	5,588	13,288
2	4,057	930	4,987	5,856	2,695	8,551	9,913	3,625	13,538	8,635	1,795	3,442	13,872	27,410
3	7,329	1,324	8,653	15,425	8,477	23,902	22,754	9,801	32,555	5,480	11,485	773	17,738	50,293
年度計	66,404	16,595	82,999	156,341	81,797	238,138	222,745	98,392	321,137	57,902	61,322	10,068	129,292	450,429
1日平均	191	48	239	579	303	882	640	283	923					

㊦ 1994年度

年月	常設展			特別展			計			ギャラリー				総計
	有料	無料	計	有料	無料	計	有料	無料	計	作家	一般	別館	計	
1994. 4	4,847	1,018	5,865	20,383	11,063	31,446	25,230	12,081	37,311	4,555	11,116	0	15,671	52,982
5	6,070	1,906	7,976	32,610	18,055	50,665	38,680	19,961	58,641	6,508	9,350	1,551	17,409	76,050
6	5,500	1,124	6,624	11,648	5,341	16,989	17,148	6,465	23,613	3,529	3,315	171	7,015	30,628
7	4,884	1,967	6,851	4,980	3,177	8,157	9,864	5,144	15,008	7,529	730	1,852	10,111	25,119
8	8,003	1,102	9,105	4,513	1,584	6,097	12,516	2,686	15,202	11,419	372	474	12,265	27,467
9	4,940	1,236	6,176	25,839	12,305	38,144	30,779	13,541	44,320	6,837	2,459	1,074	10,370	54,690
10	4,611	824	5,435	38,135	24,314	62,449	42,746	25,138	67,884	7,055	11,054	1,746	19,855	87,739
11	5,204	1,498	6,702	41,535	36,575	78,110	46,739	38,073	84,812	5,417	5,120	6,754	17,291	102,103
12	3,634	1,505	5,139	2,057	4,778	6,835	5,691	6,283	11,974	0	2,442	519	2,961	14,935
1995. 1	2,485	1,304	3,789	7,105	8,810	15,915	9,590	10,114	19,704	3,709	1,563	0	5,272	24,976
2	2,873	1,092	3,965	3,247	2,670	5,917	6,120	3,762	9,882	6,990	1,595	0	8,585	18,467
3	5,077	1,371	6,448	9,818	11,977	21,795	14,895	13,348	28,243	3,176	11,673	0	14,849	43,092
年度計	58,128	15,947	74,075	201,870	140,649	342,519	259,998	156,596	416,594	66,724	60,789	14,141	141,654	558,248
1日平均	167	46	213	750	523	1,273	747	450	1,197					

㊧ 1995年度

年月	常設展			特別展			計			ギャラリー				総計
	有料	無料	計	有料	無料	計	有料	無料	計	作家	一般	別館	計	
1995. 4	4,391	826	5,217	4,973	2,441	7,414	9,364	3,267	12,631	6,057	5,455	0	11,512	24,143
5	6,333	1,027	7,360	7,202	3,822	11,024	13,535	4,849	18,384	4,812	3,737	350	8,899	27,283
6	5,119	1,146	6,265	17,023	8,284	25,307	22,142	9,430	31,572	3,025	3,267	120	6,412	37,984
7	5,101	2,499	7,600	5,005	3,631	8,636	10,106	6,130	16,236	0	0	0	0	16,236
8	6,103	1,103	7,206	14,890	3,581	18,471	20,993	4,684	25,677	0	0	0	0	25,677
9	5,448	1,585	7,033	24,060	9,026	33,086	29,508	10,611	40,119	8,244	519	515	9,278	49,397
10	5,572	1,261	6,833	18,927	10,216	29,143	24,499	11,477	35,976	6,708	5,942	0	12,650	48,626
11	6,576	1,163	7,739	18,107	12,108	30,215	24,683	13,271	37,954	5,846	2,435	24,854	33,135	71,089
12	3,964	2,544	6,508	36,176	14,580	50,756	40,140	17,124	57,264	1,062	6,568	12,299	19,929	77,193
1996. 1	3,690	1,267	4,957	2,650	2,419	5,069	6,340	3,686	10,026	4,020	420	240	4,680	14,706
2	4,118	1,312	5,430	10,999	9,395	20,394	15,117	10,707	25,824	6,024	1,951	588	8,563	34,387
3	5,011	1,274	6,285	31,455	12,358	43,813	36,466	13,632	50,098	2,823	3,079	835	6,737	56,835
年度計	61,426	17,007	78,433	191,467	91,861	283,328	252,893	108,868	361,761	48,621	33,373	39,801	121,795	483,556
1日平均	176	49	225	636	305	941	725	312	1,037					

㊨ 1996年度

年月	常設展			特別展			計			ギャラリー				総計
	有料	無料	計	有料	無料	計	有料	無料	計	作家	一般	別館	計	
1996. 4	5,548	1,151	6,699	16,287	11,336	27,623	21,835	12,487	34,322	3,470	4,963	387	8,820	43,142
5	5,571	1,388	6,959	15,357	15,619	30,976	20,928	17,007	37,935	5,449	4,227	3,057	12,733	50,668
6	4,497	1,144	5,641	78,077	8,613	86,690	82,574	9,757	92,331	2,586	3,462	220	6,268	98,599
7	4,692	1,268	5,960	97,118	11,460	108,578	101,810	12,728	114,538	4,888	2,744	226	7,858	122,396
8	6,057	1,420	7,477	9,936	5,226	15,162	15,993	6,646	22,639	2,825	1,494	0	4,319	26,958
9	5,397	1,277	6,674	8,048	8,834	16,882	13,445	10,111	23,556	5,177	3,045	1,267	9,489	33,045
10	5,356	1,228	6,584	9,517	4,421	13,938	14,873	5,649	20,522	4,513	2,716	2,671	9,900	30,422
11	7,248	1,690	8,938	8,481	5,359	13,840	15,729	7,049	22,778	3,552	1,556	200	5,308	28,086
12	5,024	2,547	7,571	5,475	6,065	11,540	10,499	8,612	19,111	1,645	4,052	270	5,967	25,078
1997. 1	2,922	966	3,888	2,285	2,851	5,136	5,207	3,817	9,024	3,060	4,032	0	7,092	16,116
2	3,028	1,182	4,210	7,053	3,531	10,584	10,081	4,713	14,794	853	2,592	692	4,137	18,931
3	5,721	1,637	7,358	3,976	2,139	6,115	9,697	3,776	13,473	4,944	4,435	885	10,264	23,737
年度計	61,061	16,898	77,959	261,610	85,454	347,064	322,671	102,352	425,023	42,962	39,318	9,875	92,155	517,178
1日平均	175	48	223	1,006	329	1,335	925	293	1,218					

⑩ 1997年度

年月	常設展			特別展			計			ギャラリー				総計
	有料	無料	計	有料	無料	計	有料	無料	計	作家	一般	別館	計	
1997. 4	3,584	855	4,439	6,325	3,013	9,338	9,909	3,868	13,777	4,967	2,316	200	7,483	21,260
5	6,081	1,515	7,596	7,436	3,801	11,237	13,517	5,316	18,833	2,846	1,234	150	4,230	23,063
6	4,795	1,521	6,316	7,107	4,749	11,856	11,902	6,270	18,172	4,045	2,718	0	6,763	24,935
7	3,957	1,886	5,843	6,561	4,047	10,608	10,518	5,933	16,451	1,554	1,751	110	3,415	19,866
8	5,595	1,102	6,697	12,366	6,917	19,283	17,961	8,019	25,980	7,379	2,566	0	9,945	35,925
9	3,856	820	4,676	11,677	10,805	22,482	15,533	11,625	27,158	4,346	4,295	520	9,161	36,319
10	4,864	1,435	6,299	8,135	10,363	18,498	12,999	11,798	24,797	8,321	2,018	3,572	13,911	38,708
11	5,889	1,517	7,406	4,097	3,102	7,199	9,986	4,619	14,605	6,660	2,599	1,032	10,291	24,896
12	3,036	1,053	4,089	3,531	3,336	6,867	6,567	4,389	10,956	1,321	3,855	180	5,356	16,312
1998. 1	2,468	978	3,446	2,001	3,278	5,279	4,469	4,256	8,725	2,714	1,582	380	4,676	13,401
2	3,531	1,528	5,059	3,731	6,011	9,742	7,262	7,539	14,801	825	1,899	667	3,391	18,192
3	4,643	1,422	6,065	10,001	8,037	18,038	14,644	9,459	24,103	6,034	4,397	0	10,431	34,534
年度計	52,299	15,632	67,931	82,968	67,459	150,427	135,267	83,091	218,358	51,012	31,230	6,811	89,053	307,411
1日平均	151	45	196	302	245	547	391	240	631					

3. 特別展の開催状況一覧

① 1988年度

展覧会名	会期	日数	入場者数	1日平均	形態	備考
開館記念 気球があがった	1988.10.1~1988.11.6	36	16,453	457	自主展	6階 5階、無料
開館記念 千家十職	1988.10.1~1988.10.30	29	18,061	623	共催展	
開館記念 京の四季	1988.10.1~1988.10.30	29	29,418	1,014	自主展	
方濟衆遺墨展	1988.11.9~1988.11.14	6	2,050	342	共催展	
開館記念 近世の宮廷文化展	1988.11.17~1988.12.25	38	39,378	1,036	共催展	
第11回京都美術展	1989.1.20~1989.2.12	24	6,858	286	共催展	
京の名工展	1989.2.18~1989.2.22	5	4,240	848	共催展	
計 7件		167	116,458	697		

② 1989年度

展覧会名	会期	日数	入場者数	1日平均	形態	備考
国際[紙]造形展	1989.4.1~1989.4.10	10	4,132	413	共催展	
堂本印象展	1989.4.22~1989.5.21	28	9,539	341	自主展	
桂林百景展	1989.6.3~1989.7.9	36	12,513	348	共催展	
高山辰雄展	1989.7.20~1989.9.3	45	20,265	450	共催展	
海を渡って来た人と文化	1989.9.15~1989.10.22	35	14,120	403	自主展	
ピカソ石版画展	1989.10.28~1989.11.26	29	13,304	459	共催展	
熊倉順吉の陶芸	1989.12.9~1990.1.15	32	4,557	142	共催展	
第41回京都工芸美術展	1990.1.25~1990.2.18	25	7,215	289	共催展	
計 8件		240	85,645	357		

③ 1990年度

展覧会名	会期	日数	入場者数	1日平均	形態	備考
小合友之助・稲垣稔次郎展	1990.4.7~1990.5.6	28	9,700	346	自主展	無料
名作浮世絵の系譜展	1990.5.17~1990.6.17	32	9,261	289	共催展	
ボナノッテの世界	1990.6.30~1990.7.29	29	5,701	197	共催展	
京都・古代との出会い	1990.8.8~1990.9.2	25	8,050	322	共催展	
陝西省風物写真展	1990.9.20~1990.9.26	7	1,452	207	共催展	
京町家	1990.9.29~1990.10.28	29	10,196	352	共催展	
京の百景展	1990.11.1~1990.11.25	24	10,154	423	自主展	
第15回全日本新人染織展	1990.12.1~1990.12.10	10	3,289	329	共催展	
現代京都画壇による源氏物語絵	1991.1.2~1991.1.20	18	18,910	1,051	共催展	
第12回京都美術展	1991.1.26~1991.2.17	23	5,683	247	共催展	
計 10件		225	82,396	366		

④ 1991年度

展覧会名	会期	日数	入場者数	1日平均	形態	備考
一竹辻が花展	1991.4.19~1991.5.12	24	38,736	1,614	巡回展	
観●平家	1991.5.18~1991.6.16	30	19,921	664	共催展	
第9回上野の森美術館大賞展・関西展	1991.6.22~1991.6.30	9	3,296	366	共催展	
南ロシア騎馬民族の遺宝展	1991.7.10~1991.8.18	40	31,224	781	共催展	
袱紗展	1991.8.24~1991.9.8	16	8,741	546	共催展	
チャドウィックの彫刻	1991.9.13~1991.10.2	19	3,926	207	共催展	
光源氏と平安貴族	1991.10.10~1991.11.17	34	33,202	977	自主展	
アジア・太平洋工芸展	1991.11.23~1991.12.1	9	3,614	402	共催展	

京の歌舞伎展	1991.12. 7~1992. 1.12	30	10,143	338	自主展	
第42回京都工芸美術展	1992. 1.17~1992. 2. 9	24	6,715	280	共催展	
ゴーギャンとブルターニュの画家たち	1992. 2.14~1992. 3. 8	23	26,895	1,169	共催展	
第3回国際テキスタイルコンペティション-京都-	1992. 3.14~1992. 3.29	15	7,042	469	共催展	
計 12件		273	193,455	709		

⑤ 1992年度

展覧会名	会期	日数	入場者数	1日平均	形態	備考
澤部清五郎	1992. 4.10~1992. 5. 5	25	6,784	271	共催展	
動物に魅せられた京の画家	1992. 5.16~1992. 6.14	28	14,330	512	自主展	
第10回上野の森美術館大賞展・関西展	1992. 6.19~1992. 6.28	10	3,313	331	共催展	
ほとけ・さむらい・むら	1992. 7.11~1992. 8.16	36	10,039	279	共催展	
日本の抽象絵画 1910-1945	1992. 8.22~1992. 9.13	23	3,740	163	共催展	
スキタイ黄金美術展	1992. 9.22~1992.10.25	33	67,143	2,035	共催展	
壬生寺展	1992.11. 3~1992.12. 6	33	8,715	264	自主展	
旅順博物館所蔵品展	1992.12.12~1993. 1.10	24	26,013	1,084	共催展	
第13回京都美術展	1993. 1.16~1993. 2. 7	22	3,713	169	共催展	
小林天眠文庫展	1993. 2.13~1993. 3. 7	22	8,613	392	共催展	
計 10件		256	152,403	595		

⑥ 1993年度

展覧会名	会期	日数	入場者数	1日平均	形態	備考
マヤ	1993. 4.13~1993. 5.30	46	21,665	471	自主展	
ユーラシアの絆	1993. 6. 7~1993. 7. 4	27	33,908	1,256	共催展	
ポルトガルと南蛮文化展	1993. 7.13~1993. 8.31	48	59,948	1,249	共催展	
京の美人画展	1993. 9.10~1993.10.11	30	19,056	635	自主展	
横山大観展	1993.10.21~1993.11.21	30	37,996	1,267	共催展	共同企画
ロートレックと日本展	1993.11.30~1993.12.26	26	29,939	1,152	共催展	
京都工芸ビエンナーレ 1994	1994. 1.14~1994. 2. 6	23	4,647	202	共催展	
インド宮廷文化の華	1994. 2.19~1994. 4. 3	43	35,955	836	共催展	
計 8件		273	243,114	891		

⑦ 1994年度

展覧会名	会期	日数	入場者数	1日平均	形態	備考
祇園祭大展	1994. 4.12~1994. 5.15	33	72,214	2,188	共催展	
小袖屏風展	1994. 5.24~1994. 6.19	25	21,319	853	共催展	共同企画
京都創作陶芸のながれ	1994. 6.28~1994. 7.31	33	8,748	265	自主展	
第4回国際テキスタイルコンペティション '94-京都-	1994. 8.11~1994. 8.25	14	6,097	436	共催展	
大唐長安展	1994. 9. 9~1994.11.27	75	178,703	2,383	自主展	
'94洋画KYOTO展	1994.12. 7~1994.12.23	16	6,835	427	共催展	
現代・京都の日本画展	1995. 1. 2~1995. 1.16	15	10,552	703	共催展	
現代・京都の工芸展	1995. 1.19~1995. 1.29	11	5,363	488	共催展	
ヨーロッパ染織の美	1995. 2.11~1995. 3.28	44	27,712	630	共催展	
計 9件		266	337,543	1,269		

⑧ 1995年度

展覧会名	会期	日数	入場者数	1日平均	形態	備考
小野竹喬展	1995. 4. 8~1995. 5.14	36	15,242	423	自主展	
テディベア物語展	1995. 5.27~1995. 7. 2	36	34,049	946	共催展	
第13回上野の森美術館大賞展・関西展	1995. 7.14~1995. 7.30	16	3,090	193	共催展	
イギリス絵画の350年	1995. 8. 6~1995. 9.24	48	51,557	1,074	共催展	

桃山の春・光悦展	1995.10. 7~1995.11.12	34	52,725	1,551	自主展	別館ホール
大宝石・ミネラル展	1995.11. 3~1995.12.10	37	37,111	1,003	共催展	
西国三十三所	1995.11.21~1995.12.19	29	20,278	699	共催展	
'96京都美術工芸展	1996. 1. 5~1996. 1.23	18	5,069	282	共催展	
日本出版文化史展 '96京都	1996. 2. 3~1996. 2.25	22	20,394	927	共催展	
黄金の都 シカン発掘展	1996. 3. 6~1996. 4. 7	32	62,516	1,954	共催展	
計 10件		308	302,031	981		

⑨ 1996年度

展覧会名	会期	日数	入場者数	1日平均	形態	備考
北方騎馬民族の黄金マスク展	1996. 4.20~1996. 5.26	36	39,896	1,108	共催展	
ミケランジェロ展	1996. 6. 6~1996. 7.21	45	195,268	4,339	共催展	
中国・南越王の至宝	1996. 8. 3~1996. 9.23	50	32,044	641	共催展	
文人画の巨匠 池大雅展	1996.10. 3~1996.11. 4	32	19,070	596	自主展	
京都・激動の中世	1996.11.13~1996.12.15	30	20,248	675	自主展	
'97 京都美術工芸展	1997. 1. 4~1997. 1.23	19	5,136	270	共催展	
日本のわざと美展	1997. 2. 1~1997. 3. 2	29	13,047	450	共催展	
第5回国際テキスタイルコンペティション '97-京都-	1997. 3.13~1997. 3.25	12	3,652	304	共催展	
計 8件		253	328,361	1,298		

⑩ 1997年度

展覧会名	会期	日数	入場者数	1日平均	形態	備考
婚礼のいろとかたち	1997. 4. 5~1997. 5. 6	31	14,027	452	自主展	
土門拳の日本	1997. 5.13~1997. 6.22	39	18,404	472	共催展	
知られざるインド更紗	1997. 7. 1~1997. 7.27	26	10,608	408	共催展	
久保田一竹・自然への賞賛展	1997. 8. 7~1997. 9.15	39	39,484	1,012	巡回展	
アールブリュット 生の芸術	1997. 9.24~1997.10.26	32	20,779	649	共催展	
ヒトの来た道	1997.11. 8~1997.12.14	36	13,313	370	自主展	
'98京都美術工芸展	1997.12.23~1998. 1.18	20	4,560	228	共催展	
近代日本美術史の形成	1998. 1.27~1998. 2.22	26	11,214	431	共催展	
パリ国立オペラ座オペラ・バレエ衣装名作展	1998. 3. 5~1998. 4. 5	31	24,237	782	共催展	
計 9件		280	156,626	559		

4. 役員・職員一覧

(1) 京都文化財団役員

1998年3月31日現在

職名	氏名	所 属 等	在 任 期 間
顧問	芦原 義重	関西電力株式会社名誉会長	1986年8月5日～
	荒巻 禎一	京都府知事	1986年8月5日～
	林田悠紀夫	前京都府知事	1986年8月5日～
理事長	岡本 道雄	京都大学名誉教授・京都文化博物館長	1986年8月5日～
	副理事長	千 宗室	茶道家元
常務理事	片山 健三	京都府副知事	1986年8月5日～1990年6月27日
	草木 慶治	京都府副知事	1990年6月27日～
	井上 裕雄	前京都府企画管理部理事	1986年8月5日～1990年6月27日
	河北 倫明	美術評論家	1986年8月5日～1995年10月30日
	小葉田 淳	京都大学名誉教授	1986年8月5日～1996年3月31日
	岡田 忠司	京都府立文化芸術会館館長	1988年7月9日～1996年3月31日
	吉田 光邦	京都大学名誉教授	1990年6月27日～1991年7月30日
	東條 壽	勸京都文化財団事務局長	1996年4月1日～1997年3月31日
	高見 静治	勸京都文化財団事務局長	1997年4月1日～
	理事	岩淵龍太郎	京都市立芸術大学名誉教授
西村大治郎		(勸)京都府観光連盟理事長	1986年8月5日～
小嶋 一夫		京都府企画管理部文化芸術室長	1986年8月5日～1989年7月8日
谷口 良三		京都府教育委員会委員長	1986年8月5日～1990年3月31日
吉田 光邦		京都大学名誉教授	1986年8月5日～1990年6月27日
依田 義賢		シナリオ作家	1986年8月5日～1991年11月14日
栗林 四郎		(勸)京都市観光協会会長	1986年8月5日～1992年5月24日
田中 常雄		祇園祭山鉾連合会会長	1986年8月5日～1995年2月27日
塚本 幸一		京都商工会議所会頭	1986年8月5日～1995年7月11日
上村信太郎		日本画家	1986年8月5日～1996年3月31日
森口平七郎		染織工芸家	1986年8月5日～1996年3月31日
菅 泰男		京都大学名誉教授	1988年7月9日～
角田 文衛		(勸)古代学協会理事長	1988年7月9日～
小川 鍛		(勸)日本工芸会近畿支部長	1988年7月9日～1996年3月31日
鈴木日出年		(勸)京都古文化保存協会理事長	1988年7月9日～1996年3月31日
太田 至郎		京都府企画管理部文化芸術室長	1989年7月8日～1990年6月27日
村上 勝		京都府教育委員会委員長	1990年4月1日～1992年3月31日
竹中 靖雄		京都府総合府民部文化芸術室長	1990年6月27日～1992年7月3日
杉浦喜代之		京都府立府民ホール館長	1990年6月27日～1993年7月3日
東條 壽		(勸)京都文化財団事務局長	1990年6月27日～1996年3月31日
多田道太郎		京都大学名誉教授	1992年4月1日～
藤田 一		京都府教育委員会委員長	1992年4月1日～1995年7月11日
京極 隆夫		京都府総合府民部文化芸術室長	1992年7月4日～1994年7月4日
竹中 靖雄		京都府立堂本印象美術館長	1992年7月4日～1994年3月31日
渡辺 綱枝		京都府立府民ホール館長	1993年7月3日～1994年3月31日
西村 源一		(勸)京都市観光協会会長	1994年4月1日～1996年7月9日
高橋 正典		京都府総合府民部次長兼文化芸術室長	1994年7月4日～1995年7月11日
田中 博		京都府立府民ホール館長	1995年4月1日～1996年3月31日
太田 至郎		京都府立堂本印象美術館長	1995年4月1日～1996年3月31日
稲盛 和夫		京都商工会議所会頭	1995年7月11日～
森田 嘉一	京都府教育委員会委員長	1995年7月11日～	
榎野 宏	京都府府民労働部文化芸術室長	1995年7月11日～	
岸本 伊蔵	(勸)祇園祭山鉾連合会会理事長	1995年7月11日～1996年2月10日	
大久保良順	(勸)京都古文化保存協会理事長	1996年4月1日～	
門脇 禎二	京都橘女子大学学長	1996年4月1日～	
坂上 守男	京都新聞社社長	1996年4月1日～	
芝田 米三	洋画家	1996年4月1日～	
清水九兵衛	彫刻家・陶芸家	1996年4月1日～	
堂本 元次	日本画家	1996年4月1日～	

監 事	南 恵美子	㈱京都府文化財保護基金理事長	1996年4月1日～
	深見 茂	㈱祇園祭山鉦連合会理事長	1996年7月9日～
	福持 通	㈱京都市観光協会副会長	1996年7月9日～
	木塚 一彦	㈱京都銀行協会専務理事	1986年8月5日～
	谷岡 豊次	京都府出納長	1986年8月5日～1988年3月31日
	堂端 明雄	京都府出納局長	1988年4月1日～1990年6月27日
	岸 義次	京都府出納局長	1990年6月27日～1991年7月6日
	吉田三枝子	京都府出納局長	1991年7月6日～1995年7月11日
	奥田 俊治	京都府出納管理局長	1995年7月11日～1996年3月31日
	高橋 善男	京都府出納管理局長	1996年4月1日～1997年7月3日
高田 慶久	京都府出納管理局長	1997年7月3日～	

* 所属等は、現職役員は現在のものであるが、退任役員は就任時のものとした。

(2) 京都府映像文化センター運営委員会 (12名)

1998年3月31日現在

氏名	所属等	期 間	氏名	所属等	期 間
吉田 光邦	京都大学名誉教授	1988年12月～1989年12月	貴田 恵三	京都興業協会	1995年12月～1997年6月
依田 義賢	大阪芸術大学教授	1988年12月～1991年7月	小嶋 一夫	京都府文化芸術室	1988年12月
滝沢 一	映画評論家	1988年12月～1992年11月	太田 至郎	京都府文化芸術室	1989年5月～1989年12月
高岩 淡	東映京都撮影所長	1988年12月～1994年12月	竹中 靖雄	京都府文化芸術室	1990年10月～1991年7月
佐藤 雅夫	東映京都撮影所長	1995年12月～1997年6月	京極 隆雄	京都府文化芸術室	1992年4月～1993年12月
多田道太郎	京都大学名誉教授	1988年12月～	高橋 正典	京都府文化芸術室	1994年12月
内藤 昭	映画美術監督	1988年12月～	梶野 宏	京都府文化芸術室	1995年12月～1997年6月
中島 貞夫	映画監督	1988年12月～	井上 裕雄	内部委員	1988年12月～1989年12月
宮川 一夫	大阪芸術大学教授	1988年12月～	吉田 光邦	内部委員	1990年10月～1991年7月
土田 正義	KYOTO映画塾	1992年11月～	東條 壽	内部委員	1990年10月～1996年11月
松本 俊夫	京都造形芸術大学教授	1992年11月～	江馬 道生	内部委員	1991年7月～1997年6月
金内 岑	京都興業協会常任理事	1988年12月～1989年5月	岡本 道雄	内部委員	1994年12月～
福本 滋	京都興業協会	1989年12月～1990年10月	高見 静治	内部委員	1997年6月～
田中 俊也	京都興業協会	1991年7月～1994年12月			

(3) 京都文化博物館職員

① 1986年度 (京都文化財団)

所 属	職 名	氏 名	担当業務	備 考
総務課	常務理事	井上 裕雄	運営方針	1986.9～
	事務局長兼総務課長事務取扱	東條 壽	事務総括	1986.9～
	参 事	新井田郁雄	課総括	1986.10～
	総務課長補佐兼総務係長	藤岡研二郎	総務係	1986.10～
	総務課長補佐兼経理係長	藤原 宮彦	経理係	1986.9～
	主 事	山内 悦子	総務係	1986.10～
事業管理課	主 事	和田 央子	経理係	1986.10～
	主 事	森木 礼子	経理係	1986.10～
	課 長	梅本 隆司	課総括	1986.9～
	事業管理係長	金田 曉	事業管理係	1986.10～
企画調査課	嘱 託	中越 活朗	事業管理係	1986.10～
	嘱 託	池内 和枝	事業管理係	1986.10～
	課 長	荻谷 恭平	課総括	1986.9～
歴史研究室	主 幹	宮垣 克己	企画調査係	1986.9～
	主 任	水口 薫	企画調査係	1986.10～
	室 長 (主任研究員)	片岡 肇	企画調査係	1986.10～
	室長補佐 (主任研究員)	鈴木 忠司	室総括	1986.10～
	主任研究員	藤本 孝一		1986.10～/㈱古代学協会へ派遣
	主任研究員	川西 宏幸		1986.10～/㈱古代学協会へ派遣
	主任研究員	野口 実		1986.10～/㈱古代学協会へ派遣
研究員	山下 秀樹		1986.10～	
研究員	植山 茂		1986.10～	

研究員	定森 秀夫	1986.10～／叻古代学協会へ派遣
研究員	南 博史	1986.10～／叻古代学協会へ派遣
研究員	山田 邦和	1986.10～

②1987年度（京都文化財団）

所 属	職 名	氏 名	担当業務	備 考
総務課	常務理事	井上 裕雄	運営方針	1987. 4～ ～1987.12
	事務局長兼総務課長事務取扱	東條 壽	事務総括	
	参 事	新井田郁雄	課総括	
	主 幹	西山 武久	府民ホール準備業務	
事業管理課	総務兼経理係長	金田 暁	総務係、経理係	1987. 4～ 1987.10～／非常勤 1987.12～／非常勤 1987. 6～／非常勤
	主 任	山内 悦子	総務係	
	主 事	和田 央子	経理係	
	主 事	森木 礼子	総務係、経理係	
企画調査課	課 長	梅本 隆司	課総括	1987. 4～ 1987.10～／非常勤 1987.12～／非常勤 1987. 6～／非常勤
	課長補佐兼事業係長	藤原 宮彦	事業係	
	課長補佐兼管理係長	藤岡研二郎	管理係	
	嘱 託	池内 和枝	管理係	
歴史研究室	嘱 託	中越 活朗	管理係	叻古代学協会へ派遣 叻古代学協会へ派遣 叻古代学協会へ派遣 叻古代学協会へ派遣 叻古代学協会へ派遣 叻古代学協会へ派遣
	課 長	荻谷 恭平	課総括	
	主 幹	宮垣 克己	企画調査係	
	課長補佐兼企画調査係長	入江 錫雄	企画調査係	
	主 任	水口 薫	企画調査係	
	嘱 託	坂下 博	企画調査係	
	嘱 託	赤田 正一	企画調査係	
	嘱 託	江馬 道生	企画調査係	
	室 長（主任研究員）	片岡 肇	室総括	
	室長補佐（主任研究員）	鈴木 忠司		
	主任研究員	藤本 孝一		
	主任研究員	川西 宏幸		
主任研究員	野口 実			
研究員	山下 秀樹			
研究員	植山 茂			
研究員	定森 秀夫			
研究員	南 博史			
研究員	山田 邦和			

③1988年度

所 属	職 名	氏 名	担当業務	備 考
総務課	常務理事	井上 裕雄	運営方針	財団本部事務局兼務 財団本部事務局兼務 財団本部事務局兼務 財団本部事務局兼務
	事務局長兼総務課長事務取扱	東條 壽	事務総括	
	参 事	新井田郁雄	課総括	
	総務・経理係長	金田 暁	総務係、経理係	
事業課	主 任	和田 央子	経理係	1988. 4～ 1988. 6～
	主 事	森木 礼子	総務係、経理係	
	嘱 託	中越 活朗	総務係	
	課 長	梅本 隆司	課総括	
資料課	課長補佐	藤原 宮彦	事業係	1988. 4～ 1988. 6～
	課長補佐兼事業係長	藤岡研二郎	事業係	
	主 査	八重 邦夫	事業係	
	嘱 託	門脇 郁男	事業係	
	嘱 託	池内 和枝	事業係	
	課 長	荻谷 恭平	課総括	
	主 幹	宮垣 克己	課総括補佐	
	課長補佐兼情報資料室長 映像資料室長	入江 錫雄 水口 薫	情報資料室 映像資料室	

学芸第一課	司 書	杉浦佐智子	図書資料室	1988. 5～
	嘱 託	坂下 博	情報資料室	非常勤
	嘱 託	赤田 正一	情報資料室	非常勤
	嘱 託	江馬 道生	映像資料室	非常勤
	嘱 託	有田 幸男	映像資料室	1988.10～／非常勤
	課 長	澤木 恒雄	課総括	1988. 4～1989. 4
	主任学芸員	石沢 誠司	工芸担当	1988. 4～
	主任学芸員	塩見 嘉久	民俗担当	1988. 4～
	主任学芸員	奥田 忠雄	美術担当	1988. 4～
	主 査	中井 三郎	美術担当	1988. 4～
学芸第二課	学芸員	大西 基子	美術担当	1988. 4～
	学芸員	大塚 活美	民俗担当	1988. 4～
	学芸員	小森 浩一	工芸担当	1988. 4～
	学芸員	浅野 恵子	工芸担当	1988. 4～
	課 長 (主任学芸員)	片岡 肇	課総括	
	課長補佐 (主任学芸員)	鈴木 忠司	歴史担当	
	主任学芸員	藤本 孝一	歴史・文献担当	財団古代学協会へ派遣
	主任学芸員	川西 宏幸	歴史担当	財団古代学協会へ派遣／～1989. 3
	主任学芸員	野口 実	歴史・文献担当	財団古代学協会へ派遣／～1989. 3
	学芸員	山下 秀樹	歴史担当	
	学芸員	植山 茂	歴史担当	
	学芸員	定森 秀夫	歴史担当	財団古代学協会へ派遣
	学芸員	南 博史	歴史担当	財団古代学協会へ派遣
	学芸員	山田 邦和	歴史担当	

④1989年度

所 属	職 名	氏 名	担当業務	備 考
総務課	常務理事	井上 裕雄	運営方針	
	事務局長	東條 壽	事務総括	
	課 長	西尾 信一	課総括	1989. 4～／財団本部事務局兼務
	課長補佐兼総務・経理係長	金田 暁	総務係、経理係	財団本部事務局兼務
	主 任	和田 央子	経理係	財団本部事務局兼務
	主 事	森木 礼子	総務係、経理係	財団本部事務局兼務
	嘱 託	山下 進	総務係	1989. 7～
	嘱 託	中越 活朗	総務係	
	嘱 託	坂田 晃	経理係	1989. 4～1990. 3／非常勤
	嘱 託	久保 達彦	友の会	1989.11～／非常勤
事業課	課 長	新井田郁雄	課総括	
	参 事	谷口 克次	事業係	1989. 4～
	課長補佐兼事業係長	藤岡研二郎	事業係	
	主 査	八重 邦夫	事業係	
	嘱 託	門脇 郁男	事業係	
	嘱 託	池内 和枝	事業係	
資料課	嘱 託	梅本 隆司	事業係	非常勤／～1990. 3
	課 長	苅谷 恭平	課総括	
	主 幹	宮垣 克己	課総括補佐	～1989. 7
	課長補佐兼情報資料室長	入江 錫雄	情報資料室	～1990. 6
	映像資料室長	水口 薫	映像資料室	
	司 書	杉浦佐智子	図書資料室	
	嘱 託	坂下 博	情報資料室	非常勤
	嘱 託	赤田 正一	情報資料室	非常勤
	嘱 託	江馬 道生	映像資料室	非常勤
	嘱 託	有田 幸男	映像資料室	非常勤
学芸第一課	課 長	高木多喜男	課総括	1989. 4～
	主任学芸員	石沢 誠司	工芸担当	～1990. 6
	主任学芸員	塩見 嘉久	民俗担当	
	主任学芸員	奥田 忠雄	美術担当	
	主 査	中井 三郎	美術担当	
				総務課兼務

学芸第二課	学芸員 学芸員 学芸員 学芸員 課長(主任学芸員) 課長補佐(主任学芸員) 主任学芸員 学芸員 学芸員 学芸員 学芸員 学芸員	大西 基子 大塚 活美 小森 浩一 浅野 恵子 片岡 肇 鈴木 忠司 藤本 孝一 山下 秀樹 植山 茂 定森 秀夫 南 博史 山田 邦和	美術担当 民俗担当 工芸担当 工芸担当 課総括 歴史担当 歴史・文献担当 歴史担当 歴史担当 歴史担当 歴史担当 歴史担当	学芸第二課兼務 ~1990. 6 朝古代学協会へ派遣 朝古代学協会へ派遣 朝古代学協会へ派遣 朝古代学協会へ派遣
-------	--	---	--	---

⑤1990年度

所 属	職 名	氏 名	担当業務	備 考
総務課	館長	吉田 光邦	館総括	1990. 4~ / 財団常務理事兼務
	副館長	東條 壽	館業務総括	財団本部事務局局長兼務
	課長	西尾 信一	課総括	財団本部事務局兼務
	課長補佐兼総務係長	金田 暁	総務係	財団本部事務局兼務
	課長補佐兼経理係長	中井 三郎	経理係	財団本部事務局兼務
事業課	主任	和田 央子	経理係	財団本部事務局兼務
	主事	森木 礼子	総務係、経理係	財団本部事務局兼務
	嘱託	中越 活朗	総務係	
	嘱託	久保 達彦	友の会	非常勤
	課長	新井田郁雄	課総括	
	主幹・事業係長事務取扱	藤岡研二郎	事業係	
	主査	八重 邦夫	事業係	
	主事	山下 進	事業係	
	嘱託	門脇 郁男	事業係	
	嘱託	池内 和枝	事業係	
資料課	課長	菊谷 恭平	課総括	
	参事	谷口 克次	情報資料室	
	映像資料室長	水口 薫	映像資料室	
	司書	洲鎌佐智子	図書資料室	
	主事	森脇 清隆	情報資料室	1990. 7~
	嘱託	坂下 博	情報資料室	非常勤
	嘱託	赤田 正一	情報資料室	非常勤
	嘱託	江馬 道生	映像資料室	非常勤
	嘱託	有田 幸男	映像資料室	非常勤
	課長	高本多喜男	課総括	
学芸第一課	主幹	谷口 知己	工芸担当	1990. 6~
	課長補佐(主任学芸員)	塩見 嘉久	民俗担当	
	主査(学芸員)	大西 基子	美術担当	
	学芸員	大塚 活美	民俗担当	学芸第二課兼務
	学芸員	浅野 恵子	工芸担当	
	学芸員	田島 達也	美術担当	1991. 1~
	学芸員	長舟 洋司	美術担当	1991. 1~
	嘱託	奥田 忠雄	美術担当	非常勤 / ~1991. 3
	課長(主任学芸員)	片岡 肇	課総括	
	課長補佐(主任学芸員)	鈴木 忠司	歴史担当	朝古代学協会へ派遣
学芸第二課	主任学芸員	藤本 孝一	歴史・文献担当	
	学芸員	植山 茂	歴史担当	
	学芸員	山下 秀樹	歴史担当	
	学芸員	定森 秀夫	歴史担当	
	学芸員	南 博史	歴史担当	
	学芸員	山田 邦和	歴史担当	朝古代学協会へ派遣

⑥1991年度

所 属	職 名	氏 名	担当業務	備 考
総務課	館 長	吉田 光邦	館総括	財団常務理事兼務／～1991. 7
	館長職務代理者・副館長	東條 壽	館総括	財団本部事務局局長兼務
	課 長	西尾 信一	課総括	財団本部事務局兼務／～1992. 4
	課長補佐兼総務係長	金田 暁	総務係	財団本部事務局兼務
	課長補佐兼経理係長	中井 三郎	経理係	～1991. 8
	課長補佐兼経理係長	井尻 嘉文	経理係	1992. 2～／財団本部事務局兼務
	主 任	和田 央子	経理係	財団本部事務局兼務
	主 事	森本 礼子	総務係、経理係	財団本部事務局兼務
	主 事	佐藤 幸央	総務係	1991.10～／財団本部事務局兼務
	嘱 託	中越 活朗	総務係	
事業課	嘱 託	久保 達彦	友の会	非常勤
	課 長	新井田郁雄	課総括	
	主幹・事業係長事務取扱	藤岡研二郎	事業係	
	主 査	森田 富夫	事業係	1991. 4～
	主 事	山下 進	事業係	
	嘱 託	門脇 郁男	事業係	
	嘱 託	池内 和枝	事業係	
	嘱 託	八重 邦夫	事業係	総務課兼務／非常勤
	課 長	菊谷 恭平	課総括	
	参 事	谷口 克次	情報資料室	
資料課	映像資料室長	水口 薫	映像資料室	
	司 書	洲鎌佐智子	図書資料室	
	主 事	森脇 清隆	情報資料室	
	嘱 託	坂下 博	情報資料室	非常勤
	嘱 託	赤田 正一	情報資料室	非常勤／～1992. 3
	嘱 託	江馬 道生	映像資料室	非常勤
	嘱 託	有田 幸男	映像資料室	非常勤
	課 長	高木多喜男	課総括	
	主 幹	谷口 知己	工芸担当	
	主 幹（主任学芸員）	塩見 嘉久	民俗担当	
学芸第一課	主 査（学芸員）	大西 基子	美術担当	
	学芸員	大塚 活美	民俗担当	学芸第二課兼務
	学芸員	浅野 恵子	工芸担当	
	学芸員	長舟 洋司	美術担当	
	学芸員	田島 達也	美術担当	
	課 長（主任研究員）	片岡 肇	課総括	
	課長補佐（主任学芸員）	鈴木 忠司	歴史担当	
	主任学芸員	藤本 孝一	歴史・文献担当	
	主任学芸員	植山 茂	歴史担当	
	学芸員	山下 秀樹	歴史担当	
学芸第二課	学芸員	定森 秀夫	歴史担当	
	学芸員	南 博史	歴史担当	
	学芸員	山田 邦和	歴史担当	財団古代学協会へ派遣

⑦1992年度

所 属	職 名	氏 名	担当業務	備 考
総務課	館長職務代理者・副館長	東條 壽	館総括	財団本部事務局局長兼務
	課 長	中井 豊	課総括	1992. 4～／財団本部事務局兼務
	課長補佐兼総務係長	金田 暁	総務係	財団本部事務局兼務
	課長補佐兼経理係長	井尻 嘉文	経理係	財団本部事務局兼務
	主 任	和田 央子	経理係	財団本部事務局兼務
	主 事	森本 礼子	総務係、経理係	財団本部事務局兼務
	主 事	佐藤 幸央	総務係	財団本部事務局兼務
	嘱 託	中越 活朗	総務係	
	嘱 託	八重 邦夫	総務係	

事業課	嘱託 嘱託 課長 主幹・事業係長事務取扱	久保 達彦 太田 三郎 新井田郁雄 藤岡研二郎	友の会 友の会 課総括 事業係	非常勤／～1992. 8 1992. 9～／非常勤
	主査 主事 主事 技術主任	森田 富夫 山下 進 森 雅樹 門脇 郁男	事業係 事業係 事業係 事業係	～1993. 3 1992. 9～
資料課	嘱託 課長 参事 映像資料室長	池内 和枝 菊谷 恭平 谷口 克次 水口 薫	事業係 課総括 情報資料室 映像資料室	非常勤／～1993. 3 1992. 4～
	主任 司書 主事 嘱託 嘱託 嘱託 課長	矢島 克亮 洲鎌佐智子 森脇 清隆 坂下 博 江馬 道生 有田 幸男 高木多喜男	映像資料室 図書資料室 情報資料室 情報資料室 映像資料室 映像資料室 課総括	1992. 4～ 非常勤／～1993. 3 非常勤 非常勤 ～1993. 3
学芸第一課	主幹（主任学芸員） 主幹（主任学芸員） 主査（学芸員） 学芸員 学芸員 学芸員 学芸員	谷口 知己 塩見 嘉久 大西 基子 大塚 活美 藤本 恵子 長舟 洋司 田島 達也	工芸担当 民俗担当 美術担当 民俗担当 工芸担当 美術担当 美術担当	学芸第二課兼務
学芸第二課	課長（主任学芸員） 課長補佐（主任学芸員） 主任学芸員 主任学芸員 学芸員 学芸員 学芸員 学芸員	片岡 肇 鈴木 忠司 藤本 孝一 植山 茂 山下 秀樹 定森 秀夫 南 博史 山田 邦和	課総括 歴史担当 歴史・文献担当 歴史担当 歴史担当 歴史担当 歴史担当 歴史担当	

⑧1993年度

所 属	職 名	氏 名	担当業務	備 考
総務課	館長 館長職務代理者・副館長 課長 課長補佐兼総務係長 課長補佐兼経理係長	岡本 道雄 東條 壽 中井 豊 金田 暁	館総括 館業務総括 課総括 総務係	1994. 2～／財団理事長兼務 財団本部事務局長兼務 財団本部事務局兼務／～1994. 5 財団本部事務局兼務
	主任 主事 主事 嘱託 嘱託 課長	井尻 嘉文 和田 央子 森木 礼子 佐藤 幸央 中越 活朗 太田 三郎	経理係 経理係 総務係、経理係 総務係 総務係 友の会	財団本部事務局兼務 財団本部事務局兼務 財団本部事務局兼務 財団本部事務局兼務 非常勤／～1994. 5
事業課	主幹・事業係長事務取扱 主査 主事 主事 技術主任	藤岡研二郎 森田 富夫 森 雅樹 海老名和孝 門脇 郁男	事業係 事業係 事業係 事業係 事業係	1993. 8～
資料課	課長 参事 映像資料室長	菊谷 恭平 谷口 克次 水口 薫 矢島 克亮	課総括 情報資料室 映像資料室 映像資料室	～1994. 5 ～1993. 8
	主任 司書 主事	洲鎌佐智子 森脇 清隆	図書資料室 情報資料室	

学芸第一課	嘱託	江馬 道生	映像資料室	非常勤
	嘱託	有田 幸男	映像資料室	非常勤
	課長心得 (主任学芸員)	塩見 嘉久	課総括	
	主幹 (主任学芸員)	谷口 知己	工芸担当	
	主査 (学芸員)	大西 基子	美術担当	
	学芸員	大塚 活美	民俗担当	学芸第二課兼務
	学芸員	藤本 恵子	工芸担当	
	学芸員	長舟 洋司	美術担当	
	学芸員	田島 達也	美術担当	
	学芸員	片岡 肇	課総括	
学芸第二課	課長 (主任学芸員)	鈴木 忠司	歴史担当	
	課長補佐 (主任学芸員)	藤本 孝一	歴史・文献担当	
	主任学芸員	植山 茂	歴史担当	
	主任学芸員	山下 秀樹	歴史担当	
	学芸員	定森 秀夫	歴史担当	
	学芸員	南 博史	歴史担当	
	学芸員	山田 邦和	歴史担当	
	学芸員			
	学芸員			
	学芸員			

◎1994年度

所 属	職 名	氏 名	担当業務	備 考
総務課	館長	岡本 道雄	館総括	財団理事長兼務
	副館長	東條 壽	館業務総括	財団本部事務局局長兼務
	課長	中村 実	課総括	1994. 6～/財団本部事務局兼務
	主幹・総務係長事務取扱	金田 暁	総務係	財団本部事務局兼務
	課長補佐兼経理係長	井尻 嘉文	経理係	財団本部事務局兼務
	主任	和田 央子	経理係	財団本部事務局兼務
	主事	森木 礼子	総務係、経理係	財団本部事務局兼務
	主事	佐藤 幸央	総務係	財団本部事務局兼務
	嘱託	中越 活朗	総務係	
	嘱託	榎堀 勝	友の会	1994. 5～/非常勤
事業課	課長	新井田郁雄	課総括	
	主幹・事業係長事務取扱	藤岡研二郎	事業係	
	主査	森田 富夫	事業係	～1995. 3
	主事	森 雅樹	事業係	
	主事	海老名和孝	事業係	
	技術主任	門脇 郁男	事業係	
	課長	菊谷 恭平	課総括	
	主任	矢島 克亮	映像資料室	～1995. 3
	主事	森脇 清隆	情報資料室	
	主事	磯野真知子	図書資料室	1994.10～
学芸第一課	嘱託	江馬 道生	映像資料室	非常勤
	嘱託	有田 幸男	映像資料室	非常勤
	課長 (主任学芸員)	塩見 嘉久	課総括	～1995. 3
	主幹 (主任学芸員)	谷口 知己	工芸担当	
	主査 (学芸員)	大西 基子	美術担当	
	学芸員	大塚 活美	民俗担当	学芸第二課兼務
	学芸員	藤本 恵子	工芸担当	
	学芸員	長舟 洋司	美術担当	
	学芸員	田島 達也	美術担当	
	学芸員	洲鎌佐智子	工芸担当	
学芸第二課	課長 (主任学芸員)	片岡 肇	課総括	
	主幹 (主任学芸員)	鈴木 忠司	歴史担当	
	主任学芸員	藤本 孝一	歴史・文献担当	
	主任学芸員	植山 茂	歴史担当	
	学芸員	山下 秀樹	歴史担当	
	学芸員	定森 秀夫	歴史担当	
	学芸員	南 博史	歴史担当	
	学芸員	山田 邦和	歴史担当	
	学芸員			
	学芸員			

⑩1995年度

所 属	職 名	氏 名	担当業務	備 考
総務課	館 長	岡本 道雄	館総括	財団理事長兼務
	副館長	東條 壽	館業務総括	財団本部事務局長兼務
	課 長	中村 実	課総括	財団本部事務局兼務／～1996. 3
	主幹・総務係長事務取扱	金田 暁	総務係	財団本部事務局兼務
	課長補佐兼経理係長	井尻 嘉文	経理係	財団本部事務局兼務
	主 任	和田 央子	経理係	財団本部事務局兼務
	主 任	森木 礼子	総務係、経理係	財団本部事務局兼務
	主 事	佐藤 幸央	総務係	財団本部事務局兼務
	嘱 託	中越 活朗	総務係	
	課 長	新井田郁雄	課総括	
事業課	主幹・事業係長事務取扱	藤岡研二郎	事業係	
	主 事	磯野真知子	事業係	
	主 事	森 雅樹	事業係	
	主 事	海老名和孝	事業係	
	嘱 託	門脇 郁男	事業係	非常勤
	嘱 託	菊谷 恭平	友の会、別館	非常勤
	嘱 託	榎堀 勝	別館	非常勤／～1996. 3
	嘱 託	中井 三郎	別館	1995. 4～／非常勤
	課 長(主任学芸員)	石沢 誠司	課総括	1995. 4～
	主 幹(主任学芸員)	谷口 知己	工芸担当	
学芸第一課	映像・情報室長	細水 晴実	映像・情報室	1995. 4～
	主 査(学芸員)	大西 基子	美術担当	
	学芸員	藤本 恵子	工芸担当	～1996. 3
	学芸員	長舟 洋司	美術担当	
	学芸員	田島 達也	美術担当	
	学芸員	洲鎌佐智子	工芸担当	
	主 事	森脇 清隆	映像・情報室	
	嘱 託	江馬 道生	映像・情報室	非常勤
	嘱 託	有田 幸男	映像・情報室	非常勤
	課 長(主任学芸員)	片岡 肇	課総括	
学芸第二課	主 幹(主任学芸員)	鈴木 忠司	歴史担当	
	主任学芸員	藤本 孝一	歴史・文献担当	
	主任学芸員	植山 茂	歴史担当	
	主任学芸員	山下 秀樹	歴史担当	
	学芸員	定森 秀夫	歴史担当	
	学芸員	南 博史	歴史担当	
	学芸員	山田 邦和	歴史担当	
	学芸員	大塚 活美	歴史・文献担当	学芸第一課兼務

⑪1996年度

所 属	職 名	氏 名	担当業務	備 考
総務課	館 長	岡本 道雄	館総括	財団理事長兼務
	副館長	東條 壽	館業務総括	財団本部事務局長兼務
	課 長	桂 敏哲	課総括	1996. 4～／財団本部事務局兼務
	主幹・総務係長事務取扱	金田 暁	総務係	財団本部事務局兼務
	課長補佐兼経理係長	井尻 嘉文	経理係	財団本部事務局兼務
	主 任	和田 央子	経理係	財団本部事務局兼務
	主 任	森木 礼子	総務係、経理係	財団本部事務局兼務
	主 事	佐藤 幸央	総務係	財団本部事務局兼務
	嘱 託	中越 活朗	総務係	
	課 長	新井田郁雄	課総括	
事業課	主幹・事業係長事務取扱	藤岡研二郎	事業係	
	主 事	磯野真知子	事業係	
	主 事	森 雅樹	事業係	
	主 事	海老名和孝	事業係	
	嘱 託	門脇 郁男	事業係	非常勤
	嘱 託	菊谷 恭平	友の会、別館	非常勤
	嘱 託	中井 三郎	別館	非常勤／～1997. 3

学芸第一課	課長(主任学芸員)	石沢 誠司	課総括	1996. 4~ ~1997. 3 非常勤 非常勤	
	主幹(主任学芸員)	谷口 知己	工芸担当		
	映像・情報室長	細水 晴実	映像・情報室		
	主任学芸員	古郷 彰治	工芸担当		
	主査(学芸員)	大西 基子	美術担当		
	学芸員	長舟 洋司	美術担当		
	学芸員	田島 達也	美術担当		
	学芸員	洲鎌佐智子	工芸担当		
	主事	森脇 清隆	映像・情報室		
	嘱託	江馬 道生	映像・情報室		
	嘱託	有田 幸男	映像・情報室		
	学芸第二課	課長(主任学芸員)	片岡 肇		課総括
		主幹(主任学芸員)	鈴木 忠司		歴史担当
		主任学芸員	藤本 孝一		歴史・文献担当
主任学芸員		植山 茂	歴史担当		
主任学芸員		山下 秀樹	歴史担当		
学芸員		定森 秀夫	歴史担当		
学芸員		南 博史	歴史担当		
学芸員		山田 邦和	歴史担当		
学芸員		大塚 活美	歴史・文献担当		
学芸員				学芸第一課兼務	

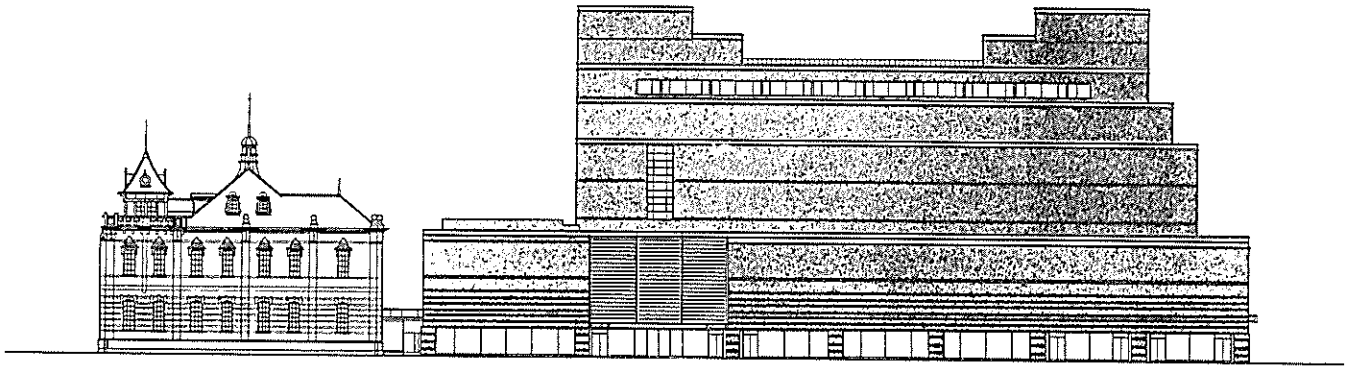
⑫1997年度

所 属	職 名	氏 名	担当業務	備 考	
総務課	館長	岡本 道雄	館総括	財団理事長兼務	
	副館長	高見 静治	館業務総括	財団本部事務局兼務	
	参 与	東條 壽	館業務総括補佐	~1998. 3	
	課長	桂 敏哲	課総括	財団本部事務局兼務	
	主幹・総務係長事務取扱	金田 曉	総務係	財団本部事務局兼務	
	課長補佐兼経理係長	生島 宏次	経理係	1997. 4~/財団本部事務局兼務	
	主 任	和田 央子	経理係	財団本部事務局兼務	
	主 任	森木 礼子	総務係、経理係	財団本部事務局兼務	
	主 事	佐藤 幸央	総務係	財団本部事務局兼務	
	嘱託	中越 活朗	総務係		
事業課	嘱託	井尻 嘉文	経理係	非常勤/~1997. 9	
	課長	新井田郁雄	課総括		
	主幹・事業係長事務取扱	藤岡研二郎	事業係		
	主 事	磯野真知子	事業係		
	主 事	森 雅樹	事業係		
	主 事	海老名和孝	事業係		
	嘱託	門脇 郁男	事業係	非常勤	
	嘱託	菊谷 恭平	友の会、別館	非常勤	
	学芸第一課	課長(主任学芸員)	石沢 誠司	課総括	~1998. 3
		主幹(主任学芸員)	谷口 知己	工芸担当	
映像・情報室長		細水 晴実	映像・情報室		
主任学芸員		古郷 彰治	工芸担当		
主査(学芸員)		大西 基子	美術担当		
学芸員		長舟 洋司	美術担当		
学芸員		洲鎌佐智子	工芸担当		
学芸員		森脇 清隆	映像・情報室		
学芸員		野口 剛	美術担当		
嘱託		江馬 道生	映像・情報室		
学芸第二課	嘱託	有田 幸男	映像・情報室	1997. 7~ 非常勤/~1998. 3 非常勤	
	課長(主任学芸員)	片岡 肇	課総括		
	主幹(主任学芸員)	鈴木 忠司	歴史担当		
	課長補佐(主任学芸員)	藤本 孝一	歴史・文献担当		
	主任学芸員	植山 茂	歴史担当		
	主任学芸員	山下 秀樹	歴史担当		
	学芸員	定森 秀夫	歴史担当		
	学芸員	南 博史	歴史担当		
	学芸員	山田 邦和	歴史担当		
	学芸員	大塚 活美	歴史・文献担当	学芸第一課兼務	

5. 施設図面

別館(旧日本銀行京都支店)

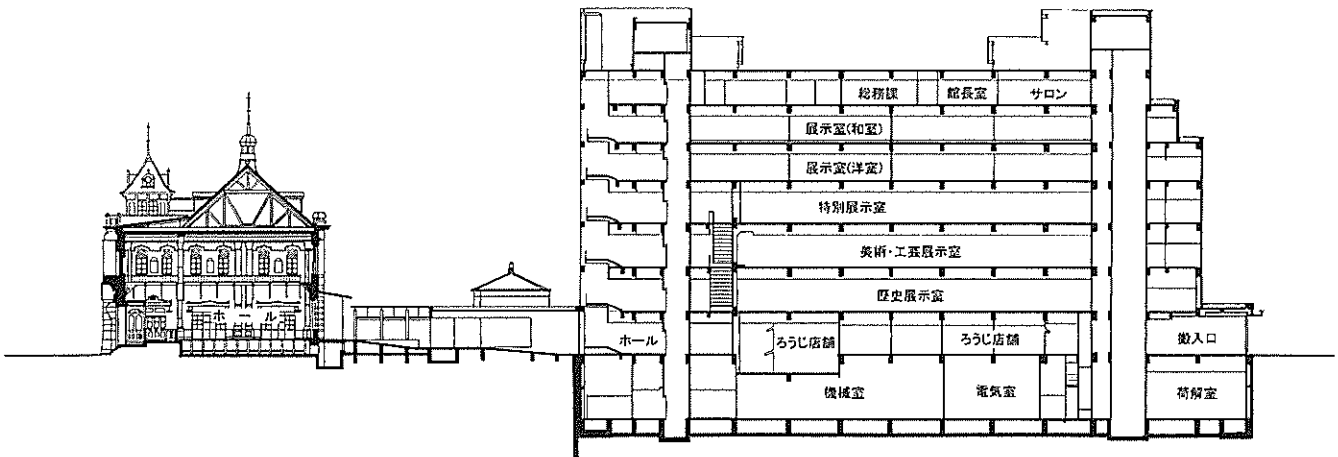
本館



1. 京都文化博物館東側立面図(縮尺 約1/800)

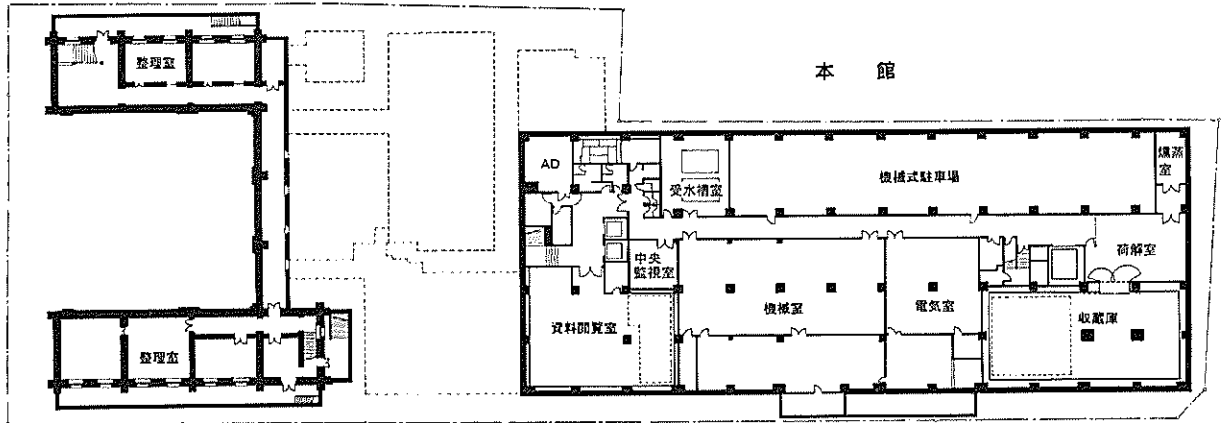
別館(旧日本銀行京都支店)

本館

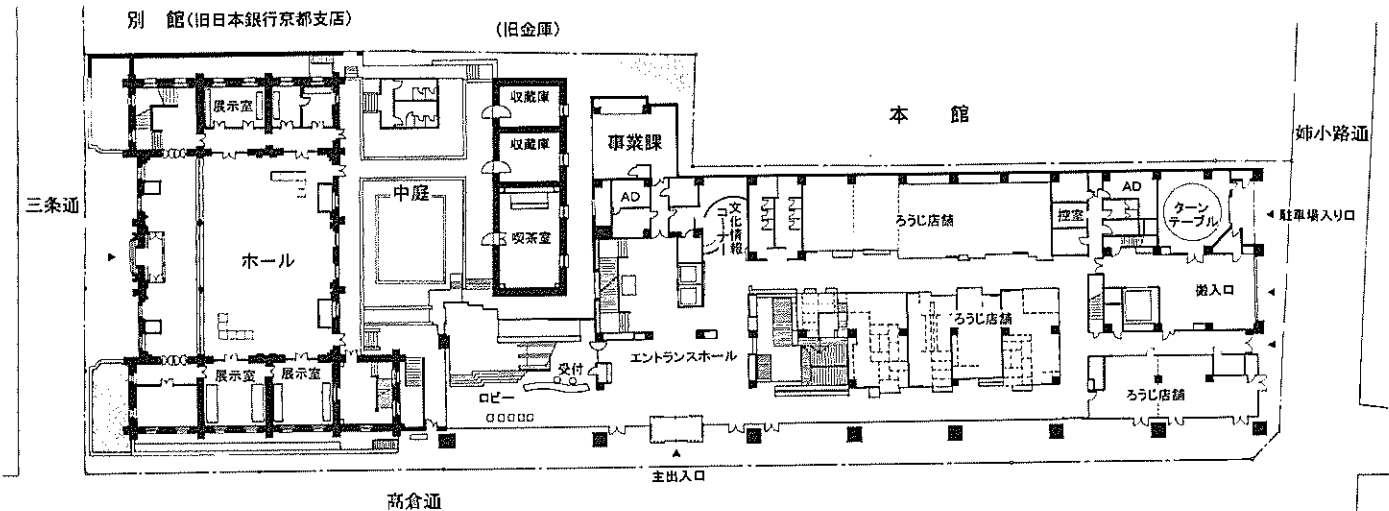


2. 京都文化博物館断面図(縮尺 約1/800)

別 館(旧日本銀行京都支店)

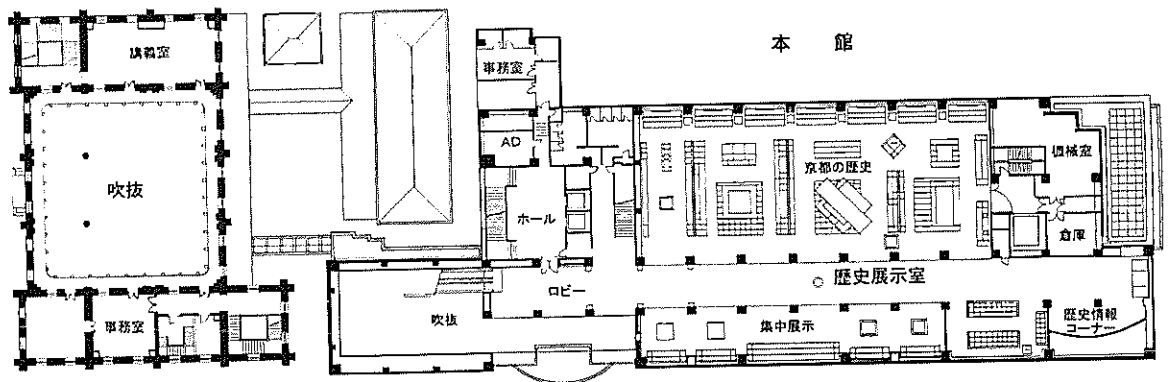


3. 京都文化博物館地下1階平面図(縮尺 約 1/800)



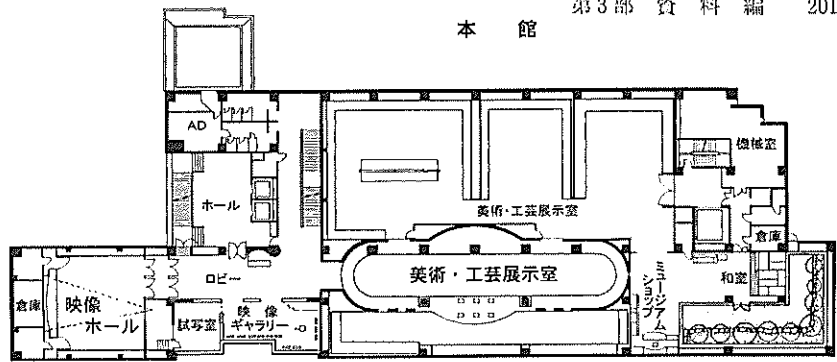
4. 京都文化博物館1階平面図(縮尺 約 1/800)

別 館(旧日本銀行京都支店)

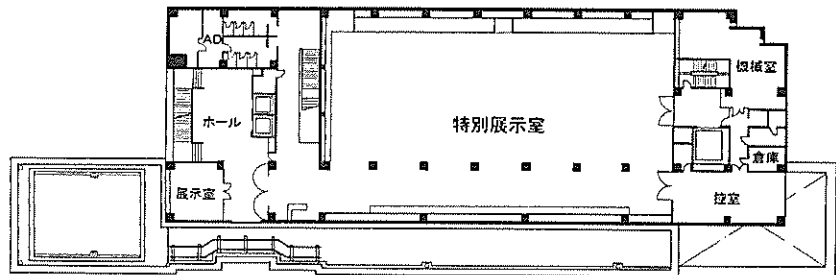


5. 京都文化博物館2階平面図(縮尺 約 1/800)

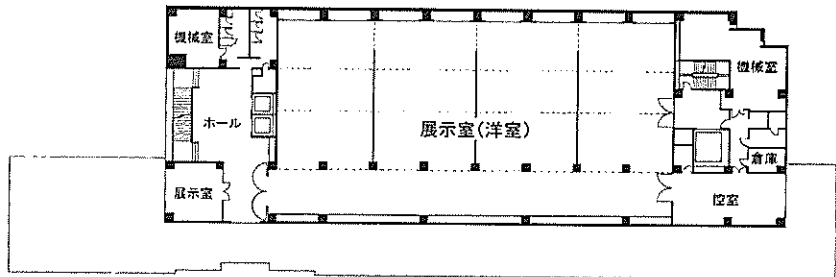
本館



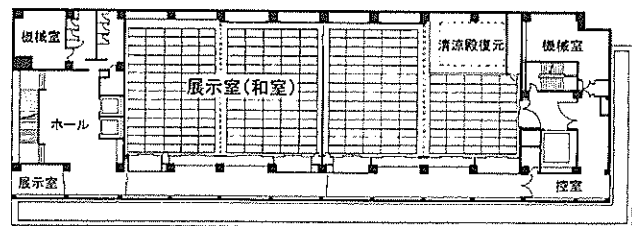
6. 京都文化博物館3階平面図(縮尺約1/800)



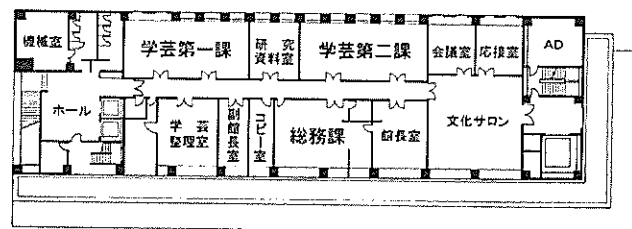
7. 京都文化博物館4階平面図(縮尺約1/800)



8. 京都文化博物館5階平面図(縮尺約1/800)



9. 京都文化博物館6階平面図(縮尺約1/800)



10. 京都文化博物館7階平面図(縮尺約1/800)

あとがき

当博物館の開館10周年を機会に、これまでの記録を整理し、資料や統計数字も整備して、10年間の活動についての反省のよすがとするとともに、今後一層の発展と館活動の活発化を期そうとの趣旨で、『京都文化博物館10年のあゆみ』を発刊致しました。

10年という歳月は、短くもあり、また十年一昔というように長い年月とみることもできます。登山では、道に迷った時は元に帰れともいわれますが、昨今の混迷の時代に、改めて過去を振り返り、開館時のコンセプトを再認識することも意味のあることだと思えます。そのうえで、これをスプリングボードとして、現在の水準を維持し、さらに発展させながら、一人でも多くの入館者を迎えらるよう、館員一同更なる努力してまいりたいと考えております。今後とも一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

開館以来10年の間には、常設展示や特別展示を初めとするさまざまな博物館の活動に対して、京都府をはじめ多方面からのご協力やご支援を頂戴して参りました。また、開館10周年の記念として、特別展、協賛イベント、記念誌の刊行等の事業を実施するにあたり、各方面に格別のご協力をお願いしましたところ、昨今の厳しい経済状況にもかかわらず、快くご協賛を賜りました。次頁にそうした皆様方のお名前を掲記して、心からのお礼とさせて頂きます。

なお、本誌編纂にあたっては、館内に各課の代表から成る委員会を設けて、内容や体裁などについての検討を進め、同時に記録のとりまとめや原稿の作成などをして参りました。本格的な取り組みが遅れた上に、それぞれ本来業務に加えての作業でもありましたので、遺漏や誤謬をおそれるものですが、大方のご示教を賜われれば幸いに存じます。

「京都文化博物館10年のあゆみ」編纂委員会代表

副館長 高見 静 治

◇特別協力

金剛家、茂山家、文友会、吉忠(株)、(株)千總、(株)川島織物、生田流宮城会浅野愛子社中、アマデウス音楽事務所、京都文化博物館ボランティアMOKの会、京都文化博物館友の会、京都文化博物館ろうじ店舗博和会

◇協賛機関

(株)アクト、(株)アサセ電気、旭硝子工業コンサルタント(株)、上村紙(株)、鳳電気土木(株)、オムロン(株)、(株)翔摩、関西電力(株)、(株)北原、京都銀行、(株)京都書院、京都信用金庫、京都青果合同(株)、京都装飾協同組合、京都中央信用金庫、京都みやこ信用金庫、月桂冠(株)、(株)コーエーピービーエム、三和銀行京都支店、商工美術(株)、住友信託銀行京都支店、住友電設(株)、(株)ゼニヤ、総合警備保障(株)京都支社、(株)大真電気工業 大丸京都店、大和銀行京都支店、高島屋京都店、(株)竹中工務店、(株)龍村美術織物 千切屋(株)、(株)東京貸物社京都店、(株)トータルメディア開発研究所、東洋信託銀行京都支店、(株)七和、日新電機(株)、日本写真印刷(株)、(株)日本書籍出版協会京都支部、日本通運(株)関西美術品支店、(株)日本伝統染色工芸保存協会、日本パナユーズ(株)、ニューカラー写真印刷(株)、任天堂(株)、(株)原田電業社、光工業(株)、(株)日立製作所関西支社、(株)伏見工芸、(株)フジヤ、(株)便利堂、(株)マルイ美術、ヤマト運輸(株)美術品京都営業所、(株)洛東工芸、(株)ワコール、(株)ワールドコーヒー

◇広告協力機関（権事関係）

いさみ寿司、WITHYOU、ゑり正、おたべ、ギオン福住、菊一文字、黒潮丸、御幸街西阪、十三や、松栄堂、ジョリマン、梅軒画廊、長谷川松寿堂、ホテルパステル京都、安田念珠店、やまと民芸店、旅館中原、レストラン菊水

◇協力交通機関

京都市交通局、JR西日本旅客鉄道、JR東海旅客鉄道、阪急電鉄、京阪電気鉄道、近畿日本鉄道、京阪バス、ヤサカタクシー、MKタクシー、都タクシー

京都文化博物館10年のあゆみ

編集 「京都文化博物館10年のあゆみ」編纂委員会

発行日 1999年3月31日

発行 京都府京都文化博物館

〒604-8183 京都市中京区三条高倉

TEL 075-222-0888

FAX 075-222-0889

印刷 正美社印刷株式会社